

No	種別	出土位置	口径	色調表	色調裏	焼成	調整	分類	備考
	器種	残存率	底径 高さ			胎土			
305	須恵器 蓋	61号土坑 天井部1/4		灰白 5Y7/1	灰 5Y5/1	還元焰 普通 細 細砂・粗砂・黒色細 粒を微量含む	ロクロ調整	II C	
			[1.1]						
306	須恵器 蓋	166号溝 体部1/4		灰白 N7/	灰 N6/	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・白色粒 子を中量含む	ロクロ調整 天井部回転篋 削り	II C	
			[1.9]						
307	須恵器 短頸壺	65号土坑 口縁～胴部 1/3	(11.2)	黄灰 2.5Y6/1	灰 5Y6/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・白色細 粒・黒色細粒を中量含む	ロクロ調整 外面篋ナデか	IV	
			[9.0]						
308	須恵器 短頸壺	Hr-FA下 口縁部～胴部	(11.4)	黄灰 2.5Y5/1	灰 7.5Y6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・礫を多 量含む	ロクロ調整 肩部に2本の 沈線	IV	
			[5.0]						
309	須恵器 長頸壺	Hr-FA下 口縁部	(11.6)	灰 7.5Y5/1	灰 7.5Y6/1	還元焰 良好 細 細砂・黒色粒子、黒 色細粒中量含む	ロクロ調整	IV	
			[4.4]						
310	須恵器 長頸壺	Hr-FA下 口縁部～頸部	(10.5)	灰 7.5Y6/1	灰 7.5Y6/1	還元焰 良好 細 細砂・黒色粒子、黒 色細粒多量含む	ロクロ調整	IV	
			[8.8]						
311	須恵器 壺	1号住 底部1/2	(11.0)	青灰 5PB6/1	灰 N6/	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・黒色粒 子を少量含む	ロクロ調整 底部回転糸切 り後高台貼り付け 内面自 然釉付着	IV	
			[2.2]						
312	須恵器 壺	Hr-FA下 胴～底部1/2		灰 5Y4/1	灰 5Y4/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・白色粒 子を微量含む	ロクロ調整 付け高台	IV	
			[2.8]						
313	須恵器 壺	Hr-FA下 底部破片	(12.8)	灰 10Y5/1	にぶい黄 2.5Y6/3	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む	ロクロ調整 付け高台	IV	
			[5.8]						
314	須恵器 壺	89号溝 胴～底部1/4	(7.8)	灰 N5/	灰白 N7/	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・礫を中 量含む	ロクロ調整 底部回転糸切 り後高台貼り付け 胴部下 半篋削り	IV	
			[4.2]						
315	須恵器 壺	グリッド土坑 胴～底部1/6		灰 5Y6/1	灰 N6/	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を少量含 む	ロクロ調整 胴部下外面 篋削り	IV	
			[6.1]						
316	須恵器 小型壺	124号溝 胴部？		灰 10Y5/1	灰 10Y5/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・礫・白 色粒子を中量含む	ロクロ調整	IV	
			[4.4]						
317	須恵器 壺	表採 胴部～底部 1/8	13.0	灰白 2.5Y7/1	灰白 N8/	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む	ロクロ調整(右) 胴部下 回転篋削り	IV	
			[8.9]						
318	須恵器 壺？	Hr-FA下 胴部破片		灰オー プ 5Y6/2	灰白 5Y8/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を中量含 む	外面平行叩き(横方向刻み あり) 内面ナデ 外面自 然釉付着	IV	
			[6.5]						
319	須恵器 壺？	Hr-FA下 体部～底部 破片	(8.4)	灰白 5Y8/1	灰白 5Y8/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を少量含 む	ロクロ調整(右) 底部回転 糸切り後高台貼り付け	IV	
			[1.7]						
320	須恵器 鉢？	1号集石 口縁部～体部 1/4	(20.6)	黄灰 2.5Y5/1	黄灰 2.5Y6/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を多量含 む	ロクロ調整	VI	
			[6.3]						
321	須恵器 小型鉢	Hr-FA下 底部	(5.8)	褐灰 10YR 6/1	褐灰 10YR 6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を多量含 む	ロクロ調整(右) 底部回転 糸切り無調整	VI	
			[4.5]						
322	須恵器 甕	125号溝 口縁部、底部	(26.0)	黄灰 2.5Y5/1	灰黄褐 10YR 5/2	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・白色粒 子を中量含む	口縁部ロクロ調整 底部高 台剝離か？	III	
			[16.3]						
323	須恵器 甕	1号集石 頸部1/4		灰 5Y5/1	灰 5Y5/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を中量含 む	口縁部ロクロ調整 胴部内 外面ナデか？ 肩部に自然 釉付着	III	
			[5.9]						

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径	色調表	色調裏	焼 成	調 整	分 類	備 考
			底径 高さ			胎 土			
324	須恵器	1号集石	(15.8)	灰 5Y5/1	灰 5Y5/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を多量含 む	ロクロ調整 口縁部内外面 自然釉付着	III	
	甕	口縁部～胴部 破片	[9.5]						
324	須恵器	1号集石	(9.0)	灰 5Y4/1	灰 5Y4/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む	ロクロ調整 底部回転糸切 り後高台貼り付けか？	III	
	甕	底部1/2	[3.3]						
325	須恵器	1号集石	(16.6)	灰 5Y6/1	灰 5Y6/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・黒色粒 子中量含む	口縁部ロクロ調整 胴部内 外面ナデか？	III	
	甕	体部一部欠損	(16.0) [31.7]						
326	須恵器	Hr-FA下	(18.2)	明褐灰 7.5YR 7/1	明褐灰 7.5YR 7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	口縁～胴部上半ロクロ調整	III	
	甕	口縁部～胴部	[4.8]						
327	須恵器	Hr-FA下	(19.1)	灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 不良 中 細砂・粗砂を中量含 む	磨滅著しい 口縁～胴部上 半ロクロ調整か？	III	
	甕	口縁部～胴部	[5.9]						
328	須恵器	Hr-FA下	(26.6)	灰白 7.5Y7/1	灰白 7.5Y7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	口縁部ロクロ調整	III	
	甕	口縁部破片	[5.2]						
329	須恵器	As-B下	25.2	黄灰 2.5Y5/1	褐灰 10YR 5/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・白色粒 子を中量含む	口縁部ロクロ調整	III	
	甕	口縁部1/10	[3.2]						
330	須恵器	Hr-FA下	(17.4)	灰 10Y6/1	灰 10Y5/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・礫・黒 色粒子を多量含む	胴部内外面ナデ 底部外面 ナデ？	III	
	甕	底部	[7.9]						
331	須恵器	Hr-FA下	(8.0)	灰 10Y5/1	灰 10Y6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む	内外面ナデ・削りか？	III	
	甕	胴部破片	[8.0]						
332	須恵器	Hr-FA下	(14.0)	褐灰 10YR 6/1	暗青灰 10YR 4/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・礫・黒 色粒子を多量含む	胴部内外面ナデ 底部外面 ナデ？	III	
	甕	底部	[5.0]						
333	須恵器	Hr-FA下	(15.0)	灰 N4/	灰 4/	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・礫・黒 色粒子を多量含む	胴部外面ナデ篋削り内面ナ デ 底部外面篋削り	III	
	甕	底部	[4.7]						
334	須恵器	1号集石	(8.7)	明オリ ープ灰 2.5GY 7/1	明オリ ープ灰 2.5GY 7/1	還元焰 普通 細 細砂・粗砂を少量含 む	外面叩き内面青海波文当て 具痕 内面人為的に磨滅	III	転用硯か
	甕	胴部破片	[8.7]						
335	須恵器	Hr-FA下	(4.9)	灰 7.5Y6/1	灰白 7.5Y7/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・白色細 粒・黒色粒子を微量含む	外面平行叩き(刻みあり)内 面青海波文当て具痕	III	
	甕	胴部破片	[4.9]						
336	須恵器	Hr-FA下	(6.5)	黄灰 2.5Y5/1	褐灰 5Y6/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・礫を中 量含む	胴部外面平行叩き後ナデ か？内面ナデか？	III	
	甕	胴部破片	[6.5]						
337	須恵器	Hr-FA下	(6.7)	灰オリ ープ 5Y6/2	暗青灰 5PB4/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む	外面平行叩き？内面無文当 て具痕か？	III	
	甕	胴部破片	[6.7]						
338	須恵器	Hr-FA下	(7.2)	褐灰 10YR 6/1	灰 N6/	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む	外面平行叩き？内面無文当 て具痕か？	III	
	甕	胴部破片	[7.2]						
339	須恵器	Hr-FA下	(15.2)	黄灰 2.5Y5/1	褐灰 10YR 4/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む	外面叩きか？	III	
	甕	底部	[6.7]						
340	須恵器	Hr-FA下	(7.8)	黄灰 2.5Y5/1	灰 7.5Y5/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・黒色粒 子・赤色粒子を多量含む	胴部外面平行叩きおよび篋 削り 内面ナデ？	III	
	甕	胴部破片	[7.8]						
341	須恵器	Hr-FA下	(8.3)	灰 7.5Y5/1	灰 N4/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を多量に 含む	外面篋削りおよびナデ 内 面無文当て具痕か？	III	
	甕	胴部破片	[8.3]						

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 底径 高さ	色調表	色調裏	焼成		調整	分類	備考
						胎	土			
342	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		明紫灰 5P7/1	灰 N5/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・白色細 粒・黒色粒子を少量含む		外面叩き後ナデか 内面青 海波文当て具痕	III	
			[8.6]							
343	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		外面平行叩き 内面青海波 文当て具痕	III	
			[4.5]							
344	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		暗赤灰 5PB3/1	暗青灰 5PB4/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		外面平行叩き内面無文当て 具痕か？	III	
			[8.4]							
345	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 普通 細 細砂・粗砂を少量含 む		外面平行叩き 内面青海波 文当て具痕	III	
			[5.2]							
346	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 良好 細 細砂を少量含む		外面平行叩き(横方向刻み あり) 内面青海波文当て 具痕	III	
			[3.7]							
346	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 良好 細 細砂を少量含む		外面平行叩き(横方向刻み あり) 内面青海波文当て 具痕	III	
			[4.7]							
347	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰白 2.5Y8/2	淡黄 2.5Y8/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		外面格子叩き 内面無文当 て具痕か？	III	
			[11.0]							
347	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰白 2.5Y8/2	灰白 2.5Y8/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		外面格子叩き 内面無文当 て具痕か？	III	
			[8.1]							
348	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰白 10YR 7/1	褐灰 10YR 6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・黒色粒 子を中量含む		外面平行叩きか？ 内面青 海波文当て具痕	III	
			[7.9]							
349	須恵器 甕	Hr-FA下 胸部破片		灰 5Y6/1	灰 5Y6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・黒色粒 子を中量含む		外面平行叩き後カキ目 内 面青海波文当て具痕	III	
			[9.7]							
350	須恵器 羽釜	As-B下 口縁部1/8	21.0	灰褐 7.5YR 5/2	にぶい赤 褐 5YR5/4	酸化焰 普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		ロクロ調整 鋳貼り付け	V	
			[7.3]							
351	須恵器 羽釜	Hr-FA下 口縁部～胸部	(17.6)	橙 2.5YR 6/6	にぶい橙 7.5YR 7/4	酸化焰 普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		ロクロ調整 鋳貼り付け	V	
			[6.2]							
352	須恵器 不明	52号土坑 胸部破片	(胴径38)	灰 N5/	灰 N5/	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・礫・黒 色細粒を少量含む		ロクロ調整	VI	
			[2.0]							
353	須恵器 円面硯	Hr-FA下 硯面1/4	(14.0)	灰 N6/1	灰 N6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		ロクロ調整 上下面とも回 転篋削り 両面とも磨減	VI	
			[1.6]							
354	灰釉陶器 碗	5号柱 口縁部破片	(15.0)	オリーブ 灰 10Y5/2	オリーブ 灰 10Y5/2	良好 細 細砂を微量含む		ロクロ調整 釉塗り掛け	I	胎土色にぶい黄橙 10Y7/2
			[4.1]							
355	灰釉陶器 碗	Hr-FA下 体部～底部 1/6	(6.2)	灰白 5Y8/1 (釉)	灰白 5Y7/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を極微量 含む		ロクロ調整(右) 付け高台 体部下半回転篋削り 釉 漬け掛け	I	
			[2.8]							
356	灰釉陶器 碗	Hr-FA下 体部～底部 破片	(6.6)	灰白 2.5Y8/1	灰白 2.5Y8/1	良好 細 細砂を微量含む		ロクロ調整 貼り付け高台 釉漬け掛けか？	I	
			[2.3]							
357	灰釉陶器 碗	Hr-FA下 底部1/2	(8.1)	灰白 2.5Y7/1	灰白 2.5Y7/1	良好 極細 細砂を極微量含む		ロクロ調整 貼り付け高台	I	
			[1.8]							
358	灰釉陶器 碗	133号溝 底部1/3	6.8	灰白 10YR 8/1	灰白 2.5Y8/1	良好 細 細砂を微量含む		ロクロ調整 貼り付け高台 釉塗り掛けか？	I	
			[2.4]							

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 底径 高さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						胎 土				
359	灰釉陶器 皿か碗	5号住 底部1/3	(7.6) [1.7]	灰黄褐 10YR 6/2	にぶい黄 橙 10YR 7/2	良好 細 細砂を微量含む		ロクロ調整 釉塗り掛け か？	I ?	
360	灰釉陶器 皿	As-B下 底部1/3	(6.8) [1.3]	灰白 2.5Y8/1	灰白 2.5Y8/1	還元焰 良好 細 細砂を極微量含む		ロクロ調整 付け高台 釉 漬け掛け	II	
361	灰釉陶器 皿	As-B下 底部1/3	7.0 [2.1]	にぶい黄 橙 10YR 7/2	灰黄 2.5Y7/2	良好 細 細砂を極微量含む		釉塗り掛けか？ 貼り付け 高台	II	施釉部明オリブ 灰5GY7/1
362	灰釉陶器 皿	Hr-FA下 体部～底部 破片	6.2 [1.4]	灰白 2.5Y7/1	灰白 2.5Y7/1	良好 細 細砂を微量含む		ロクロ調整 貼り付け高台 釉漬け掛けか？	II	
363	灰釉陶器 碗	1号集石 小片3点	(17.5) [5.3]	灰白 2.5Y8/1	灰白 2.5Y8/1	普通 細 細砂極微量混 白色 軟質胎土		ロクロ調整	I	胎土色淡黄7.5Y 8/3
364	灰釉陶器 壺	As-B下 底部1/5	(8.4) [2.4]	灰白 2.5Y8/1	灰白 2.5Y8/1	還元焰 良好 細 細砂を極微量含む		ロクロ調整 貼り付け高台 釉塗り掛けか？	III	

古墳時代後期～平安時代後期土製品観察表

No	種別 器種	出土位置 残存率	全長 幅 厚さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						胎 土				
365	布目瓦 軒平瓦	Hr-FA下 破片	[2.1] [6.4] 2.1		灰黄 2.5Y7/2	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・礫を少 量含む		表面ナデ 瓦当部粘土貼り 付け		
366	布目瓦 軒平瓦	Hr-FA下 破片	[5.8] [6.0] 1.7	にぶい黄 橙 10YR 7/2	にぶい黄 橙 10YR 7/3	還元焰 普通 細 細砂・粗砂を少量含 む		表面布目 裏面篋ナデか		
367	布目瓦 軒平瓦	Hr-FA下 破片	[8.7] [5.8] 1.8	灰黄褐 10YR 6/2	にぶい褐 7.5YR 6/3	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・礫を少 量含む		表面布目 裏面篋ナデか		
368	布目瓦 平瓦	1号住 破片	[4.3] [7.0] 1.1	黒褐 2.5Y3/1	黄褐 2.5Y5/3	還元焰 普通 細 細砂・粗砂・雲母を 少量含む		表面布目 裏面ナデか		
369	布目瓦 平瓦	11・12号溝 破片	(6.4) (7.2) 1.1	橙 7.5YR 6/6	にぶい橙 7.5YR 7/3	酸化焰 普通 中 細砂・粗砂を少量含 む		表面布目 裏面ナデか		
370	布目瓦 平瓦	2号住 破片	[4.2] [5.8] 1.0	灰白 5Y8/2	灰白 10Y8/1	還元焰 普通 中 白色細粒・細砂・粗 砂を少量含む		表面布目 裏面ナデか		
371	布目瓦 平瓦	5号住 破片	[20.5] [16.0] 1.3	灰白 N7/	灰白 7.5Y7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・礫を中 量含む		表面布目 裏面篋ナデか		
372	布目瓦 平瓦	1号住 破片	[3.4] [4.9] 1.1	にぶい黄 橙 10YR 7/2	灰黄 2.5Y7/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・雲母を 中量含む		表面布目 裏面ナデか		
373	布目瓦 平瓦	2号住 破片	[7.4] [5.6] 1.1	灰白 5Y7/2	灰黄 2.5Y7/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・礫を少 量含む		表面布目 裏面ナデか		
374	布目瓦 平瓦	5号住 破片	[26.0] [11.8] 1.2	灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		表面布目 裏面篋ナデか		

No	種別	出土位置	全長	色調表	色調裏	焼 成	調 整	分 類	備 考
	器種	残存率	幅 厚さ			胎 土			
375	布目瓦	5号住	[23.5]	灰白 2.5Y7/1	灰黄 2.5Y7/2	還元焰 普通	表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[13.8]			中 細砂・粗砂・礫・褐色粒子を中量含む			
			0.9						
376	布目瓦	1号集石	[10.2]	淡黄 2.5Y8/4	にぶい黄 橙 10YR 7/4	酸化焰 普通	表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[8.4]			中 細砂・粗砂・褐色粒子を中量含む			
			1.4						
377	布目瓦	1号集石	[9.7]	灰白 2.5Y8/1	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通	表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[9.9]			中 細砂・粗砂を少量含む			
			1.4						
378	布目瓦	124号溝	[3.2]	にぶい橙 7.5 YR 7/4	にぶい橙 7.5YR 6/4	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[3.9]			中 細砂・粗砂を微量含む			
			1.3						
379	布目瓦	124号溝	[8.5]	灰黄 2.5Y7/2	浅黄 2.5Y7/3	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[5.9]			中 細砂・粗砂・礫を少量含む			
			1.0						
380	布目瓦	124号溝	[11.4]	にぶい黄 2.5Y6/3	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[9.2]			細 細砂・粗砂・褐色粒子を少量含む			
			1.5						
381	布目瓦	124号溝	[5.2]	にぶい橙 7.5YR 7/4	にぶい橙 7.5YR 6/4	酸化焰 良好	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[5.8]			中 細砂・粗砂・礫・褐色粒子を少量含む			
			1.2						
382	布目瓦	124号溝	[10.5]	黄灰 2.5Y6/1	灰オリーブ 5Y6/2	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[10.0]			中 細砂・粗砂・黒色鉱物粒を少量含む			
			1.3						
383	布目瓦	124号溝	[10.1]	灰白 5Y7/1	灰オリーブ 5Y6/2	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[6.9]			中 細砂・粗砂を少量含む			
			1.4						
384	布目瓦	124号溝	[10.7]	灰白 2.5Y8/2	浅黄 2.5Y7/3	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[9.9]			中 細砂・粗砂・礫を少量含む			
			1.4						
385	布目瓦	124号溝	[9.5]	灰黄 2.5Y7/2	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[7.0]			中 細砂・粗砂・褐色粒子を少量含む			
			0.9						
386	布目瓦	124号溝	[10.1]	灰黄褐 10YR 6/2	褐灰 10YR 6/1	還元焰 良好	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[7.0]			細 細砂・粗砂・褐色粒子を少量含む			
			1.2						
387	布目瓦	124号溝	[8.2]	灰 7.5Y5/1	灰 7.5Y6/1	還元焰 良好	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[8.0]			中 細砂・粗砂・白色粒子を少量含む			
			1.3						
388	布目瓦	124号溝	[10.4]	灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/2	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[11.4]			中 細砂・粗砂を少量含む			
			1.4						
389	布目瓦	124号溝	[9.4]	褐灰 7.5YR 6/1	灰 7.5Y6/1	還元焰 良好	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[5.7]			細 細砂・粗砂・礫・褐色粒子を少量含む			
			0.9						
390	布目瓦	124号溝	[8.0]	灰白 5Y8/1	灰白 5Y8/2	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[5.1]			中 細砂・粗砂を少量含む			
			1.1						
391	布目瓦	124号溝	[6.8]	灰白 2.5Y7/1	黄灰 2.5Y6/1	還元焰 普通	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[10.5]			中 細砂・粗砂を中量含む			
			1.1						
392	布目瓦	125号溝	[7.8]	灰褐 7.5YR 5/2	灰黄褐 10YR 5/2	酸化焰 良好	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[4.4]			中 細砂・粗砂・褐色粒子を少量含む			
			1.0						

No	種別 器種	出土位置 残存率	全長 幅 厚さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						還元焰	胎 土			
393	布目瓦	Hr-FA下	[8.5]	灰白 10YR7/1	灰白 2.5Y8/2	還元焰 不良 中 細砂・粗砂・白色細粒 ・黒色鉱物粒を中量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[10.6]							
			1.5							
394	布目瓦	Hr-FA下	[6.7]	褐灰 10YR5/1	褐灰 10YR6/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を少量含 む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[6.6]							
			1.1							
395	布目瓦	Hr-FA下	[7.5]	灰白 10YR7/1	にぶい黄 橙 10YR7/3	還元焰 不良 中 細砂・粗砂・白色細粒 ・黒色鉱物粒を中量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[6.3]							
			1.1							
396	布目瓦	Hr-FA下	[5.5]	灰 5Y6/1	灰白 5Y7/2	還元焰 不良 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[5.0]							
			1.0							
397	布目瓦	Hr-FA下	[7.5]	灰白 5Y7/1	灰白 5Y8/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・灰色粒 子を少量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[4.3]							
			1.2							
398	布目瓦	Hr-FA下	[8.1]	灰白 7.5YR 8/2	灰白 7.5YR 8/2	還元焰 不良 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[5.3]							
			0.9							
399	布目瓦	Hr-FA下	[7.8]	灰白 2.5Y8/1	灰白 10YR7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[7.5]							
			1.5							
400	布目瓦	Hr-FA下	[6.2]	にぶい黄 橙 10YR7/2	灰白 7.5YR 8/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	表面布目 裏面篋ナデ			
	平瓦	破片	[7.1]							
			1.7							
401	布目瓦	Hr-FA下	[8.4]	灰白 10YR7/1	灰白 N7/	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・長石を 中量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[7.1]							
			1.1							
402	布目瓦	Hr-FA下	[8.3]	赤橙 2.5YR 7/4	にぶい橙 5YR7/3	酸化焰 普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[6.8]							
			1.1							
403	布目瓦	Hr-FA下	[6.2]	にぶい橙 5YR6/3	灰 7.5Y5/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・礫を多 量含む	表面布目 裏面篋ナデ			
	平瓦	破片	[7.3]							
			1.5							
404	布目瓦	Hr-FA下	[8.0]	赤灰 2.5YR 6/1	にぶい橙 5YR7/3	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・礫・白 色細粒を少量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[6.9]							
			1.6							
405	布目瓦	Hr-FA下	[11.3]	灰白 5Y7/2	灰白 2.5Y8/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・褐色粒子・ 灰色粒子を中量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[12.0]							
			1.1							
406	布目瓦	Hr-FA下	[8.3]	灰赤 2.5YR 6/2	明褐灰 5YR6/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[4.5]							
			1.5							
407	布目瓦	Hr-FA下	[7.0]	黄灰 2.5Y6/1	灰 10Y6/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を少量含 む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[4.1]							
			0.9							
408	布目瓦	Hr-FA下	[9.7]	明赤褐 5YR5/6	明赤褐 5R5/6	酸化焰 良好 細 細砂・粗砂・黒色鉱物 粒・褐色細粒を少量含む	表面布目 裏面篋ナデ		410・412・414と同 一か	
	平瓦	破片	[9.3]							
			1.2							
409	布目瓦	Hr-FA下	[8.1]	赤灰 2.5YR 6/1	灰白 5Y8/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	表面布目 裏面ナデカ			
	平瓦	破片	[5.6]							
			1.6							
410	布目瓦	Hr-FA下	[6.7]	橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	酸化焰 良好 細 細砂・粗砂・黒色鉱物 粒・褐色細粒を少量含む	表面布目 裏面篋ナデ		408・412・414と同 一か	
	平瓦	破片	[7.0]							
			0.9							

No	種別 器種	出土位置 残存率	全長 幅 厚さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						胎	土			
411	布目瓦	Hr-FA下	[9.5]	灰褐 7.5YR 6/2	明灰褐 7.5YR 7/2	酸化焰 良好 中 細砂・粗砂を多量含 む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[5.0] 1.5							
412	布目瓦	Hr-FA下	[14.3]	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 7.5YR 6/4	酸化焰 良好 細 細砂・粗砂・黒色鉍物 粒・褐色細粒を少量含む		表面布目 裏面篋ナデ	408・410・414と同 一か	
	平瓦	破片	[6.0] 1.2							
413	布目瓦	Hr-FA下	[9.2]	灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 不良 中 細砂・粗砂・灰色粒 子を中量含む		表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[6.5] 1.1							
414	布目瓦	Hr-FA下	[26.4]	橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	酸化焰 良好 細 細砂・粗砂・黒色鉍物 粒・褐色細粒を少量含む		表面布目 裏面篋ナデ	408・410・412と同 一か	
	平瓦	破片	[15.7] 1.0							
415	布目瓦	Hr-FA下	[9.6]	にぶい黄 橙 10YR7/3	にぶい橙 7.5YR 7/4	酸化焰 普通 中 細砂・粗砂・礫を多 量含む		表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[6.8] 1.9							
416	布目瓦	Hr-FA下	[6.6]	灰黄 2.5Y6/2	黄灰 2.5Y5/1	還元焰 良好 細 細砂・褐色粒子を少 量含む		表面布目 裏面篋ナデ・削 りか？		
	平瓦	破片	[3.4] 1.2							
417	布目瓦	Hr-FA下	[5.2]	にぶい橙 7.5YR 7/3	にぶい橙 7.5YR 7/3	酸化焰 良好 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を多量含む		表面布目 裏面篋ナデ・削 りか？		
	平瓦	破片	[7.8] 1.3							
418	布目瓦	Hr-FA下	[5.9]	にぶい橙 7.5YR 7/4	褐灰 7.5YR 5/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[8.7] 1.5							
419	布目瓦	Hr-FA下	[6.9]	にぶい黄 橙 10YR7/2	にぶい黄 橙 10YR7/2	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・礫・褐色粒 子・灰色粒子を多量含む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[7.4] 1.4							
420	布目瓦	Hr-FA下	[7.5]	にぶい黄 橙 10YR5/3	にぶい黄 橙 10YR6/3	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[7.4] 1.2							
421	布目瓦	Hr-FA下	[4.3]	明褐灰 7.5YR 7/1	明褐灰 7.5YR 7/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[8.9] 1.3							
422	布目瓦	Hr-FA下	[8.7]	灰白 2.5Y7/1	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む		表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[6.9] 1.3							
423	布目瓦	Hr-FA下	[7.3]	灰白 2.5Y7/1	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を少量含 む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[5.5] 1.4							
424	布目瓦	Hr-FA下	[7.0]	灰白 2.5Y7/1	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・灰色粒 子を中量含む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[9.2] 1.4							
425	布目瓦	Hr-FA下	[5.2]	黄灰 2.5Y6/1	黄灰 2.5Y6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂を少量含 む		表面布目 裏面篋ナデ 側 面篋削り		
	平瓦	破片	[6.0] 1.3							
426	布目瓦	Hr-FA下	[9.7]	灰 7.5Y4/1	灰 10Y4/1	還元焰 良好 細 細砂・粗砂を少量含 む		表面布目 裏面篋ナデ		
	平瓦	破片	[8.0] 1.5							
427	布目瓦	Hr-FA下	[11.9]	灰白 2.5Y8/2	灰白 2.5Y8/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を多量含 む		表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[8.3] 1.3							
428	布目瓦	As-B下	[9.4]	灰黄褐 10YR6/2	灰黄褐 10YR6/2	還元焰 良好 中 細砂・白色細粒を微 量含む		表面布目 裏面篋ナデか		
	平瓦	破片	[7.8] 0.9							

No	種別 器種	出土位置 残存率	全長 幅 厚さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						還元焰	胎 土			
429	布目瓦	As-B下	[8.4]	灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 普通	中 細砂・粗砂を少量含 む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[7.0]							
			1.1							
430	布目瓦	As-B下	[5.8]	灰 7.5Y5/1	灰 7.5Y5/1	還元焰 良好	細 細砂・粗砂・白色細 粒を少量含む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[9.6]							
			1.2							
431	布目瓦	As-B下	[8.3]	灰 5Y6/1	にぶい橙 5YR6/3	還元焰 良好	中 細砂・粗砂・白色細 粒を少量含む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[7.9]							
			1.0							
432	布目瓦	As-B下	[7.1]	灰 7.5Y6/1	灰 10Y6/1	還元焰 良好	中 細砂・粗砂・白色細 粒を少量含む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[6.2]							
			1.4							
433	布目瓦	As-B下	[7.9]	にぶい黄 橙 10YR7/4	にぶい黄 橙 10YR7/4	還元焰 普通	中 細砂・粗砂・礫・白 色細粒を少量含む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[7.8]							
			1.2							
434	布目瓦	As-B下	[9.4]	灰白 10Y8/2	浅黄橙 10YR8/4	酸化焰 普通	中 細砂・粗砂・礫を中 量含む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[6.1]							
			1.7							
435	布目瓦	As-B下	[7.1]	浅黄 2.5Y7/4	灰 5Y5/1	還元焰 普通	中 細砂・粗砂・礫を中 量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[8.3]							
			1.3							
436	布目瓦	As-B下	[8.7]	灰 10Y6/1	灰白 7.5Y7/1	還元焰 普通	中 細砂・粗砂・白色細 粒を少量含む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[5.2]							
			1.3							
437	布目瓦	As-B下	[7.8]	浅黄橙 10YR8/3	浅黄橙 10YR8/3	還元焰 普通	中 細砂・粗砂・礫・褐 色粒子を中量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[6.9]							
			1.4							
438	布目瓦	As-B下	[9.3]	灰白 5Y8/2	灰 10Y5/1	還元焰 良好	中 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[5.2]							
			1.1							
439	布目瓦	As-B下	[5.0]	灰白 5Y7/1	灰 5Y6/1	還元焰 普通	中 細砂・粗砂・白色細 粒を中量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[7.2]							
			1.2							
440	布目瓦	As-B下	[7.0]	にぶい黄 橙 10YR6/3	にぶい褐 7.5YR 6/3	還元焰 良好	細 細砂・粗砂・白色細 粒を少量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[7.1]							
			1.1							
441	布目瓦	As-B下	[6.7]	にぶい黄 褐 10YR5/3	褐灰 10YR4/1	還元焰 良好	中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[7.5]							
			1.5							
442	布目瓦	As-B下	[5.4]	灰白 7.5Y8/2	灰白 5Y8/2	還元焰 普通	中 細砂・粗砂を少量含 む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[10.4]							
			1.3							
443	布目瓦	As-B下	[7.8]	浅黄 2.5Y7/3	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通	細 細砂・粗砂・礫を少 量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[5.8]							
			1.4							
444	布目瓦	As-B下	[6.4]	褐灰 7.5YR 6/1	明褐灰 5YR7/1	還元焰 普通	中 細砂・粗砂を中量含 む	表面布目 裏面篋ナデカ 表面剝離部分あり		
	平瓦	破片	[5.4]							
			1.2							
445	布目瓦	グリッド	[4.5]	灰白 2.5Y7/1	灰白 5Y8/1	還元焰 普通	中 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む	表面布目 裏面篋ナデカ		
	平瓦	破片	[8.2]							
			1.5							
446	布目瓦	58号溝	[3.6]	灰 7.5Y6/1	灰 10Y6/1	還元焰 良好	細 細砂・粗砂・長石・ 褐色粒を少量含む	表面布目 裏面ナデカ		
	平瓦	破片	[4.1]							
			1.1							

No	種別	出土位置	全長	色調表	色調裏	焼 成	調 整	分 類	備 考
	器種	残存率	幅 厚さ			胎 土			
447	布目瓦	As-C下	[6.7]	にぶい橙 7.5YR 7/4	灰白 10YR8/2	酸化焰 普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[5.0] 1.2						
448	布目瓦	61号溝	[8.3]	オリーブ 黒 10Y3/1	灰白 7.5Y7/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・礫・長 石を中量含む	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[5.6] 1.2						
449	布目瓦	58号溝	[4.3]	にぶい黄 橙 5YR7/3	にぶい黄 橙 5YR7/4	還元焰 良好 細 細砂・粗砂・褐色粒 を少量含む	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[6.0] 1.1						
450	布目瓦	112号溝	[5.2]	にぶい黄 橙 10YR6/4	にぶい黄 橙 10YR7/3	酸化焰 普通 細 細砂・粗砂・礫を微 量含む	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[5.4] 1.0						
451	布目瓦	64号溝	[8.9]	灰白 7.5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・灰色粒 を少量含む	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[8.0] 1.2						
452	布目瓦	グリッド土坑	[6.8]	黄灰 2.5Y5/1	黄灰 2.5Y5/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・雲母細粒 ・黒色鉱物粒を少量含む	表面布目 裏面ナデか		
	平瓦	破片	[6.5] 1.1						
453	布目瓦	124号溝	[6.8]	灰白 5Y7/1	灰黄 2.5Y7/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を微量含 む	瓦当部表面磨滅により不明 裏面布目か		
	軒丸瓦	破片	[5.9] 1.6						
454	布目瓦	As-B下	[6.3]	灰白 7.5Y8/1	灰白 7.5Y8/1	還元焰 普通	瓦当部表面蓮華文の花弁が 残るか 裏面布目		
	軒丸瓦	瓦当部1/4	[6.5] 1.2						
455	布目瓦	As-B下	[12.7]	灰白 2.5Y8/2	灰白 2.5Y8/2	還元焰 普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	瓦当部表面ナデ 裏面布目 か 文様不明		
	軒丸瓦	瓦当部1/4	[3.4] 1.6						
456	布目瓦	Hr-FA下	[7.4]	橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	酸化焰 良好 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	表面篋ナデ 裏面布目 瓦 当部ナデ		
	軒丸瓦	破片	[7.0] 1.5						
457	布目瓦	Hr-FA下	[4.4]	オリーブ 黒 7.5Y3/1	にぶい黄 2.5Y6/3	還元焰 普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む	内面布目 外面篋ナデか 瓦当部ナデか		
	軒丸瓦	破片	[6.9] 2.8						
458	布目瓦	Hr-FA下	[3.1]	にぶい黄 橙 10YR7/4	灰白 10YR8/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	瓦当部文様貼り付け 表面 布目		
	軒丸瓦	瓦当部破片	[3.3] 1.1						
459	布目瓦	Hr-FA下	[6.4]	灰白 2.5Y8/2	灰白 10YR8/1	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	瓦当部文様貼り付け 裏面 布目		
	軒丸瓦	瓦当部1/6	[4.0] 1.2						
460	布目瓦	Hr-FA下	[5.3]	浅黄橙 7.5YR 8/4	にぶい橙 7.5YR 7/4	還元焰 普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	磨滅著しい 内面布目 外 面ナデか 瓦当部沈線		
	軒丸瓦	破片	[9.8] 1.3						
461	布目瓦	Hr-FA下	[5.0]	黄灰 2.5Y6/1	灰 5Y6/1	還元焰 良好 中 細砂・粗砂・黒色粒 子を少量含む	表面篋ナデ 裏面布目 瓦 当部一部剝離		
	軒丸瓦	破片	[5.1] 2.3						
462	布目瓦	Hr-FA下	[4.7]	灰白 2.5Y7/1	灰白 2.5Y8/2	還元焰 普通 中 細砂・粗砂・黒色粒 子を少量含む	磨滅著しい 表面ナデか 裏面布目か		
	軒丸瓦	破片	[12.0] 1.0						
463	布目瓦	Hr-FA下	[3.7]	灰白 7.5Y8/1	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通 細 細砂・粗砂・少量含 む	表面篋ナデか 裏面布目 瓦当部ナデか		
	軒丸瓦	破片	[4.8] 2.9						
464	布目瓦	5号住	[19.8]	にぶい黄 2.5Y6/3	にぶい黄 2.5Y6/3	還元焰 不良 中 細砂・粗砂を中量含 む	表面篋ナデか 裏面布目		
	丸瓦	破片	[7.5] 0.9						

No	種別 器種	出土位置 残存率	全長		色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
			幅	厚さ			胎 土				
465	布目瓦	5号住	[26.6]		灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	還元焰 良好	表面篔ナデ 裏面布目			
	丸瓦	破片	[9.2]								細 細砂・粗砂を少量含む
466	布目瓦	5号住	39.2		灰白 5Y7/1	灰 5Y6/1	還元焰 普通	表面篔ナデ 裏面布目			
	丸瓦	2/3	(13.3)								細 細砂・粗砂を少量含む
467	布目瓦	1号集石	[5.0]		淡黄 2.5Y8/4	淡黄 2.5Y8/3	還元焰 普通	表面布目 裏面篔ナデか			
	丸瓦	破片	[4.6]								中 細砂・粗砂・褐色粒子を中量含む
468	布目瓦	5号住	[19.6]		灰黄 7.5Y7/2	灰黄 7.5Y7/2	還元焰 良好	表面篔ナデ 裏面布目			
	丸瓦	破片	16.3								中 細砂・粗砂・礫を中量含む
469	布目瓦	124号溝	[10.9]		灰 10Y5/1	灰 10Y4/1	還元焰 普通	表面ナデ 裏面布目か			
	丸瓦	破片	[11.6]								中 細砂・粗砂を少量含む
470	布目瓦	1号集石	[13.5]		灰白 5Y5/1	灰白 5Y5/1	還元焰 普通	表面布目 裏面篔ナデか			
	丸瓦	破片	[6.5]								細 細砂・粗砂・礫を中量含む
471	布目瓦	124号溝	[10.5]		黒褐 10YR3/2	黒 10YR2/1	酸化焰 良好	表面ナデ 裏面布目か			
	丸瓦	破片	[10.7]								中 細砂・粗砂・礫を少量含む
472	布目瓦	124号溝	[8.7]		灰白 5Y8/1	灰黄 5Y7/2	還元焰 普通	表面ナデ 裏面布目か			
	丸瓦	破片	[6.4]								細 細砂・粗砂を微量含む
473	布目瓦	124号溝	[6.6]		褐灰 7.5YR 5/1	浅黄 2.5Y7/4	還元焰 普通	表面ナデ 裏面布目か			
	丸瓦	破片	[8.7]								細 細砂・粗砂を微量含む
474	布目瓦	124号溝	[6.2]		灰白 7.5Y7/1	灰白 7.5Y7/2	還元焰 普通	表面ナデ 裏面布目か			
	丸瓦	破片	[7.0]								中 細砂・粗砂・褐色粒子を少量含む
475	布目瓦	Hr-FA下	[9.1]		灰白 10YR8/2	浅黄 2.5Y7/3	還元焰 普通	表面篔ナデか 裏面布目			
	丸瓦	破片	[9.6]								細 細砂・粗砂を少量含む
476	布目瓦	Hr-FA下	[5.1]		灰白 5YR8/1	灰白 10YR8/1	還元焰 不良	表面ナデ 裏面布目			
	丸瓦	破片	[6.6]								細 細砂・粗砂を少量含む
477	布目瓦	Hr-FA下	[4.5]		灰白 10YR8/1	にぶい黄 橙 10YR7/2	還元焰 普通	表面ナデ 裏面布目			
	丸瓦	破片	[8.3]								中 細砂・粗砂・褐色粒子を中量含む
478	布目瓦	Hr-FA下	[10.5]		にぶい橙 7.5YR 6/4	にぶい橙 7.5YR 7/4	酸化焰 普通	表面篔ナデ 裏面布目			
	丸瓦	破片	[8.2]								細 細砂・粗砂・褐色粒子を中量含む
479	布目瓦	Hr-FA下	[16.9]		にぶい黄 橙 10YR7/3	橙 5YR7/6	酸化焰 普通	表面篔ナデ 裏面布目			
	丸瓦	破片	13.2								中 細砂・粗砂・礫・褐色粒子を中量含む
480	布目瓦	Hr-FA下	[5.9]		灰 5Y5/1	灰 7.5Y5/1	還元焰 良好	表面篔ナデ 裏面布目			
	丸瓦	破片	[7.8]								中 細砂・粗砂・白色粒子を中量含む
481	布目瓦	As-B下	[5.2]		浅黄 2.5Y7/3	浅黄 2.5Y7/3	酸化焰 普通	表面ナデ 裏面布目か			
	丸瓦	破片	[7.0]								中 細砂・粗砂を多量含む
482	布目瓦	Hr-FA下	[6.6]		にぶい黄 橙 10YR7/2	にぶい黄 橙 10YR6/3	還元焰 普通	表面ナデ 裏面布目か			
	丸瓦	破片	[10.8]								中 細砂・粗砂・褐色粒子を中量含む

No	種別	出土位置	全長	色調表	色調裏	焼 成	調 整	分 類	備 考
	器種	残存率	幅 厚さ			胎 土			
483	布目瓦	As-B下	[3.5]	にぶい褐 7.5YR 6/3	にぶい褐 7.5YR 6/3	還元焰 良好	表面ナデ 裏面布目か		
	丸瓦	破片	[4.3] 1.0			細 細砂・粗砂を少量含 む			
484	布目瓦	Hr-FA下	[7.0]	橙 5YR7/6	灰白 2.5Y7/1	還元焰 普通	磨滅著しい 内面布目		
	鬼瓦?	破片	[7.2] 2.3			中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む			
485	土製品	124号溝	3.7	橙 7.5YR 6/6		普通	孔径3mm 表面ナデか		5.3g
	土錘	完形	1.4 1.1			中 細砂・粗砂を中量含 む			
486	土製品	124号溝	[2.6]	赤黒 2.5YR 2/1		良好	孔径4~6mm 表面研磨か		
	土錘	1/2	[1.7] 0.6			細 細砂少量含む			
487	土製品	140号溝	2.9	明黄褐 10YR6/6		普通	孔径3mm 中央部一部くび れか		15.5g
	土錘	完形	1.8 1.4			中 細砂・粗砂を中量含 む			
488	土製品	Hr-FA下	4.1	にぶい黄 橙 10YR6/3		普通	孔径3mm 表面研磨か 中 中央部に一部刻み?あり		10.2g
	土錘	破片	1.6 1.5			中 細砂・粗砂を中量含 む			
489	土製品	Hr-FA下	5.0	黒褐 10YR3/1		良好	孔径4mm 表面ナデか		14.6g
	土錘	3/4	1.9 1.4			細 細砂・粗砂を中量含 む			
490	土製品	Hr-FA下	4.7	浅黄橙 7.5YR 8/3		普通	孔径4mm 表面ナデか		11.6g
	土錘	完形	1.9 1.7			中 細砂・粗砂・褐色粒 子・黒色鉱物粒を中量含む			
491	土製品	Hr-FA下	4.3	にぶい黄 2.5Y5/3		普通	孔径4mm 表面ナデか		11.6g
	土錘	完形	1.8 1.8			中 細砂・粗砂・礫を中 量含む			
492	土製品	Hr-FA下	4.1	浅黄 2.5Y7/3		良好	孔径6mm 表面ナデか		9.6g
	土錘	完形	1.7 1.7			細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む			
493	土製品	Hr-FA下	3.8	褐灰 10YR5/1		普通	孔径3mm 表面ナデか		3.7g
	土錘	完形	1.0 1.1			細 細砂・粗砂を中量含 む			
494	土製品	As-A混	3.2	淡黄 2.5Y8/3		普通	孔径4mm 表面研磨か		12.5g
	土錘	完形	1.9 2.0			細 細砂・粗砂・黒色鉱 物粒を少量含む			
495	土製品	As-B下	3.6	にぶい橙 7.5YR7/ 3		普通	孔径4mm		7.7g
	土錘	完形	1.6 1.4			中 細砂・黒色鉱物粒を 多量 粗砂を少量含む			
496	土製品	As-B下	4.5	明黄褐 2.5Y7/6		普通	孔径4mm 表面研磨か		10.3g
	土錘	完形	1.6 1.5			細 細砂少量含む			
497	土製品	Hr-FA下	[3.6]	にぶい黄 褐 10YR5/3		良好	表面ナデか		6.7g
	紡錘車	1/6	[1.6] 1.2			細 細砂少量含む			
498	土製品	As-B下	2.2	浅黄橙 10YR8/3		普通	仏像の螺髪か?		10.0g
	螺髪?	一部欠損	2.6 2.4			中 細砂・粗砂を少量含 む			
499	土製品	Hr-FA下	[4.5]	黄灰 2.5Y7/3	浅黄 2.5Y7/3	普通	内外面ナデか		25.3g
	不明	破片	[4.4] 1.9			中 細砂・粗砂を中量含 む			
500	土製品	124号溝	[4.1]	灰 5YR5/1		普通	磨滅著しい 中央部に孔か		24.7g
	不明	破片	[4.9] 1.6			細 細砂・粗砂を中量含 む			

No	種別	出土位置	全長	色調表	色調裏	焼 成	調 整	分 類	備 考
	器種		残存率			幅 厚さ			
501	土製品	As-B下	4.5	にぶい橙 5YR7/4		良好	表面穴径 5 mm 裏面穴径 3 mm		29.4g
	不明	一部欠損	2.5			細 細砂・粗砂・黒色鋳 物粒を少量含む			
			2.7						

古墳時代後期～平安時代後期石製品観察表

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	石材	特徴
502	砥石?	4号住	9.9	7.2	完形	軽石	3面使用 1面に刃ならし傷?裏面に敲打痕?あり
			6.4	247g			
503	砥石	124号溝	[4.7]	[4.2]	破片	砥沢石	4面使用
			1.2	38.8g			
504	不明	1号集積	12.3	7.2	完形	軽石	端部に孔(径5~12mm)あり
			3.6	134g			

古墳時代後期～平安時代後期鉄製品観察表

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	特徴	分類	備考
505	鉄製品 鍬	201号溝	[9.8]	[7.9]	先端部	鍬の先端部袋状の部分か		
			0.9	205g				



第318図 古墳時代前期遺構位置図



第5節 古墳時代前期

(1) 概要

この節では、古墳時代前期の遺構・遺物を掲載する。層としては、As-C降下以後Hr-FA降下以前の遺構・遺物が含まれるが、古墳時代中期の遺構は検出されていないため、古墳時代前期に限る。

調査は、E区・F区のみ行い、A～D区はトレンチ調査により遺構が存在しなかったため、調査対象外とした。遺構は、溝11条、井戸2基、土坑10基、ピット6基、水田1面等である。溝・土坑・ピット等の遺構は調査区南端部（F区）に多く分布し、水田は調査区中南部（E区）に分布している。

(2) 遺構

溝

溝は10条検出されている。

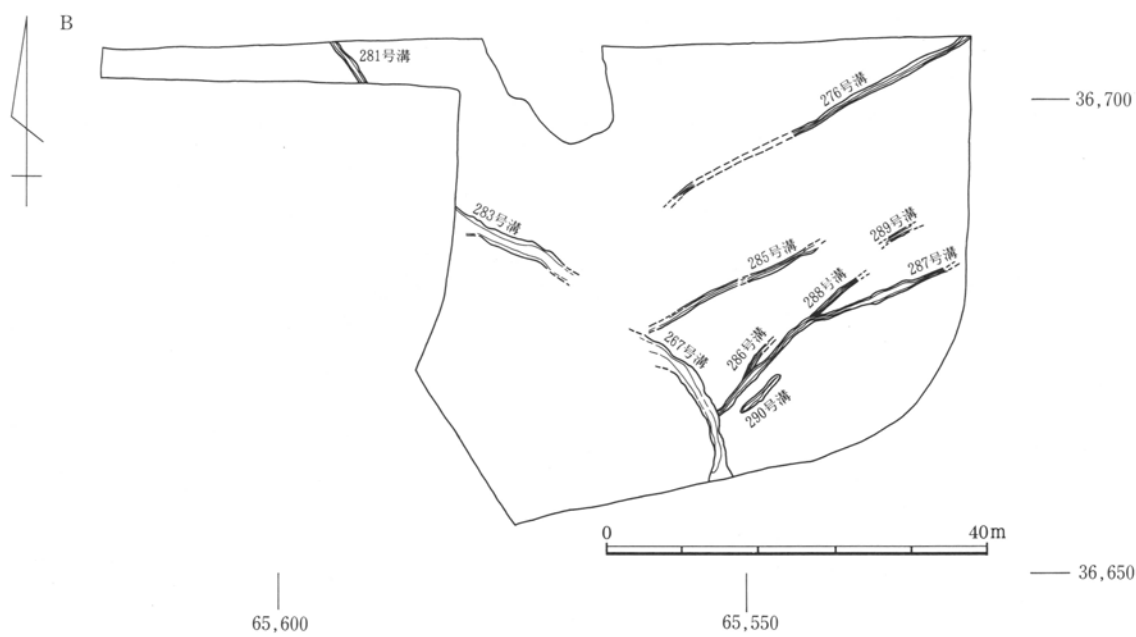
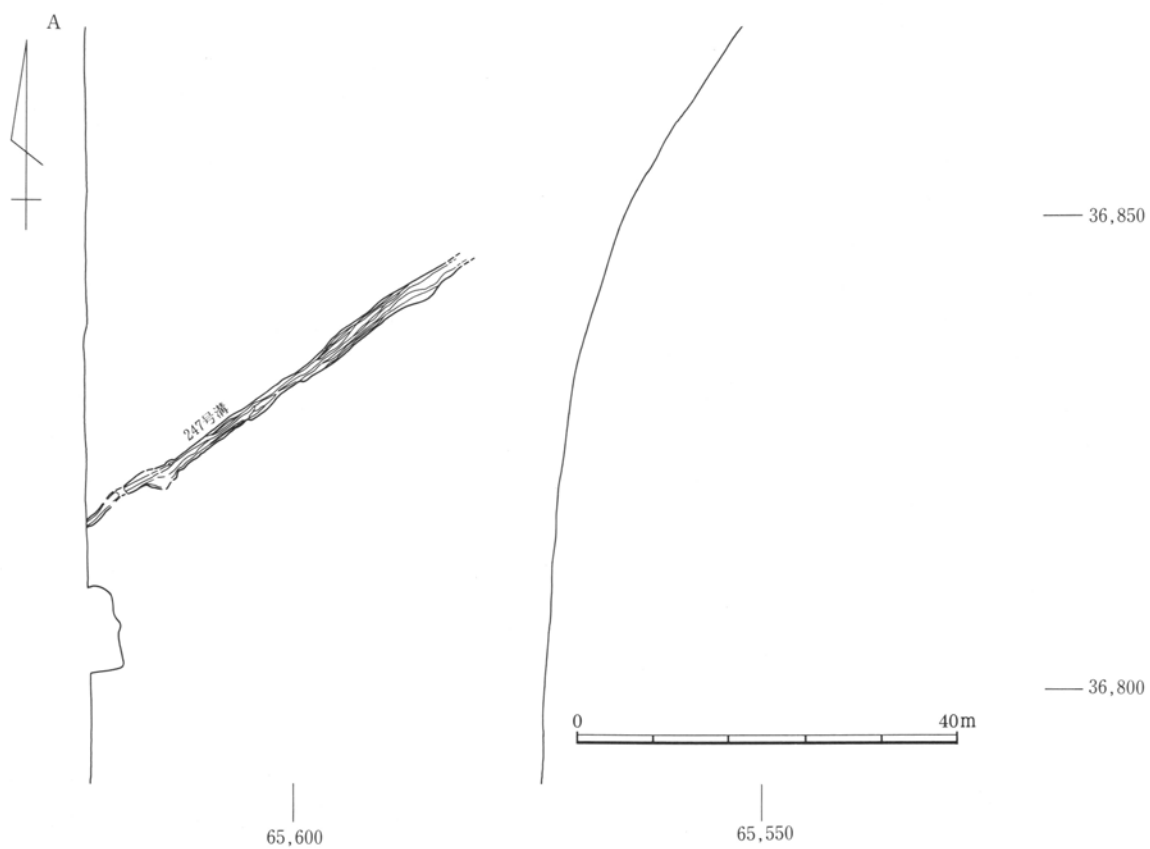
- ① 分布 調査区中部（E区）に2条検出され、他は南端部（F区）に集中している。
- ② 規模 最大幅2.30～0.30m平均1.07m、最小幅1.16～0.20m平均0.50m、深さ70～3cm平均17cmである。
- ③ 走向 北西から南東に走るもの、北東から南西に走るものがほとんどである。
- ④ 機能 247号溝は水田に隣接しており、走向も水田と同様のため、水田に伴う水路等の溝と考えられる。他の溝は性格不明であるが、267・283号溝からは多量の土器が出土しているため、集落が近辺にあった可能性が考えられる。
- ⑤ 時期 267・283号溝からは、古墳時代前期の遺物が多く出土しており、遺物の時期は4世紀後半と考えられるため、それに近い時期の溝と考えられる。他の溝は詳細な時期は不明である。

古墳時代前期溝一覧表

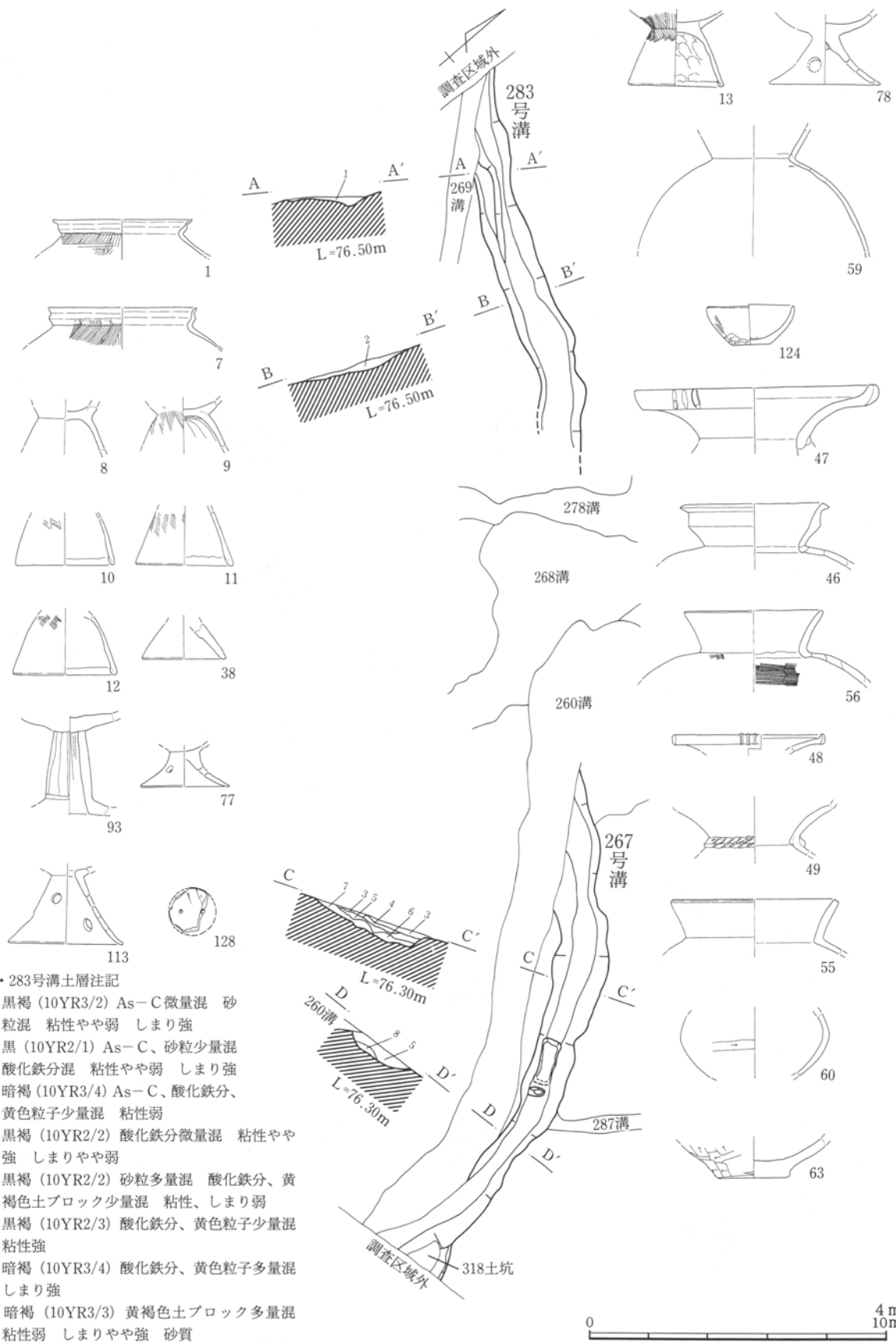
No.	位置 Gr	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向	備考
210	887～895-528～532		8.1	1.38	1.16	8	N-30°-W	
247	817～844-582～621		48.2	2.30	0.60	21	N-55°-E	水田に伴う水路か
267	659～689-551～581	287溝より新, 318土坑と重複	[43.5] (283号溝含む)	2.00	0.50	60	N-64°-W N-52°-W N-13°-W	283号溝と同一 遺物多量出土
283	681～688-569～581		[13.4]	1.75	1.15	35	N-64°-W	267号溝と同一 遺物多量出土
281	701～704-590～594		[5.58]	0.70	0.41	6	N-42°-W	
285	675～693-575～580		[19.75]	0.66	0.34	3	N-66°-E	
286	670～674-547～550	287溝より古	[12.84]	0.42	0.33	6	N-38°-E	
287	666～682-528～553	267溝より古, 286・288溝より新	[27.52]	1.02	0.24	8	N-42°-E N-70°-E	
288	677～681-537～543	287溝より古	[6.44]	0.30	0.20	7	N-52°-E	
289	683～684-532～535		[2.14]	0.42	0.35	10	N-59°-E	

古墳時代前期溝出土遺物数量表

種別 器種	縄文 器	古式土師器															石 製品	総計					
		甕				壺				高坏				器 台	埴 壇	小型 甕			その他	計			
		1	3	計	3	計	不明	計	A	B	C	計	A								B	C	計
210			4	4		0		4					0	1						6	1	7	
247		1	30	31		0		31	2	2	13	17	1	1	5	7				55		55	
250			1	1		0		1					0			0				1		1	
267・283	1	12	1221	1233	1	1	5	1240	5	36	954	995	9	14	97	120	2	12	12	2	2383	2	2386
276				0		0		0			1	1				0				1		1	
281			1	1		0		1					0			0				1		1	



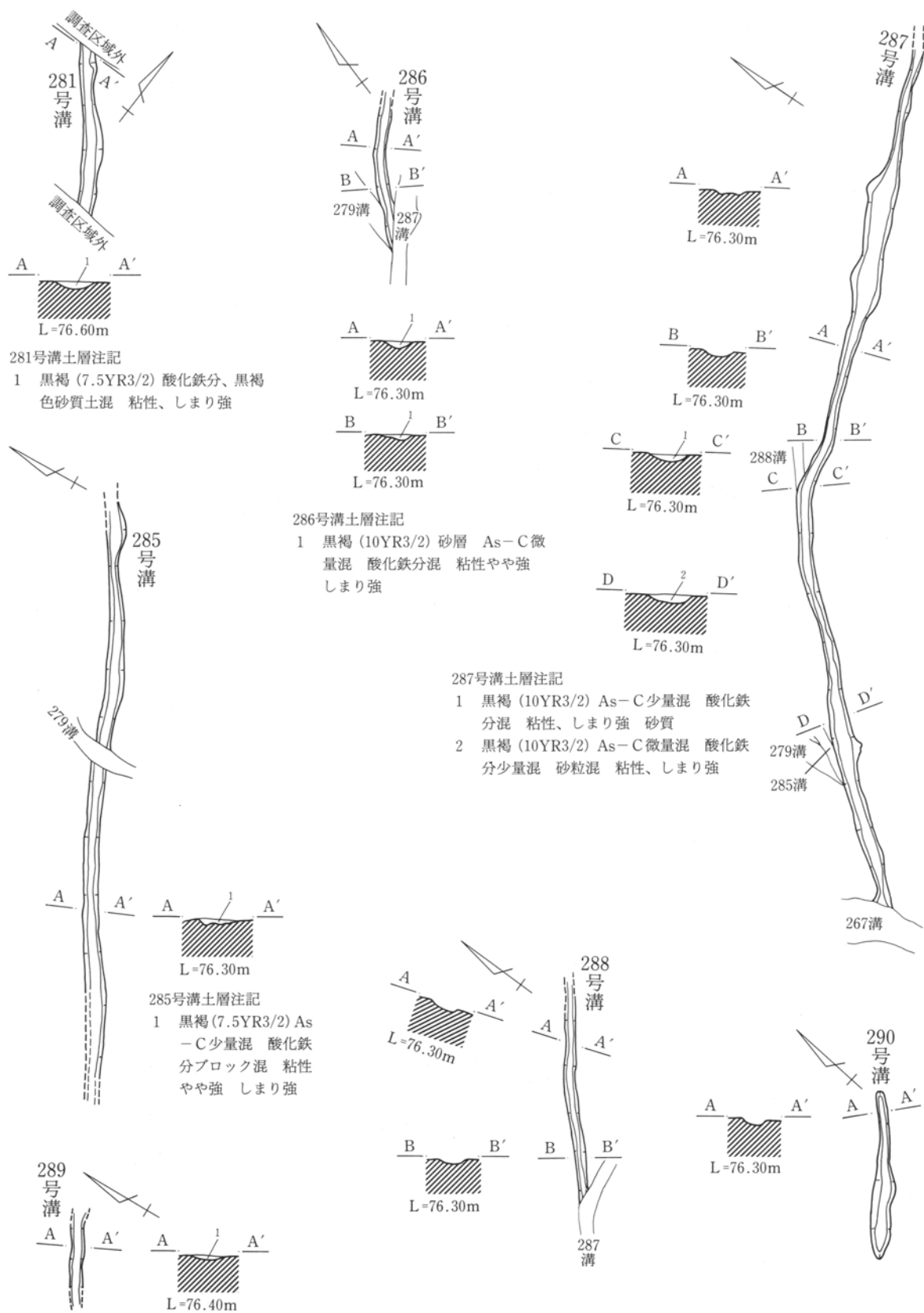
第319図 古墳時代前期溝部分位置図



267・283号溝土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-C 微量混 砂粒混 粘性やや弱 しまり強
- 2 黒 (10YR2/1) As-C、砂粒少量混 酸化鉄分混 粘性やや弱 しまり強
- 3 暗褐 (10YR3/4) As-C、酸化鉄分、黄色粒子少量混 粘性弱
- 4 黒褐 (10YR2/2) 酸化鉄分微量混 粘性やや強 しまりやや弱
- 5 黒褐 (10YR2/2) 砂粒多量混 酸化鉄分、黄褐色土ブロック少量混 粘性、しまり弱
- 6 黒褐 (10YR2/3) 酸化鉄分、黄色粒子少量混 粘性強
- 7 暗褐 (10YR3/4) 酸化鉄分、黄色粒子多量混 しまり強
- 8 暗褐 (10YR3/3) 黄褐色土ブロック多量混 粘性弱 しまりやや強 砂質

第321図 古墳時代前期溝2 (267・283号溝)



第322図 古墳時代前期溝3 (281・285~290号溝)

土坑

土坑は8基検出されている。

- ① 分布 調査区南端部（F区）に集中して検出されている。
- ② 形態 平面形態はA～Dの4形態、断面形態はa～cの3形態に分類できる。

平面形態 A 円形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）
 B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）
 C 不正形のもの

断面形態 a 底部が平らなもの
 b 底部が丸みを帯びるもの
 c 不正形のもの

平面形態は、楕円形が不確実なものも含めて4基、円形が2基、不正形が2基となっている。断面形態は底部が平らなものが6基と圧倒的に多くなっている。

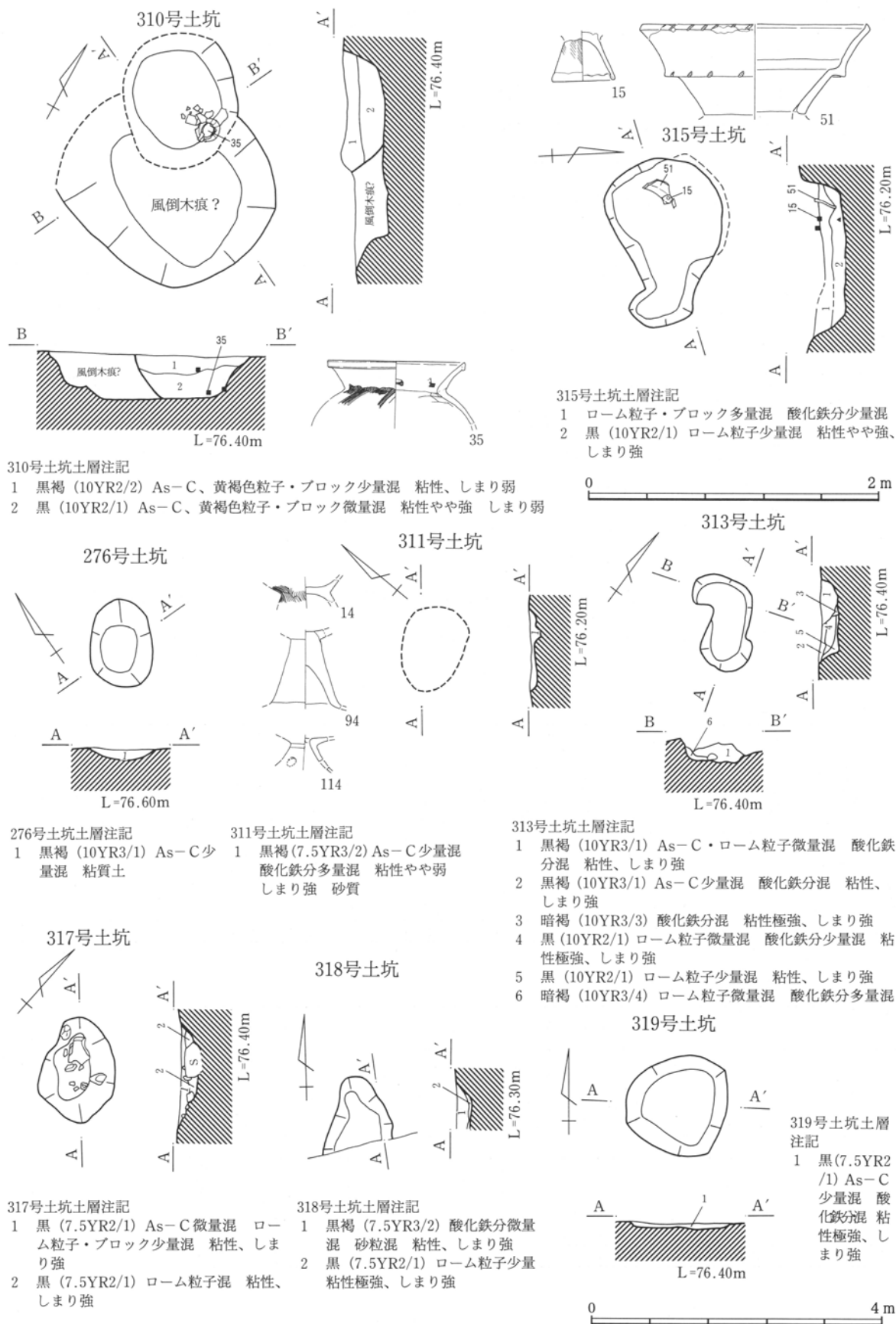
- ③ 規模 長径1.86～1.13m平均1.37m、短径1.58～0.85m平均1.06mで長径と短径の比は1.54～1.01平均1.30である。深さは31～1cm平均16cmである。面積は1.80～0.57m²平均1.04m²である。
- ④ 主軸方位 北から30°～50°のものが5基と多くなっている。
- ⑤ 機能 出土遺物が少なく、性格不明の土坑が多い。
- ⑥ 出土遺物 時期の判明する遺物が出土しているのは、3基で、310号土坑からは単口縁の甕が、311号土坑からは高坏等が、315号土坑からは有段口縁の壺等が出土している。

古墳時代前期土坑一覧表

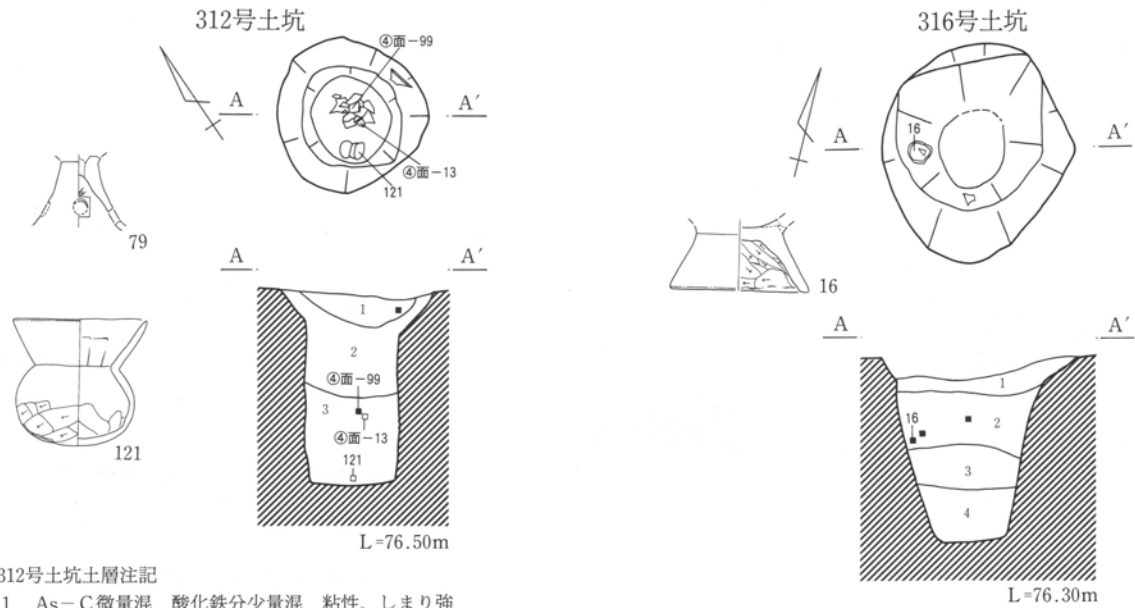
No	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
276	759～760-547～548		B	b	1.21	0.90	1.34	12	0.80	N-32°-E	
310	679～681-571～573		A	a	1.86	1.58	1.18	31	1.80	N-37°-W	風倒木?と重複
311	680～681-569～570		B?	c	1.13	0.90	1.26	14	0.85	N-47°-E	平面形は不明
313	677～678-568～569		C	a	1.31	0.85	1.54	24	0.85	N-35°-W	
315	669～670-565～566		C	a	1.17	0.85	1.38	18	0.68	N-86°-W	
317	663～664-566～568		B	a	1.48	1.06	1.40	22	1.14	N-48°-W	
318	660～661-552	267溝と重複	B?	a	[1.00]	0.97		10	0.57	N-0°	
319	683～684-577～578		A	a	1.42	1.40	1.01	1	1.60	N-90°	

古墳時代前期土坑出土遺物数量表

種別 器種	弥生 土器	古式土師器													器 台	埴 計	総計	
		甕						高坏						壺				
		A		B		計	A	C	計	A	B	C	計					
分類1	分類2	1	3	計	1	計		A	C	計	A	B	C	計				
310		1	38	39	1	1	40		2	2			2	2			44	44
311		2	89	91		0	91		29	29		1	4	5	1		126	126
312	1		15	15		0	15	1	11	12	1		2	3		1	31	32
313			22	22		0	22		4	4				0			26	26
314		1	14	15		0	15		4	4				0			19	19
315			6	6		0	6	1	3	4				0			10	10
316		1	15	16		0	16	1	8	9		1	1	2			27	27
319			8	8		0	8			0				0			8	8



第323図 古墳時代前期土坑(276・310・311・313・315・317~319号土坑)



312号土坑土層注記

- 1 As-C 微量混 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強
- 2 黒褐 (10YR3/2) 酸化鉄分混 粘性、しまり強
- 3 黒 (10YR1.7/1) 粘質土 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強

316号土坑土層注記

- 1 黒 (7.5YR2/1) As-C・酸化鉄分微量混 粘性強、しまりやや強
- 2 黒褐 (10YR3/1) 酸化鉄分多量混 粘性、しまり強
- 3 黒 (7.5YR2/1) 酸化鉄分少量混 粘性極強、しまり強
- 4 褐灰 (7.5YR4/1) 酸化鉄分多量混 粘性、しまり強

第324図 古墳時代前期井戸？(312・316号土坑)

井戸

井戸は2基検出されている。当初土坑として調査したが、調査後井戸の可能性が高くなったため、井戸として掲載するが、遺構名は変えずに土坑番号をそのまま使用している。

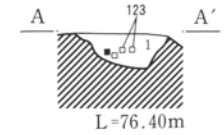
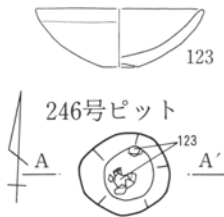
- ① 分布 調査区南端部 (F区) に存在する。
- ② 形態 平面形態はいずれも円形であるが、312号土坑は掘り鉢上に落ち込みその後ほぼ垂直に掘り込まれている。316号土坑はやや傾斜して掘り込まれる。
- ③ 規模 長径0.82~1.15m、短径0.80~1.01mで長径と短径の比は1.03~1.24である。面積は0.49~0.86㎡である。深さ100~103cmと浅く、使用されていなかった可能性もある。

古墳時代前期井戸一覧表

No.	位置 Gr	重複	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 ㎡	主軸方位	備考
312	683~684-576~577		0.82	0.80	1.03	103	0.49	N-31°-E	中上層からは古墳時代後期の遺物出土
316	668~669-552~553		1.15	1.01	1.14	100	0.86	N-8°-W	

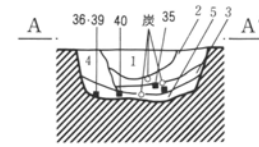
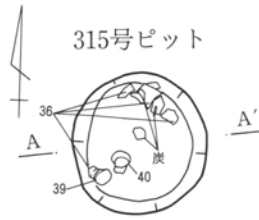
古墳時代前期井戸出土遺物数量表

種別 器種	弥生 土器	古式土師器											土師器											総計				
		甕			壺			高坏			埴	計	坏						甕				計					
		A	3	計	A	C	計	A	B	C			計	B	C	D	G	計	A	B	F	計						
分類1	1	15	15	15	1	11	12	1		2	3	1	31	1		1		0	1	1		2		1	9	10	12	44
分類2	1	15	16	16	1	8	9		1	1	2		27			0		0		0	1	1	1	1	20	22	23	50



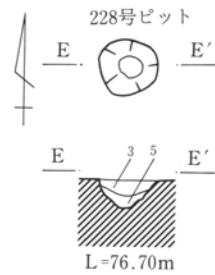
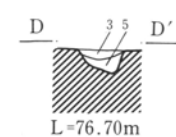
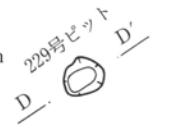
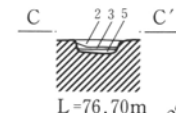
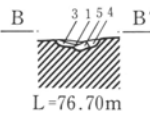
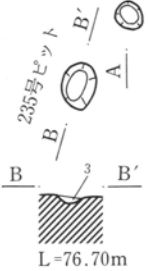
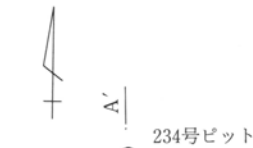
246号ピット土層注記

- 1 黒 (7.5YR2/1) ローム粒子少量混 酸化鉄分混粘性やや強 しまり強



315号ピット土層注記

- 1 黒 (7.5YR1.7/1) ローム粒子混 ロームブロック微量混 白色軽石少量混 粘性、しまり強
- 2 黒 (7.5YR2/1) ローム粒子混 白色軽石微量混 粘性、しまり強
- 3 黒 (7.5YR2/1) ローム粒子多量混 粘性、しまり強
- 4 黒 (7.5YR2/1) ローム粒子多量混 白色軽石微量混 粘性、しまり強
- 5 黒 (7.5YR1.7/1) ローム粒子少量混 炭化粒子微量混 粘性極強 しまり強



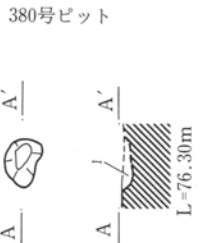
228・229・233・234・235号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/1) 粘性、しまり弱
- 2 灰黄褐 (10YR4/2) As-C、黒褐色粘質土ブロック混 粘性やや強 しまり弱
- 3 灰黄褐 (10YR4/2) As-C少量混 酸化鉄分混 粘性やや強 しまりやや弱
- 4 灰黄褐 (10YR4/2) As-C少量混 酸化鉄分混 粘性やや強 しまりやや強
- 5 黒 (10YR2/1) 粘性、しまり強



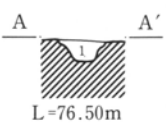
236号ピット土層注記

- 1 灰黄褐 (10YR4/2) As-C少量混 粘性、しまり弱



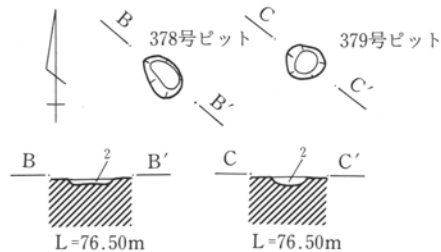
380号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-C少量混 酸化鉄分混 粘性、しまり強 砂質



377・378・379号ピット土層注記

- 1 黒 (7.5YR1.7/1) As-C微量混 酸化鉄分少量混 粘性極強、しまり強
- 2 黒 (10YR2/1) As-C少量混 酸化鉄分混 粘性、しまり強



第325図 古墳時代前期ピット (228・229・233~236・246・315・377~380)

ピット

ピットは12基検出されている。

- ① 分布 調査区南部（E区南部・F区）から検出されている。
- ② 規模 長径75～32cm平均50cm短径72～28cm平均42cm深さ32～5cm平均16cmである。
- ③ 特徴 性格は不明のものがほとんどである。252号ピットからは完形の土師器坏が数点まとめて出土しているため、意図的に埋納した可能性が高い。

古墳時代前期ピット一覧表・出土遺物数量表

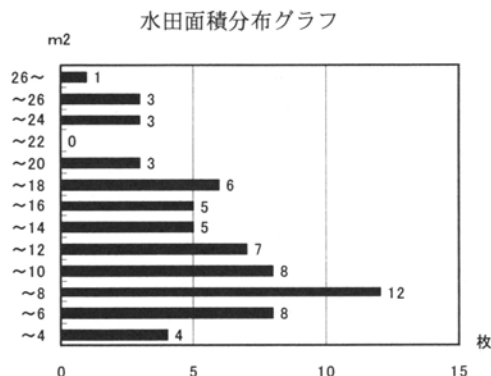
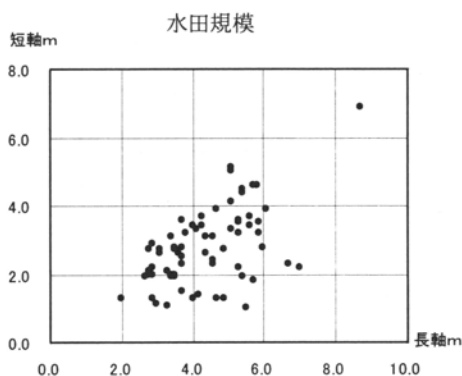
番号	位置 Gr	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置 Gr	長径 cm	短径 cm	深さ cm
229	751-592	47	38	25	315	659-567～568	75	72	27
233	753～754-594	50	42	14	377	704-593	58	51	22
234	755-595～596	32	28	6	378	705-586	50	34	5
235	754～755-596	48	36	11	379	705-585～586	42	35	8
236	735-553	36	34	6	380	685-567	50	35	11

種別 器種	古式土師器			計	総計
	甕	壺			
分類1	A				
分類2	3		C		
377	1			1	1
382	1			1	1
383		1		1	1

水田

Hr-FA下相下面下部の層には、As-Cが混入した黒色土が存在する部分があったため、Hr-FA下相下面調査終了後にAs-C混土を除去したところ、畦畔の痕跡が検出された。As-C混土を耕作土とする水田で便宜上As-C混土水田と呼ぶことにする。水田面は後世の耕作等により削平され残っていない。水田は166枚検出されている。

- ① 分布 調査区中央部・南部（E区）で検出されている。
- ② 平面形態 畦畔が直線でないものもあるため、平面形態を分類するのは難しいが、平面形の判明した（不確実なものも含む）51枚について、以下の3形態に分類した。
 - A 長方形（短軸：長軸が1：1.2以上）のもの
 - B 正方形（短軸：長軸が1：1.2未満）のもの
 - C 1辺が斜めに走る台形のもの
 A類が26枚で半数以上を占め、B類は14枚、C類は11枚で、A類が約半数となっている。
- ③ 規模 長軸10.1～1.6m平均4.6m、短軸6.9～1.0m平均2.7m、長軸と短軸の比は5.5～1.0平均1.8で、面積は55.4～2.2m²平均12.2m²であり、小区画水田といえよう。
- ④ 主軸方位 主軸方位は長軸方向とし、短辺の中点を結んだ線の北に近い方を主軸とした。主軸が南北のものが118枚、東西のものが48枚で、南北のものが2倍以上多くなっている。10°ごとの分布を見ると、N-30～40°-Wのものが47枚と最も多く、N-20～30°-Wが27枚で次に多くなっている。
- ⑤ 畦畔 畦畔は上部を削平され、下部の痕跡のみ残存する。最大幅0.9～0.4m平均0.58m、最小値0.6～0.2m平均0.38mである。



古墳時代前期水田一覧表

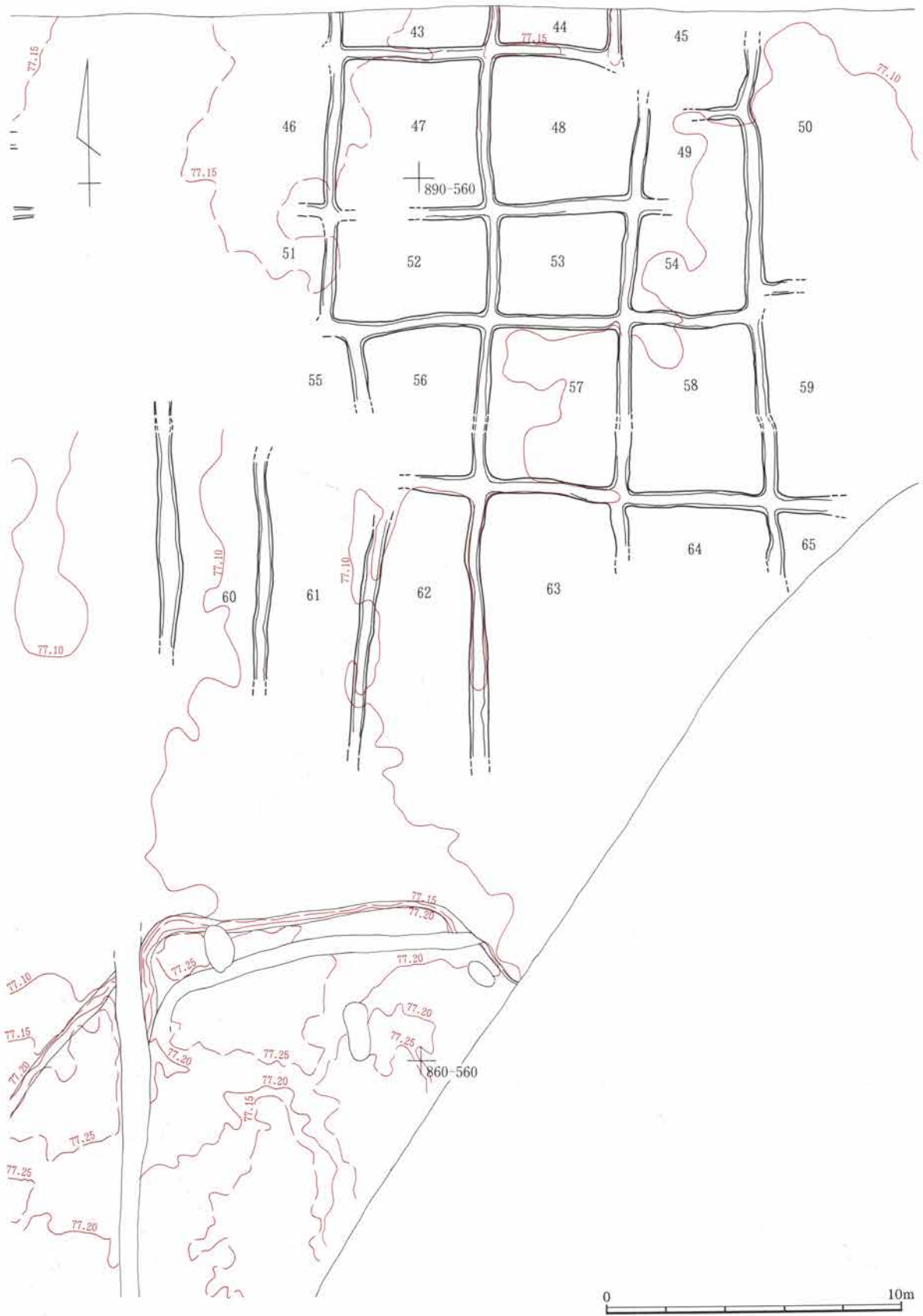
No	位置 Gr	平面 形状	長軸 m	短軸 m	長軸 / 短軸	面積 m ²	畦畔 標高 m	水田面標高		畦畔 比高 m	田面 比高 m	畦畔幅		畦畔長				主軸方位
								高 m	低 m			最大 m	最小 m	北 m	東 m	南 m	西 m	
1	890~891-583~587	?	[4.6]	[0.2]		-	77.22	77.22	77.17	0.05	0.05	0.6	0.4		[0.5]	[4.7]		N-69°-E
2	891~895-579~582	?	[4.2]	3.3		[14.6]	77.23	77.22	77.16	0.07	0.06	0.5	0.4		[4.2]	3.6	[0.7]	N-5°-W
3	894~895-576~579	?	[1.0]	2.6		[2.6]	77.23	77.20	77.18	0.05	0.02	0.5	0.3		[1.0]	2.9	[1.3]	N-13°-W
4	891~894-576~579	B	2.8	2.7	1.0	6.6	77.19	77.17	77.16	0.03	0.01	0.6	0.3	2.9	3.1	3.2	2.9	N-84°-E
5	891~895-573~576	?	[4.2]	[1.9]		-	77.19	77.19	77.14	0.05	0.05	0.6	0.4			[2.1]	[4.3]	N-10°-W
6	881~891-581~591	?	8.7	6.9	1.3	(55.4)	77.19	77.17	77.12	0.07	0.05	0.5	0.6	(9.0)	7.2	9.2	(6.2)	N-71°-E
7	889~890-579~582	A	3.3	1.1	3.1	3.1	77.19	77.17	77.14	0.05	0.03	0.6	0.3	3.6	1.4	3.7	1.4	N-83°-E
8	889~891-575~578	A	2.9	1.3	2.2	(3.0)	77.17	77.17	77.14	0.03	0.03	0.5	0.3	3.3	(1.6)	(3.3)	1.7	N-82°-E
9	884~889-578~582	A	5.1	3.3	1.5	13.8	77.16	77.14	77.11	0.05	0.03	0.5	0.2	3.5	5.2	2.9	5.4	N-9°-W
10	885~888-575~578	B	2.9	2.9	1.0	7.4	77.14	77.13	77.11	0.03	0.02	0.5	0.2	3.2	3.3	2.8	3.3	N-2°-W
11	881~891-573~575	?	10.1	[1.8]		-	77.16	77.14	77.12	0.04	0.02	0.6	0.3	[2.1]		[2.4]	(2.3)	N-2°-W
12	877~878-594~598	?	[3.6]	[0.9]		-	77.17	77.16	77.14	0.03	0.02	0.7	0.4			[3.7]	[0.9]	N-16°-W
13	880~882-589~592	?	[2.2]	[0.6]		-	77.18	77.18	77.15	0.03	0.03	0.5	0.4		[1.0]	(3.0)		N-63°-E
14	873~876-597~599	?	[2.7]	1.9		[4.4]	77.17	77.16	77.14	0.03	0.02	0.8	0.3	[2.1]	2.2	[2.9]		N-60°-E
15	870~874-596~599	?	3.8	[2.7]		[7.8]	77.16	77.14	77.13	0.03	0.01	0.7	0.3	[2.9]	2.4	[2.8]		N-36°-W
16	874~877-594~597	B	2.8	2.1	1.3	(5.5)	77.17	77.14	77.12	0.05	0.02	0.9	0.3	3.2	2.5	(3.5)	(2.6)	N-62°-E
17	876~879-591~594	C	2.8	2.0	1.4	(4.8)	77.17	77.15	77.14	0.03	0.01	0.6	0.3	3.3	(3.5)	(2.6)	(2.2)	N-55°-E
18	874~881-588~592	B	7.0	2.2	3.2	(14.0)	77.17	77.17	77.12	0.05	0.05	0.6	0.4	2.8	(7.5)	(2.3)	6.9	N-15°-W
19	875~883-584~589	C?	5.7	4.6	1.2	(25.1)	77.16	77.13	77.12	0.04	0.01	0.6	0.3	(5.0)	(6.0)	4.3	5.6	N-11°-W
20	880~884-581~584	C?	3.7	(2.5)		(9.7)	77.14	77.17	77.11	0.03	0.06	0.7	0.3	(4.0)	4.1	3.2	(3.4)	N-3°-W
21	879~884-578~581	C	4.4	2.6	1.7	9.4	77.14	77.12	77.11	0.03	0.01	0.5	0.3	2.9	4.0	2.7	4.8	N-2°-W
22	880~885-575~578	E	4.4	3.1	1.4	10.6	77.13	77.13	77.11	0.02	0.02	0.5	0.3	2.8	4.3	3.3	4.6	N-6°-W
23	866~871-592~598	E?	6.0	2.8	2.1	(10.7)	77.13	77.14	77.11	0.02	0.03	0.6	0.3	3.2	6.2	(1.1)	(6.3)	N-38°-W
24	866~875-590~595	?	6.2	[1.2]		[12.5]	77.13	77.13	77.12	0.01	0.01	0.7	0.3	[1.3]		[2.8]	6.2	N-38°-W
25	869~873-586~590	?	[5.7]	1.9		-	77.13	77.11	77.11	0.02	0	0.7	0.4	(2.3)	(1.8)	(2.4)	(2.0)	N-24°-W
26	873~875-583~588	B	4.3	3.7	1.2	11.9	77.13	77.12	77.09	0.04	0.03	0.6	0.4	4.3	3.6	4.2	3.7	N-74°-E
27	874~879-580~584	A	5.3	3.2	1.7	14.7	77.13	77.12	77.09	0.04	0.03	0.7	0.3	3.2	5.2	3.0	5.7	N-7°-W
28	878~880-578~581	C	2.0	1.3	1.5	2.2	77.11	77.09	77.06	0.05	0.03	0.5	0.3	2.3	1.8	2.2	1.2	N-68°-E
29	878~880-575~578	A?	2.7	1.9	1.4	(4.1)	77.12	77.11	77.09	0.03	0.02	0.5	0.3	3.0	[1.4]	3.2	2.2	N-74°-E
30	879~880-575	?	[1.0]	[0.6]		-	77.13	77.11	77.10	0.03	0.01	0.5	0.4	[1.2]			[1.3]	N-16°-W
31	865~866-592	?	[0.7]	[0.4]		-	77.13	77.11	77.10	0.03	0.01	0.5	0.5	[0.7]	[1.0]			N-33°-W
32	866~868-590~592	?	[2.7]	[0.5]		-	77.13	77.11	77.11	0.02	0	0.6	0.5	[2.9]			[0.8]	N-50°-E
33	870~873-583~587	A?	3.7	2.8	1.3	(9.4)	77.13	77.11	77.08	0.05	0.03	0.6	0.4	4.2	3.3	(3.7)	(3.2)	N-70°-E
34	870~874-579~583	B	3.4	3.1	1.1	9.5	77.11	77.08	77.06	0.05	0.02	0.7	0.4	3.0	3.8	3.6	3.8	N-16°-W
35	871~878-578~580	A?	6.7	2.3	2.9	[14.3]	77.11	77.07	77.06	0.05	0.01	0.7	0.3	2.2	(6.8)	[1.0]	7.2	N-10°-W
36	877~878-577~578	?	[0.7]	[0.5]		-	77.11	77.09	77.07	0.04	0.02	0.5	0.3	[1.1]			[0.7]	N-80°-E
37	867~870-582~586	B	3.1	2.7	1.1	(8.0)	77.12	77.07	77.07	0.05	0	0.6	0.4	(3.7)	3.1	3.2	(3.4)	N-72°-E
38	867~871-579~582	B	3.1	2.6	1.2	7.4	77.09	77.09	77.06	0.03	0.03	0.5	0.4	3.5	2.9	3.3	2.9	N-68°-E
39	868~871-576~579	?	[2.1]	2.2		[4.6]	77.09	77.08	77.08	0.01	0	0.5	0.4	[1.1]		[2.6]	2.7	N-76°-E

No	位置 Gr	平面 形状	長軸 m	短軸 m	長軸 / 短軸	面積 m ²	畦畔 標高 m	水面標高		畦畔 比高 m	田面 比高 m	畦畔幅		畦畔長				主軸方位	
								高 m	低 m			最大 m	最小 m	北 m	東 m	南 m	西 m		
40	865~866-584~585	?	[2.6]	-		-	77.12	77.10	77.05	0.07	0.05	0.6	0.4				[3.0]	N-20°-W	
41	862~867-580~586	?	[5.2]	2.6		[13.8]	77.12	77.07	77.05	0.07	0.02	0.6	0.3	3.3	[5.3]		[3.0]	N-23°-W	
42	862~867-579~581	?	[4.9]	2.6		-	77.09	77.06	77.04	0.05	0.02	0.5	0.3	(3.3)			[5.3]	N-21°-W	
43	894~895-557~562	?	5.1	[1.4]		[6.6]	77.17	77.16	77.13	0.04	0.03	0.5	0.3		[1.6]	5.3	[1.4]	N-88°-E	
44	894~895-553~557	?	3.8	[1.4]		[4.5]	77.16	77.13	77.12	0.04	0.01	0.5	0.3		[1.7]	4.2	[1.6]	N-86°-W	
45	892~895-548~553	?	4.3	[3.3]		[13.1]	77.16	77.14	77.11	0.05	0.03	0.5	0.4		[2.7]	(3.4)	(3.9)	N-85°-W	
46	889~893-563	?	[4.5]	[0.6]		-	77.17	77.15	77.12	0.05	0.03	0.5	0.4		5.3	[0.9]		N-3°-E	
47	889~894-557~563	B	5.1	5.0	1.0	23.4	77.17	77.16	77.12	0.05	0.04	0.5	0.4	5.3	5.3	5.6	5.3	N-87°-E	
48	889~894-552~557	B	5.1	5.1	1.0	22.7	77.16	77.13	77.13	0.03	0	0.6	0.4	(5.5)	(4.3)	5.0	5.3	N-0°	
49	889~891-548~552	A	3.5	2.7	1.3	(8.5)	77.14	77.11	77.10	0.04	0.01	0.6	0.4	(3.4)	(3.3)	(4.2)	(3.2)	N-86°-E	
50	886~894-547~548	?	[8.2]	[1.0]		-	77.12	77.10	77.09	0.03	0.01	0.6	0.4			[1.4]	[8.4]	N-1°-E	
51	885~888-563	?	[3.3]	[0.7]		-	77.14	77.15	77.12	0.02	0.03	0.5	0.4	[0.9]	[3.8]			N-5°-E	
52	885~888-557~562	A	5.3	3.5	1.5	(17.3)	77.14	77.13	77.12	0.02	0.01	0.5	0.4	5.6	3.7	5.6	3.8	N-87°-E	
53	885~888-552~557	A	4.3	3.4	1.3	14.2	77.14	77.11	77.11	0.03	0	0.6	0.4	5.0	3.6	4.7	3.7	N-90°	
54	885~888-548~552	B	4.0	3.4	1.2	(12.3)	77.14	77.11	77.07	0.07	0.04	0.7	0.4	(4.2)	(3.8)	4.4	4.0	N-88°-E	
55	882~884-562~563	?	[1.3]	[0.7]		-	77.14	77.14	77.11	0.03	0.03	0.6	0.5	[1.2]	(5.2)			N-10°-W	
56	879~885-557~562	C	5.1	4.1	1.2	(17.3)	77.14	77.14	77.11	0.03	0.03	0.6	0.4	4.7	5.6	(3.4)	(5.2)	N-8°-W	
57	879~885-553~557	B	5.4	4.5	1.2	22.7	77.14	77.11	77.09	0.05	0.02	0.6	0.3	4.7	6.0	4.9	5.6	N-2°-E	
58	879~885-548~552	A	5.8	4.6	1.3	24.5	77.11	77.09	77.07	0.04	0.02	0.6	0.4	4.4	6.3	5.2	6.0	N-2°-W	
59	879~886-545~548	?	6.9	[1.8]		[14.6]	77.09	77.09	77.07	0.02	0.02	0.6	0.3	[1.4]		[2.2]	7.4	N-4°-W	
60	872~882-566~568	?	[9.5]	2.8		[25.6]	77.13	77.11	77.10	0.03	0.01	0.9	0.4		[7.6]		[7.3]	N-1°-E	
61	870~880-561~565	?	[9.7]	3.4		[30.8]	77.13	77.14	77.12	0.01	0.02	0.6	0.4	(4.5)	(9.3)		[7.6]	N-5°-E	
62	870~879-558~562	?	[9.1]	3.8		[29.5]	77.12	77.14	77.07	0.05	0.07	0.7	0.4	(3.2)	[9.2]		(9.3)	N-8°-E	
63	870~879-553~558	?	[9.0]	4.6		[40.0]	77.11	77.09	77.07	0.04	0.02	0.7	0.4	4.9	[2.1]		[9.2]	N-2°-E	
64	877~879-547~552	?	[1.9]	4.9		[8.5]	77.09	77.09	77.07	0.02	0.02	0.6	0.4	5.2	[2.5]		[2.1]	N-2°-W	
65	876~878-545~547	?	[2.4]	1.9		[4.2]	77.09	77.08	77.08	0.01	0	0.6	0.4	[2.2]				N-4°-W	
66	860~862-592~598	?	[5.0]	[2.9]		-	77.13	77.11	77.10	0.03	0.01	0.5	0.4			[3.5]		N-67°-W	
67	857~861-587~596	?	[8.5]	[3.1]		-	77.11	77.08	77.03	0.08	0.05	0.6	0.4	[3.5]		(9.5)	(3.4)	N-66°-E	
68	852~859-595~599	?	5.5	[5.1]		-	77.11	77.08	77.03	0.08	0.05	0.5	0.4	[0.6]	5.9	[5.4]		N-19°-W	
69	855~860-585~592	?	[5.8]	3.7		[19.7]	77.09	77.05	77.01	0.08	0.04	0.6	0.4	(9.5)	4.0	(9.5)	(1.9)	N-64°-W	
70	856~860-583~856	?	[3.4]	[1.7]		-	77.09	77.07	77.02	0.07	0.05	0.6	0.4			[2.1]	[3.8]	N-20°-W	
71	846~849-603~605	?	[2.8]	1.7		-	77.04	77.04	77.02	0.02	0.02	0.7	0.5		[2.8]	[2.0]		N-24°-W	
72	847~851-598~603	?	4.9	(2.7)		(17.2)	77.07	77.03	77.02	0.05	0.01	0.6	0.4		4.2	5.4	[2.8]	N-69°-E	
73	849~854-593~598	A	4.7	3.9	1.2	17.1	77.07	77.04	77.02	0.05	0.02	0.6	0.4	5.3	4.0	5.2	4.0	N-67°-E	
74	844~846-602~604	?	[1.4]	[2.3]		-	77.04	77.01	77.01	0.03	0	0.7	0.4	[2.0]	[2.5]			N-68°-E	
75	844~848-597~602	?	5.0	[3.7]		[16.3]	77.04	77.02	77.01	0.03	0.01	0.6	0.4	5.4	[4.0]		[2.5]	N-70°-E	
76	845~850-591~597	B	5.0	4.9	1.0	[23.0]	77.04	77.02	77.00	0.04	0.02	0.7	0.3	5.2	5.5	(5.4)	(5.2)	N-65°-E	
77	855~856-586~587	?	[2.7]	[0.5]		-	77.04	77.03	77.00	0.04	0.03	0.7	0.4	[2.9]	[1.6]			N-64°-E	
78	856~857-583~584	?	[1.7]	[0.7]		-	77.04	77.00	76.98	0.06	0.02	0.7	0.4	[1.9]			[1.6]	N-64°-E	
79	838~844-595~598	?	[4.4]	[2.6]		[17.5]	76.99	76.99	76.95	0.04	0.04	0.6	0.4		(4.5)	[4.2]		N-53°-E	
80	839~844-590~595	?	[4.4]	4.3		[18.1]	76.99	76.96	76.93	0.06	0.03	0.9	0.4	(5.4)	(4.7)		(4.5)	N-5°-W	
81	837~839-595~598	?	[3.0]	[0.5]		-	76.96	76.95	76.92	0.04	0.03	0.9	0.5	[3.5]	[1.8]			N-56°-E	
82	841~844-590	?	[3.5]	-		-	76.96	76.96	76.95	0.01	0.01	0.6	0.5				[3.4]	N-4°-W	
83	834~835-591~592	?	[1.6]	[0.6]		-	76.91	76.90	76.89	0.02	0.01	0.6	0.5		[1.2]	[0.5]		N-30°-W	
84	834~836-590~592	?	[2.3]	[0.9]		-	76.91	76.90	76.88	0.03	0.02	0.6	0.5			[1.2]	[2.0]	N-29°-W	
85	825~827-580~581	?	[2.0]	1.4		[3.0]	76.92	76.91	76.90	0.02	0.01	0.5	0.4		[2.4]	1.8		N-38°-W	
86	826~827-579~580	?	[1.8]	[0.6]		-	76.92	76.91	76.91	0.01	0	0.5	0.4				[0.7]	[2.4]	N-35°-W
87	830~573~574	?	[0.8]	[0.5]		-	76.92	76.90	76.90	0.02	0	0.5	0.4	[0.6]	[0.8]			N-42°-W	
88	830~831-572~574	?	[0.6]	1.3		-	76.92	76.89	76.89	0.03	0	0.5	0.4	[1.5]			[0.8]	N-44°-W	
89	821~825-576~580	?	4.9	1.3	3.8	-	76.92	76.91	76.90	0.02	0.01	0.5	0.4	1.8	[0.5]		[0.4]	N-43°-W	
90	822~826-574~579	?	4.6	(3.1)	(1.5)	-	76.92	76.90	76.89	0.03	0.01	0.5	0.4	(0.7)			[0.5]	N-34°-W	
91	820~821-576~577	?	[1.0]	[1.4]		-	76.89	76.86	76.86	0.03	0	0.5	0.4	[1.5]	[1.3]			N-45°-W	
92	821~823-574~576	?	[1.1]	2.2		-	76.89	76.86	76.86	0.03	0	0.6	0.5	1.6	[0.6]		[1.3]	N-33°-W	
93	823-574	?	[1.1]	-		-	76.89	76.87	76.87	0.02	0	0.5	0.4			[0.5]	[1.1]	N-21°-W	
94	778~781-580~582	?	[1.0]	[2.8]		-	76.71	76.68	76.66	0.05	0.02	0.6	0.4	[1.4]	3.0	[0.4]		N-59°-E	
95	779~7781-577~581	?	3.7	(2.3)	(1.6)	(8.4)	76.72	76.70	76.66	0.06	0.04	0.6	0.4		[0.9]	4.2	3.0	N-60°-E	
96	781~782-576~577	?	[0.6]	1.3		-	76.72	76.72	76.69	0.03	0.03	0.5	0.4		[1.0]	1.8	[0.9]	N-28°-W	
97	782~783-575	?	[0.6]	[0.5]		-	76.72	76.72	76.72	0	0	0.6	0.4			[2.3]	[1.0]	N-36°-W	
98	762~767-593~597	?	(3.7)	3.6		(14.5)	76.64	76.65	76.61	0.03	0.04	0.8	0.4		4.2	4.3	[1.0]	N-56°-E	

No	位置 Gr	平面 形状	長軸 m	短軸 m	長軸 ／ 短軸	面積 m ²	畦畔 標高 m	水田面標高		畦畔 比高 m	田面 比高 m	畦畔幅		畦畔長				主軸方位
								高 m	低 m			最大 m	最小 m	北 m	東 m	南 m	西 m	
99	763~769-590~595	A	5.9	3.2	1.8	17.4	76.66	76.67	76.60	0.06	0.07	0.7	0.3	3.6	5.8	3.6	6.3	N-27°-W
100	765~771-588~592	A	5.3	2.2	2.4	10.9	76.66	76.62	76.62	0.04	0	0.7	0.3	2.7	5.6	2.6	5.3	N-30°-W
101	767~773-585~590	?	5.6	(3.4)		(16.2)	76.68	76.64	76.61	0.07	0.03	0.7	0.3	5.7		[2.8]	5.6	N-25°-W
102	771~778-578~581	?	5.6	[3.7]		[16.5]	76.69	76.68	76.65	0.04	0.03	0.7	0.5	[0.8]	6.2	[3.0]		N-27°-W
103	773~779-575~580	C?	5.6	3.7	1.5	(12.5)	76.69	76.66	76.66	0.03	0	0.6	0.3	(2.5)	(5.9)	3.2	6.2	N-25°-W
104	774~780-574~577	A?	5.4	1.9	2.8	(10.8)	76.72	76.68	76.66	0.06	0.02	0.5	0.3	(2.0)	(5.9)	(2.3)	(5.9)	N-34°-W
105	776~781-573~576	A?	(5.5)	1.0	(5.5)	(5.7)	76.72	76.71	76.67	0.05	0.04	0.5	0.4	1.5	(3.2)		(1.4)	N-30°-W
106	779~783-573~575	?	[3.2]	[2.1]		-	76.71	76.69	76.67	0.04	0.02	0.6	0.4	[2.3]	(3.2)			N-34°-W
107	751~753-599~602	?	[0.6]	2.4		-	76.64	76.63	76.63	0.01	0	0.5	0.4		[1.4]	(2.8)	[0.4]	N-41°-W
108	752~755-597~599	?	[2.3]	2.3		[4.6]	76.64	76.62	76.62	0.02	0	0.5	0.4		[2.3]	2.3	[1.4]	N-40°-W
109	754~761-593~595	?	(5.4)	4.4		(25.2)	76.63	76.64	76.62	0.01	0.02	0.6	0.4		6.2	(4.9)	[2.3]	N-41°-W
110	757~764-590~597	C	6.1	3.9	1.6	(19.3)	76.62	76.61	76.58	0.04	0.03	0.6	0.3	4.4	6.5	(3.3)	6.2	N-31°-W
111	759~764-587~592	C	4.1	3.3	1.2	(13.6)	76.63	76.62	76.61	0.02	0.01	0.5	0.3	3.6	4.5	(4.0)	(4.6)	N-28°-W
112	761~766-585~589	A	4.6	2.4	1.9	10.5	76.63	76.64	76.61	0.02	0.03	0.7	0.3	2.8	4.7	3.0	5.2	N-30°-W
113	763~767-582~588	A	[4.1]	2.6		[9.2]	76.63	76.63	76.62	0.01	0.01	0.7	0.3	3.2	(4.5)	(2.6)	4.8	N-29°-W
114	769~771-579~770	?	[2.0]	[1.0]		-	76.68	76.65	76.63	0.05	0.02	0.5	0.4	(6.3)	(4.3)	(6.6)	(4.7)	N-27°-W
115	768~772-577~579	A	4.0	1.3	3.1	(4.8)	76.69	76.65	76.64	0.05	0.01	0.5	0.4	1.7	(4.2)	(1.8)	(4.3)	N-30°-W
116	769~773-575~578	A	4.7	1.3	3.6	(4.3)	76.69	76.66	76.65	0.04	0.01	0.5	0.4	(1.4)	(4.5)	(1.3)	(4.2)	N-29°-W
117	751~753-596~600	?	[4.0]	[2.9]		-	76.64	76.63	76.60	0.04	0.03	0.5	0.4	[4.1]	(4.6)			N-57°-W
118	750~755-593~597	?	4.5	[2.8]		[13.4]	76.63	76.60	76.60	0.03	0	0.5	0.4	[2.6]		[1.2]	(4.6)	N-35°-W
119	752~758-589~593	?	5.6	[2.7]		[19.5]	76.61	76.60	76.58	0.03	0.02	0.6	0.3	[3.0]	(5.8)	[2.3]		N-36°-W
120	754~760-584~589	C	5.9	3.5	1.7	(19.8)	76.63	76.60	76.56	0.07	0.04	0.6	0.3	(3.9)	6.4	4.0	(5.8)	N-31°-W
121	756~762-580~587	?	5.6	[3.4]		[13.0]	76.63	76.61	76.59	0.04	0.02	0.6	0.4	2.8	(6.2)	(3.1)	5.9	N-40°-W
122	766~769-591~595	?	3.6	[2.3]		-	76.63	76.62	76.61	0.02	0.01	0.5	0.4	(3.5)	(3.7)	(3.6)	(4.0)	N-31°-W
123	768~770-568~570	?	[3.1]	2.9		-	76.62	76.61	76.61	0.01	0	0.5	0.4	(2.6)	(4.2)	(3.2)	(3.4)	N-39°-W
124	768~771-566~570	?	(3.7)	1.5		(6.1)	76.62	76.63	76.61	0.01	0.02	0.5	0.4		[0.8]	2.0	(4.2)	N-37°-W
125	569~775-564~568	?	6.4	[1.7]		-	76.66	76.64	76.61	0.05	0.03	0.5	0.5		(7.0)	(2.2)	[0.8]	N-34°-W
126	772~776-565~568	?	[4.2]	1.5		-	76.66	76.66	76.64	0.02	0.02	0.6	0.5	[1.7]			(7.0)	N-38°-W
127	746~750-590~594	?	4.6	2.3	2.0	(8.8)	76.59	76.57	76.56	0.03	0.01	0.4	0.4	(2.1)	(5.0)	(2.9)	(5.2)	N-36°-W
128	751~754-583~589	?	[3.8]	[3.9]		[26.2]	76.59	76.59	76.58	0.01	0.01	0.6	0.4	(8.2)	[3.8]		(5.0)	N-32°-W
129	751~755-582~585	?	[3.5]	1.9		(5.3)	76.59	76.56	76.53	0.06	0.03	0.5	0.4	2.3	3.6	(2.1)	(3.4)	N-35°-W
130	753~755-581~583	A	3.6	2.6	1.4	6.6	76.58	76.58	76.56	0.02	0.02	0.7	0.4	2.8	4.0	2.5	3.8	N-31°-W
131	754~758-578~581	A	3.3	2.1	1.6	(7.2)	76.62	76.59	76.56	0.06	0.03	0.6	0.4	(2.3)	(3.7)	2.8	4.0	N-30°-W
132	756~757-575~578	?	[2.2]	[1.9]		-	76.62	76.60	76.60	0.02	0	0.6	0.4		[2.1]	[2.7]		N-29°-W
133	765~766-570~573	?	[1.3]	[2.2]		-	76.63	76.62	76.60	0.03	0.02	0.5	0.3	[2.4]	[1.8]			N-30°-W
134	764~766-566~570	?	3.8	3.2	1.2	(10.5)	76.64	76.62	76.61	0.03	0.01	0.5	0.3	(3.3)	(3.7)	(3.4)	(3.9)	N-25°-W
135	765~768-564~567	?	(3.4)	1.9	(1.8)	-	76.62	76.62	76.60	0.02	0.02	0.5	0.3	2.9	(1.5)			N-33°-W
136	765~770-562~566	A	3.5	2.0	1.8	(6.7)	76.62	76.61	76.60	0.02	0.01	0.5	0.4	2.5	(3.5)	(2.3)	(3.5)	N-36°-W
137	769~770-562~564	?	(1.6)	[1.2]		-	76.63	76.60	76.58	0.05	0.02	0.6	0.4			(2.2)		N-39°-W
138	751~753-579~581	?	[1.9]	1.8		[3.3]	76.59	76.58	76.54	0.05	0.04	0.7	0.4	2.4	[2.3]		[2.9]	N-35°-W
139	751~755-576~579	C	3.5	2.8	1.3	(7.7)	76.59	76.58	76.56	0.03	0.02	0.5	0.4	2.6	3.6	(2.6)	(3.8)	N-37°-W
140	753~756-574~576	?	2.8	[2.1]		[6.1]	76.57	76.57	76.57	0	0	0.6	0.4	[2.3]		[2.2]	3.6	N-35°-W
141	762~764-565~568	?	[2.6]	[2.0]		-	76.64	76.62	76.60	0.04	0.02	0.5	0.3	(3.4)	[2.5]			N-33°-W
142	760~766-560~565	?	[6.7]	2.0		-	76.62	76.60	76.59	0.03	0.01	0.5	0.3	(1.8)	[9.9]		[4.0]	N-37°-W
143	763~767-560~563	?	[4.0]	2.0		-	76.62	76.60	76.59	0.03	0.01	0.5	0.4	(2.3)	(4.0)	(2.6)	(4.2)	N-39°-W
144	764~769-558~563	A	5.7	1.8	3.2	(9.5)	76.63	76.62	76.57	0.06	0.05	0.5	0.4	2.2	(6.0)	(2.0)	(6.2)	N-36°-W
145	748~752~575~577	?	[2.7]	2.2		[6.5]	76.57	76.56	76.55	0.02	0.01	0.6	0.4	(2.6)	[1.7]		[2.8]	N-35°-W
146	751~753-573~575	?	(1.3)	2.8		-	76.57	76.55	76.55	0.02	0	0.6	0.5	(3.1)			[1.8]	N-40°-W
147	760~763-558~561	?	[2.9]	2.0	(1.5)	-	76.62	76.60	76.57	0.05	0.03	0.5	0.4	(2.5)	(2.2)		(3.5)	N-36°-W
148	762~764-557~559	?	[1.7]	1.6		-	76.58	76.57	76.54	0.04	0.03	0.5	0.4	(2.0)	[0.4]		[1.8]	N-35°-W
149	760~761-530~533	?	[2.2]	[0.6]		-	76.57	76.56	76.55	0.02	0.01	0.5	0.4			[2.6]	[1.0]	N-3°-E
150	759~761-530~533	?	[2.4]	[1.1]		-	76.57	76.55	76.54	0.03	0.01	0.5	0.4	[2.6]			[1.6]	N-66°-E
151	744~747-607~608	?	[2.3]	[2.5]		-	76.62	76.62	76.61	0.01	0.01	0.5	0.3	[2.7]		[0.5]	[2.9]	N-60°-E
152	748~749-602~603	?	[1.2]	-		-	76.63	76.62	76.62	0.01	0	0.5	0.4	[1.2]				N-59°-E
153	724~729-606~613	?	4.8	[4.3]		[20.0]	76.56	76.54	76.53	0.03	0.01	0.6	0.4	(4.7)	5.2	[2.1]		N-33°-W
154	726~731-603~609	A?	5.3	3.6	1.5	(19.0)	76.56	76.55	76.51	0.05	0.04	0.6	0.4	(4.2)	(5.5)	(4.0)	5.8	N-43°-W
155	728~729-602~603	?	[1.4]	[0.4]		-	76.53	76.54	76.52	0.01	0.02	0.6	0.4			[1.0]	(5.5)	N-40°-W
156	724~725-604~607	?	[1.9]	[2.3]		-	76.54	76.52	76.51	0.03	0.01	0.6	0.5	[2.2]	[2.2]			N-37°-W
157	725~727-602~604	?	[1.0]	3.2		-	76.53	76.52	76.51	0.02	0.01	0.6	0.4	(0.4)	[1.3]		[1.5]	N-39°-W



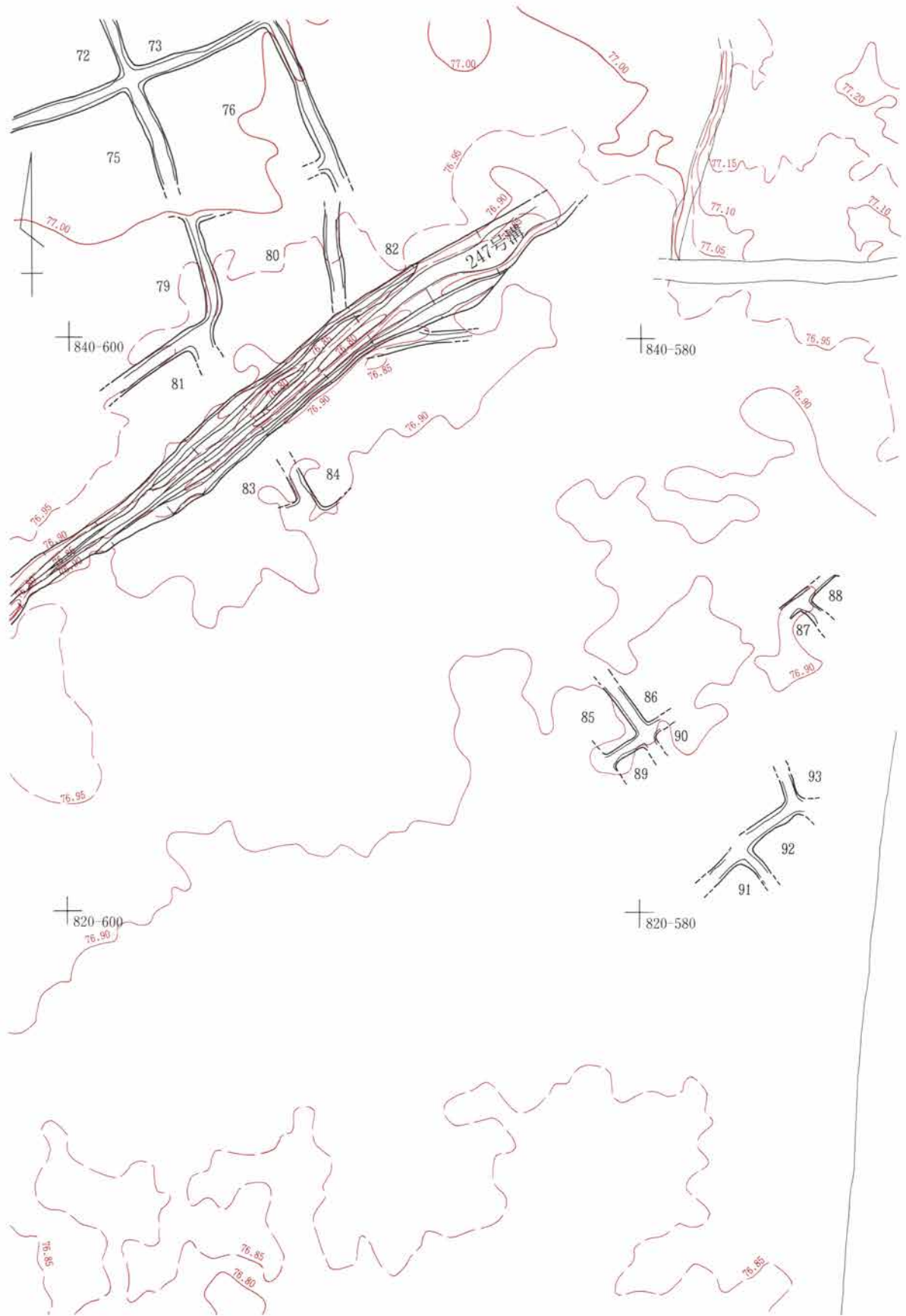
第326図 As-C 混土水田 1



第327図 As-C混土水田 2

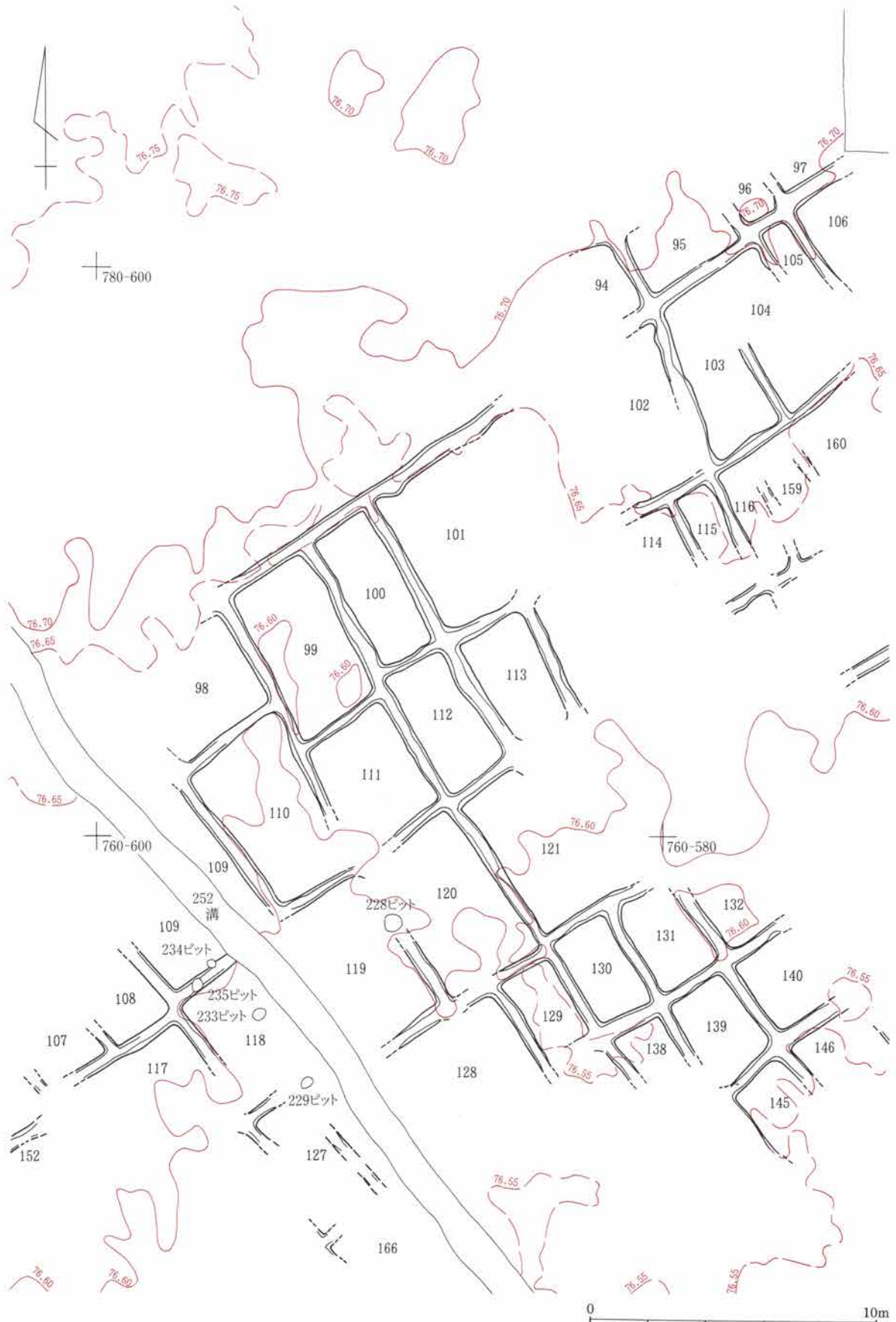


第328図 As-C 混土水田 3

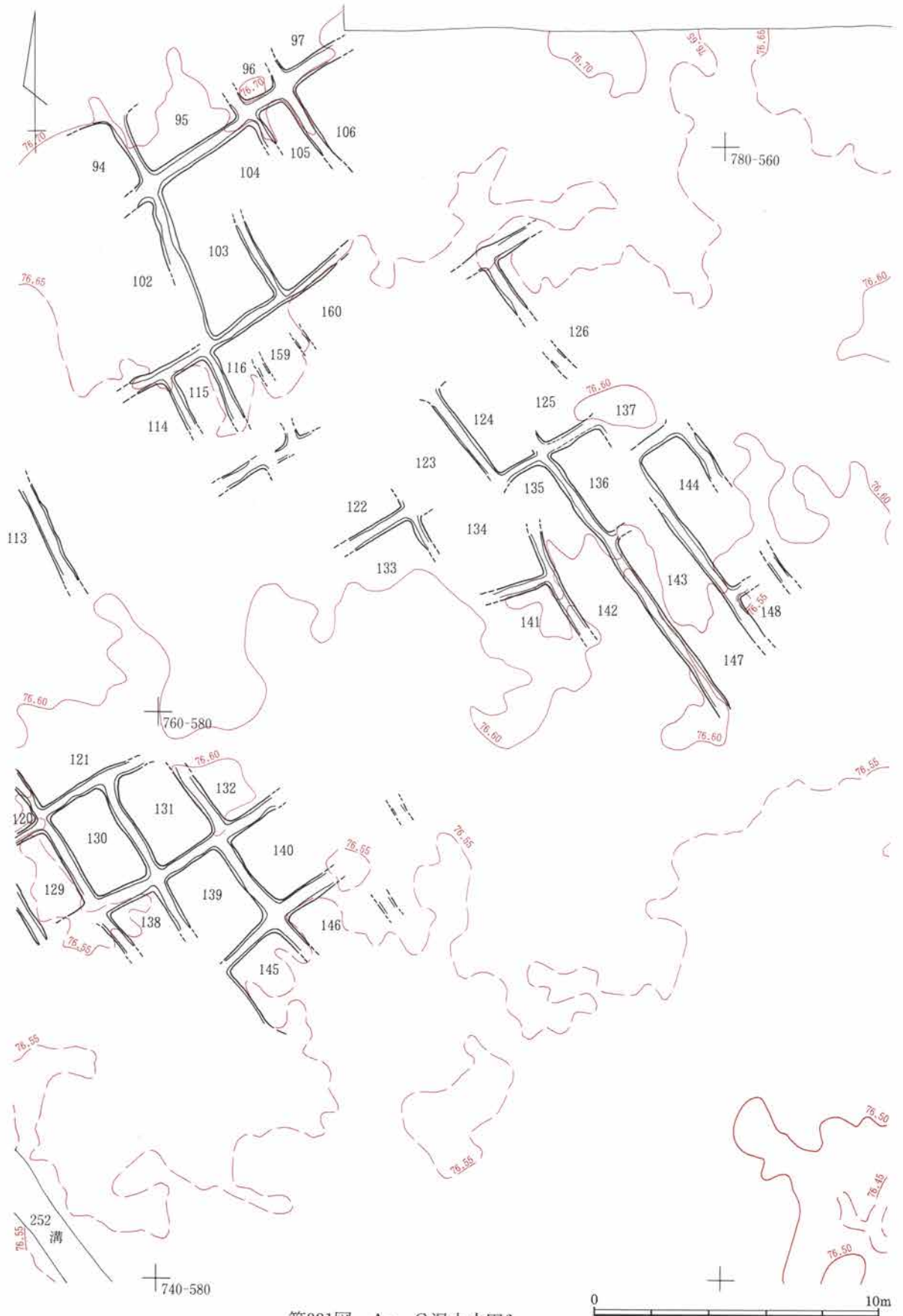


第329図 As-C 混土水田 4

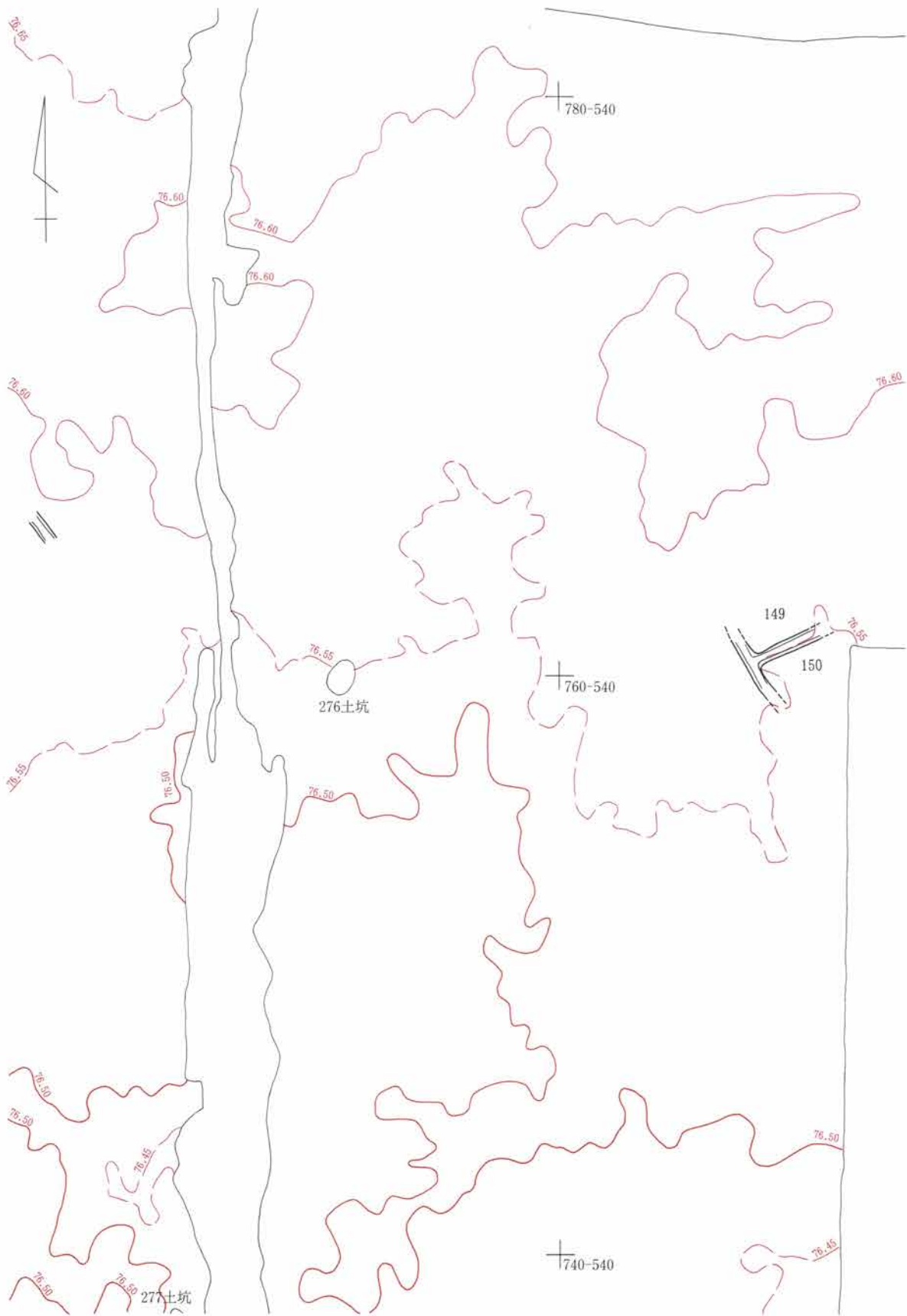




第330図 As-C 混土水田 5

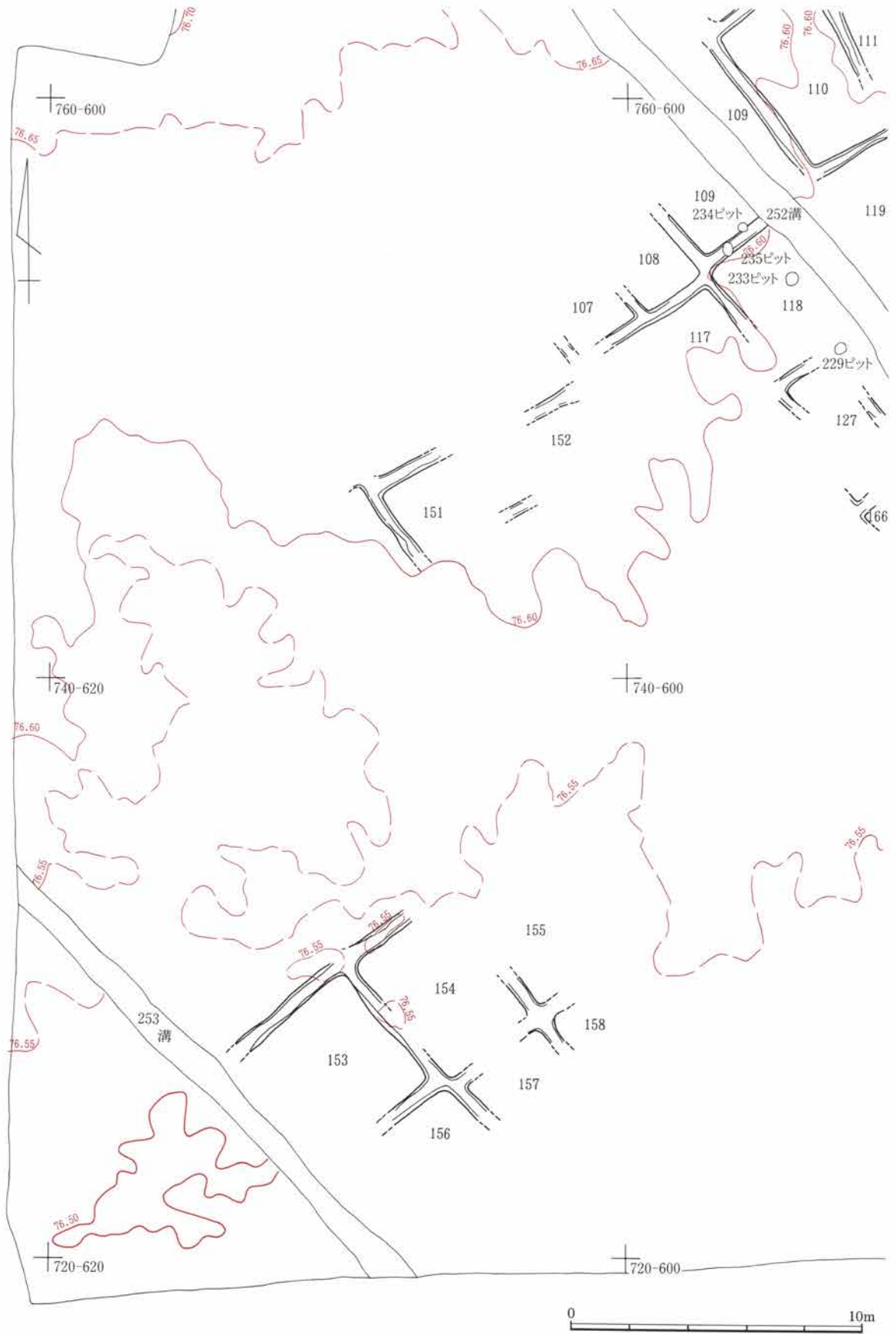


第331図 As-C 混土水田6



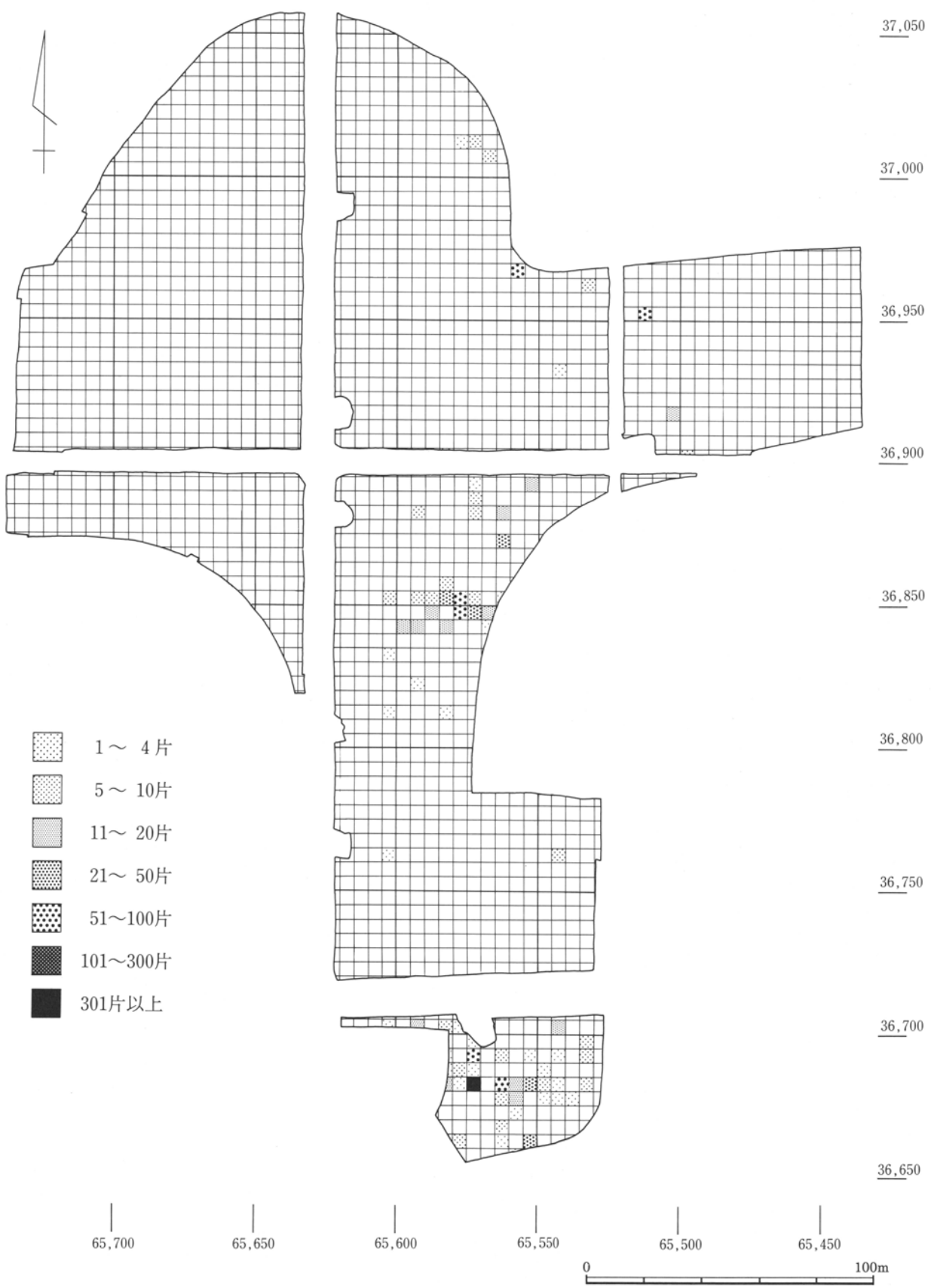
第332図 As-C混土水田7





第333図 As-C 混土水田 8

種別 器種 分類1 分類2	繩 文 土 器	弥 生 土 器	古式土師器																總計			
			甕						壺				高坏				器 台	埴 計				
			A			B			C	不 明	計	A	B	C	計	A				B	C	計
			1	3	計	3	計															
687-578G					0	0			0				0	1			1			1	1	
690-530G				1	1	0			1				2	2			0			3	3	
690-540G				1	1	0			1				2	2			0			3	3	
690-550G				3	3	0			13				0				0			3	3	
690-560G				3	3	0			3				5	5			0			8	8	
690-570G				28	28	0			28				14	14	1		2	3		45	45	
695-530G				4	4	0			4				1	1			0			5	5	
695-570G					0	0			0				1	1	1		1			2	2	
700-540G				5	5	0			5			1	6	7			1	1		13	13	
700-570G				4	4	0			4					0			0			4	4	
700-580G				7	7	0			7					0		1	2	3		10	10	
700-590G				8	8	0			8				2	2			0			10	10	
700-600G				2	2	0			2					0			0			2	2	
760-540G				3	3	0			3				1	1			0			4	4	
760-600G					0	0			0					0		1	1			1	1	
810-600G					0	0			0				1	1			0			1	1	
820-590G				1	1	0			1					0			0			1	1	
830-590G				1	1	0			1				1	1			1	1		3	3	
840-565G				1	1	0			1				1	1			1	1		3	3	
840-575G			2	32	34	1	1	1	37	1	3	32	36	1		5	6		79	79		
840-580G				5	5	0			5				5	5			1	1		11	11	
840-590G			1	8	9	0			9				3	3	1		4	5		17	17	
840-595G			2	6	8	0			8				3	3			0			11	11	
845-565G				7	7	0			7				3	3			1	1	1	12	12	
845-570G					0	0			0	1	5	31	37				0			37	37	
845-575G	1		1	19	20	0	1		21				10	10	3		12	15	1	1	48	49
845-585G				6	6	0			6					0			3	3		9	9	
850-555G				1	1	0			1					0			0			1	1	
850-570G				4	4	0			4	1			4	5			0			9	9	
850-580G				20	20	0			20			1	12	13			1	1		34	34	
850-585G					0	0			0			1	3	4			0			4	4	
850-590G				4	4	0			4			1		1			0			5	5	
850-600G				5	5	0			5			1	1	2			0			7	7	
855-565G				2	2	0			2					0			0			2	2	
855-570G				1	1	0			1			1	4	5			0			6	6	
855-580G				3	3	0			3				3	3			0			6	6	
855-590G				4	4	0			4			1	1	2			1	1		7	7	
860-565G				8	8	0			8				2	2			0			10	10	
870-560G			1	1	2	0			2	1	1	6	8			3	3			13	13	
870-570G					0	0			0				2	2			0			2	2	
870-590G				1	1	0			1				3	3			0			4	4	
880-560G				4	4	0			4				2	2			2	2		8	8	
880-570G	3		1	1	2	0			2					0			0			2	5	
880-590G				3	3	0			3				4	4			0			7	7	
885-570G				3	3	0			3				3	3			1	1		7	7	
890-550G				9	9	0			9				6	6			1	1		16	16	
890-570G					0	0			0				2	2			1	1		3	3	
930-540G				1	1	0			1					0			0			1	1	
900-495G					0	0			0			1		1			0			1	1	
900-495G					0	0			0			1		1			0			1	1	
900-580G	1				0	0			0					0			0			0	1	
915-500G				1	1	0			1					0			0	1		2	2	
915-500G				1	1	0			1				1	1			1	1	1	4	4	
950-510G				1	1	0			1					0			0			1	1	
965-555G				4	4	0			4				5	5			1	1		10	10	
010-570G				1	1	0			1				1	1			0			2	2	
010-575G					0	0			1	1				0			0			1	1	
計	6	2	14	698	708	4	1	2	1	713	4	34	331	369	11	4	65	80	4	1	1167	1175



第334図 As-C混土下面遺構外遺物出土分布図

器種 分類1 分類2	甕											壺				高坏				器 台	増	小 型 甕	そ の 他	計													
	A				B				C	不 明	小計	A	B	C	計	A	B	C	計																		
	1	2	3	計	1	2	3	計																													
820-600G			5	5							5			3	3			5	5																13		
830-590G			1	1				0			1				0				0																	1	
830-600G			1	1				0			1			1	1			2	2																	4	
830-685G			1	1				0			1				0				0																	1	
835-575G			5	5				0	1		6			3	3				0																	9	
840-560G				0				0			0			1	1				0																	1	
840-565G			6	6				0			6			4	4			2	2																	12	
840-570G	4		36	40				0	5		45	1	2	25	28			20	20																93		
840-575G	2		40	42			1	1	1		45	1	3	43	47	2		12	14																106		
840-580G			24	24				0	2		26			12	12			3	3																	41	
840-590G	1		8	9				0			9			3	3	1		4	5																	17	
840-590G	1		1	2				0			2			5	5			4	4																	11	
840-590G	2		9	11				0			11			8	8	1		8	9																	28	
840-595G	2		6	8				0			8			3	3				0																	11	
840-620G				0				0			0			1	1				0																	1	
840-680G			1	1				0			1				0				0																		1
840-690G			4	4				0			4			3	3			3	3																	10	
845-565G			8	8				0			8		2	6	8			1	1	1																18	
845-570G				0				0			0	1	5	31	37				0																	37	
845-575G	1		45	46				0	6		52		2	29	31	4		15	19	3	1														106		
845-585G			6	6				0			6				0			3	3																	9	
845-605G			4	4				0			4			1	1			3	3																	8	
850-555G			1	1				0			1				0				0																	1	
850-560G				0				0			0				0			1	1																	1	
850-570G			4	4				0			4	1		4	5			2	2																	11	
850-575G	1		13	14				0	1		15		1	5	6			17	17																	38	
850-580G			20	20				0			20		1	12	13			1	1																	34	
850-585G				0				0			0		1	3	4				0																	4	
850-590G			4	4				0			4		1	1	1				0																	5	
850-600G			5	5				0			5		1	1	2				0																	7	
850-620G				0				0			0				0			1	1																	1	
855-565G			2	2				0			2				0				0																	2	
855-570G			1	1				0			1		1	4	5				0																	6	
855-580G			3	3				0			3			3	3				0																	6	
855-590G			4	4				0			4		1	1	2			1	1																	7	
855-595G			1	1				0			1				0				0																		1
855-605G				0				0			0			1	1				0																		1
860-550G			3	3				0			3		1	4	5			1	1																	9	
860-565G			8	8				0			8			2	2				0																		10
860-570G				0				0			0		1	2	3				0																	3	
860-590G				0				0			0				0			2	2																		2
865-615G			1	1				0			1				0				0																		1
870-380G			1	1				0			1				0				0																		1
870-540G			3	3				0			3				0				0																		3
870-550G			3	3				0			3			1	1			3	3																		7
870-560G	2		4	6				0			6	1	1	7	9			4	4																	19	
870-570G			2	2				0			2			2	2			3	3																		7
870-580G			2	2				0			2			5	5				0																		7
870-590G			12	12				0			12			7	7			3	3																		22
880-550G			2	2				0			2			1	1			5	5																		8
880-560G			4	4				0			4			2	2			2	2																		8
880-570G	1		1	2				0			2				0				0																		2
880-580G			2	2				0			2			2	2				0																		4
880-590G			3	3				0			3			5	5				0																		8
885-530G				0				0			0				0				0																		1
885-570G			3	3				0			3			3	3			1	1																		7
890-550G			9	9				0			9			7	7			1	1																		17
890-570G				0				0			0			2	2			1	1																		3
890-595G				0				0			0				0			1	1																		1

器種	甕											壺				高坏				器台	埴	小型甕	その他	計							
	分類1				A				B				C	不明	小計	A	B	C	計						A	B	C	計			
	分類2				1	2	3	計	1	2	3	計																			
890-605G			1	1				0				1				0						3	3								4
900-495G				0				0				0			1		1						0								1
900-495G				0				0				0			1		1						0								1
900-495G				0				0				0			2		2						0								2
905-475G			1	1				0				1					0						0								1
900-480G			1	1				0				1					0						0								1
900-575G				0				0				0				1	1						0								1
910-520G			1	1				0				1					0						0								1
910-650G			3	3				0				3					0						0								3
915-485G				0				0				0			1		1						0								1
915-500G			2	2				0				2			1	1						1	1	2						6	
915-555G				0				0				0					0					1	1								1
915-560G			1	1				0				1				1	1						0								2
915-600G			1	1				0				1					0						0								1
920-470G			1	1				0				1				1	1						0								2
920-510G			4	4				0				4				1	1					2	2								7
920-515G			2	2				0				2					0					1	1								3
920-530G				0				0				0					0					1	1								1
920-560G			1	1				0				1					0						0								1
920-580G				0				0				0					0					1	1								1
920-700G			3	3				0				3					0						0								3
925-480G			1	1				0				1					0						0								1
925-505G				0				0				0				2	2						0								2
925-510G			3	3				0				3				1	1					1	1								5
925-535G			1	1				0				1					0						0								1
930-470G			1	1				0				1				1	1						0								2
930-475G				0				0				0				1	1						0								1
930-485G				0				0				0					0					1	1								1
930-495G			3	3				0				3					0					1	1								4
930-500G			1	1				0				1			1	1	2					2	2								5
930-505G			6	6				0				6				3	3	3	1			3	7		1						17
930-510G			7	7				0				7				1	1					1	1								9
930-515G			8	8				0				8				1	1					1	1								10
930-530G			2	2				0				2				5	5						0								7
930-540G			1	1				0				1					0						0								1
930-550G				0				0				0				1	1						0								1
930-680G			1	1				0				1					0						0								1
930-680G			1	1				0				1					0						0								1
930-680G			2	2				0				2				0	0					0	0								2
930-690G			2	2				0				2					0						0								2
935-435G			1	1				0				1					0						0								1
935-470G				0				0				0				1	1						0								1
935-485G			1	1				0				1					0						0								1
935-495G			2	2				0				2					0						0								2
935-505G				0				0				0					0	1					1								1
935-505G			2	2				0				2				1	1	1				1	2								5
935-505G			2	2				0				2				1	1	2				1	3								6
935-510G			8	8				0				8				4	4	1	1			5	7								19
935-515G			13	13				0				13				6	6					4	4								23
935-530G			2	2				1	1			4					0						0								4
935-540G				0				0				0				1	1						0								1
940-440G			3	3				0				3					0	1				1	2								5
940-450G				0				0				0					0					1	1								1
940-470G				0				0				0				1	1						0								1
940-500G			5	5				0				5				1	1						0								7
940-505G			1	1				0				1				3	3		1	1		2		1							6
940-510G			12	12				0				12				3	3	1	1			7	9								24
940-505G			2	2				0				2				1	1					1	1								4
940-510G			1	1				0				1					0						0								1



第335図 古墳時代前期遺構外遺物出土分布図

(4) 遺物

遺物は、土器、石製品が出土している。

土器 古墳時代前期の土器は総数10,779点出土している。器種は、甕、壺、高坏、器台、埴、小型甕等である。器種別では甕が6,769点で壺が3,191点、高坏が718点と、甕の出土量が壺の約2倍となっており、高坏は非常に少なくなっている。

I 甕 A～Dの4類に分けられる。

A S字状口縁、刷毛目調整、脚端部折り返し

- 1) 肩部に横位の刷毛目なし 2) 肩部に横位の刷毛目あり 3) 不明

B 単口縁

- 1) 刷毛目調整 2) 篋削り調整 3) 不明

C 南関東系

D 不明

II 壺 A～Cの3類に分けられる。

A 複合口縁 B 単口縁 C 不明

III 高坏 A～Cの3類に分けられる。

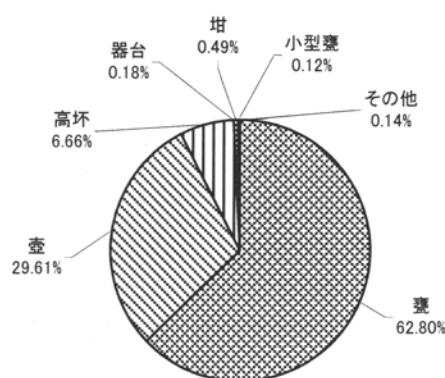
A 脚が短く開く B 長脚 C 不明

IV 器台

V 埴

VI その他・不明

土器器種別分類グラフ



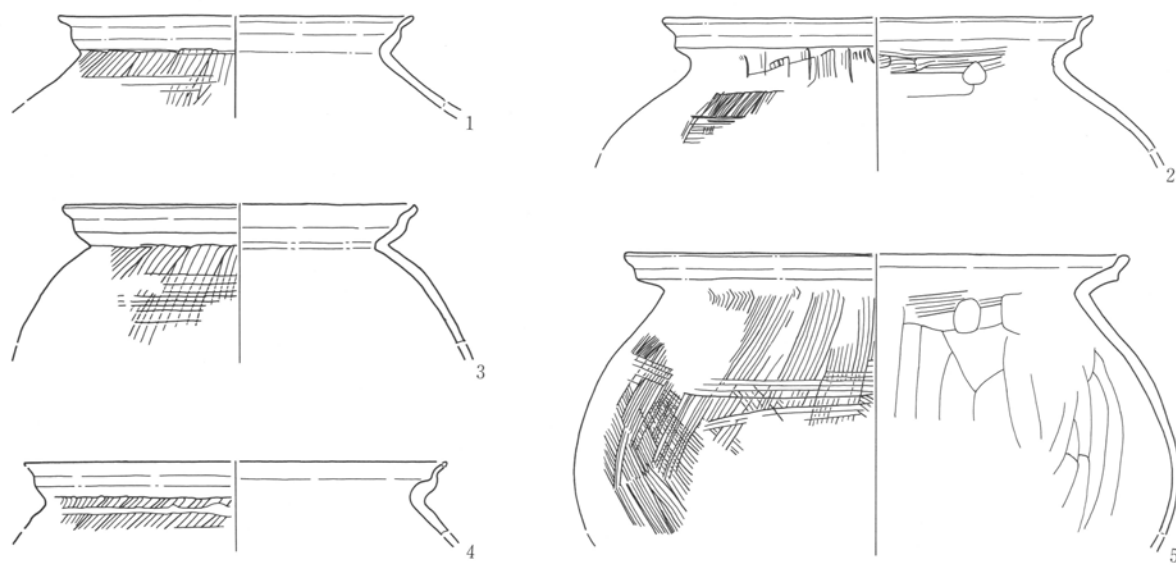
石製品

石製模造品（鏡か？）が1点267号溝から出土している。

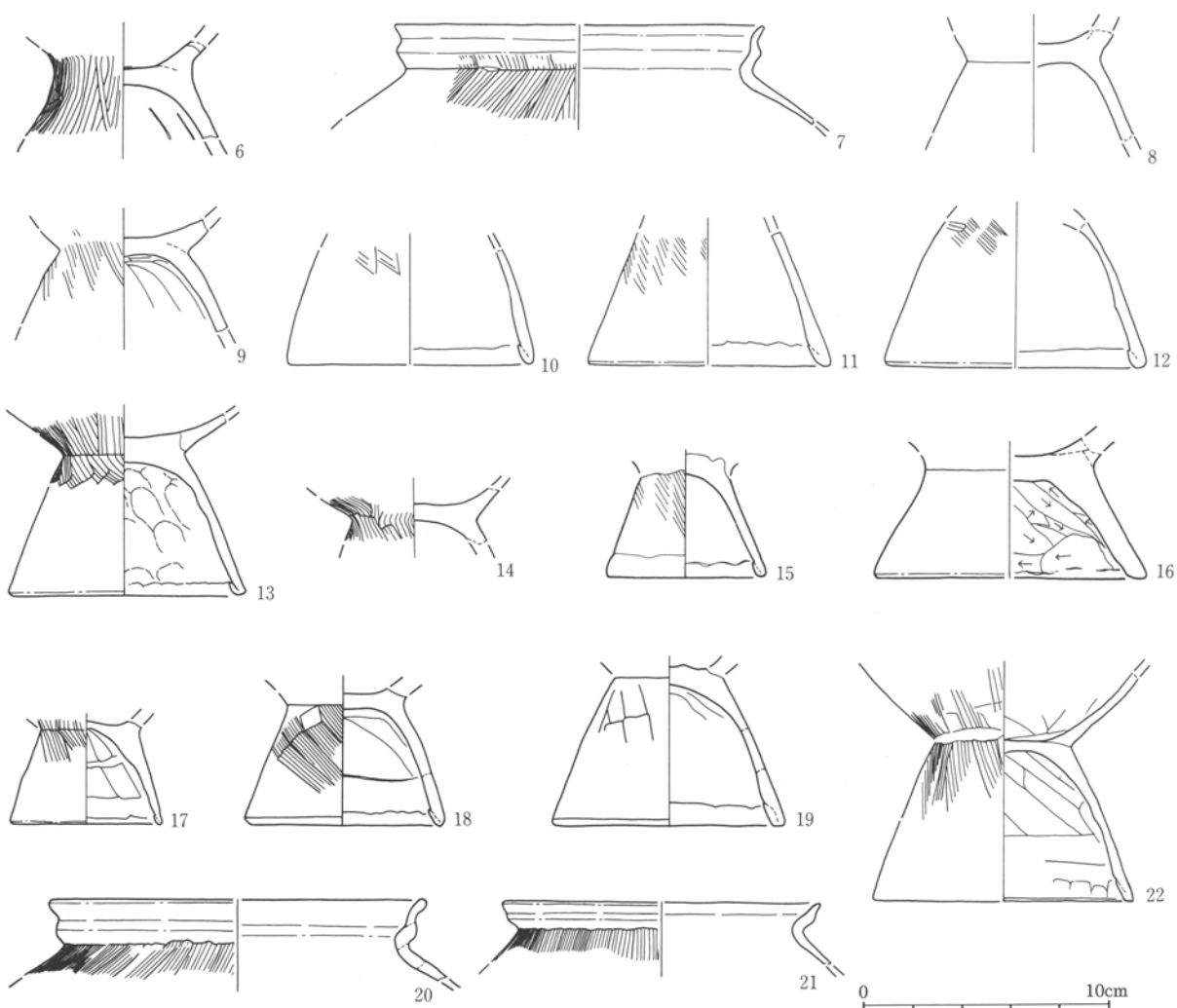
古墳時代前期出土遺物数量表

器種	甕											壺				高坏				器台	埴	小型甕	その他	石製品	計
	A				B				C	不明	小計	A	B	C	計	A	B	C	計						
分類1	1	2	3	計	1	2	3	計												18	21	6769	40	174	2974
分類2	136	5	6565	6706	2	0	10	12	18	21	6769	40	174	2974	3191	87	65	566	718	19	53	13	15	1	10779
点数	136	5	6565	6706	2	0	10	12	18	21	6769	40	174	2974	3191	87	65	566	718	19	53	13	15	1	10779

土器 I-A-1

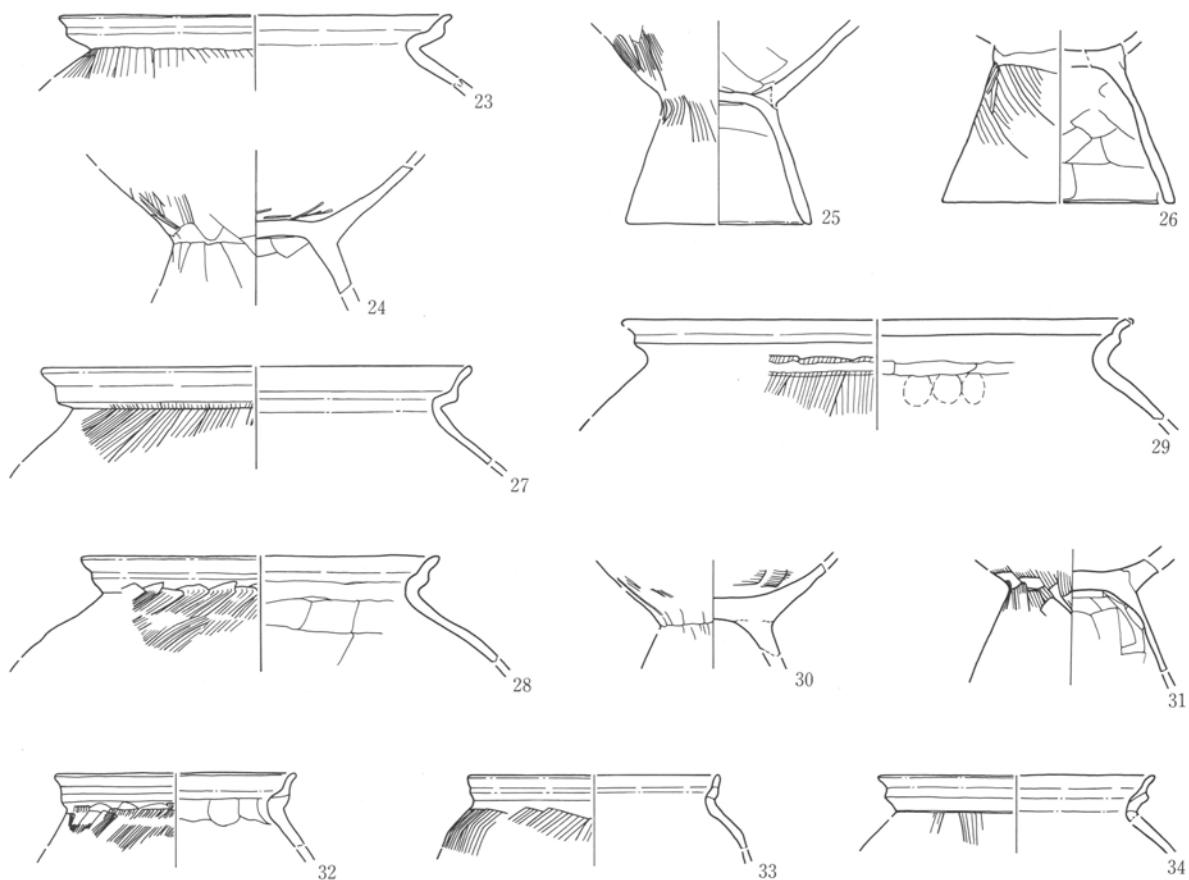


土器 I-A-3

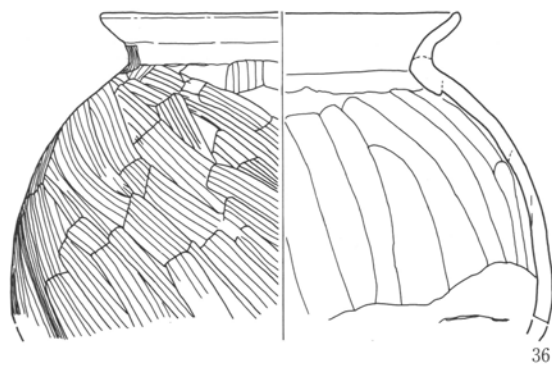
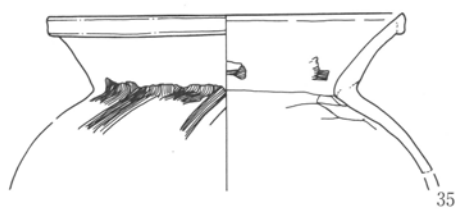


第336図 古墳時代前期出土遺物 1 土師器甕

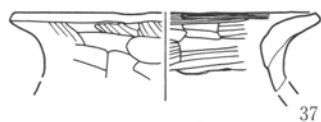
土器 I-A-3



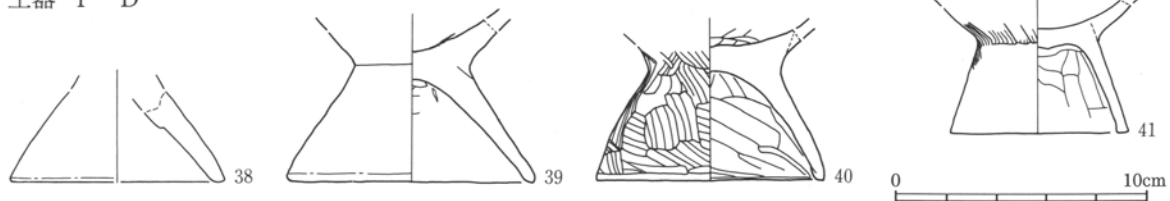
土器 I-B-1



土器 I-C



土器 I-D

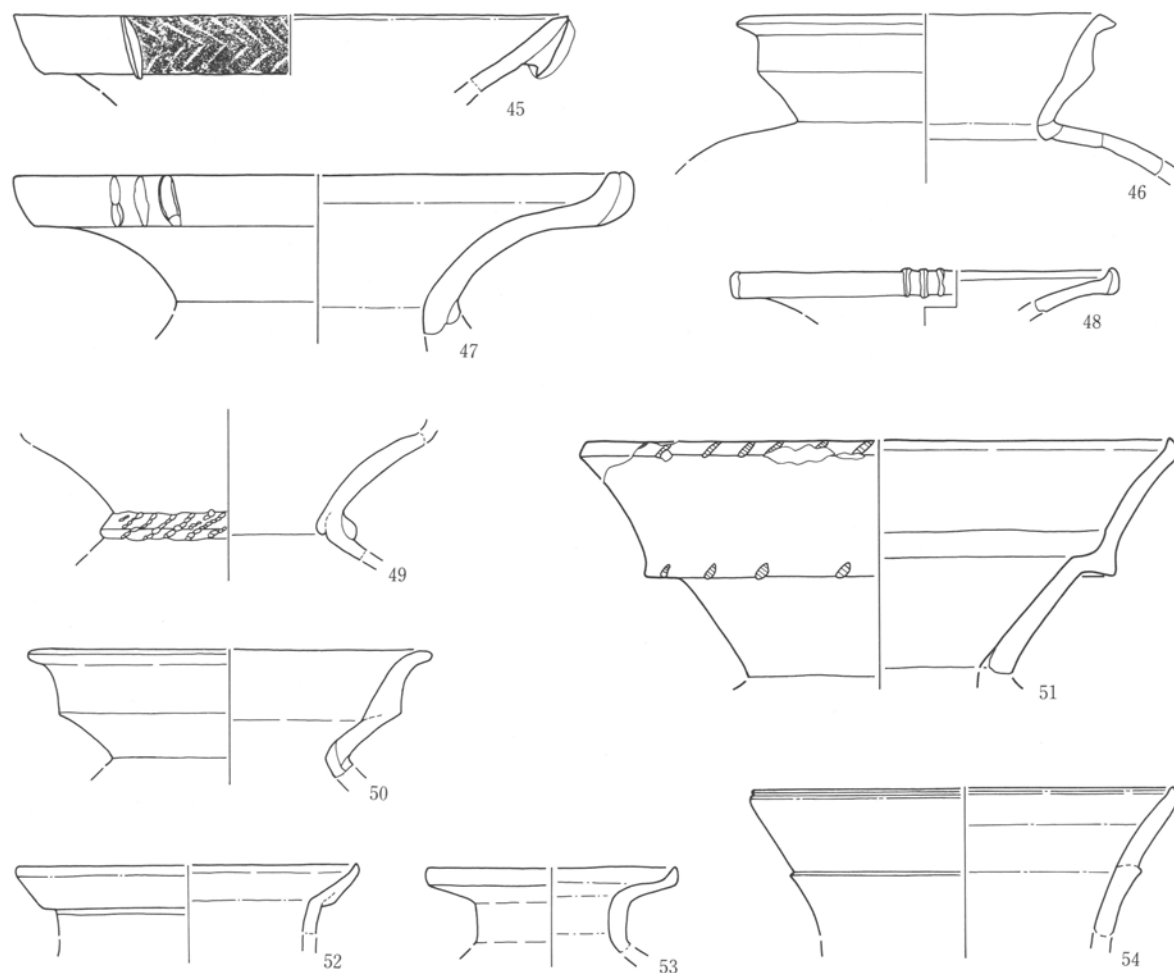


第337図 古墳時代前期出土遺物2 土師器甕

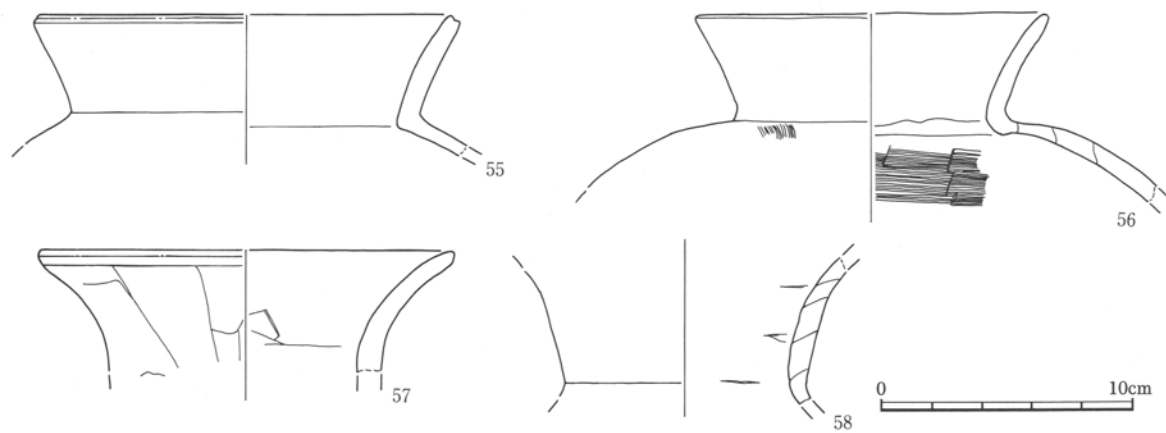
土器 I-D



土器 II-A

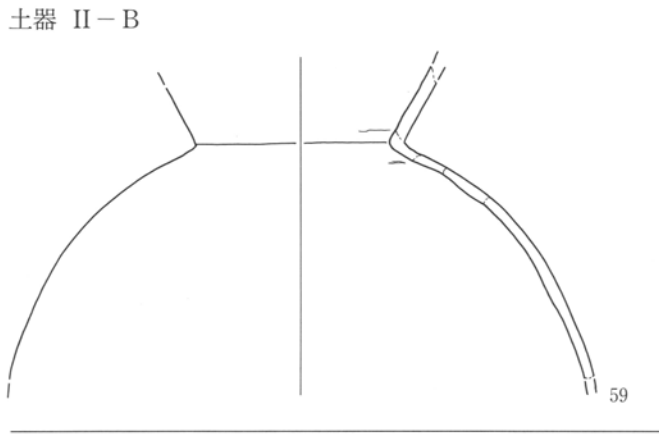


土器 II-B

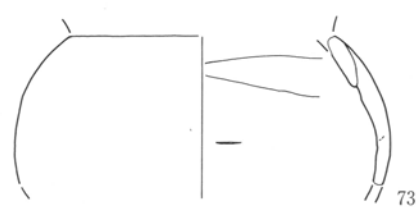
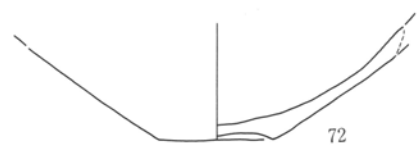
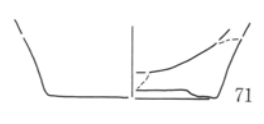
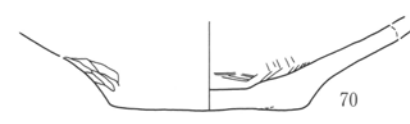
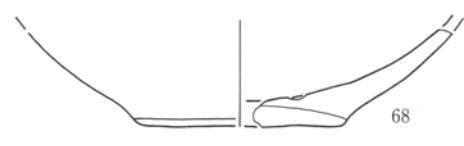
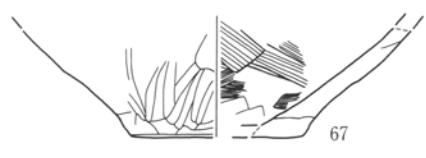
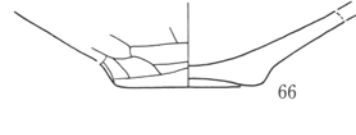
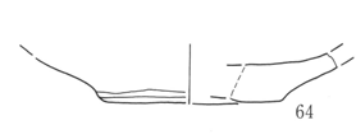
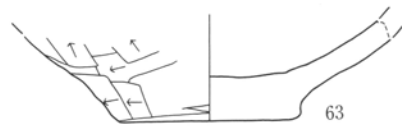
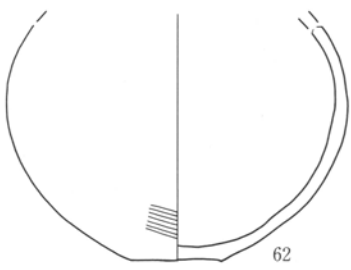


第338図 古墳時代前期出土遺物3 土師器甕・壺

土器 II-B

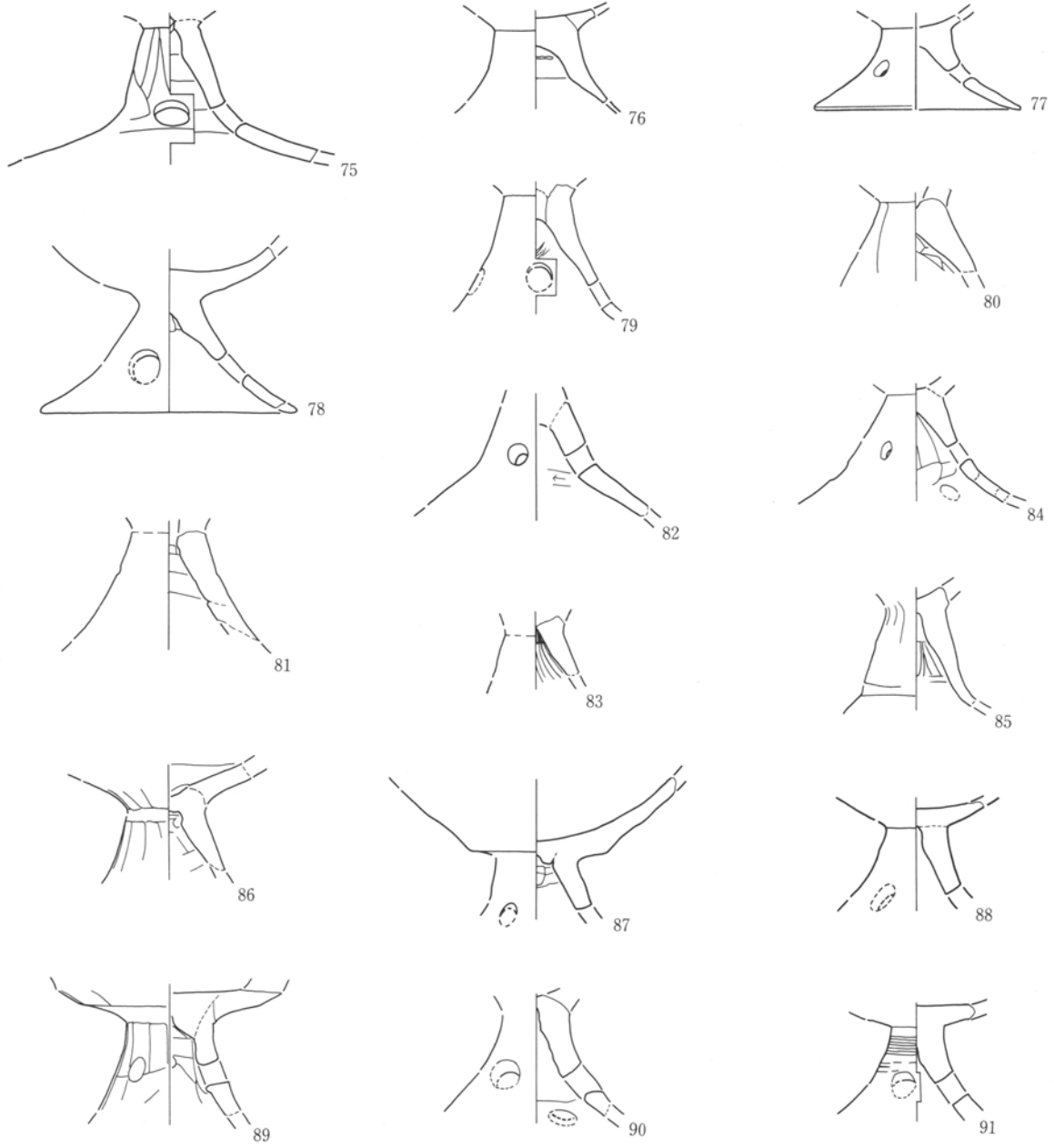


土器 II-C

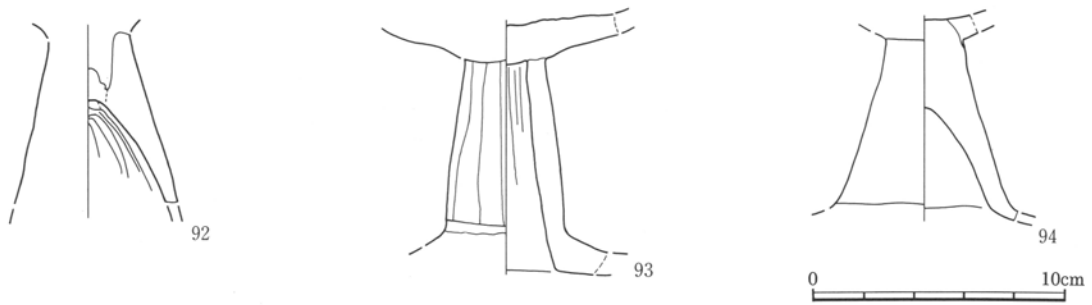


第339図 古墳時代前期出土遺物 4 土師器壺

土器 III-A

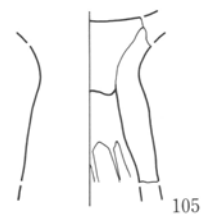
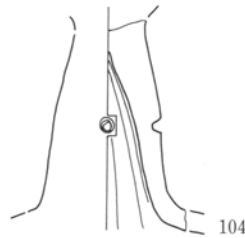
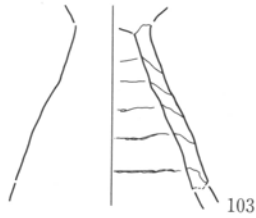
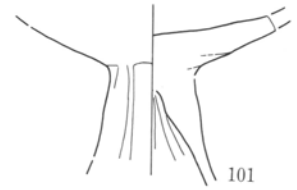
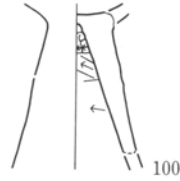
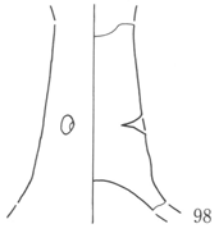
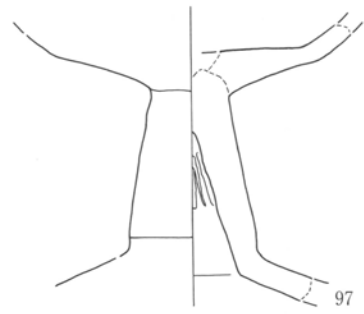
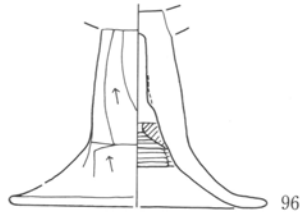


土器 III-B

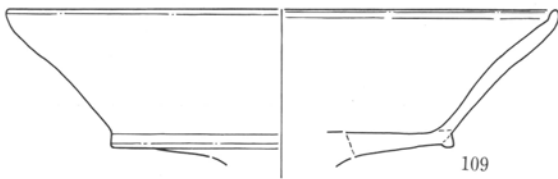
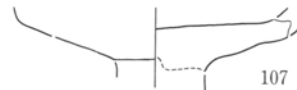
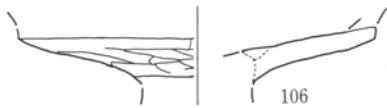


第340図 古墳時代前期出土遺物 5 土師器高坏

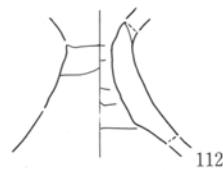
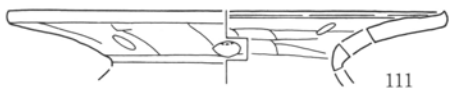
土器 III-B



土器 III-C

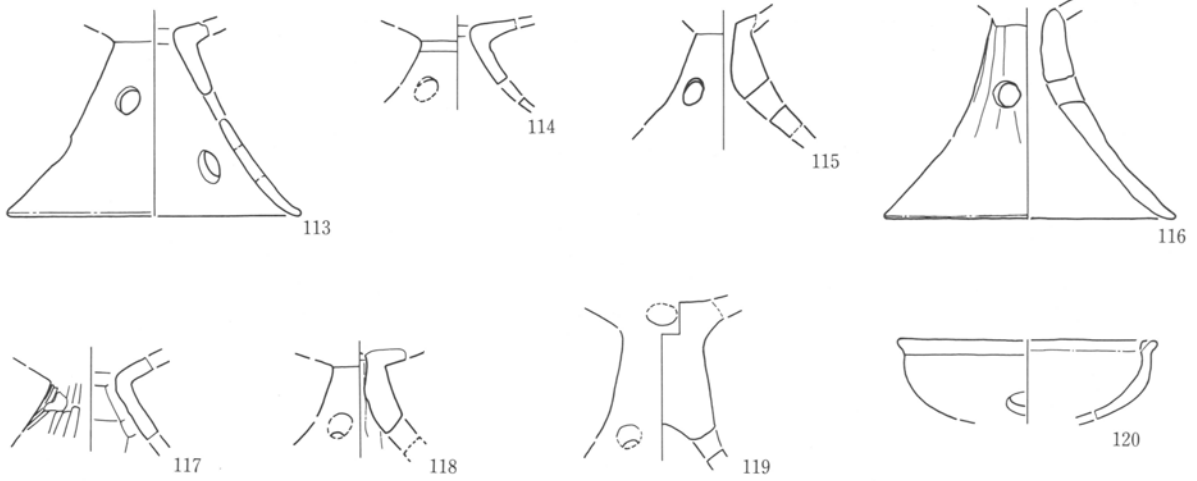


土器 IV

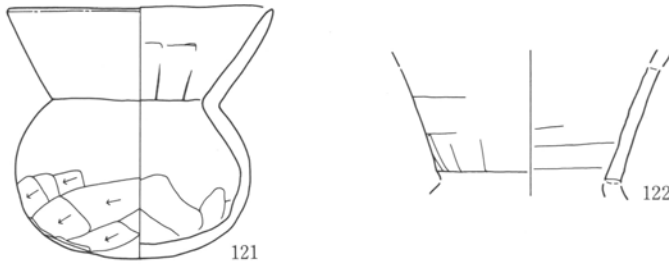


第341図 古墳時代前期出土遺物 6 土師器高坏

土器 IV



土器 V



土器 VII



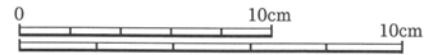
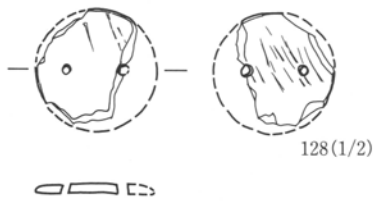
土器 VI



土器 VIII



石累模造品



第342図 古墳時代前期出土遺物 7 土師器高坏・埴・鉢・小形土器・その他 石製模造品(鏡)

古墳時代前期土器観察表

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 底径 高さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						胎	土			
1	古式土師器 甕	267号溝 口縁部破片	(14.0)	明黄褐 10YR 7/6	明黄褐 10YR 7/6	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	口縁部横ナデ 胴部外面縦 方向のハケ目後肩部に横方 向のハケ目内面ナデ	I A 1		
			[3.2]							
2	古式土師器 甕	1号集石 口縁部1/8	(17.0)	淡橙 5YR8/4	灰白 7.5YR 8/2	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	口縁部横ナデ 頸部内面・ 胴部外面 5本+ α 1単位の ハケ目 肩部に横方向のハ ケ目あり 胴部内面ナデ	I A 1		
			[5.3]							
3	古式土師器 甕	337号ピット 口縁部～胴部 1/7	(14.1)	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 7.5 YR 7/3	良好 細 細砂を中量含む	口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目 肩部に横方向のハケ 目 内面ナデ	I A 1		
			[5.4]							
4	古式土師器 甕	Hr-FA下 口縁部1/4	(16.8)	浅黄 2.5Y8/3	明黄褐 2.5Y6/6	不良 細 細砂・粗砂を多量含 む	口縁部横ナデ 胴部外面 5 + α 本 1単位のハケ目	I A 1		
			[2.8]							
5	古式土師器 甕	1号集石 1/5	(20.0)	にぶい橙 5YR6/3	にぶい橙 7.5YR 7/3	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む	口縁部横ナデ 頸部内面・胴 部外面12本 1単位のハケ目 肩部に横方向のハケ目あり 胴部内面指頭によりナデか 外面ハケ目内面窺ナデか	I A 1		
			[11.0]							
6	古式土師器 甕	247号溝 底部～脚部		にぶい黄 橙 10YR 6/3	にぶい黄 橙 10YR 7/4	良好 細 細砂・粗砂を多量含 む		I A 3		
			[3.9]							
7	古式土師器 甕	267号溝 口縁部破片	(15.0)	にぶい黄 橙 10YR 6/3	にぶい黄 橙 10YR 7/3	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む	口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目 内面ナデ	I A 3		
			[3.6]							
8	古式土師器 甕	267号溝 底部～脚部		にぶい黄 橙 10YR 7/3	明黄褐 10YR 6/6	不良 細 細砂・粗砂を多量含 む	磨減著しい 外面ハケ目か	I A 3		
			[4.3]							
9	古式土師器 甕	267号溝 底部～脚部		浅黄 2.5Y7/4	明黄褐 10YR 7/6	普通 細 細砂・粗砂を多量含 む	脚部外面ハケ目内面指頭に よるナデか	I A 3		
			[4.5]							
10	古式土師器 甕	267号溝 脚部1/3	9.6	にぶい黄 橙 10YR 6/4	明黄褐 10YR 6/6	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	外面ハケ目内面ナデか 端 部折り返し	I A 3		
			[4.6]							
11	古式土師器 甕	267号溝 脚部1/3	9.8	浅黄 2.5Y7/3	浅黄 2.5Y7/4	普通 細 細砂を少量含む	外面ハケ目内面ナデか 端 部折り返し	I A 3		
			[5.4]							
12	古式土師器 甕	267号溝 脚部1/4	10.4	にぶい褐 7.5YR 6/3	にぶい黄 橙 10YR 6/4	普通 細 細砂・粗砂を少量含 む	外面ハケ目内面ナデか 端 部折り返し	I A 3		
			[5.9]							
13	古式土師器 甕	283号溝 底部～脚部	(9.3)	にぶい橙 7.5Y7/4	橙 7.5Y6/6	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む	胴部～脚部外面上半ハケ目 胴部内面・脚部外面下半ナ デ 脚部内面指頭によるナ デ	I A 3		
			[7.3]							
14	古式土師器 甕	311号土坑 底部～脚部破 片		灰白 10YR 8/2	にぶい黄 橙 10YR 7/2	普通 中 細砂・粗砂を多量含 む	外面ハケ目 胴部内面ナ デか 脚部内面指頭による ナデか	I A 3		
			[2.2]							
15	古式土師器 甕	315号土坑 脚部	6.4	灰白 2.5Y8/2	灰白 2.5Y8/2	良好 細 細砂・粗砂を多量含 む	外面ハケ目・ナデ 脚部内 面ナデか 脚端部折り返し	I A 3		
			[4.7]							
16	古式土師器 甕	316号土坑 脚部1/2	(10.8)	にぶい橙 5YR6/4	橙 5YR6/6	良好 中 細砂・粗砂・礫を多 量含む	底部外面ナデか 脚部外面 ナデ内面指頭によるナ デ	I A 3		
			[5.6]							
17	古式土師器 甕	As-C下 脚部	6.2	橙 5YR7/6	にぶい橙 7.5YR 7/4	普通 細 細砂・粗砂・赤色粒 子を多量に含む	外面 7 + α 1単位の刷毛目 後ナデか 内面窺ナデ	I A 3		
			[4.2]							
18	古式土師器 甕	Hr-FA下 脚部	8.2	明褐灰 5YR7/2	明褐灰 5YR7/2	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	外面刷毛目 内面指ナ デ 脚端部折り返し	I A 3		
			[5.5]							
19	古式土師器 甕	Hr-FA下 脚部1/2	(9.4)	にぶい橙 2.5Y6/3	にぶい橙 2.5Y6/3	普通 細 細砂を中量 粗砂・ 黒色鉄物粒を微量含む	外面上半窺ナデ? 下半ナ デ 内面指ナデ 脚端部折 り返し	I A 3		
			[6.5]							

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 底径 高さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						胎	土			
20	古式土師器	Hr-FA下	(15.0)	浅黄 2.5Y8/4	浅黄 2.5Y8/4	普通		口縁部横ナデ 胴部外面 8 + α 本1 単位のハケ目内 面ナデか	I A 3	
	甕	口縁部1/4	[3.3]			細	細砂・粗砂を中量含 む			
21	古式土師器	Hr-FA下	(13.0)	にぶい黄 橙 2.5YR 6/3	灰白 2.5Y8/2	普通		口縁部横ナデ 胴部外面 7 + α 本1 単位のハケ目	I A 3	
	甕	口縁部1/4	[2.5]			中	細砂・粗砂・礫・を 中量含む			
22	古式土師器	Hr-FA下		浅黄橙 10YR 8/3	浅黄橙 10YR 8/3	良好		胴部～脚部外面ハケ目後一 部ナデ内面ナデ	I A 3	
	甕	底部～脚部	10.6 [9.2]			細	細砂・粗砂を多量含 む			
23	古式土師器	Hr-FA下	(15.4)	灰白 7.5 YR 8/2	灰白 5Y8/2	普通		口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目内面ナデか	I A 3	
	甕	口縁部1/4	[2.8]			細	細砂を多量、粗砂・ 礫を少量含む			
24	古式土師器	260号溝		にぶい橙 2.5YR 6/4	にぶい褐 7.5YR 6/30	良好		外面ハケ目 内面窠ナデか	I A 3	
	甕	胴部～脚部	[5.0]			細	細砂・粗砂を多量含 む			
25	古式土師器	1号集石		にぶい赤 褐 YR5/4	にぶい黄 橙 10YR 7/3	普通		胴部～脚部上半外面 5 + α 本1 単位のハケ目 胴部内 面窠ナデか	I A 3	
	甕	底部～脚部	(7.4) [7.7]			細	細砂・粗砂を多量含 む			
26	古式土師器	158号溝		橙 5YR6/6	明赤褐 2.5YR 5/6	普通		外面ハケ目内面窠ナデか	I A 3	
	甕	脚部1/2	9.2 [6.3]			細	細砂・粗砂を多量含 む			
27	古式土師器	268号溝	15.0	淡黄 2.5Y8/4	浅黄橙 10YR 8/3	良好		口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目内面ナデ	I A 3	
	甕	口縁部1/6	[3.9]			細	細砂・粗砂を中量含 む			
28	古式土師器	270号溝	(14.0)	浅黄 2.5Y7/3	浅黄 2.5Y7/3	普通		口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目内面窠ナデ	I A 3	
	甕	口縁部～肩部 1/8	[4.2]			細	細砂・粗砂を中量含 む			
29	古式土師器	270号溝		淡黄2.5 Y8/4	淡黄 2.5Y8/4	良好		口縁部横ナデ 頸部に横方 向のハケ目 胴部外面ハケ 目 内面窠ナデ	I A 3	
	甕	口縁部破片	[3.9]			細	細砂・粗砂を中量含 む			
30	古式土師器	282号溝		赤 10Y5/6	にぶい褐 7.5YR 5/4	普通		外面ハケ目 胴部内面ハケ 調整後ナデか 胴部内面ナ デ	I A 3	
	甕	底部～脚部	[3.6]			細	細砂・粗砂・褐色粒 子を多量含む			
31	古式土師器	321号ピット		にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/3	普通		外面ハケ目後一部ナデ 底 部内面ナデ 脚部内面指頭 によるナデ	I A 3	
	甕	底部～脚部	[4.4]			中	細砂・粗砂を中量含 む			
32	古式土師器	6号井戸	9.6	にぶい黄 橙 10YR 7/4	にぶい黄 橙 10YR 7/3	良好		口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目内面ナデか	I A 3	
	甕	口縁部1/3	[2.9]			細	細砂・粗砂を中量含 む			
33	古式土師器	明	10.0	にぶい黄 橙 10YR 6/3	にぶい黄 橙 10YR 6/3	良好		口縁部横ナデ 胴部外面 8 + α 本1 単位のハケ目	I A 3	
	甕	口縁部1/4	[3.0]			中	細砂・粗砂を中量含 む			
34	古式土師器	明	10.8	にぶい橙 7.5YR 7/3	浅黄橙 7.5YR 8/3	良好		口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目	I A 3	
	甕	口縁部1/5	[2.1]			中	細砂・粗砂・赤褐粒 子を少量含む			
35	古式土師器	310号土坑	14.1	灰白 2.5Y8.2	灰白 2.5Y8/2	普通		口縁部横ナデ 口縁部内面 下半・胴部外面ハケ調整後 ナデ 胴部内面ナデ	I B 1	
	甕	口縁部～肩部	[6.3]			中	細砂・粗砂を中量含 む			
36	古式土師器	315号ピット	14.4	にぶい黄 橙 10YR 7/4	にぶい褐 7.5YR 5/4	普通		口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目内面指頭によるナデ	I B 1	
	甕	口縁部～胴部 1/3	[12.3]			中	細砂・粗砂・褐色・ 淡褐色粒子を多量含む			
37	古式土師器	241号ピット	(12.0)	にぶい赤 褐 5YR5/3	にぶい橙 7.5YR 7/4	良好		口縁部外面・内面粗いハケ 目 胴部外面ナデか	I C ?	
	甕	口縁部1/7	[3.15]			細	細砂・粗砂・褐色粒 子を多量含む			
38	古式土師器	267号溝		灰黄 2.5Y7/2	灰黄 2.5Y7/2	良好		内外面ともナデか	I D 2	
	甕?	脚部1/6	(8.6) [3.6]			細	細砂・粗砂を少量含 む			

No	種別	出土位置	口径	色調表	色調裏	焼成	調整	分類	備考
	器種	残存率	底径 高さ			胎土			
39	古式土師器	315号ピット		にぶい橙 7.5YR 6/4	橙 2.5YR 6/6	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を多量含む	磨滅著しい 底部内面篋ナ デ 脚部外面ナデ内面篋ナ デ	I D	
	甕	底部～脚部 3/4	9.8 [4.3]						
40	古式土師器	315ピット		にぶい橙 5YR7/4	にぶい赤 褐 5YR5/4	良好 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	外面浅いハケ目 底部・脚 部内面篋ナデ	I D	
	甕	底部～脚部	9.0 [5.9]						
41	古式土師器	Hr-FA下		にぶい橙 5YR7/4	橙 7.5YR 6/6	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	外面ハケ目・ナデ 底部内 面ナデ 脚部内面指頭によ るナデ	I D	
	甕	底部～脚部	7.2 [5.0]						
42	古式土師器	Hr-FA下	(18.9)	にぶい黄 橙 2.5YR 6/4	にぶい黄 橙 2.5YR 6/4	普通 中 細砂・粗砂・石英・長 石・黒色鉱物粒を中量含む	口縁部横ナデ 頸部～胴部 外面櫛状工具？による沈 線？	I D	
	甕	口縁部1/10	[3.4]						
43	古式土師器	Hr-FA下		橙 2.5YR 6/6	赤黒 2.5YR 2/1	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 を少量含む	外面10+α本1単位のハケ 目 内面ハケ目	I D	
	甕	脚部2/3	(9.4) [5.3]						
44	(赤井戸)	Hr-FA下		淡黄 2.5Y8/3	淡黄 2.5Y8/3	普通 細 細砂・粗砂・石英・ 黒色鉱物粒を中量含む	単節LR縄文横位施文	I D	
	甕	口縁部破片	[2.5]						
45	古式土師器	255号溝	(22.0)	にぶい橙 7.5YR 7/4	にぶい橙 7.5YR 7/4	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	口縁部外面櫛状工具による 連続刺突文 棒状浮文貼り 付け	II A	
	壺	口縁部破片	[3.0]						
46	古式土師器	267号溝	13.8	にぶい橙 2.5YR 6/4	にぶい黄 橙 10YR 7/3	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	外面篋磨き内面ナデか	II A	
	壺	口縁部1/5	[6.3]						
47	古式土師器	267号溝	24.0	橙 7YR6/6	橙 7.5Y6/6	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	内外面ともナデか 口縁部 外面に3本1単位の棒状浮文	II A	
	壺	口縁部1/4	[6.3]						
48	古式土師器	267号溝	15.0	橙 7.5YR 6/6	橙 7.5YR 6/6	普通 細 細砂・粗砂を多量含 む	内外面ともナデか 口縁部 外面に3本1単位の棒状浮文	II A	
	壺	口縁部1/6	[1.7]						
49	古式土師器	267号溝		明黄褐 10YR 6/6	にぶい黄 橙 10YR 6/4	普通 細 細砂・粗砂を多量含 む	内外面ともナデか 頸部に 粘土紐貼り付け後櫛状工具 による刺突文	II A	
	壺	頸部破片	[5.0]						
50	古式土師器	260号溝	(16.0)	橙 5YR6/6	にぶい黄 橙 10YR 7/3	普通 細 細砂・粗砂・黒色鉱 物粒を少量含む	内外面ともナデ・磨きか	II A	
	壺	口縁部破片	[4.3]						
51	古式土師器	315号土坑	(23.2)	にぶい橙 7.5YR 7/4	にぶい橙 7.5YR 7/4	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	外面ナデ後篋磨きか 内面 ナデか 口唇部・段部に櫛 字状工具による刻み	II A	
	壺	口縁部1/4	[9.2]						
52	古式土師器	268号溝	11.2	にぶい褐 7.5YR 5/3	にぶい黄 褐 10YR 5/4	良好 細 細砂・黒色鉱物粒を 中量含む	口縁部横ナデ	III A	
	壺	口縁部1/6	[2.8]						
53	古式土師器	52号土坑	(9.8)	明褐 7.5YR 6/5	橙 7.5YR 6/6	普通 中 細砂・粗砂・黒色鉱 物粒を多量含む	内外面ともナデか	II A	
	壺	口縁部1/3	[3.4]						
54	古式土師器	44号土坑	(15.6)	橙 7.5YR 6/6	にぶい橙 7.5YR 7/4	普通 細 細砂・粗砂・礫・褐 色粒を中量含む	内外面ともナデか	II A	
	壺	口縁部1/8	[5.8]						
55	古式土師器	267号溝	16.4	橙 5YR6/6	明赤褐 2.5YR 5/6	普通 中 細砂・粗砂を多量含 む	口縁部横ナデ	II B	
	壺	口縁部1/5	[5.5]						
56	古式土師器	267号溝	13.8	浅黄 10YR 8/3	浅黄橙 10YR 8/3	良好 細 細砂・粗砂を多量含 む	口縁部ナデ 胴部外面篋磨 き 内面ハケ目後ナデか	II B	
	壺	口縁部1/5	[7.5]						
57	古式土師器	268号溝	16.6	にぶい黄 橙 10YR 7/3	浅黄橙 10YR 8/3	普通 中 細砂・粗砂・礫を中 量含む	外面細かいハケ目後ナデ 内面ナデか	II B	
	壺	口縁部1/6	[4.8]						

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 底径 高さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						胎 土				
58	古式土師器 壺	As-C下 頸部1/3		灰白 7.5YR 8/2	浅黄橙 7.5YR 8/3	普通 中 細砂・粗砂・黒色鉍 物粒を多量に含む		内外面ともナデか 磨滅著 しい	II B 2	頸径9.6cm
			[5.8]							
59	古式土師器 壺	283号溝 頸部～胴部1/ 8		灰黄 2.5Y7/2	灰黄 2.5Y7/2	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		磨滅著しい 口縁部横ナデ 胴部外面篋削り内面オサ エ・ナデか	II B	
			[16.3]							
60	古式土師器 壺	267号溝 胴部破片		浅黄 2.5Y7/3	にぶい黄 橙 10YR 6/4	普通 中 細砂・粗砂を中量含 む		磨滅著しい 内外面ともナ デか	II C	
			[6.2]							
61	古式土師器 壺	260号溝 底部		にぶい橙 7.5YR 6/4	褐灰 10YR 6/1	不良 細 細砂・粗砂を中量含 む		磨滅著しい 外面篋ナデ・ 削りか	II C	
			6.5 [4.2]							
62	古式土師器 壺	47号土坑 胴～底部1/3		にぶい黄 橙 10YR 7/3	にぶい黄 橙 10YR 7/3	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 を多量含む		外面篋磨き内面ナデか	II C	
			3.6 [9.3]							
63	古式土師器 壺	267号溝 底部3/4		橙 7.5YR 6/6	にぶい黄 褐 10YR 5/4	普通 細 細砂・粗砂・礫を多 量含む		胴部外面篋削り・ナデ 底 部外面ナデ 内面ナデ	II C	
			6.8 [3.9]							
64	古式土師器 壺	260号溝 底部1/2		にぶい橙 7.5YR 7/4	にぶい橙 7.5YR 7/4	良好 細 細砂・粗砂・礫を多 量含む		内外面ともナデか	II C	
			7.2 [1.8]							
65	古式土師器 壺	268号溝 底部1/2		明赤褐 5YR5/6	橙 5YR6/6	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		磨滅著しい 調整不明	II C	
			9.0 [2.9]							
66	古式土師器 壺	258号溝 底部		浅黄橙 10YR 8/3	浅黄橙 10YR 8/4	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む		胴部外面篋削り・ナデ 底 部外面ナデ 内面ナデ	II C	
			7.8 [3.9]							
67	古式土師器 壺	268号溝 底部1/4		暗灰 N3/	灰 10Y5/1	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む		胴部外面篋磨き 底部外面 ナデ 内面ハケ目	II C	
			7.0 [4.3]							
68	古式土師器 壺	Hr-FA下 胴～底部1/6		黒褐 10YR 3/1	褐灰 10YR 4/1	普通 細 細砂・粗砂を微量、 白色粒子を多量含む		調整不明 外面磨き内面ナ デか	II C	
			(7.8) [3.8]							
69	古式土師器 壺	As-B下 胴～底部1/2		明褐灰 7.5YR 7/2	浅黄橙 7.5YR 8/3	普通 中 細砂・粗砂・白色細 粒・褐色粒を少量含む		内外面ともナデ	II C	
			(6.9) [3.2]							
70	古式土師器 壺	Hr-FA下 底部のみ		にぶい橙 5YR7/4	にぶい黄 橙 10YR 7/3	普通 中 細砂・粗砂・黒色鉍 物粒を中量含む		外面ハケ目後ナデか？ 内 面ハケ目	II C	
			7.4 [3.3]							
71	古式土師器 壺	Hr-FA下 底部1/2		明黄褐 10YR 6/6	にぶい黄 橙 10YR 7/4	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		内外面ともナデか	II C	
			(6.6) [2.3]							
72	古式土師器 壺	Hr-FA下 底部		灰黄 2.5Y7/2	灰黄 2.5Y7/2	普通 中 細砂・粗砂を中量含 む		磨滅著しい 外面篋磨きか	II C	
			(4.4) [4.4]							
73	古式土師器 壺	層不明 胴部破片		明褐 7.5YR 5/6	明褐 7.5YR 5/6	普通 中 細砂・粗砂・礫・褐 色粒子を中量含む		外面篋磨き内面ナデか	II C	
			[5.8]							
74	古式土師器 壺	Hr-FA下 底部1/4		橙 7.5YR 6/6	黄灰 2.5Y6/1	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子・黒色鉍物粒を多量含む		胴部外面ハケ目(後ナデ か?) 内面ナデか	II C	
			8.0 [3.1]							
75	古式土師器 高坏	210号溝 脚部		にぶい橙 5YR6/4	橙 6/8	普通 中 細砂・粗砂を多量含 む		内外面とも篋磨き・ナデ か?	III A	
			[6.2]							
76	古式土師器 高坏	247号溝 底部～脚部		橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	不良 中 細砂・粗砂を中量含 む		磨滅著しく調整不明	III A	
			[4.0]							

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
			底径	高さ			胎	土			
77	古式土師器 高坏	267号溝 脚部			にぶい黄 橙 10YR 6/4	にぶい黄 橙 10YR 6/4	普通 細 細砂・褐色粒子を少 量含む		磨滅著しい 調整不明	III A	
			9.1	[4.0]							
78	古式土師器 高坏	283号溝 坏部下部～脚 部			橙 5YR6/8	橙 5YR6/8	不良 細 細砂・粗砂・礫を多 量含む		磨滅著しい 外面篋磨きか	III A	
			[7.0]								
79	古式土師器 高坏	312号土坑 脚部			にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/4	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む		外面ハケ調整後篋磨きか 内面ハケ調整後ナデか	III A	
			[4.4]								
80	古式土師器 高坏	53号溝 脚部1/2			にぶい橙 7.5Y7/3	灰褐 7.5YR 6/2	良好 中 細砂・粗砂・黒色鈹 物粒を少量含む		外面篋ナデ? 内面指頭に よるナデか?	III A	
			[3.2]								
81	古式土師器 高坏	Hr-FA下 脚部1/6			橙 7.5YR 7/6	橙 7.5YR 6/6	不良 中 細砂・粗砂・礫・褐 色粒を多量含む		磨滅により調整不明 内面 削りか	III A	
			[4.8]								
82	古式土師器 高坏	270号溝 脚部			淡黄 2.5Y8/4	淡黄 2.5Y8/4	良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		外面篋磨き 内面ナデか	III A	
			[4.9]								
83	古式土師器 高坏	Hr-FA下 脚上部			橙 7.5YR 7/6	にぶい橙 7.5YR 7/4	不良 中 細砂・粗砂・褐色粒 を中量含む		磨滅により調整不明 内面 刷毛目か	III A	
			[2.6]								
84	古式土師器 高坏	268号溝 脚部			にぶい橙 7.5YR 7/3	淡黄 2.5Y 8/3	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む		外面篋磨き 内面上半篋削 り下半ナデか	III A	
			[5.0]								
85	古式土師器 高坏	Hr-FA下 脚部			浅黄橙 10YR 8/3	にぶい黄 橙 10YR 7/3	普通 中 細砂・粗砂を多量含 む		磨滅著しい 外面篋磨き 内面篋ナデか?	III A	
			[5.2]								
86	古式土師器 高坏	Hr-FA下 底部～脚部			橙 2.5Y6/6	明赤褐 2.5YR 5/6	良好 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		体部～脚部外面篋磨き 内 面ナデか?	III A	
			[4.6]								
87	古式土師器 高坏	Hr-FA下 坏底部～脚部 1/4			にぶい黄 橙 10YR 7/4	にぶい黄 橙 10YR 7/4	普通 中 細砂・粗砂を中量含 む		磨滅著しい 内面ナデか	III A	
			[5.5]								
88	古式土師器 高坏	Hr-FA下 脚部のみ			橙 5YR6/8	橙 7.5YR 6/6	不良 中 細砂・粗砂・礫を中 量含む		磨滅著しい 調整不明	III A	
			[4.1]								
89	古式土師器 高坏	Hr-FA下 底部～脚部			明褐 7.5YR 5/6	明赤褐 5YR5/6	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を少量含む		体部～脚部外面篋磨き・ナ デか 底部内面ナデ 脚部 内面篋ナデか	III A	
			[5.4]								
90	古式土師器 高坏	Hr-FA下 脚部2/3			橙 5YR6/6	明赤褐 5YR5/6	普通 中 細砂・粗砂・礫を多 量含む		磨滅著しい 内外面ナデか	III A	
			[5.3]								
91	古式土師器 高坏	Hr-FA下 底部～脚部			淡黄 2.5Y8/4	淡黄 2.5Y7/4	良好 細 細砂・粗砂・黒色鈹 物粒を中量含む		底部内外面篋磨き 脚部外 面櫛状工具による平行沈線	III A	
			[4.8]								
92	古式土師器 高坏	247号溝 脚部			橙 2.5Y6/6	明赤褐 2.5YR 5/6	不良 細 細砂を少量含む		磨滅著しい 外面篋磨きか	III B	
			[6.7]								
93	古式土師器 高坏	267号溝 坏体部～脚部			橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	普通 細 細砂・粗砂・黒色鈹 物粒・褐色粒子を中量含む		体部～脚部外面篋磨きか 脚部内面篋削り	III B	
			[10.3]								
94	古式土師器 高坏	311号土坑 脚部			にぶい橙 7.5YR 7/3	褐灰 7.5YR 4/1	普通 中 細砂・粗砂を少量含 む		磨滅著しい 外面篋磨き 内面ナデか	III B	
			[8.1]								
95	古式土師器 高坏	254号溝 脚部			橙 7.5YR 6/6	にぶい褐 7.5YR 5/4	不良 中 細砂 粗砂を多量含 む		磨滅著しく調整不明	III B	
			[6.0]								

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 底径 高さ	色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
						胎 土				
96	古式土師器 高坏	260号溝 脚部		明褐灰 7.5YR 7/2	明褐灰 7.5YR 7/2	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む		外面ハケ目後篋磨きか？ 内面ハケ目	III B	
			[8.0]							
97	古式土師器 高坏	260号溝 坏体部～脚部		橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		体部～脚部外面・体部内面 篋磨きか 脚部内面下半篋 削り	II A	
			[10.8]							
98	古式土師器 高坏	260号溝 脚部1/2		にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 5YR7/4	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		外面篋磨き内面ナデか	II B	
			[7.0]							
99	古式土師器 高坏	268号溝 脚部		にぶい赤 褐 2.5YR 5/4	褐 10YR 4/6	普通 細 細砂・褐色粒子を中 量含む		脚部外面篋磨き内面篋ナデ か 底部内面ナデ	III B	
			[5.0]							
100	古式土師器 高坏	271号溝 脚部2/3		浅黄橙 7.5YR 8/4	浅黄橙 7.5YR 8/3	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む		器面剥落著しい 外面篋磨 き 内面篋ナデ・削りか	III B	
			[5.5]							
101	古式土師器 高坏	Hr-FA下 底部～脚部		にぶい橙 5YR7/4	にぶい橙 7.5YR 6/4	普通 中 細砂・褐色粒子を微 量含む		体部～脚部外面篋磨き 内 面ナデか？	III B	
			[5.5]							
102	古式土師器 高坏	271号溝 脚部2/3		にぶい橙 5YR7/4	灰白 7.5Y8/2	普通 細 細砂・粗砂を多量含 む		脚部外面篋磨き内面ナデか 底部内面ナデか	III B	
			[8.0]							
103	古式土師器 高坏	114号土坑 脚部破片		にぶい橙 7.5YR 6/4	にぶい橙 7.5YR 7/4	良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		外面ナデか	III B	
			[6.5]							
104	古式土師器 高坏	Hr-FA下 脚部		にぶい黄 橙 10YR 7/3	にぶい黄 橙 10YR 7/3	普通 中 細砂・粗砂を多量含 む		磨減著しい 外面磨き・ナ デ 内面指頭によるナデか	III B	
			[8.2]							
105	古式土師器 高坏	Hr-FA下 脚上部		明赤褐 2.5YR 5/8	明赤褐 2.5YR 5/8	不良 中 細砂・粗砂・礫を中 量含む		磨減により調整不明 内面 指頭によるナデか	III B	
			[6.4]							
106	古式土師器 高坏	184号溝 坏部1/4		赤 10R5/6	赤褐 2.5YR 4/6	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む		体部外面篋ナデ内面篋磨き か？	III C	
			[2.2]							
107	古式土師器 高坏	260号溝 坏部底部		橙 5YR6/6	明赤褐 5YR5/6	普通 細 細砂・粗砂・黒色鉱物粒 を少量 褐色粒子を多量含む		内外面ともナデか	III C	
			[1.4]							
108	古式土師器 高坏	Hr-FA下 坏部		赤褐 10R5/3	灰褐 5YR5/2	良好 細 細砂を中量含む		外面篋磨き 内面篋ナデ か？	III C	
			[2.0]							
109	古式土師器 高坏	260号溝 坏部	20.0	橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を多量含む		口縁部～体部横ナデ(後篋 磨き?)か 体部下に隆帯 貼り付け	II C	
			[5.9]							
110	古式土師器 高坏	Hr-FA下 坏部1/2		浅黄橙 10YR 8/4	灰白 10YR 8/2	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		内外面ともナデか	III C	
			[2.5]							
111	古式土師器 器台？	260号溝 口縁部1/4	(17.3)	にぶい赤 褐 5YR5/4	にぶい橙 5YR6/3	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む		内外面とも細かいハケ目後 ナデか	II C か IV	
			[2.2]							
112	古式土師器 器台？	As-C下 脚部		橙 5YR6/8	明黄褐 10YR 6/8	不良 細 細砂・粗砂・礫・赤 色粒子を多量含む		磨減著しい 外面ナデか 内面上半篋削りか	III A	
			[4.8]							
113	古式土師器 器台	267号溝 脚部1/3		にぶい黄 橙 10YR 7/3	にぶい黄 橙 10YR 6/4	普通 細 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		磨減著しい 内外面篋磨き か	IV	
			[7.6]							
114	古式土師器 器台	311号土坑 底部～脚部		灰白 10YR 8/2	灰白 10YR 8/2	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む		磨減著しい 外面篋磨き 内面ナデか	IV	
			[3.2]							

No	種別	出土位置	口径	色調表	色調裏	焼成	調整	分類	備考
	器種	残存率	底径 高さ			胎土			
115	古式土師器 器台	40号溝 脚部1/3	[3.9]	にぶい橙 5YR7/3	にぶい橙 5YR7/3	普通 中 細砂・粗砂・黒色鈹 微粒の細粒を含む	外面篋削り後ナデ内面ナデ か	IV	
	古式土師器 器台	253号溝 脚部	11.4 [8.3]	橙 7.5YR 6/6	橙 7.5YR 7/6	不良 中 細砂・粗砂・礫・褐色 粒子を多量含む	磨滅著しい 外面篋磨きか	IV	
117	土師器 器台?	124号溝 底部～脚部	[3.7]	橙 5YR7/6	橙 5YR6/6	普通 中 細砂・粗砂・礫・黒 色鈹微粒を中量含む	脚部外面細かい削りか? 内面削り	V	
	古式土師器 器台	236号土坑 脚部1/3	[3.4]	浅黄橙 7.5YR 8/3	浅黄橙 7.5YR 8/3	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	外面ナデか?	IV	
119	古式土師器 器台	Hr-FA下 脚部	[5.5]	橙 7.5YR 7/6	にぶい橙 7.5YR 7/4	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	内外面ともナデか	IV	
	古式土師器 器台?	Hr-FA下 坏部	[3.1]	橙 5YR7/6	橙 5YR6/6	普通 中 細砂・粗砂を少量含 む	内外面篋磨きか	IV	
121	古式土師器 埴	312号土坑 完形	10.4 9.9	にぶい橙 7.5YR 7/3	にぶい橙 7.5YR 7/4	普通 細 細砂・粗砂を多量含 む	口縁部横ナデ 胴部下半～ 底部外面篋削り 口縁部内 面下半篋ナデ胴～底部内面 指頭によるナデ	V	
	古式土師器 埴	Hr-FA下 頸部	[4.6]	にぶい黄 橙 10YR7/3	にぶい黄 橙 10YR7/3	普通 細 細砂・粗砂を中量含 む	内外面とも篋磨きか?	V	
123	古式土師器 鉢	246号ピット 底部	2.8 [4.6]	灰黄 2.5Y7/2	にぶい黄 橙 10YR7/3	普通 中 細砂・粗砂を多量含 む	磨滅著しい 口縁部横ナデ 内面篋磨きか	VI	
	古式土師器 小型碗	283号溝 ほぼ完形	8.6 3.8 4.1	淡黄 2.5Y8/3	灰黄 2.5Y7/2	普通 中 細砂・粗砂を中量含 む	口縁部横ナデ 体部外面上 半ハケ目体部下半～底部外 面篋削り 内面篋ナデ	VI	
125	古式土師器 小型土器	254号溝 体部～底部	3.3 [2.1]	灰黄 2.5Y7/2	灰黄 2.5Y7/2	普通 中 細砂・粗砂・白色粒 子を中量含む	内外面ともナデか	VI	
	古式土師器 小型土器	254号溝 口縁部欠損	4.1 [3.4]	橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を多量含む	内外面ともナデか	VI	
127	古式土師器 不明	260号溝 1/2	[2.4]	にぶい黄 橙 10YR7/3	灰白 10YR7/1	普通 中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む	外面ナデか	VI	

古墳時代前期石製品観察表

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	石材	特 徴
128	石製模造品 鏡?	267号溝	[3.0] 0.5	[2.2] 4.0g	3/4	蛇紋岩	中央やや上部に孔2



第343図 古墳時代前期以前遺構位置図

第6節 古墳時代前期以前

(1) 概要

この節では、古墳時代前期以前の遺構・遺物を掲載する。As-C降下以前の遺構・遺物を一括して扱う。調査は、B区・C区・E区・F区のみ行い、A・D区はトレンチ調査により遺構が存在しなかったため、調査対象外とした。遺構は、溝20条、土坑9基、ピット7基等である。溝は調査区東部全面から、土坑・ピットは、調査区北東部（B区東部）と調査区南部（E区南部・F区）で検出されている。

(2) 遺構

溝

溝は20条検出されている。

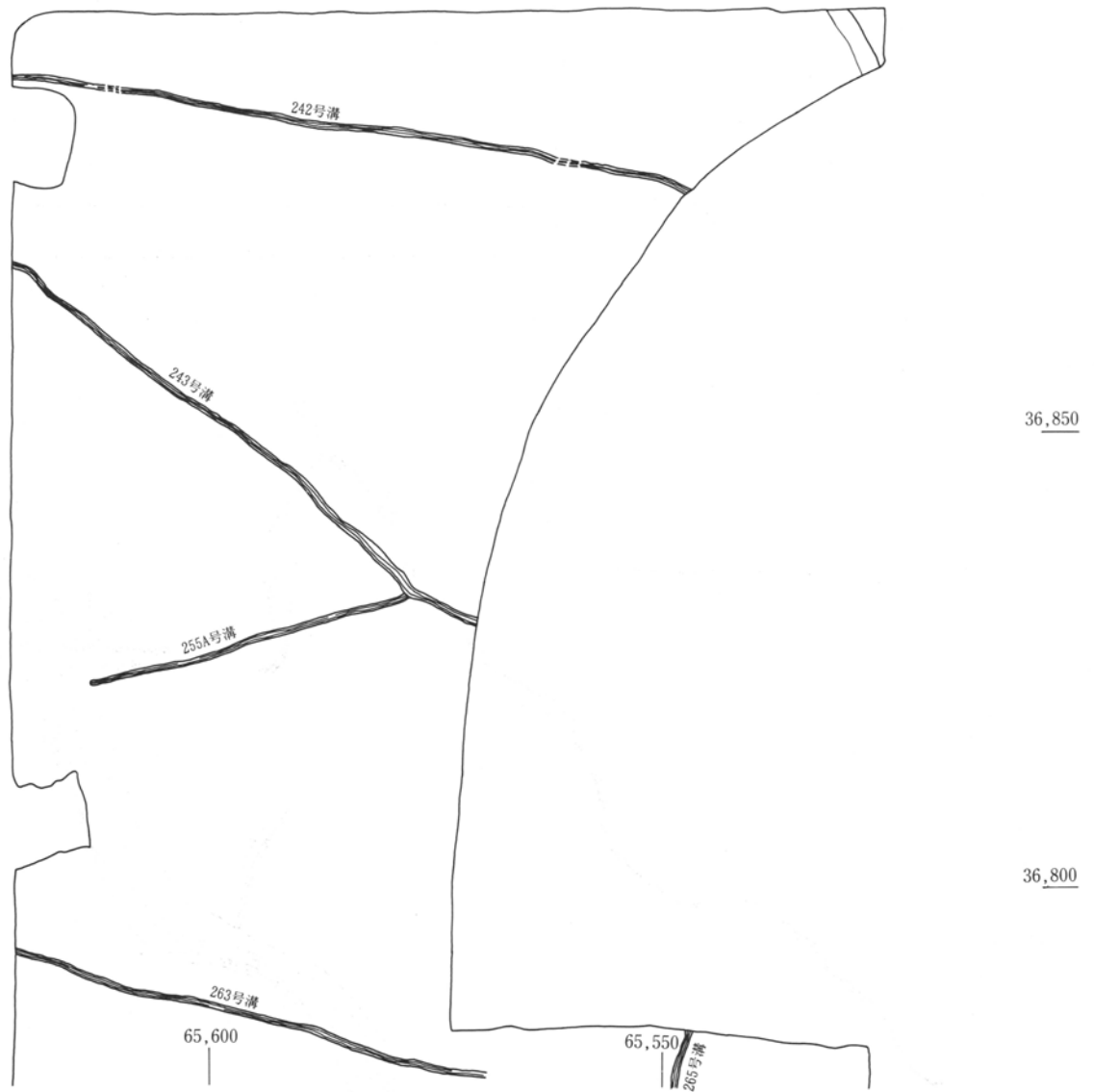
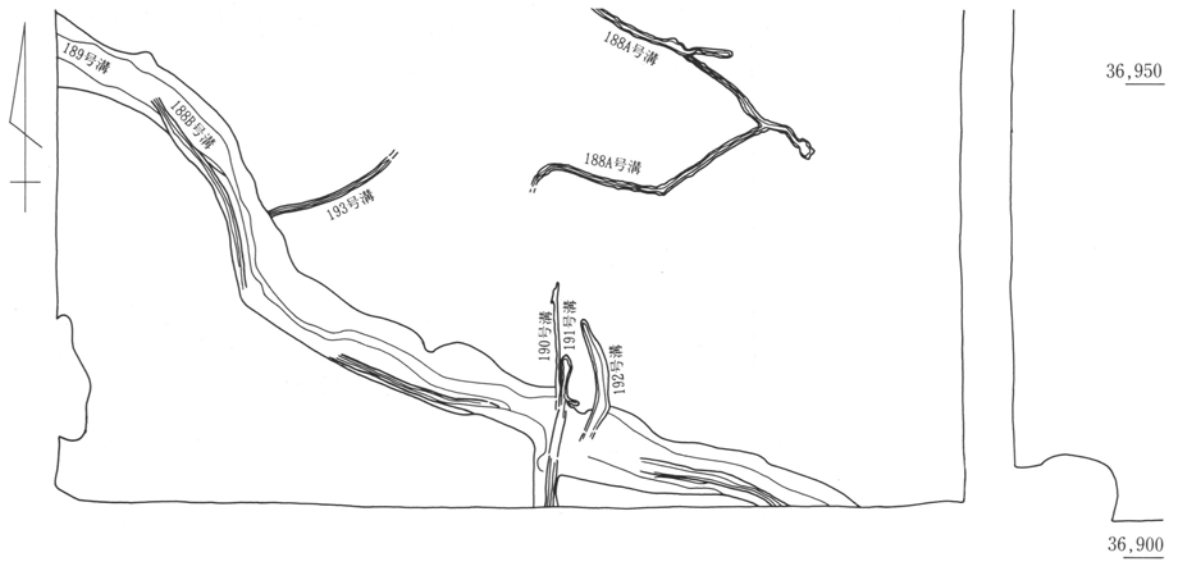
- ① 分布 A区・D区を除いた、調査区東部ほぼ全面から検出されている。調査区中部（E区）に2条検出され、他は南端部（F区）に集中している。
- ② 規模 最大幅2.30～0.42m平均0.99m、最小幅1.20～0.20m平均0.43m、深さ40～2cm平均17cmである。
- ③ 走向 北西から南東に走るものがほとんどであるが、ばらつきが比較的大きい。
- ④ 機能 出土遺物はほとんどなく、性格は不明である。188B・189号溝は自然の流路と考えられる。
- ⑤ 時期 時期の判明する遺物は出土していないため、As-C降下以前であること以外は不明である。
- ⑥ 出土遺物 255A溝から弥生土器が1点出土しているだけである。

古墳時代前期以前溝一覧表

No	位置	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向	備考
188A	936～028-542～622		[127.0] 28.0	1.10 0.80	0.30 0.55	16 23	N-45°-E N-78°-E	2本の溝が合流
188B	904～946-544～611	189溝と重複	[85.0]	1.51	0.25	7	N-15°-W N-70°-W	自然の流路。平面図は全体図のみ
189	904～956-536～622	188B・190・191・193・193溝と重複	[102.0]	0.84	0.40	11	N-19°-W N-72°-W	自然の流路。平面図は全体図のみ
190	915～927-568～569	189・191溝と重複	[12.1]	0.42	0.27	5	N-2°-W	
191	903～915-566～568	189・190溝と重複	[15.8]	0.98	0.55	10	N-7°-E	
192	911～923-563～566	189溝と重複	[12.4]	1.50	0.55	22	N-17°-W N-25°-E	
193	934～940-588～602	189溝と重複	[14.2]	0.58	0.38	10	N-70°-E	
225	912～972-464～484		[64.2]	0.57	0.27	36	N-19°-W	
226	913～939-437～438		[26.2]	0.55	0.26	21	N-3°-W	
242	874～888-546～620		[75.8]	0.47	0.30	13	N-81°-W	
243	828～866-570～620	255A溝より新	[64.8]	0.69	0.26	15	N-53°-W	
255A	820～830-578～602	243溝より古	36.0	0.63	0.28	15	N-75°-E	
261	720～730-584～602		[20.9]	0.90	0.24	13	N-59°-W	
262	720～744-542～564	265溝と重複	[33.4]	0.79	0.49	34	N-44°-W	
263	760～792-528～620	265溝より新	[98.8]	1.30	0.20	29	N-76°-W N-45°-W	
264	718～752-622～634	266溝と重複	[38.7]	2.00	0.65	40	N-62°-E N-70°-W	
265	742～782-546～568	263溝より古、262溝と同時期か	[46.0]	0.61	0.23	17	N-40°-E N-17°-E	
266	734～740-632～636	264溝と重複	6.8	0.50	0.40	7	N-48°-W	
284	662～706-538～580	260・268・278溝と重複	[65.5]	1.65	1.00	2	N-13°-W N-42°-W N-68°-W	
291	702～704-610～612		[3.5]	2.30	1.20	18	N-5°-W	

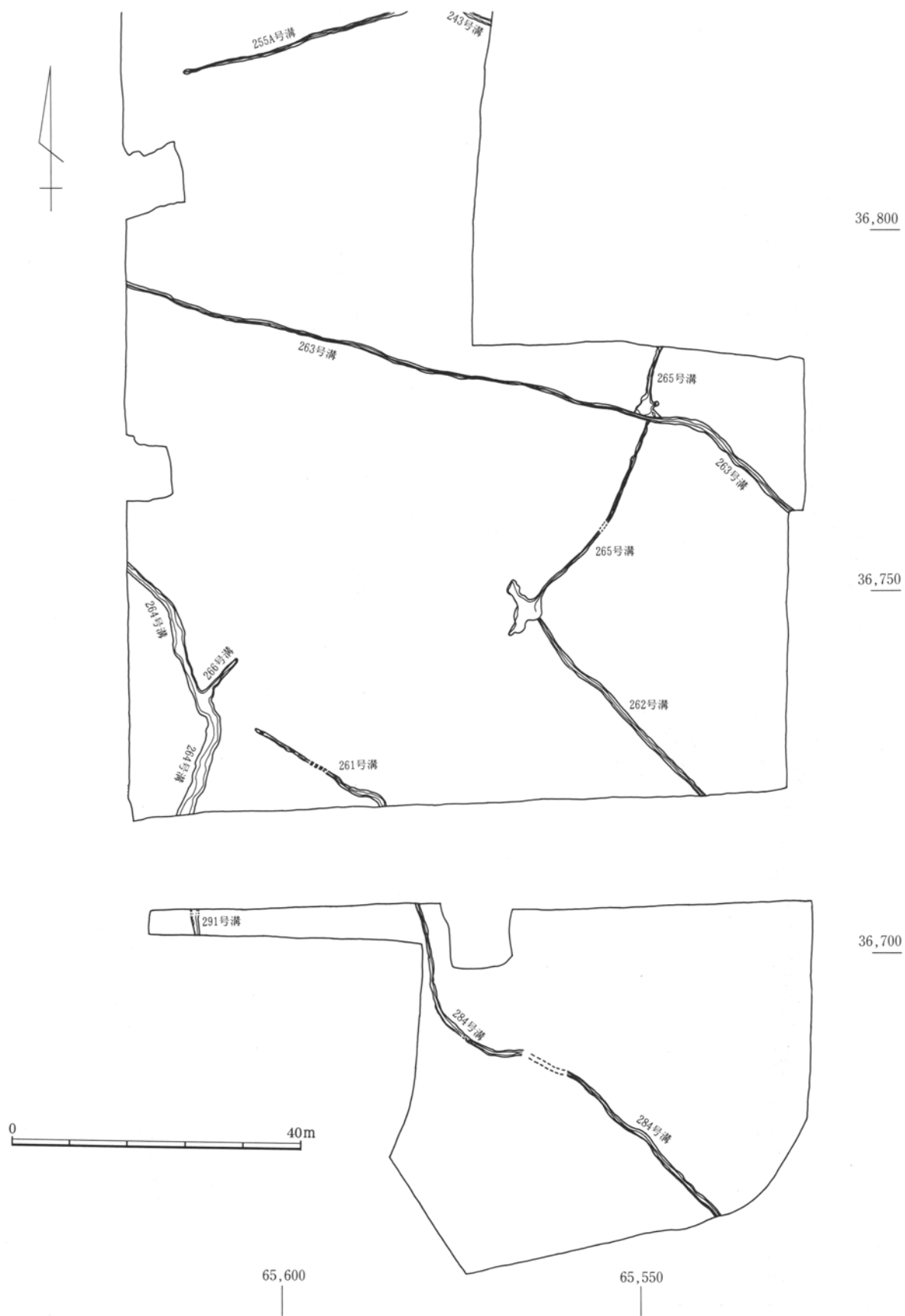


第344图 古墳時代前期以前溝部分位置图1

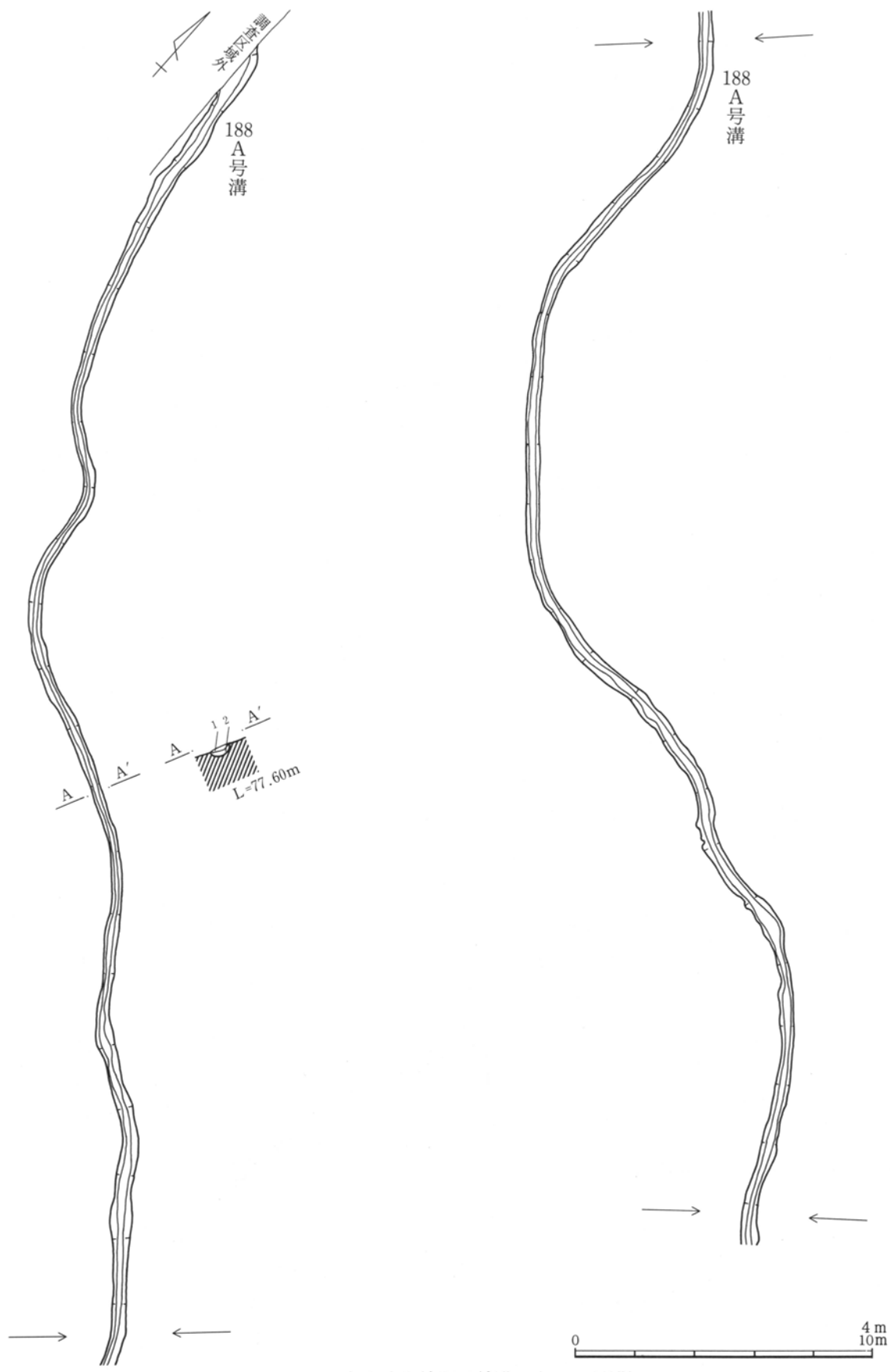


第345图 古墳時代前期以前溝部分位置图 2

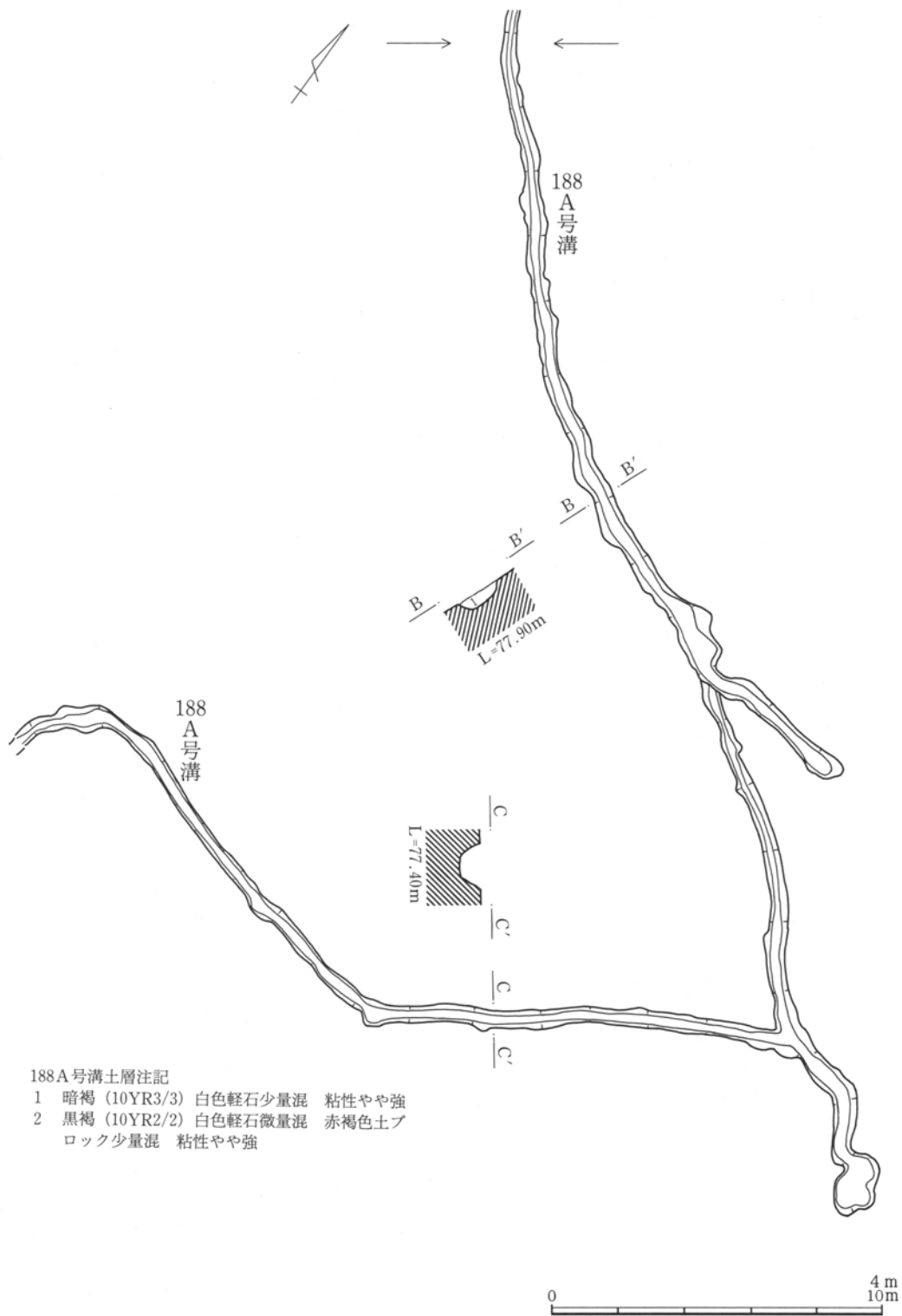




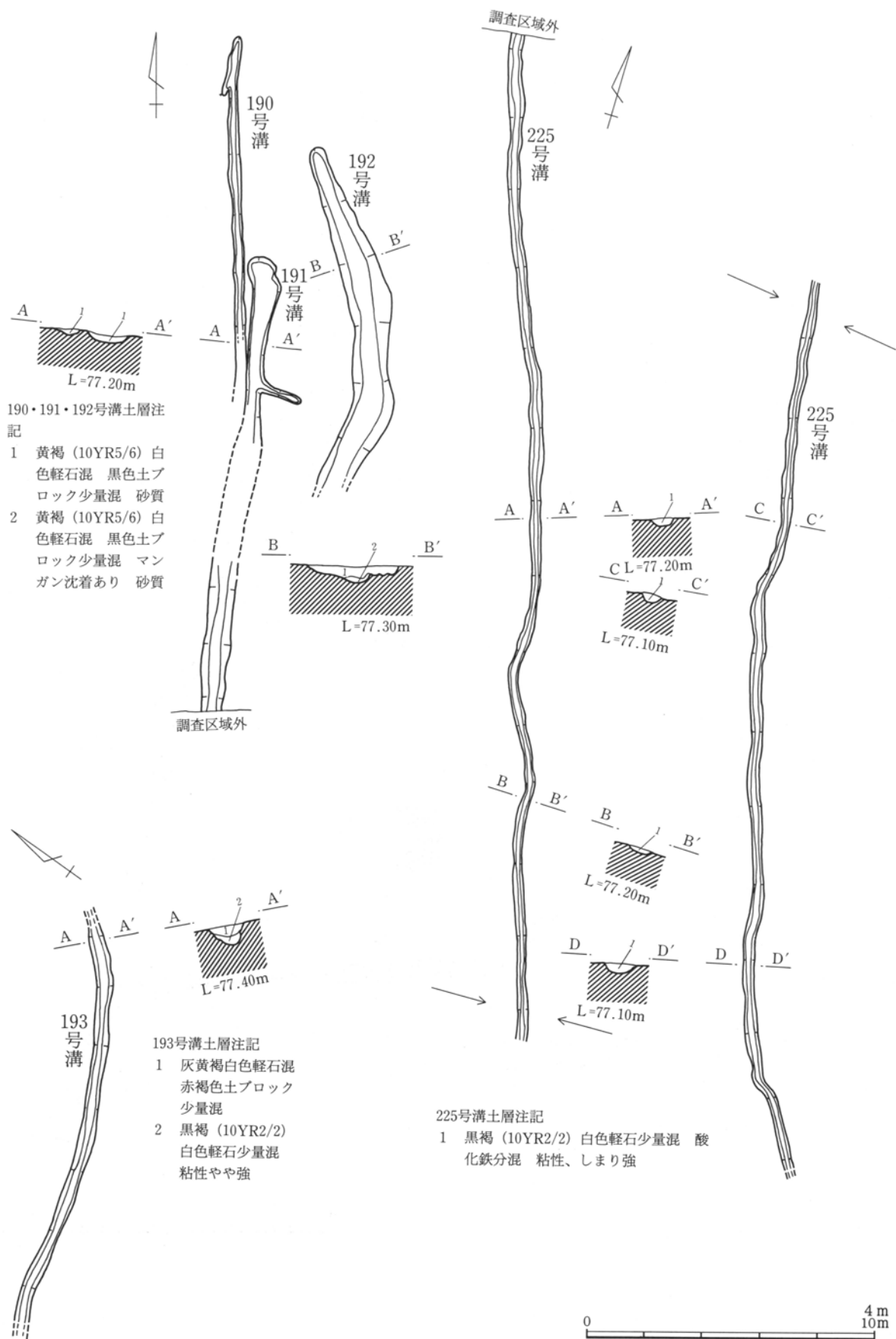
第346図 古墳時代前期以前溝部分位置図 3



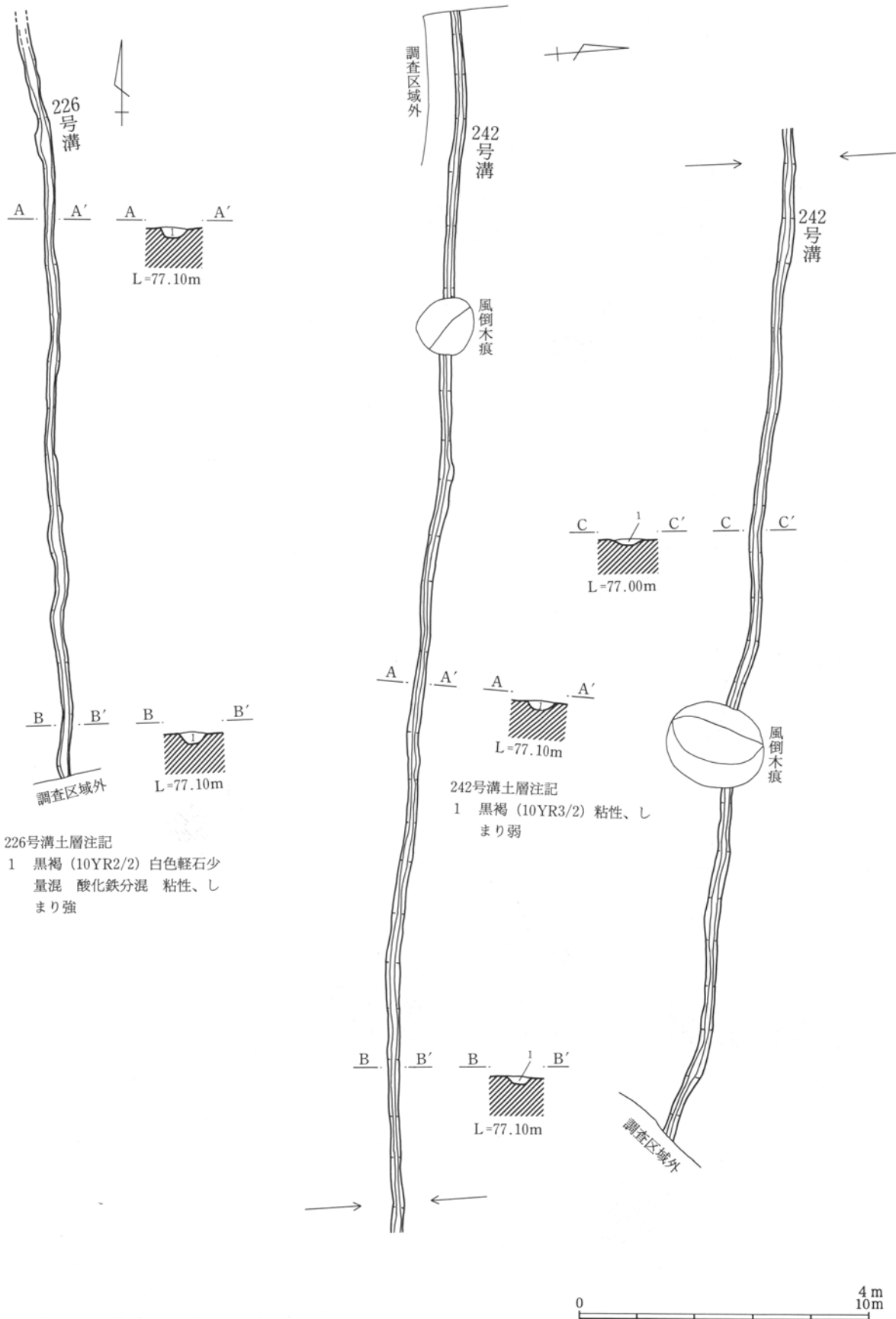
第347図 古墳時代前期以前溝1 (188A号溝)



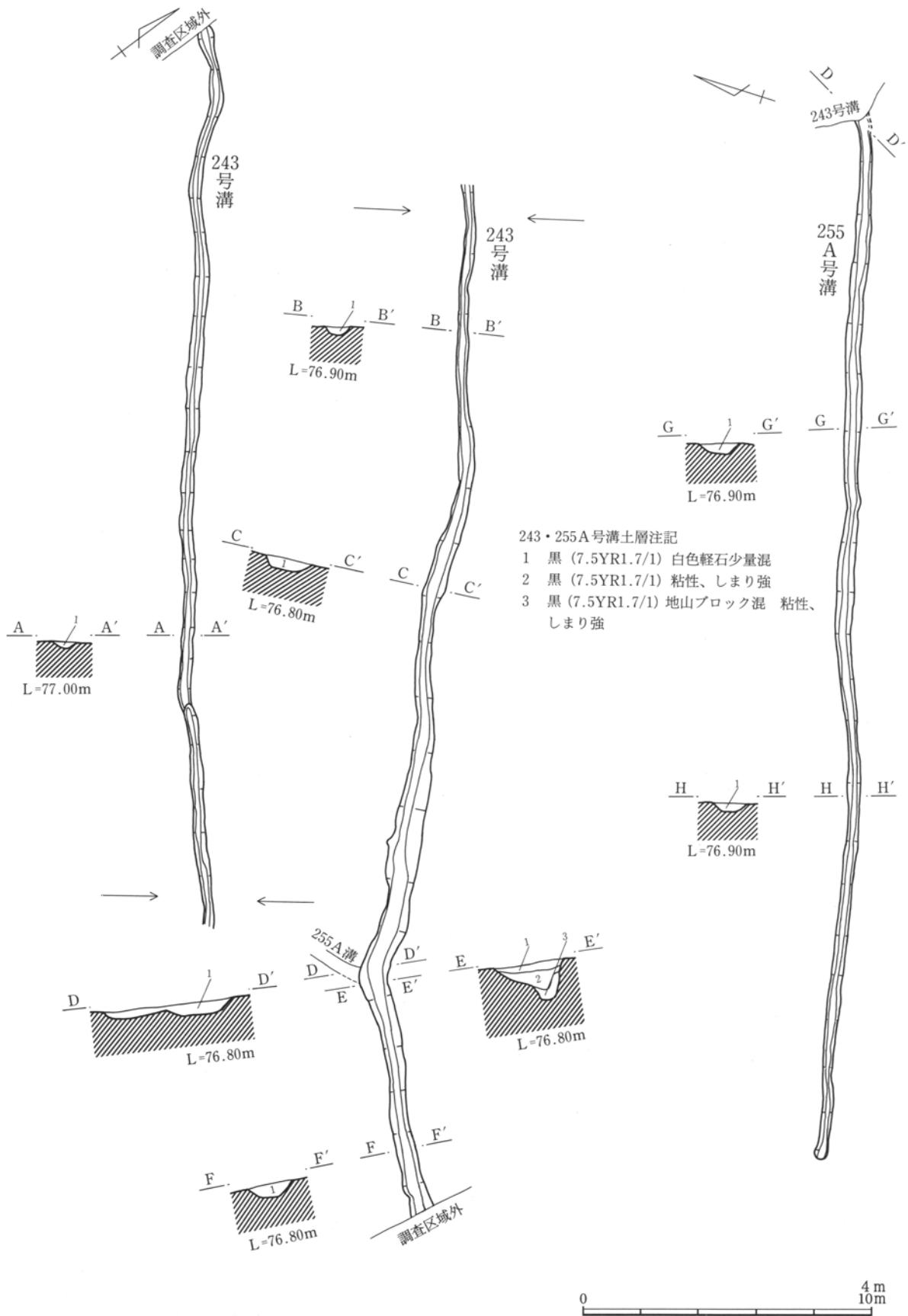
第348図 古墳時代前期以前溝 2 (188A号溝)



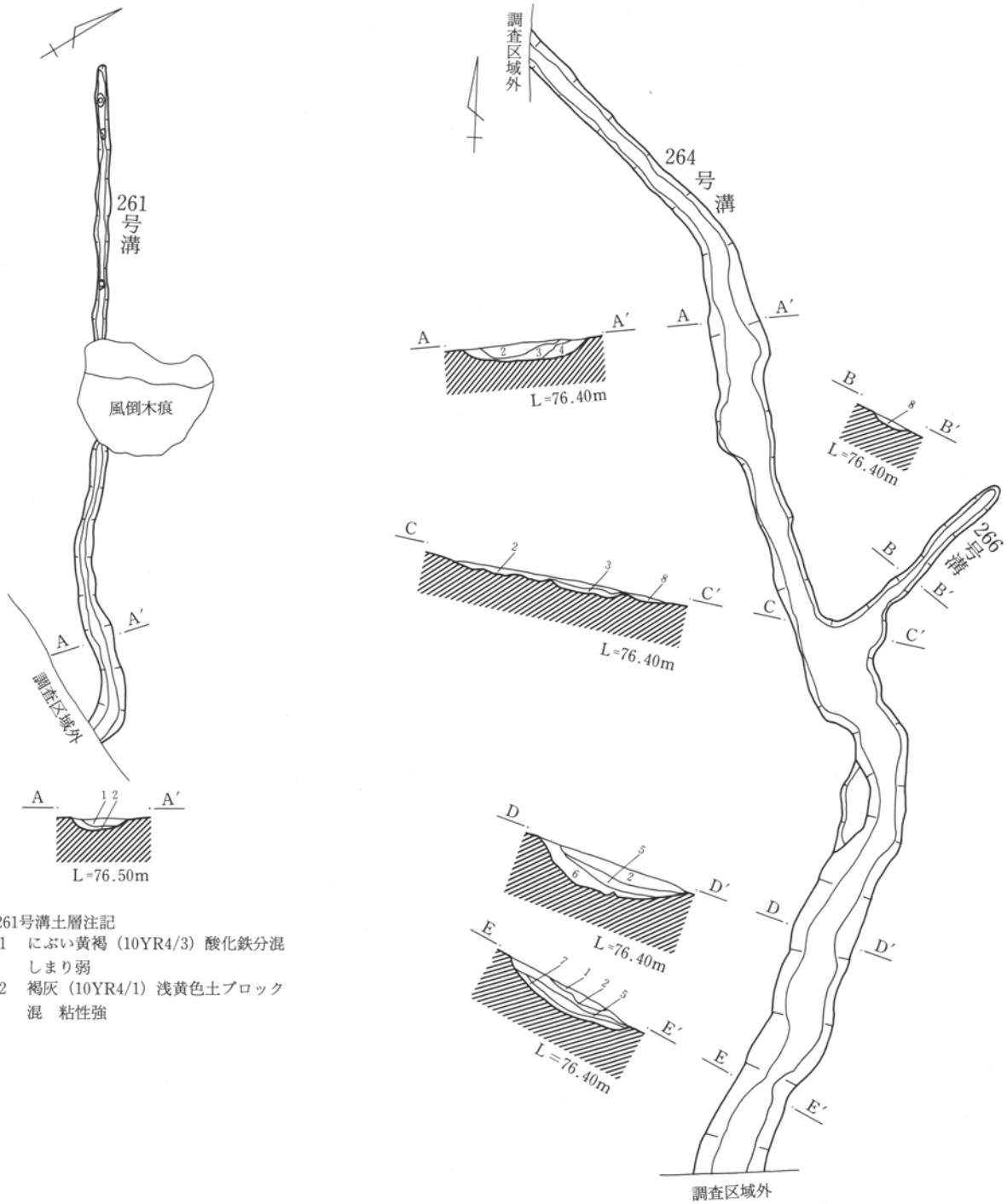
第349図 古墳時代前期以前溝3 (190~193・225号溝)



第350図 古墳時代前期以前溝 4 (226・242号溝)



第351図 古墳時代前期以前溝5 (243・255A号溝)



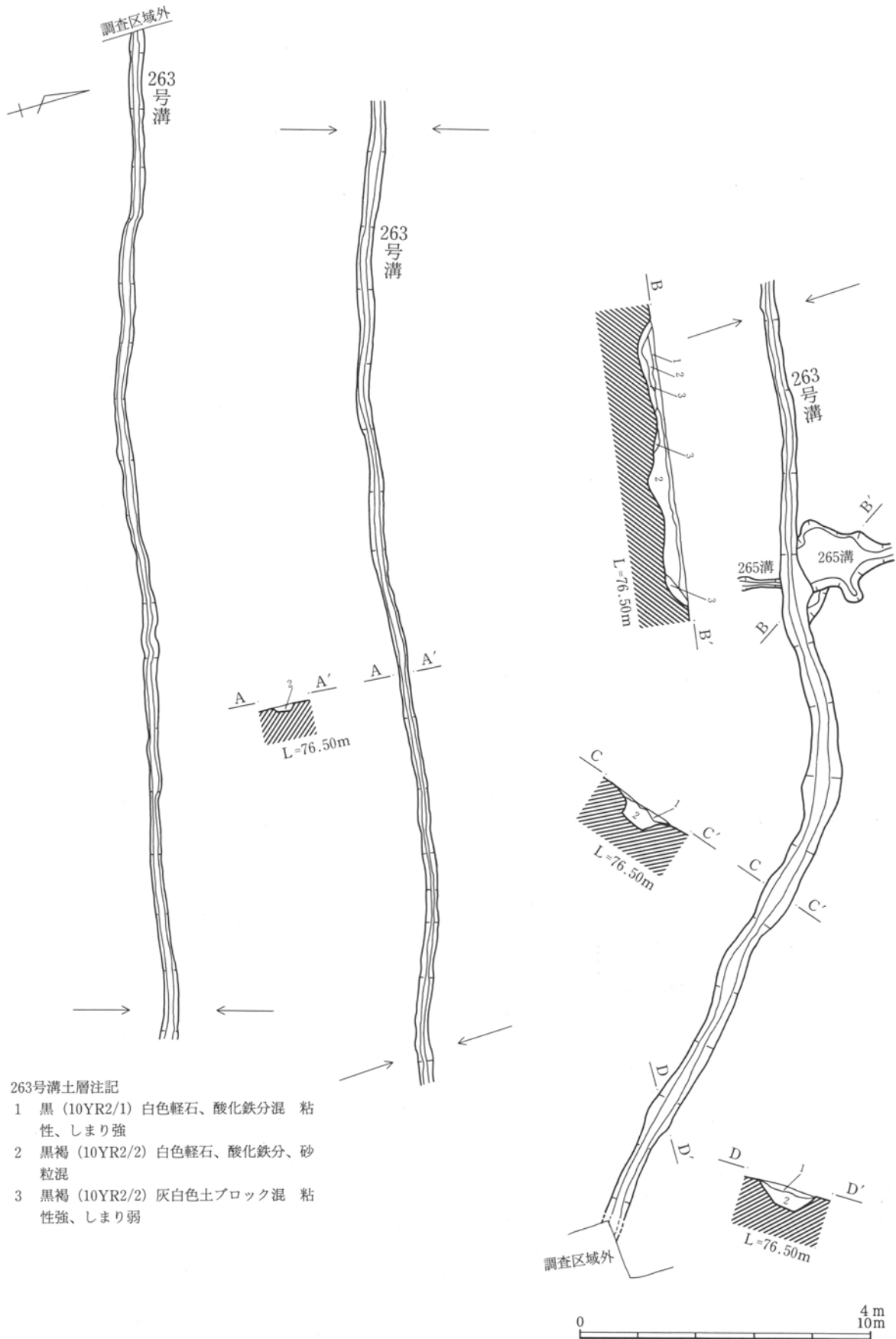
261号溝土層注記

- 1 におい黄褐 (10YR4/3) 酸化鉄分混
しまり弱
- 2 褐灰 (10YR4/1) 浅黄色土ブロック
混 粘性強

264・266号溝土層注記

- 1 赤褐色 (5YR4/8) 酸化鉄分層 粘性極弱
- 2 黒 (10YR2/1) 酸化鉄分ブロック混 粘性、しまり強
- 3 灰黄褐 (10YR4/2) 黒色土ブロック混 粘性、しまりやや強
- 4 灰黄褐 (10YR5/2) 砂質
- 5 黒 (10YR2/1) 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強
- 6 灰白 (10YR7/1) 赤褐色土・黒色土ブロック混 砂粒多量混
- 7 浅黄 (5YR7/3) 酸化鉄分少量混 砂粒混
- 8 褐灰 (10YR4/1)

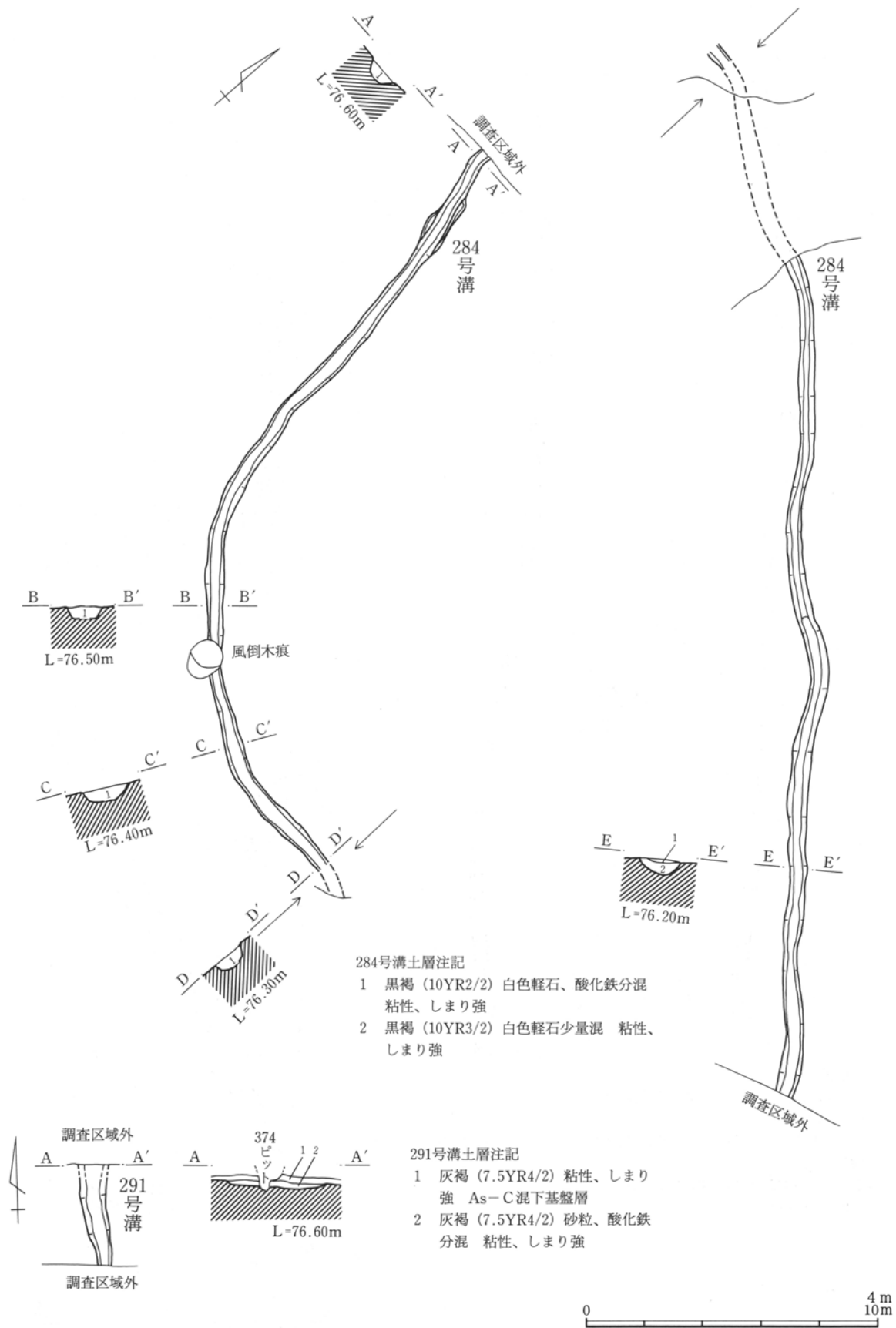
第352図 古墳時代前期以前溝 6 (261・264・266号溝)



263号溝土層注記

- 1 黒 (10YR2/1) 白色軽石、酸化鉄分混 粘性、しまり強
- 2 黒褐 (10YR2/2) 白色軽石、酸化鉄分、砂粒混
- 3 黒褐 (10YR2/2) 灰白色土ブロック混 粘性強、しまり弱

第354図 古墳時代前期以前溝 8 (263号溝)



第355図 古墳時代前期以前溝9 (284・291号溝)

土坑

土坑は9基検出されている。

① 分布 調査区北東部（B区東部）と調査区南部（E区南部・F区）で検出されている。

② 形態 平面形態はA・Bの2形態、断面形態はa～cの3形態に分類できる。

平面形態 A 円形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）

B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）

断面形態 a 底部が平らなもの

b 底部が丸みを帯びるもの

c 不正形のもの

平面形態は、円形が4基、楕円形が5基とほぼ同数となっている。断面形態は底部が平らなものが5基と圧倒的に多くなっている。

③ 規模 長径1.44～0.54m平均1.01m、短径1.15～0.45m平均0.80mで長径と短径の比は1.71～1.02平均1.28である。深さは40～8cm平均18cmである。面積は1.14～0.19m²平均0.61m²である。

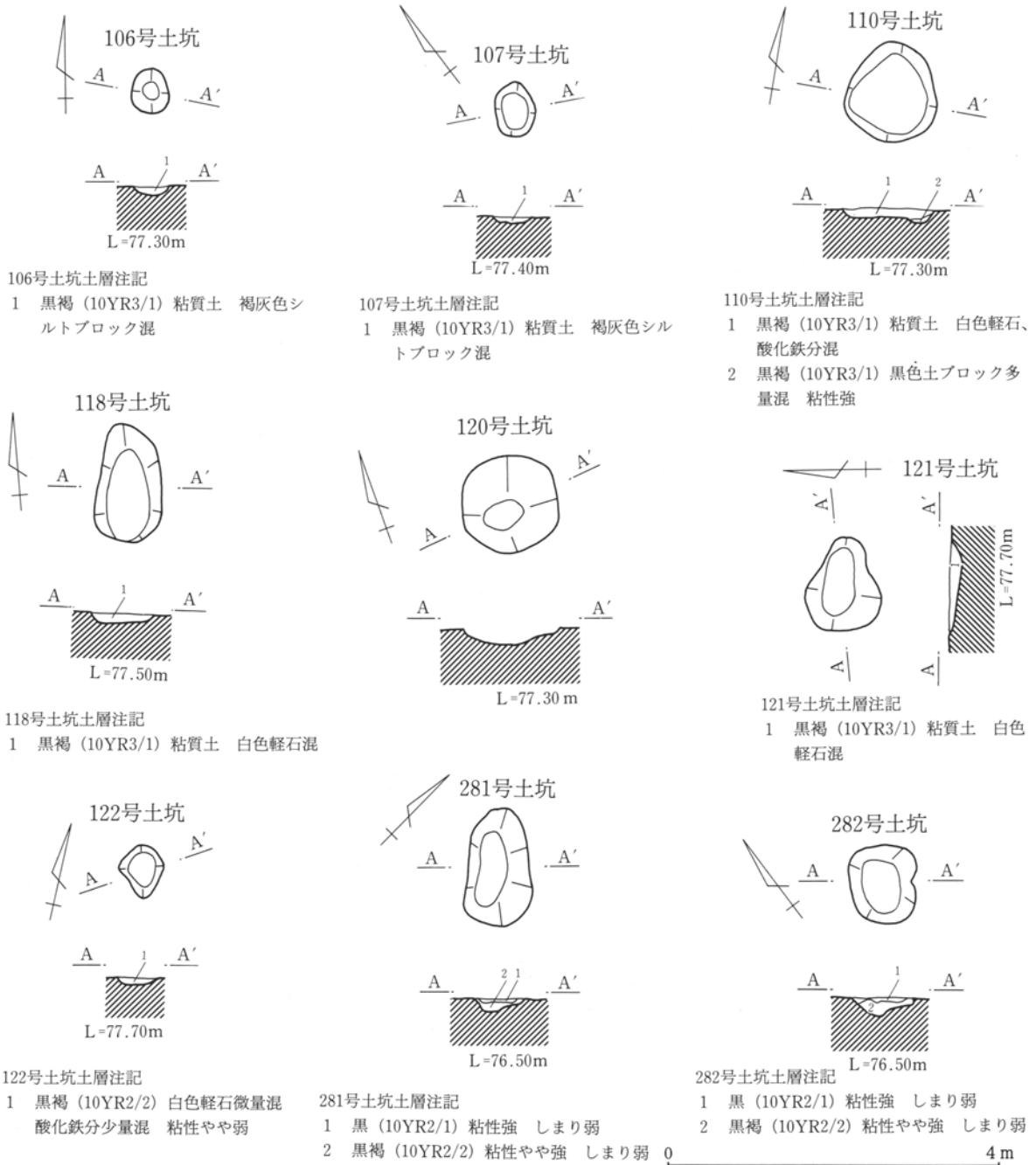
④ 主軸方位 北から45°以内のものがほとんどである。

⑤ 機能 出土遺物が少なく、性格不明である。

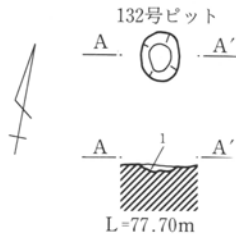
⑥ 出土遺物 時期の判明する遺物が出土しているものはない。

古墳時代前期以前土坑一覧表

No.	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
106	956～957-552		A	a	0.54	0.45	1.20	10	0.19	N-0°	
107	957～958-551～552		B	a	0.66	0.49	1.35	8	0.25	N-38°-E	
110	953～954-546～547		A	a	1.21	1.12	1.08	16	1.06	N-8°-W	
118	940～941-533～534		B	a	1.44	0.84	1.71	12	0.93	N-7°-W	
120	931～932-526～527		A	b	1.17	1.15	1.02	22	1.14	N-21°-E	
121	013～014-567～568		B	a	1.11	0.92	1.21	13	0.74	N-90°	
122	015-565		B	b	0.63	0.52	1.21	40	0.24	N-13°-W	
281	754～755-594～595		B	c	1.40	0.84	1.67	18	0.30	N-44°-W	
282	759～760-599～600		A	c	0.91	0.86	1.06	24	0.68	N-40°-E	



第356図 古墳時代前期以前土坑(106・107・110・118・120～122・281・282号土坑)



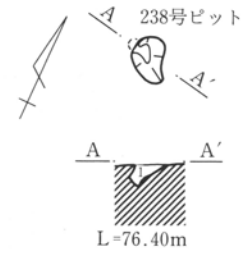
132号ピット

1 黒褐 (10YR2/2) 白色軽石微量混 灰層ブロック、赤褐色ブロック少量混 粘性やや強



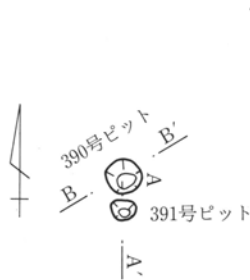
148B号ピット

1 黒褐 (10YR2/2) 粘性、しまり強

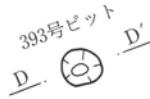


238号ピット

1 黒 (10YR2/1) 褐灰土ブロック混 粘性、しまり強

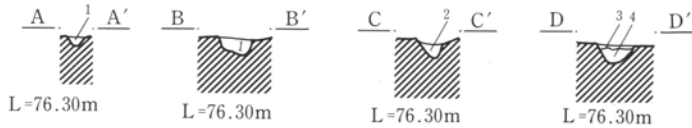


392号ピット



390・391・392・393号ピット

- 1 黒褐 (10YR3/2) ロームブロック混 粘質土ブロック微量混 粘性、しまり強
- 2 暗褐 (10YR3/4) ローム粒子少量 粘質土ブロック中量混 粘性、しまり強
- 3 黒褐 (10YR2/2) ローム粒子混 白色軽石微量混 粘質土ブロック少量混 粘性やや強 しまり強
- 4 暗褐 (10YR3/2) ローム粒子・ブロック混 粘質土ブロック微量混 粘性極強、しまり強



第357図 古墳時代前期以前ピット(132・148B・238・390～393号ピット)

ピット

ピットは7基検出されている。

- ① 分布 調査区南部 (E区南部・F区) に集中している。
- ② 規模 長径53～28cm平均39cm短径40～21cm平均32cm深さ23～6cm平均14cmである。
- ③ 特徴 出土遺物もなく、性格は不明である。

古墳時代前期以前ピット一覧表

No	位置		長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考	No	位置		長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
	Gr							Gr					
132	024	571～572	53	40	6		391	666	563～564	28	21	9	
148B	955	514	34	32	14		392	668	562	28	25	14	
238	741	608	52	36	23		393	665	560	43	38	18	
390	666	667～563～564	38	35	17								

(3) 遺構外遺物出土状況

古墳時代前期以前の遺物の出土は非常に少なく、総数でも58点である。このうち遺構出土は1点だけで、他は遺構外からの出土である。分布は、少量ながら調査区ほぼ全面から出土している。

古墳時代前期以前遺構外遺物出土状況

	縄文土器	弥生土器	赤井戸	石鏃	磨製石斧	スクレイパー	磨り石	計		縄文土器	弥生土器	赤井戸	石族	磨製石斧	スクレイパー	磨り石	計
670-555G	1							1	935-510G	1							1
670-575G	1							1	940-475G				1				1
675-560G	1							1	940-500G	1							1
680-560G		1						1	950-505G	1							1
680-570G		1						1	950-510G								1
690-560G				1				1	950-540G	1							1
820-570G						1		1	960-535G			2					1
845-575G			1					1	965-515G	1							1
845-575G	1							1	975-570G			1					1
850-575G		1						1	025-570G	1							1
850-580G	2							2	035-580G	1							1
860-575G				1				1	グリッド計	17	3	4	4	0	1	1	30
880-570G	3							3	その他遺構外計	2	0	0	7	1	0	0	10
885-535G				1				1	遺構混入計	13	1	0	1	0	0	2	17
900-580G	1							1	総計	32	4	4	12	1	1	3	57

(4) 遺物

遺物は、縄文土器、弥生土器、石器が出土している。

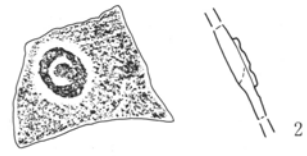
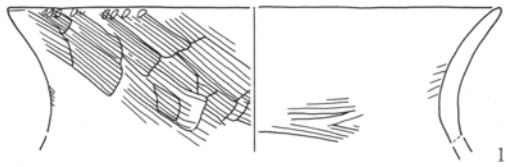
縄文土器 縄文土器は総数32点出土している。小破片が多いが、中期から後期にかけてのものがほとんどである。時期の判明するものは、中期勝坂式が2点、加曽利E式が2点、後期堀ノ内式が2点である。

弥生土器 弥生土器は4点出土している。時期は後期である。

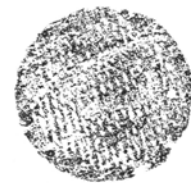
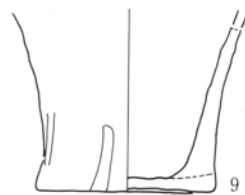
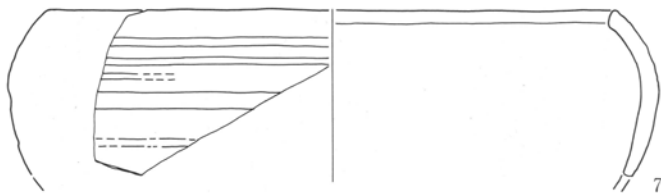
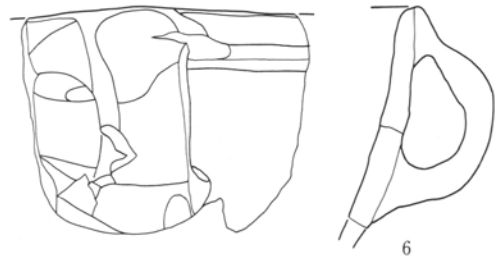
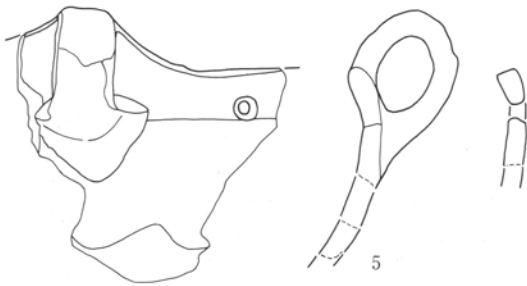
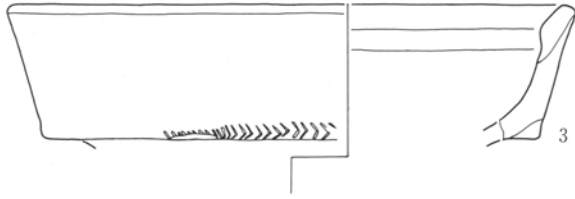
石器

石鏃が12点、磨製石斧が1点、スクレイパーが1点、磨り石が2点出土している。

弥生土器



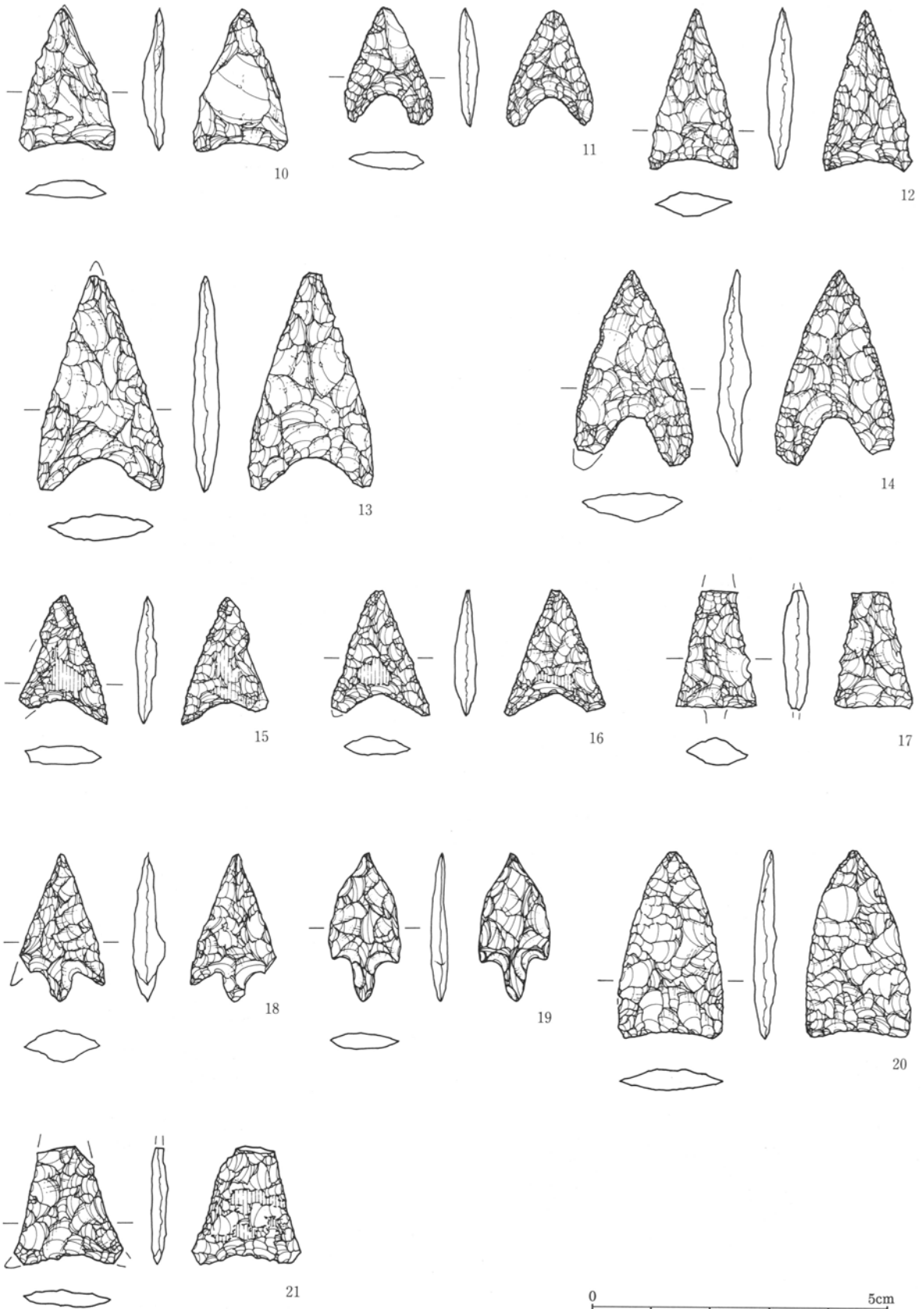
縄文土器



0 10cm

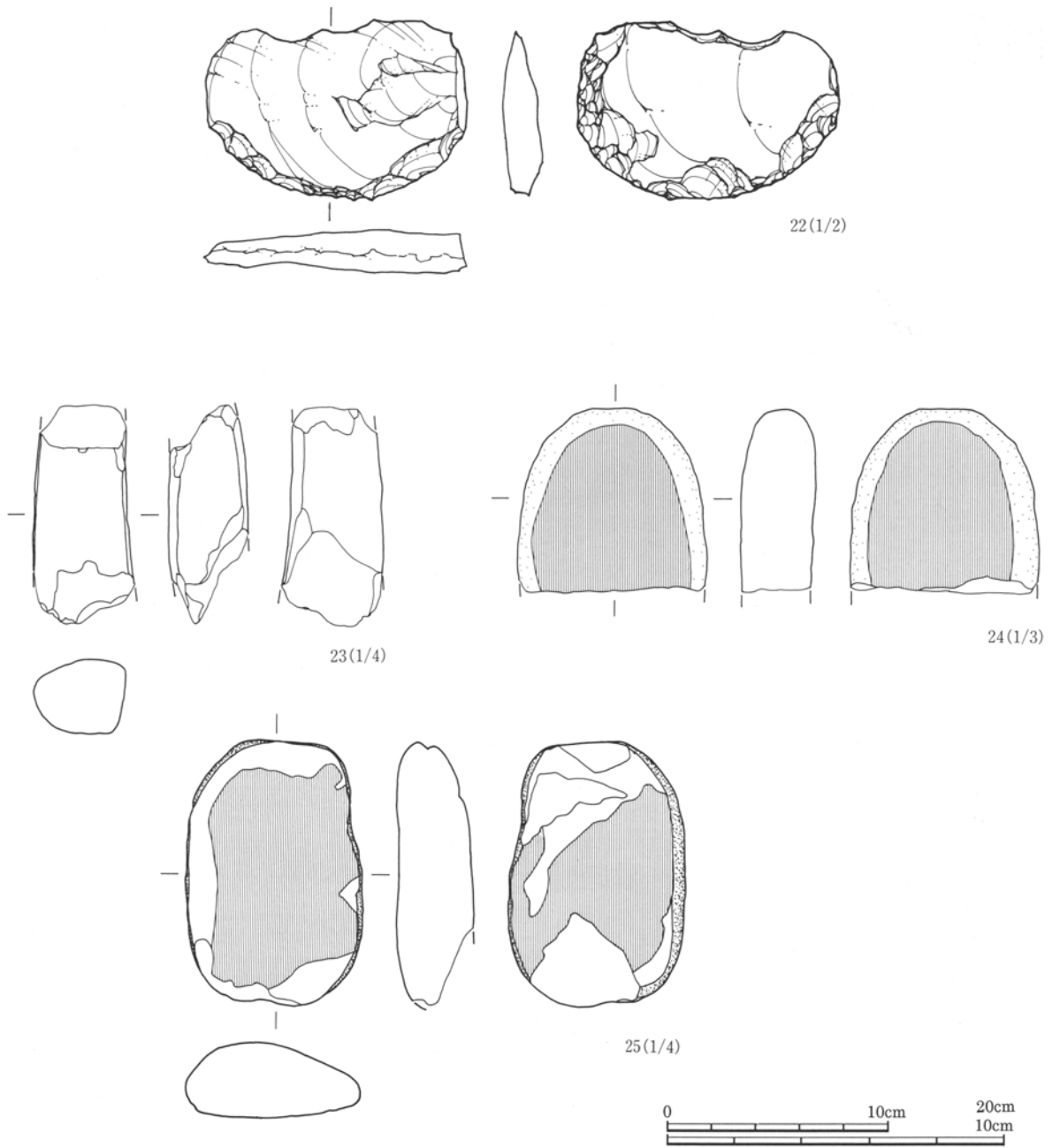
第358図 古墳時代前期以前出土遺物 1 弥生土器 縄文土器

石鏃



第359図 古墳時代前期以前出土遺物 2 石鏃

石器



第360図 古墳時代前期以前出土遺物 3 スクレーパー 磨製石斧 磨り石

古墳時代前期以前土器観察表

No	種別	出土位置	器厚	色調表	色調裏	焼成	調整	文様	備考
	器種	残存率				胎土			
1	弥生土器	Hr-FA下	5~7mm	にぶい橙 7.5YR 7/4	浅黄橙 7.5YR 8/3	普通	楕状工具による口 唇部刻み 口縁部 ~胴部内外面ハケ 目	口唇部刻み	
	甕	口縁部				中 細砂・粗砂・礫・褐色 色粒子を中量含む			
2	弥生土器	As-C混下	3~6mm	明赤褐 2.5YR 5/6	灰黄褐 10YR 6/2	普通	磨滅著しい	円形貼り付け文上に竹 管状工具による刺突文	
	甕	胴部破片				細 細砂・粗砂・褐色粒 子を多量含む			
3	縄文土器	268号溝	12~13mm	にぶい黄 橙 10YR7/4	にぶい黄 橙 10YR6/3	普通	内外面研磨か	隆帯文上に刻み	
	深鉢	口縁部				中 細砂・粗砂多量含む			
4	縄文土器	As-B下	12~19mm	にぶい褐 7.5YR 5/3	にぶい黄 橙 10YR6/4	普通	内外面研磨か	隆帯文上に刻み	
	深鉢	口縁部				中 細砂・粗砂多量含む			
5	縄文土器	層不明	7~11mm	にぶい黄 橙 10YR7/2	灰白 2.5Y8/2	不良	磨滅著しい	橋状把手貼り付け 焼 成後穿孔あり補修か	
	深鉢	口縁部				中 細砂・粗砂中量含む			
6	縄文土器	As-C下	7~9mm	にぶい黄 橙 10YR7/3	黄橙 10YR7/8	普通	磨滅著しく調整不 明	橋状把手貼付	加蓋 E
	深鉢	口縁部				粗 細砂・粗砂を中量含 む			
7	縄文土器	Hr-FA下	4~7mm	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄 褐 10YR5/4	普通	内外面研磨	口縁部から胴部上半に かけて平行沈線	
	深鉢	口縁部				中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む			
8	縄文土器	269号溝	4~5mm	黒褐 10YR3/1	黒褐 10YR3/1	普通	磨滅著しい 内外 面研磨か?	8の字状貼り付け文 隆帯文上に刻み 沈線 口縁部内面に沈線	
	深鉢	口縁部				中 細砂・粗砂中量含む			
9	縄文土器	Hr-FA下	4~9mm	橙 7.5YR 6/6	にぶい褐 7.5YR 5/3	普通	磨滅著しい 内外 面研磨か? 底部 網代痕	沈線	
	深鉢	底部				中 細砂・粗砂・石英・ 黒色鉱物粒子を中量含む			

古墳時代以前石器観察表

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	石材	特 徴
10	石鏃	As-C混下	2.4 0.3	0.6 1.1g	完形	黒色安山 岩	平基無茎
11	石鏃	As-C混下	2 0.3	1.5 0.6g	完形	黒曜石	凹基無茎
12	石鏃	As-C混下	2.8 0.55	1.6 1.5g	完形	チャート	平基無茎
13	石鏃	As-C混下	3.65 0.42	2.16 2.7g	完形	細粒輝石 安山岩	凹基無茎
14	石鏃	Hr-FA下	3.3 0.5	2 1.7g	基部一部 欠	黒曜石	凹基無茎
15	石鏃	Hr-FA下	2.2 0.3	1.5 0.6g	一部欠損	黒曜石	凹基無茎
16	石鏃	Hr-FA下	2.2 3.5	1.8 0.7g	基部一部 欠	黒曜石	凹基無茎 調整後に両面研磨
17	石鏃	Hr-FA下	[2.0] 0.5	1.85 0.9g	先端、茎 欠	黒曜石	凹基無茎 調整後に両面研磨
18	石鏃	Hr-FA下	2.6 0.55	1.7 0.9g	基部一部 欠	珪質頁岩	平基無茎
19	石鏃	Hr-FA下	2.45 0.5	1.25 0.8g	完形	黒色頁岩	凹基無茎
20	石鏃	860-575G	3.2 0.35	1.75 2.2g	完形	チャート	平基無茎?
21	石鏃	267号溝	[2.1] 0.25	[1.9] 0.9g	先端、基 部欠	黒曜石	平基無茎
22	スクレイ パー	Hr-FA下	5.25 1.3	7.9 61.4g	完形	珪質頁岩	平基無茎 調整後に両面研磨
23	磨製石斧	As-B下	[13.2] 5.3	[7.1] 488g	一部欠損	変玄武岩	敲打段階一部自然面を残す 基部・刃部欠損
24	磨り石	Hr-FA下	[8.1] 3.2	[8.6] 338g	一部欠損	細粒輝石 安山岩	片面使用 使用面に褐色付着物(?)あり
25	磨り石	210号溝	15.9 4.5	10.7 1081g	一部欠損	デイサイ ト	両面使用か

第IV章 検出された遺構と出土遺物 —村中遺跡

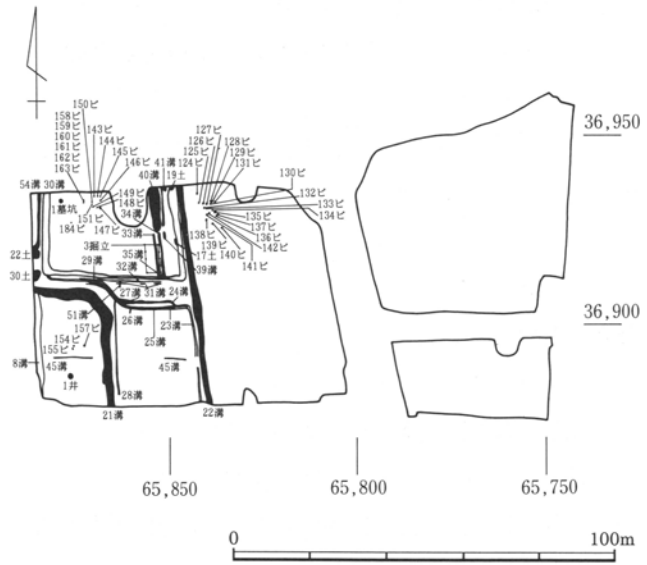
村中遺跡では、縄文時代から近現代にかけての遺構、遺物が検出されている。主要な遺構は、掘立柱建物3棟、溝77条(館跡の環濠も含む)、土坑墓1基、土坑42基、ピット174基、水田2面(As-B下・As-C混土下)等が検出されている。発掘調査時点での調査面は、最大5面であるが、近世以降の遺構面も存在したと考えられるため、各面に対応する時期に近世以降(時期不明を含む)を加えた6時期に区分し、時期ごとに概要、遺構、遺構外遺物出土状況、遺物の順に掲載する。遺物は時期ごとに器種・器形で分類し、通し番号を振った。遺構図、遺物図、写真図版等すべてこの番号を使用している。

第1節 近世・近現代・ 時期不明

(1) 概要

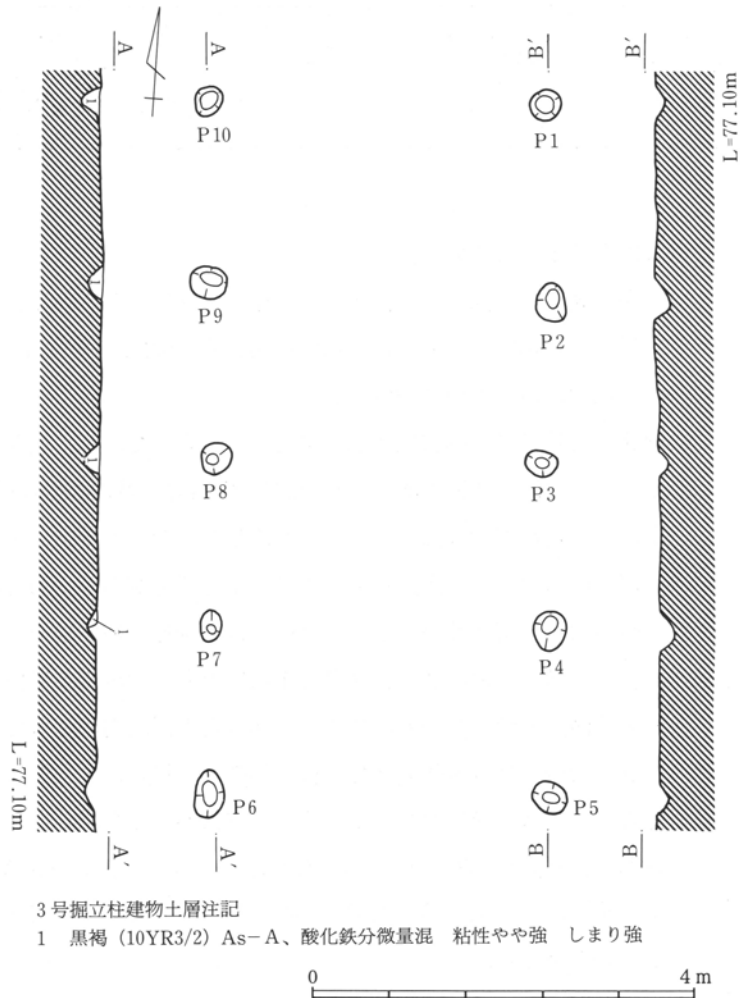
As-B混土より上層は現代の水田耕作や建築物などによりほとんど削平され、近世以降は面として捉えられるものはなかった。しかしながら、As-Aが一部残存している場所もあったため、As-A降下時点で上部に地表面が存在していたと考えられる。よって、近世以降および時期不明の遺構をまとめて掲載する。

遺構としては、掘立柱建物1棟、溝



第361図 近世以降・時期不明遺構位置図

3号掘立柱建物



3号掘立柱建物土層記

1 黒褐 (10YR3/2) As-A、酸化鉄分微量混 粘性やや強 しまり強

第362図 近世以降・時期不明掘立柱建物(3号掘立柱建物)

21条、土坑墓1基、土坑4基、井戸1基、ピット38基等が検出されている。遺構の分布は調査区西部（C区西部）に集中しており、調査区中央から東側は遺構が存在しなかったか、後世の耕作等により削平されてしまったと考えられる。

遺物は、土器・陶磁器類、土製品、鉄製品・銅製品、銅銭、木製品など多岐にわたっているが、溝からの出土が多く、他の遺構からの出土は少量である。

(2) 遺構

掘立柱建物

掘立柱建物は1棟検出されている。

- ① 分布 調査区西部（C区西部）に存在する。
- ② 規模 3.6m×7.3mで1間×4間である。
- ③ 特徴 30号溝の方形区画内にあり、屋敷の建物になる可能性あり。
- ④ 出土遺物 なし

近世掘立柱建物一覧表

No.	位置 Gr	重複	長辺 m	短辺 m	面積 ㎡	主軸方位	ピット										
								P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10
3	913~921-851~856	33溝と重複	7.35	3.60	26.46	N-5°-W	長径cm	33	38	36	44	36	50	33	35	40	35
							短径cm	32	31	28	35	30	32	23	32	34	27
							深さcm	13	20	13	17	12	12	12	16	16	18

溝

溝は21条検出されている。

- ① 分布 調査区西部（C区西部）に集中して検出されている。
- ② 規模 最大幅3.30~0.20m平均0.95m、最小幅2.20~0.10m平均0.48m、深さ108~2cm平均22cmであり、比較的規模の大きい物が多い。
- ③ 機能 21号溝は、調査区南西部を方形に区画しており、西側は隣接する横手湯田遺跡の屋敷環濠に接している。土層に新旧があるため（21号溝が古）埋没時期は異なると考えられるが、同時存在していた時期があった可能性は高く、屋敷に付随した施設があったとも考えられる。出土遺物には、小破片ではあるが青磁碗があり、築造が中世まで遡る可能性がある。30号溝も調査区北西部を方形に区画しており、屋敷の環濠の可能性はある。区画内には3号掘立柱建物や、方形に配置している143~151号ピットがある。40号溝は、幅約2m、深さは1m以上ある大規模な遺構であるが、長さは12mほどで終わっているため「溝」と呼べないものであり、30号溝の区画内にあるため、屋敷の何らかの施設であったと考えられる。22号溝は近現代の溝で、杭が集中して打ち込まれていた箇所もあり、水田の用水路等の機能が考えられる。他の溝は規模も小さく、性格は不明である。
- ④ 時期 21号溝は、埋没土にAs-Aを含まないため、As-A降下以前に廃絶している。30号溝は、埋没土中に純層に近いAs-Aを含み、下層にAs-Aを含まない層があるため、As-A降下に近い時期に廃絶したものと考えられる。

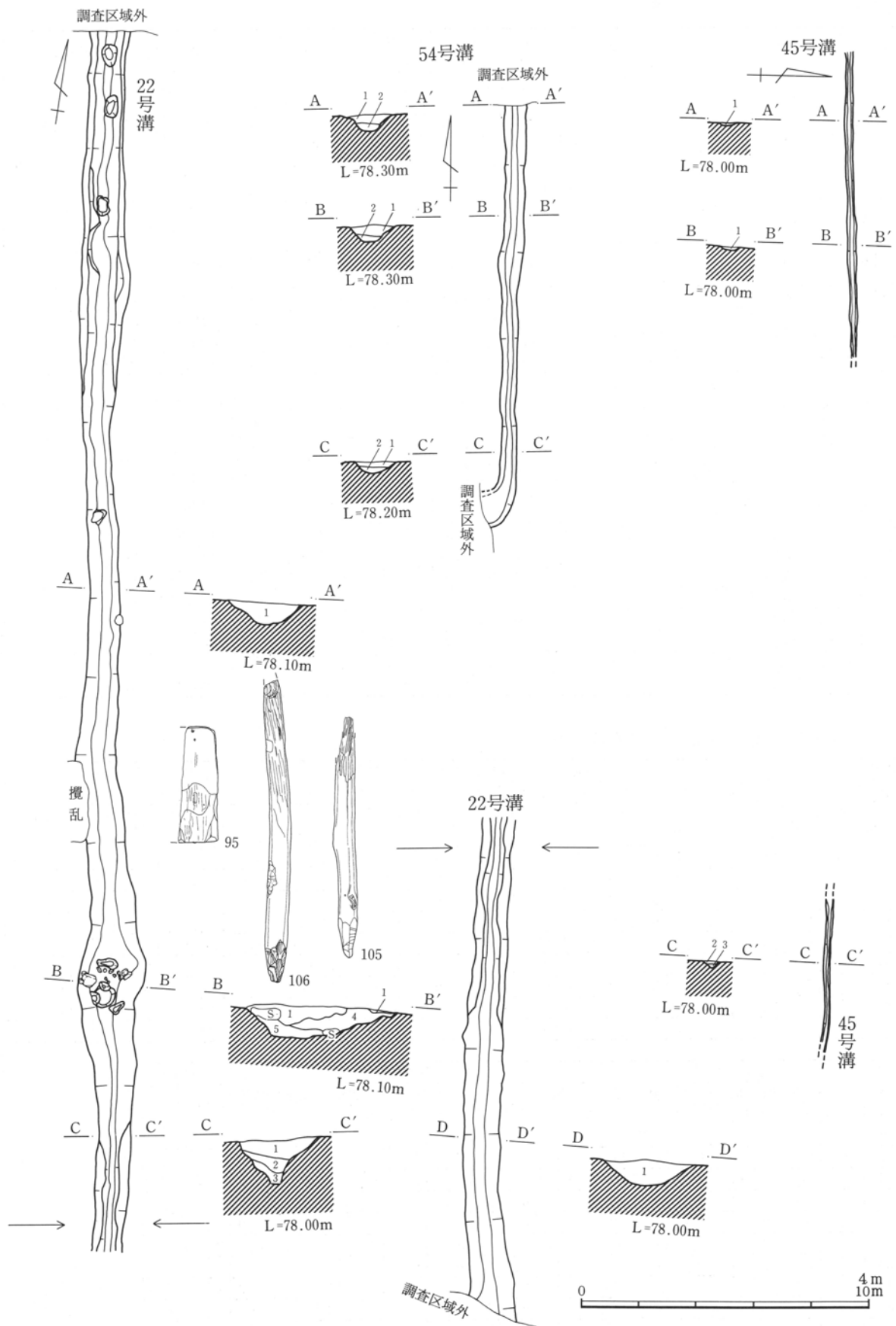
近世・近現代・時期不明溝一覧表

No	位置	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向	時期	備考
21	878~909-864~885		[45.5]	3.30	1.80	85	N-3°-W N-88°-W	中世~近世	屋敷の環濠か
22	879~936-838~847		[58.1]	2.26	0.84	63	N-8°-W	近現代	水田の用水路か
23	879~910-841~871	24・25・28溝より古、26溝より新	[54.1]	0.70	0.30	12	N-8°-W N-90° N-40°-W	18世紀後半以降	
24	904~912-844~882	23・25溝より新、27・29溝より古	[41.2]	0.60	0.30	16	N-30°-W N-88°-W	18世紀後半以降	
25	904~909-847~865	24・27溝より古、23溝より新	[20.3]	0.30	0.20	12	N-87°-W N-29°-W	18世紀後半以降	
26	903~904-860	23溝より古	[1.0]	0.35	0.20	10	N-8°-W	18世紀後半以降	
27	905~906-856~863	24・25溝より新	[6.4]	0.40	0.10	10	N-87°-W	18世紀後半以降	
28	992~906-863~864	23・24・25溝より新	[25.1]	0.40	0.20	10	N-2°-W	18世紀後半以降	
29	910~912-851~873	24・51溝より新、30・32溝より古	21.0	0.44	0.20	4	N-88°-W	18世紀後半以降	
30	911~936-845~883	29・33・34溝、17土坑より新、19土坑より古	[81.5]	2.73	0.70	38	N-8°-W N-88°-W N-2°-E	18世紀後半	屋敷の環濠か
31	910~912-851~873	51溝より新	19.4	0.40	0.18	4	N-88°-W	18世紀後半以降	
32	910-858	29溝より新	[0.4]	0.21		4	N-2°-E	18世紀後半以降	
33	912~922-852~853	30溝より古、35溝より新、3掘立と重複	[11.3]	0.30	0.20	10	N-5°-W	18世紀後半以降	
34	912~924-851~852	30溝より古、35溝より新	[12.0]	0.95	0.40	8	N-5°-W	18世紀後半以降	
35	912-851~852	33・34溝より古	[1.0]	0.45	0.30	2	N-80°-E	18世紀後半以降	
39	921~923-850~851		2.1	0.45	0.20	38	N-5°-W	18世紀後半以降	
40	924~935-851~855		[11.8]	2.80	2.20	108	N-5°-W	18世紀後半以降	
41	925~936-850~852		[10.4]	1.65	0.32	2	N-5°-W	18世紀後半以降	
45	890~981-845~880		[35.1]	0.30	0.20	4	N-89°-E		
51	909~911-862	29・31溝より古	2.4	0.20	0.18	3	N-3°-W		
54	919~934-883~885		16.7	0.82	0.49	22	N-1°-E	18世紀後半以降	

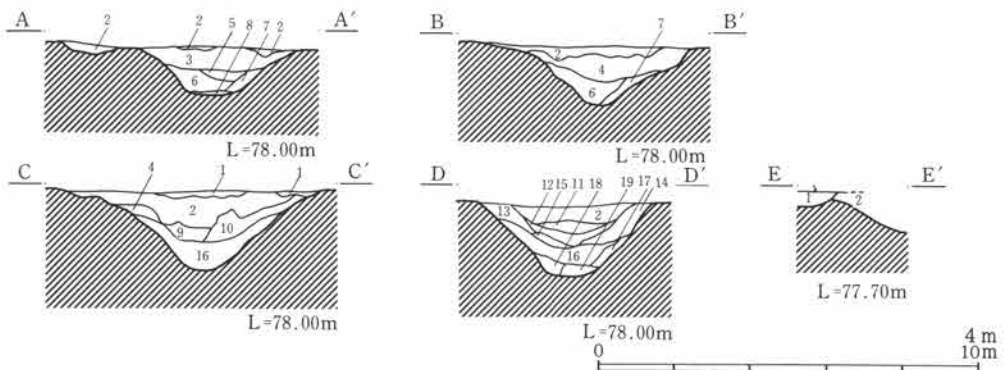
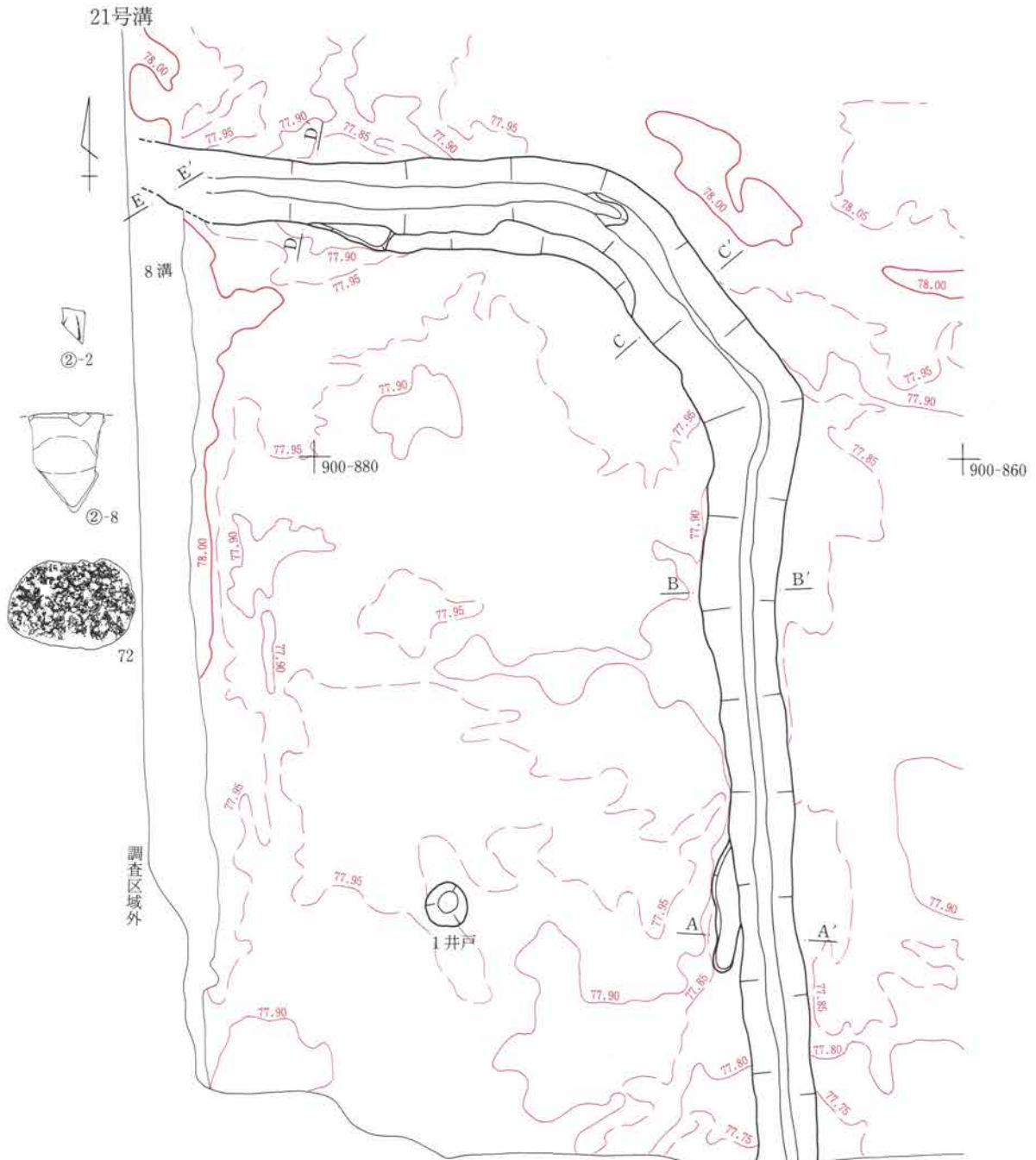
近世・近現代・時期不明溝出土遺物数量表

種別 器種	縄文土器	古式土師器						土師器			須恵器		土師質土器		軟質陶器				中近世陶器												
		甕		壺	高坏	計	坏	甕	計	甕	計	皿	計	鍋	焙烙	火鉢	他	計	碗			皿・灯明皿		香炉	甕						
		A	不明	小計	C	計	C	小計	G	計	F	計								B	C	計	B	C	計	A	計	A	計		
分類1																															
分類2		3	計																1	2	計	1	2	計	1	14	計	A	計		
21		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22		0	1	1	0	1	1	2	0	8	8	8	0	0	0	7	1	10	18	10	5	15	18	11	2	13	1	14	2	1	1
24		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
29		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
30	2	4	4	4	1	1	0	5	2	2	11	11	13	1	1	1	1	17	2	9	28	40	9	49	49	13	13	13	4	3	3
34		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	3	0	0	4	0	0	0	0	
40		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	14	5	19	19	5	5	5	5	0	0	0	0	
41	2	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	
45		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

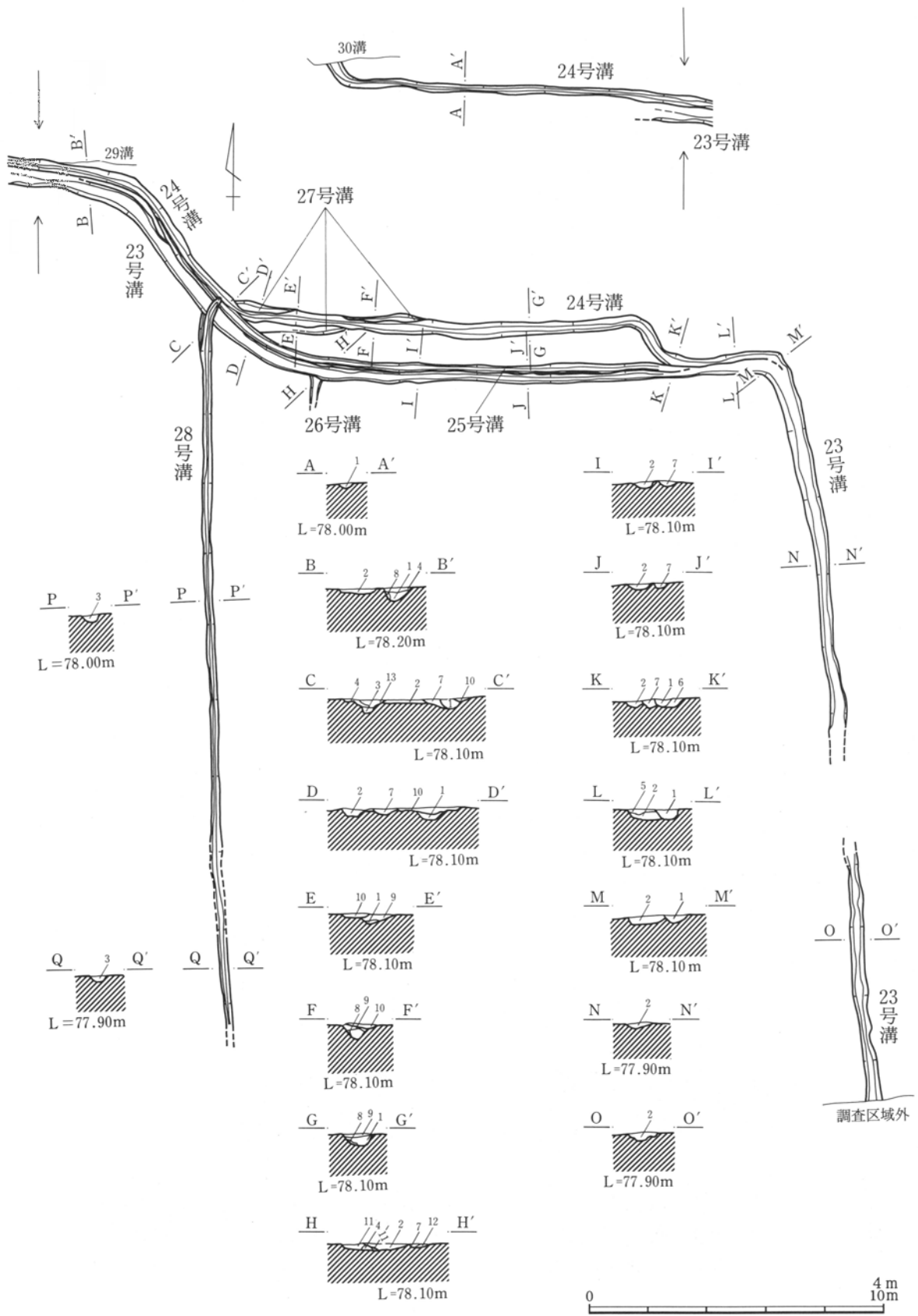
種別 器種	中近世陶器										磁器										瓦	土製品	石製品	木製品	総計					
	壺・徳利		鉢・大皿		摺り鉢		捏ね鉢		他		碗			皿		杯・小杯		壺・甕類								他		他		
	A	B	計	A	計	A	B	計	A	計		A	B	C	計	B	C	計	A	B						C	計			
21		0	0		0	0	0	0	0	1	1		0	0				0	0			1	0		1	2				
22	11	2	13	2	2	6	6	1	1	7	64	1	8	39	48	3	15	18	0		1	1	3	70	13	13	1	3	64	243
24		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29		0	0	0	20	0	0	0	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
30	7	7	7	7		21	2	2	3	109	1	3	14	9	1	10	1	1	1	1	2	27	4	4	2	2	4	198		
34		0	0	6	1	0	0	0	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
40	1	1	2	2		6	0	0	33	3	3	1	4	1	1	1	1	1	1	1	9	0	2	0	6	54				
41		0	1	1		0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	9		
45		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	



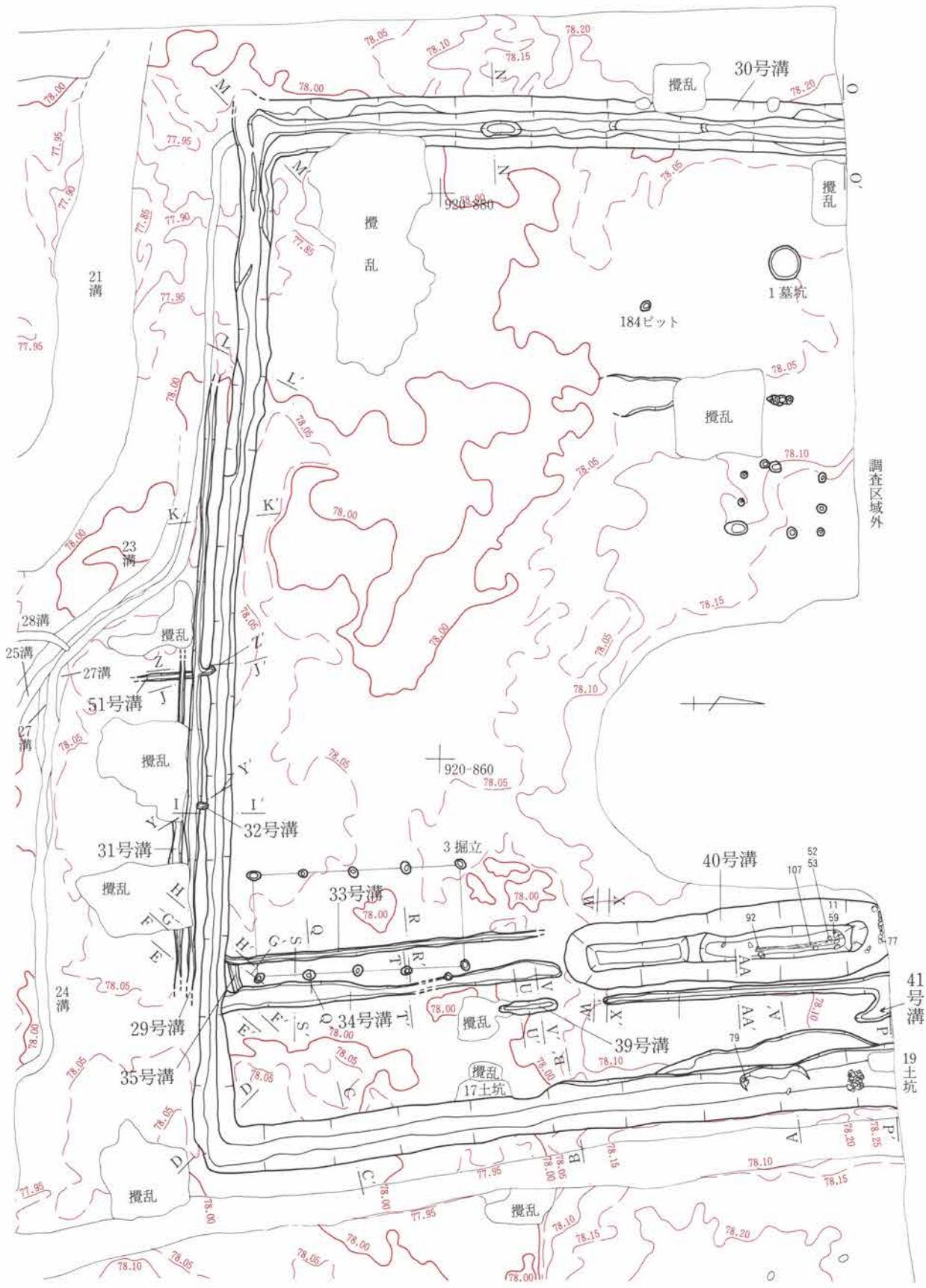
第363図 近世以降・時期不明溝 1 (22・45・54号溝)



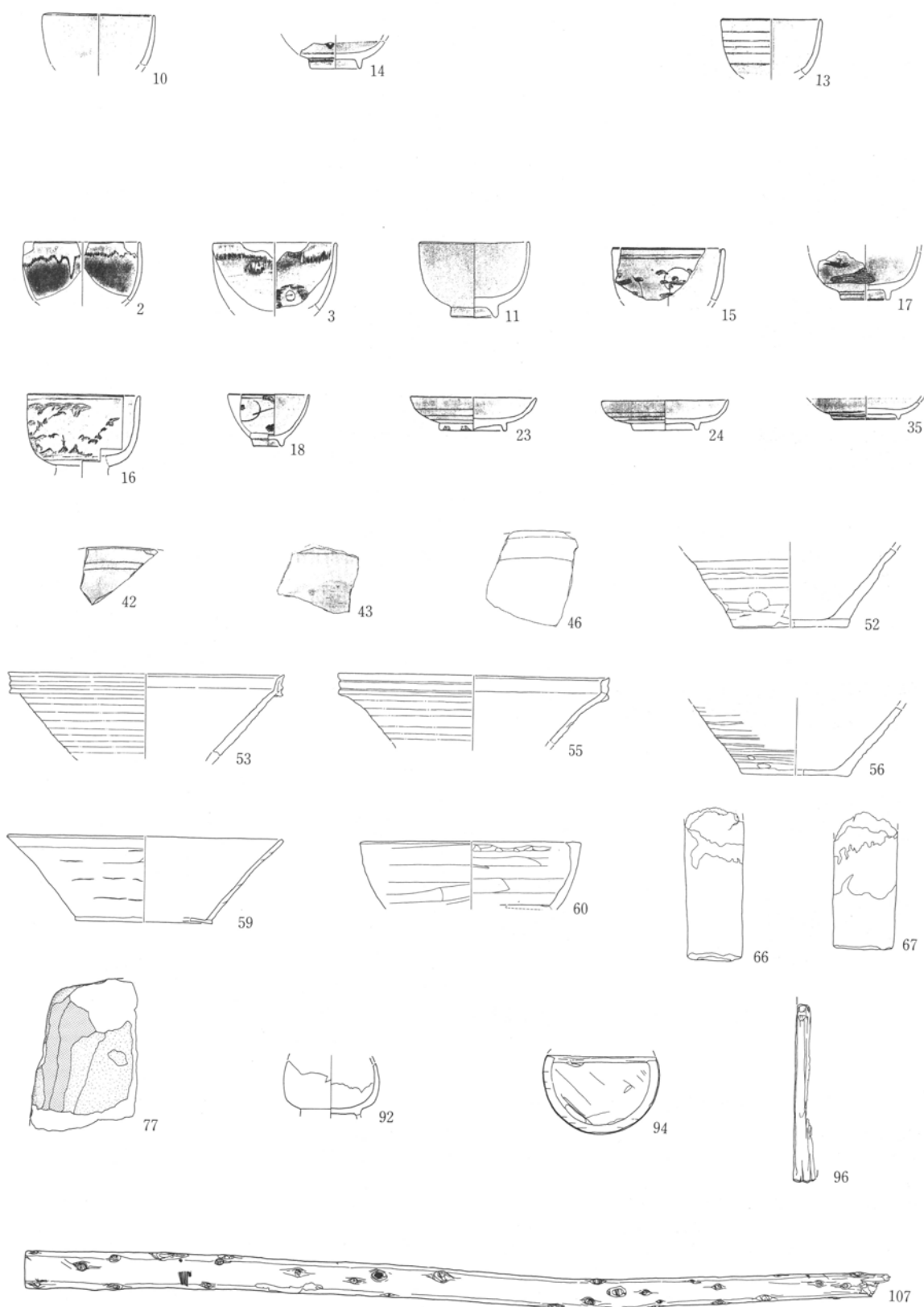
第364図 近世以降・時期不明溝 2 (21号溝)



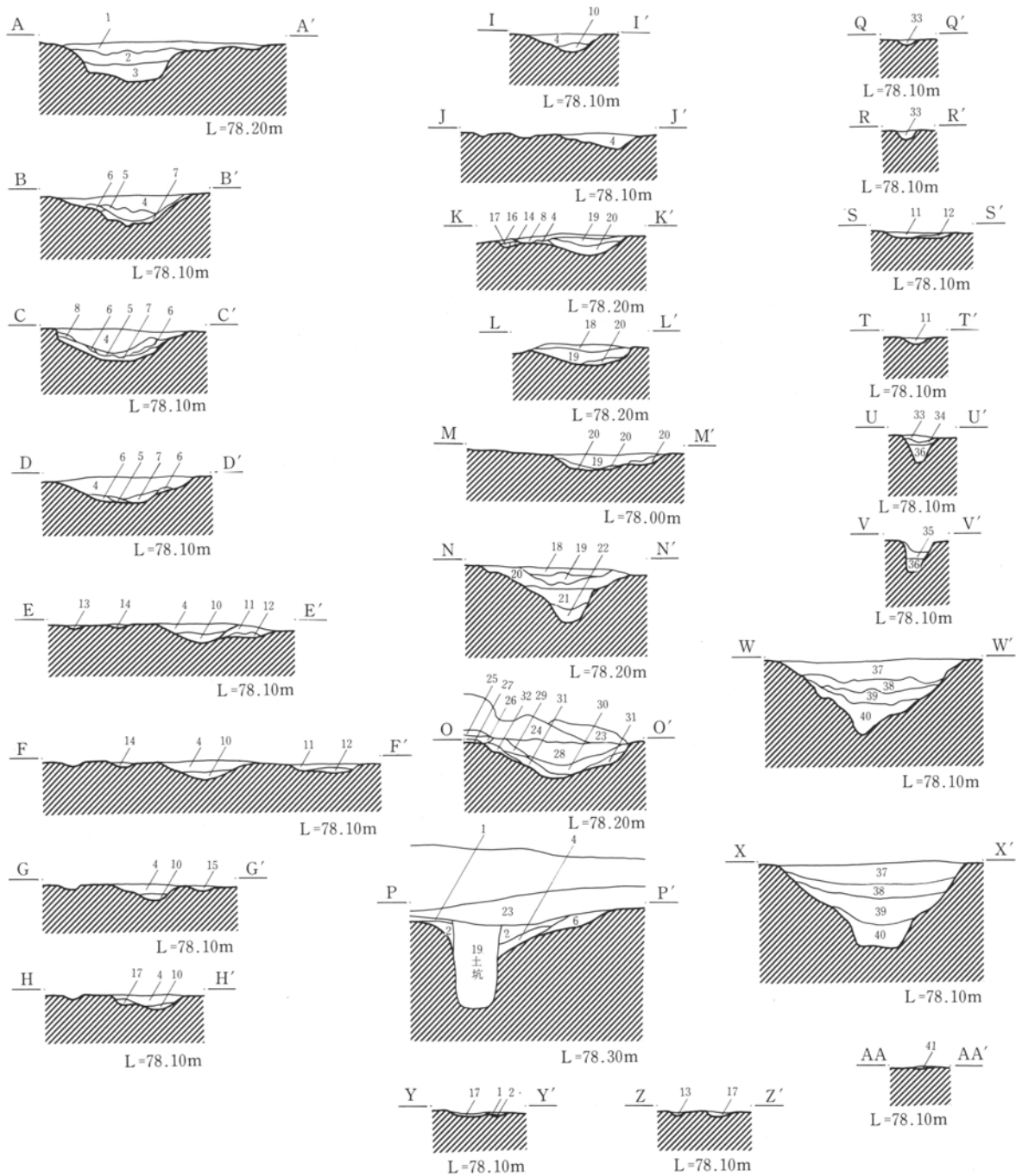
第365図 近世以降・時期不明溝3 (23~28号溝)



第366図 近世以降・時期不明溝 4 (29～・35・39～41・51号溝)



第368図 近世以降・時期不明溝 6 (34・40・41号溝出土遺物)



第369図 近世以降・時期不明溝7 (29~35・39~41号溝セクション)



22号溝土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-A、炭化粒子微量混 粘性強 しまり極強
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-A、黒色土ブロック微量混
- 3 黒褐 (10YR2/3) シルトブロック混 粘性極強 しまりやや弱
- 4 黒褐 (10YR2/2) As-A、As-B少量混 シルトブロック微量混 粘性やや弱 しまり強
- 5 黒褐 (10YR3/2) As-A、炭化粒子微量混 As-B少量混 粘性、しまり強

54号溝土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-A少量混 粘性やや弱 しまり強

45号溝土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-A微量混 As-B少量混 粘性、しまり強
- 2 黒褐 (10YR3/1) As-A微量混 As-B少量混 粘性、しまり強
- 3 黒褐 (10YR2/2) As-B混 粘性やや強 しまり強

21号溝土層注記

- 1 暗褐 (10YR3/3) As-B多量混 明黄褐色土ブロック混 粘性弱 しまり強
- 2 黒褐 (10YR2/3) As-B、多量混 粘性弱 しまり強
- 3 黒褐 (10YR2/3) As-B多量混 粘性弱 しまり強

- 弱 しまり強
- 3 黒褐 (10YR2/3) As-B多量混 粘性弱 しまり強
 - 4 黒褐 (10YR2/3) As-B、明黄褐色土ブロック少量混 粘性弱 しまり強
 - 5 黒褐 (10YR2/3) As-B少量混 黄褐色土ブロック少量混 粘性やや弱 しまり強 シルト質
 - 6 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 砂質土ブロック多量混 粘性やや強 しまり強 シルト質
 - 7 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 砂質土 粘性弱 しまり強
 - 8 黒 (10YR2/1) 粘性、しまり強 シルト質
 - 9 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 酸化鉄分少量混 粘性やや強 しまり強
 - 10 暗褐 (10YR3/3) 明黄褐色土ブロック混 As-B多量混 粘性弱 しまり強
 - 11 黒褐 (10YR2/2) As-B混 明黄褐色土ブロック微量混 酸化鉄分微量混 粘性やや強 しまり強
 - 12 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強 粘質土
 - 13 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 酸化鉄分少量混 As-A?少量混 粘性、しまり強 粘質土
 - 14 黒褐 (10YR2/2) As-B混 As-A?少量混 粘性、しまり強 粘質土
 - 15 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 シルト・黒色土ブロック、酸化鉄分少量混 粘性強 しまりやや強
 - 16 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 酸化鉄分混 粘性弱 しまり強 砂質土
 - 17 黒 (10YR2/1) 灰褐色土層状混 粘性極強 しまり強
 - 18 黒褐 (10YR2/2) 酸化鉄分微量混 砂質土ブロック混 粘性極強 しまりやや弱
 - 19 黒褐 (10YR2/2) 砂質土ブロック少量混 粘性極強 しまりやや強

23~28号溝土層注記

- 1 暗褐 (10YR3/3) As-A微量混 As-B少量混 粘性やや弱 しまり強
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-A微量混 As-B少量混 粘性やや強 しまり強
- 3 黒褐 (10YR2/2) As-A微量混 As-B少量混 粘性、しまり強
- 4 黒褐 (10YR3/2) As-B多量混 粘性弱 しまり強
- 5 黒褐 (10YR3/2) 粘性やや強 しまり強
- 6 暗褐 (10YR3/3) As-A微量混 粘性やや強 しまり強
- 7 黒褐 (10YR2/3) As-A微量混 As-B少量混 粘性やや弱 しまり強
- 8 黒褐 (10YR2/3) As-A微量混 As-B少量混 粘性やや強 しまり強
- 9 暗褐 (10YR3/3) As-A、As-B微量混 粘性やや強 しまり強
- 10 暗褐 (10YR3/3) As-A少量混 As-B極微量混 粘性、しまり強
- 11 暗褐 (10YR3/3) As-A微量混 As-B混 粘性やや弱 しまり強
- 12 暗褐 (10YR3/3) As-A微量混 As-B少量混
- 13 黒褐 (10YR3/2) As-A、As-B微量混 粘性やや強 しまり強

29~35・39~41・51号溝土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-A少量混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-A混 黒色土ブロック微量混 粘性、し

- ま
- 3 黒褐 (10YR3/2) As-A、黒色土ブロック微量混 シルトブロック微量混 粘性、しまり強
 - 4 黒褐 (10YR3/2) As-A混 黒色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強
 - 5 灰黄褐 (10YR6/2) As-A軽石層 粘性弱 しまり強
 - 6 黒褐 (10YR2/2) As-A、粘性、しまり強
 - 7 黒褐 (10YR2/2) 黄褐色6ブロック混 粘性、しまり強
 - 8 黒褐 (10YR3/2) As-A混 粘性やや弱 しまり強
 - 9 黒褐 (10YR3/2) As-A少量混 炭化粒子微量混 粘性、しまり強
 - 10 黒褐 (10YR3/2) 褐色土ブロック微量混 粘性、しまり強
 - 11 黒褐 (10YR2/2) As-A微量混 As-B混 粘性やや強 しまり強
 - 12 黒褐 (10YR2/2) 黄褐色粒子微量混 粘性やや強 しまり強
 - 13 黒褐 (10YR3/2) As-A微量混 粘性、しまり強
 - 14 暗褐 (10YR3/3)
 - 15 黒褐 (10YR2/3) As-A、As-B微量混 黄褐色土ブロック混 粘性、しまり強
 - 16 黒褐 (10YR2/2) As-A、As-B微量混 粘性、しまり強
 - 17 黒褐 (10YR3/2) As-B混 褐色土ブロック微量混 粘性、しまり強
 - 18 黒褐 (10YR2/2) As-A多量混 粘性やや弱 しまり強
 - 19 黒褐 (10YR3/2) As-A少量混 As-B微量混 粘性やや弱 しまり強
 - 20 黒褐 (10YR2/2) As-A少量混 As-B微量混 粘性やや強 しまり強
 - 21 黒褐 (10YR2/2) As-A微量混 粘性、しまり強 粘質土
 - 22 黒褐 (10YR2/2) As-B?少量混 シルトブロック微量混 粘性極強 しまり強
 - 23 黒 (10YR2/1) 現耕作土 砂礫少量混
 - 24 黒褐 (10YR2/2) 現耕作土 As-A微量混
 - 25 灰黄褐 (10YR4/2) As-A軽石層 粘性、しまり弱
 - 26 黒褐 (10YR2/2) As-A少量混 粘性、しまり強
 - 27 灰黄褐 (10YR4/2) As-A軽石層 粘性弱 しまり強
 - 28 黒褐 (10YR2/2) As-A微量混 粘性やや弱 しまり強
 - 29 黒褐 (10YR2/2) As-A少量混 黒色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強
 - 30 黒褐 (10YR2/2) As-A微量混 As-B?混 粘性極強 しまり強 粘質土
 - 31 黒 (10YR2/1) As-B?混 シルトブロック少量混 粘性極強 しまり強 粘質土
 - 32 黒褐 (10YR2/2) As-A、黒色土ブロック微量混 粘性極強 しまり強 粘質土
 - 33 黒褐 (7.5YR2/2) As-A微量混 粘性やや強 しまり強
 - 34 褐灰 (10YR4/1) As-A軽石層 粘性弱 しまり強
 - 35 黒褐 (7.5YR2/2) As-B少量混 褐色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強
 - 36 黒褐 (7.5YR2/2) 黒色土・シルトブロック微量混 粘性、しまり強
 - 37 黒褐 (10YR3/1) As-B少量混 黒色土ブロック微量混 粘性、しまり強
 - 38 黒褐 (10YR3/1) 黒色土ブロック混 黄褐色粒子微量混 粘性極強 しまり強
 - 39 黒褐 (10YR3/1) 黒色土ブロック多量混 黄褐色土ブロック少量混 粘性極強 しまり強 粘質土
 - 40 黒 (10YR2/1) 砂粒混 黄褐色土ブロック少量 シルトブロック微量混 粘性極強 しまりやや強
 - 41 黒褐 (10YR2/2) As-A少量混 As-B混 粘性、しまり強

土坑墓

土坑墓は1基検出されている。

- ① 分布 調査区北西部（C区北西部）に位置しており、30号溝による方形区画内に存在する。
- ② 形態 平面形態は円形で、断面形態は底部が平坦で立ち上がりは垂直に近い。壁の立ち上がりの下が、溝状にくぼむ掘り方になっている。
- ③ 規模 長径1.18m、短径1.14mとほぼ円形である。深さは38cm、面積は1.07㎡である。
- ④ 棺形態 棺形態は、円筒形の桶を使い縦置きにしたもので座棺と考えられる。棺と土坑の掘り方の間が灰黄褐粘質土と黒褐色土で充填されている。
- ⑤ 副葬品 土器転用の土製品、磨り石状の石製品、煙管、銅銭が出土している。

土坑

土坑は4基検出されている。

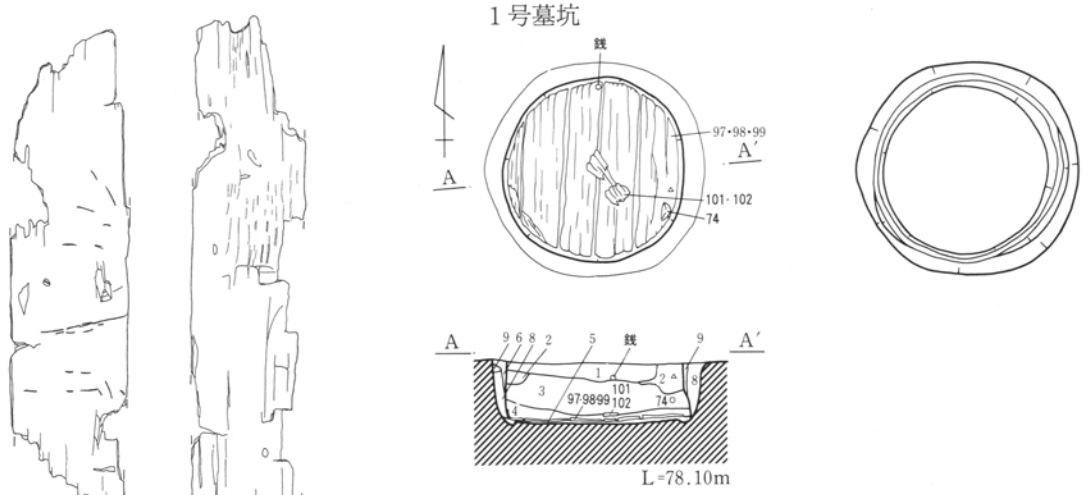
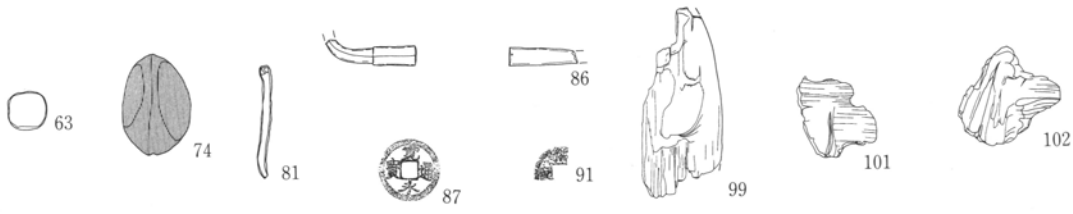
- ① 分布 調査区北西部（C区北西部）に集中している。
- ② 形態 いずれも楕円形の土坑と考えられるが、調査区外にかかっているため不明な部分が多い。
平面形態、断面形態とも2類に分類できる。
平面形態 A 円形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）
B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）
断面形態 a 底部が平らなもの
b 底部が丸みを帯びるもの
- ③ 規模 長径2.50～0.71m平均1.39m、短径0.91～0.50m平均0.58mで長径と短径の比は平均2.3と非常に長いものが多い。深さは26～13cm平均19cmで、面積は1.91～0.17㎡平均0.80㎡である。
- ④ 主軸方位 すべて北から10°以内となっている。
- ⑤ 出土遺物 22・30号土坑から陶磁器の破片が少量出土しているだけである。

近世以降・時期不明土坑墓・土坑一覧表

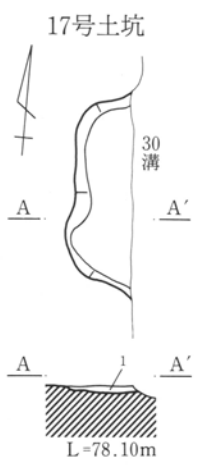
遺構名	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	深さ cm	面積 ㎡	主軸方位	備考
1号墓坑	931～932-876～877		A	a	1.18	1.14	38	1.07	N-90°	
17号土坑	920～922-847～848	30溝より古	B	b	2.20	[0.70]	7	[1.19]	N-0°	
19号土坑	935～936-848～849	30溝より新	B	a	[1.00]	0.82	108	[0.54]	N-10°-E	
22号土坑	917～919-884～885		B	a	2.07	[0.66]	45	[1.25]	N-8°-W	
30号土坑	911～913-883～884		B	b	[2.24]	[0.96]	13	[1.24]	N-3°-E	

近世以降・時期不明土坑墓・土坑出土遺物一覧表

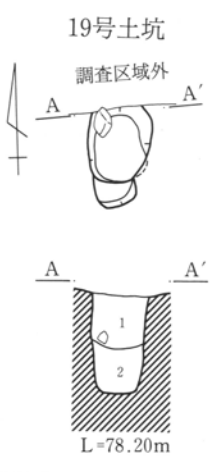
種別 器種	須恵器				土師質土器				軟質陶器				中近世陶器				磁器		木 製 品	総計
	坏		甗	計	皿	計	鍋	他	計	碗		C	計	壺・甕類						
	E	計								B	計			C	計					
分類1																				
分類2																				
1号墓坑	1	1	1	2	7	7	5	1	6		0		0		0		5	20		
22号土坑		0		0		0			0		0	1	1		0			1		
30号土坑		0		0		0			0	2	2		2		1	1		3		



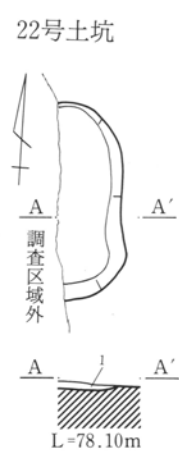
- 1号墓坑土層注記
- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 暗褐 (10YR3/3) 粘性、しまり弱 | 5 灰褐 (10YR5/1) 粘性強 しまり弱 粘質土 |
| 2 黒褐 (10YR3/2) As-B少量混 粘性弱 しまりやや弱 | 6 黒褐 (10YR3/1) 黄褐色土ブロック混 粘性、しまり弱 |
| 3 黄褐 (10YR5/6) 黒褐色土ブロック多量混 灰白色土ブロック少量混 粘性、しまりやや強 シルト質 | 7 灰褐 (10YR5/1) 砂質土 |
| 4 黒褐 (10YR2/2) 粘性、しまり弱 砂質土 | 8 黒褐 (10YR2/2) 粘性やや弱 しまり弱 砂質土 |
| | 9 灰黄褐 (10YR5/2) 粘質土 粘性やや強 しまりやや弱 |



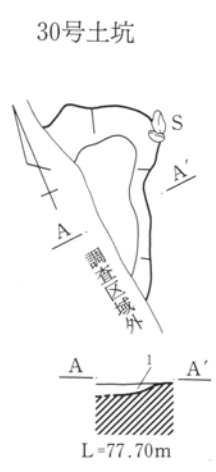
- 17号土坑土層注記
- 1 黒褐 (7.5YR2/2) As-A混 As-B微量混 粘性やや強 しまり強



- 19号土坑土層注記
- | |
|--|
| 1 黒褐 (10YR3/2) As-A、炭化粒子、黒色土ブロック、黄褐色土ブロック混 粘性、しまり強 粘質土 |
| 2 黒褐 (10YR3/2) 砂粒、黄褐色土ブロック、炭化粒子混 粘性強 しまりやや強 |



- 22号土坑土層注記
- 1 灰黄褐 (10YR4/2) As-A二次堆積層 粘性弱 しまり強



- 30号土坑土層注記
- 1 黒褐 (10YR3/1) 粘性、しまり強

第370図 近世以降・時期不明土坑墓・土坑 (1号墓坑・17・19・22・30号土坑)

井戸

井戸は1基検出されている。

- ① 分布 調査区南東隅に存在する。
- ② 形態 平面形態は円形で、掘り鉢上に落ち込みその後ほぼ垂直に掘り込まれている。
- ③ 規模 長径1.33m、短径1.32m、面積1.39㎡で、深さ150cmである。
- ④ 出土遺物 板碑が1点、角釘？1点、木製品が3点出土している。
- ⑤ 備考 21号溝の区画内にあり、屋敷に伴う井戸と考えられる。

近世以降・時期不明井戸一覧表

No.	位置 Gr	長径 m	短径 m	深さ cm	面積 ㎡	主軸方位	備考
1	885～886-875～876	1.33	1.32	150	1.39	N-9°-E	

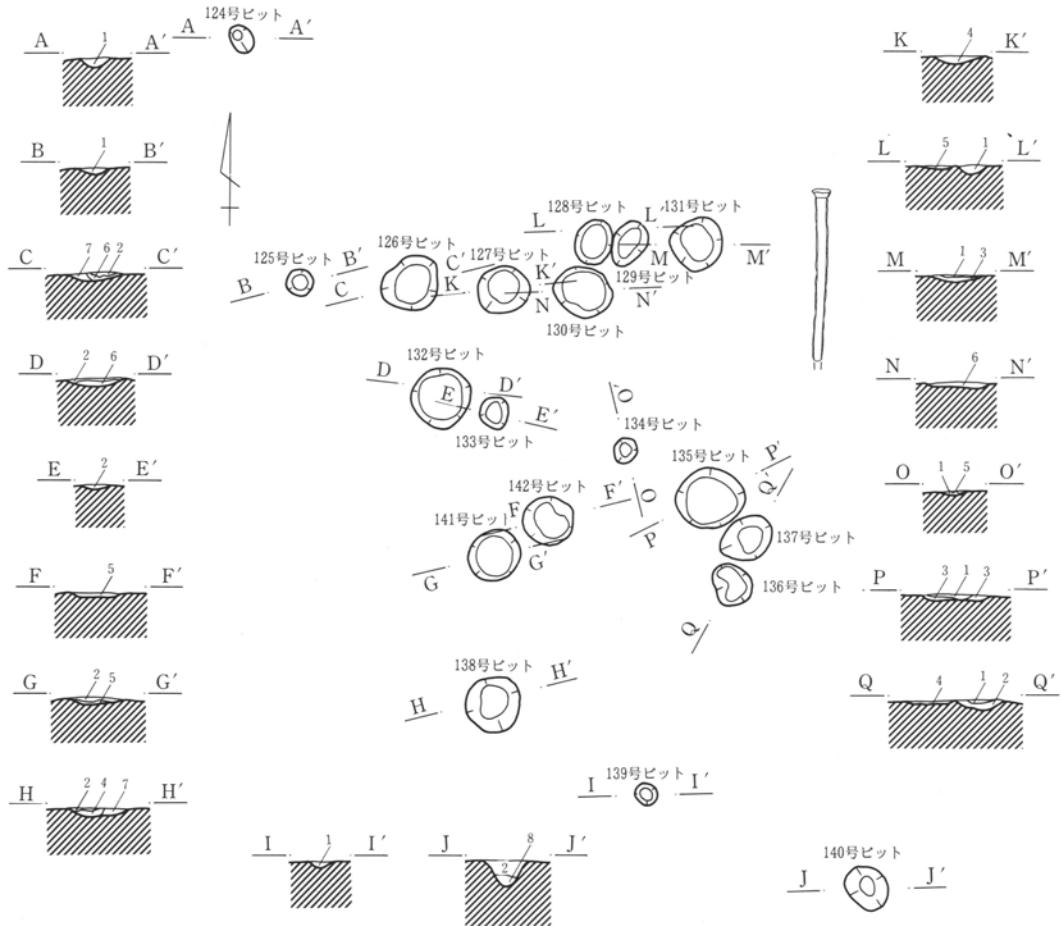
ピット

ピットは38基検出されている。

- ① 分布 調査区中西部（C区北部）に集中している。また、調査区北西部（C区北西部）の30号溝区画内にも集中している
- ② 規模 長径80～16cm平均43cm短径63～10cm平均35cm深さ40～2平均11cmである。
- ③ 特徴 性格は不明のものがほとんどであるが、調査区北西部（C区北西部）の30号溝区画内のピット群には建物の可能性があるものも含まれる。
- ④ 出土遺物 147号ピットから木製品が1点出土しているだけである。

近世以降・時期不明ピット一覧表

No	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
124	934-842		21	23	11	144	933-868～869		38	31	30
125	931-841		29	27	7	145	933-867～868		30	24	2
126	931-840		66	55	8	146	932-867～868		40	39	11
127	931-839		55	50	8	147	930-868		80	44	30
128	931～932-838		48	39	3	148	930-889		26	21	2
129	931～932-838		51	34	10	149	930-870		24	23	19
130	931-838		63	53	6	150	931～932-870	151ピットより新	49	39	16
131	931～932-837		53	52	7	151	931-870	150ピットより古	30	29	11
132	930-840		65	63	8	154	894-875		31	24	5
133	930-829		34	30	4	155	893～894-875		57	21	4
134	929～930-838		28	24	4	157	894-872		50	36	10
135	929-837		73	62	7	158	932-872	159ピットより古	26	24	40
136	928-836～837		47	44	4	159	931～932-872	158ピットより新 160ピットより古	30	26	12
137	928-836		57	47	11						
138	837～927-839		60	57	8	160	931-872	159,161ピットより新	16		10
139	926-837～838		24	23	6	161	931-872	160,162ピットより古	31	20	16
140	925-835		52	41	28	162	931-872	161ピットより新	30	20	10
141	923～929-839		57	50	6	163	931-872		30	10	
142	928～929-836～839		57	52	5	184	927-875～876		42	30	21
143	933-869～870		30	26	10						



124～142号ピット土層注記

- 1 灰黄褐 (10YR4/2) As-A 微量混 粘性やや弱 しまり強
- 2 灰黄褐 (10YR4/2) As-A、炭化粒子微量混 粘性やや弱 しまり強
- 3 黒 (7.5YR1.7/1) 炭化物極多量混 灰混 粘性やや弱 しまり強
- 4 灰黄褐 (10YR4/2) 炭化物混 焼土ブロック微量混 粘性やや弱 しまり強
- 5 灰黄褐 (10YR4/2) As-A 微量混 炭化物、灰混 粘性やや弱 しまり強
- 6 灰黄褐 (10YR4/2) 炭化物、灰混 焼土ブロック微量混 粘性やや弱 しまり強
- 7 灰黄褐 (10YR4/2) As-A、炭化物微量混 粘性やや弱 しまり強
- 8 灰黄褐 (10YR4/2) As-A 微量混 黒褐色土ブロック少量混 粘性やや弱 しまり強

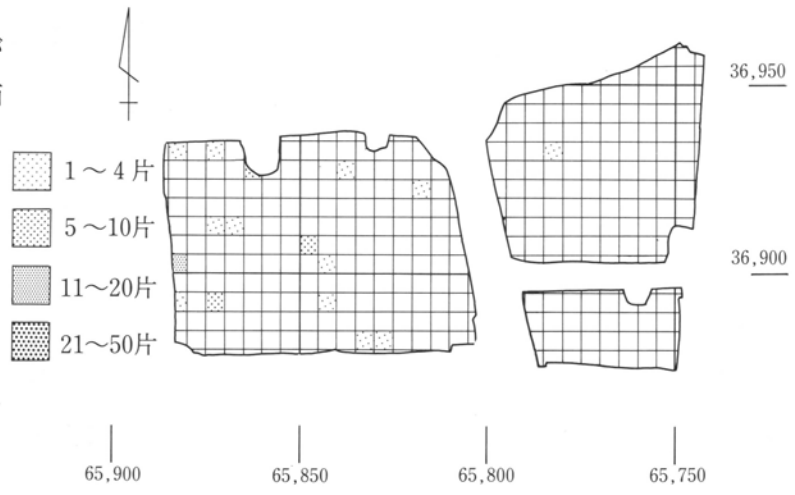
L=78.20m



第372図 近世以降・時期不明ピット 2 (124～142号ピット)

(3) 遺構外遺物出土状況

遺構外からも近世・近現代遺物が出土している。ほとんどが調査区西部 (C区) からの出土である。



第373図 中近世遺構外遺物出土分布図

種別 器種	土師質土器		軟質陶器		中近世陶器												磁器				瓦		石 製 品	総計										
	皿	他	計	鍋・ 焙烙	他	碗			皿・灯明皿			甕	壺・德利	鉢・大皿	他	計	碗			皿	他	計			他	計								
						A	1	2	計	1	計						計	A	計								A	計	A	B	C	計	計	
830-829G			0		0	1	1	1		0	0	0	0	0	0	1		0	0	0						1								
880-830G			0		0		0	0	1	1	1	0	0	0	0	1		0	0	0						1								
885-755G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0					1	1								
885-845G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			1	1	0		1				1								
885-875G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			1	1	0		1				1								
885-875G	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1				1								
890-840G	1		1		0		0	0		0	0	0	0	0	0				0	0	0	0				1								
890-840G	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				1								
890-870G			0	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	3			0	0	0		0				5								
890-888G			0	1	1		0	0	1	1	1	0	0	0	1		1	1	0		1					3								
900-840G			0	1	1		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0		0			2	3								
900-840G	0		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2	3								
900-880G			0	4	4	1	3	3	4		0	0	2	2	1	1	1	1	8	1	1	0	1			13								
900-888G			0	1	1		0	0		0	0	0	0	0	0			1	1	0		1				2								
905-845G	4		4	4	1	5	1	1	1	0	0	0	0	0	1		1	1	0	1	1			2	13									
910-780G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0			1	1								
910-795G	1		1		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0				1								
910-865G			0	3	3		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0				3								
910-870G			0	1	1	3	3	3	1	1	1	0	1	1	0	5		1	1	0	1	1				7								
910-870G			0	1	1		0	0		0	0	0	0	0	0			0	1	1	1	1				2								
910-870G	0		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1				2								
920-790G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0			1	1								
920-790G	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1	1								
920-815G			0		0	1	1	1		0	0	0	0	0	1			0	0	0	0	0				1								
925-830G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0			1	1								
925-835G			0		0	1	1	1		0	0	1	1	0	1	1	3		0	0	0	0				3								
925-860G			0	4	1	5		0	0	1	1	1	0	0	1		1	1	0	1	1				7									
930-780G			0		0	1	1	1		0	0	0	0	0	1			0	0	0	0	0				1								
930-780G	0		0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				1								
930-830G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0			2	2								
930-870G			0	1	1		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0				1								
930-870G	0		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				1								
930-880G			0	1	1		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0				1								
930-880G	0		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				1								
940-760G			0		0		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0			1	1								
グリッド計	6		6	23	3	26	1	12	1	13	14	5	5	5	3	3	2	2	2	2	26	5	3	8	1	1	9	11	78					
その他遺構外計	7	1	8	29	2	31	1	3	2	5	6	5	5	5	7	7	2	2	1	1	0	21	0	2	2	4	0	0	1	5	0	0	0	65
遺構混入計	1	0	1	5	0	5	0	3	1	4	4	2	2	2	1	1	0	0	1	1	1	9	1	2	3	6	0	0	0	1	1	1	1	62
総計	14	1	15	57	5	62	2	18	4	22	24	12	12	12	11	11	4	4	4	4	1	56	1	9	8	18	1	1	1	15	1	1	12	205

(4) 遺物

遺物は、土師質土器、軟質陶器、陶器、磁器、瓦、土錘、土製品、石製品、鉄製品、銅製品、銅銭、木製品、骨類が出土している。

土師質土器

- I 皿 ロクロ調整で底部回転糸切りのもの。
- II その他。

軟質陶器

- I 鍋 内耳鍋と焙烙は破片では区別がつかないため数量は一括して掲載した。
- II 焙烙 III 鉢・火鉢 IV 釜輪 V 焜炉 VI その他

陶器

- I 碗
 - A 中世陶器 鎌倉・室町時代の陶器 第2節中世 参照。
 - B 近世陶器 江戸時代(17世紀～19世紀後半)の陶器碗を一括した。
 - 1) 瀬戸美濃系 2) 肥前系 3) その他・不明
 - C 近現代陶器 明治時代以降(19世紀末～)の陶器碗を一括した。
 - D 不明 時期不明のもの。
- II 皿・灯明皿
 - B 近世陶器 江戸時代(17世紀～19世紀後半)の陶器皿を一括した。
 - 1) 瀬戸美濃系 2) 肥前系 3) その他・不明
 - C 近現代陶器 明治時代以降(19世紀末～)の陶器皿を一括した。
 - D 不明 時期不明のもの。
- III 香炉 A 近世陶器
- IV 甕 A 近世陶器
- V 壺・徳利 A 近世陶器 B 近現代陶器
- VI 鉢・大皿 A 近世陶器
- VII 播り鉢 A 近世陶器 B 近現代陶器
- VIII 捏ね鉢 A 近世陶器
- IX その他・不明

磁器

- I 碗
 - A 輸入磁器 中国等から輸入したもの 第2節中世 参照。
 - B 近世磁器 江戸時代(17世紀～19世紀後半)の磁器碗を一括した。
 - C 近現代磁器 明治時代以降(19世紀末～)の磁器碗を一括した。
- II 皿
 - B 近世磁器 江戸時代(17世紀～19世紀後半)の磁器皿を一括した。

C 近現代磁器 明治時代以降（19世紀末～）の磁器皿を一括した。

III 杯・小杯 B 近世磁器

IV 壺・甕類 B 近世磁器 C 近現代磁器

V その他・不明

瓦 近代瓦を一括した。

土製品 土人形1、鞆羽口2等が出土している。

石製品 砥石1、砥石？1、磨り石？1、石臼1、板碑2、五輪塔風輪？1・水輪1、宝篋印塔1等が出土している。

鉄製品 釘3、鎌1等が出土している。

銅製品 煙管雁首2、煙管吸口1等が出土している。

銅銭 寛永通寶が4点、不明が1点出土している。

木製品 漆器椀、曲物底板、下駄、桶、杭等が出土している。

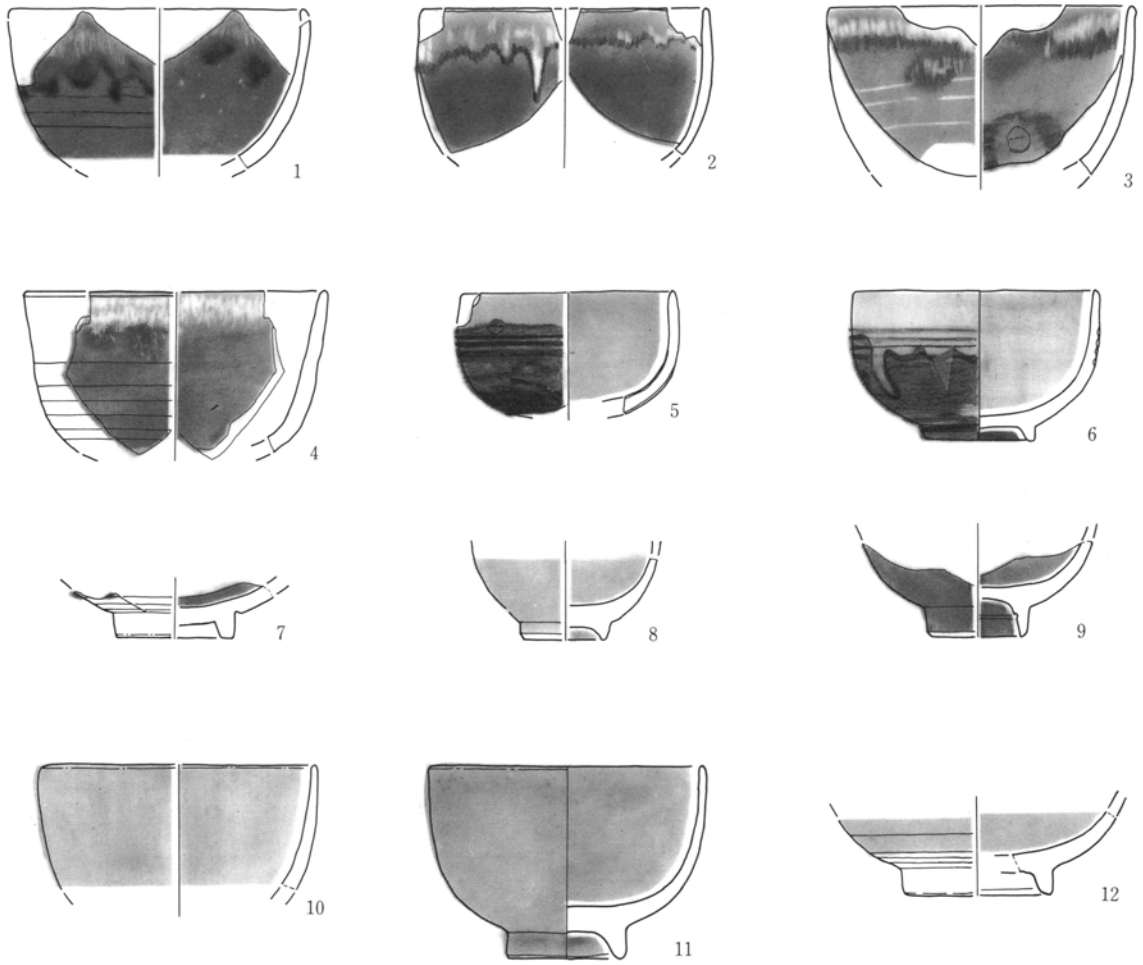
骨類 土坑墓から骨片が出土している。

中近世遺物数量表

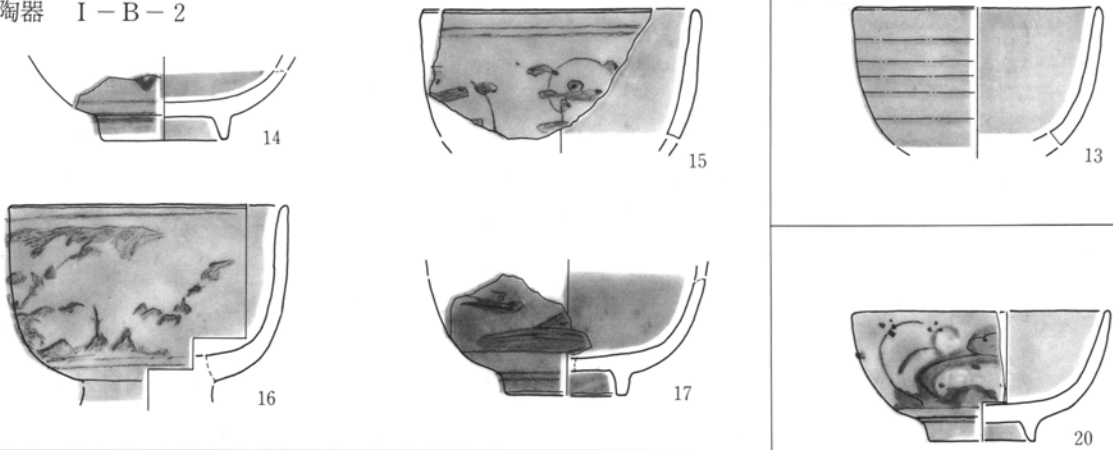
種別	土師質土器		軟質陶器					陶器																										
	皿	他	計	鍋・焙烙	火鉢	他	計	碗				皿・灯明皿			香炉		甕		壺・德利		鉢・大皿		摺り鉢		捏ね鉢		他	計						
								A	B		C	計	B	C	計	A	計	A	計	A	B	計	A	計	A	B			計	A	計			
分類1																																		
分類2								1	2	計		1	2	計																				
点数	22	1	23	91	2	25	118	2	90	25	115	4	121	42	2	44	1	45	6	6	15	15	23	2	25	16	16	32	1	33	3	3	11	275

種別	磁器												瓦		土製品	石製品	木製品	総計																
	碗				皿			杯・小杯		壺・甕類			他	計					他	計														
器種	A	B	C	計	B	C	計	B	計	A	B	C			計																			
分類1																																		
分類2																																		
点数	3	32	50	85	16	17	33	2	2	1	1	4	6	4	125	18	18	5	20	83	898													

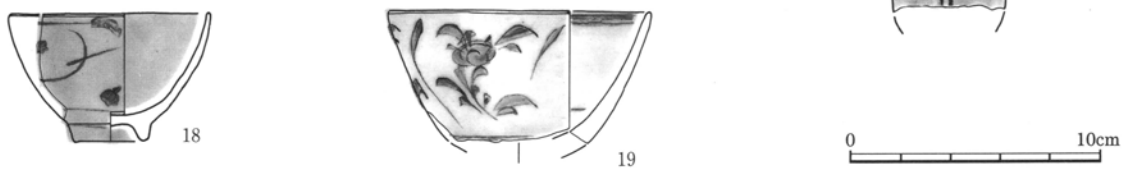
陶器 J-B-1



陶器 I-B-2

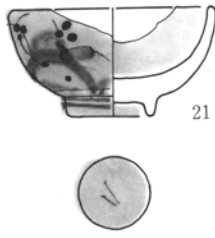


磁器 I-B

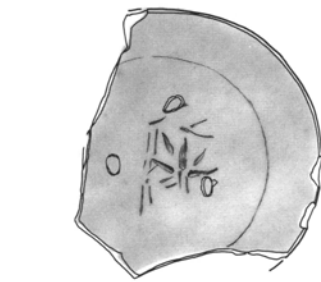


第374図 近世以降出土遺物1 陶器碗 磁器碗

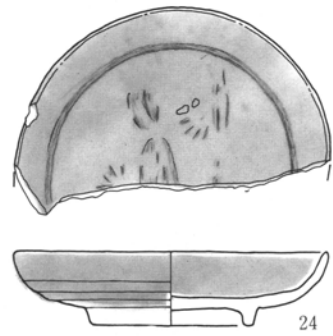
磁器 I-B



21

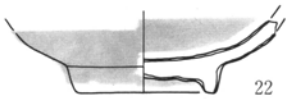


23

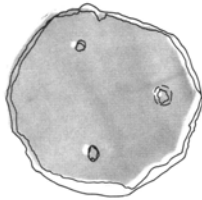


24

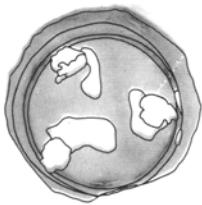
陶器 II-B-1



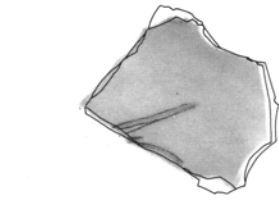
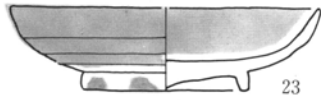
22



25



26



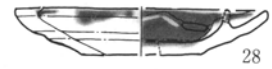
26



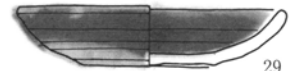
27



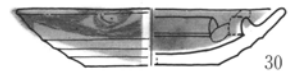
陶器 II-B-1



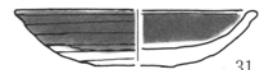
28



29

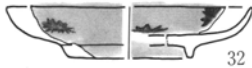


30

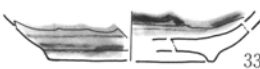


31

磁器 II-B



32



33



34

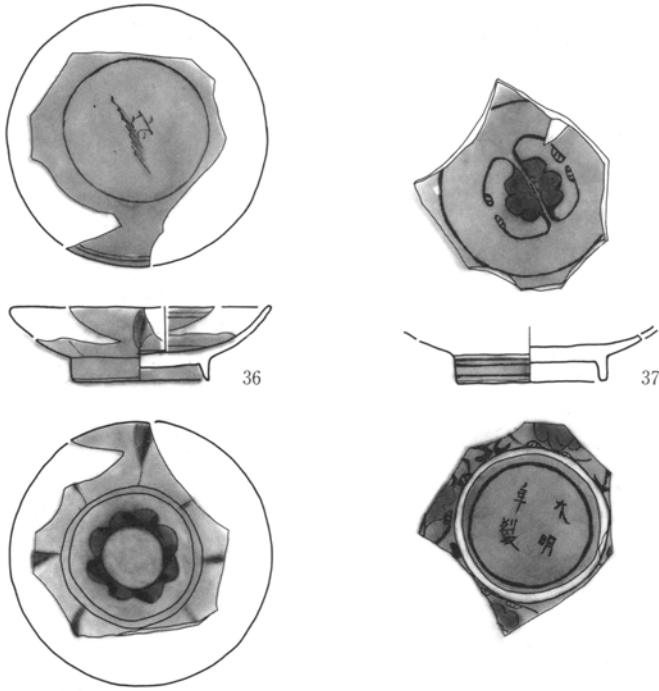


35

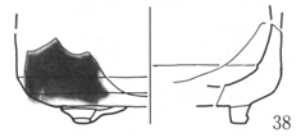


第375図 近世以降出土遺物 2 磁器碗 陶器皿 磁器皿

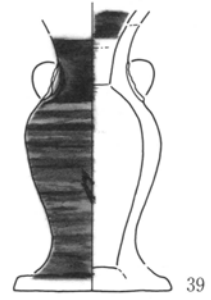
磁器 II-B



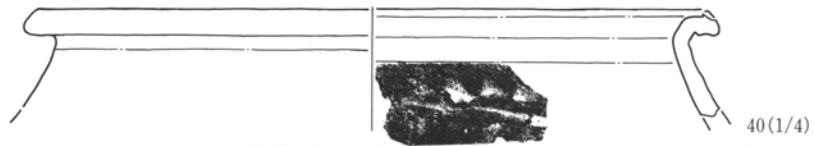
陶器 III-A



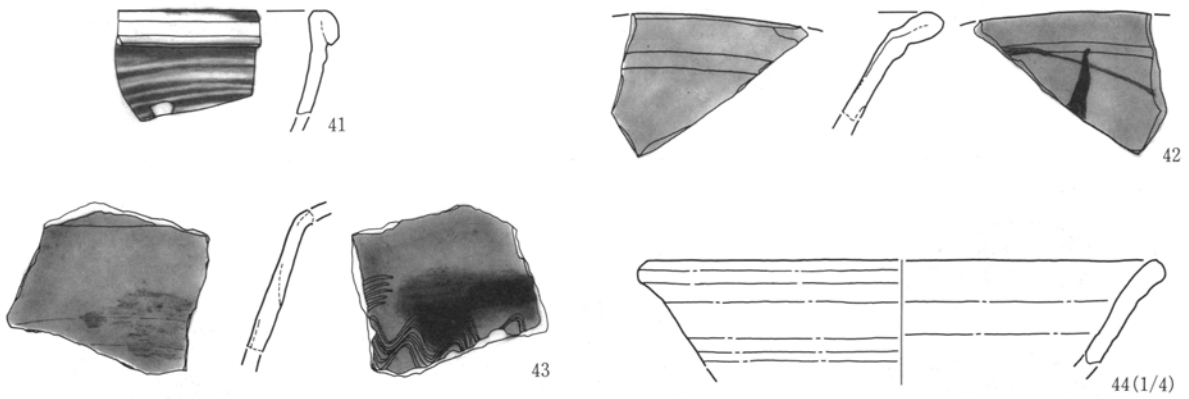
陶器 V-A



陶器 IV-A



陶器 IV-A

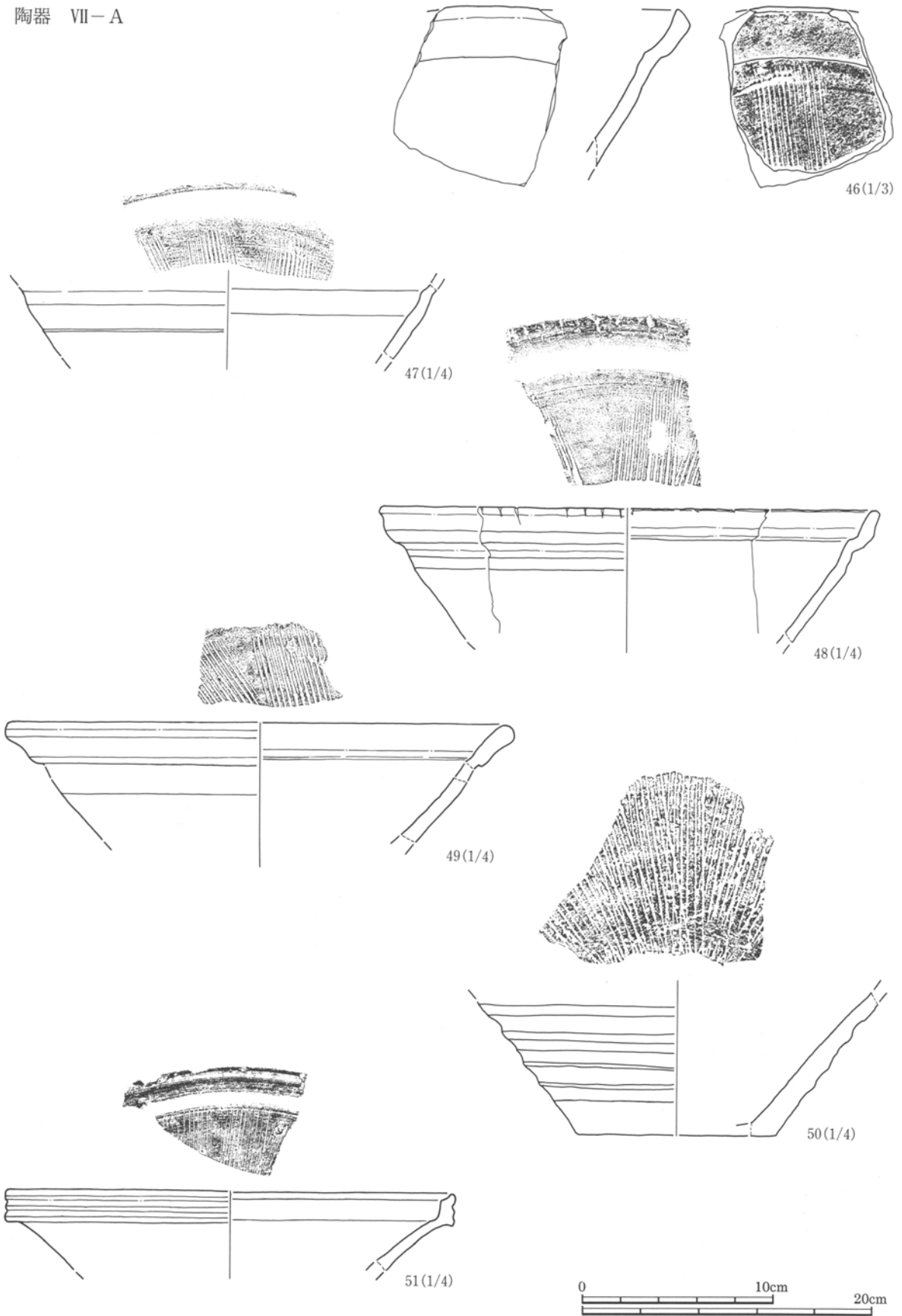


陶器 VII-A

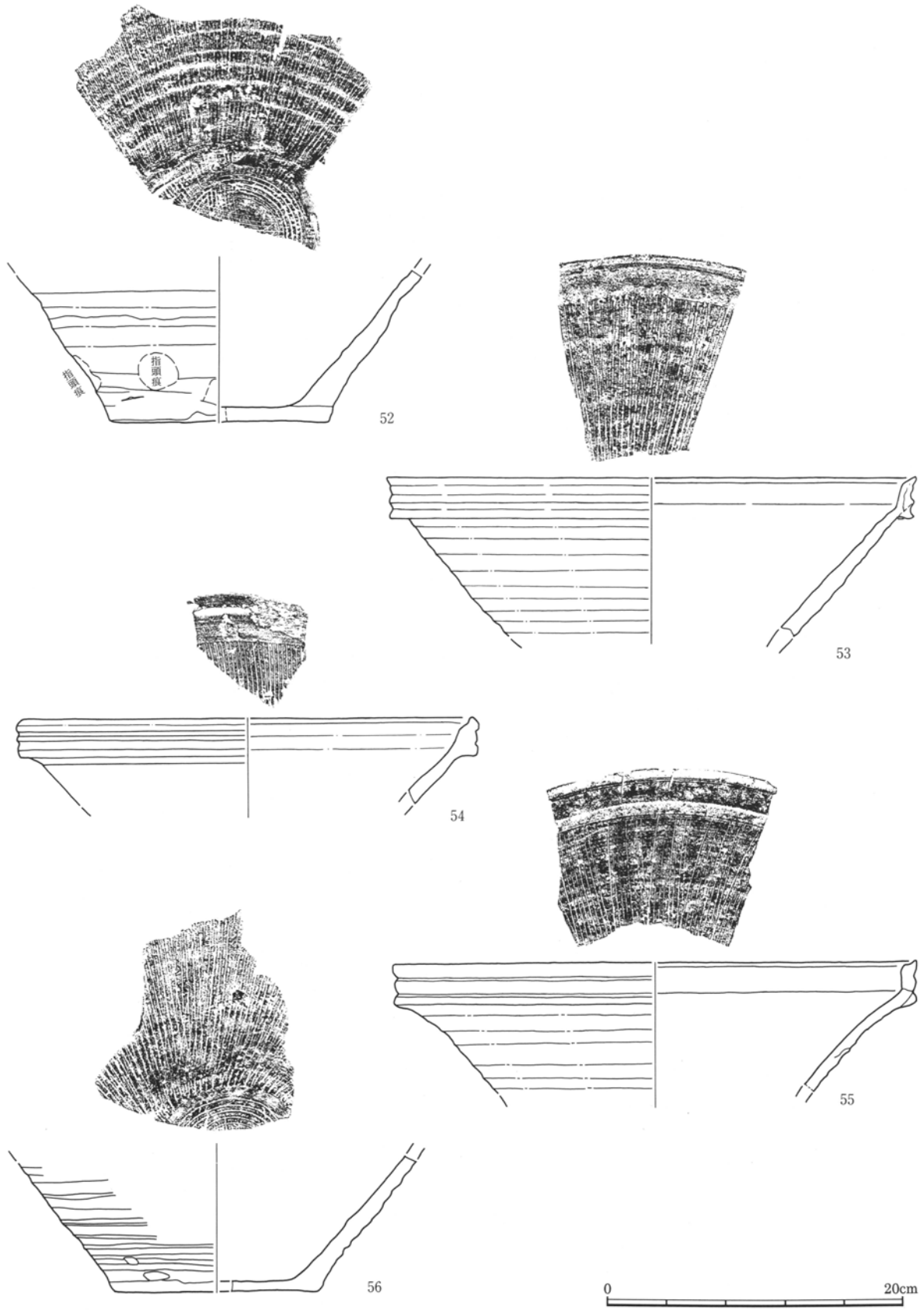


第376図 近世以降出土遺物 3 磁器皿 陶器香炉・花瓶・甕・鉢・搦り鉢

陶器 VII-A

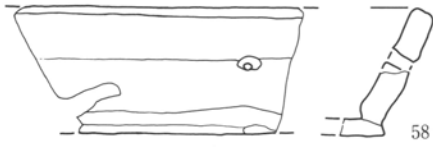


第377図 近世以降出土遺物 4 陶器揃り鉢

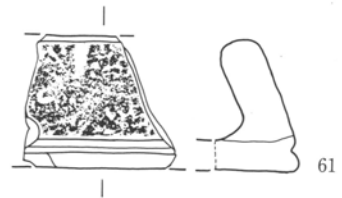
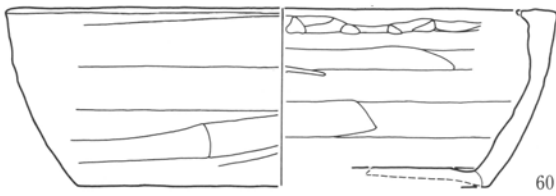
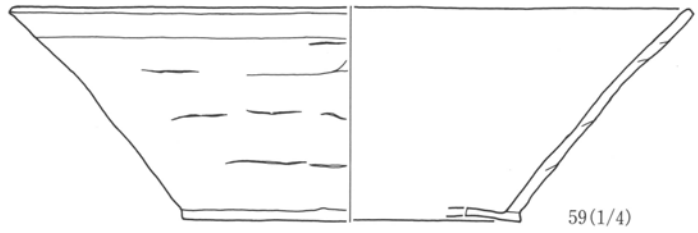


第378図 近世以降出土遺物 5 陶器挿り鉢

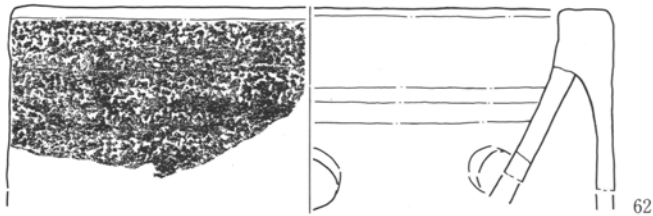
軟質陶器 I



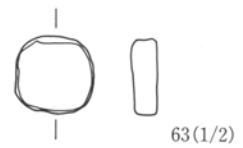
軟質陶器 I



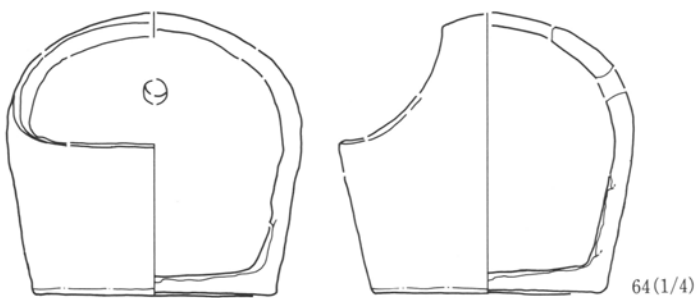
軟質陶器 IV



軟質陶器 IV

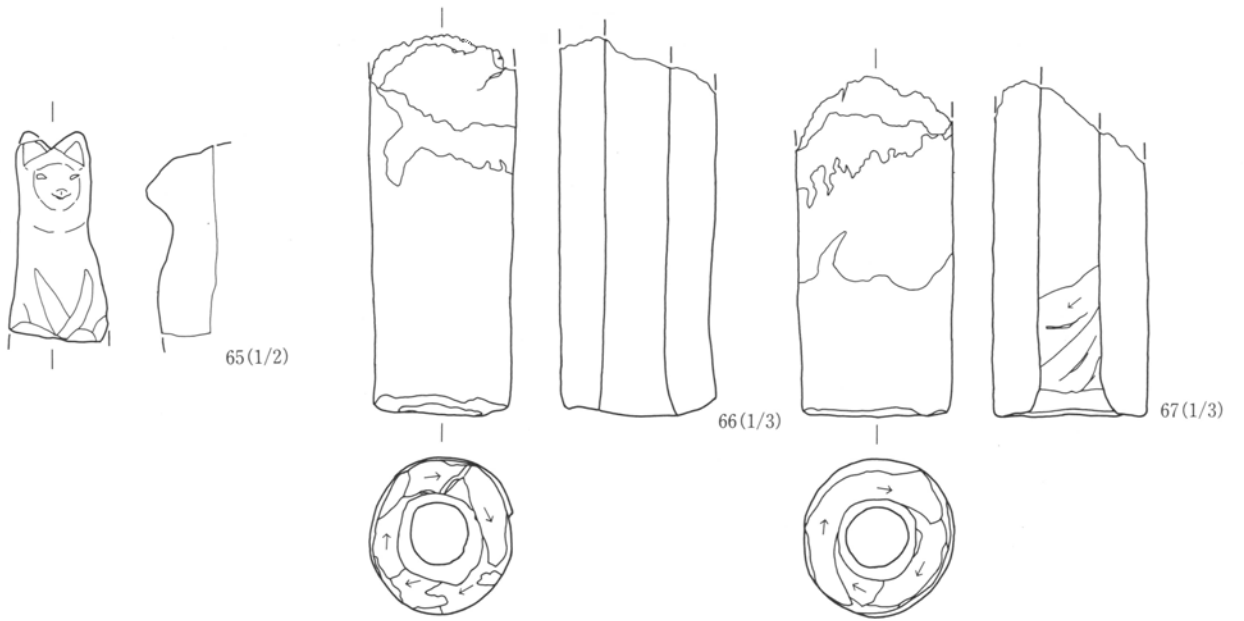


軟質陶器 IV

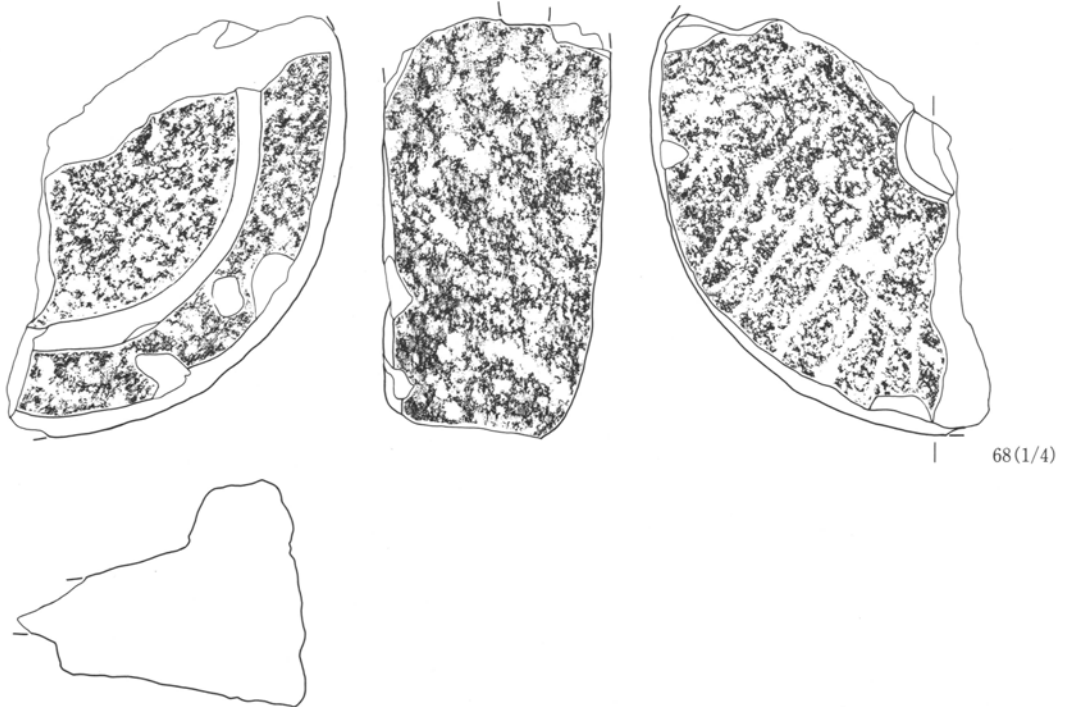


第379図 近世以降出土遺物 6 軟質陶器焙烙・鍋・焜炉他

土製品

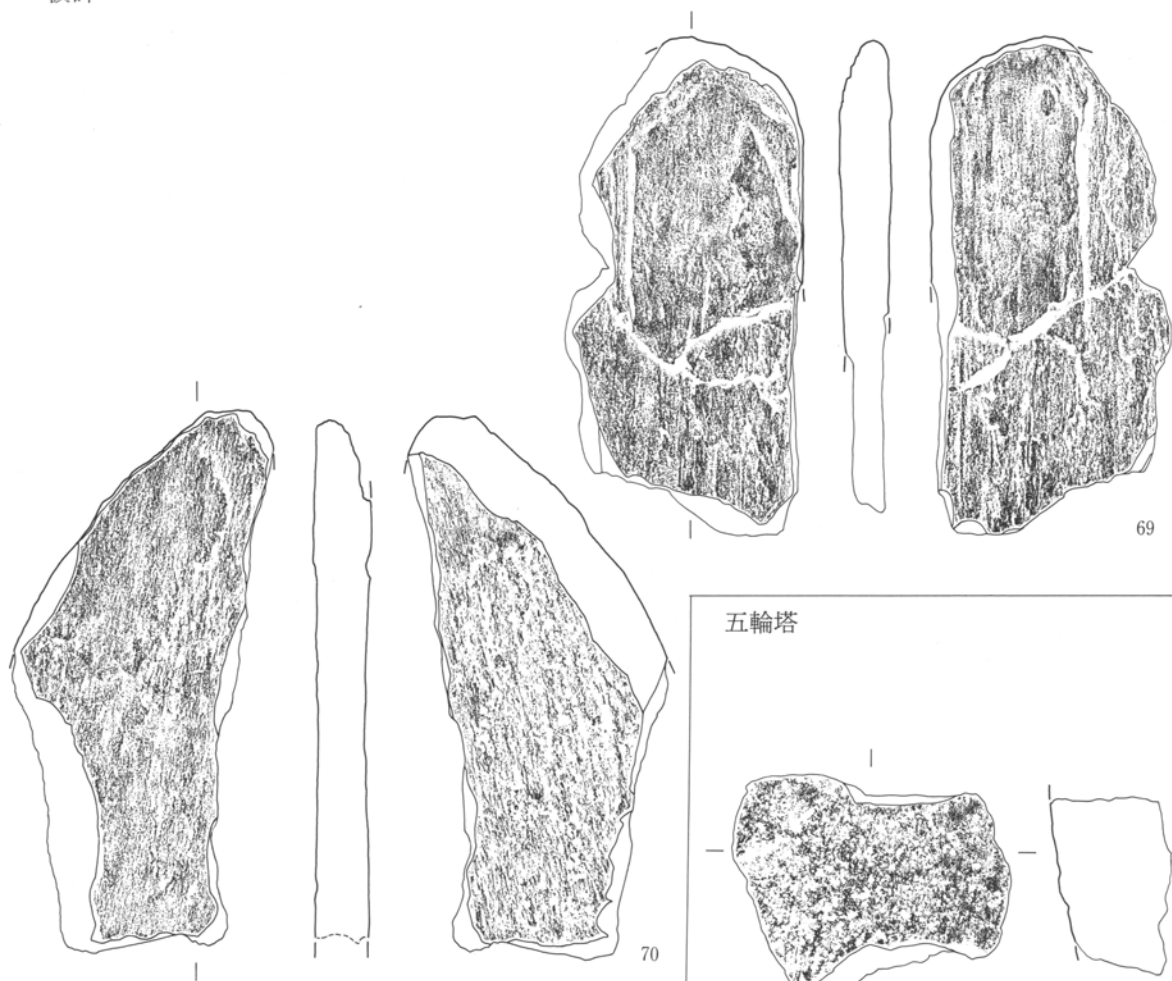


石臼

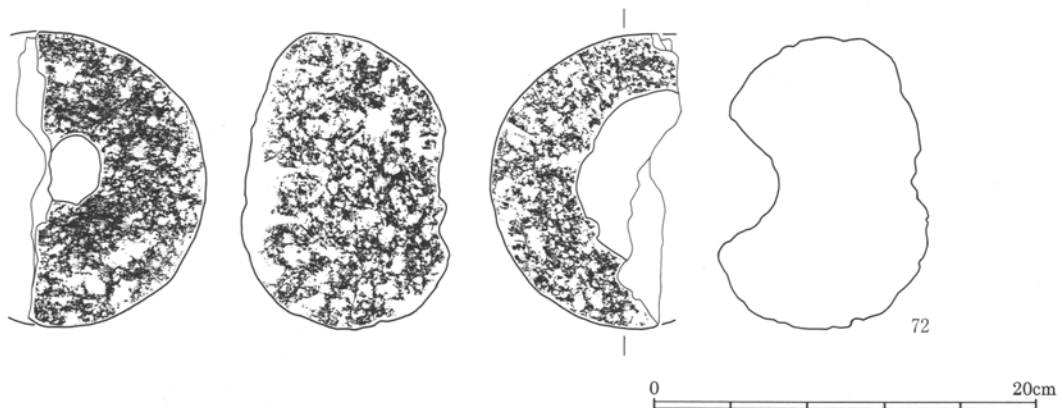


第380図 近世以降出土遺物 7 土製品 羽口 石臼

板碑

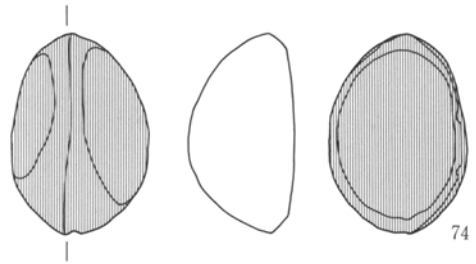
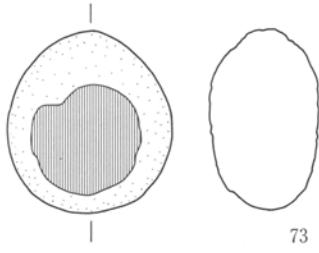


五輪塔

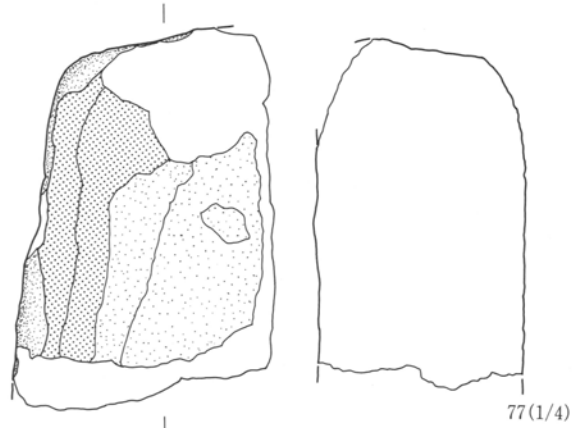
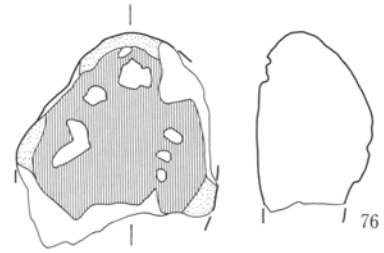
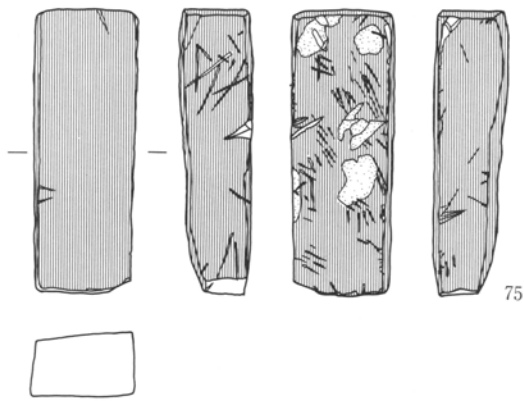


第381図 近世以降出土遺物 8 板碑 五輪塔

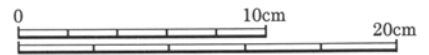
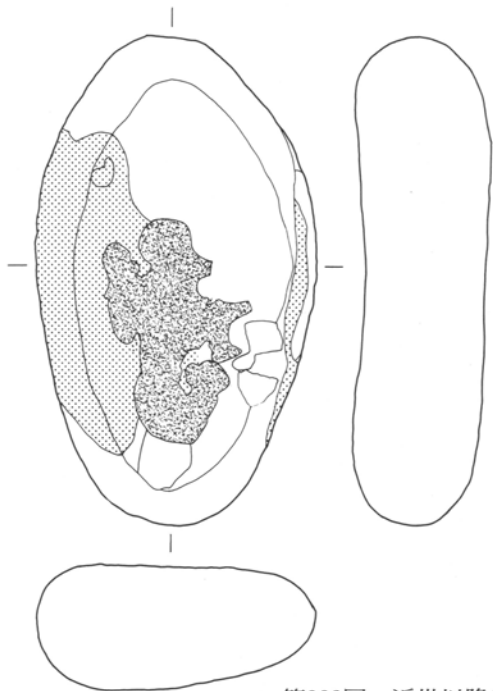
磨り石



砥石

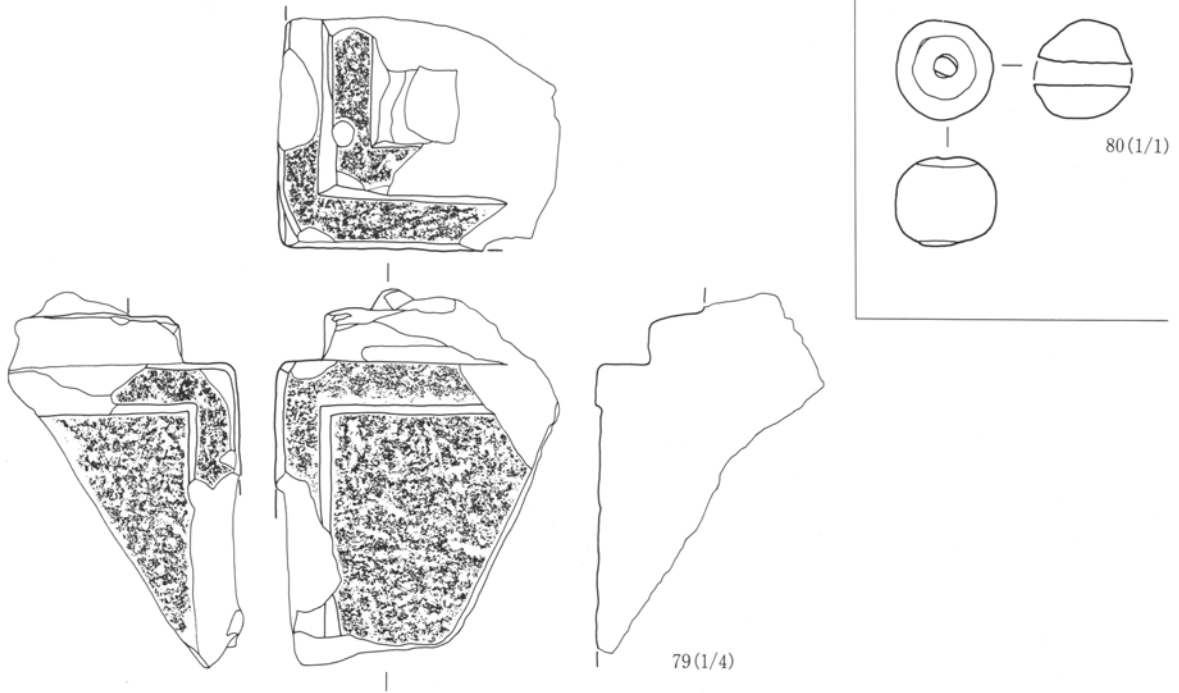


不明石製品

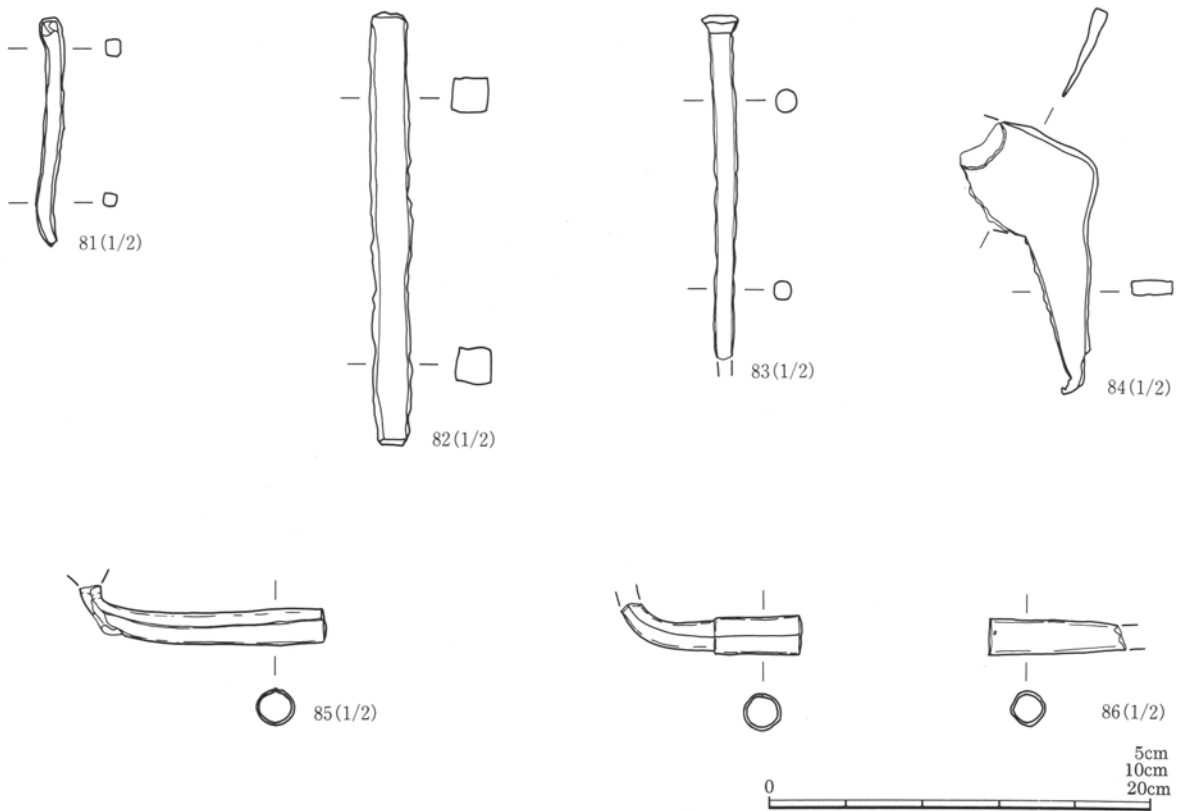


第382図 近世以降出土遺物 9 磨り石 砥石 不明石製品

宝篋印塔

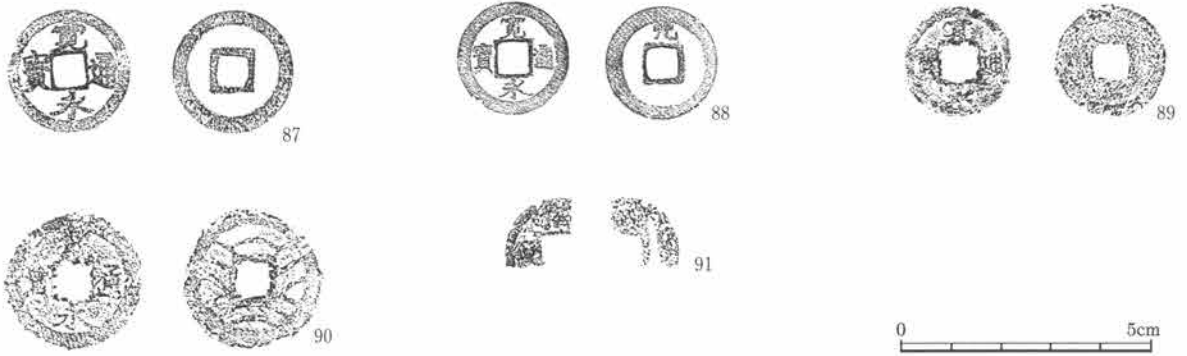


鉄製品等

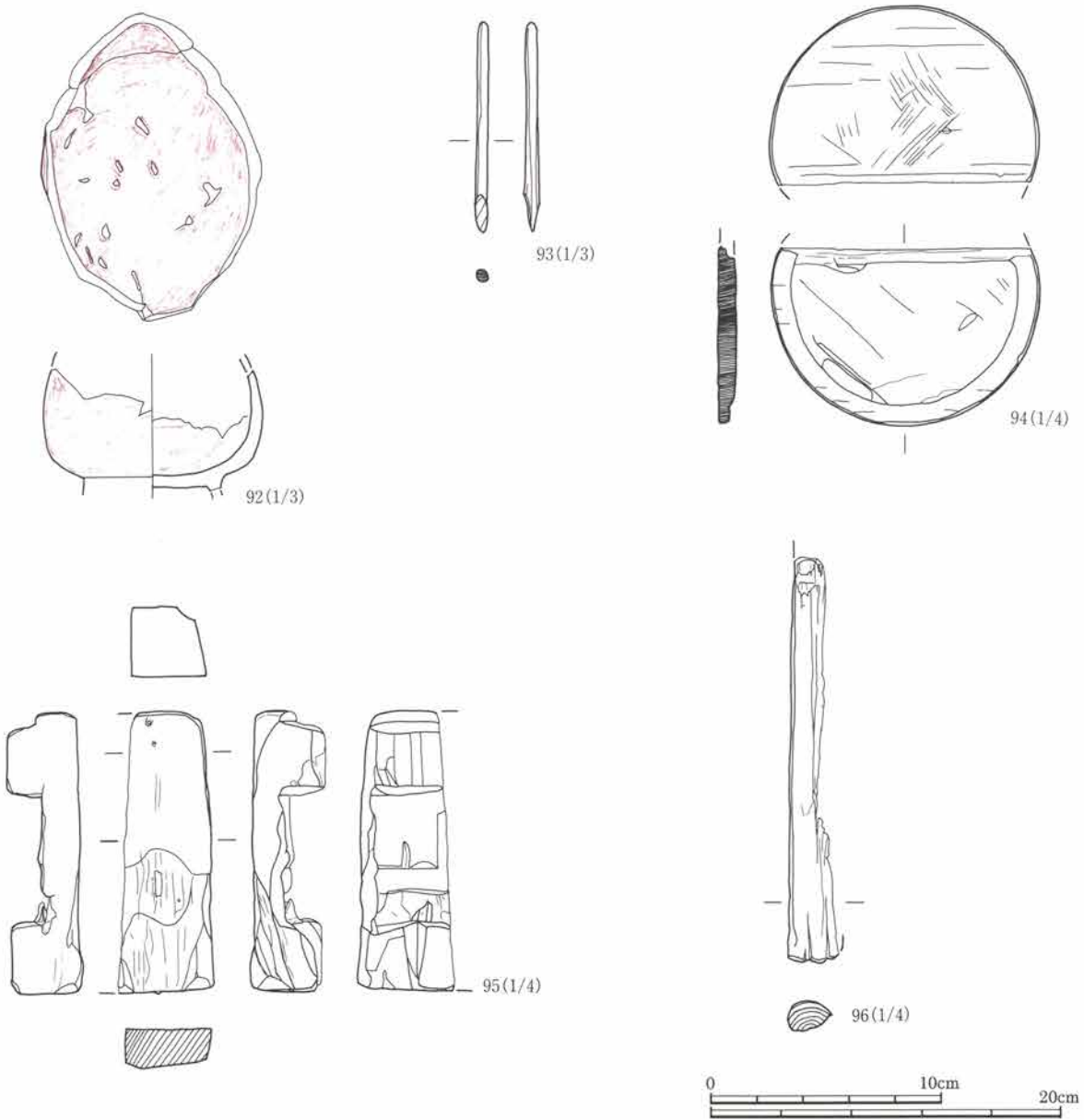


第383図 近世以降出土遺物10 宝篋印塔 玉 鉄製品等(釘 鎌 煙管)

銅銭

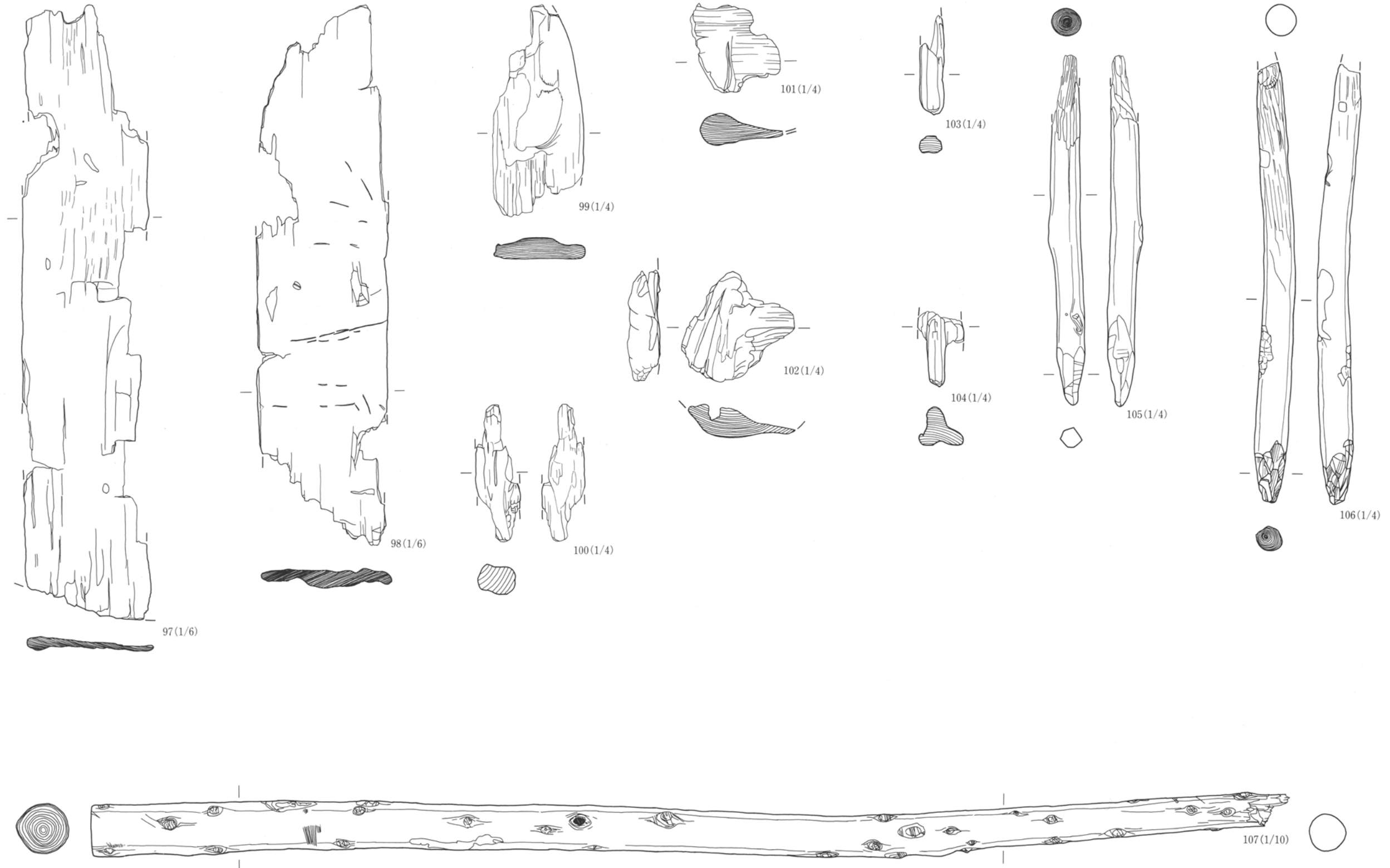


木製品



第384図 近世以降出土遺物11 銅銭(寛永通寶) 木製品(漆器碗・曲げ物・下駄等)

木製品



第385図 近世以降出土遺物12 木製品(桶底板・杭等)

近世以降土器・陶磁器観察表

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径		色調表	色調裏	焼成		調整	分類	備考
			底径	高さ			胎	土			
1	陶器	30号溝			にぶい黄 橙 10YR7/4	黄褐 10YR5/6	良好	細 細砂を微量含む	ロクロ調整 鉄釉灰釉かけ 碗	I B 1	瀬戸美濃系 近世 施釉部褐10YR 4/6
	碗	体部破片	[5.8]								
2	陶器	40号溝	11.3		暗褐 10YR3/4	暗褐 10YR3/4	良好	細	ロクロ調整 鉄釉灰釉かけ 碗	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	碗	口縁部～体部	[5.7]								
3	陶器	40号溝	11.9		にぶい黄 橙 10YR5/3	にぶい黄 褐 10YR5/3	良好	中 細砂を極微量含む	ロクロ調整 鉄釉灰釉かけ 碗	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	碗	口縁部～体部	[6.7]								
4	陶器	22号溝	12.0		明黄褐 10YR6/6	明黄褐 10YR6/6	良好	細 細砂を極微量含む	ロクロ調整 鉄釉灰釉かけ 碗	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	碗	口縁部～体部	[6.3]								
5	陶器	As-A混下	9.5		灰白 2.5Y8/1	灰白 2.5GY 8/1	良好	細 細砂を極微量含む	ロクロ調整 貫入あり 鉄 釉灰釉かけわけ碗(腰錆茶碗)	I B 1	瀬戸美濃系 近世 施釉部暗褐10YR 3/4
	碗	ほぼ完形	4.4								
			5.9								
6	陶器	As-B混	(8.4)		暗褐 10YR3/3	灰白 5Y7/2(胎 土灰白 2.5Y7/1)	良好	細 細砂・粗砂を微量含 む	ロクロ調整 貫入あり 鉄 釉灰釉かけわけ碗(腰錆茶碗)	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	碗	口縁部～体部	[4.8]								
7	陶器	30号溝	4.6		灰白 2.5Y1/1	オリーブ 褐 2.5Y4/6	良好	細 細砂を極微量含む	ロクロ調整 削り出し高台 底部～体部下半回転削り 鉄釉系	I B 1	瀬戸美濃系 近世 施釉部褐2.5Y5/4
	碗	体部～底部	[2.1]								
8	陶器	30号溝			明赤褐 7.5YR 5/8	明オリー ブ 5GY7/1	良好	細	ロクロ調整 削り出し高台 底部～体部下半回転削り 鉄釉系	I B 1	産地不明 施釉部 明緑褐7.5GY8/1
	碗	体部～底部	3.0	[3.2]							
9	陶器	30号溝			浅黄 5Y7/4	浅黄 7.5Y7/3	良好	細 細砂を極微量含む	ロクロ調整 削り出し高台 鉄釉系	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	碗	体部～底部	3.6	[3.7]							
10	陶器	34号溝	11.0		灰白 7.5Y7/2	灰白 10Y7/2	良好	中 細砂を極微量含む	ロクロ調整 削り出し高台? 高台内部に1条の沈線 灰 釉系	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	碗	口縁部1/5	[4.9]								
11	陶器	40号溝	10.8		灰黄 2.5Y7/2	灰黄 2.5Y7/2	良好	細 細砂を微量含む	ロクロ調整 貫入あり 灰 釉系	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	碗	ほぼ完形	4.4								
			7.6								
12	陶器	30号溝			淡黄 5Y8/3	灰白 10Y7/2	良好	細 細砂を微量含む	ロクロ調整 貫入あり 灰 釉系	I B 1	瀬戸美濃系 近世 (施釉部灰白7.5Y 7/2)
	碗	体部～底部	6.0	[3.2]							
13	陶器	41号溝	9.8		浅黄 2.5Y7/3	浅黄 2.5Y7/3	良好	中 細砂を極微量含む	ロクロ調整 削り出し高台 底部～体部下半回転削り 灰釉系	I B 1	瀬戸美濃系 近世 胎土灰黄2.5Y 7/2
	碗	口縁部～体部	[5.4]								
14	陶器	34号溝			赤褐 10R5/6	明オリー ブ 5GY7/1	良好	細 細砂を微量含む	ロクロ調整 陶胎染付	I B 2	肥前系 近世 施 釉部オリーブ灰 2.5GY6/1
	碗	体部～底部	4.9	[2.7]							
15	陶器	40号溝	10.8		灰白 7.5Y7/1	灰白 7.5Y7/1	良好	中 細砂・粗砂を少量含 む	ロクロ調整 陶胎染付	I B 2	肥前系 近世
	碗	口縁部～体部	[5.1]								
16	陶器	40号溝	10.8		灰白 10Y7/1	灰白 10Y7/1	良好	細 細砂を極微量含む	ロクロ調整 陶胎染付	I B 2	肥前系 近世
	碗	口縁部～体部	[7.0]								
17	陶器	40号溝			明オリー ブ 2.5GY 7/1	明オリー ブ 2.5Y7/1	良好	細 細砂を極微量含む	ロクロ調整 陶胎染付	I B 2	肥前系 近世
	碗	体部～底部破 片	4.7	[4.6]							
18	磁器	40号溝	(8.0)		灰白 10Y8/1	灰白 10Y8/1	良好	細	ロクロ調整 染付	I B	肥前系 近世
	碗	1/5	(3.0)								
			5.0								
19	磁器	不明土坑	10.4		明緑灰 10GY8/1	明緑灰 7.5GY 8/1	良好	細	ロクロ調整 染付	I B	肥前系 近世
	碗	口縁部1/3	[5.2]								

No	種別	出土位置	口径	色調表	色調裏	焼成	調整	分類	備考
	器種	残存率	底径 高さ			胎土			
20	磁器	30号溝	10.0	明緑灰 10GY8/1	明緑灰 7.5GY 8/1	良好	ロクロ調整 染付	I B	肥前系 近世
	碗	1/4	5.6			細 細砂を極微量含む			
			5.1						
21	磁器	30号溝	7.8	明緑灰 7.5GY 7/1	灰白 2.5GY 8/1	良好	ロクロ調整 染付	I B	肥前系 近世
	碗	2/3	2.8			細 細砂・粗砂を微量含む			
			4.3						
22	陶器	As-B混		浅黄 7.5Y7/3	浅黄 7.5Y7/3	良好	ロクロ調整 付け高台? 貫入あり 灰釉系	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	皿	体部～底部	5.5			細 細砂・粗砂を微量含む			
			[2.8]						
23	陶器	40号溝	12.4	灰白 5Y7/2	灰白 5Y7/2	良好	ロクロ調整 削り出し高台? 底部～体部下回転篋削り 灰釉系 摺絵	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	皿	2/3	6.4			中 細砂・粗砂を少量含む			
			3.3						
24	陶器	40号溝	12.4	灰白 5Y7/2	灰白 5Y7/2	良好	ロクロ調整 削り出し高台 底部～体部下回転篋削り 灰釉系 摺絵	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	皿	1/2	6.4			細 細砂を極微量含む			
			2.9						
25	陶器	As-A混下		灰白 7.5Y8/2	淡黄 5Y8/3	良好	ロクロ調整 削り出し高台 底部回転篋削り 両面に重 ね焼き痕(胎土目積か)	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	皿	底部	6.7			細 細砂を極微量含む			
			[0.9]						
26	陶器	As-B混		浅黄 7.5Y7/3	浅黄 7.5Y7/3	良好	ロクロ調整 削り出し高台? 底部回転篋削り 灰釉系	I B 1	瀬戸美濃系 近世
	皿	体部～底部	4.5			細 細砂を微量含む			
			[2.6]						
27	陶器	近現代溝		灰オリーブ 5Y6/2	灰オリーブ 5Y6/2	良好	ロクロ調整 体部外面に焼 成前刻書「・・郡大堀村 □・・」	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	皿	体部破片				細 細砂を微量含む			
			[1.6]						
28	陶器	30号溝	10.0	にぶい黄 橙 10YR7/3	灰赤 7.5R4/2	良好	ロクロ調整 底部～体部回 転篋削り 鉄釉系 皿受け 切り込みあり	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	灯明皿	1/4	4.6			細 細砂を極微量含む			
			1.8						
29	陶器	30号溝	10.3	にぶい赤 褐 2.5YR 4/4	赤褐 5YR4/8	良好	ロクロ調整 底部～体部回 転篋削り 鉄釉系	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	灯明皿	3/4	5.1			細 細砂を極微量含む			
			2.2						
30	陶器	54号溝	10.6	灰白 10YR7/1	明赤褐 5YR5/6	良好	ロクロ調整 底部糸切り後 底部～体部回転篋削り 断 面三角形の皿受け切り込み あり 鉄釉系	II B 1	瀬戸美濃系 近世
	灯明皿	1/4	5.2			細			
			2.2						
31	陶器	22号溝	9.6	にぶい赤 褐 5YR4/3	明緑灰 7.5YR 7/1	良好	ロクロ調整 底部～体部回 転篋削り 内面に重ね焼き 痕あり 鉄釉系	II B	瀬戸美濃系 近世
	灯明皿	口縁部～底部	2.9			細			
			2.2						
32	磁器	30号溝		明緑灰 10GY7/1	明緑灰 5BG7/1	良好	ロクロ調整 染付	II B	肥前系 近世
	皿	底部1/3	6.0			細			
			[1.5]						
33	磁器	30号溝		明緑灰 10GY7/1	明緑灰 5BG7/1	良好	ロクロ調整 染付	II B	肥前系 近世
	皿	底部1/3	6.0			細			
			[1.5]						
34	磁器	As-B混		明緑灰 7.5GY 8/1	明緑灰 7.5GY 8/1	良好	ロクロ調整 削り出し高台 内面底部輪丸 砂目積み 染付	II B	肥前系 近世
	皿	体部～底部3	4.5			細			
			[3.1]						
35	磁器	40号溝		灰白 10Y8/1	灰白 10Y8/1	良好	ロクロ調整 染付	II B	肥前系 近世
	皿	底部1/4	6.5			細			
			[1.1]						
36	磁器	30号溝	10.2	灰白 5GY8/1	灰白 5GY8/1	良好	ロクロ調整 染付	II B	肥前系 近世
	皿	3/4	5.4			細			
			2.9						
37	磁器	30号溝		明緑灰 7.5GY 8/1	明緑灰 7.5GY 8/1	良好	ロクロ調整 染付 裏銘 「大明年製」	II B	肥前系 近世
	皿	底部	5.8			細			
			[1.8]						
38	陶器	30号溝		淡黄 2.5Y8/3	淡黄 2.5Y8/3	良好	ロクロ調整 底部回転篋削り 後脚貼り付け 鉄釉系	III A	瀬戸美濃系 近世 施釉部にぶい黄褐 10Y5/4
	香炉	1/6	(7.5)			細 細砂・粗砂を微量含む			
			[6.0]						

No	種別 器種	出土位置 残存率	口径 底径 高さ	色調表	色調裏	焼成		調整	分類	備考
						胎土				
39	陶器 花瓶	As-B混 口縁部欠損	6.0 [11.2]	褐 7.5YR 4/4	施釉部褐 7.5YR 4/4他	良好 細 細砂を少量含む		ロクロ調整 底部ナデ 双 耳欠損 鉄釉系	V A	瀬戸美濃系 近世 底部灰白10Y8/2
	陶器 甕	As-B混土上面 口縁部破片	(36.9) [5.3]	褐 7.5YR 4/3	褐 7.5YR 4/3	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む		外面ナデ 内面オサエカ	IV A	
41	陶器 鉢	30号溝 破片	(30.0) [4.0]	にぶい赤 褐 2.5YR 4/3	灰褐 7.5YR 5/2	良好 細 細砂・粗砂を少量含 む		ロクロ調整 ハケ目	VI A	唐津 近世 施釉部灰褐7.5YR 5/2 ハケ部灰白 2.5Y8/2
	陶器 鉢	40号溝 口縁部～体部	[4.1]	浅黄 2.5Y7/3	浅黄 2.5Y7/3	良好 中 細砂を極微量含む		ロクロ調整 灰釉鉄絵か?	VI A	瀬戸美濃系 近世
43	陶器 鉢	40号溝 体部破片	[5.6]	灰白 7.5Y8/1	灰白 7.5Y8/1	良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		ロクロ調整 内面に櫛目文 あり 灰釉銅緑釉流し鉢か	VI A	瀬戸美濃系 近世
	陶器 鉢	As-B混土上面 口縁部破片	(28.0) [5.5]	灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	良好 細 細砂・粗砂を少量含 む		ロクロ調整 灰釉系?	VI A	瀬戸美濃系? 近 世
45	陶器 播り鉢	30号溝 口縁部1/15	(40.0) [6.0]	明赤褐 5YR5/8	明赤褐 5YR5/6	良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		ロクロ調整 鉄釉系?	VII A	産地不明
	陶器 播り鉢	40号溝 口縁部破片	[8.1]	にぶい赤 褐 5YR5/4	にぶい赤 褐 5YR5/4	良好 中 細砂・粗砂を中量含 む		ロクロ調整 鉄釉系?	VII A	産地不明
47	陶器 播り鉢	30号溝 胴部	[5.0]	明赤褐 5YR5/6	明赤褐 5YR5/8	良好 中 細砂・粗砂・礫を少 量含む		ロクロ調整 体部外面回転 篋削り 鉄釉系?	VII A	
	陶器 播り鉢	30号溝 口縁部1/5	34.0 [9.2]	灰赤 7.5R4/2	赤灰 10R5/1	良好 中 細砂・粗砂・礫を少 量含む		ロクロ調整 体部外面回転 篋削り 焼き締め?	VII A	
49	陶器 播り鉢	30号溝 口縁部1/8	35.0 (8.2)	にぶい赤 褐 2.5YR 4/4	にぶい赤 褐 2.5YR 4/4	良好 中 細砂・粗砂・黒色粒 子を多量含む		ロクロ調整 体部外面回転 篋削り 鉄釉系?	VII A	
	陶器 播り鉢	30号 胴部～底部	10.6 [7.5]	灰赤 2.5YR4/2 明赤褐 2.5YR5/1	灰赤 2.5YR4/2 橙 2.5YR6/8	良好 細 細砂・粗砂を多量含 む		ロクロ調整 焼き締め?	VII A	
51	陶器 播り鉢	22号溝 口縁部～体部	31.0 [5.4]	にぶい黄 橙 10YR7/3	にぶい赤 褐 5YR5/4	良好 細 細砂・粗砂・礫を中 量含む		ロクロ調整 鉄釉系?	VII A	
	陶器 播り鉢	40号溝 体部～底部	15.0 [10.3]	明赤褐 5YR5/6	明赤褐 5YR5/6	良好 中 細砂・粗砂・礫を多 量含む		ロクロ調整 鉄釉系?	VII A	
53	陶器 播り鉢	40号溝 口縁部～体部	(36.0) [10.7]	にぶい赤 褐 5YR5/3	にぶい赤 褐 5YR5/3	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む		ロクロ調整 鉄釉系?	VII A	
	陶器 播り鉢	33号溝 口縁部～体部	(30.8) [5.8]	灰赤 7.5YR 4/2	にぶい赤 褐 7.5R4/3	良好 細 細砂・粗砂・礫を多 量含む		ロクロ調整 焼き締め?	VII A	
55	陶器 播り鉢	40号溝 口縁部～体部	(35.5) [8.6]	灰黄褐 10YR6/2	灰白 2.5Y7/1	良好 細 細砂・粗砂を中量含 む		ロクロ調整 焼き締め?	VII A	
	陶器 播り鉢	40号溝 底部1/4	14.0 [9.2]	にぶい黄 橙 10YR6/4	明赤褐 5YR5/6	良好 中 細砂・粗砂・礫を多 量含む		ロクロ調整 焼き締め?	VII A	
57	軟質陶器 鍋	30号溝 1/12	(46.0) (40.0)	黄灰 2.5Y4/1	灰 7.5Y4/1	還元焰良好 中 細砂を多量含む		ロクロ調整 内耳貼り付け	I	
			5.5							

No	種別 器種	出土位置 残存率	全長		色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
			幅	厚さ			胎 土				
58	軟質陶器	30号溝	(36.4)		にぶい赤	にぶい橙	酸化焰良好	ロクロ調整 体部に焼成前 穿孔あり	I		
	鍋	1/15	(32.4)		褐	5YR7/4	中 細砂・褐色粒子中量 含む				
			5.0		5YR5/3						
59	軟質陶器	40号溝	36.2		黒褐	灰黄褐	還元焰良好	ロクロ調整 外面オサエか 外面前面に煤付着	I		
	鍋	1/4	18.0		10YR3/1	10YR6/2	細 細砂・粗砂を少量含 む				
			11.3								
60	軟質陶器	40号溝	29.4		灰	灰	還元焰良好	ロクロ調整	I		
	鍋	1/4	22.0		5Y5/1	7.5Y5/1	細 細砂・粗砂を微量含 む				
			9.4								
61	軟質陶器	30号溝	(35.6)		にぶい橙	にぶい橙	酸化焰普通	外面に沈線	I		
	鍋	口縁部～底部	(40.0)		2.5YR	5YR6/4	中 細砂・粗砂・褐色粒 子中量含む				
			5.2		6/4						
62	軟質陶器	30号溝	(20.0)		灰黄	明赤褐	還元焰普通	外面	IV		
	焜炉	口縁部～底部			2.5Y6/2	2.5YR	中 細砂・粗砂多量含む				
			[7.2]		5/6						
63	軟質陶器	1号溝	縦2.0		黒	浅黄橙		外周を削って調整 鍋底部 の転用か	IV		
	転用土製 品	小片	縦2.0		10YR2/1	10YR8/3					
			厚み0.7								
64	軟質陶器	30号溝			橙	橙	酸化焰普通	内外面ナデカ	IV		
	不明 (行火?)	一部欠損	12.5		5YR6/6	5YR6/8	中 細砂・粗砂・褐色粒 子多量含む				
			[14.0]								

近世以降土製品観察表

No	種別 器種	出土位置 残存率	全長		色調表	色調裏	焼 成		調 整	分 類	備 考
			幅	厚さ			胎 土				
65		22号溝	6.6		にぶい橙		良好				
	土人形狐		2.6		5YR6/4		細 細砂・黒色細粒を含 む				
			1.8								
66		40号溝	14.8		にぶい器 橙		良好				
	鞆羽口	ほぼ完形	5.8		10YR7/3		中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む				
			6.1								
67		40号溝	13.4		灰白		良好				
	鞆羽口	ほぼ完形	6.1		7.5YR		中 細砂・粗砂・黒色粒 子を中量含む				
			6.2		8/2						

近世以降石製品観察表

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	石材	特徴	分類	備考
68	石白	22号溝	(34.0) 12	4.1kg [11.2]	1/4	粗粒輝石 安山岩	粉挽き白上白 磨り面分割不明 溝5～6本1単位か		
69	板碑	22号溝	[25.0] 2.45	1.22kg [12.0]	破片	緑色片岩	表面剥落か		
70	板碑	1号井戸	[28.7] 3.1	1.68kg [14.3]	破片	緑色片岩	表面剥落か		
71	五輪塔	22号溝	[9.5] 1.9	1.1kg 15.5	1/3	粗粒輝石 安山岩	風輪の一部か?		
72	五輪塔	21号溝	[10.2] 11	1.35kg 6.6	1/2	粗粒輝石 安山岩	水輪 上下に窪みあり		
73	磨り石	中世面	7.3 4.3	135.6g 5.6	完形	二ツ岳石	両面使用か?		
74	砥石?	1号墓坑	7.9 4.2	160.2g 4	完形	二ツ岳石	3面使用か?		
75	砥石	22号溝	11.2 2.65	197.3g 7.9	ほぼ完形	流紋岩	4面使用 刃ならし傷あり		
76	不明	30号溝	9.5 4.6	2.0kg		粗粒輝石 安山岩	1面に磨り面あり 磨り石か?		

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	石材	特徴	分類	備考
77	不明	40号溝	[18.6] 11.13	[13.5] 4.8kg		粗粒輝石 安山岩	上面中央部窪む 敲打痕あり 周辺黒変 敲打石か？		
78	不明	30号溝	25.3 6.6	15.4 4.35kg	完形	粗粒輝石 安山岩	上面敲打痕あり 一部黒変裏面 褐色に変色		
79	宝篋印塔	30号溝	[17.9] [12.2]	[15.1] 2.35kg	1/4	粗粒輝石 安山岩	塔身の一部		
80	ガラス玉	54号ピット	1.3 1.2	1.2 2.67g	完形				

近世以降金属製品観察表

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	特徴	分類	備考
81	鉄製品 角釘	1号墓坑	6.00 0.40	0.4 1.22	一部欠損	断面方形		
82	鉄製品 角釘？	1号井戸	[11.3] 0.90	1.05 47.85		角柱状の鉄製品大型の釘か？		
83	鉄製品 釘	135号ピット	9.10 0.50	頭部1.0 5.27	先端欠損	断面方形か？		
84	鉄製品 鎌	22号溝	[7.4] 0.40	3.4 11.04	基部	刃部は大部分欠損		
85	銅製品 煙管雁首	30号溝	6.50 1.00	2.2 4.48	火皿部 欠損			
86	銅製品 煙管雁首	1号墓坑	4.90 1.0	1.4 5.56	火皿部 欠損			
87	銅製品 煙管吸い口	1号墓坑	3.70 1.00	1 2.56	吸い口 欠損			

近世以降銅銭観察表

図No	種別	銭貨名	出土位置	径	孔	厚さ	重量	残存率	特徴	分類	備考
87	銅銭	寛永通寶	1号墓坑	2.63	0.61	0.14	3.04	完形		III-A	
88	銅銭	寛永通寶	22号溝？	2.27	0.62	0.12	2.75	完形	背紋「元」	III-B-2	
89	銅銭	寛永通寶	22号溝	2.185	0.695	0.95	1.49	完形		III-B-5	
90	銅銭	寛永通寶	22号溝	2.9	0.645	0.145	3.86	完形	背紋青海波	III-B-6	
91	銅銭	不明	1号墓坑	[1.46]	0.57	0.11	0.31	0.25		C	

近世以降木製品観察表

No	器種	出土位置	口径cm	底径cm	高さcm	木取り	残存率	特徴	樹種
92	漆器腕	40号溝		(6.0)	[5.1]			体部～底部	ブナ属
No	器種	出土位置	全長	幅	厚さ	木取り	残存率	特徴	樹種
93	串状木製品	1号井戸	8.9	0.6	0.5		完形	先端部を両側から加工	広葉樹
94	曲物底板	40号溝	15.4	[10.0]	0.9	柁目	2/3	周囲を1段下げて加工	ヒノキ
95	下駄	22号溝	16.4	[5.5]	2.2～4.0	板目	3/4	歯は削り出してつける	マツ属複雑管束亜属
96	棒状木製品	40号溝	[23.0]	2.8	1.7	分割材			エゴノキ属
97	桶底板	1号墓坑	86.5	17.8	1.8	板目	一部欠損	劣化著しい	サワラ
98	桶底板	1号墓坑	76.0	18.6	2.5	板目	一部欠損	劣化著しい	サワラ
99	桶底板	1号墓坑	[20.0]	[8.7]	2.0	板目	破片	劣化著しい	サワラ
100	杭	30号溝	[13.0]	[4.0]	2.8	分割材？	破片	先端部を加工	コナラ属コナラ亜属コナラ節
101	不明木製品	1号墓坑	[8.2]	[7.7]	3.0	板目	破片		サワラ
102	不明木製品	1号墓坑	[10.5]	[10.1]	2.7	板目	破片		サワラ
103	不明木製品	1号井戸	[9.4]	[2.3]	1.6	板目	破片		クリ(柁目・板目)
104	不明木製品	1号井戸	[7.2]	[4.3]	3.6	板目	破片		モクレン属(木口)
105	杭	22号溝	[33.1]	3.1	11.9～2.5	丸木		先端部を加工	ヒノキ
106	杭	22号溝	[41.6]	3.1	2.9	丸木		先端部を加工	マツ属複雑管束亜属
107	柱？	40号溝	281.0	7.5～12.1	8.5～12.1	丸木		端部を平らに加工	サワラ

第2節 中世

(1) 概要

中世はAs-B混土上面および下面が相当するが、上面は近世以降の耕作により削平され、下面はAs-B上面となっていていずれも面として捉えられないものが多く、調査区西部（C区西部）のみAs-B混土上面の調査を行った。しかしながら、他の地区もAs-B下面より深く掘り込まれている遺構があり、中世の遺構が検出されている。このため中世の遺構を一括してこの節で掲載する。

遺構としては、掘立柱建物2棟、溝38条、土坑18基、ピット32基等が検出されている。遺構はほぼ全面から検出されているが、A区は南東部のみ存在する。

遺物の出土量は少なく、土器・陶磁器類、銅銭、石製品類等が少量出土している。

(2) 遺構

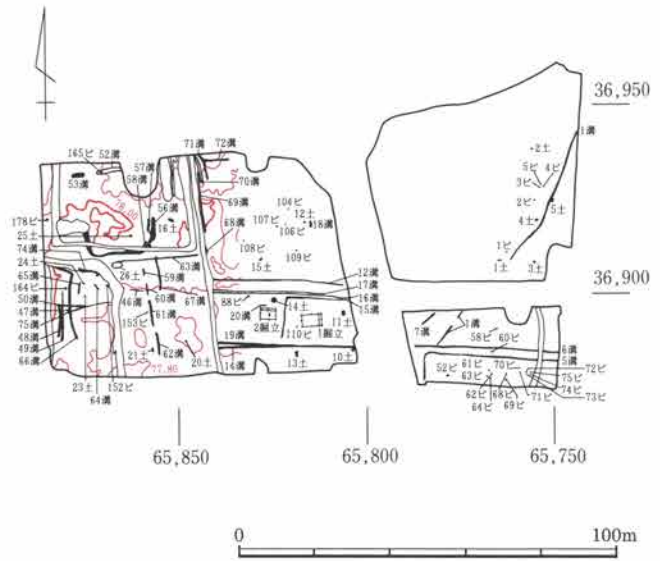
掘立柱建物

掘立柱建物は2棟検出されている。

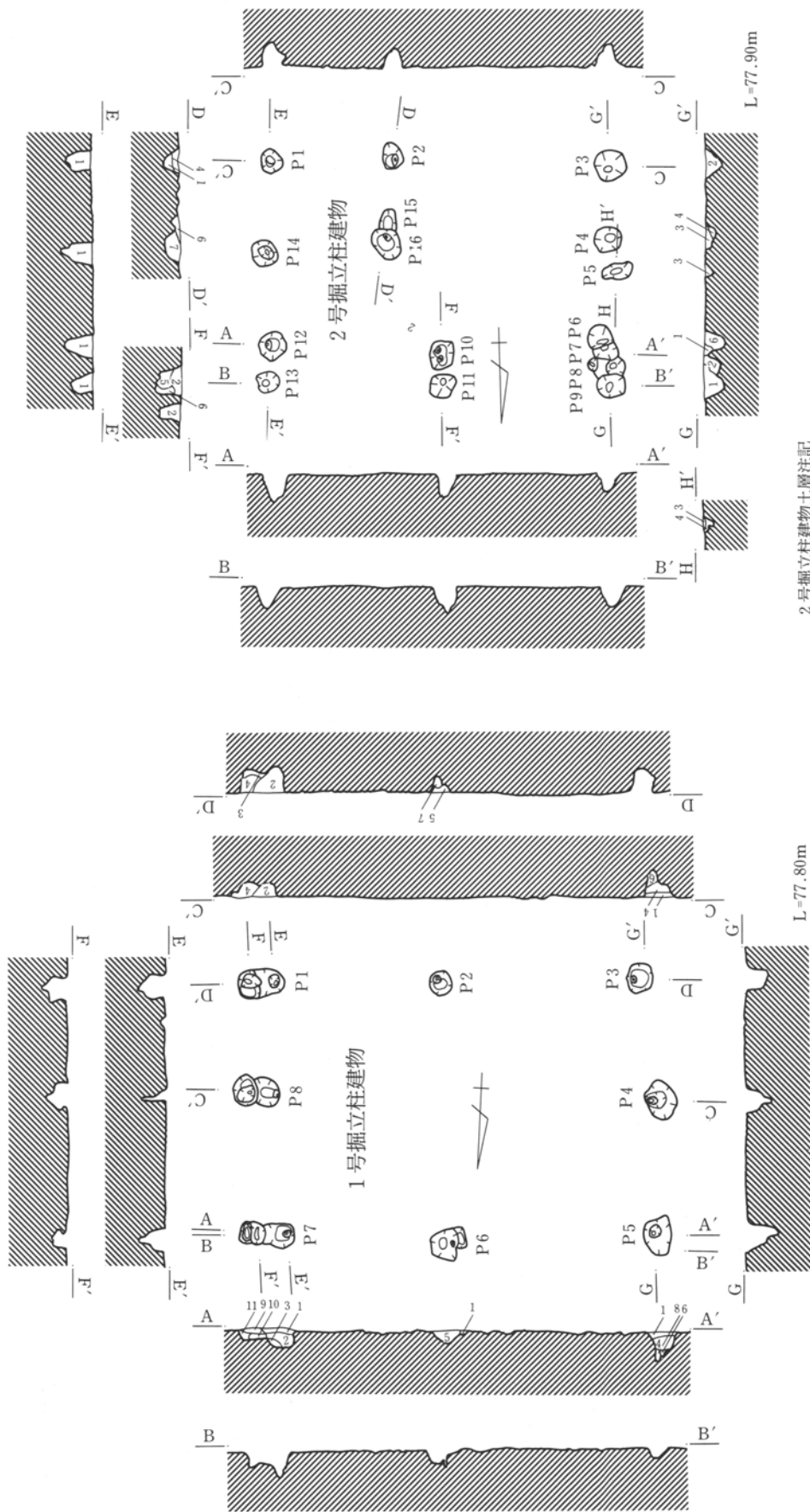
- ① 分布 いずれも調査区中央部（C区東部）に存在する。
- ② 規模 1号は2間×2間で4.72×3.12m（外側は5.06×3.12m）、2号は2間×2間で1面庇（もしくは建て替え）4.24×2.70mである。
- ③ 特徴 1号掘立柱建物は、東側のピット列がいずれも2基重複しており、建て替えた可能性が高く、内側のピット列が新しい。2号掘立柱建物は、北側のピット列が2列になっており重複していないため、庇と考えられるが、建て替えの可能性もある。
- ④ 出土遺物 なし

中世掘立柱建物一覧表

No.	位置 Gr	長辺 m	短辺 m	面積 ㎡	主軸方位	ピット																		
						P 1		P 2	P 3	P 4	P 5	P 6		P 7		P 8								
1	891~895-812~817	4.72 5.06 (外)	3.12 3.12 (外)	14.73 15.79 (外)	N-87°-E	長径cm	33	34(外)	31	37	51	48	44	36	32(外)	37	38(外)							
						短径cm	32	28(外)	28	32	40	33	40	30	27(外)	28	30(外)							
						深さcm	37	31(外)	21	33	33	38	22	32	20(外)	31	26(外)							
2	893~897-823~828	4.24	2.70	11.45	N-87°-W	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11	P 22	P 23	P 14	P 15	P 16			
						長径cm	31	34	42	35	39	32	33	47	36	36	36	36	30	35	25	41		
						短径cm	26	25	41	31	21	29	17	18	29	29	28	34	28	31	21	34		
深さcm	31	24	29	12	10	28	12	21	24	28	32	34	28	40	10	20								



第386図 中世遺構位置図



- 1号掘立柱建物土層注記
- 1 黒褐 (10YR2/3) As-B少量混 粘性弱 しまりやや強
 - 2 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 粘性弱 しまりやや強
 - 3 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 粘性弱 しまりやや強
 - 4 黒褐 (10YR3/2) As-B、暗褐色土ブロック少量混 粘性強 しまりやや強
 - 5 ク多量混 粘性弱 しまりやや強
 - 6 黒褐 (10YR2/3) As-B少量混 粘性弱 しまりやや強
 - 7 黒褐 (10YR2/3) As-B少量混 粘性弱 しまりやや強
 - 8 黒褐 (10YR2/3) As-B少量混 粘性弱 しまりやや強
 - 9 黒褐 (10YR5/6) As-B少量混 粘性、しまり強
 - 10 黒褐 (10YR2/3) As-B少量混 粘性、しまり強
 - 11 黒褐 (10YR2/3) As-B二次堆積層
- 2号掘立柱建物土層注記
- 1 黒 (10YR2/1) As-B少量混 黄褐色土ブロック混 粘性やや強 しまり強
 - 2 黒褐 (7.5YR3/1) As-B微量混 黄褐色土ブロック多量混 粘性、しまり強
 - 3 黒褐 (7.5YR2/1) As-B少量混 黄褐色土ブロック混 粘性やや弱 しまり強
 - 4 黒褐 (10YR2/3) As-B微量混 黄褐色土ブロック混 粘性、しまり強
 - 5 黒褐 (10YR1/3) As-B少量混 褐色土ブロック多量混 粘性、しまり強
 - 6 黒褐 (7.5YR2/1) As-B、褐色土ブロック混 粘性、しまり強
 - 7 黒褐 (7.5YR2/2) As-B混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強

第387図 中世掘立柱建物(1・2号掘立柱建物)

溝

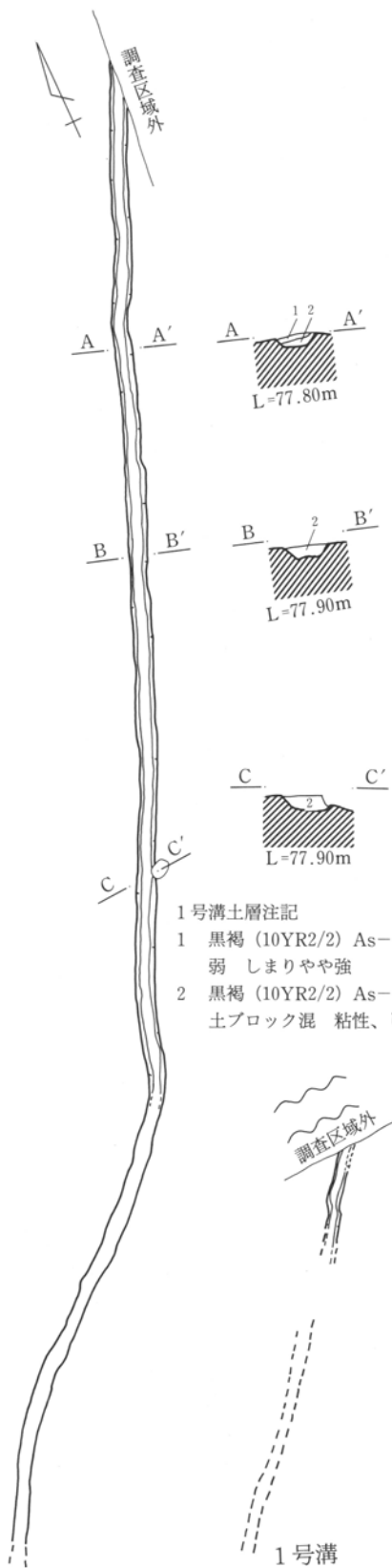
溝は38条検出されている。

- ① 分布 ほぼ全面から検出されている。
- ② 規模 最大幅1.53~0.20m平均0.63m、最小幅1.18~0.10m平均0.36m、深さ25~2cm平均11cmである。
- ③ 機能 As-B混土が広く分布しているため、水田耕作が行われていたと考えられ、水田の用水路になるものが多いと考えられるが、小規模なものも多く、性格不明なものが多い。57~62号溝は、小規模な溝が連続して存在しており、水路等とは考えられず、耕作に伴う何らかの遺構の可能性が考えられる。
- ④ 時期 時期を示す遺物がほとんど出土していないため詳細な時期は不明である。西田遺跡同様As-B混土上面検出の溝とAs-B混土下面(As-B上面)検出の溝があり、As-B混土下面検出のものはAs-B降下に近い時期に作られたと考えられる。

中世溝一覧表

No	位置	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向	備考
1	886~945-743~781	5土坑より古	(73.20)	0.53	0.34	17	N-22° -E N-45° -E N-37° -E	As-B混土下
5	877~884-749~784		[42.70]	0.49	0.16	13	N-3° -W N-81° -W	
6	884~886-750~787		[38.50]	0.58	0.28	4	N-86° -W	
7	891~895-781~785		[4.45]	0.58	0.35	5	N-44° -E	
12	902~903-806~841		34.80	0.65	0.34	23	N-88° -W	As-B混土上
14	886-803~839		36.60	0.80	0.30	17	N-90°	As-B混土下
15	887~890-804~822	19溝より新	28.00	0.50	0.30	8	N-86° -W N-5° -E	As-B混土下
16	898~900-804~841	17溝より古	36.40	0.50	0.20	14	N-88° -W	As-B混土下
17	889~901-810~841	16溝より新	30.40	0.35	0.15	16	N-87° -W	As-B混土下
18	917~918-816~817		1.35	0.35	-	6	N-1° -E	As-B混土下
19	886~887-818~839	14溝より古	22.00	0.45	0.15	8	N-88° -W	As-B混土下
20	896~897-826~828		2.25	0.50	-	8	N-88° -E	As-B混土下
46	900-858~863		[4.30]	0.50	0.30	4	N-78° -W	As-B混土上
47	895~896-878~879	66溝より新	[1.60]	0.30	0.25	6	N-75° -E	As-B混土上
48	876~887-880~881	50溝と同	[9.70]	0.70	0.25	4	N-90°	As-B混土上
49	877~891	49溝より古	[13.10]	0.30	0.10	6	N-2° -E	As-B混土上
50	886~887-874~882	48溝と同, 49・66溝より新	[7.3]	0.20	0.10	4	N-2° -W	As-B混土上
52	931~933-865~872	165ピット	6.72	1.12	0.86	17	N-80° -E	As-B混土下
53	930~932-874~878		3.32	1.30	1.18	22	N-83° -E	As-B混土下
56	909~916-858~875	57溝	29.43	1.53	0.54	14	N-15° -W N-82° -E	As-B混土下
57	916~919-857~858	56溝	3.60	0.80	0.52	14	N-1° -W	As-B混土下
58	912~914-858~859		1.76	0.60	0.41	11	N-22° -E	耕作に伴う遺構か 埋没土は同様で同時期に存在した可能性が高い
59	904~907-859		2.30	0.57	0.39	12	N-3° -W	
60	899~903-858		3.91	0.49	0.29	3	N-5° -W	
61	891~898-856~858		7.10	0.80	0.48	8	N-11° -W	
62	883~890-855~856		6.30	0.54	0.45	7	N-9° -W	
63	908~910-844~867	26土坑より新	22.12	0.40	0.20	6	N-85° -E	As-B混土下
64	901~902-871~872		2.00	0.71	0.31	20	N-47° -W	As-B混土下
65	900~903-875~876		3.26	0.46	0.40	25	N-9° -E	As-B混土下
66	888~907-876~883	47・50溝より古, 75溝より新	23.00	0.76	0.61	12	N-5° -W N-61° -W	As-B混土下
67	901~909-854~856		9.02	0.62	0.18	7	N-8° -W	As-B混土下
68	909~912-842~843		29.10	0.50	0.30	10	N-3° -W	As-B混土下
69	917~933-842~845	70溝より古	[17.15]	0.83	0.60	15	N-7° -W	As-B混土下
70	929~936-843~845	69溝より新	[7.1]	1.14	0.56	17	N-15° -W	As-B混土下
71	929~936-842~845	72溝より古	[6.95]	0.84	0.23	7	N-15° -W N-26° -W	As-B混土下
72	934~935-836~843	71溝より新	7.20	0.52	0.38	8	N-88° -W	As-B混土下
74	904~906-870~876		[6.70]	[1.36]	[0.55]	10	N-89° -W	As-B混土下
75	894~899-868~881	66溝より古	[12.70]	0.48	0.21	2	N-79° -E N-69° -E	As-B混土下

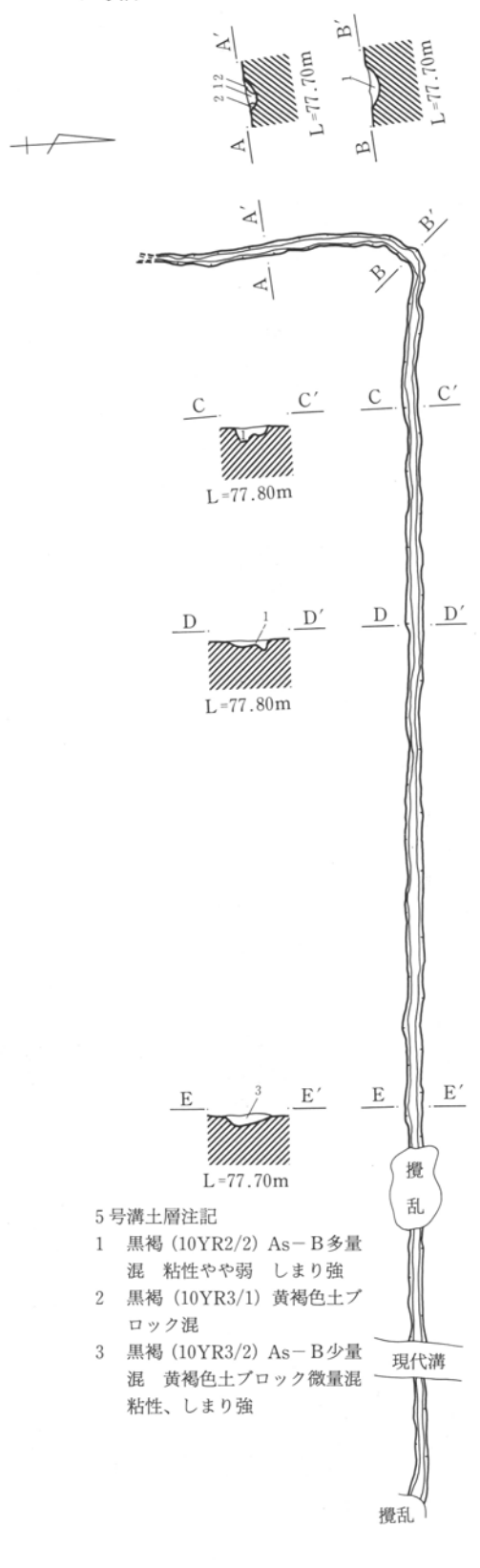
1号溝



1号溝土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B極多量混 粘性弱 しまりやや強
- 2 黒褐 (10YR2/2) As-B多量混 黄褐色土ブロック混 粘性、しまりやや弱

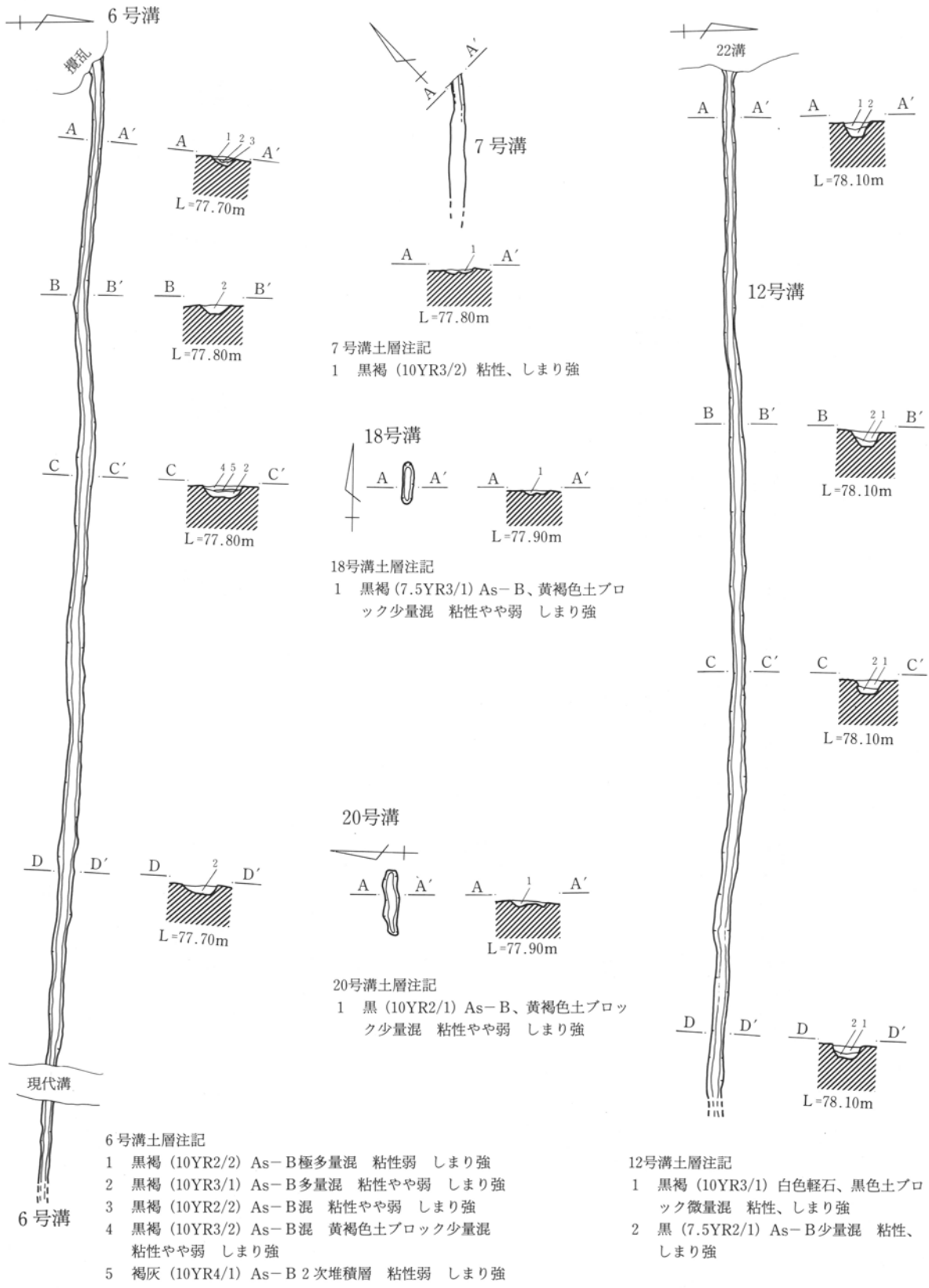
5号溝



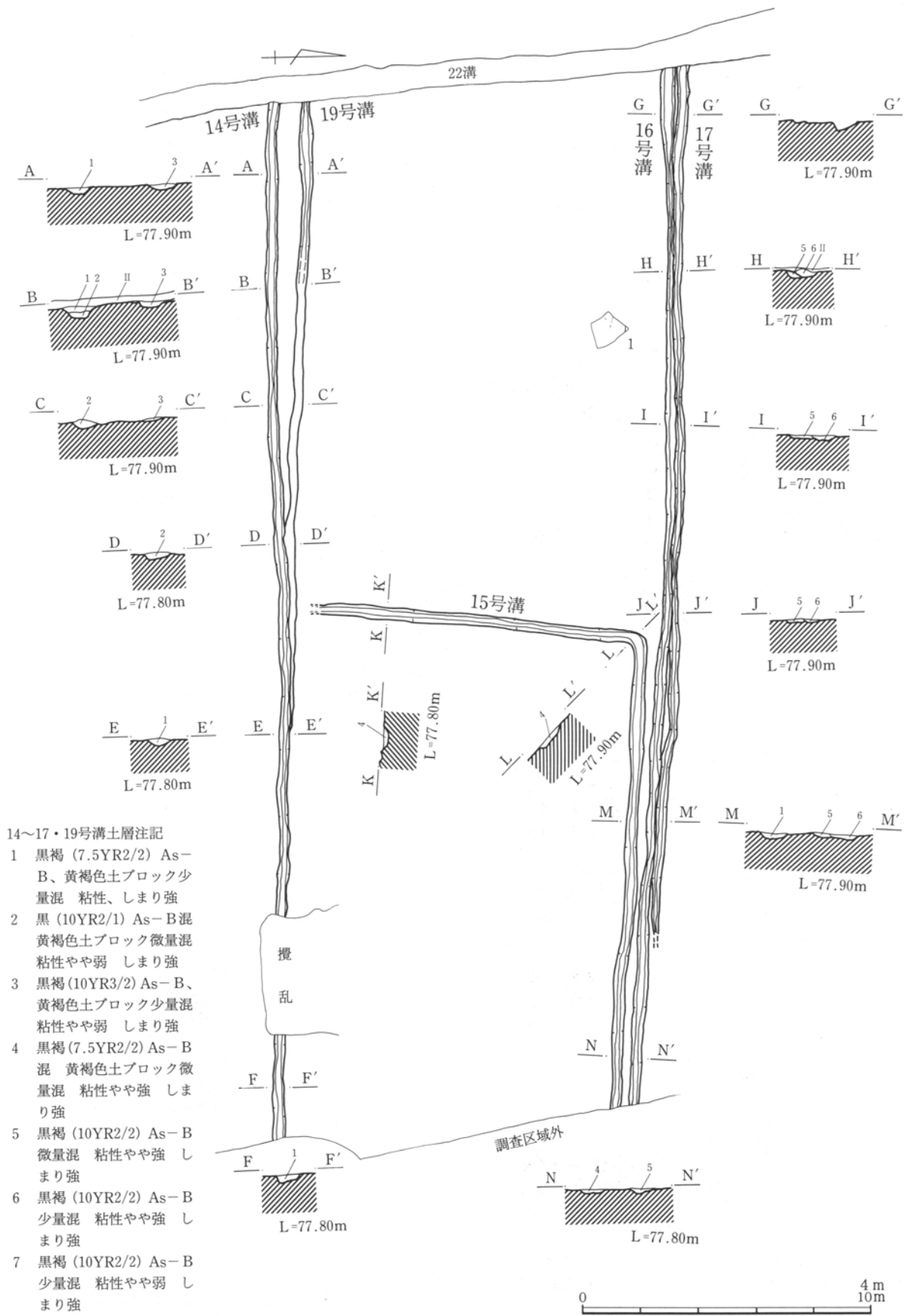
5号溝土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B多量混 粘性やや弱 しまり強
- 2 黒褐 (10YR3/1) 黄褐色土ブロック混
- 3 黒褐 (10YR3/2) As-B少量混 黄褐色土ブロック微量混 粘性、しまり強

第388図 中世溝 1 (1・5号溝)



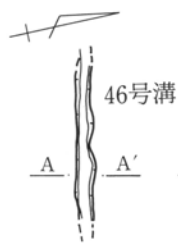
第389図 中世溝 2 (6・7・12・18・20号溝)



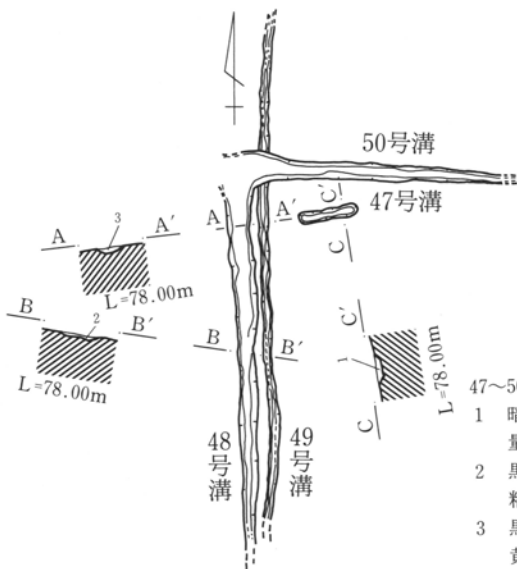
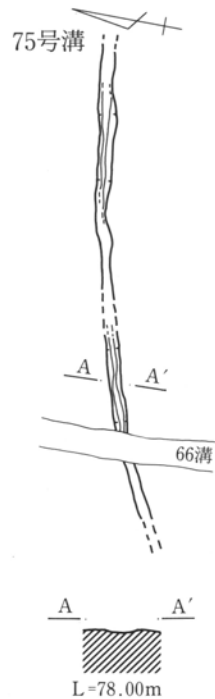
14~17・19号溝土層注記

- 1 黒褐 (7.5YR2/2) As-B、黄褐色土ブロック少量混 粘性、しまり強
- 2 黒 (10YR2/1) As-B混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや弱 しまり強
- 3 黒褐 (10YR3/2) As-B、黄褐色土ブロック少量混 粘性やや弱 しまり強
- 4 黒褐 (7.5YR2/2) As-B混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強
- 5 黒褐 (10YR2/2) As-B微量混 粘性やや強 しまり強
- 6 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 粘性やや強 しまり強
- 7 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 粘性やや弱 しまり強

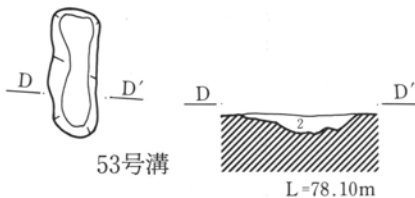
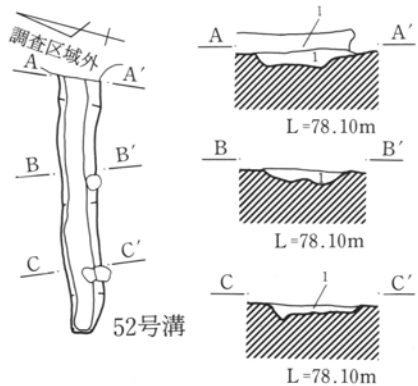
第390図 中世溝3 (14~17・19号溝)



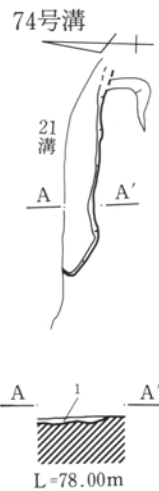
46号溝土層注記
 1 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強



47~50号溝土層注記
 1 暗褐 (7.5YR3/3) As-B少量混 粘性やや強
 2 黒褐 (10YR3/2) As-B混 粘性やや強 しまり強
 3 黒褐 (10YR3/2) As-B、黄褐色土ブロック混 粘性やや強 しまり強



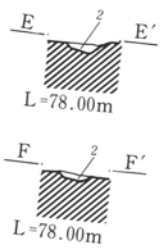
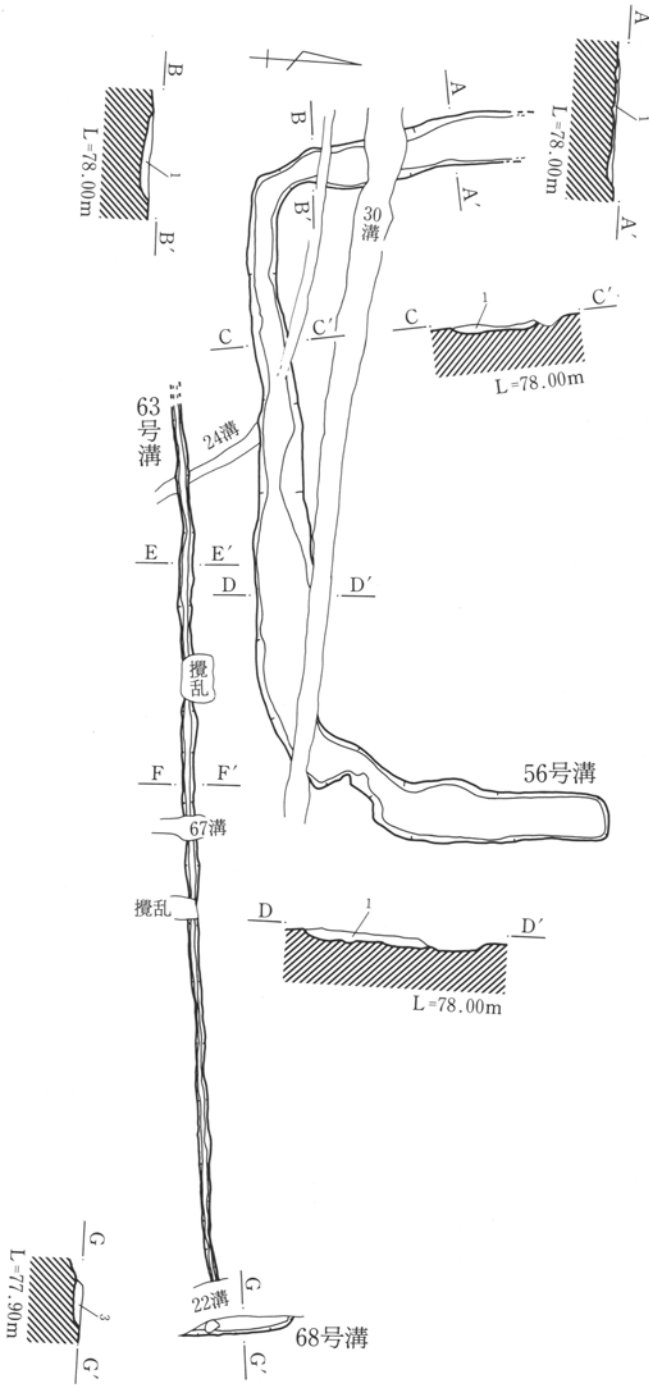
52・53号溝土層注記
 1 黒褐 (10YR2/2) As-B混 粘性やや強 しまり強
 2 黒褐 (10YR3/2) As-B、シルト粒子少量混 粘性やや強 しまり強



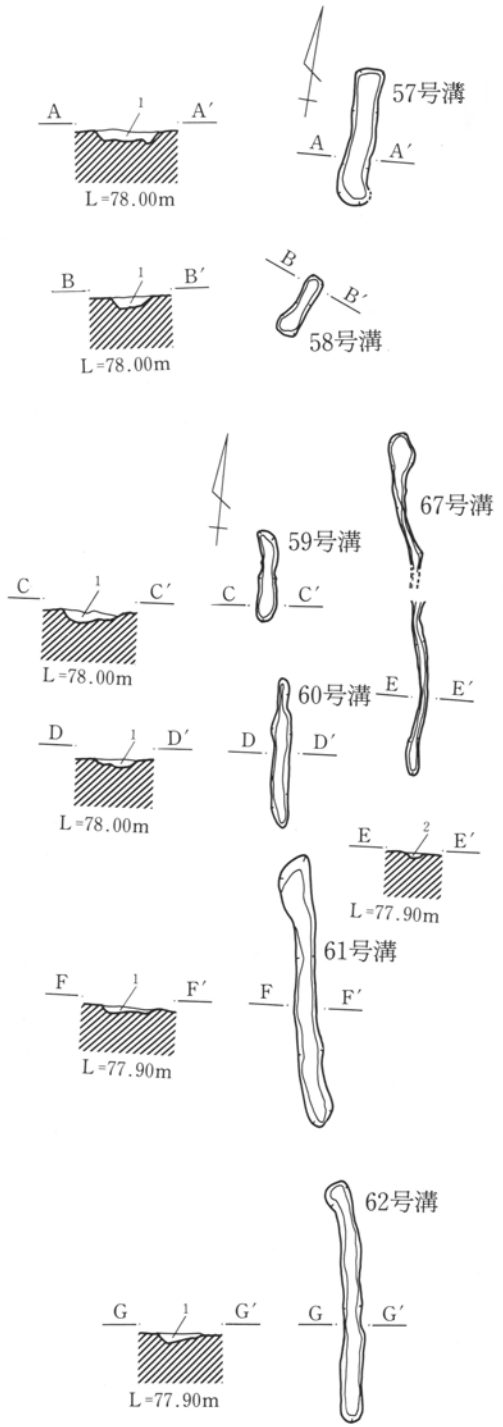
74号溝土層注記
 1 黒褐 (10YR3/1) As-B混 黄褐色土ブロック少量混 粘性、しまり強



第391図 中世溝4 (46~50・52・53・74・75号溝)



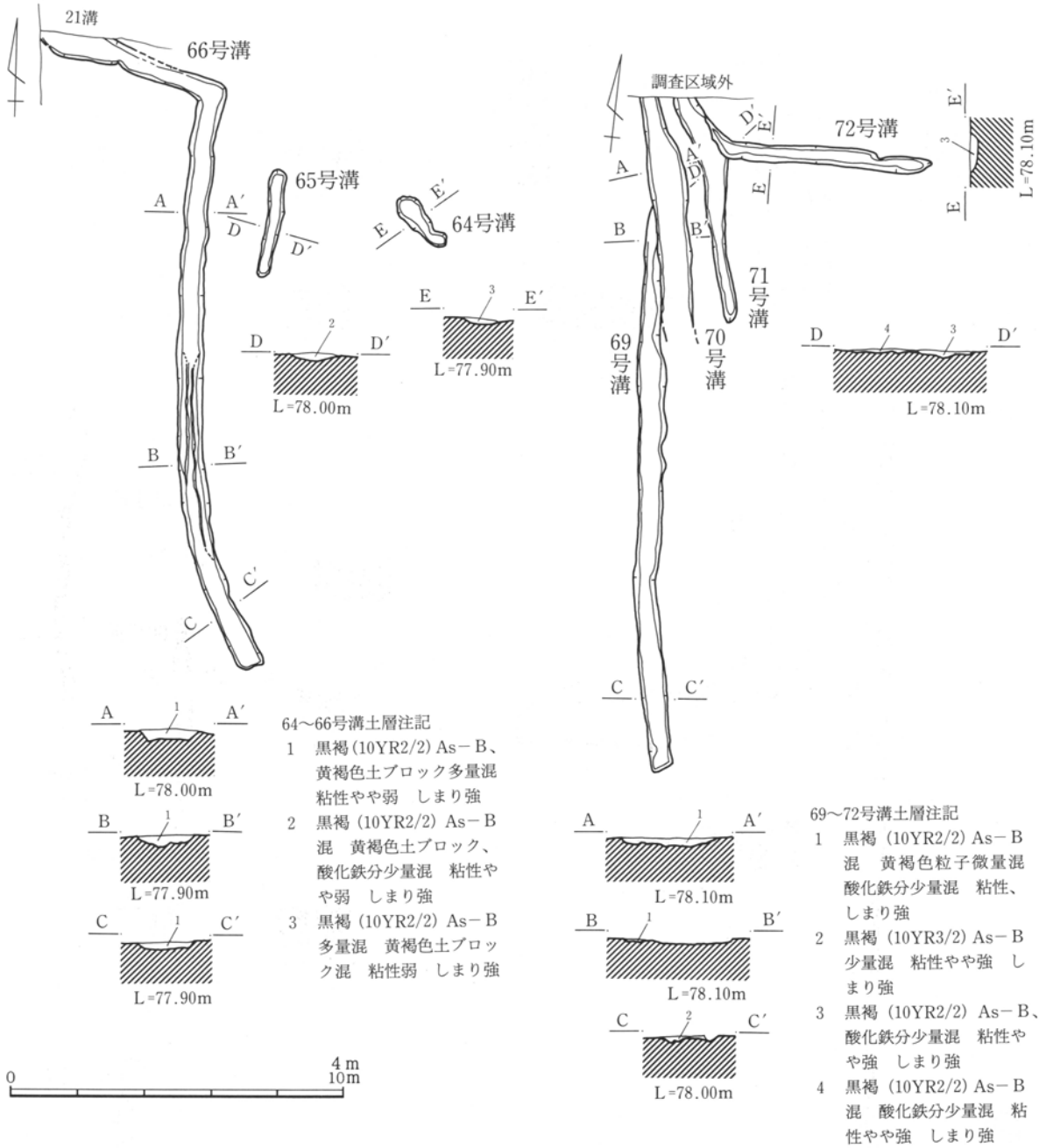
- 56・63・68号溝土層注記
- 1 黒褐 (10YR2/2) 粘性やや強 しまり強
 - 2 黒褐 (10YR2/2) As-B 酸化鉄分少量混 粘性やや強 しまり強
 - 3 黒褐 (10YR3/1) As-B少量混 粘性やや強 しまり強



- 57~62・67号溝土層注記
- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B、黄褐色土ブロック混 粘性やや弱 しまり強
 - 2 黒褐 (10YR2/2) As-B混 黄褐色土ブロック少量混 粘性やや強 しまり強



第392図 中世溝 5 (56・63・68・57~62・67号溝)



第393図 中世溝 6 (64~66・69~72号溝)

土坑

土坑は18基検出されている。

① 分布 調査区東部（A区東部）と調査区西部（C区）で検出されている。

② 形態 平面形態、断面形態とも2類に分類できる。

平面形態 A 円形のもの（短軸：長軸1：1.2未満のもの）

B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）

C 隅丸長方形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）

C 不正形のもの

断面形態 a 底部が平らなもの

b 底部が丸みを帯びるもの

c 不正形のもの

平面形態は、楕円形が13基と圧倒的に多く、断面形態は底部が平らなものが12基と圧倒的に多くなっている。

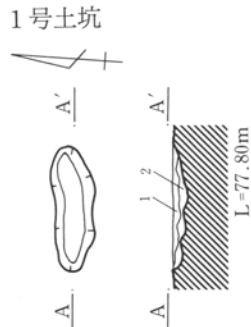
③ 規模 長径2.86～0.55m平均1.71m、短径1.24～0.28m平均0.76mで長径と短径の比は平均約2.3である。深さは55～2cm平均29cmで、面積は3.88～0.19m²平均2.04m²である。

④ 主軸方位 南北のものと東西のものに大きく分けられるが、東西のものが11基と多くなっている。

⑤ 出土遺物 なし

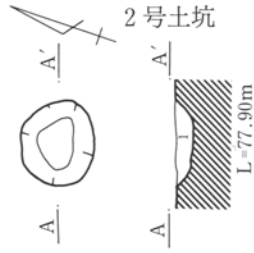
中世土坑一覧表

No	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	短径/ 長径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
1	908-764~765		B	c	1.32	0.39	3.38	16	0.49	N-83°-W	
2	937~938-755~756		A	a	0.93	0.79	1.18	18	0.57	N-75°-W	
3	907~908-755~756		B	a	0.92	0.56	1.64	15	0.42	N-86°-W	
4	918~919-754~755		B	a	1.32	0.64	2.06	16	0.74	N-67°-E	
5	923~924-750~751	1溝より新	B	c	0.55	0.44	1.25	22	0.19	N-58°-E	
10	885-803~804		B	b	1.14	0.87	1.31	29	0.77	N-21°-W	
11	894~895-806		B	a	1.64	0.97	1.69	55	1.37	N-1°-E	
12	918~919-816~817		B	a	0.90	0.64	1.41	31	0.47	N-86°-E	
13	883~885-818~819		B	c	1.86	0.74	2.51	22	1.26	N-5°-W	
14	897~898-824~825		A	b	1.36	1.24	1.10	23	1.45	N-14°-W	
15	908~909-827~828		B	a	1.20	0.35	3.43	6	0.39	N-59°-E	
16	919-851~852		D	c	1.70	0.52	3.27	2	0.65	N-75°-W	
20	887~888-847~848		B	a	1.02	0.60	1.70	20	0.52	N-23°-W	
21	884~886-856~857		B	a	1.76	0.69	2.55	8	0.87	N-4°-W	
23	899~900-874~875		B	a	1.17	0.47	2.49	22	0.54	N-25°-W	
24	902-874~875		B	a	0.87	0.28	3.11	10	0.26	N-88°-E	
25	915~916-862~863		C	a	1.00	0.72	1.39	4	0.70	N-80°-E	
26	906~908-865~867	63溝より古	D	a	2.86	[1.50]		4	3.88	N-74°-E	



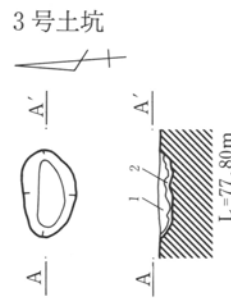
1号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B極多量混 黄褐色土ブロック混 粘性弱 しまりやや弱
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-B極多量混 粘性弱 しまりやや弱



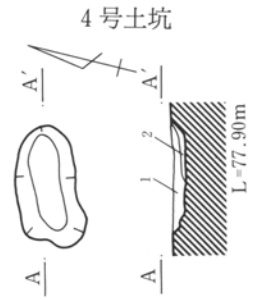
2号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-B極多量混 粘性、しまり弱



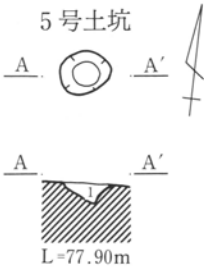
3号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B極多量混 黄褐色土ブロック混 粘性弱 しまりやや弱
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-B極多量混 粘性弱 しまりやや弱



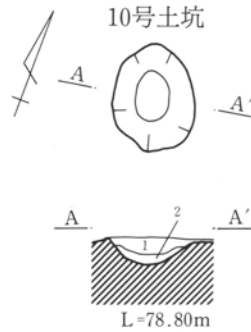
4号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B極多量混 黄褐色土ブロック混 粘性弱 しまりやや弱
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-B極多量混 粘性弱 しまりやや弱



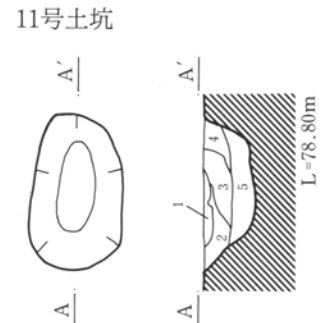
5号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-B少量混 粘性弱 しまりやや弱



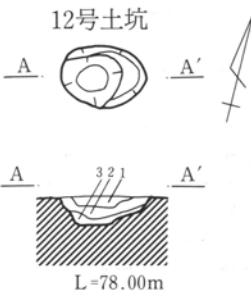
10号土坑土層注記

- 1 黒褐 (7.5YR2/2) As-B少量混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強
- 2 黒褐 (7.5YR3/2) As-B少量混 粘性やや弱 しまり強



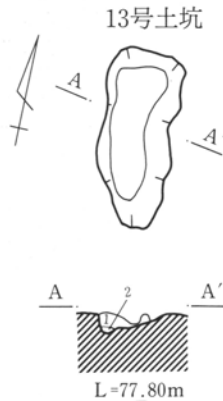
11号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/3) As-B混 黄褐色土黒色土ブロック少量混 粘性やや弱 しまり強
- 2 黒 (7.5YR2/1) As-B、シルトブロック微量混 粘性やや強 しまり強
- 3 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 シルトブロック多量混 黒色土ブロック微量混 粘性、しまり強
- 4 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 シルトブロック混 黒色土ブロック微量混 粘性、しまり強
- 5 黒褐 (10YR2/2) As-B、シルトブロック微量混 粘性強 しまりやや強



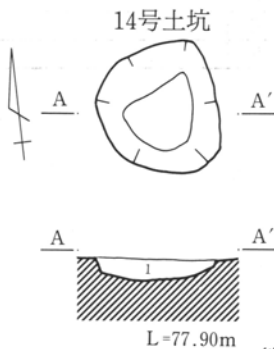
12号土坑土層注記

- 1 黒 (10YR2/1) As-B、黄褐色土ブロック少量混 粘性やや強 しまり強
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-B極多量混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや弱 しまり強
- 3 黒 (10YR2/1) As-B少量混 黄褐色土ブロック混



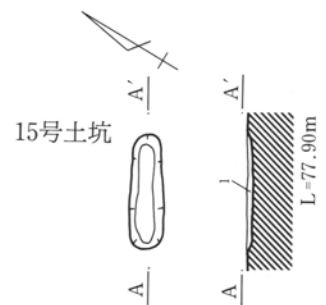
13号土坑土層注記

- 1 黒 (10YR2/1) As-B少量混 黄褐色土ブロック混 粘性、しまり強
- 2 黒 (7.5YR2/1) As-B少量混 黄褐色土ブロック微量混 粘性やや強 しまり強



14号土坑土層注記

- 1 黒褐 (7.5YR2/2) As-B、黄褐色土ブロック少量混

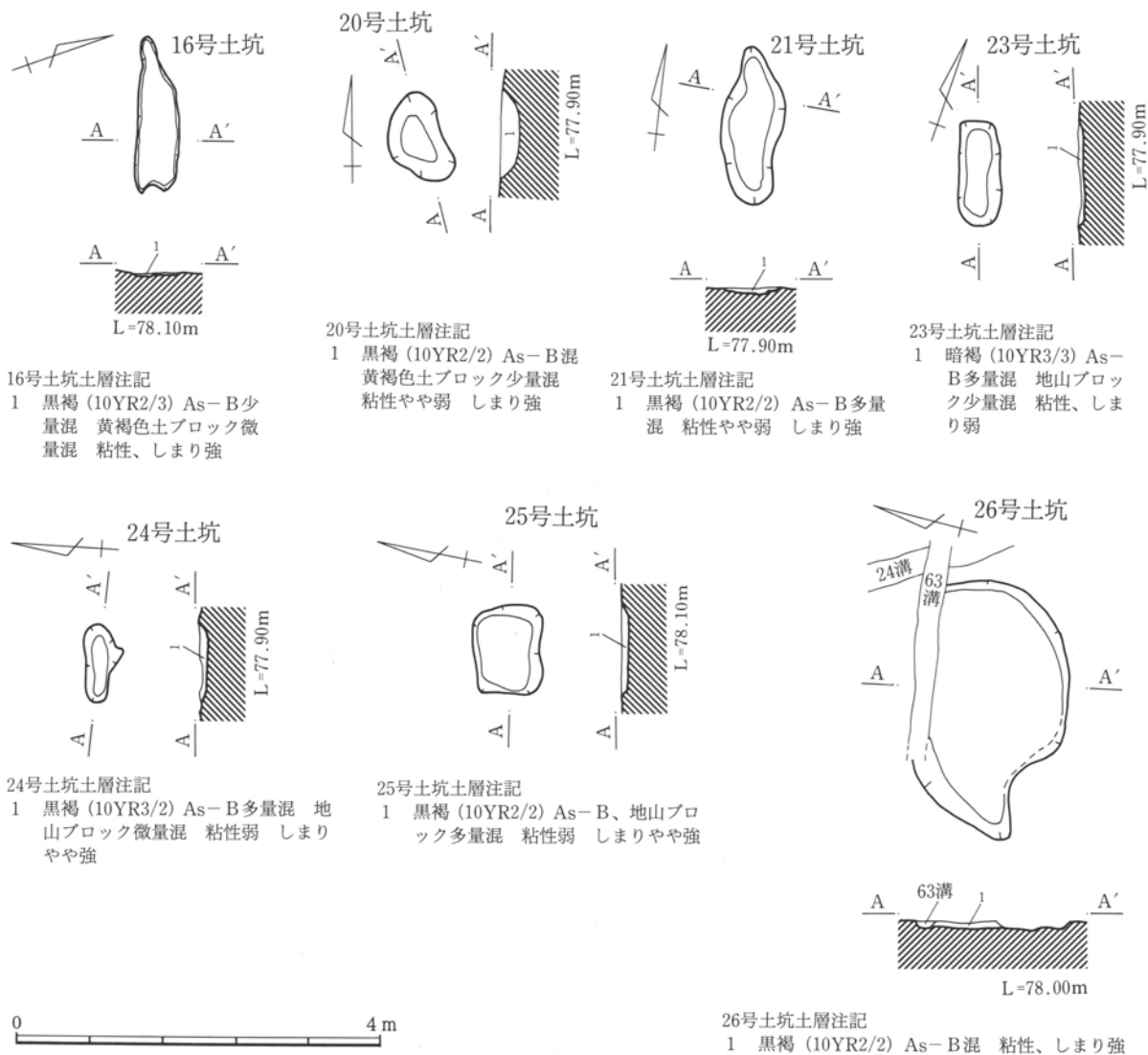


15号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B少量混 粘性やや強 しまり強

第394図 中世土坑 1 (1~5・10~15号土坑)





第395図 中世土坑 2 (16・20～26号土坑)

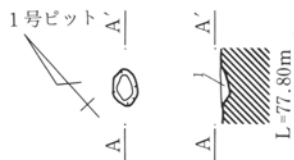
ピット

ピットは32基検出されている。

- ① 分布 調査区ほぼ全面から検出されているが、A区中央から西部にかけては検出されていない。
- ② 規模 長径74～24cm平均41cm短径65～19cm平均32cm深さ35～6cm平均16cmである。
- ③ 特徴 性格は不明のものがほとんどである。遺物は出土していない。

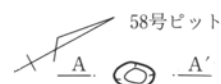
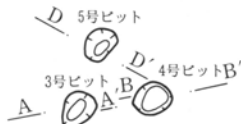
中世ピット一覧表 (1)

No	位置	Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置	Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
1	910-763			38	26	8	61	879-880-769			28	25	29
2	924-755			54	42	20	62	878-879-769			31	25	35
3	927-928-753-754			44	33	13	63	878-769-770			28	21	27
4	927-928-753			42	34	14	64	877-769			24	23	17
5	928-753-754			38	28	14	68	878-765			28	23	28
52	878-778-779			74	65	21	69	877-765			24	23	24
58	890-891-767			42	35	11	70	880-761			30	24	29
59	887-764-765			60	47	12	71	875-761			27	19	19



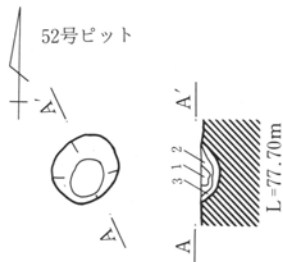
1号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B極多量混 黄褐色土ブロック混 粘性弱 しまりやや弱



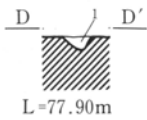
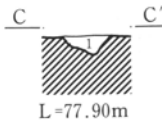
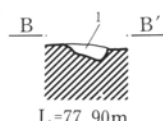
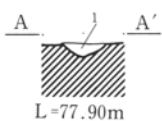
58号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B多量混 黄褐色土ブロック少量混 粘性、しまり弱



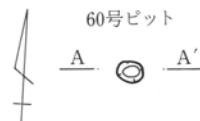
52号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B混 粘性弱 しまり強
- 2 黒褐 (10YR3/2) As-B、黄褐色土ブロック多量混 粘性弱 しまりやや強
- 3 黒褐 (10YR3/2) As-B極多量混 粘性弱 しまりやや弱



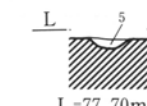
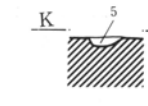
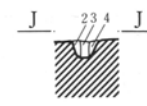
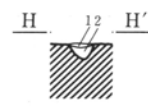
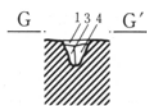
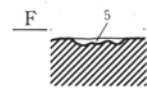
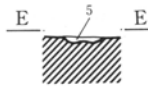
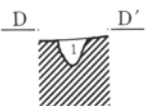
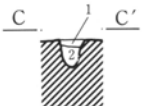
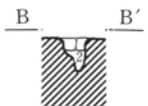
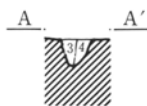
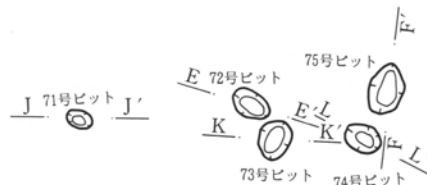
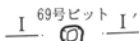
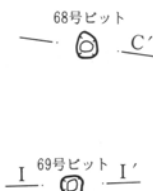
2～5号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B極多量混 黄褐色土ブロック混 粘性弱 しまりやや弱



60号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-B多量混 粘性、しまり弱
- 2 黒褐 (10YR2/2) As-B、黄褐色土ブロック多量混 粘性、しまり弱



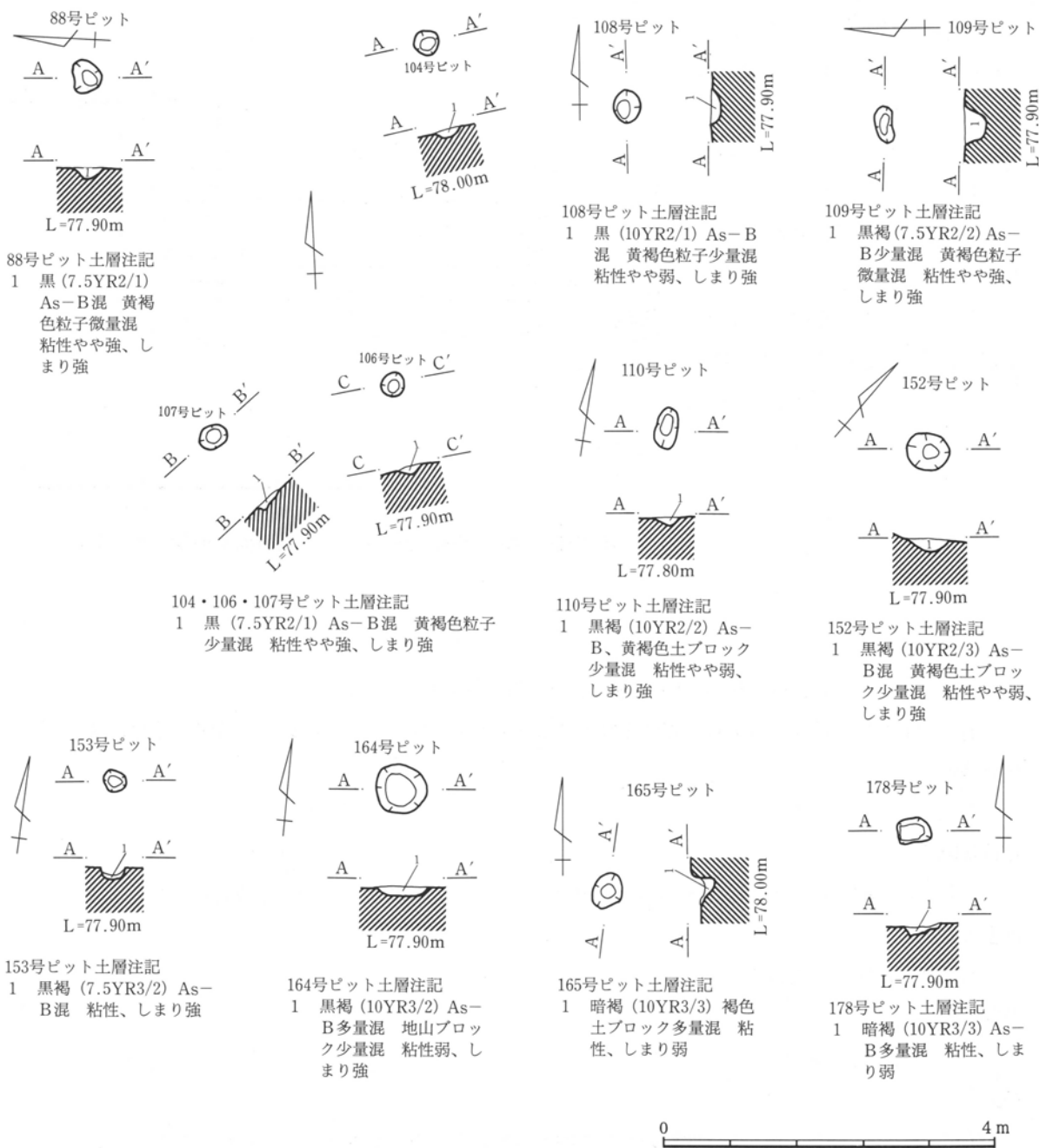
61～64・68～75号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/1) As-B多量混 粘性弱 しまりやや強
- 2 黒褐 (10YR3/1) As-B少量混 粘性、しまり弱
- 3 黒褐 (10YR3/1) As-B、粘質土ブロック少量混 粘性、しまり弱

- 4 黒褐 (10YR3/1) As-B微量混 粘性、しまり強 粘質土
- 5 黒褐 (10YR3/1) As-B、地山ブロック多量混 粘性、しまりやや強



第396図 中世ピット1 (1～5・58・60～64・68～75号ピット)



第397図 中世ピット 2 (88・104・106～110・152・153・164・165・178号ピット)

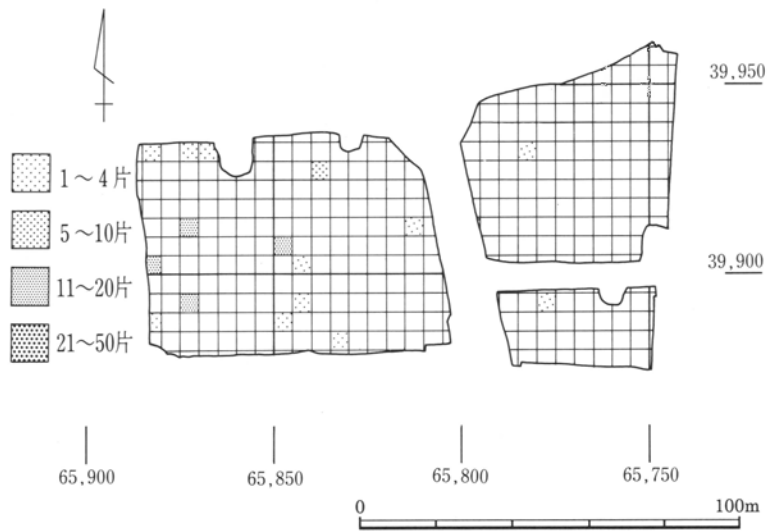
中世ピット一覧表 (2)

No	位置	Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置	Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
72	879-759~700			42	28	6	108	913~914-832			39	35	12
73	878-759			42	32	11	109	910-818~819			45	20	24
74	878-758			40	29	11	110	891-818			50	26	10
75	879-758			55	36	6	152	902~903-868			52	42	17
88	899-831			42	36	14	153	895-858			30	26	12
104	922-821			32	30	9	164	901-878~880			61	60	11
106	918-821			32	28	11	165	932-870		52溝と重複	46	37	28
107	917-823~824			35	29	8	178	919-884			42	32	10

(3) 遺構外遺物出土状況

基本土層で中世にあたる、As-B混土～As-B下面までの間からも遺物が出土している。分布図を見ると調査区西部（C区西部）から多く出土しており、A・B区では少量の出土となっている。

遺構外出土の中世遺物は、図示した遺物以外は小破片で近世の遺物と区別がつかないため、近世の遺物に含めた。



第398図 As-B混土～As-B下面遺構外遺物出土分布図

(4) 遺物

中世の遺物としては、軟質陶器、舶載陶磁器、石製品、銅銭等である。

土器・陶磁器は、破片では近世の遺物と判別できないため、図示したもの以外は近世の遺物に含めた。

軟質陶器

鍋1点が出土している。

舶載陶磁器

青磁碗3点・碗あるいは皿1点・不明1点が出土している。いずれも中国産と考えられる。

国産陶器

捏ね鉢2点が出土している。

石製品

砥石が1点出土している。

銅銭

遺構外出土のもので中世以前に初鑄のものを中世のものとした。熙寧元寶1点が出土している。

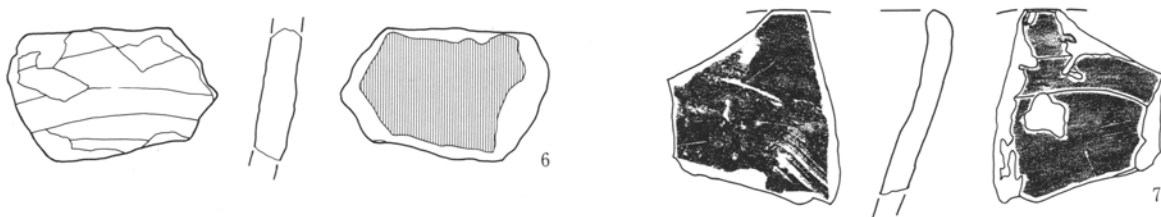
磁器 I-A



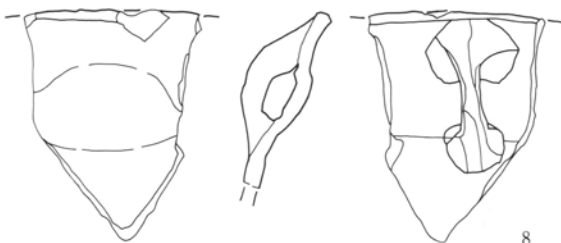
磁器 V



陶器 VII-A



軟質陶器 I



砥石



銅錢



第399図 中世出土遺物 1 陶器 磁器 軟質陶器 砥石 銅錢

No	種別	出土位置	口径	色調表	色調裏	焼成		調整	分類	備考
	器種	残存率	底径			胎	土			
1	青磁	16号溝		緑灰 7.5GY 6/1	緑灰 7.5GY 6/1	良好	蓮弁文	I A	中国産、中世	
	碗	体部破片	[3.4]			細				
2	青磁	21号溝		緑灰 10G6/1	緑灰 10G6/1	良好	蓮弁文	I A	中国産、中世	
	碗	口縁部破片	[3.2]			細				
3	青磁	As-B下		緑灰 7.5GY 6/1	緑灰 7.5GY 6/1	良好	文様不明	I A	中国産、中世	
	碗	口縁部破片	[2.2]			細				
4	青磁	22号溝		灰白 7.5Y7/1	灰オリーブ 7.5GY 6/1	良好	ロクロ調整	I A	中国産、中世	
	碗か皿	底部	5.4 [1.4]			細				
5	青磁	41号溝		明緑灰 10GY8/1	明緑灰 10GY8/1	良好	ロクロ調整 横縞状の文あり	V	中国産、中世	
	不明	口縁部破片	[4.0]			細				
6	陶器	30号溝		灰白 10Y8/1	灰白 10Y8/1	還元焰良好	ロクロ調整 内面人為的に磨滅	VIII A		
	捏ね鉢	体部破片	[5.1]			中 細砂・粗砂を中量含む				
7	陶器	As-B混土		灰 7.5Y5/1	灰 7.5Y5/1	還元焰良好	ロクロ調整 内面人為的に磨滅	VIII A		
	捏ね鉢	口縁部破片	[7.7]			中				
8	軟質陶器	21号溝		明灰黄 2.5Y5/2	灰 7.5Y4/1	還元焰良好	ロクロ調整 内耳貼り付け	I		
	内耳鍋	口縁部破片	[9.2]			中 細砂・粗砂を中量含む				

中世石製品観察表

No	種別 器種	出土位置	全長 厚さ	幅 重量	残存率	石材	特徴	分類	備考
9	砥石	中世面	[3.9] 1.8	3.3 29.13g	破片	砥沢石	使用面剥落著しい 3面使用		

中世銅銭観察表

No	種別	銭貨名	出土位置	径	孔	厚さ	重量	残存率	特徴	分類	備考
10	銅銭	熙寧元寶	中世面	2.3	0.59			完形			

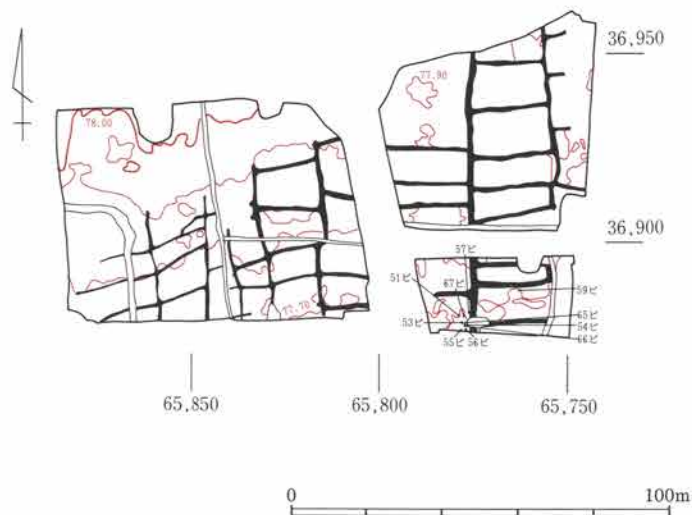
第3節 平安時代末期

(1) 概要

天仁元年(1108年)降下とされる浅間Bテフラ(As-B)直下の面が調査区全面で検出されているため、この面の遺構を1時期にまとめて掲載する。

遺構は、水田55枚、ピット11基等が検出されている。水田は調査区ほぼ全面から検出されている。ピットはB区に集中している。

遺物は西田遺跡同様遺構に伴うと考えられるものは出土しておらず、他に時期の判明する遺物もなかったため取り上げていない。



第400図 平安末期遺構位置図

(2) 遺構

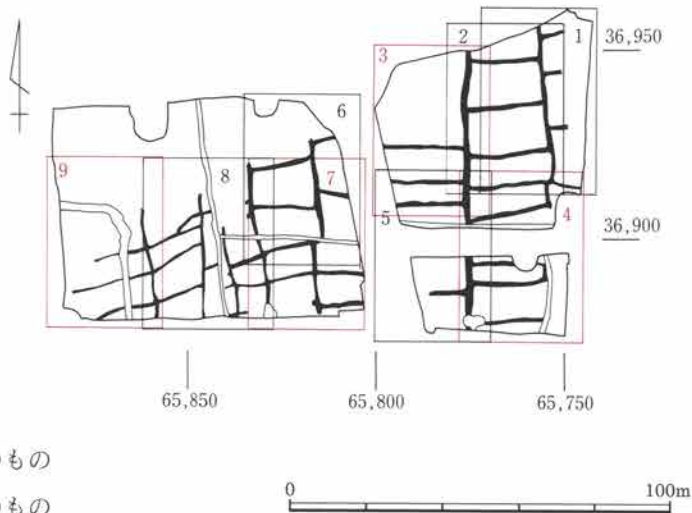
水田

水田は55枚検出されているが、全景の判明するものは11枚で他は調査区境界等で全面調査できなかった。

- ① 分布 調査区全面から検出されているが、調査区北西部(C区北西部)では後世の削平のため検出されなかった。
- ② 平面形態 西田遺跡同様、平面形の判明した(不確実なものも含む)20枚について、以下の6形態に分類した。

- A 長方形(短軸:長軸が1:1.2以上)のもの
- B 正方形(短軸:長軸が1:1.2未満)のもの
- C 1辺が斜めに走る台形のもの
- D 2辺が平行に斜めに走る平行四辺形のもの
- E 2辺が逆向きに斜めに走る台形のもの
- F 不正形のもの

- ③ 規模 全面調査した水田で見ると、長軸が、22.4~6.4m平均14.2m、短軸が、11.5~2.4m平均6.7m、長軸と短軸の比は、4.5~1.2平均2.3となっており、東西に長い長方形が多くなっている。面積は235.6~13.9m²と差が大きく、平均は91.2m²である。
- ④ 主軸方位 水田自体の主軸方位は長軸方向とし、短辺の中点を結んだ線の北に近い方を主軸とした。主軸が南北のものと東西のものとの比は9:44で、東西のほうが圧倒的に多くなっている。
- ⑤ 畦畔 畦畔は、幅が2.2~0.3mであるが、No 8~17の西畦畔は最大2.2m最小1.2mと他の畦畔より規模が大きく、大畦畔となっていたと考えられる。後世の耕作により上部をほとんど削平されているため、



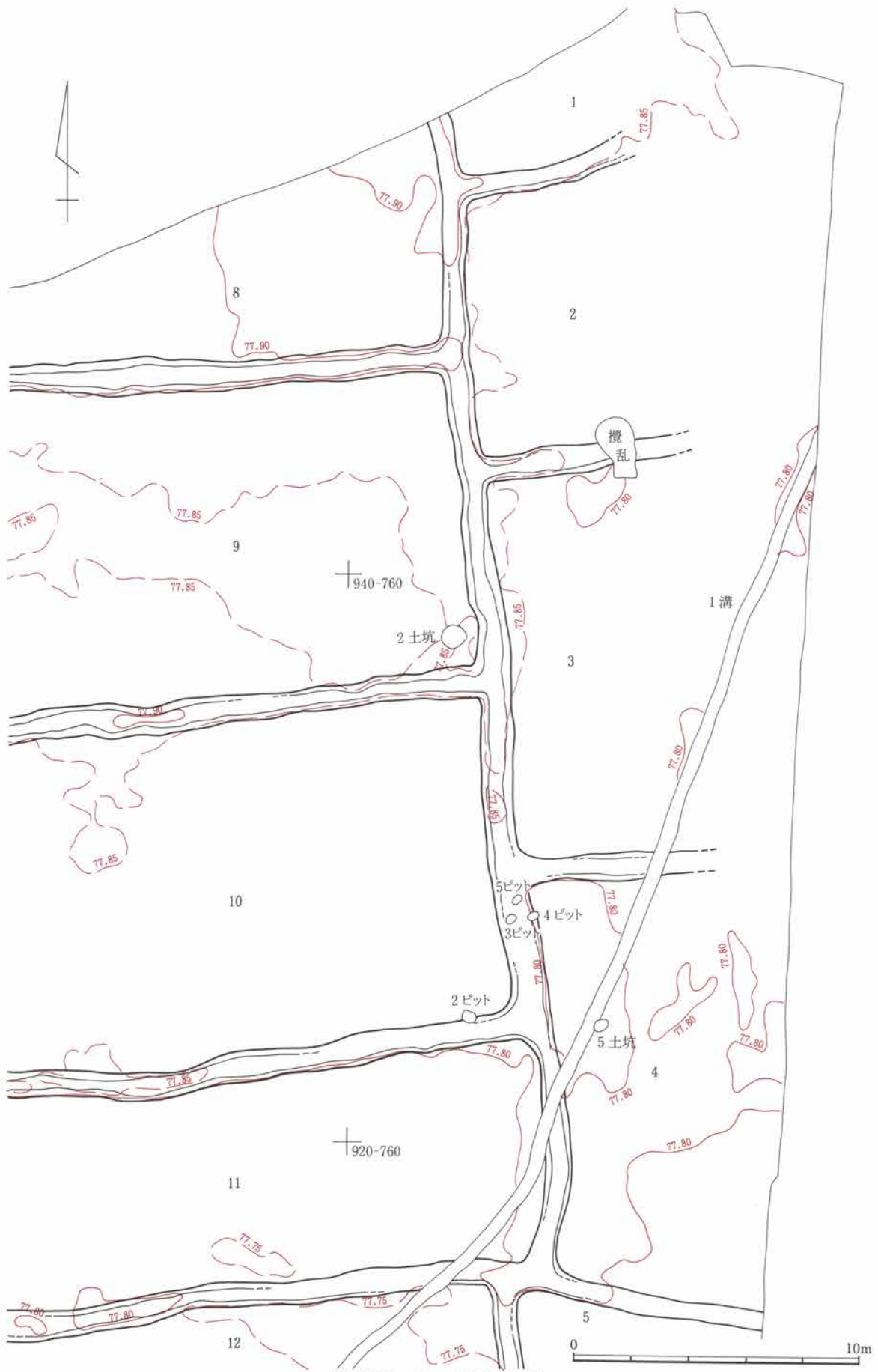
第401図 As-B下水田平面図割付図

上部は残存しておらず、畦畔最高部と水田面の高低差が最大でも17cmで、平均約9cmとなっている。

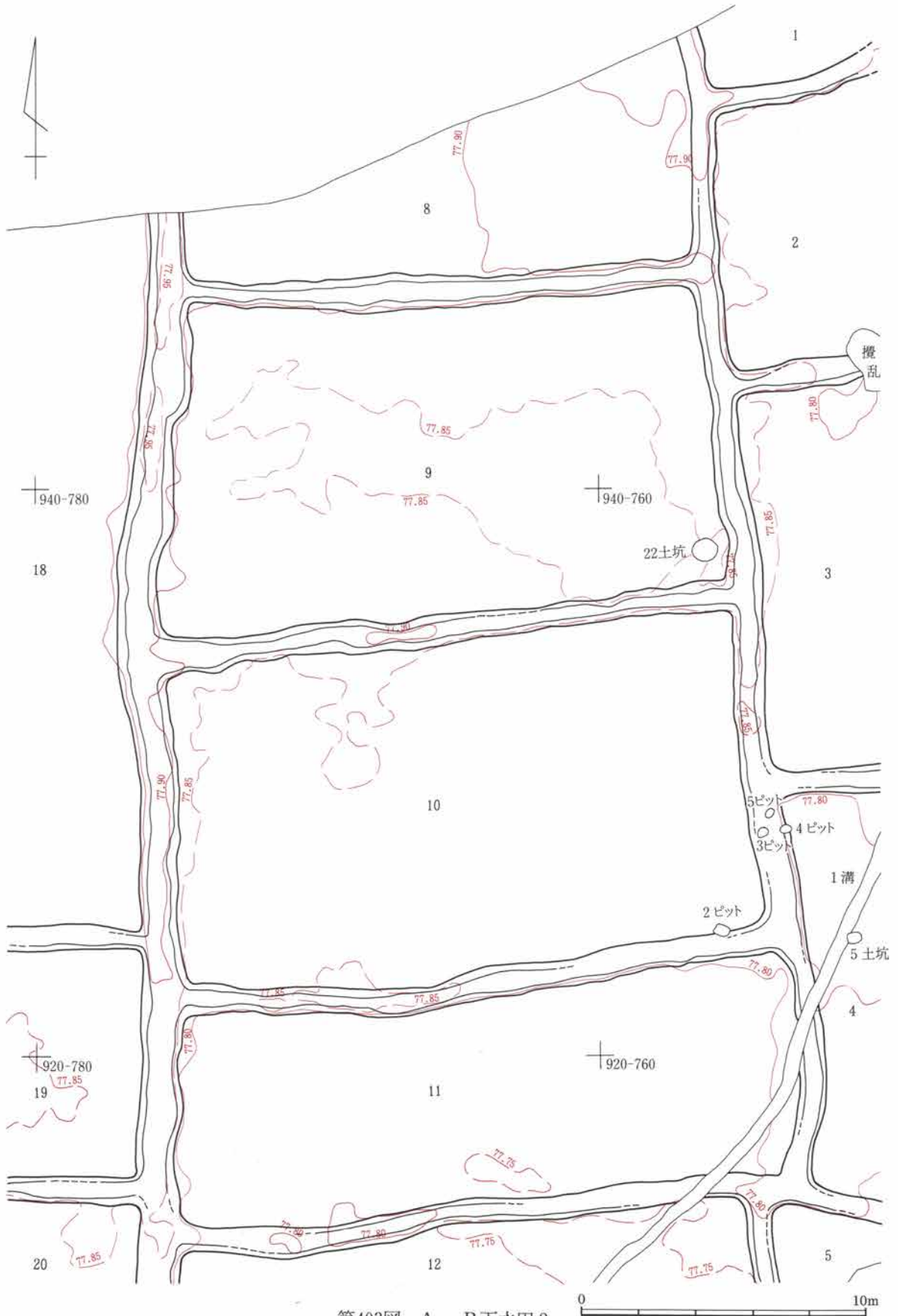
- ⑥ 水田面 As-B 1次堆積層に覆われている部分が多いため、水田面の残存状況はよい。1枚の水田面の高低差は、最大0.11m最小0.00m平均0.06mで、非常によく水平が保たれている。

平安時代末期水田一覧表

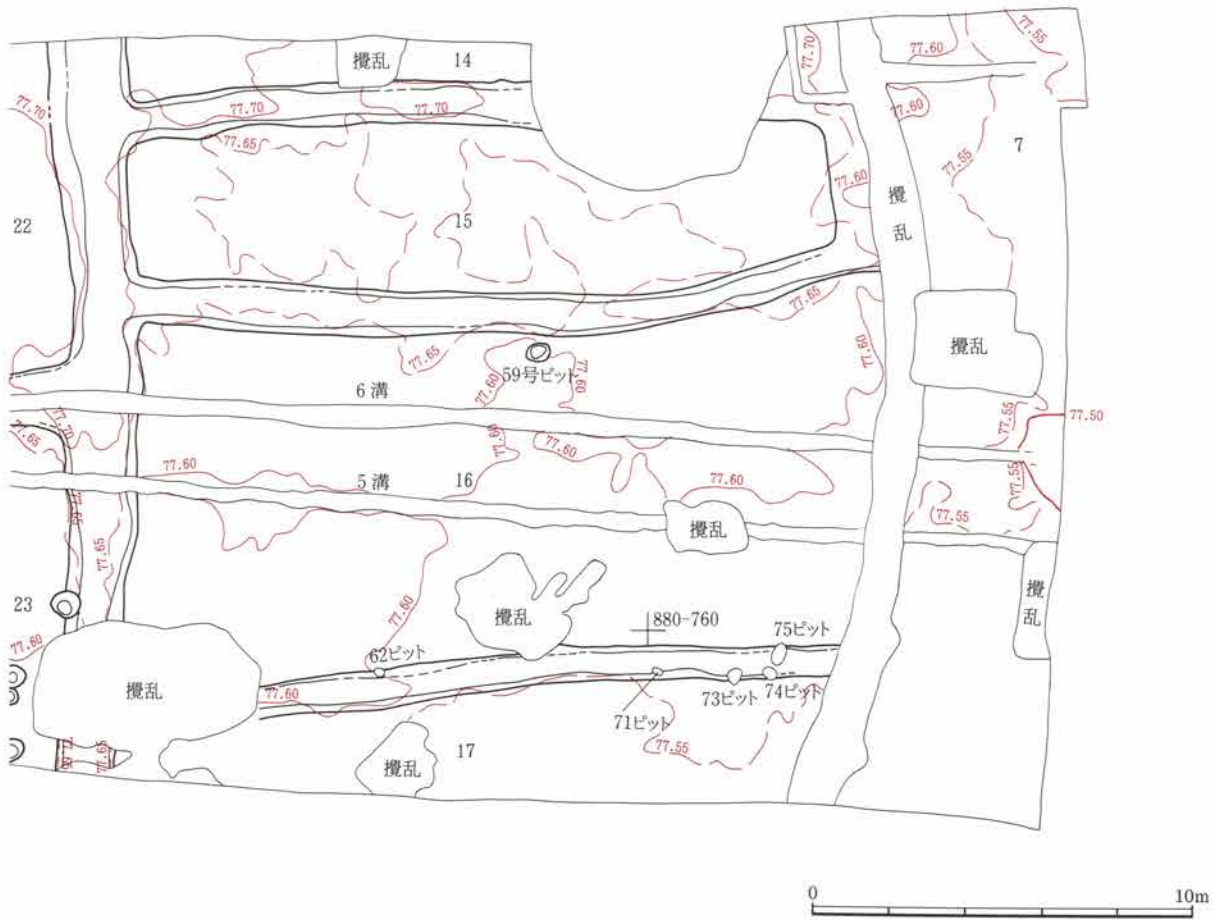
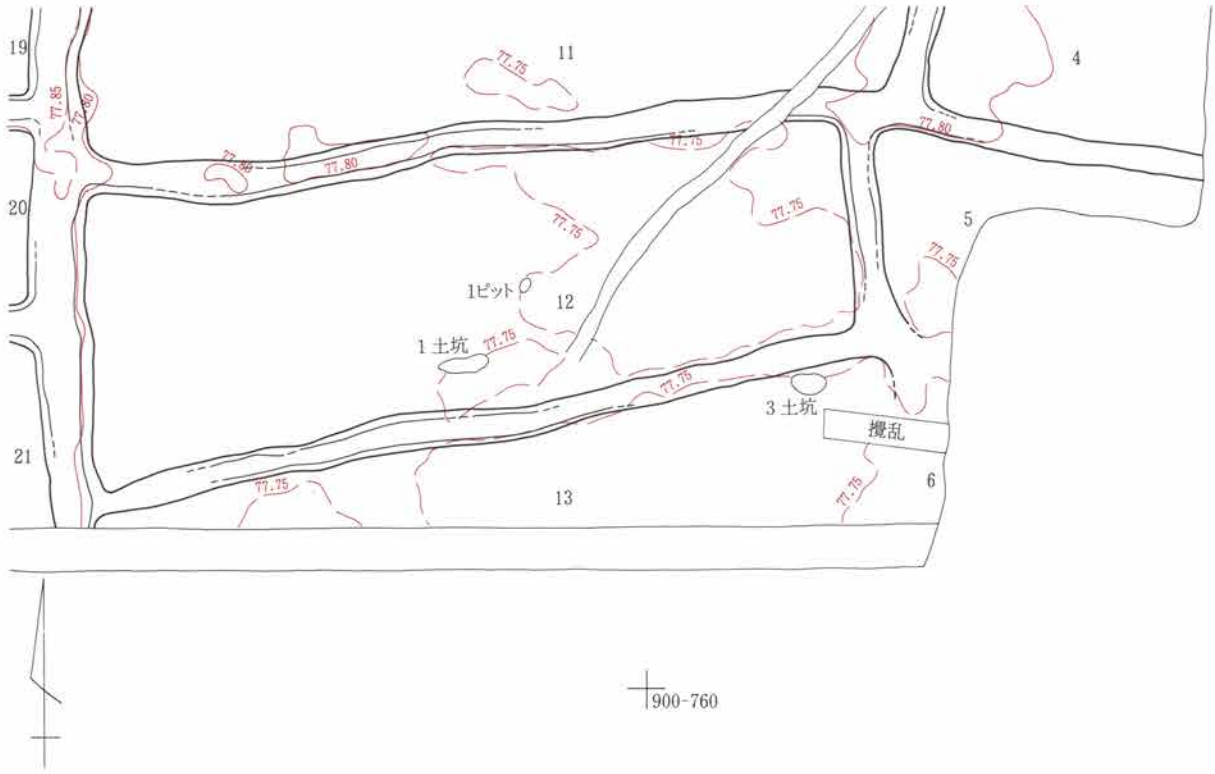
No	位置 Gr	平面 形状	長軸 m	短軸 m	長軸 ／ 短軸	面積 ㎡	畦畔 標高 m	水田面標高		畦畔 比高 m	田面 比高 m	畦畔幅		畦畔長				主軸方位
								高 m	低 m			大 m	小 m	北 m	東 m	南 m	西 m	
1	953~956-750~757	?	[5.5]	[2.5]		[18.3]	77.91	77.88	77.86	0.05	0.02	0.8	0.7			[6.0]	[2.5]	N-77°-E
2	943~954-748~756	?	[9.8]	[6.9]		[59.3]	77.91	77.85	77.81	0.10	0.04	1.1	0.7	[6.0]		[7.2]	10.2	N-4°-W
3	929~944-947~756	?	[14.0]	[6.9]		[87.9]	77.89	77.85	77.81	0.08	0.04	1.2	0.6	[7.2]		[6.9]	14.3	N-5°-W
4	913~930-745~754	?	[15.6]	[7.5]		[118.9]	77.84	77.82	77.77	0.07	0.05	1.3	0.6	[6.9]		[8.1]	14.0	N-5°-W
5	909~915-745~754	?	[8.8]	[2.8]		[19.9]	77.81	77.78	77.75	0.06	0.03	1.3	0.6	[9.9]			5.9	N-80°-W
6	908~909-753~754	?	-	-		[1.3]	77.77	77.75	77.75	0.02	0.00						[1.2]	-
7	889~896-748~755	?	-	-		31.6	77.65	77.60	77.52	0.13	0.08	1.4	0.3			4.1	[6.8]	-
8	946~956-755~775	?	18.1	[7.9]		[89.0]	77.96	77.92	77.88	0.08	0.04	1.3	0.7		[8.4]	19.2	[2.6]	N-88°-E
9	933~947-754~777	E	20.4	10.8	1.9	210.9	77.96	77.87	77.82	0.14	0.05	1.9	0.7	19.2	11.5	21.6	13.6	N-86°-E
10	921~934-752~776	A	20.9	11.5	1.8	235.6	77.94	77.89	77.81	0.13	0.08	1.6	0.7	22.5	8.6	22.7	8.7	N-84°-E
11	912~924-752~776	A	22.4	7.0	3.2	162.8	77.89	77.80	77.75	0.14	0.05	1.6	0.7	22.5	8.6	22.7	8.7	N-85°-E
12	904~915-754~776	C	20.5	6.5	3.2	132.8	77.86	77.78	77.73	0.13	0.05	1.6	0.6	21.7	6.3	22.2	8.8	N-81°-E
13	905~909-753~775	?	21.6	[4.2]		[53.1]	77.80	77.76	77.72	0.08	0.04	0.9	0.6	22.0	[1.1]		[0.7]	N-79°-E
14	892~895-754~775	?	-	[1.6]		[13.6]	77.73	77.72	77.69	0.04	0.03	2.2	1.0			[19.8]	[2.0]	N-87°-E
15	887~894-754~775	A	18.7	4.5	4.2	81.9	77.75	77.68	77.64	0.11	0.04	2.0	0.8	[19.8]	3.8	20.1	4.7	N-88°-E
16	877~890-753~775	C?	[19.7]	8.3		[177.5]	77.75	77.66	77.58	0.17	0.08	2.0	0.7	21.3	[10.7]	[20.5]	[10.6]	N-85°-E
17	875~877-754~775	?	[19.2]	[3.3]		[48.3]	77.62	77.58	77.53	0.09	0.05	1.6	0.7	[20.5]	[3.8]		[0.4]	N-86°-E
18	923~949-774~799	?	[25.3]	[21.6]		[488.5]	77.96	77.91	77.87	0.09	0.04	1.9	0.7		[25.6]	[22.2]		N-1°-E
19	914~925-774~797	A?	[21.4]	8.5		[170.6]	77.91	77.88	77.85	0.06	0.03	1.5	0.7	[22.2]	8.7	[20.0]		N-89°-W
20	908~915-774~795	A?	[19.3]	4.7		[90.9]	77.90	77.86	77.81	0.09	0.05	1.6	0.6	[20.0]	5.6	[18.0]		N-88°-E
21	904~910-774~794	?	[18.0]	[4.9]		[81.3]	77.85	77.83	77.76	0.09	0.07	1.6	0.6	[18.0]	[5.4]			N-88°-E
22	885~895-773~790	?	[14.9]	[8.9]		[125.0]	77.75	77.70	77.65	0.10	0.05	2.2	0.8		9.3	[10.6]		N-86°-E
23	875~886-773~788	?	[13.0]	[10.1]		[107.5]	77.71	77.65	77.58	0.13	0.07	2.0	0.8	[10.6]	[9.7]			N-90°
24	924~925-809~817	?	[5.9]	[0.5]		[3.8]	77.94	77.92	77.91	0.03	0.01	1.0	0.6			[6.5]	[0.7]	N-73°-E
25	911~927-807~817	?	[14.7]	[7.6]		[95.0]	77.94	77.92	77.83	0.11	0.09	1.1	0.6	[6.5]		[8.4]	[12.5]	N-6°-W
26	899~913-804~816	?	[12.9]	[8.4]		[87.2]	77.86	77.78	77.75	0.11	0.09	1.2	0.8	[8.4]		[9.6]	[12.8]	N-8°-W
27	890~899-803~816	?	[11.9]	[6.6]		[97.1]	77.79	77.77	77.71	0.08	0.06	0.9	0.5	[9.6]		[12.9]	7.6	N-88°-W
28	881~891-802~816	?	[12.7]	7.8		[90.0]	77.78	77.72	77.67	0.11	0.05	1.1	0.6	[12.9]		[11.8]	9.2	N-87°-E
29	879~883-802~815	?	[11.6]	[2.5]		[17.4]	77.73	77.67	77.66	0.07	0.01	1.1	0.7	[11.8]			[2.0]	N-86°-E
30	917~925-816~833	?	16.6	[3.3]		[58.8]	77.94	77.91	77.86	0.08	0.05	1.0	0.7		[3.7]	17.0	[2.1]	N-77°-E
31	907~921-814~833	C	16.4	9.7	1.7	174.5	77.91	77.89	77.83	0.08	0.06	1.1	0.6	17.0	13.5	17.3	10.0	N-84°-E
32	897~908-813~833	C	16.4	9.7	1.7	157.3	77.84	77.83	77.78	0.06	0.05	1.2	0.6	17.3	8.2	16.1	12.6	N-83°-E
33	887~899-815~830	A	12.6	7.3	1.7	89.1	77.83	77.79	77.75	0.08	0.04	0.9	0.6	13.4	7.6	12.7	7.6	N-79°-E
34	882~891-814~828	C?	11.8	7.4	1.6	88.8	77.78	77.75	77.70	0.08	0.05	0.9	0.6	12.7	7.8	13.1	7.6	N-77°-E
35	878~883-814~828	?	[3.0]	[1.4]		28.6	77.72	77.73	77.68	0.04	0.05	0.8	0.7	13.1	[3.1]		[2.3]	N-82°-E
36	906~910-832~846	?	13.1	-		[86.0]	77.91	77.92	77.84	0.07	0.08	0.9	0.7		[8.6]	13.6	[5.0]	N-75°-E
37	905~910-832~840	?	12.7	2.8	4.5	22.3	77.88	77.86	77.83	0.05	0.03	1.0	0.8	7.7	[3.3]	7.8	3.3	N-74°-E
38	892~906-828~840	C	10.4	8.4	1.2	83.8	77.86	77.85	77.79	0.07	0.06	1.0	0.5	7.8	11.2	9.4	[12.0]	N-12°-W
39	887~896-828~838	C	8.1	5.9	1.4	47.1	77.86	77.82	77.77	0.09	0.05	0.8	0.5	9.4	7.6	8.6	4.7	N-78°-E
40	879~888-827~836	C	7.8	6.6	1.2	46.2	77.79	77.75	77.69	0.10	0.06	0.9	0.5	8.2	[5.6]	[2.2]	7.3	N-85°-E
41	878~880-829~836	?	[2.2]	[1.3]		[13.1]	77.74	77.72	77.70	0.04	0.02	0.6	0.5	[2.2]			[1.2]	N-81°-E
42	891~906-838~846	D	13.7	5.2	2.6	75.4	77.88	77.83	77.73	0.15	0.10	0.6	0.3	5.7	14.0	7.0	14.6	N-3°-W
43	890~893-837~845	?	6.8	2.4	2.8	18.5	77.79	77.77	77.75	0.04	0.02	0.6	0.4	7.0	3.0	7.7	3.1	N-72°-E
44	888~891-836~845	?	7.7	2.6	3.0	20.8	77.79	77.76	77.74	0.05	0.02	0.8	0.5	7.7	3.3	9.0	3.2	N-71°-E
45	878~888-835~845	D	8.6	7.0	1.2	[56.9]	77.79	77.76	77.71	0.08	0.05	0.5	0.4	9.0	7.4		[6.5]	N-4°-W
46	897~911-845~862	?	15.9	[8.5]		[117.0]	77.92	77.92	77.81	0.11	0.11	0.6	0.3		[5.0]	17.3	[10.0]	N-69°-W
47	900~906-845~852	F	6.4	2.6	2.5	13.9	77.91	77.85	77.79	0.12	0.06	0.6	0.3	7.7	3.5	6.9	1.5	N-74°-E
48	891~903-845~860	D	15.0	4.5	3.3	69.5	77.86	77.84	77.79	0.07	0.05	0.6	0.3	15.8	4.3	15.5	6.2	N-64°-E
49	883~898-845~859	D	14.3	9.3	1.5	123.2	77.84	77.81	77.73	0.11	0.08	0.6	0.4	15.5	11.0	13.5	8.0	N-64°-E
50	878~887-845~858	?	12.6	[6.6]		[77.7]	77.81	77.75	77.71	0.10	0.04	0.7	0.4	13.5	[8.6]		[4.4]	N-70°-E
51	893~907-860~874	?	[14.4]	[10.1]		[66.0]	77.92	77.90	77.85	0.07	0.05	0.6	0.4		[10.2]	[14.2]		N-76°-E
52	885~897-858~880	?	[21.6]	6.4		[110.9]	77.89	77.87	77.79	0.10	0.08	0.6	0.4	[14.2]	6.2	[22.2]		N-76°-E
53	878~891-858~880	?	[20.4]	6.9		[137.4]	77.83	77.80	77.73	0.10	0.07	0.7	0.4	[22.2]	8.0	[16.7]		N-75°-E
54	878~883-858~874	?	[15.2]	[3.1]		[39.2]	77.77											N-76°-E
55	878~880-835~838	?	[1.9]	[1.0]		[1.2]	77.74											N-74°-E



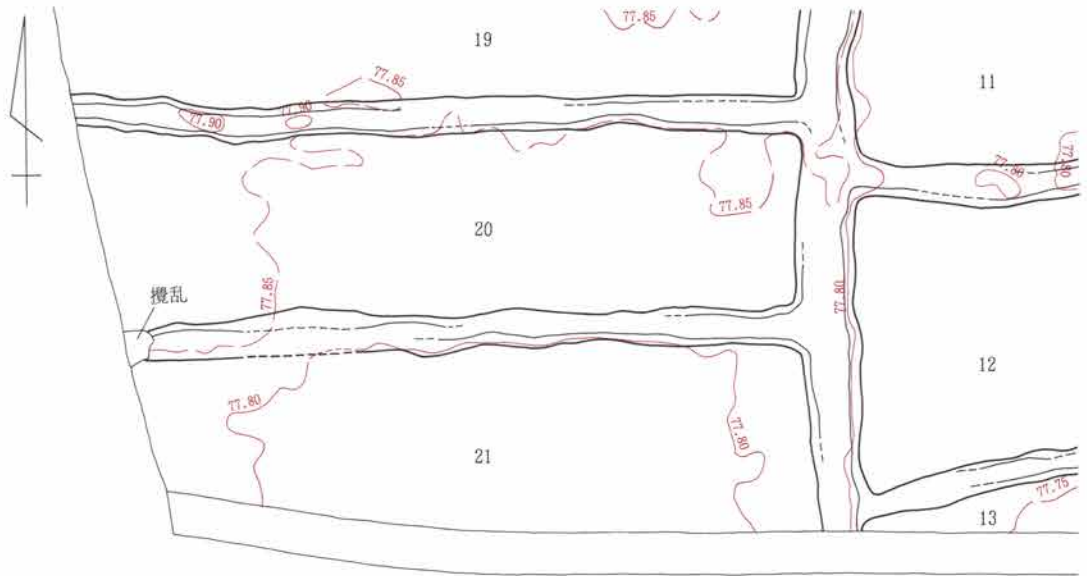
第402図 As-B下水田 1



第403図 As-B下水田2

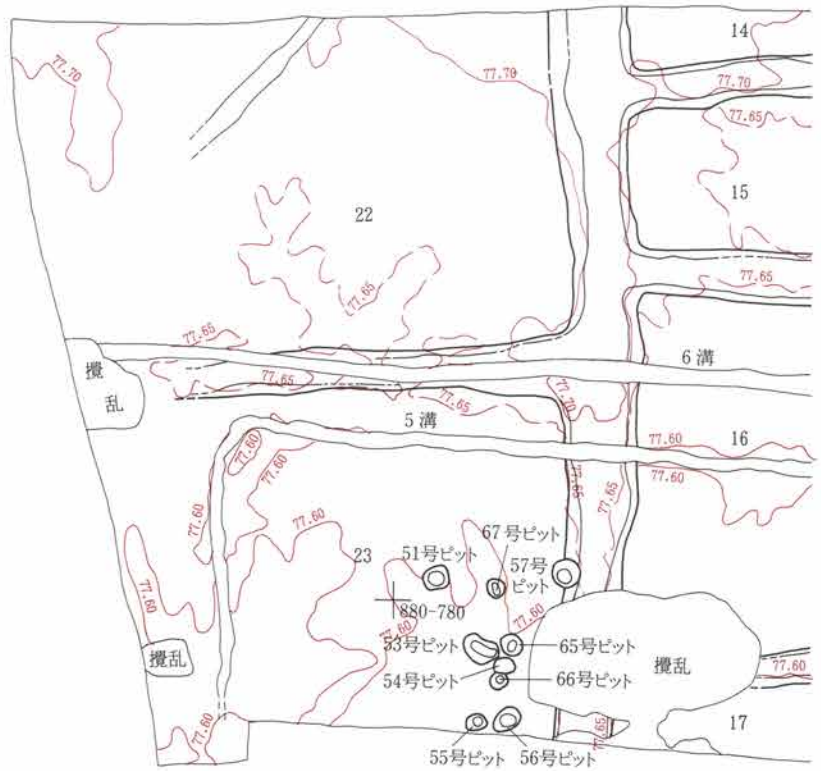


第405図 As-B下水田4



1900-800

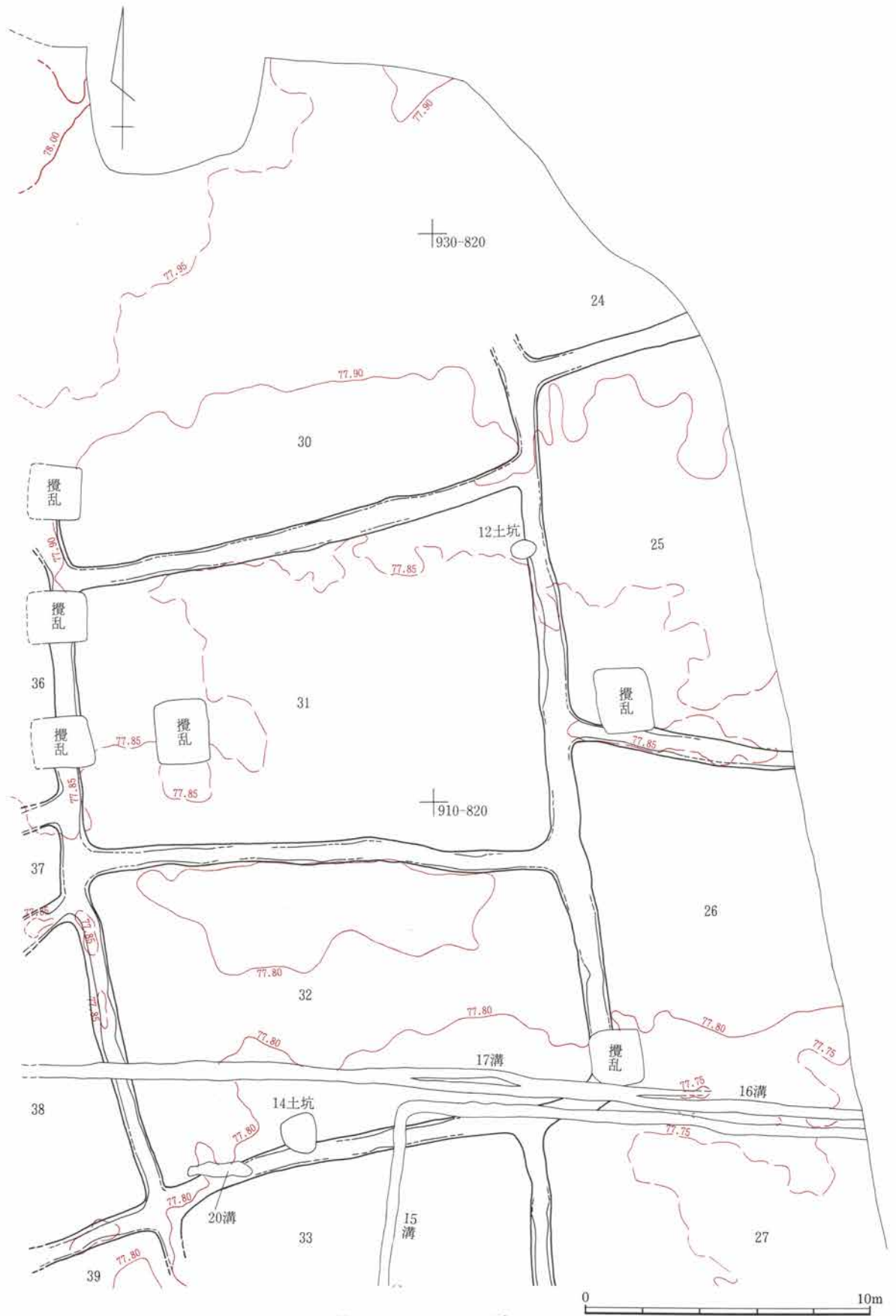
1900-780



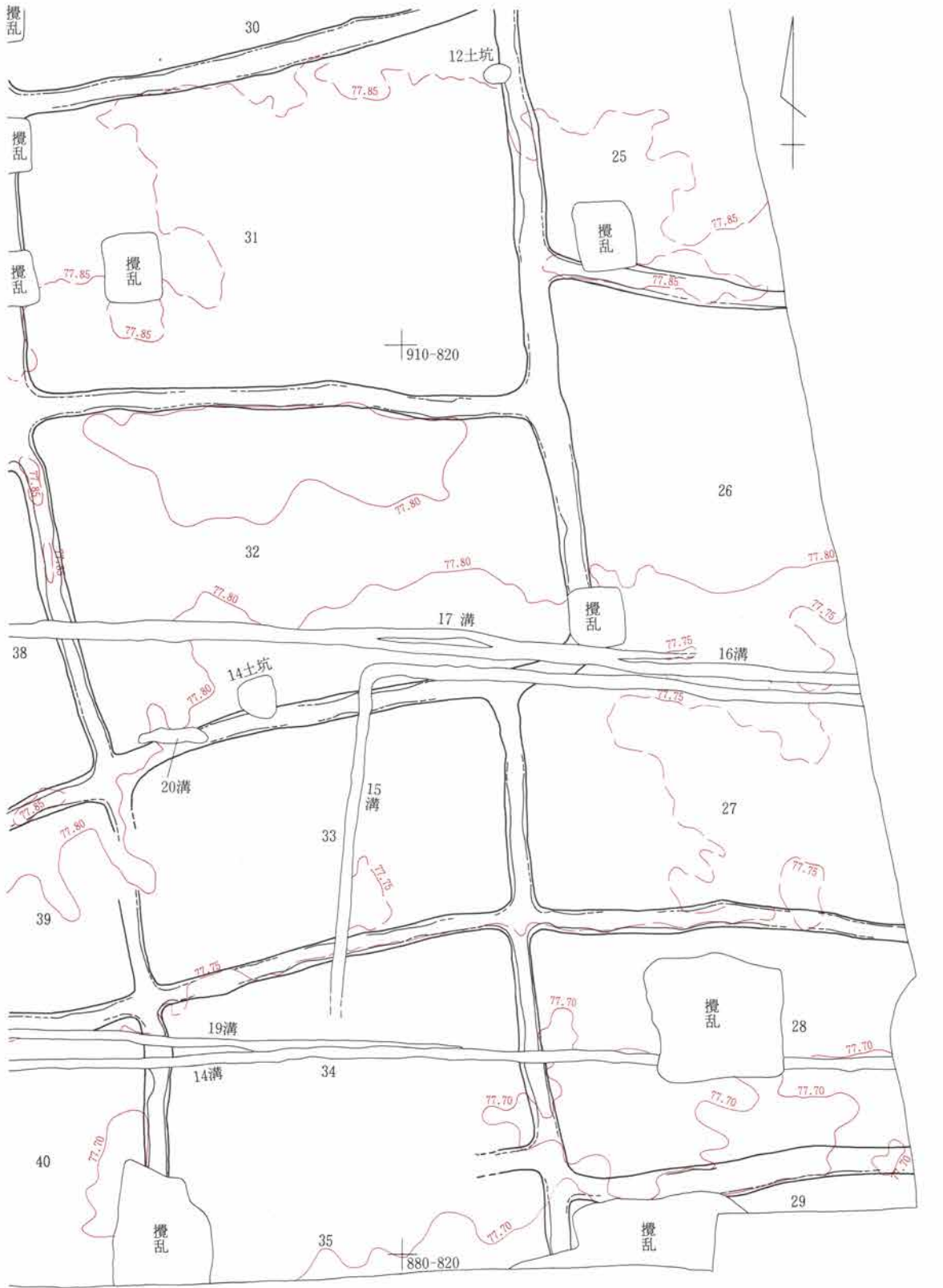
1880-800



第406図 As-B下水田5



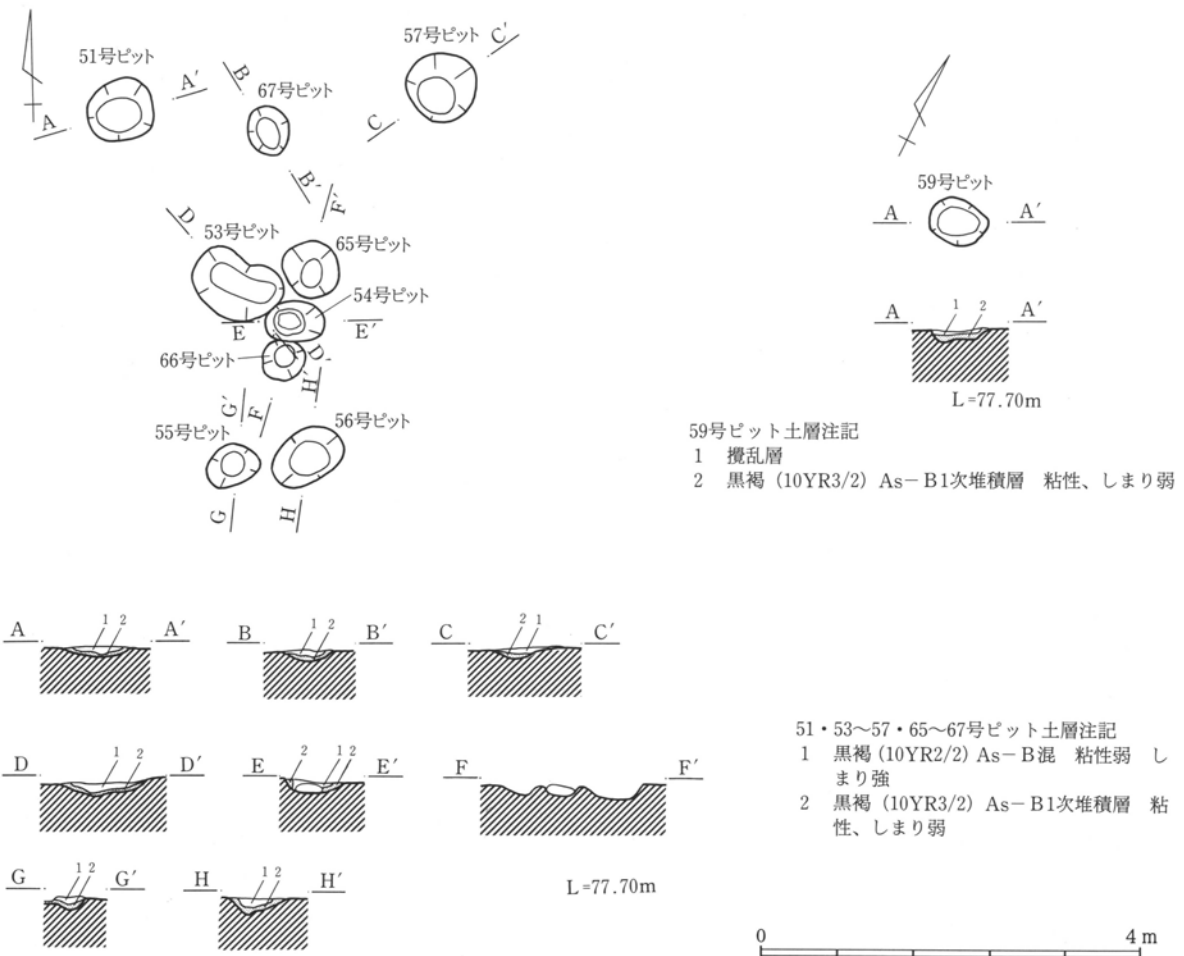
第407图 As-B下水田6



第408图 As-B下水田7



第409図 As-B下水田8



第411図 平安時代末期ピット (51・53～57・59・65～67号ピット)

ピット

ピットは11基検出されている。

- ① 分布 調査区南東部 (B区) に集中して検出されている。
- ② 規模 長径98～28cm平均51cm短径73～22cm平均43cm深さ18～6 平均11cmである。
- ③ 特徴 いずれも水田中にあり、比較的浅いピットである。As-B 1次堆積層で埋没しているため、掘られた状態で使用されていたものであるが、性格は不明である。遺物は出土していない。

平安時代末期ピット一覧表

No	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
51	880-778-779		71	62	10	59	887-764-765		60	47	12
53	878-879-777-778		98	61	18	60	884-885-768-769		28	22	6
54	878-776-777	65,66ピット	62	42	12	65	878-879-776-777		64	58	18
55	876-777-778		57	43	14	66	877-878-777		48	43	10
56	876-877-775-776		80	54	16	67	880-777		54	44	11
57	880-881-775		74	73	12						

平安時代末期ピット出土遺物一覧表

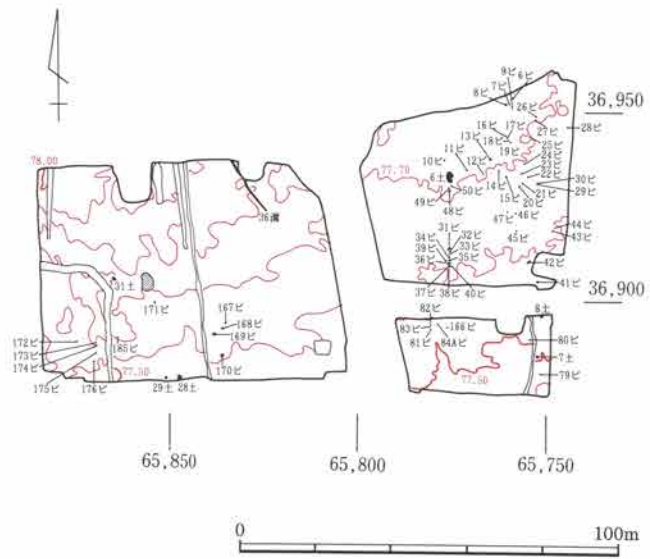
種類	古式土師器		土師器			須恵器	総計
	甕	計	坏	計	坏		
分類1	A	A	C	G	E		
分類2	1		2				
54	1	1	1	1	3	1	5

第4節 古墳時代後期～ 平安時代後期

(1) 概要

古墳時代後期～平安時代後期はHr-FA降下～As-B降下以前の時代で、西田遺跡同様Hr-FA相当面で検出される遺構の時期である。

遺構は、溝1条、土坑6基、ピット63基等である。土坑・ピットは調査区東部(A区・B区)から多く検出されている。



第412図 古墳時代後期～平安時代後期遺構位置図

(2) 遺構

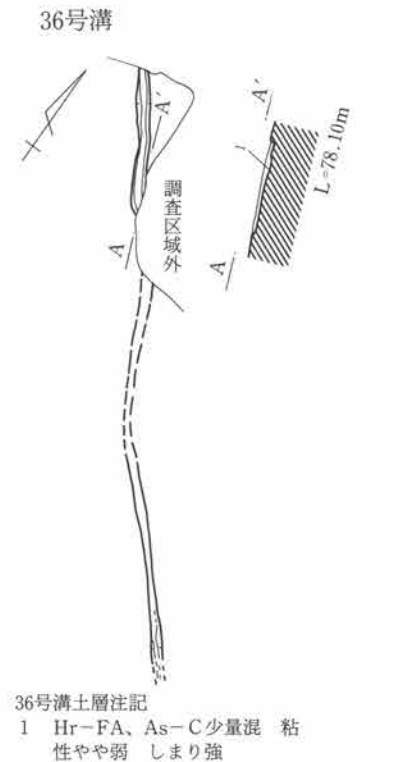
溝

溝は1条検出されている。

- ① 分布 調査区中央北部で検出されている。
- ② 規模 最大幅0.29m、最小幅0.18m、深さ5cmで、上部をほとんど削平されているため小規模である。
- ③ 走向 北西から南東に走る。
- ④ 機能 残存状況が非常に悪く性格不明である。
- ⑤ 時期 時期の判明する遺物もなく詳細な時期は不明である。

古墳時代後期～平安時代後期溝一覧表

No	位置 Gr	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向
36	923～936-824～833	[15.7]	0.29	0.18	5	N-37°-W



第413図 古墳時代後期～平安時代後期溝(36号溝)

土坑

土坑は6基検出されている。

① 分布 調査区東部（A・B）と調査区西部（C区西部）の2ヶ所で検出されている。

② 形態 平面形態はA～Dの4形態、断面形態はa～bの2形態に分類できる。

平面形態 A 円形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）

B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）

C 方形・隅丸方形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）

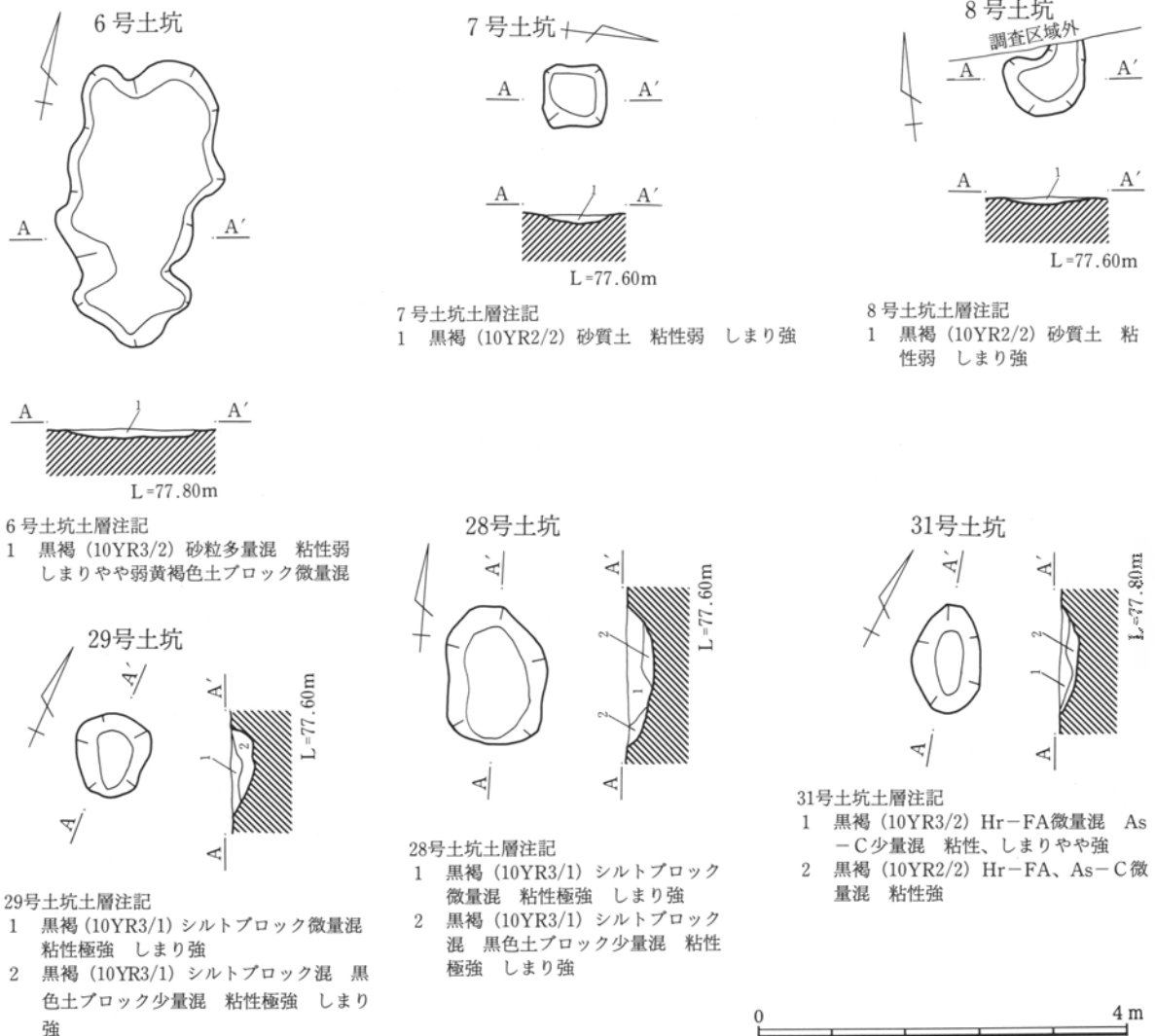
D 不正形のもの

断面形態 a 底部が平らなもの

b 底部が丸みを帯びるもの

平面形態は楕円形が3基で最も多く、他は1基である。断面形態は底部が丸みを帯びるものが5基で圧倒的に多くなっている。

③ 規模 長径3.06～0.65m平均1.37m、短径1.39～0.68m平均0.95mで長径と短径の比は2.20～1.00平均1.45である。深さは31～8cm平均18cmで、面積は3.99～0.45m²平均1.42m²である。



第414図 古墳時代後期～平安時代後期土坑(6～8・28・29・31号土坑)

- ④ 主軸方位 北から30°以内のものが5基ある。
- ⑤ 機能 出土遺物が少なく、性格不明である。
- ⑥ 出土遺物 時期の判明する遺物が出土しているものはなく、7・8号土坑から小破片が少量出土しているだけである。

古墳時代後期～平安時代後期土坑一覧表・出土遺物数量表

No	位置 Gr	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位
6	931～934-775～776	B	a	3.06	1.39	2.20	10	3.99	N-6°-W
7	885-752	C	b	0.68	0.68	1.00	9	0.45	N-9°-W
8	895～896-750～751	D	b	0.85	[0.85]		8	[0.53]	N-59°-W
28	878～880-846～848	B	b	1.50	1.10	1.36	31	1.38	N-5°-W
29	878～879-850～851	A	b	0.92	0.83	1.11	26	0.60	N-23°-W
31	904～905-864～865	B	b	1.18	0.76	1.55	26	0.69	N-25°-W

種別	古式土 師器		土師器		総計
器種	甕		甕		
分類1	A	計	F	計	
分類2	3				
7	2	2		0	2
8		0	2	2	2

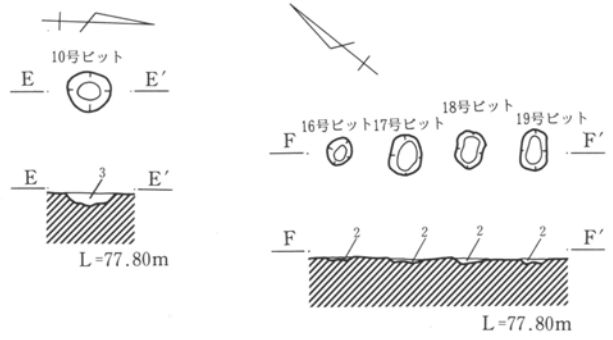
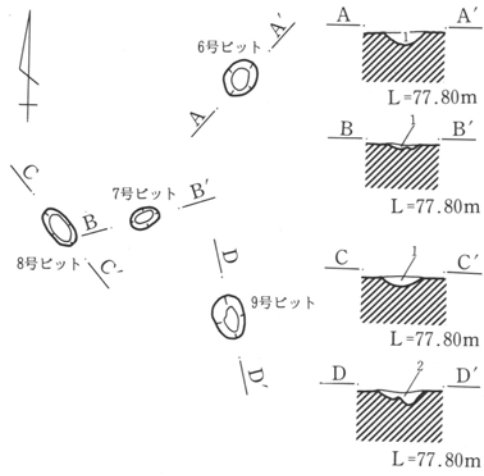
ピット

ピットは63基検出されている。

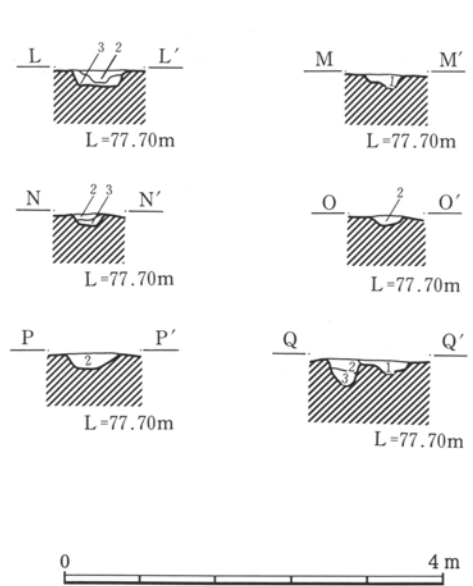
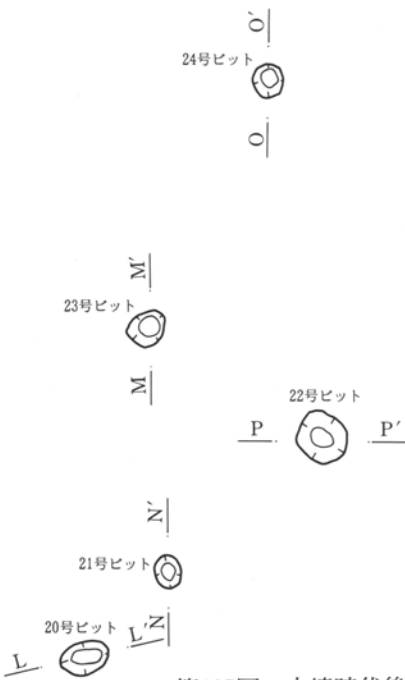
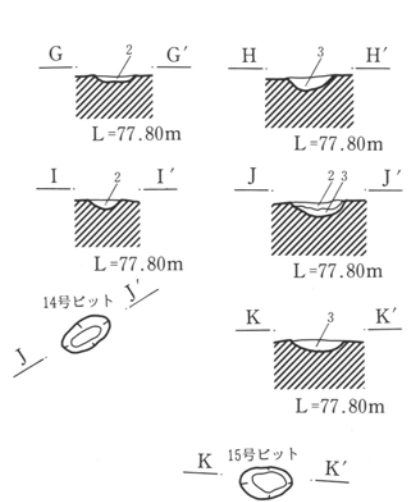
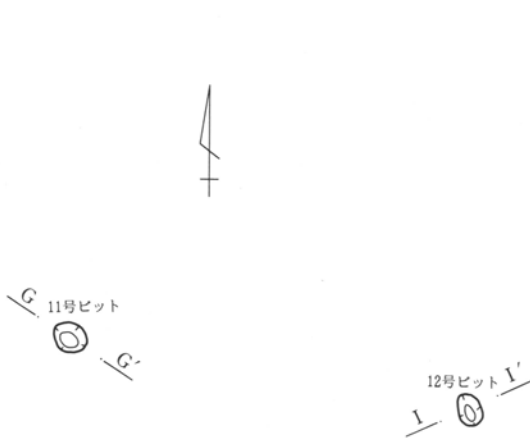
- ① 分布 調査区東部（A区・B区）から多く検出されており、調査区南西部からも少量検出されている。
- ② 規模 長径110～24cm平均50cm短径68～22cm平均34cm深さ30～3平均12cmである。
- ③ 特徴 出土遺物もほとんどなく、性格は不明である。
- ④ 出土遺物 36・37号ピットから縄文土器の破片が1点ずつ出土しているだけである。

古墳時代後期～平安時代後期ピット一覧表

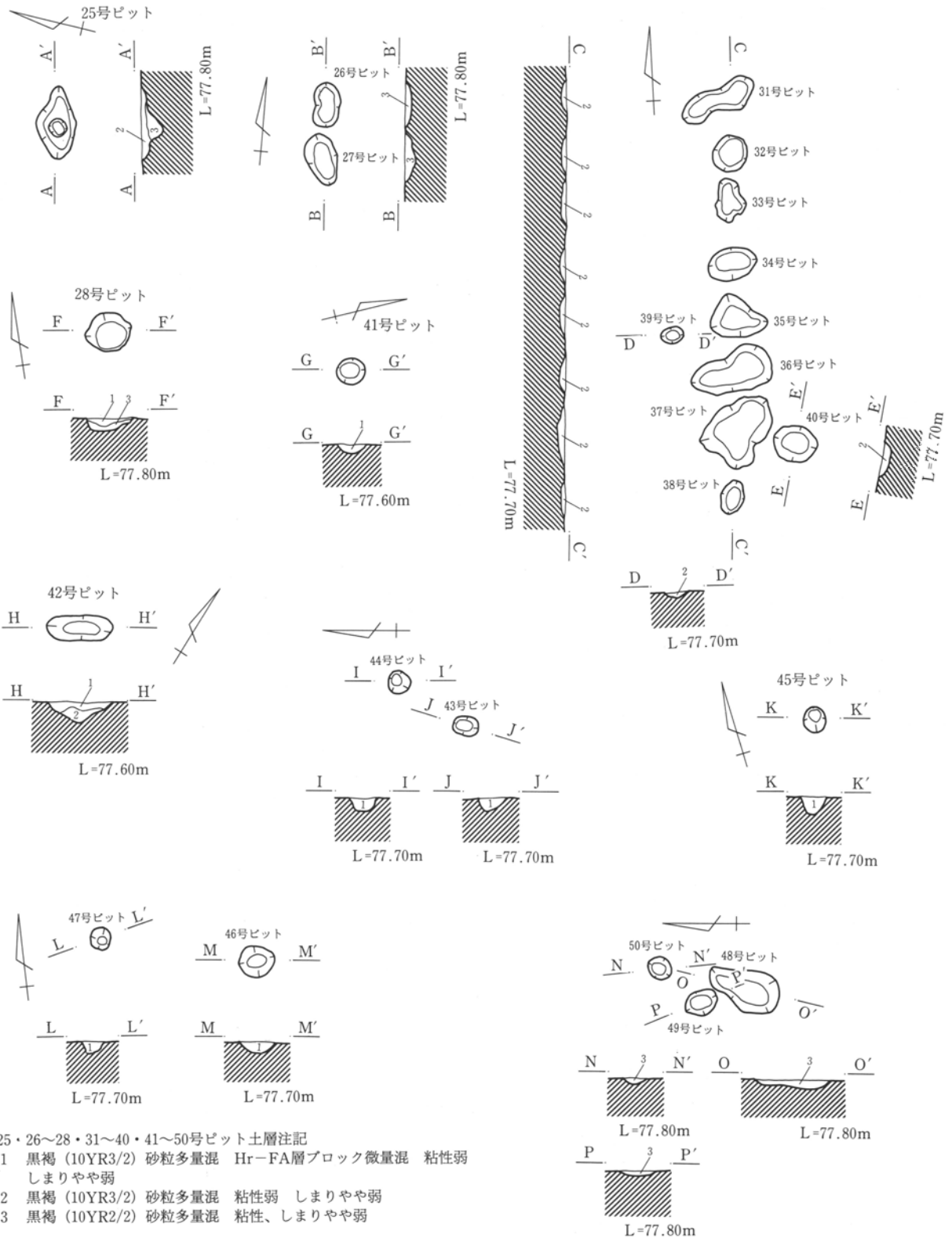
No	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
6	953-759		40	34	13	38	908-775～776		46	32	5
7	951-760		32	22	4	39	910-776		30	23	9
8	951-761		45	24	11	40	908～909-774～775		60	49	12
9	950-759		46	32	16	41	905-752		40	35	12
10	936-777		46	42	14	42	910-754～756		88	34	27
11	934-771		37	31	6	43	918-748		34	26	18
12	933-767		35	26	10	44	918-748～749		30	30	18
13	927-765		50	33	14	45	918-758		33	32	24
14	934-763		56	30	15	46	922～923-758		48	41	15
15	932-761		54	33	12	47	923-760		32	28	16
16	943-761		32	26	3	48	928～929-775～776		100	56	11
17	942-760		42	34	5	49	929-776		47	34	7
18	942-760		40	26	6	50	930-775		34	31	8
19	941-759～760		43	26	6	79	880～881-751		40	32	16
20	929～930-757		53	33	17	80	889～890-754		30	27	12
21	930～931-756		35	27	12	81	892-780		45	34	4
22	932-754～755		56	50	16	82	892～893-780～781		33	29	6
23	933-756～757		43	36	14	83	892～893-781		44	31	8
24	936-755～756		34	32	11	84A	893～778		42	31	12
25	942～943-754		98	53	30	166	892～893-776		47	26	6
26	948-752～753		59	34	10	167	893～894-835		31	30	8
27	947-752～753		70	42	17	168	892-834～835		52	50	21
28	945-744		63	52	18	169	890～891-838		79	31	10
29	930-752	30ピットより古	42	31	28	170	885～886-835～836		48	48	23
30	930～931-752	29ピットより新	52	27	12	171	899-854		33	28	7
31	913～914-775～776		107	28	8	172	888～889-874		40	38	14
32	912～913-775～776		50	45	8	173	888-869		30	23	6
33	912-775～776		57	28	7	174	887～888-869		36	22	11
34	911-775～776		67	44	7	175	885～886-869		24	22	10
35	910～911-775～776		78	58	9	176	883-869～870		32	26	7
36	909～910-775～776		110	44	10	185	889～890-863～864		38	36	12
37	908～909-775～776		104	68	11						



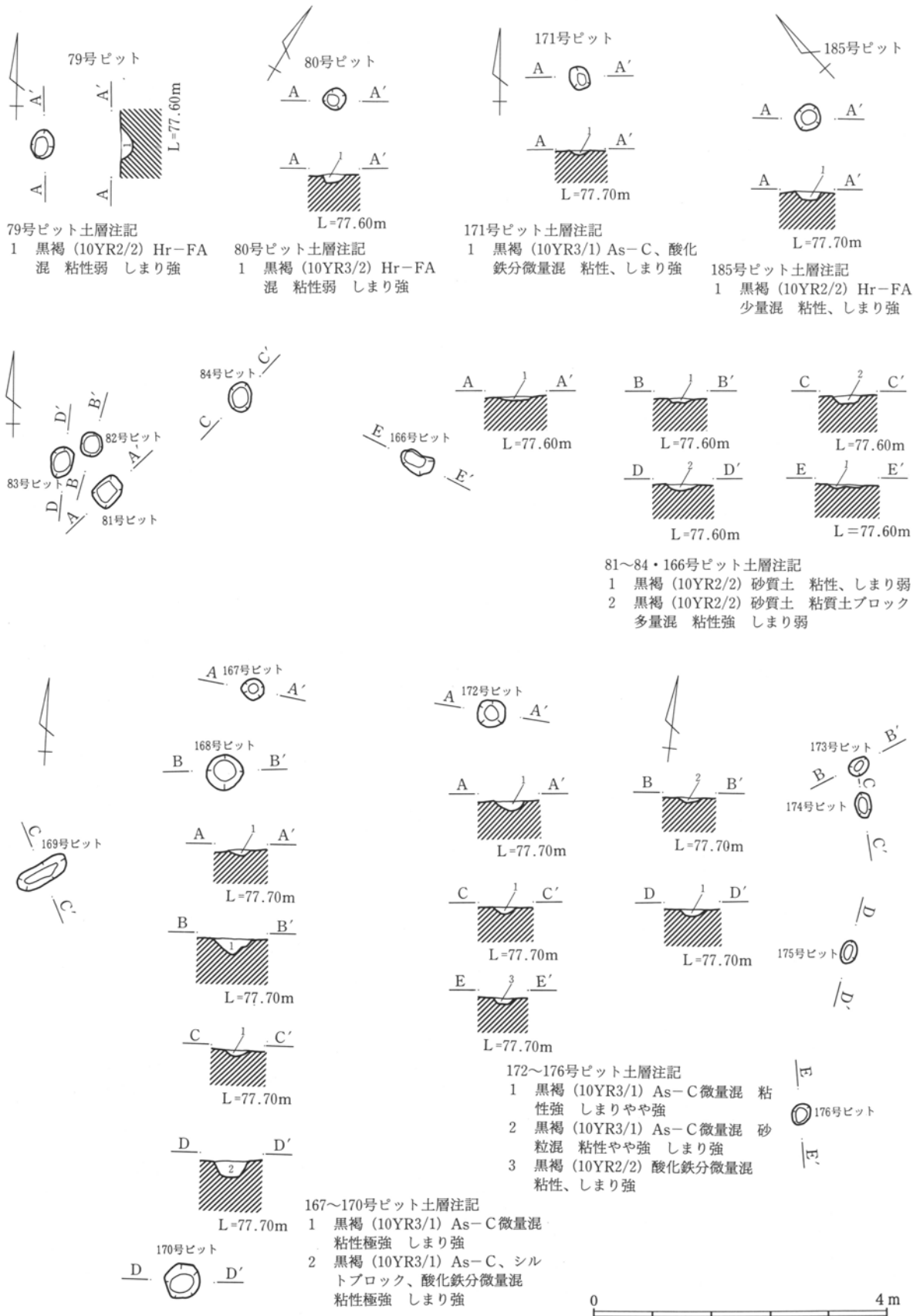
- 6～9・10・16～19・11～15・20～24・29・30号ピット土層注記
- 1 黒褐 (10YR3/2) 砂粒多量混 Hr-FA層ブロック微量混 粘性弱
しまりやや弱
 - 2 黒褐 (10YR3/2) 砂粒多量混 粘性弱 しまりやや弱
 - 3 黒褐 (10YR2/2) 砂粒多量混 粘性、しまりやや弱



第415図 古墳時代後期～平安時代後期ピット1 (6～24・29・30号ピット)



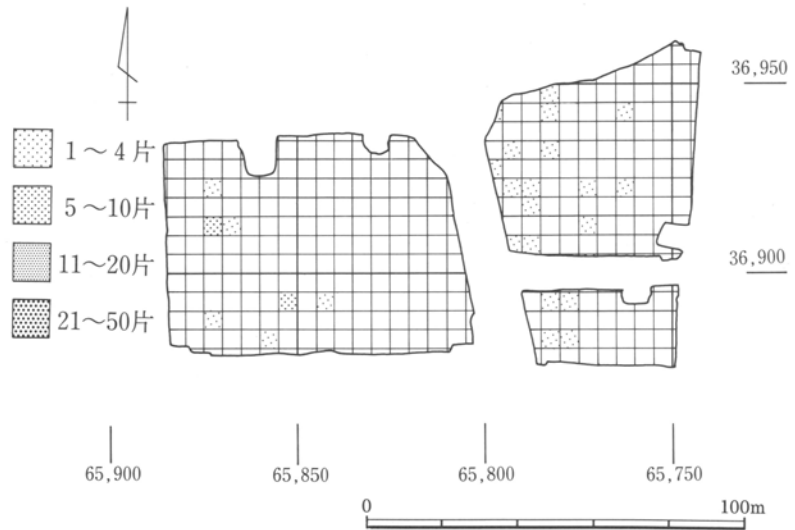
第416図 古墳時代後期～平安時代後期ピット2 (25～28・31～50号ピット)



第417図 古墳時代後期~平安時代後期ピット3 (79~84・166~176・185号ピット)

(3) 遺構外遺物出土状況

As-B下面～Hr-FA下相当面にかけての層から少量ではあるが、遺物が出土している。グリッド別の分布図を見ると、調査区東部(A・B区)、調査区東部(C区西部)から出土しているが、調査区中央部(C区東部)からは出土していない。

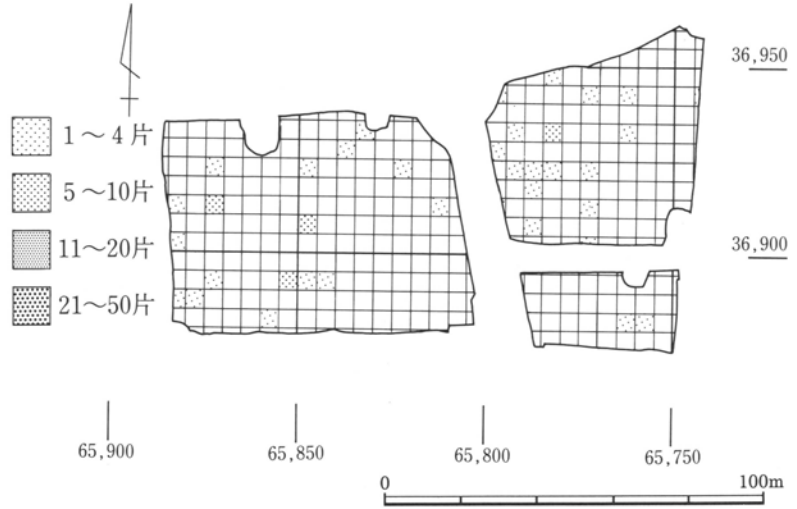


第418図 Hr-FA下相当面遺構外遺物出土分布図

Hr-FA下相当面遺構外出土遺物一覧表

種別 器種	縄 文 土 器	古式土師器						土 師 器						須恵器				石 製 品	総計			
		甕			壺			坏			甕			坏			計					
		A		計	C	計	計	E	G	計	D	F	計	計	D					E	計	
		3	計												1	2						
880-755G	1		0	0		0	0			0		1	1	1			2	2	2		4	
880-760G			0	0		0	0			0		2	2	2				0	0		2	
880-855G			0	0		0	0		1	1			0	1				0	0		1	
885-875G		2	2	2		0	2			0			0	0				0	0		2	
890-775G			0	0		0	0		1	1			0	1				0	0		1	
890-840G		1	1	1	1	1	2			0			0	0				0	0		2	
890-850G			0	0		0	0		3	3			0	3			2	2	2		5	
895-780G			0	0		0	0			0			0	0		1		1	1		1	
900-770G	1		0	0		0	0		1	1			0	1				0	0		2	
905-785G			0	0		0	0		1	1			2	2	3			0	0		3	
905-790G			0	0		1	1	1			0			0	0			0	0		1	
910-770G			0	0		0	0			0			1	1	1			0	0		1	
910-865G		1	1	1		0	1			0			0	0				0	0		1	
910-870G			0	0		0	0		1	2	3		1	1	4	1		1	1		5	
915-785G			0	0		0	0			0			1	1	1			0	0		1	
915-788G			0	0		0	0		1	1			0	1				0	0		1	
920-760G			0	0		0	0			0		1		1	1			0	0		1	
920-770G			0	0		0	0		1	1			0	1				0	0		1	
920-785G			0	0		0	0			0			0	0		1		1	1		1	
920-790G			0	0		0	0		2	2			0	2				0	0		2	
920-870G			0	0		0	0		2	2			0	2				0	0		2	
925-795G			0	0		0	0			0			1	1	1			0	0		1	
930-780G			0	0		0	0		1	1			0	1		1		1	1		2	
930-790G			0	0		0	0			0		1		1	1			0	0		1	
940-760G			0	0		0	0			0			1	1	1			0	0	1	2	
940-780G			0	0		0	0			0			1	1	1			0	0		1	
940-800G			0	0		0	0			0			1	1	1			0	0		1	
950-780G			0	0		0	0			0			0	0			1	1	1		1	
計		2	4	4	4	2	2	6	1	16	17	2	12	14	31	1	3	5	9	9	1	49

古墳時代後期～平安時代後期にかけての遺物は、上層からHr-FA下相当面まで出土している。グリッド別の分布図を見ると、調査区中央部の南側を除いてほぼ全面から出土している。

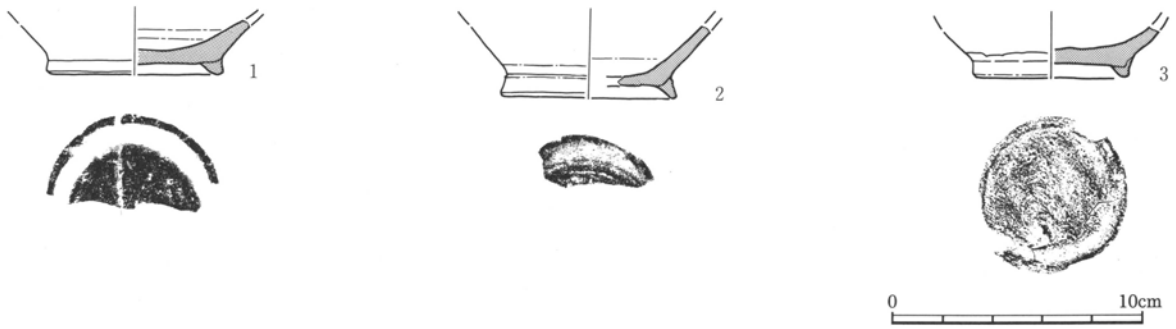


第419図 古墳時代後期～平安時代後期遺構外遺物出土分布図

古墳時代後期～平安時代後期遺構外出土遺物数量表

種別 器種	土 師 器											須 恵 器					灰 釉 陶 器			土 製 品	木 製 品	総 計							
	坏											坏					甕 計	碗	皿				計						
	A	B		C			D		E	G	計	D	F	計	そ の 他	計								C		D		E	計
		1	計	2	3	計	1	計																2	1	2			
880-755G		0			0			0			1	1	1			2	2			2		0			3				
880-760G		0			0			0			2	2	2			0	0			0		0			2				
880-855G		0			0			0	1	1			0	1		0	0			0		0			1				
885-755G		0			0			0					0	0		0	0			0		0			0				
885-875G		0			0			0			1	1	1			0	0			0		0			1				
885-880G		0			0			0			1	1	1			0	0			0		0			1				
890-775G		0			0			1	1				0	1		0	0			0		0			1				
890-840G		0			0			1	1		2	2	3			0	0			0		0			3				
890-845G		0			0					0	1	1	1			0	0			0		0			1				
890-850G		0			0			3	3				0	3		2	2			2		0			5				
890-870G		0			0			2	2		1	1	3			0	0			0		0			3				
900-770G		0			0			1	1				0	1		0	0			0		0			1				
900-840G		0			0					0			0	0		0	0			0		0			0				
900-880G		0			0			1	1				0	1		0	0			0		0			1				
900-888G		0			0			2	2		1	1	3			0	0			0		0			3				
905-785G		0			0			1	1		2	2	3			0	0			0		0			3				
905-845G		0			0			1	1		3	3	4			0	0	1		1		0			5				
910-770G		0			0					0	1	1	1			0	0			0		0			1				
910-780G		0			0					0			0	0		0	0			0		0			0				
910-795G		0			0			1	1				0	1		0	0			0		0			1				
910-810G		0			0					0			0	0		0	0			1	1				1				
910-870G	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	3	3	1	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7				
910-890G		0			0					0	2	2	2			0	0			0		0			2				
915-785G		0			0					0	1	1	1			0	0			0		0			1				
915-790G		0			0			1	1				0	1		0	0			0		0			1				
920-760G	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				
920-770G		0			0				1	1			0	1		0	0			0		0			1				
920-780G		0			0					0			0	0		1	1			1		0			1				
920-790G	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4				
920-820G		0			0					0		1	1	1		0	0			0		0			1				
920-845G		0			0					0	2	2	2			0	0			0		0			2				
920-870G		0			0			2	2				0	2		0	0			0		0			2				
925-795G		0			0					0	1	1	1			0	0			0		0			1				
925-830G		0			0					0			0	0		0	0			0		0			0				
925-835G		0			0				1	1			0	1		0	0			0		0			1				

須恵器 I - D - 2



第420図 古墳時代後期～平安時代後期出土遺物 1 須恵器坏・碗

古墳時代後期～平安時代後期土器観察表

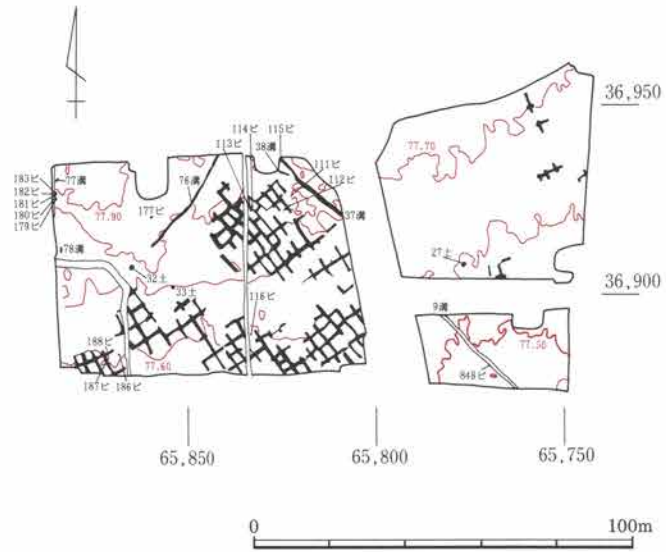
No	種別	出土位置	口径		色調表	色調裏	焼成	調整	分類	備考
	器種	残存率	底径	高さ			胎土			
1	須恵器 碗	Hr-FA下 底部1/2		灰白 5Y8/1	灰白 5Y8/1	不良 細 細砂・粗砂を中量含 む	磨滅著しい ロクロ調整 底部切り離し後高台貼り付 けか	I D 2		
			7.0 [1.9]							
2	須恵器 碗	Hr-FA下		灰白 5Y8/1	灰白 5Y8/1	不良 細 細砂・粗砂を中量含 む	磨滅著しい ロクロ調整 底部切り離し後高台貼り付 けか	I D 2		
			(7.0) [2.7]							
3	須恵器 碗	Hr-FA下 底部(台部1/2 欠損)		灰白 10Y7/1	灰白 10Y7/1	不良 細 細砂・粗砂を中量含 む	磨滅著しい ロクロ調整 (右) 底部回転糸切後高台 貼り付けか	I D 2		
			(6.0) [1.9]							

第5節 古墳時代前期

(1) 概要

この節では、古墳時代前期の遺構・遺物を掲載する。層としては、As-C降下以後Hr-FA降下以前の遺構・遺物が含まれるが、古墳時代中期の遺構は検出されていないため、古墳時代前期に限る。

遺構は、溝6条、土坑3基、ピット16基、水田1面等である。土坑・ピットは調査区西部（C区）にまばらに分布し、水田も調査区西部（C区）によく残存している。



第421図 古墳時代前期遺構位置図

(2) 遺構

溝

溝は6条検出されている。

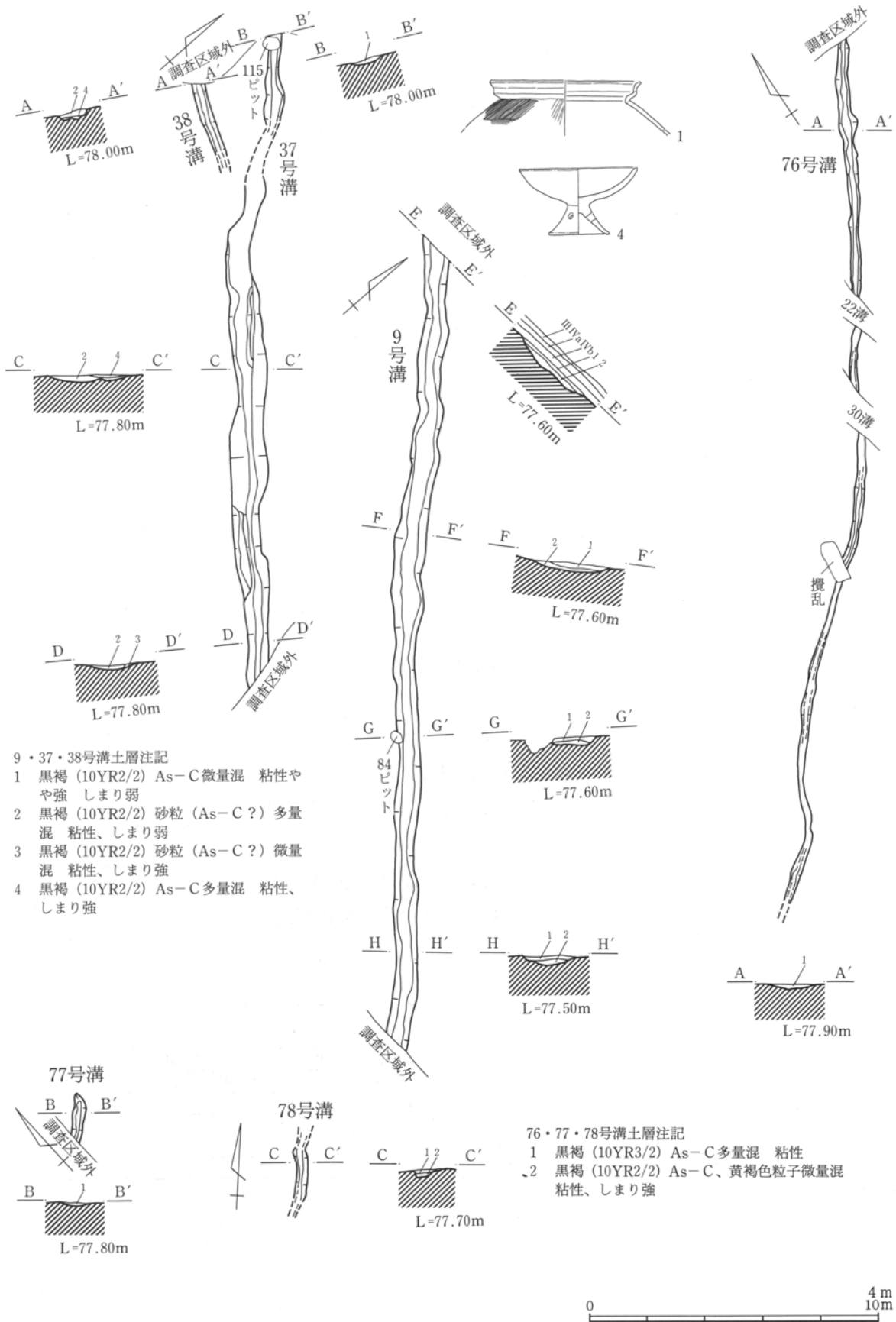
- ① 分布 調査区中部北から南東と南西に向かって3条検出されている（2条は同一の可能性が高い）。他は小規模な溝である。
- ② 規模 最大幅1.18～0.40m平均1.73m、最小幅0.62～0.20m平均0.34m、深さ13～4cm平均8cmである。
- ③ 走向 北西から南東に走るもの、北東から南西に走るものが2条ある。他は小規模である。
- ④ 機能 9・37号溝と76号溝は水田に隣接しており、走向も水田と同様のため、水田に伴う水路の可能性が高い。他の溝は性格不明である。
- ⑤ 時期 9号溝からは、古墳時代前期の遺物が出土しており、遺物の時期は4世紀後半と考えられるため、それに近い時期の溝と考えられる。他の溝は詳細な時期は不明である。

古墳時代前期溝一覧表

No	位置 Gr	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向	備考
9	865～884-767～784	84ピットと重複	[28.1]	1.11	0.62	13	N-55°-W	37号溝と同一か 総延長約90m
37	920～936-808～820	115ピットと重複	[22.5]	1.18	0.36	12	N-48°-W N-50°-W	9号溝と同一か 総延長約90m
38	931～932-918～820		2.8	0.49	0.37	4	N-67°-W	
76	913～935-840～859		[30.4]	0.70	0.20	4	N-35°-E	
77	929～930-883～884		[1.7]	0.40	0.20	6	N-45°-E	
78	910～912-883		[2.1]	0.50	0.30	10	N-6°-E	

古墳時代前期溝一覧表

種別	古式土師器								総計	
	壺		高坏		埴		計			
分類1	A		C		A		計		計	
分類2	1	計	計	計	計	計	計	計		
9	2	2	2	3	3	1	1	2	8	8



第422図 古墳時代前期溝(9・37・38・76~78号溝)

土坑

土坑は3基検出されている。

- ① 分布 調査区東部（A区）と西部（C区）に集中して検出されている。
- ② 形態 平面形態はA～Cの3形態、断面形態はa・bの2形態に分類できる。

平面形態 A 円形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）
 B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）
 C 隅丸長方形のもの

断面形態 a 底部が平らなもの
 b 不正形のもの

平面形態は、円形、楕円形、隅丸長方形各1基となっている。断面形態は底部が平らなものが2基である。

- ③ 規模 長径1.55～0.90m平均1.24m、短径1.13～0.84m平均1.00mで長径と短径の比は1.37～1.07平均1.23である。深さは5～3cm平均4cmである。面積は1.57～0.61m²平均1.10m²である。
- ④ 機能 出土遺物がなく、性格不明である。
- ⑤ 出土遺物 遺物は出土していないため、詳細な時期は不明である。

古墳時代前期土坑一覧表

No.	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
27	907～908-776～777		C	a	1.55	1.13	1.37	3	1.57	N-50°-E	
32	906～907-864～865		B	c	1.28	1.02	1.25	4	1.13	N-44°-E	
33	901～902-853～854		A	a	0.90	0.84	1.07	5	0.61	N-82°-W	

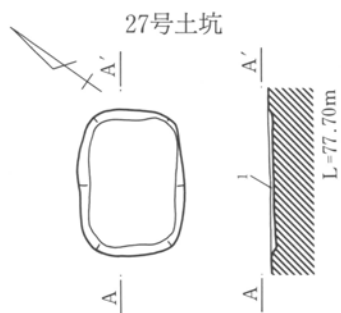
ピット

ピットは16基検出されている。

- ① 分布 調査区西部（C区）からほとんど検出されている。
- ② 規模 長径62～34cm平均50cm短径59～18cm平均38cm深さ30～1cm平均15cmである。
- ③ 特徴 性格は不明のものがほとんどである。
- ④ 時期 時期の判明する遺物の出土しているピットはないため、詳細な時期は不明である。

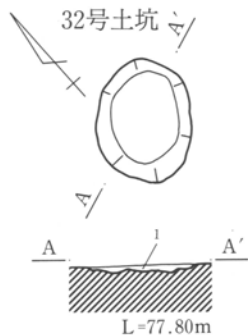
古墳時代前期ピット一覧表

No.	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	No.	位置 Gr	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	
84B	882-770～771	9溝と重複	46	32	21	179	925-884～885	180・182ピットより古, 181ピットと同	[74]	59	10	
111	925-822		38	33	5	180	925～926-884～885	179・181ピットより新	[32]	[27]	10	
112	923-822		45	40	19	181	926-884～885	179ピットと同, 180・182ピットより古	[33]	[18]	1	
113	922～923-832～833		28	24	6	182	926-884～885	179・181・183ピットより新	[70]	50	14	
114	923-832～833		36	36	9	183	926-884	182ピットより古	[49]	34	30	
115	935-824～825	37溝と重複	62	41	12	186	884～868			36	34	20
116	889-832～833		34	29	16	187	883-870～871			39	18	14
177	920-859		48	45	14	188	884-870～871			34	30	18



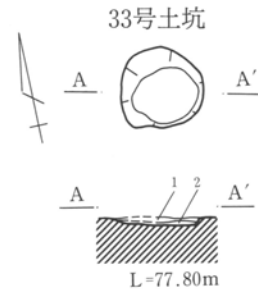
27号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-C、赤褐色土ブロック多量混 粘性、しまりやや強



32号土坑土層注記

- 1 黒 (10YR2/1) As-C少量混 シルトブロック多量混 粘性、しまり強



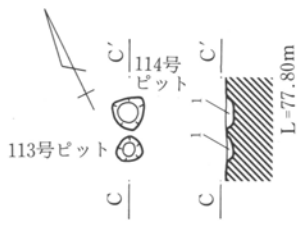
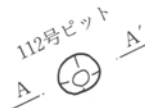
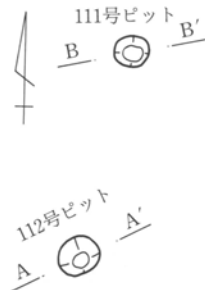
33号土坑土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-C少量混 粘性、しまり強
2 As-C多量混 粘性やや強 しまり強



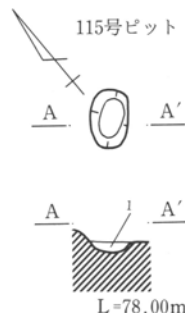
84B号ピット土層注記

- 1 暗褐 (10YR3/3) 黒褐色土ブロック少量混 粘性、しまりやや強



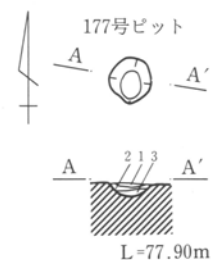
111・112・113・114号ピット土層注記

- 1 黒褐 (7.5YR2/2) As-C微量混 粘性、しまり強
2 黒褐 (7.5YR3/2) As-C、黒褐色土ブロック微量混 粘性、しまり強



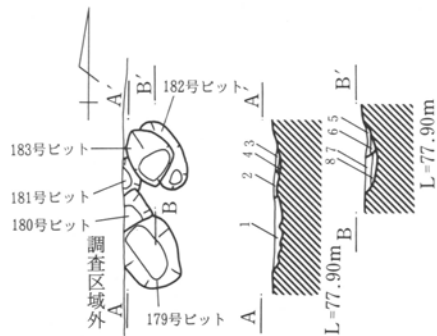
115号ピット土層注記

- 1 黒 (7.5YR2/1) As-C、シルト粒子微量混 粘性極強 しまり強



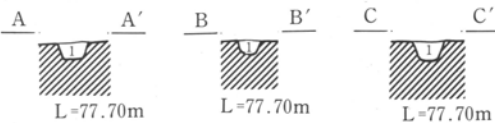
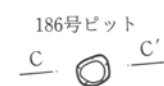
177号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR3/2) As-C少量 Hr-FA微量混 粘性やや弱 しまり強
2 黒褐 (10YR2/2) As-C、Hr-FA微量混 粘性やや弱 しまり強
3 暗褐 (10YR3/3) As-C微量混 粘性やや強 しまり強



179~183号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-C少量混 黄褐色粒子微量混 粘性、しまり強
2 黒褐 (10YR2/2) As-C微量混 シルト粒子少量混 粘性、しまり強
3 黒褐 (10YR2/2) As-C微量混 粘性、しまり強
4 黒褐 (10YR2/2) シルト粒子微量混 粘性、しまり強
5 黒褐 (10YR2/2) As-C、酸化鉄分微量混 粘性、しまり強
6 黒褐 (10YR2/2) シルト粒子微量混 粘性、しまり強
7 黒褐 (10YR2/2) As-C少量混 粘性、しまり強
8 黒褐 (10YR2/2) シルトブロック混 粘性、しまり強



186~188号ピット土層注記

- 1 黒褐 (10YR2/2) As-C微量混



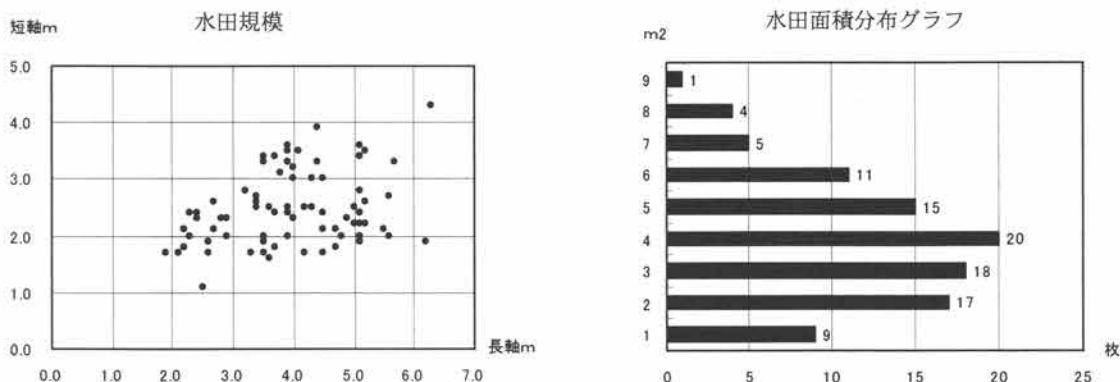
第423図 古墳時代前期土坑・ピット (27・32・33号土坑 84B・111~116・177・179・

181~183・186~188号ピット)

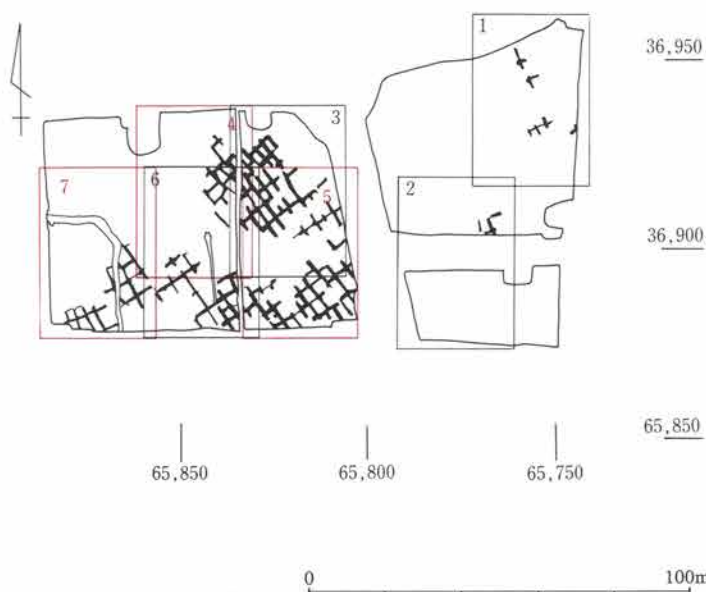
水田

西田遺跡同様As-C混土を除去したところ、上As-C混土水田の畦畔の痕跡が検出された。水田面は後世の耕作等により削平され残っていない。水田は177枚検出されている。

- ① 分布 調査区東部でも一部検出されたが調査区西部（C区）で多く検出されている。
- ② 平面形態 平面形の判明した（不確実なものも含む）64枚について、以下の3形態に分類した。
 - A 長方形（短軸：長軸が1：1.2以上）のもの
 - B 正方形（短軸：長軸が1：1.2未満）のもの
 - C 1辺が斜めに走る台形のもの
 A類が35枚で半数以上を占め、B類は9枚、C類は20枚である。
- ③ 規模 長軸6.3～1.5m平均3.7m、短軸4.3～1.1m平均2.4m、長軸と短軸の比は3.3～1.0平均1.7で、面積は19.5～1.4㎡平均8.9㎡であり、西田遺跡よりやや小さくなっている。



- ④ 主軸方位 主軸方位は長軸方向とし、短辺の中点を結んだ線の北に近い方を主軸とした。主軸が南北のものが117枚、東西のものが52枚で、南北のものが2倍以上多くなっている。10°ごとの分布を見ると、N-30～40°-Wのものが73枚と圧倒的に多く、N-40～50°-W、N-50～60°-Wが26枚で次に多くなっている。
- ⑤ 畦畔 畦畔は上部を削平され、下部の痕跡のみ残存する。最大幅0.8m最小幅0.3mで差があまりない。



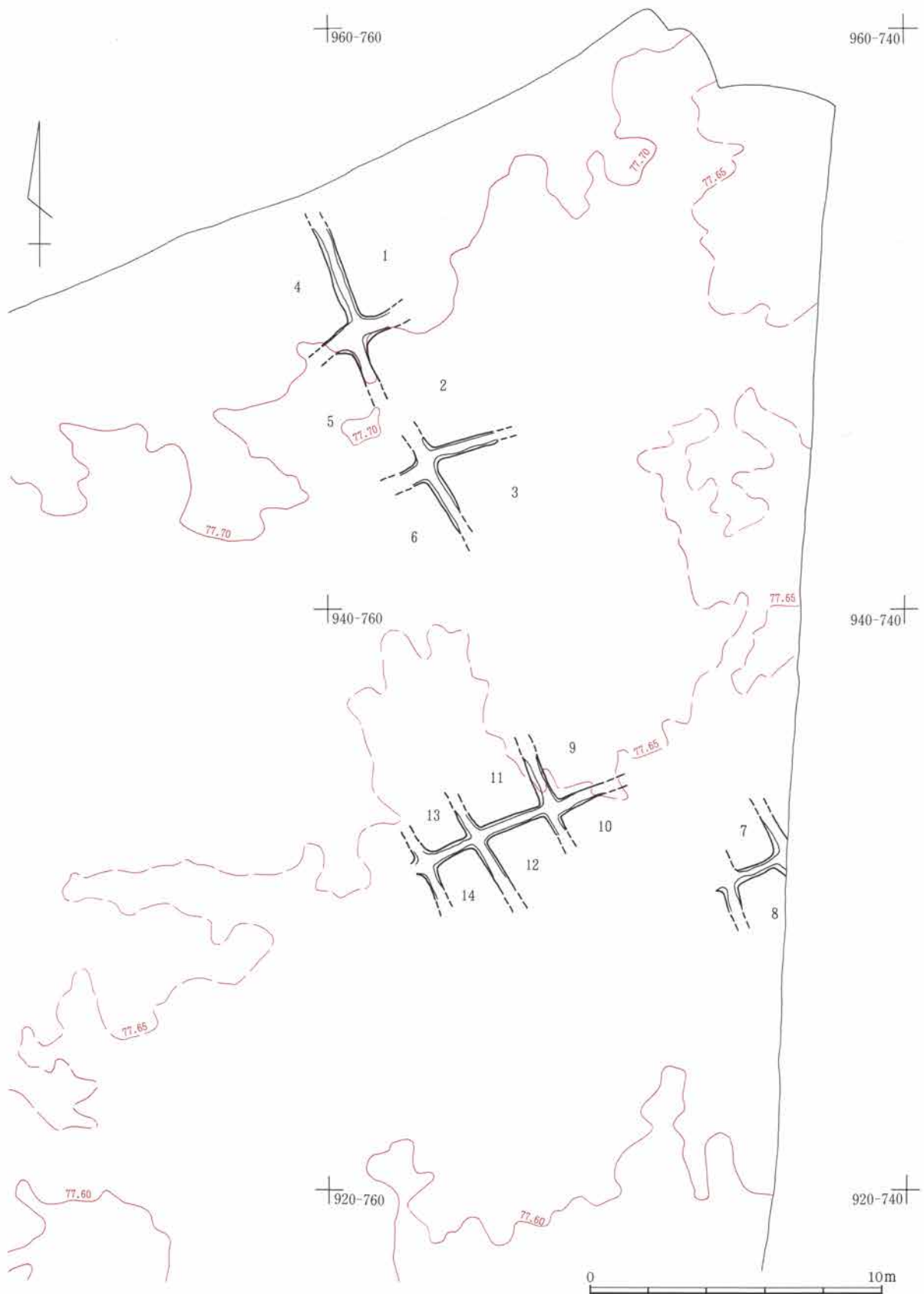
第424図 As-C混土水田平面図割付図

古墳時代前期水田一覽表

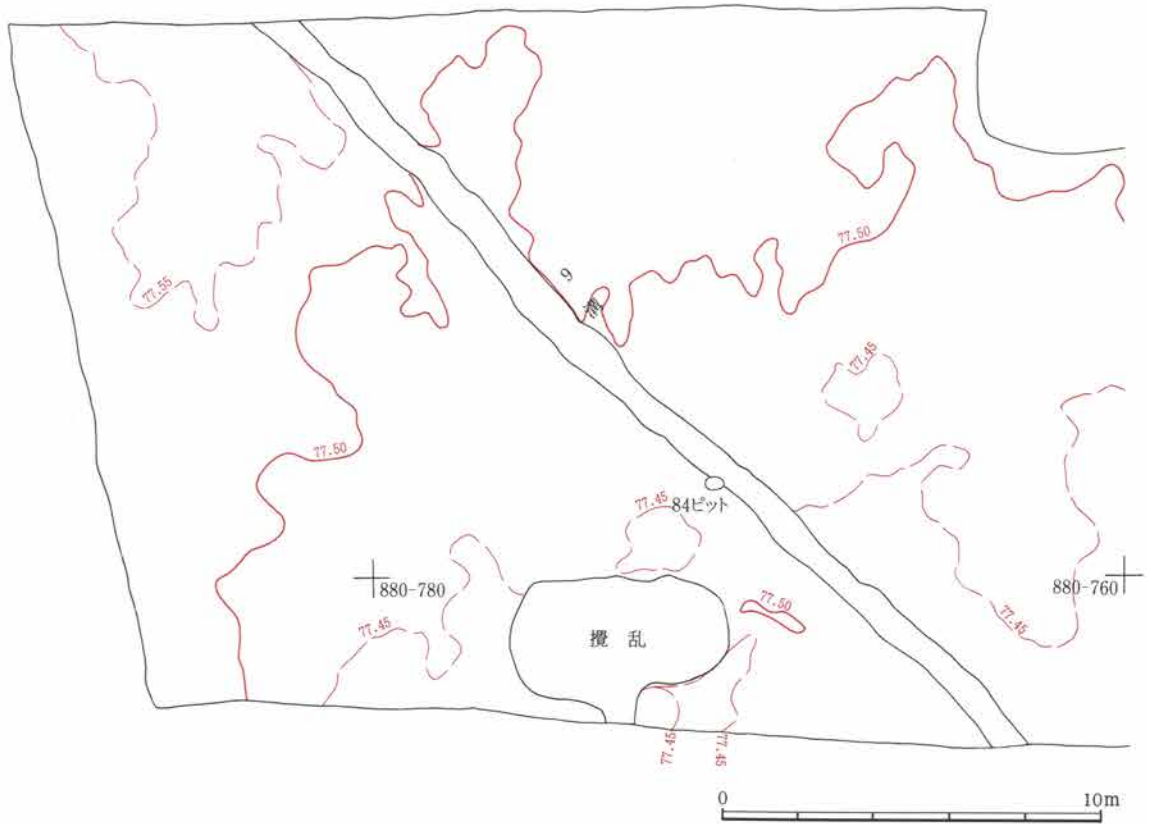
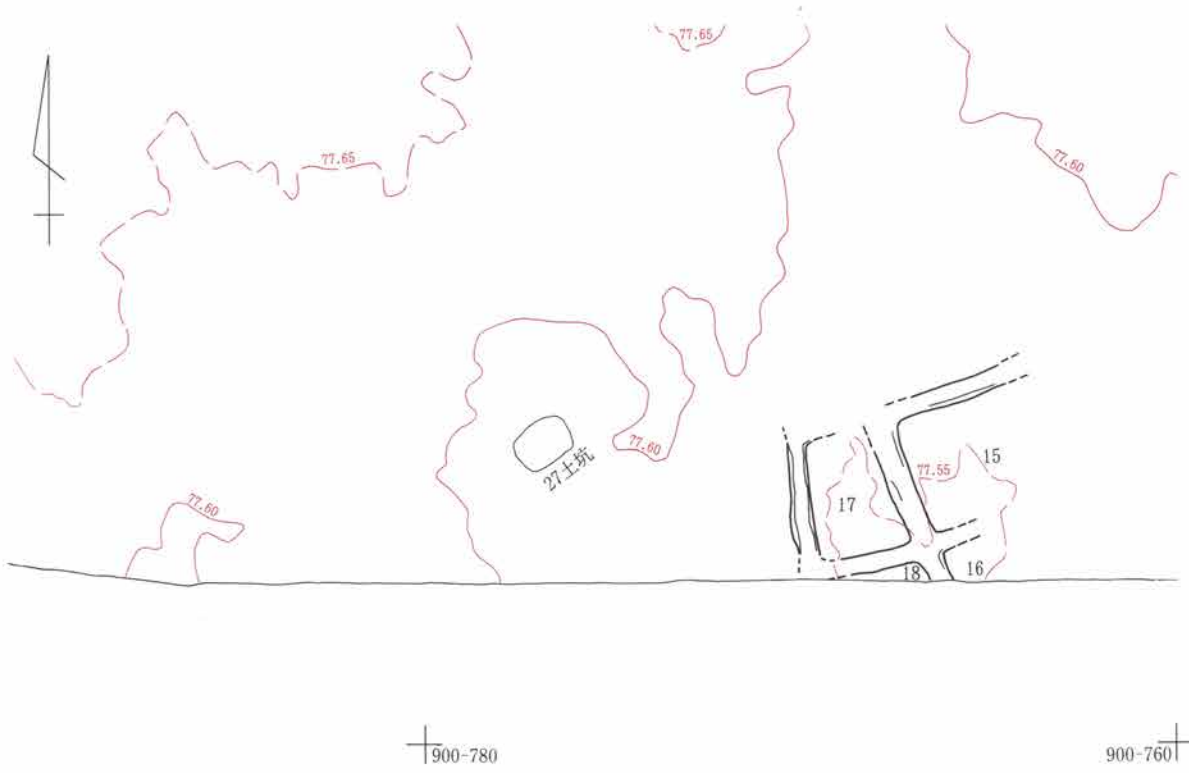
No	位置 Gr	平面 形	長軸 m	短軸 m	長軸 /短軸	面積 m ²	畦畔 標高 m	水田面標高		畦畔 比高 m	田面 比高 m	畦畔幅		畦畔長				主軸方位
								高 m	低 m			最大 m	最小 m	北 m	東 m	南 m	西 m	
1	950~953-757~760	?	[3.4]	[1.2]		[3.7]	77.73	77.73	77.73	0.00	0.00	0.5	0.4			[1.2]	[3.5]	N-22°-W
2	945~949-754~758	?	[4.5]	[3.0]		[11.7]	77.72	77.70	77.68	0.04	0.02	0.6	0.4	[1.3]		[2.5]	5.0	N-27°-W
3	943~945-954~756	?	[2.3]	[2.0]		[4.0]	77.71	77.68	77.68	0.03	0.00	0.5	0.4	[2.6]			[2.2]	N-72°-E
4	948~953-759~760	?	[3.6]	[1.4]		[5.4]	77.73	77.71	77.70	0.03	0.01	0.5	0.4		[4.0]	[1.5]		N-18°-W
5	944~948-756~759	?	4.7	[0.8]		[3.8]	77.72	77.70	77.66	0.06	0.04	0.6	0.4	[1.0]	5.2	[1.2]		N-27°-W
6	942~944-755~757	?	[2.2]	[0.7]		[1.2]	77.71	77.68	77.68	0.03	0.00	0.6	0.4	[0.7]	[2.6]			N-32°-W
7	930~932-944~946	?	[1.5]	[1.5]		[2.2]	77.64	77.63	77.63	0.01	0.00	0.5	0.3		[1.4]	2.0		N-31°-W
8	929~931-744~745	?	[1.9]	[0.8]		[1.7]	77.64	77.62	77.61	0.02	0.01	0.5	0.3	2.0	[0.5]		[1.1]	N-33°-W
9	933~935-750~752	?	[1.8]	[1.8]		[3.2]	77.64	77.65	77.64	0.00	0.01	0.5	0.4			[2.0]	[1.9]	N-26°-W
10	932~933-950~952	?	[1.9]	[0.8]		-	77.64	77.63	77.63	0.01	0.00	0.5	0.4	[2.0]			[0.8]	N-25°-E
11	932~934-952~955	?	2.4	[1.7]		[4.2]	77.64	77.64	77.63	0.01	0.01	0.5	0.3		[1.9]	2.7	[0.8]	N-70°-E
12	930~932-752~754	?	2.3	[2.2]		[4.3]	77.64	77.63	77.61	0.03	0.02	0.5	0.4	2.7	[1.0]		[2.1]	N-70°-E
13	931~933-755~756	?	1.5	[1.0]		[1.7]	77.64	77.64	77.61	0.03	0.03	0.4	0.3		[1.2]	1.9	[0.5]	N-65°-E
14	929~931-753~756	?	2.0	[1.6]		[3.1]	77.63	77.63	77.61	0.02	0.02	0.5	0.4	1.9	[2.1]		[1.2]	N-26°-W
15	905~909-764~767	?	[3.3]	[3.2]		[10.0]	77.55	77.56	77.54	0.01	0.02	0.7	0.4	[3.5]		[0.8]	[3.5]	N-72°-E
16	904~905-765~766	?	-	-		-	77.55	77.56	77.54	0.01	0.02	0.6	0.5	[0.7]			[1.0]	-
17	904~908-767~769	?	[3.3]	2.4		6.7	77.57	77.55	77.54	0.03	0.01	0.7	0.4	2.3	[3.5]	[3.0]	3.5	N-18°-W
18	904-766~768	?	[1.8]	-		-	77.55	77.53	77.53	0.02	0.00	0.6	0.4	2.7	[0.9]			N-83°-E
19	927~930-823~825	?	3.7	-		-	77.74	77.71	77.71	0.03	0.00	0.6	0.4				4.0	N-34°-W
20	915-810~813	?	[3.7]	-		-	77.72	77.70	77.67	0.05	0.03	0.5	0.4	[4.0]				N-47°-E
21	910~912-807~810	?	[2.9]	[1.9]		7.0	77.69	77.67	77.64	0.05	0.03	0.5	0.4			[2.2]	[3.5]	N-31°-W
22	906~910-806~808	?	3.7	1.8	2.06	[4.9]	77.69	77.68	77.63	0.06	0.05	0.5	0.4	[2.2]		[0.5]	4.1	N-26°-W
23	929~930-826~828	?	[1.6]	-		-	77.78	77.75	77.73	0.05	0.02	0.5	0.4			[1.9]	1.0	N-46°-W
24	925~929-824~827	A	3.6	1.6	2.25	5.8	77.78	77.74	77.69	0.09	0.05	0.7	0.4	2.2	4.0	2.2	3.9	N-36°-W
25	923~925-823~826	?	[2.5]	-		-	77.73	77.71	77.69	0.04	0.02	0.6	0.5			[0.7]	2.7	N-38°-W
26	919~924-819~823	?	[3.7]	[2.1]		7.8	77.73	77.71	77.68	0.05	0.03	0.7	0.5	[0.7]		[2.7]	4.2	N-30°-W
27	916~921-814~821	?	3.9	3.3	1.18	11.4	77.71	77.72	77.67	0.04	0.05	0.6	0.5	[2.7]			[1.1]	N-55°-E
28	913~918-814~819	?	[3.8]	3.1		12.5	77.71	77.71	77.66	0.05	0.05	0.8	0.6			[4.3]	[4.0]	N-51°-E
29	913~915-813~815	?	[2.2]	[0.9]		[2.4]	77.69	77.67	77.66	0.03	0.01	0.6	0.5	2.2			[1.4]	N-54°-E
30	918~922-809~813	?	[2.9]	[2.4]		6.7	77.69	77.67	77.66	0.03	0.01	0.5	0.4		[3.1]	2.7	[1.2]	N-31°-W
31	906~909-807~811	C	4.0	2.3	1.74	9.3	77.69	77.69	77.66	0.03	0.03	0.5	0.4	2.7	4.1	2.5	4.4	N-32°-W
32	912~913-814~816		1.7	[1.0]		[1.6]	77.69	77.67	77.66	0.03	0.01	0.7	0.5	[2.1]	[0.6]		[1.3]	N-55°-E
33	907~909-812~815		[2.6]	2.0		5.7	77.69	77.69	77.66	0.03	0.03	0.6	0.4		[1.1]	2.3	[2.9]	N-32°-W
34	905~908-810~813		2.3	2.0	1.15	[4.8]	77.69	77.67	77.67	0.02	0.00	0.6	0.5	2.3			[3.1]	N-32°-W
35	901~902-806~810		[3.2]	[2.4]		7.5	77.68	77.66	77.65	0.03	0.01	0.5	0.4			[3.3]	[2.4]	N-52°-E
36	900~902-806~808		[3.1]	-		-	77.68	77.62	77.62	0.06	0.00	0.5	0.4	[3.3]				N-52°-E
37	927~929-827~830		2.1	[1.1]		[1.9]	77.79	77.78	77.76	0.03	0.02	0.5	0.4		[1.0]	2.4	[0.6]	N-56°-E
38	924~927-827~829	C	3.5	1.9	1.84	- 5.5	77.79	77.75	77.69	0.10	0.06	0.7	0.4	2.4	3.7	2.0	4.0	N-38°-W
39	922~924-824~826	A	2.2	1.8	1.22	[3.6]	77.73	77.72	77.69	0.04	0.03	0.6	0.5	2.0	2.6	2.0	2.4	N-44°-W
40	924~928-830~833		[2.7]	2.4		6.8	77.79	77.80	77.74	0.05	0.06	0.6	0.5		[0.5]	2.7	[2.6]	N-52°-W
41	922~925-827~831	A	3.9	2.0	1.95	7.3	77.79	77.74	77.71	0.08	0.03	0.7	0.4	2.7	3.8	2.5	3.7	N-42°-W
42	918~923-823~827		2.5	1.1		8.1	77.72	77.71	77.67	0.05	0.04	0.6	0.4	2.2	5.3	2.2	5.3	N-38°-W
43	919~922-822~824		2.5	[1.1]		-	77.73	77.74	77.71	0.02	0.03	0.7	0.6	2.0	2.3	1.8	2.6	N-34°-W
44	915~919-820~824		3.5	3.3	1.06	9.3	77.71	77.71	77.66	0.05	0.05	0.7	0.5	3.6	[3.7]	3.3	[3.2]	N-30°-W
45	911~916-818~822		4.3	3.0	1.43	11.3	77.72	77.69	77.64	0.08	0.05	0.7	0.4	3.3	4.5	3.5	4.3	N-36°-W
46	910~912-816~820		3.6	[1.6]		[6.2]	77.69	77.67	77.66	0.03	0.01	0.8	0.5	4.0	[1.9]		[1.2]	N-59°-E
47	905~906-814~818		3.5	[2.6]		[9.0]	77.71	77.68	77.66	0.05	0.02	0.5	0.4		[2.8]	3.7	[1.5]	N-60°-E
48	903~906-812~816		3.2	[1.9]		[6.1]	77.71	77.71	77.66	0.05	0.05	0.6	0.4	3.7	[2.0]		[1.5]	N-55°-E
49	900~902-809~810		[2.5]	-		-	77.68	77.65	77.64	0.04	0.01	0.6	0.4		[2.5]			N-43°-W
50	929-839~840		[1.5]	-		-	77.87	77.85	77.84	0.03	0.01	0.6	0.4				[1.4]	N-51°-W
51	928-838~839		[1.1]	-		-	77.87	77.85	77.85	0.02	0.00	0.5	0.4				[1.1]	N-41°-W
52	922~926-831~836	A	5.1	1.9	2.68	9.1	77.79	77.75	77.71	0.08	0.04	0.6	0.5	2.0	5.5	2.2	5.5	N-59°-W
53	920~923-829~831	B?	1.9	1.7	1.12	3.4	77.75	77.73	77.69	0.06	0.04	0.7	0.5	2.2	2.2	2.5	[1.8]	N-46°-E
54	916~921-825~830	A	5.0	2.2	2.27	10.1	77.74	77.75	77.65	0.09	0.10	0.6	0.3	2.5	5.2	2.5	5.2	N-36°-W
55	914~917-823~826	A	2.9	2.0	1.45	5.5	77.74	77.72	77.67	0.07	0.05	0.6	0.3	2.5	3.2	2.5	3.1	N-33°-W
56	910~914-821~825	A	4.2	1.7	2.47	7.4	77.72	77.70	77.65	0.07	0.05	0.7	0.5	2.5	4.3	2.1	4.7	N-37°-W
57	925~929-840		2.2	[1.3]		2.8	77.87	77.86	77.85	0.02	0.01	0.6	0.4		[1.4]	2.7	[0.8]	N-44°-E
58	923~936-840	A	4.9	2.3	2.13	11.2	77.87	77.81	77.80	0.07	0.01	0.8	0.4	2.7	5.3	2.6	5.5	N-39°-W
59	919~924-831~836	C	6.3	4.3	1.47	11.4	77.81	77.75	77.72	0.09	0.03	0.8	0.4	2.4	6.7	2.3	6.3	N-50°-W

No	位置 Gr	平面 形状	長軸 m	短軸 m	長軸 / 短軸	面積 m ²	畦畔 標高 m	水面標高		畦畔 比高 m	田面 比高 m	畦畔幅		畦畔長				主軸方位
								高 m	低 m			最大 m	最小 m	北 m	東 m	南 m	西 m	
60	915~919-828~833	A	4.8	2.0	2.40	9.0	77.77	77.74	77.71	0.06	0.03	0.6	0.4	2.3	5.2	2.2	5.2	N-40°-W
61	912~915-825~828	A	2.6	1.7	1.53	5.3	77.77	77.73	77.69	0.08	0.04	0.6	0.4	2.2	3.1	2.3	3.3	N-35°-W
62	908~913-823~826	A	4.5	1.7	2.65	7.8	77.71	77.68	77.63	0.08	0.05	0.6	0.4	2.2	4.7	2.3	5.0	N-38°-W
63	905~910-820~824	B?	[3.4]	3.5		11.2	77.71	77.68	77.63	0.08	0.05	0.8	0.5	4.1	[1.5]		[3.4]	N-41°-W
64	903~908-817~819		3.1	[1.7]		4.0	77.71	77.70	77.67	0.04	0.03	0.5	0.4		[1.5]	[3.5]		N-51°-E
65	904-816~817		-	-		-	77.71	77.67	77.65	0.06	0.02	0.5	0.4	[1.2]	[1.0]			-
66	920~926-838~844		[4.8]	4.0		19.5	77.83	77.83	77.76	0.07	0.07	0.6	0.4		[5.0]	4.3	[1.6]	N-42°-W
67	919~922-835~839	C	3.5	1.7	2.06	5.6	77.79	77.76	77.76	0.03	0.00	0.6	0.4	2.0	3.7	2.2	4.0	N-53°-W
68	915~920-830~836	C	6.2	1.9	3.26	12.2	77.78	77.75	77.72	0.06	0.03	0.6	0.5	2.4	6.6	2.3	6.2	N-42°-W
69	911~916-827~831	A	5.1	2.0	2.55	8.8	77.77	77.75	77.68	0.09	0.07	0.7	0.4	2.3	5.3	2.3	5.2	N-37°-W
70	907~971-824~828	A	4.5	2.1	2.14	9.2	77.73	77.68	77.64	0.09	0.04	0.6	0.4	2.3	4.7	2.5	5.0	N-34°-W
71	903~907-822~825		[3.8]	2.4		7.3	77.71	77.68	77.66	0.05	0.02	0.6	0.5	2.5	3.5			N-39°-W
72	917~921-837~840	C	3.9	2.4	1.63	7.7	77.79	77.77	77.77	0.02	0.00	0.6	0.4	2.1	3.9	2.8	4.3	N-38°-W
73	913~918-832~836	C	5.6	2.7	2.07	11.9	77.78	77.76	77.72	0.06	0.04	0.6	0.4	2.8	6.2	2.3	5.6	N-49°-W
74	909~914-829~833	A	4.7	1.8	2.61	8.0	77.77	77.72	77.71	0.06	0.01	0.7	0.4	2.3	5.1	2.2	5.8	N-28°-W
75	905~910-826~831	A	4.7	2.1	2.24	8.8	77.74	77.71	77.67	0.07	0.04	0.6	0.4	2.3	5.1	2.0	5.1	N-32°-W
76	903~905-824~827		[3.4]	[2.1]		[6.0]	77.71	77.69	77.68	0.03	0.01	0.6	0.5	[2.2]	[3.3]			N-29°-W
77	919~921-842~844		[1.5]	[1.2]		-	77.81	77.80	77.80	0.01	0.00	0.6	0.4		[1.2]	4.2		N-34°-W
78	915~920-839~844	A	4.0	3.0	1.33	12.2	77.81	77.78	77.78	0.03	0.00	0.6	0.4	4.2	3.3	4.3	3.3	N-48°-E
79	912~917-838~842	C	4.5	3.0	1.50	11.6	77.83	77.80	77.69	0.14	0.11	0.6	0.4	4.3	2.7	5.0	3.7	N-46°-E
80	911~915-834~848		3.9	2.5	1.56	9.3	77.83	77.78	77.78	0.05	0.00	0.6	0.4	2.7	4.3		[2.7]	N-53°-W
81	907~913-831~836	A?	5.1	2.8	1.82	14.2	77.74	77.73	77.71	0.03	0.02	0.7	0.5		5.4	3.1	[0.6]	N-40°-W
82	905~908-828~832		4.3	2.5		8.4	77.73	77.73	77.68	0.05	0.05	0.7	0.4	3.0	[1.3]		[2.2]	N-39°-W
83	909~913-836~841		3.6	[2.8]		9.8	77.83	77.78	77.73	0.10	0.05	0.6	0.4	3.2	[3.0]		3.6	N-47°-E
84	905~910-833~841		4.4	3.3	1.33	13.5	77.75	77.75	77.75	0.00	0.00							N-42°-W
85	905~907-832~834		[2.2]	2.2		6.8	77.73	77.72	77.71	0.02	0.01	0.5	0.4	[0.5]	[2.7]			N-37°-W
86	895~897-804~809		2.2	[1.8]		3.7	77.61	77.61	77.58	0.03	0.03	0.5	0.4			[1.5]	[2.0]	N-36°-W
87	893~895-803~805		[2.4]	[1.0]		1.4	77.61	77.56	77.56	0.05	0.00	0.6	0.3	[1.5]			[3.2]	N-37°-W
88	893~897-810~805		3.2	[2.8]		[8.3]	77.63	77.61	77.56	0.07	0.05	0.6	0.4		[2.2]	3.8	[3.0]	N-56°-W
89	889~894-802~808	C	5.7	3.3	1.73	[16.6]	77.61	77.59	77.52	0.09	0.07	0.5	0.4	3.8	[3.3]	[2.0]	5.7	N-34°-W
90	886~889-803~804		[1.9]	[1.5]		[1.7]	77.54	77.51	77.49	0.05	0.02	0.6	0.4	[2.9]			[3.1]	N-41°-W
91	894~897-812~815		[3.7]	[1.5]		9.9	77.63	77.62	77.61	0.02	0.01	0.6	0.4			[1.6]	[3.9]	N-42°-W
92	891~895-809~912	C	3.4	2.6	1.31	8.2	77.63	77.61	77.56	0.07	0.05	0.7	0.4	3.1	3.2	2.6	3.7	N-33°-W
93	887~892-805~810	C	5.2	2.2	2.36	11.6	77.58	77.56	77.51	0.07	0.05	0.6	0.4	2.6	5.5	3.0	5.5	N-39°-W
94	883~887-803~807		[4.5]	2.0		[8.3]	77.53	77.52	77.51	0.02	0.01	0.6	0.4	2.6	[2.7]		[4.8]	N-41°-W
95	893~896-814~816		[2.6]	[2.2]		[5.7]	77.63	77.64	77.61	0.02	0.03	0.6	0.4		[2.4]	3.3		N-58°-E
96	890~894-812~816	A	3.7	2.4	1.54	8.6	77.63	77.61	77.56	0.07	0.05	0.6	0.4	3.3	2.8	4.1	3.1	N-47°-E
97	888~892-810~814	A	3.8	3.1	1.23	12.2	77.59	77.57	77.53	0.06	0.04	0.6	0.4	4.1	3.6	4.1	3.6	N-55°-E
98	884~890-807~812	B?	3.7	3.4	1.09	12.5	77.59	77.49	77.49	0.10	0.00	0.5	0.4	4.1	4.3	3.8	4.2	N-32°-W
99	880~886-804~808		[4.4]	2.1		8.8	77.53	77.51	77.51	0.02	0.00	0.6	0.4	2.4	[4.7]		[3.8]	N-45°-W
100	889~892-815~818		2.1	[2.0]		6.1	77.61	77.60	77.58	0.03	0.02	0.6	0.4		[2.0]	3.1	[2.1]	N-55°-E
101	895~889-813~817	A	3.4	2.7	1.26	8.8	77.61	77.59	77.53	0.08	0.06	0.6	0.4	3.1	3.6	3.0	3.9	N-35°-W
102	883~887-810~815	C	3.6	2.5	1.44	8.6	77.54	77.57	77.48	0.06	0.09	0.7	0.4	3.0	4.0	2.9	3.5	N-37°-W
103	880~884-807~810		[3.9]	1.9		6.5	77.52	77.54	77.48	0.04	0.06	0.6	0.4	2.3	[3.6]		[2.0]	N-30°-W
104	881~883-810~812		[1.6]	1.7		2.6	77.54	77.51	77.47	0.07	0.04	0.6	0.4	2.1	[2.0]		[0.7]	N-30°-W
105	887~890-818~819		[2.0]	1.3		2.2	77.61	77.61	77.59	0.02	0.02	0.6	0.4		[2.2]	[1.7]		N-25°-W
106	884~888-816~819	A	3.3	1.7	1.94	5.5	77.61	77.57	77.56	0.05	0.01	0.6	0.4	2.1	3.6	2.1	3.6	N-32°-W
107	882~885-813~817	A	3.5	2.0	1.75	6.4	77.59	77.56	77.54	0.05	0.02	0.6	0.4	2.3	3.7	2.6	3.7	N-37°-W
108	881~882-813~814		-	-		-	77.54	77.52	77.52	0.02	0.00	0.6	0.4	2.5	[0.9]			-
109	890~892-823~825		-	-		-	77.63	77.60	77.59	0.04	0.01	0.6	0.4	[2.0]			[0.9]	N-56°-E
110	883~886-817~820		[2.0]	2.5		[4.5]	77.59	77.56	77.53	0.06	0.03	0.7	0.4		[2.3]	2.9	[0.7]	N-40°-W
111	879~883-815~819		[3.6]	2.3		[8.5]	77.58	77.56	77.48	0.10	0.08	0.6	0.4	2.9	3.7		[3.6]	N-34°-W
112	885~890-823~828	A	5.0	2.5	2.00	12.6	77.62	77.60	77.56	0.06	0.04	0.6	0.4	2.9	5.2	2.6	5.7	N-34°-W
113	880~886-820~824	A	4.5	2.4	1.88	10.4	77.58	77.53	77.49	0.09	0.04	0.7	0.4	3.0	4.8	2.5	4.5	N-34°-W
114	889~882-818~821		[2.6]	2.4		[6.1]	77.57	77.53	77.49	0.08	0.04	0.7	0.4	2.7	[3.0]		[2.2]	N-34°-W
115	888~890-828~831		2.9	[2.1]		[6.2]	77.62	77.61	77.58	0.04	0.03	0.6	0.4		[0.7]	3.2	[2.3]	N-34°-W
116	883~889-825~830	A	5.6	2.0	2.80	[11.8]	77.62	77.60	77.54	0.08	0.06	0.6	0.4	2.6	5.8	2.2	6.3	N-34°-W
117	881~884-824~826	A	2.1	1.7	1.24	3.4	77.58	77.55	77.52	0.06	0.03	0.7	0.5	2.5	2.3	2.7	2.1	N-51°-E
118	879~882-822~825	A	2.6	1.9	1.37	4.4	77.54	77.52	77.48	0.06	0.04	0.7	0.5	2.7	2.2	2.8	2.2	N-56°-E

No	位置 Gr	平面 形状	長軸 m	短軸 m	長軸 / 短軸	面積 m ²	畦畔 標高 m	水田面標高		畦畔 比高 m	田面 比高 m	畦畔幅		畦畔長				主軸方位	
								高 m	低 m			最大 m	最小 m	北 m	東 m	南 m	西 m		
119	879~880-821~824		2.4	[1.7]		[2.7]	77.54	77.51	77.49	0.05	0.02	0.6	0.4	2.7	[2.3]		0.5	N-60°-E	
120	889~893-834~836		[4.1]	2.6		9.5	77.64	77.63	77.63	0.01	0.00	0.5	0.3	[2.0]		3.2	4.2	N-23°-W	
121	886~890-831~834		2.8	2.3	1.22	6.3	77.61	77.59	77.57	0.04	0.02	0.5	0.4	3.2	2.1	3.4	2.8	N-61°-E	
122	884~887-830~833	C	2.7	2.1	1.29	5.5	77.61	77.57	77.53	0.08	0.04	0.7	0.5	[0.7]	2.5	3.2	2.7	N-61°-E	
123	883~885-827~831	A	3.4	2.5	1.36	[6.8]	77.59	77.56	77.53	0.06	0.03	0.6	0.5	3.2	3.7	3.5	4.0	N-33°-W	
124	887~892-835~840	C	3.9	3.6	1.08	13.2	77.64	77.63	77.61	0.03	0.02	0.5	0.3	4.2	4.2	3.7	4.2	N-20°-W	
125	885~889-834~838	C	3.2	2.8	1.14	8.1	77.63	77.58	77.57	0.06	0.01	0.5	0.4	3.7	3.0	3.0	3.6	N-63°-E	
126	883~886-832~836	B	2.7	2.6	1.04	6.8	77.57	77.54	77.52	0.05	0.02	0.5	0.3	3.0	2.9	3.0	3.0	N-33°-W	
127	880~883-831~834		[2.5]	2.2		5.5	77.57	77.56	77.52	0.05	0.04	0.6	0.4	3.0	4.0			N-58°-E	
128	899-848		-	-		-	77.64	77.65	77.63	0.01	0.02	0.6	0.4			[1.3]		-	
129	895~899-845~848		3.3	1.7	1.94	6.3	77.64	77.65	77.62	0.02	0.03	0.5	0.4	[1.3]		[1.7]	4.2	N-33°-W	
130	894~895-844~845		[1.0]	-		-	77.63	77.61	77.61	0.02	0.00	0.5	0.4	[1.7]			5.6	N-30°-W	
131	886~899-838~841		[2.2]	[1.8]		[4.7]	77.63	77.60	77.60	0.03	0.00	0.6	0.4		[2.3]	2.7		N-30°-W	
132	884~887-837~840	B	2.4	2.3	1.04	5.3	77.63	77.56	77.55	0.08	0.01	0.6	0.4	2.7	2.8	2.5	2.7	N-30°-W	
133	881~884-834~838	C	2.9	2.3	1.26	5.8	77.57	77.54	77.52	0.05	0.02	0.5	0.4	2.5	3.2	2.7	2.7	N-37°-W	
134	879~882-834~836		2.5	[2.4]		[5.7]	77.53	77.52	77.51	0.02	0.01	0.5	0.3	2.7	1.0		[2.5]	N-28°-W	
135	897~898-849~852		[1.1]	[2.6]		[2.8]	77.67	77.65	77.63	0.04	0.02	0.6	0.4			3.0	[1.3]	N-62°-W	
136	894~898-846~851	A	4.2	2.5	1.68	10.8	77.67	77.65	77.62	0.05	0.03	0.6	0.4	2.7	4.7	2.7	4.5	N-37°-W	
137	889~894-843~848	A	5.1	2.4	2.13	12.5	77.64	77.62	77.58	0.06	0.04	0.6	0.4	2.7	5.6	3.2	5.5	N-28°-W	
138	885~890-840~845	A	5.1	2.2	2.32	10.3	77.62	77.56	77.55	0.07	0.01	0.5	0.4	0.6		2.6	5.5	N-28°-W	
139	882~885-839~842	B	2.3	2.4	0.96	5.5	77.57	77.54	77.54	0.03	0.00	0.5	0.4	2.6	2.7	2.7	2.7	N-34°-W	
140	880~883-837~840	B	2.4	2.4	1.00	5.9	77.56	77.52	77.52	0.04	0.00	0.5	0.4	2.7	2.7	[2.2]	2.7	N-34°-W	
141	879~881-835~838		[2.2]	2.1		3.5	77.53	77.51	77.51	0.02	0.00	0.5	0.3	[2.0]	[2.4]			N-34°-W	
142	896~897-852		[1.2]	[1.2]		-	77.67	77.62	77.62	0.05	0.00	0.6	0.5		[1.3]	[1.3]		N-62°-W	
143	891~896-849~853	C	4.0	3.2	1.25	10.8	77.67	77.66	77.62	0.05	0.04	0.6	0.4	[1.7]	4.5	3.7	[2.2]	N-40°-W	
144	887~893-846~851	A	5.1	3.4	1.50	17.7	77.64	77.62	77.61	0.03	0.01	0.6	0.4	3.7	5.3	[0.6]	[3.0]	N-34°-W	
145	883~889-842~848	A	5.1	3.6	1.42	17.3	77.62	77.58	77.54	0.08	0.04	0.6	0.4	[1.5]	5.5	3.8		N-30°-W	
146	879~884-840~845		5.2	3.5	1.49	14.9	77.57	77.53	77.52	0.05	0.01	0.6	0.4	3.8	[4.1]		[2.6]	N-35°-W	
147	901~903-863~865		[1.7]	[1.3]		[2.2]	77.71	77.70	77.70	0.01	0.00	0.6	0.3			[1.7]	[1.5]	N-40°-W	
148	897~901-862~863		[3.9]	-		-	77.71	77.70	77.67	0.04	0.03	0.5	0.4	[1.7]		[0.4]	4.1	N-35°-W	
149	895~897-859~861		[2.7]	-		-	77.71	77.67	77.67	0.04	0.00	0.5	0.4	[0.4]			3.2	N-35°-W	
150	892~858~859		[2.5]	-		-	77.68	77.66	77.66	0.02	0.00	0.5	0.3				[2.7]	N-33°-W	
151	889~893-851~856		4.8	[1.9]		[8.7]	77.68	77.69	77.67	0.01	0.02	0.5	0.4		[2.1]	5.0	[1.3]	N-62°-E	
152	887~890-850~853		[2.9]	2.0		5.7	77.63	77.61	77.60	0.03	0.01	0.5	0.4	2.3	[2.9]		[0.4]	N-32°-W	
153	880~881-844~855		[2.5]	-		-	77.56	77.53	77.53	0.03	0.00	0.6	0.4		[2.6]			N-35°-W	
154	887~889-853~855		2.1	[2.0]		[3.9]	77.68	77.64	77.63	0.05	0.01	0.5	0.4	2.5	[0.4]		[2.3]	N-57°-E	
155	900~901-864~865		-	-		-	77.71	77.70	77.70	0.01	0.00	0.5	0.4		[1.2]			-	
156	895~900-862~866	B	3.5	3.4	1.03	11.0	77.71	77.66	77.66	0.05	0.00	0.5	0.4			3.9	3.8	[1.6]	N-34°-W
157	892~896-860~864	C	3.9	3.5	1.11	11.8	77.71	77.70	77.66	0.05	0.04	0.5	0.4	3.8	3.6	4.4	3.9	N-58°-E	
158	888~893-857~862	B	4.4	3.9	1.13	16.5	77.71	77.70	77.65	0.06	0.05	0.7	0.5	4.4	4.5	4.7	4.2	N-58°-E	
159	884~890-855~860		4.7	[3.9]		17.0	77.68	77.67	77.61	0.07	0.06	0.5	0.4	4.7	[1.2]		[4.0]	N-63°-E	
160	895~868~869		-	-		-	77.68	77.68	77.68	0.00	0.00	0.4	0.4			[1.3]	[0.5]	-	
161	895~896~865		-	-		-	77.67	77.67	77.67	0.00	0.00	0.4	0.4		[0.9]	[0.7]		-	
162	890~995-863~868		[5.1]	3.4		15.0	77.68	77.66	77.66	0.02	0.00	0.6	0.4	3.8	4.2	4.0	5.3	N-28°-W	
163	886~891-861~866	C	4.1	3.5	1.17	14.8	77.68	77.67	77.60	0.08	0.07	0.6	0.4	4.3	4.3	3.8	4.9	N-33°-W	
164	884~887-859~863		[3.3]	3.2		8.4	77.64	77.62	77.60	0.04	0.02	0.5	0.4	3.8	[3.5]		[1.4]	N-26°-W	
165	889~894-867~871		[5.0]	2.8		13.0	77.68	77.68	77.68	0.00	0.00	0.5	0.4			5.3	3.0	N-23°-W	
166	884~889-864~869		5.2	2.6	2.00	12.0	77.68	77.68	77.65	0.03	0.03	0.5	0.4	2.6	4.9			N-38°-W	
167	888~889-870		-	-		-	77.68	77.65	77.65	0.03	0.00							-	
168	884~886-869~872		2.4	[1.0]		[2.2]	77.65	77.65	77.63	0.02	0.02	0.5	0.4			[2.7]	[1.2]	N-64°-E	
169	879~885-866~871		5.3	[3.0]		15.6	77.67	77.65	77.58	0.09	0.07	0.5	0.4	[3.1]		[3.0]		N-28°-W	
170	878~880-865~868		[3.4]	[1.1]		[3.4]	77.57	77.56	77.56	0.01	0.00	0.5	0.4	[3.4]			[0.5]	N-66°-E	
171	883~886-872~875		[2.2]	1.9		[4.4]	77.60	77.60	77.59	0.01	0.01	0.6	0.4		[0.8]	2.2	[2.3]	N-67°-E	
172	878~883-869~874	A	5.5	2.1	2.62	[10.2]	77.60	77.60	77.55	0.05	0.05	0.5	0.4	2.5	5.7	[1.2]	[4.3]	N-32°-W	
173	882~885-873~877	C	2.2	2.1	1.05	5.2	77.60	77.60	77.58	0.02	0.02	0.6	0.4	2.2	[2.8]	2.7	2.8	N-23°-W	
174	879~882-872~876		[3.3]	2.6		[8.4]	77.60	77.55	77.54	0.06	0.01	0.6	0.4	2.7	[4.2]		[3.0]	N-30°-W	
175	882~884-877~879	A	2.6	1.7	1.53	4.1	77.60	77.60	77.58	0.02	0.02	0.7	0.5	2.2	3.0	2.0	2.8	N-18°-W	
176	879~881-876~879		[2.6]	[2.2]		[4.4]	77.59	77.55	77.54	0.05	0.01	0.6	0.4	3.0	[3.0]			N-23°-W	
177	880~883-879~880		2.9	[1.0]		[2.6]	77.60	77.60	77.58	0.02	0.02	0.7	0.5		[2.5]	[1.0]		N-18°-W	



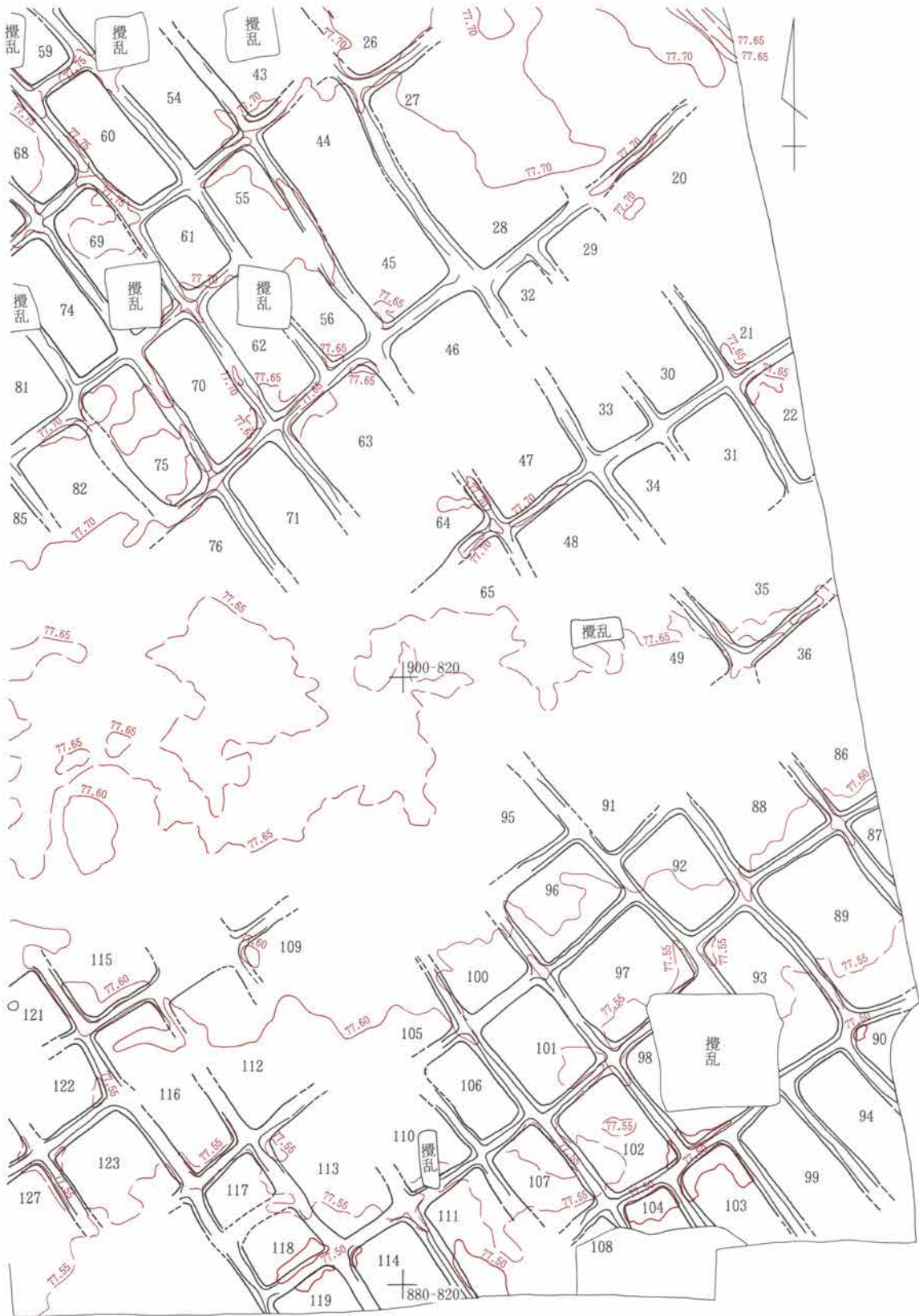
第425図 As-C 混土水田1



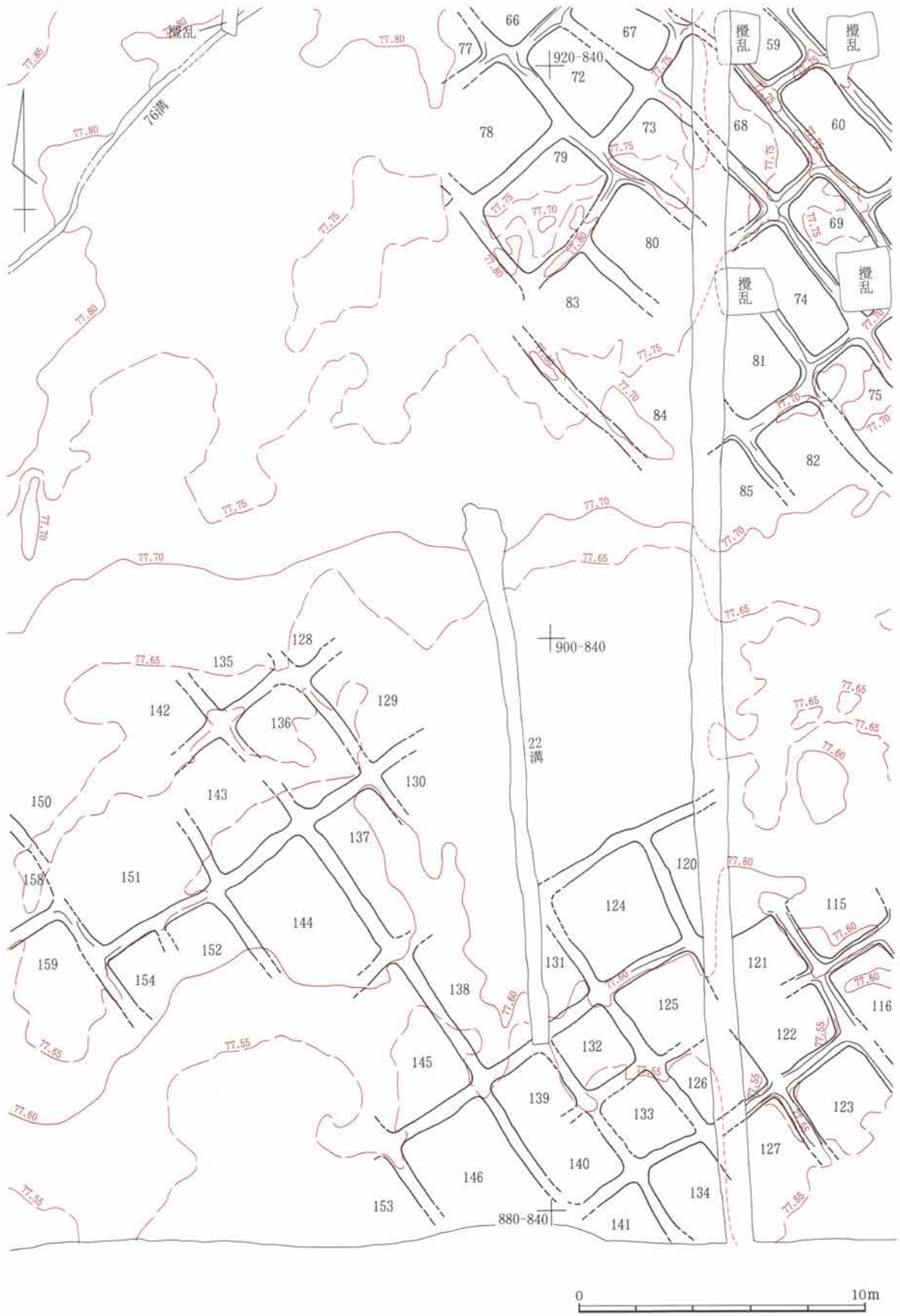
第426図 As-C 混土水田 2



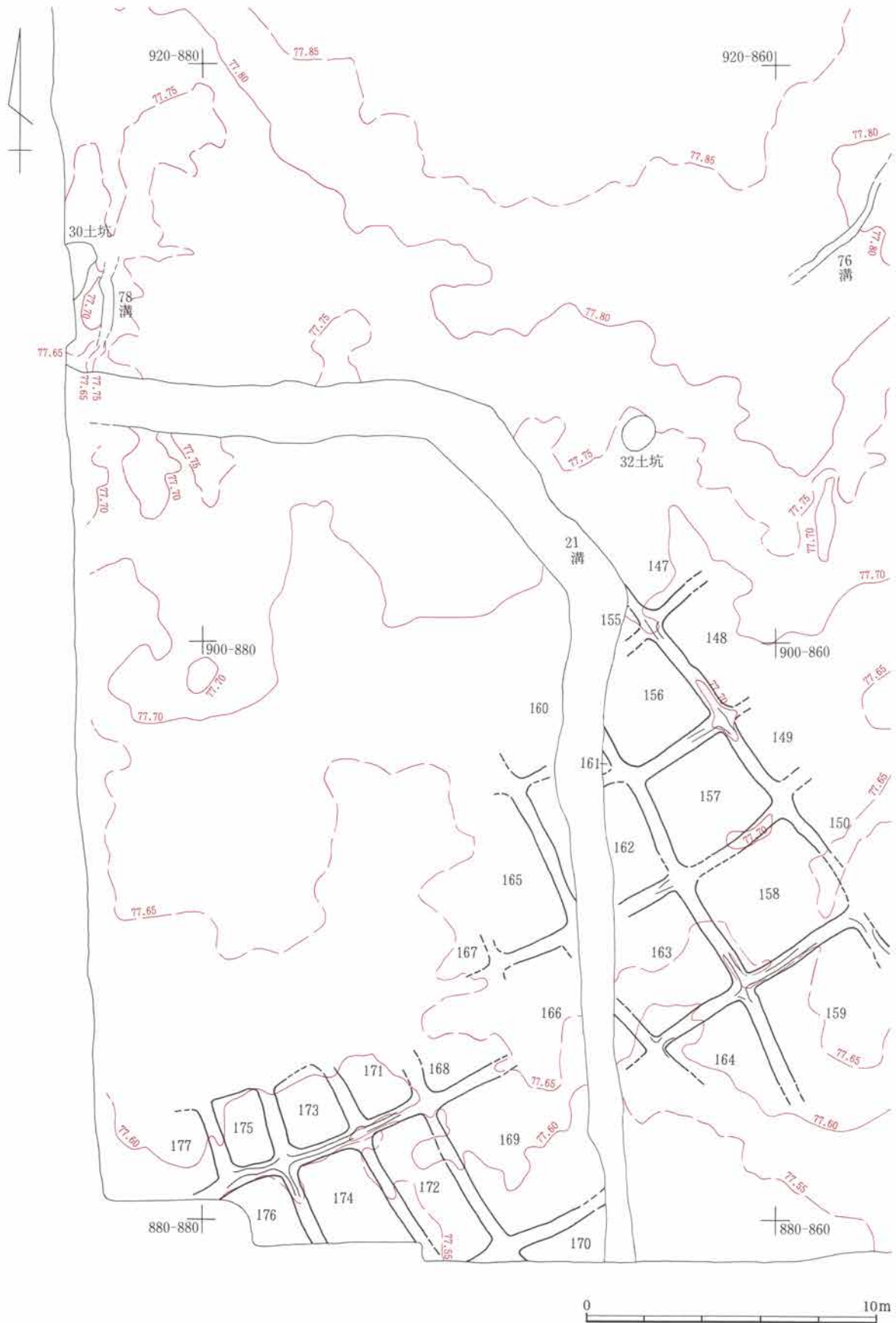
第427図 As-C 混土水田 3



第429図 As-C 混土水田 5



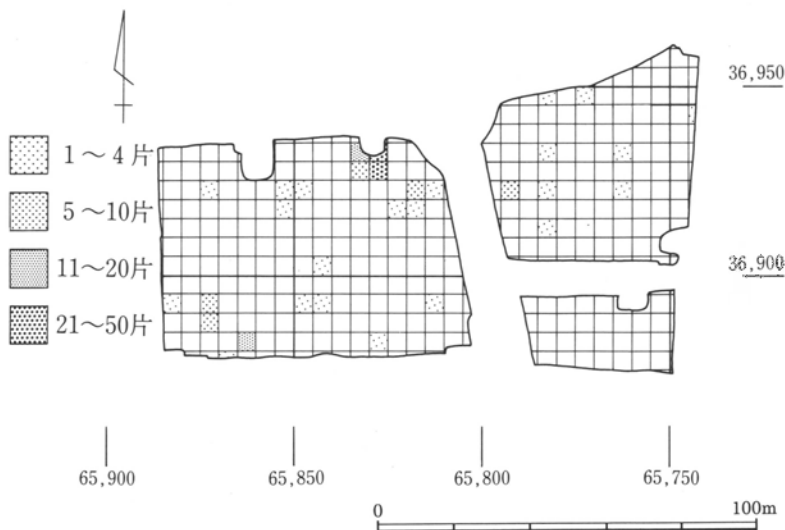
第430図 As-C混土水田6



第431図 As-C 混凝土水田 7

(3) 遺構外遺物出土状況

As-C 混土から古墳時代前期以前の遺物が出土している。西田遺跡同様As-C 混土の遺物は、他から流入したものである可能性が高いため、遺構外遺物とした。分布図を見ると、調査区南東部（B区）を除いてほぼ全面から出土しているが、調査区中央部から西側のほうがやや数量が多くなっている。調査区中央部北側（C区北東部）が多いのは、下層の縄文土器が混入しているためである。

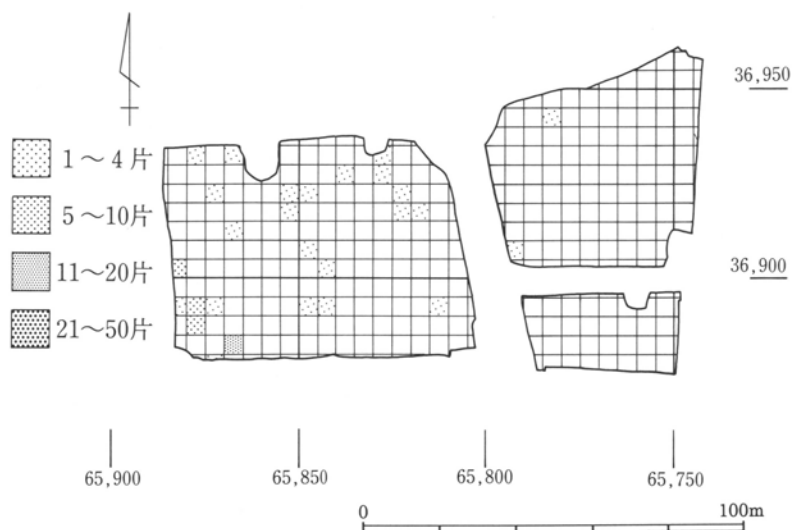


第432図 As-C 混土下面遺構外遺物出土分布図

As-C 混土遺構外出土遺物数量表

種別 器種	縄文土器	古式土師器						総計		
		甕			壺		計			
		A		C	計	C			計	
分類1	分類2	3	計	C	計	C	計	計		
870-870G		1	1			1		0	1	1
880-865G		11	11			11		0	11	11
885-875G		5	5	1		6		0	6	6
890-810G			0			0	1	1	1	1
890-845G		1	1			1		0	1	1
890-875G		5	5			5		0	5	5
890-880G		2	2			2		0	2	2
900-840G		1	1			1		0	1	1
915-815G			0			0	1	1	1	1
915-820G		1	1			1		0	1	1
915-850G			0			0	1	1	1	1
920-790G	2		0			0		0	0	2
920-820G	4		0			0	1	1	1	5
920-845G		2	2			2		0	2	2
920-850G	2		0			0	1	1	1	3
920-870G			0			0	1	1	1	1
925-825G	28		0			0	1	1	1	29
925-830G	7		0			0		0	0	7
930-825G	22	2	2			2		0	2	24
930-830G	15		0			0		0	0	15
940-770G	1		0			0		0	0	1
940-780G	1		0			0	1	1	1	2
総計	82	31	31	1	32	8	8	8	40	122

古墳時代前期の遺物は、As-C混土の上層からも多く出土しているため、As-C混土以前の層から出土した古墳時代前期遺物の分布状況を第433図に示した。分布図を見ると、調査区東部（A区・B区）からはほとんど出土していないが、調査区西部（C区）ではほぼ全面から出土している。特に調査区南東隅が多くなっている。

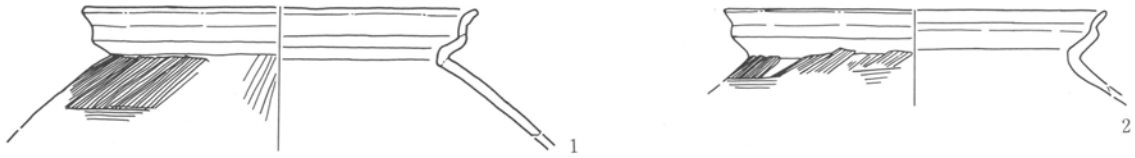


第433図 古墳時代前期遺構外遺物出土分布図

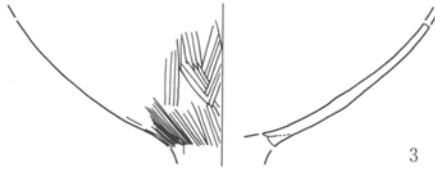
古墳時代前期遺構外出土遺物数量表

器種	甕				壺			高坏			埴	計	総計	
	A		C	不明	計	B	C	計	A	C				計
分類1	1	3												
分類2														
870-870G		1			1			0					1	1
880-865G		11			11			0					11	11
885-875G		7	1	0	8	0	0	0					8	8
890-810G					0		1	1					1	1
890-840G		1			1		1	1					2	2
890-845G		1			1			0					1	1
890-870G		1			1	1	1	2					3	3
890-875G		5			5			0					5	5
890-880G		2			2			0					2	2
900-840G		1			1			0					1	1
900-880G		3		1	4		1	1					5	5
905-790G					0		1	1					1	1
905-845G		2			2			0					2	2
910-865G		1			1			0					1	1
915-815G					0		1	1					1	1
915-820G		1			1			0					1	1
915-850G					0		1	1					1	1
920-820G					0		1	1					1	1
920-845G		2			2			0					2	2
920-850G					0		1	1					1	1
920-870G					0		1	1					1	1
925-825G					0		1	1					1	1
925-835G		1			1		1	1					2	2
930-825G		2			2			0					2	2
930-860G					0		1	1					1	1
930-880G		1			1			0					1	1
940-780G					0		1	1					1	1
グリッド計		43	1	1	45	1	14	15					60	60
その他遺構外	1	35		1	37	3	15	18	1	4	5	1	61	61
遺構混入計	0	9		2	11	0	2	2	0	3	3	0	16	16
総計	1	87	1	4	93	4	31	35	1	7	8	1	137	137

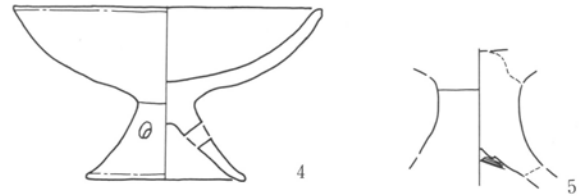
土器 I-A-1



土器 I-A-3



土器 III-A



土器 IV



第434図 古墳時代前期出土遺物 土師器甕・高坏・器台

(4) 遺物

遺物は、土器が出土している。

土器 古墳時代前期の土器は総数106点出土している。器種は、甕、壺、高坏、埴等である。器種別では甕が95点で壺が35点、高坏が8点となっている。器種分類は西田遺跡古墳時代前期のものをそのまま使用したため、出土していない器種・分類もある。

I 甕 95点出土している。A類が90点と圧倒的に多く、C・D類が少量出土し、B類は出土していない。

A S字状口縁、刷毛目調整、脚端部折り返し

1) 肩部に横位の刷毛目なし 3) 不明

C 南関東系

D 不明

II 壺 35点出土しているが、B類が4点で他はC類である。

B 単口縁 C 不明

III 高坏 8点出土しておりA類が2点でC類が6点である。

A 脚が短く開く C 不明

V 埴 3点出土している。

古墳時代前期出土遺物数量表

器種	甕					壺			高坏			埴	計
	A		C	不明	計	B	C	計	A	C	計		
分類1	1	3											
分類2	3	87	1	4	95	4	34	35	2	7	8	3	106

古墳時代前期土器観察表

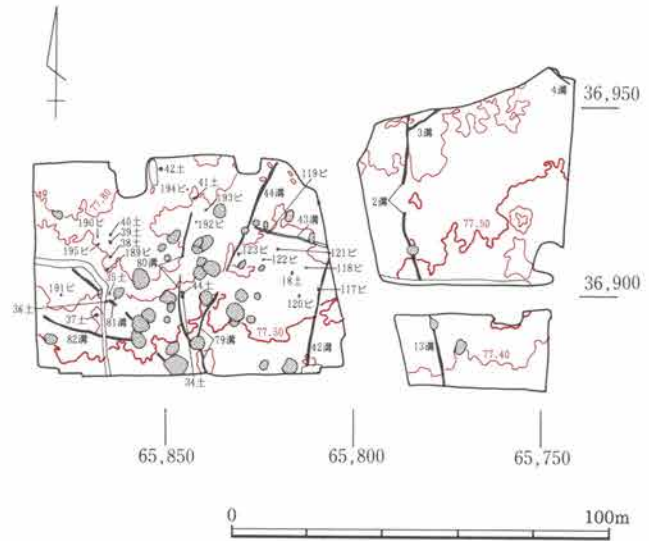
No	種別	出土位置	全長	色調表	色調裏	焼 成	調 整	分 類	備 考
	器種	残存率	幅 厚さ			胎 土			
1	古式土師器	9号溝	15.4	灰白 10YR8/2	灰白 10YR8/2	良好	口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目肩部横方向のハケ目内 面ナデ	I A 1	
	甕	口縁部～肩部 1/3	[4.9]			細 細砂・粗砂を中量含 む			
2	古式土師器	As-C混下	13.2	浅黄 10YR8/3	にぶい黄 橙 10YR7/3	普通	口縁部横ナデ 胴部外面ハ ケ目肩部横方向のハケ目内 面ナデ	I A 1	
	甕	口縁部1/3	[2.8]			細 細砂・粗砂・黒色細 粒を中量含む			
3	古式土師器	As-C混下		灰白 7.5YR 8/2	灰褐 7.5YR 6/2	普通	胴部外面ハケ目 内面ナデ	I A 3	
	甕	胴部	[4.9]			細 細砂・粗砂・黒色細 粒を中量含む			
4	古式土師器	9号溝	12.2	橙 5YR7/6	橙 5YR6/6	不良	磨減著しく調整不明	III A	
	甕	1/2	6.2			細 細砂・粗砂を多量含 む			
			6.8						
5	古式土師器	As-C混下		明赤褐 2.5YR 5/6	にぶい橙 7.5YR 7/4	普通	脚部外面甕磨き内面甕ナデ か	III A	
	高坏	脚部	[5.0]			細 細砂・粗砂を多量含 む			
6	古式土師器	As-B下		明赤褐 5YR5/8	明赤褐 5YR5/8	良好	脚部外面甕削り内面ナデか	IV	
	器台	脚部1/3	[3.3]			細 細砂・粗砂を中量含 む			

第6節 古墳時代前期以前

(1) 概要

この節では、古墳時代前期以前の遺構・遺物を掲載する。As-C降下以前の遺構・遺物を一括して扱う。

遺構は、溝11条、土坑11基、ピット14基等である。遺構はいずれも調査区中央部を中心に分布している。



第435図 古墳時代前期以前遺構位置図

(2) 遺構

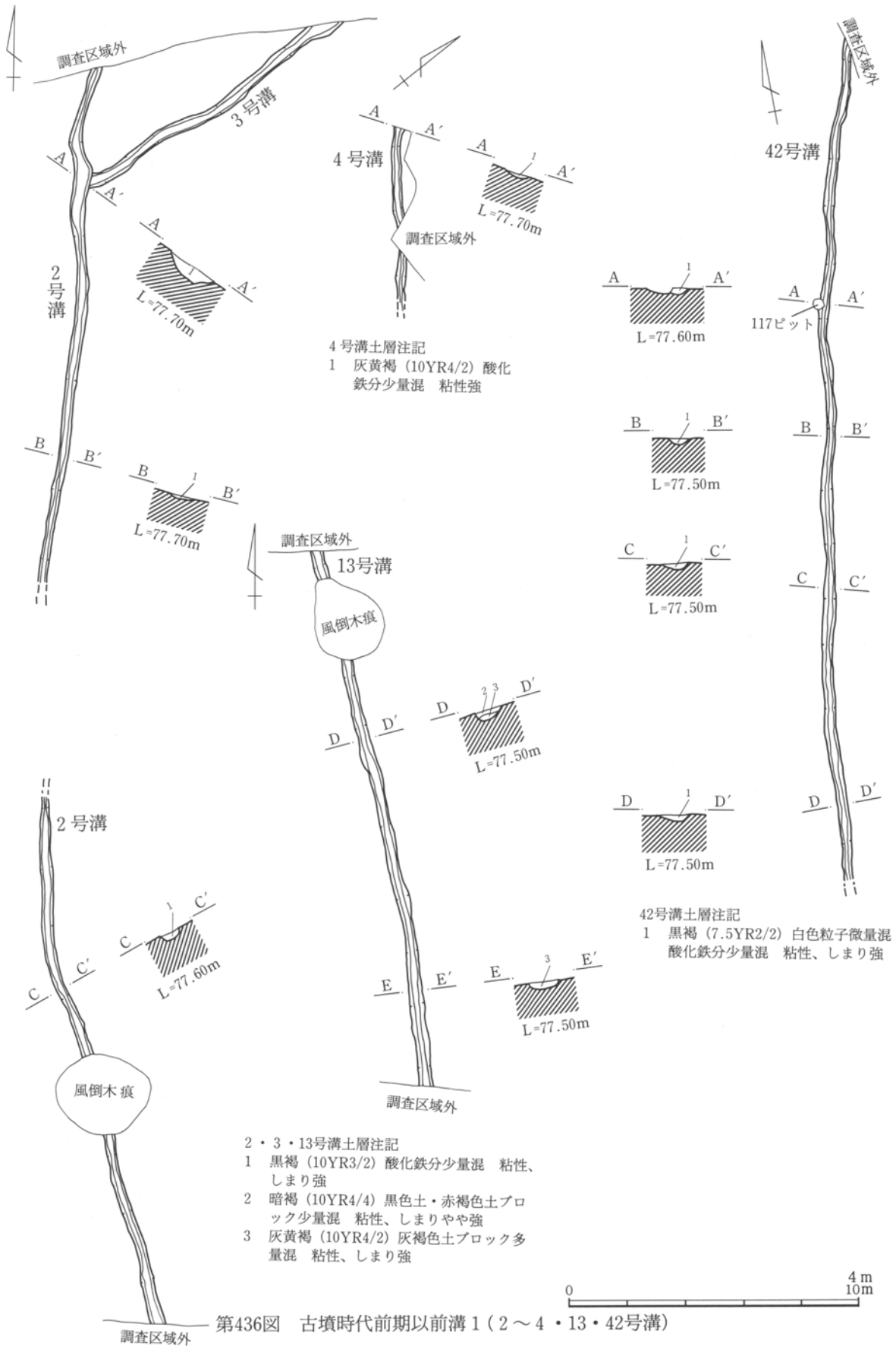
溝

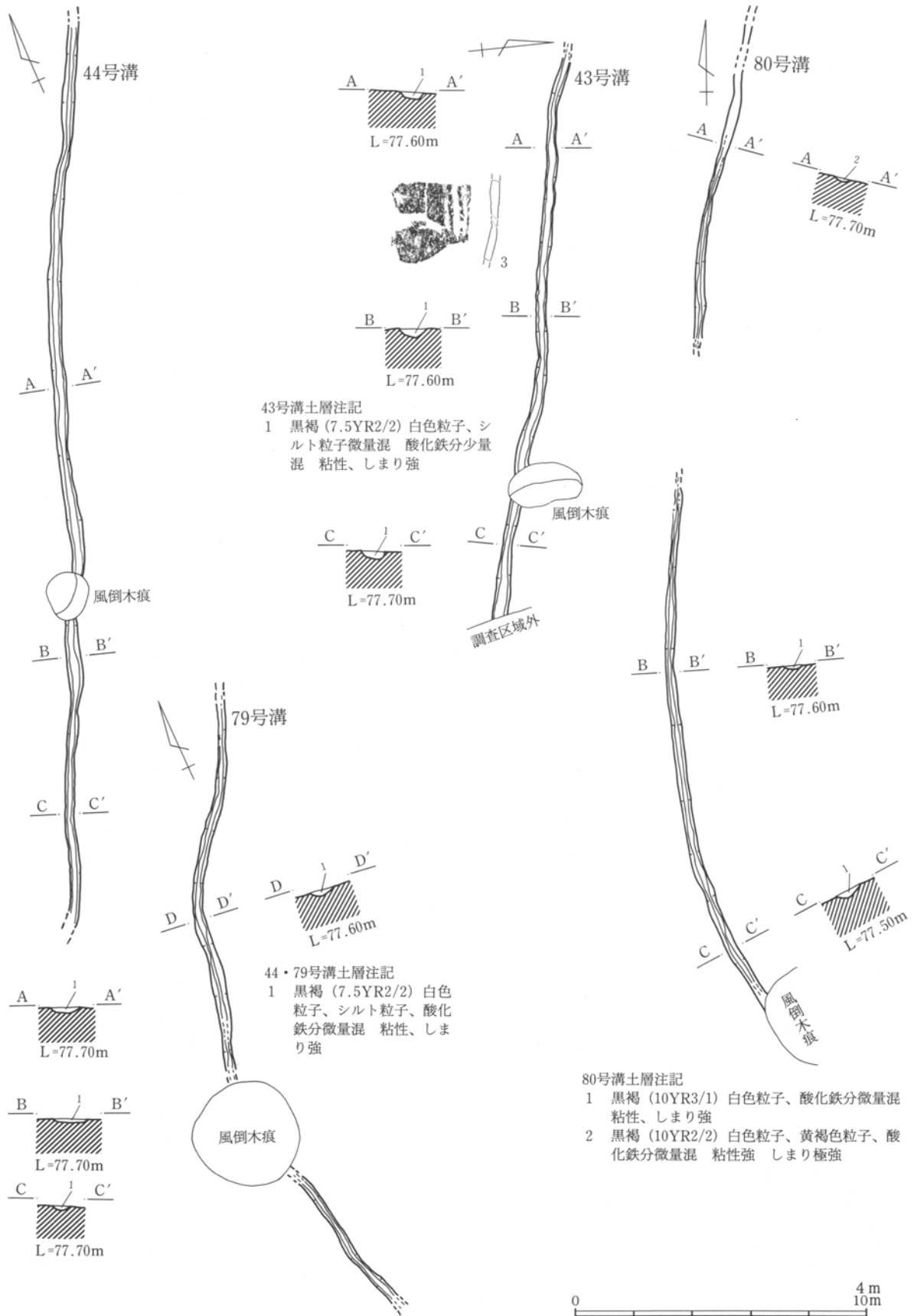
溝は11条検出されている。

- ① 分布 調査区東部（A区・B区東部）と調査区北西部（C区北西部）以外の調査区中央部から検出されている。
- ② 規模 最大幅0.74～0.26m平均0.46m、最小幅0.30～0.15m平均0.22m、深さ15～6cm平均10cmであり、上部の削平のためか小規模なものが多い。
- ③ 走向 溝により様々で一定していない。
- ④ 機能 出土遺物はほとんどなく、性格は不明である。
- ⑤ 時期 時期の判明する遺物は出土していないため、As-C降下以前であること以外は不明である。
- ⑥ 出土遺物 43号溝から縄文土器が3点出土しているだけである。

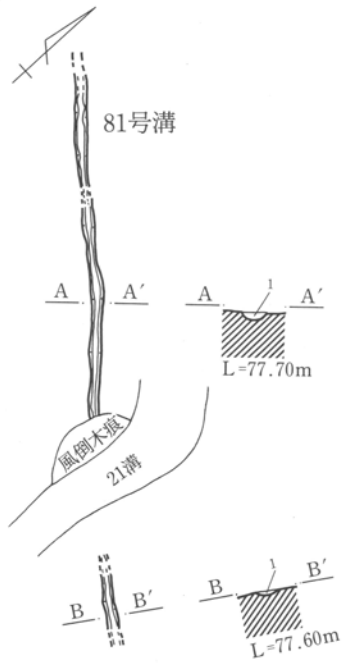
古墳時代前期以前溝一覧表

No	位置 Gr	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	走向
2	876～947-776～787	3溝より新	(74.4)	0.83	0.20	11	N-4°-E N-18°-W N-12°-W
3	943～949-776～786	2溝より古	[10.9]	0.74	0.30	9	N-54°-E
4	956～960-744～749		[6.1]	0.36	0.18	6	N-53°-W
13	876～894-776～780		[9.72]	0.26	0.17	15	N-12°-W
42	881～910-809～812	117ピットと重複	[29.9]	0.44	0.27	11	N-14°-E N-7°-E
43	912～917-807～826	119ピットより新	[19.7]	0.50	0.26	11	N-80°-W N-73°-W
44	906～934-820～833		[31.7]	0.52	0.24	6	N-23°-E N-28°-E
79	879～901-835～841		(23.0)	0.42	0.22	6	N-31°-E N-15°-E N-12°-W
80	887～920-841～846		(36.4)	0.40	0.15	12	N-8°-E N-3°-W N-25°-W
81	882～901-849～874		(36.1)	0.32	0.20	7	N-50°-W N-48°-W
82	887～894-859～882		[24.5]	0.50	0.24	11	N-80°-W N-68°-W

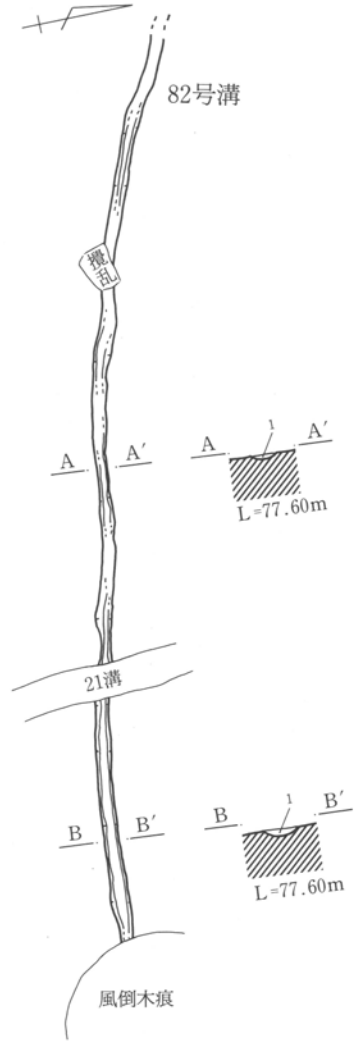




第437図 古墳時代前期以前溝2 (43・44・79・80号溝)



81号溝土層注記
 1 黒褐 (10YR2/2) 白色
 粒子微量混 粘性強
 しまり極強



82号溝土層注記
 1 黒褐 (10YR3/1) 白色粒子、酸化鉄分微
 量混 粘性強 しまり極強



第438図 古墳時代前期以前溝 3 (81・82号溝)

土坑

土坑は11基検出されている。

① 分布 調査区西部（C区）で検出されているが、特にC区西部に集中している。

② 形態 平面形態はA・Bの2形態、断面形態はa～cの3形態に分類できる。

平面形態 A 円形のもの（短軸：長軸が1：1.2未満のもの）

B 楕円形のもの（短軸：長軸が1：1.2以上のもの）

断面形態 a 底部が平らなもの

b 底部が丸みを帯びるもの

c 不正形のもの

平面形態は、円形が4基、楕円形が7基となっている。断面形態は底部が平らなものが7基と圧倒的に多くなっている。

③ 規模 長径1.08～0.52m平均0.51m、短径0.86～0.44m平均0.50mで長径と短径の比は2.17～1.03平均1.39である。深さは23～6cm平均11cmである。面積は0.68～0.19m²平均0.38m²である。

④ 主軸方位 北から45°以内のものが多いが、90°近いものもある。

⑤ 機能 出土遺物がなく、性格不明である。

古墳時代前期以前土坑一覧表

No.	位置 Gr	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
18	905～906-816～817		B	c	0.94	0.45	2.09	6	0.35	N-19°-E	
34	899～900-845～846		B	a	1.08	0.76	1.42	7	0.61	N-19°-W	
35	899～900-864～865		A	a	0.52	0.44	1.18	14	0.19	N-24°-E	
36	897～898-865		B	a	0.75	0.60	1.25	7	0.35	N-37°-W	
37	894-868		A	c	0.68	0.62	1.10	23	0.33	N-58°-W	
38	909～910-864～865		A	b	0.70	0.64	1.09	19	0.34	N-24°-W	
39	913-864～865		B	b	0.82	0.62	1.32	15	0.38	N-27°-W	
40	915-864		A	a	0.64	0.62	1.03	11	0.32	N-90°	
41	925-842～843		B	a	1.04	0.48	2.17	12	0.33	N-77°-E	
42	933～934-851～852		B	a	0.72	0.50	1.44	6	0.29	N-30°-W	
44	900-845～846		B	a	1.04	0.86	1.21	6	0.68	N-61°-W	

ピット

ピットは14基検出されている。

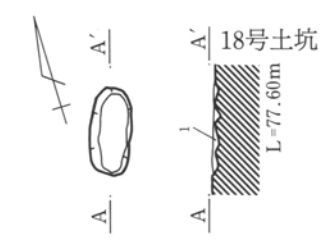
① 分布 調査区西部（C区）で検出されているが、特にC区西部に多い。

② 規模 長径57～32cm平均42cm短径41～22cm平均32cm深さ26～4cm平均10cmである。

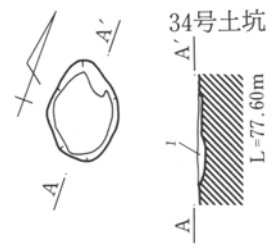
③ 特徴 出土遺物もなく、性格は不明である。

古墳時代前期以前ピット一覧表

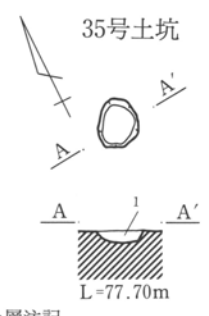
番号	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm	番号	位置	重複	長径 cm	短径 cm	深さ cm
117	901-809	42溝と重複	42	36	8	189	906-865		33	22	13
118	907-812～813		38	25	10	190	913-867		42	33	26
119	916-823	43溝より古い	41		6	191	899-877		32	32	10
120	899～900-815		57	39	8	192	919-842		36	28	6
121	912～820		50	41	12	193	922-839～840		48	34	4
122	909-824		43	36	4	194	927～928-844		38	26	5
123	910～911-831		50	26	25	195	914-868		34	32	7



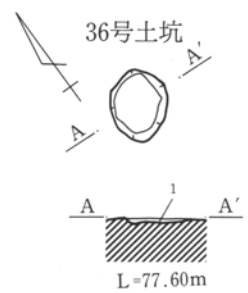
18号土坑土層注記
1 黒褐 (7.5YR2/2) 白色粒子、酸化鉄分混 粘性、しまり強



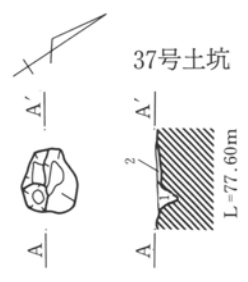
34号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、酸化鉄分微量混 粘性、しまり強



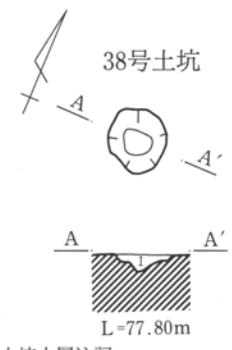
35号土坑土層注記
1 黒褐 (10YR2/2) 白色粒子、黄褐色粒子微量混 粘性、しまり強



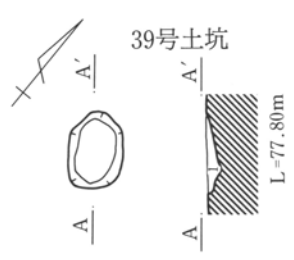
36号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子微量混 粘性、しまり強



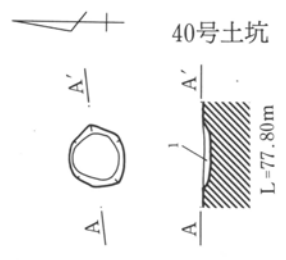
37号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、酸化鉄分微量混 粘性強 しまり極強
2 黒褐 (10YR2/2) 白色粒子、酸化鉄分微量混 粘性強 しまり極強



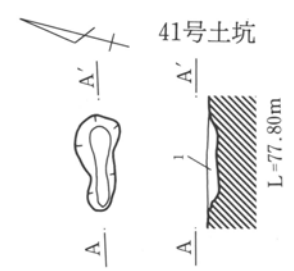
38号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、酸化鉄分混 粘性、しまり強



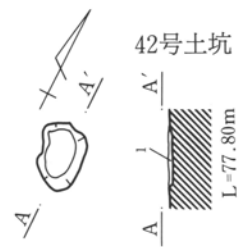
39号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、酸化鉄分混 黄褐色粒子微量混 粘性、しまり強



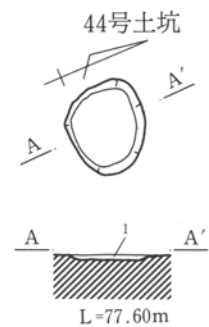
40号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子多量混 黄褐色粒子、シルト粒子微量混 粘性やや強 しまり強



41号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、酸化鉄分、シルトブロック微量混 粘性極強 しまり強



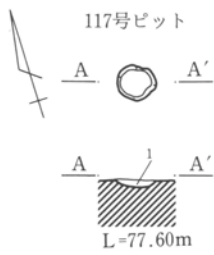
42号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、黄褐色粒子微量混 粘性、しまり強



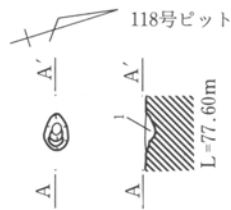
44号土坑土層注記
1 黒 (10YR2/1) 白色粒子微量混 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強



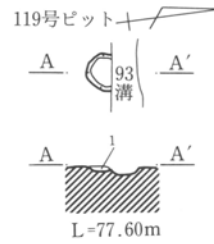
第439図 古墳時代前期以前土坑(18・34~42・44号土坑)



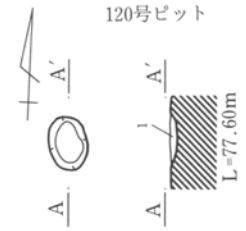
117号ピット土層注記
 1 黒褐 (7.5YR2/2) 白色粒子微量混 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強



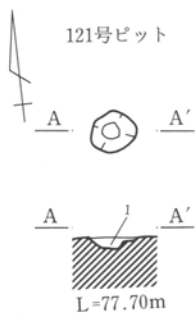
118号ピット土層注記
 1 黒褐 (7.5YR2/2) 白色粒子、酸化鉄分微量混 粘性、しまり強



119号ピット土層注記
 1 黒褐 (7.5YR3/2) 白色粒子、酸化鉄分少量混 粘性、しまり強



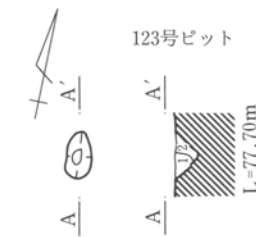
120号ピット土層注記
 1 黒褐 (7.5YR2/2) 白色粒子微量混 酸化鉄分少量混 粘性強 しまり極強



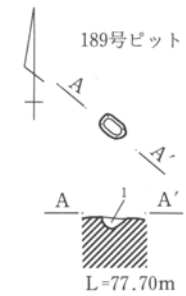
121号ピット土層注記
 1 黒 (7.5YR2/1) 白色粒子、シルトブロック、酸化鉄分微量混 粘性、しまり強



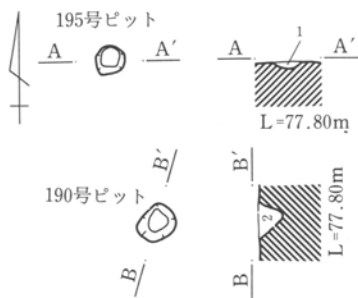
122号ピット土層注記
 1 黒褐 (7.5YR2/2) 白色粒子微量混 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強



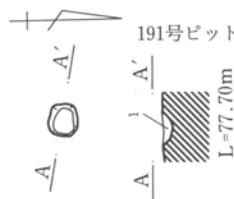
123号ピット土層注記
 1 黒褐 (7.5YR2/2) 白色粒子微量混 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強
 2 黒褐 (7.5YR2/2) 白色粒子、酸化鉄分微量混 粘性、しまり強



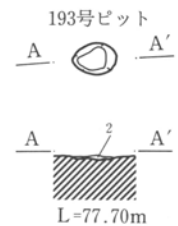
189号ピット土層注記
 1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、シルト粒子微量混 酸化鉄分少量混 粘性、しまり強



190・195号ピット土層注記
 1 黒 (10YR2/1) 白色粒子少量混 酸化鉄分微量混
 2 黒 (10YR2/1) 白色粒子、酸化鉄分少量混 黄褐色粒子、シルト粒子微量混 粘性、しまり強



191号ピット土層注記
 1 黒褐 (10YR3/1) 白色粒子、酸化鉄分微量混 粘性、しまり強



192号ピット
 192号ピット土層注記
 1 黒 (10YR2/1) 白色粒子、酸化鉄分少量混 粘性強 しまり極強
 2 黒 (10YR2/1) 酸化鉄分微量混 粘性、しまり強



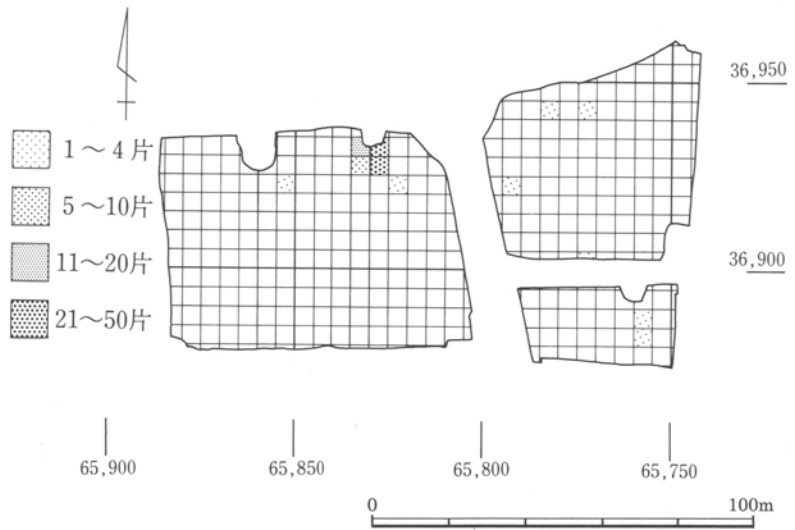
194号ピット土層注記
 1 黒 (10YR2/1) 白色粒子微量混 粘性、しまり強



第440図 古墳時代前期以前ピット(117~123・189~195号ピット)

(3) 遺構外遺物出土状況

古墳時代前期以前の遺物は111点出土している。土器と石器であるが、土器は全て縄文土器で、石器も縄文時代のものと考えられる。このうち遺構出土は43号溝の3点だけで、他は遺構外からの出土である。分布は、調査区中央部北側(C区北東部)に集中している。



第441図 縄文土器出土分布図

古墳時代前期以前遺構外遺物出土状況

種別	縄文土器	石簇	多孔石	剥片	総計	種別	縄文土器	石簇	多孔石	剥片	総計
880-775G	1				1	925-830G	7	1		1	8
885-755G	1			1	2	930-825G	22				22
890-820G		1			1	930-830G	15			2	17
890-875G		1			1	940-760G				1	1
900-770G	1				1	940-770G	1				1
905-845G				1	1	940-780G	1				1
910-780G				1	1	940-780G	1				1
920-790G	2			1	3	グリット計	86	3	1	8	97
920-815G			1		1	その他遺構外計	3	1	0	0	4
920-820G	4				4	遺構混入計	9	0	0	1	10
920-850G	2				2	総計	98	4	1	9	111
925-825G	28				28						

(4) 遺物

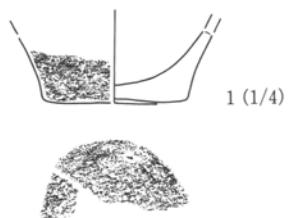
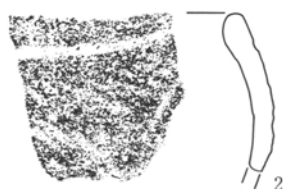
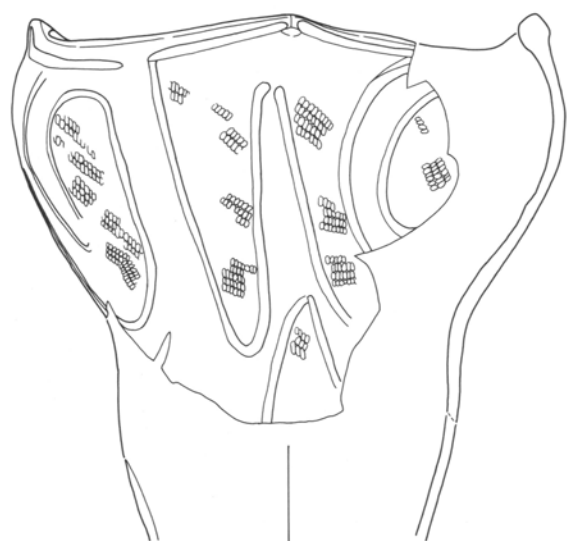
遺物は、縄文土器、弥生土器、石器が出土している。

縄文土器 縄文土器は総数98点出土している。器形を復元できるものが1点あり、中期後半加曾利E式のものである。他は破片であり、摩滅が著しく詳細な時期が不明のものも多いが、中期のものがほとんどである。時期の判明するものは、中期勝坂式が2点、加曾利E式が2点、後期堀ノ内式が2点である。

石器

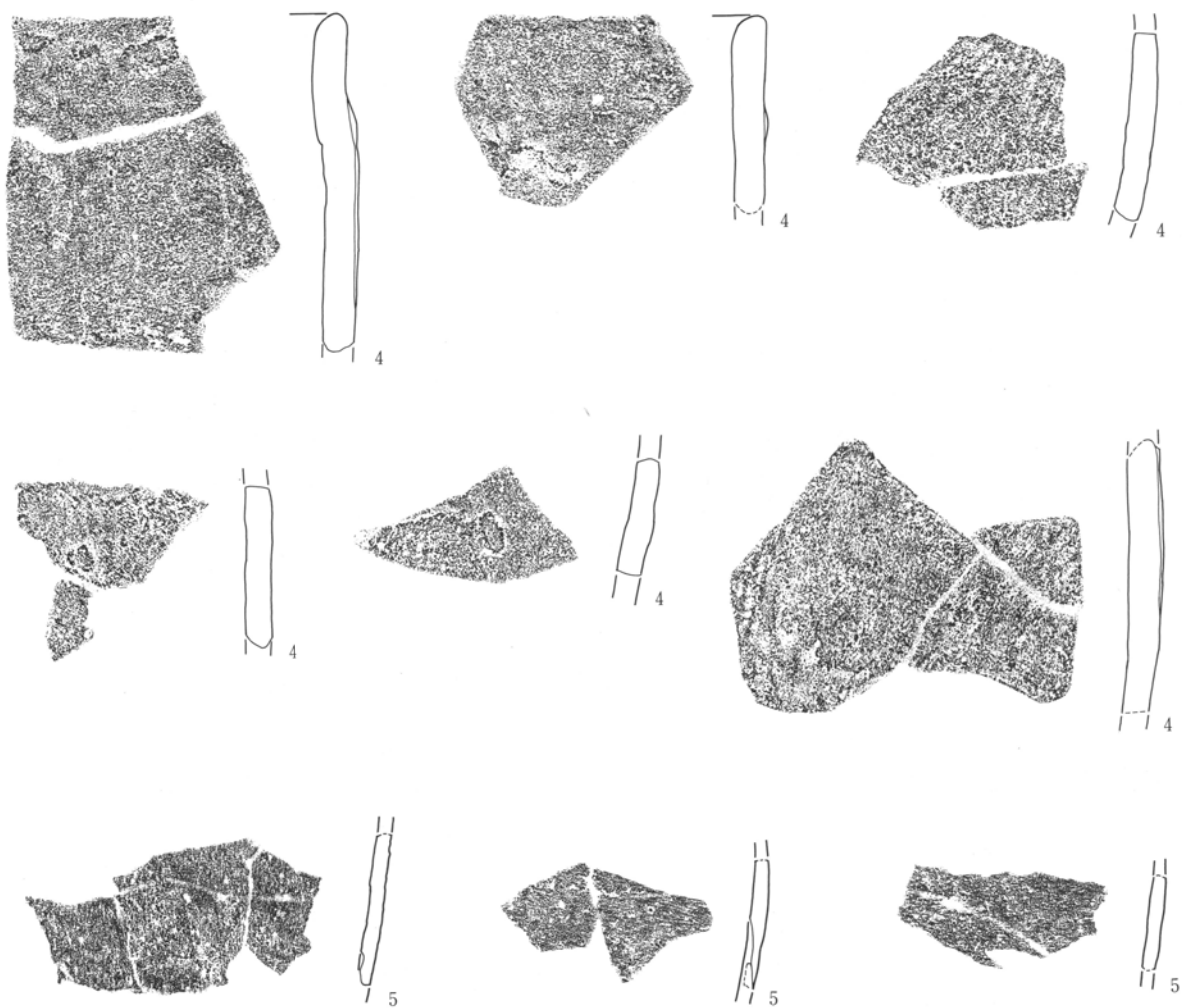
石鏃が4点、多孔石が1点、剥片が9点出土している。

縄文土器

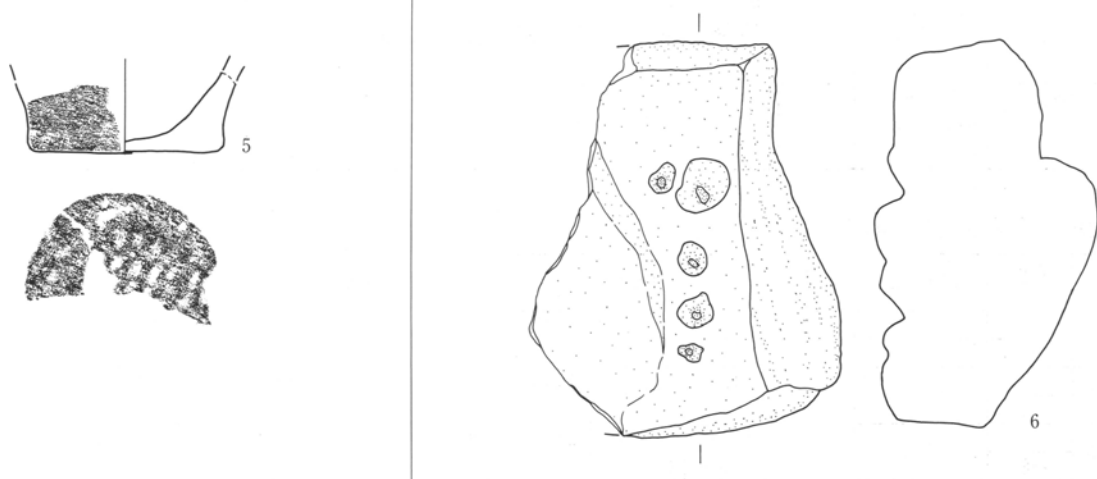


第442図 古墳時代前期以前出土遺物 1 縄文土器

縄文土器



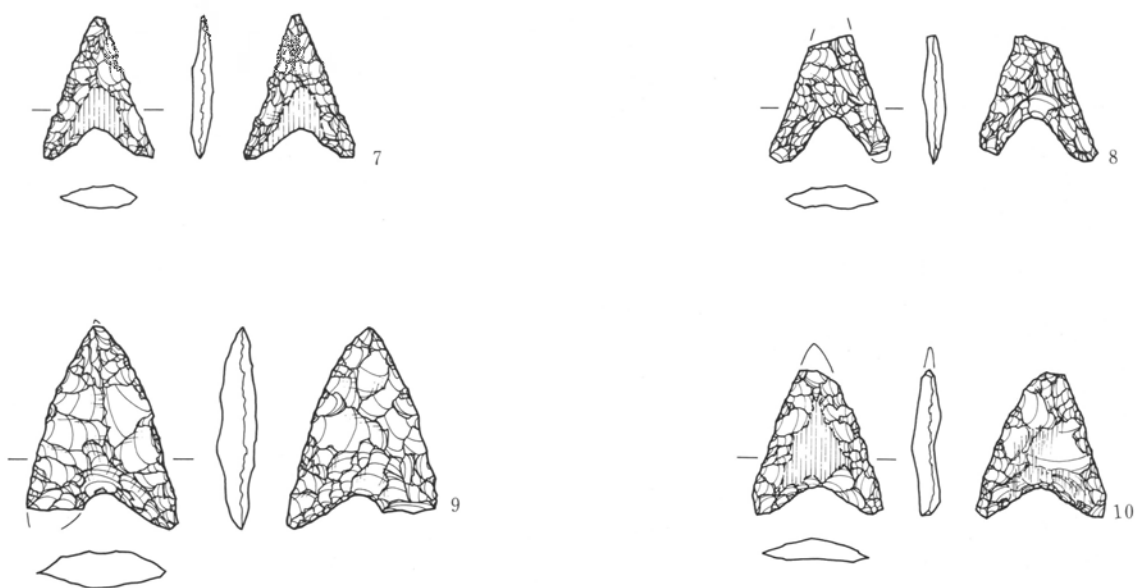
多孔石



0 10cm

第443図 古墳時代前期以前出土遺物 2 縄文土器 多孔石

石鏃



第444図 古墳時代前期以前出土遺物 3 石鏃 0 5cm

古墳時代前期以前石器観察表

No	種別	出土位置	器厚	色調表	色調裏	焼成	調整	文様	備考
	器種	残存率				胎土			
1	縄文土器	As-C混下	0.5~0.9	明黄褐 10YR6/6	にぶい黄 橙 10YR6/4	不良	磨滅著しく調整不明	沈線区画内にRL縄文	
	深鉢	口縁部~胴部 1/2底部				中 細砂・粗砂・礫を中 量含む			
2	縄文土器	As-C混下	0.6~1.1	にぶい黄 橙 10YR7/3	明黄褐 10YR7/6	不良	磨滅著しく調整不明	沈線	
	深鉢	口縁部破片				中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む			
3	縄文土器	43号溝	0.5~1.0	浅黄橙 10YR8/4	褐灰 7.5YR 6/1	不良	磨滅著しく調整不明	並行する2本の隆帯上 に刻みか?	
	深鉢	胴部破片				中 細砂・粗砂・褐色粒 子を中量含む			
4	縄文土器	As-C混下	0.9~1.2	灰白 10YR8/2	灰白 10YR8/2	不良	磨滅著しく調整不明	隆帯文区画内にRL縄文	
	深鉢	口縁部破片, 胴部破片				中 細砂・粗砂・礫を中 量含む			
5	縄文土器	37号ピット	0.6	明赤褐 YR5/6	明赤褐 5YR5/6	不良	磨滅著しく調整不明	沈線 底部網代痕あり	
	深鉢	胴部破片, 底 部				中 細砂・粗砂・礫を中 量含む			

古墳時代前期以前石器観察表

No	種別 器種	出土位置	全長	幅 厚さ	重量	残存率	石材	特徴	分類	備考
6	多孔石	As-C混下	11.6	12.2			粗粒輝石	くぼみ数6		
			8.8	1.3kg						
7	石鏃	As-C混下	1.8	1.5		完形	安山岩	凹基無茎 調整後に両面研磨		
			0.3	0.4g						
8	石鏃	As-C混下	[1.7]	1.6		先端部欠 損	黒曜石	凹基無茎		
			0.35	0.44g						
9	石鏃	As-C混下	2.8	2		完形	黒曜石	凹基無茎		
			0.5	0.78g						
10	石鏃	As-C混下	[1.9]	1.65		先端部欠 損	黒曜石	凹基無茎 調整後に両面研磨		
			0.3	1.64g						

第V章 自然化学分析

第1節 群馬県西田遺跡の自然科学分析

株式会社 古環境研究所

I. 西田遺跡の土層とテフラ

1. はじめに

群馬県域の後期更新世以降に堆積した地層の中には、浅間火山や榛名火山をはじめとする関東地方とその周辺に分布する火山のほか、九州地方の鬼界カルデラなど遠方の火山に由来するテフラ（火山砕屑物、いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている示標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層などの堆積年代などを知ることができるようになっている。

西田遺跡の発掘調査では、堆積年代の不明な土層が認められた。そこで、地質調査を行って土層の層序を記載するとともに、テフラ検出分析を行い示標テフラの層位を把握して、土層の年代に関する資料を収集することになった。調査の対象となった地点は、第1～7地点の7地点である。

2. 土層層序

(1) 第1地点

ここでは、下位より砂混じり乳白色シルト層（層厚5cm以上）、淘汰の良い灰色粗粒火山灰層（層厚7cm）、灰白色砂質土（層厚12cm）、黄灰色土（層厚19cm）、暗灰色土（層厚12cm）、色調のより暗い暗灰色土（層厚

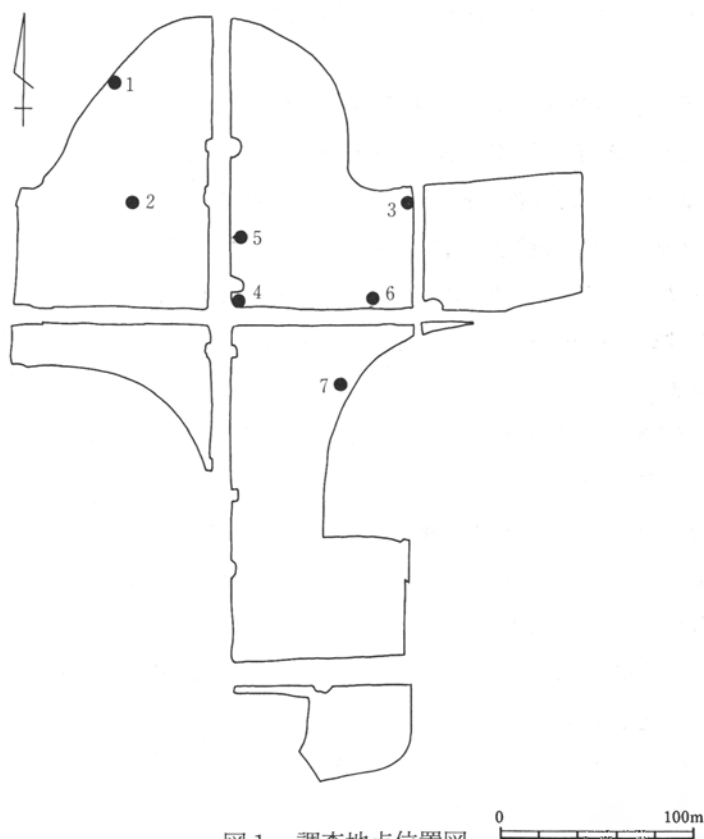


図1 調査地点位置図

7 cm)、灰色細粒軽石混じり暗灰色土（層厚 6 cm）が認められる（図 1）。

これらのうち、淘汰の良い灰色粗粒火山灰層は、層相から約1.3~1.4万年前に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石（As-YP, 新井, 1962, 町田・新井, 1992）に同定される。

（2）第2地点

この地点では、暗灰色粘質土（層厚 2 cm以上）の上位に、下位より成層したテフラ層（層厚13.5cm）、暗褐色土（層厚0.2cm）、青灰色細粒火山灰層（層厚 1 cm）、黒褐色砂質土（層厚 2 cm）、褐色砂質土（層厚 9 cm）、灰色砂質土（層厚11cm）、灰色土（層厚 6 cm）、灰白色軽石混じり灰色表土（層厚12cm, 軽石の最大径 3 mm）が認められる（図 2）。

これらのうち、成層したテフラ層は、下位より灰色細粒火山灰層（層厚0.2cm）、褐色粗粒軽石混じり灰色粗粒火山灰層（層厚 2 cm, 軽石の最大径 6 mm）、桃褐色粗粒火山灰層（層厚 1 cm）、暗灰色粗粒火山灰層（層厚0.5cm）、黄褐色粗粒火山灰層（層厚0.8cm）、暗灰色粗粒火山灰層（層厚0.8cm）、黄灰色粗粒火山灰層（層厚0.2cm）、暗灰色粗粒火山灰層（層厚 1 cm）、黄色粗粒火山灰層（層厚 3 cm）、暗灰色粗粒火山灰層（層厚 2 cm）、桃色細粒火山灰層（層厚 2 cm）の連続からなる。このテフラ層は、層相から1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B, 新井, 1979）に同定される。

As-Bの上位に認められる青灰色細粒火山灰層は、その層位や層相から1128（大治3）年に浅間火山から噴出したと推定されている浅間粕川テフラ（As-Kk, 早田, 1991, 1995）に同定される。また表土中に含まれる灰白色軽石は、比較的よく発泡しており、1783（天明3）年に浅間火山から噴出した浅間B軽石（As-A, 荒牧, 1968, 新井, 1979）に由来すると考えられる。

（3）第3地点

ここでは、下位より黄灰色砂質土（層厚10cm以上）、黄灰色土（層厚 4 cm）、黒灰色土（層厚 6 cm）、灰色細粒軽石（最大径 4 mm）および白色軽石（最大径 6 mm）混じり暗灰色土（層厚18cm）が認められる（図 3）。

（4）第4地点

ここでは、下位より灰色土（層厚10cm以上）、褐灰色土（層厚 6 cm）、暗灰色土（層厚 4 cm）、灰色細粒軽石に富む暗灰色土（層厚 4 cm, 軽石の最大径 3 mm）、白色軽石混じり灰色土（層厚 6 cm, 最大径 6 mm）、白色軽石混じり暗灰色土（層厚 8 cm, 軽石の最大径 6 mm）、黄灰色土（層厚 3 cm）、成層したテフラ層（層厚1.3cm）、暗灰褐色砂質土（層厚 2 cm）、灰色砂質土（層厚 9 cm）が認められる（図 4）。

これらのうち、成層したテフラ層は、下部の灰色細粒火山灰層（層厚0.3cm）と上部の褐色粗粒軽石混じり黄灰色粗粒火山灰層（層厚 1 cm, 軽石の最大径 6 mm）から構成されている。このテフラ層は、その層相からAs-Bの最下部に同定される。

なお、第1地点および第3地点の最上位の土層は、As-Bに直接覆われている。

（5）第5地点（B区189溝西断面）

この地点では、埋没谷である189溝の断面を観察することができた（図 1）。溝の下位には、下位より白色粘土層（層厚 3 cm）、桃灰色粗粒火山灰層（層厚 8 cm）が認められた。溝の覆土は、下位より黒褐色泥炭層（層厚15cm）、灰色軽石に富む暗灰色土（層厚10cm, 軽石の最大径 5 mm）、黒褐色土（層厚 7 cm）、黄色細粒火山灰層（層厚 3 cm）、灰色土（層厚10cm）、若干色調の暗い灰色土（層厚 3 cm）、暗灰色土（層厚 5 cm）、灰色粗粒火山灰層（層厚 3 cm）、砂混じり黄灰色土（層厚 3 cm以上）からなる。

これらのうち、灰色粗粒火山灰層は、その層相から1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B, 新井, 1979）に同定される。

(6) 第6地点 (B区189溝南壁)

この地点でも、埋没谷の189溝の断面を観察することができた(図2)。溝の下位には、下位より暗灰色粘質土(層厚3cm以上)、桃灰色粗粒火山灰層(層厚19cm)が認められた。溝の覆土は、下位より黒泥層(層厚14cm)、灰色軽石に富む暗灰色土(層厚10cm、軽石の最大径5mm)、灰色軽石混じり黒灰色土(層厚5cm、軽石の最大径4mm)、黄色細粒火山灰層(層厚1cm)、灰色土(層厚6cm)、若干色調の暗い灰色土(層厚5cm)、暗灰色土(層厚3cm)、灰色粗粒火山灰層(層厚1cm)、黄灰色砂質土(層厚5cm以上)からなる。

これらのうち、灰色粗粒火山灰層は、その層相からAs-Bに同定される。

(7) 第7地点 (E区東壁)

ここでは、下位より桃色がかった赤褐色軽石ブロック(試料番号2)から構成される地層(層厚100cm以上)、灰色土(層厚24cm)、黄褐色土(層厚30cm)、黄色軽石に富む黄褐色土(層厚7cm、軽石の最大径4mm、試料番号1)が認められる。

3. テフラ検出分析

(1) 分析試料と分析方法

As-YPの上位でAs-Bの下位にある土層の年代についての資料を収集するために、基本的に5cmごとに採取された試料、8点の試料についてテフラ検出分析を行って、示標テフラの検出を試みることになった。テフラ検出分析の手順は、次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄装置により泥分を除去。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡下でテフラ粒子の特徴を観察。

(2) 分析結果(第1から4地点)

テフラ検出分析の結果を、表1に示す。第1地点では、試料番号1に比較的多くの軽石が認められた。軽石には、あまり発泡のよくない白色軽石(最大径1.8mm)のほか、比較的よく発泡した灰色軽石(最大径0.7mm)が含まれている。前者は班晶に角閃石や斜方輝石が認められることから、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ層(Hr-FA, 新井, 1979, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992)に由来すると思われる。また後者は、班晶に斜方輝石や単斜輝石が認められることから、4世紀中葉に浅間火山から噴出した浅間C軽石(As-C, 新井, 1979)に由来すると思われる。

第3地点では、試料番号3にAs-Cに由来する灰白色軽石(最大径1.9mm)が少量認められた。また試料番号1には、As-Cに由来する灰白色軽石(最大径4.1mm)のほか、Hr-FAに由来する白色軽石(最大径1.2mm)が含まれている。

第4地点では、試料番号3にAs-Cに由来する灰白色軽石(最大径2.8mm)が比較的多く認められた。また試料番号2には、Hr-FAに由来する白色軽石(最大径1.4mm)のほか、As-Cに由来する灰白色軽石(最大径0.9mm)が比較的多く含まれている。さらに試料番号1には、Hr-FAに由来する白色軽石(最大径1.3mm)が比較的多く含まれている。

(3) 分析結果(第5～7地点)

テフラ検出分析の結果を、表1に示す。試料番号3には、軽石やスコリアなどは認められないものの、斜方輝石や単斜輝石が多く含まれている。したがって試料番号1のテフラは、その層相や鉱物の組合せなどから、約1.3～1.4万年前に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP, 新井, 1962, 町田・新井, 1992)

に同定される。

また試料番号2には、比較的よく発泡した灰白色軽石（最大径3.1mm）が比較的多く含まれている。軽石の班晶には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。この軽石は、その岩相から4世紀中葉に浅間火山から噴出した浅間C軽石（As-C, 新井, 1979, 石川ほか, 1979）に由来すると考えられる。

試料番号1には、あまり発泡の良くない白色軽石（最大径2.0mm）が多く含まれている。軽石の班晶には、角閃石や斜方輝石が認められる。この軽石は、その特徴から6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA, 新井, 1979, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992）に由来すると考えられる。したがって、試料番号1の火山灰層は、Hr-FAに同定される。

4. 屈折率測定

(1) 測定試料と測定方法

E区東壁の赤褐色軽石（試料番号2）および黄褐色土中の黄色軽石（試料番号1）の起源を求めるために、屈折率の測定を行うことにした。測定は、位相差法（新井, 1972）による。

(2) 測定結果

屈折率の測定結果を、表2に示す。軽石の班晶鉱物としては、斜方輝石のほか単斜輝石が認められる。火山ガラスの屈折率（ n ）は、1.528-1.532である。また斜方輝石の屈折率（ γ ）は、1.702-1.706である。この軽石については、重鉱物の組合せや斜方輝石の屈折率などから、約1.9~2.2万年前に浅間火山から噴出した浅間板鼻褐色軽石群（As-BP Group, 新井, 1962, 早田, 1996, 早田, 未公表資料）の中部に同定される可能性が大きい。軽石の産状から、この軽石は、約2万年前に発生した浅間火山の山体崩壊に由来する前橋泥流堆積物（新井, 1967, 早田, 1990）の堆積面上の流れ山を構成しているものと考えられる。

また、試料番号1には、斜方輝石のほか単斜輝石が認められる。斜方輝石の屈折率（ γ ）は、1.705-1.709である。この軽石については、重鉱物の組合せや斜方輝石の屈折率などから、約1.7万年前に浅間火山から噴出した浅間大窪沢第1軽石（As-Ok 1, 中沢ほか, 1984, 町田・新井, 1992, 早田, 1996）に由来する可能性が大きい。

5. 考察—土層と示標テフラの降灰層準との関係について

第1地点では、調査を行った土層のうち、試料番号1（最上位の暗灰色土）中にAs-CとHr-FAに由来する軽石が認められた。したがって、この土層付近にAs-CとHr-FAの降灰層準があると考えられる。第2地点では、下位よりAs-BおよびAs-Kkが一次堆積層として認められている。また、表土中にAs-A起源の軽石が認められることから、その層位は明瞭である。

第3地点では、調査を行った土層のうち、試料番号3（黒灰色土）中にAs-C起源の軽石が認められたものの、その量はごくわずかであった。一方、その上位の試料番号1（暗灰色土）中には、As-CとHr-FA起源の軽石が比較的多く認められた。軽石の出土状況から、暗灰色土中にAs-CとHr-FAの降灰層準のある可能性が大きいと思われる。

第4地点では、灰色土の下位の試料番号3（暗灰色土）に、As-C起源の軽石が比較的多く認められた。したがって、この試料付近にAs-Cの降灰層準があると考えられる。その上位の灰色土については、Hr-FA起源の軽石も比較的多く含まれていることから、As-C降灰後でAs-B降灰前に形成されたと考えられる。

6. 小結（第1~4地点）

西田遺跡第1~4地点において、地質調査とテフラ検出分析を行った。その結果、下位より浅間板鼻黄色軽石（As-YP, 約1.3~1.4万年前）、浅間C軽石（As-C, 4世紀中葉）、榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA,

6世紀初頭)、浅間Bテフラ (As-B, 1108年)、浅間粕川テフラ (As-Kk, 1128年)、浅間B軽石 (As-A, 1783年) の6層ものテフラ層およびテフラ粒子の濃集層準を検出することができた。

6. 小結 (第5～7地点)

西田遺跡第5～7地点において、地質調査、テフラ検出分析、屈折率測定を行った。その結果、下位より、前橋泥流堆積物 (約2万年前)、浅間大窪沢第1軽石 (As-Ok1, 約1.7万年前)、浅間板鼻黄色軽石 (As-YP, 約1.3～1.4万年前)、浅間C軽石 (As-C, 4世紀中葉)、榛名ニツ岳渋川テフラ (Hr-FA, 6世紀初頭)、浅間Bテフラ (As-B, 1108年, 新井, 1979) が検出された。

文献

- 新井房夫 (1962) 関東盆地北西部地域の第四紀編年. 群馬大学紀要自然科学編10, p.1-79.
- 新井房夫 (1967) 前橋泥流堆積物の噴出年代と岩宿I文化期—日本の第四紀層の14C年代. XXXIII—, 地球科学, 21-3, p.46-47.
- 新井房夫 (1972) 斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロロジーの基礎的研究. 第四紀研究, 11, p.254-269.
- 新井房夫 (1979) 関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層. 考古学ジャーナル, no.53, p.41-52.
- 荒牧重雄 (1968) 浅間火山の地質. 地団研専報, no.14, p.1-45.
- 町田 洋・新井房夫 (1992) 火山灰アトラス. 東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫 (1984) テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのカタログ. 古文化財編集委員会編「古文化 財に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.
- 中沢英俊・新井房夫・遠藤邦彦 (1984) 浅間火山, 黒班～前掛期のテフラ層序. 日本第四紀学会講演要旨集, no.14, p.69-70.
- 坂口 一 (1986) 榛名ニツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器. 群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」, p.103-119.
- 早田 勉 (1989) 6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害. 第四紀研究27, p.297-312.
- 早田 勉 (1990) 群馬の自然と風土. 群馬県史通史編1, p.37-129.
- 早田 勉 (1991) 浅間火山の生い立ち. 佐久考古通信, no.53, p.2-7.
- 早田 勉 (1995) テフラからさぐる浅間山の活動史. 御代田町誌, 自然編, p.22-43.
- 早田 勉 (1996) 関東地方～東北地方南部の示標テフラの特徴—とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて—. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, VII, p.256-267.

表1 西田遺跡におけるテフラ検出分析結果

地点	試料	軽石		
		量	色調	最大径
1	1	++	白>灰白	1.8,0.7
2	-	-	-	-
4	-	-	-	-
3	1	++	灰白>白	4.1,1.2
	3	+	灰白	1.9
4	1	++	白	1.3
2	++		白>灰白	1.4,0.9
3	++		灰白	2.8

++++：とくに多い，+++：多い，++：中程度，+：少ない，-：認められない，最大径の単位は，mm

表2 E区東壁における屈折率測定結果

試料	鉱物	屈折率
1	opx> cpx	opx(γ): 1.705-1.709
2	opx> cpx	gl(n): 1.528-1.532 opx(γ): 1.702-1.706

屈折率の測定は，位相差法（新井，1972）による．gl：火山ガラス，opx：斜方輝石，cpx：単斜輝石．

表1 189溝西断面におけるテフラ検出分析結果

試料	軽石の量	軽石の色調	最大径
1	+++	白	2.0
2	++	灰白	3.1
3	-	-	-

++++：とくに多い，+++：多い，++：中程度，+：少ない，-：認められない．最大径の単位は，mm．

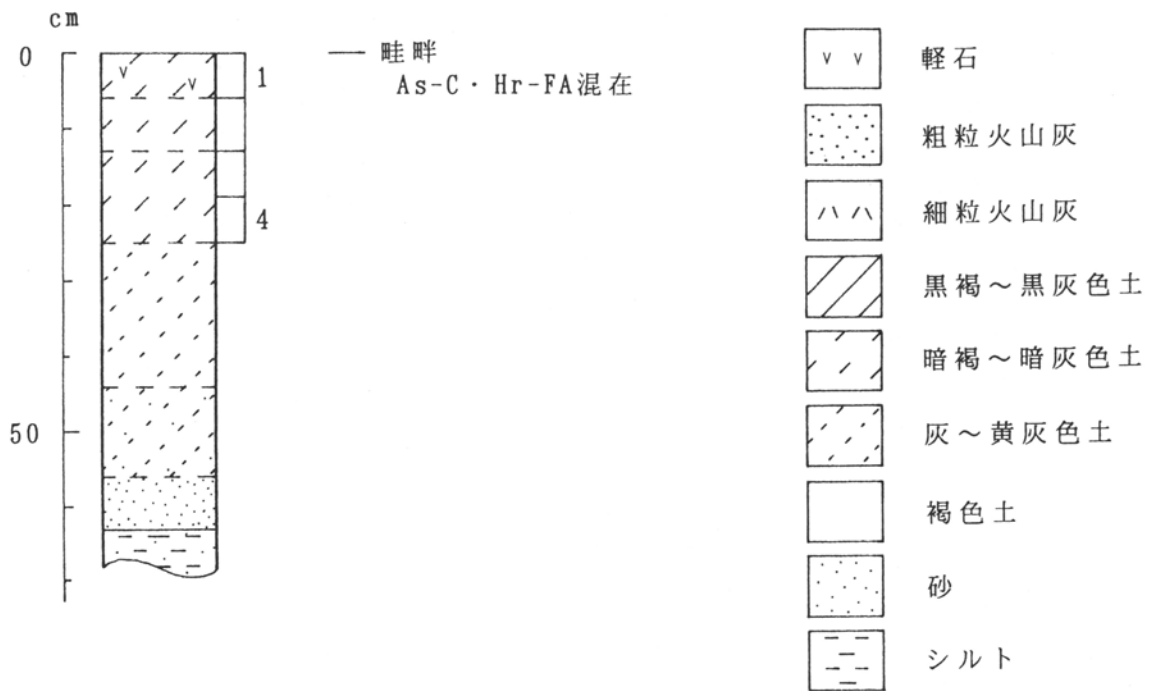


図2 第1地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

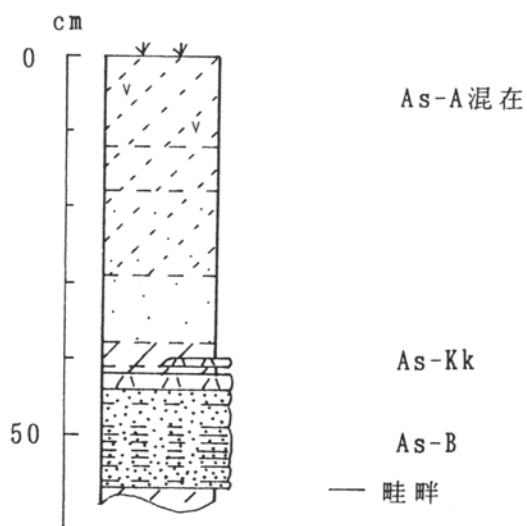


図3 第2地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

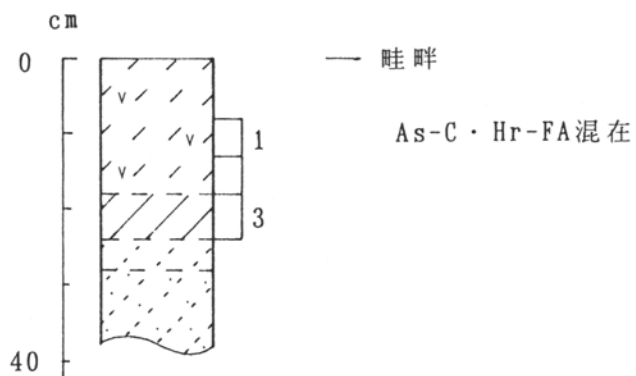


図4 第3地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

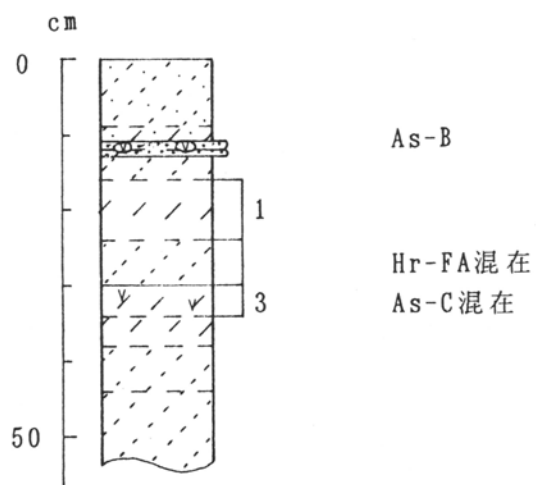


図5 第4地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

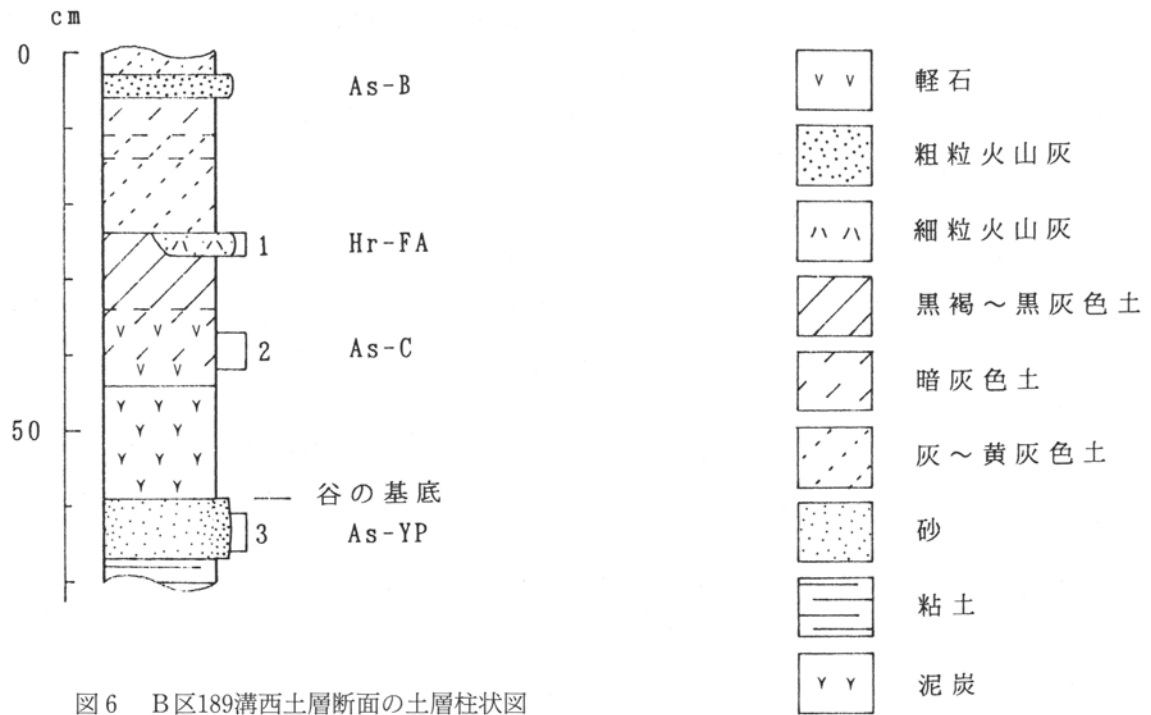


図6 B区189溝西土層断面の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

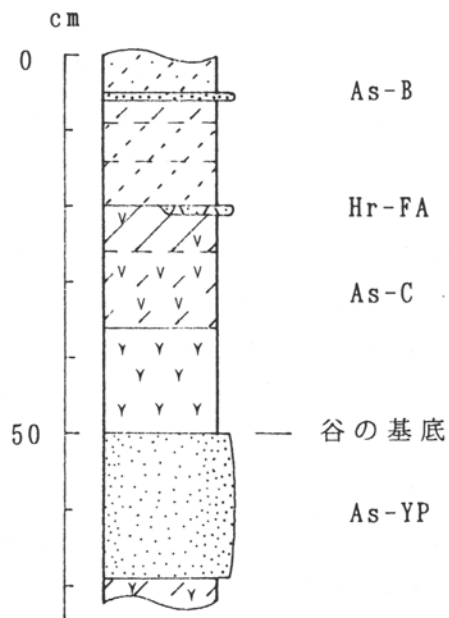


図7 189溝南土層断面の土層柱状図

II. 西田遺跡におけるプラント・オパール分析

1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸 (SiO_2) が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石 (プラント・オパール) となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出する方法であり、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査が可能である (藤原・杉山, 1984)。

2. 試料

第1～4地点の試料は、第1地点の3点、第2地点の2点、第3地点の4点、第4地点の6点の計15点である。第5～7地点の分析試料は、第5地点 (B区189溝西断面) および第6地点 (B区189溝南壁) から採取された計9点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

3. 分析法

プラント・オパールの抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法 (藤原, 1976) をもとに、次の手順で行った。

- 1) 試料を105°Cで24時間乾燥 (絶乾)
- 2) 試料約1gに対して直径約40 μm のガラスビーズを約0.02g添加
(電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量)
- 3) 電気炉灰化法 (550°C・6時間) による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射 (300W・42KHz・10分間) による分散
- 5) 沈底法による20 μm 以下の微粒子除去
- 6) 封入剤 (オイキット) 中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数。

同定は、イネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパールをおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中のプラント・オパール個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数 (機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位: 10^{-5}g) をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。イネ (赤米) の換算係数は2.94、ヨシ属 (ヨシ) は6.31、ススキ属 (ススキ) は1.24、タケ亜科 (ネザサ節) は0.48である。

4. 分析結果

水田跡 (稲作跡) の検討が主目的であることから、同定および定量はイネ、ヒエ属型、ヨシ属、ススキ属、タケ亜科 (おもにネザサ節) の主要な5分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1および図1～4に示した。写真図版に主要な分類群の顕微鏡写真を示す。

5. 考察

(1) 稲作跡の検討

水田跡 (稲作跡) の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料1gあたりおよそ5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している。ただし、群馬県内では密度が3,000個/g程度でも水田遺構が検出されていることから、ここでは判断の基準を3,000

個/gとして検討を行った。

1) 第1地点 (図1)

As-B直下層(試料1)からAs-Cの下層(試料3)までの層準について分析を行った。その結果、試料1と試料2からイネが検出された。このうち、As-B直下層(試料1)では密度が3,700個/gと高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。As-C・Hr-FA混層(試料2)では、密度が1,500個/gと低いことから、稲作が行われていた可能性は考えられるものの、上層もしくは他所からの混入の可能性も否定できない。

2) 第2地点 (図2)

As-Kk直下層(試料1)とAs-B直下層(試料2)について分析を行った。その結果、両試料からイネが検出された。密度はいずれも1,000個/g未満と低い値であるが、それぞれ直上をテフラ層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した可能性は考えにくい。したがって、各層の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。

3) 第3地点 (図3)

As-B直下層(試料1)からAs-C・Hr-FA混層の下層(試料4)までの層準について分析を行った。その結果、試料1～試料3の各試料からイネが検出された。このうち、As-B直下層(試料1)では密度が2,900個/g、As-C・Hr-FA混層の下層(試料3)でも3,500個/gといずれも高い値である。したがって、これらの層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。As-C・Hr-FA混層(試料2)では、密度が1,500個/gと低いことから、稲作が行われていた可能性は考えられるものの、上層もしくは他所からの混入の可能性も否定できない。

4) 第4地点 (図4)

As-B直下層(試料1)からAs-Cの下層(試料6)までの層準について分析を行った。その結果、試料1～試料4の各試料からイネが検出された。このうち、Hr-FA混層(試料3)では密度が3,700個/gと高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。As-B直下層(試料1)では密度が1,900個/gと比較的低い値である。ただし、同層は直上をAs-B層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した可能性は考えにくい。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。As-C混層(試料4)では、密度が700個/gと低いことから、稲作が行われていた可能性は考えられるものの、上層もしくは他所からの混入の可能性も否定できない。

5) 第5地点 (B区189溝西断面) (図1)

As-B直下層(試料1)からAs-C直下層(試料6)までの層準について分析を行った。その結果FA直下層(試料4)とAs-C混層(試料5)では、密度が1,000個/g前後と低い値であることから、これらの層で稲作が行われていた可能性は考えられるものの、上層もしくは他所からの混入の可能性も否定できない。As-B直下層(試料1)からAs-C混層(試料5)までの各層からイネが検出された。このうち、As-B直下層(試料1、2)では密度が6,000個/g、その下層(試料3)でも5,400個/gと高い値である。したがって、これらの層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

6) 第6地点 (B区189溝南壁) (図2)

Hr-FA直下層(試料1)からAs-C直下層(試料3)までの層準について分析を行った。その結果、Hr-FA直下層(試料1)とAs-C混層(試料2)からイネが検出された。密度は、前者で4,600個/g、後者で3,000個/gといずれも高い値である。したがって、これらの層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

(2) 堆積環境の推定

ヨシ属は比較的湿ったところに生育し、ススキ属やタケ亜科は比較的乾いたところに生育している。このことから、これらの植物の出現状況を検討することによって、堆積当時の環境（乾燥・湿潤）を推定することができる。おもな分類群の推定生産量（図の右側）によると、イネ以外では全体的にヨシ属が卓越していることが分かる。

以上のことから、稲作が開始される以前の遺跡周辺は、ヨシ属などが多く生育する湿地的な状況であったと考えられ、Hr-FA混層もしくはその下層の時期にそこを利用して水田稲作が開始されたものと推定される。なお、稲作の開始以降もヨシ属が多く見られることから、水田雑草などとしてヨシ属が生育していたことも考えられる。

以上の結果から、稲作が開始される以前の遺跡周辺は、ヨシ属などが多く生育する湿地的な環境であったと考えられ、As-C混層の時期にそこを利用して水田稲作が開始されたものと推定される。なお、稲作の開始以降もヨシ属が多く見られることから、水田雑草などとしてヨシ属が生育していたことも考えられる。

6. まとめ

プラント・オパール分析の結果、浅間Bテフラ（As-B, 1108年）直下層、榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA, 6世紀初頭）混層、As-C・Hr-FA混層の下層からは、イネが多量に検出され、それぞれ稲作が行われていた可能性が高いと判断された。

稲作が開始される以前の遺跡周辺は、ヨシ属などが多く生育する湿地的な状況であったと考えられ、Hr-FA混層もしくはその下層の時期にそこを利用して水田稲作が開始されたものと推定される。

分析の結果、浅間Bテフラ（As-B, 1108年）直下層、榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA, 6世紀初頭）直下層、浅間C軽石（As-C, 4世紀中葉）混層などからは、イネのプラント・オパールが多量に検出され、それぞれ稲作が行われていた可能性が高いと判断された。

本遺跡周辺は、稲作が開始される以前はヨシ属が繁茂する湿地的な環境であったと考えられ、As-C混層の時期にそこを利用して水田稲作が開始されたものと推定される。

参考文献

- 藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－，考古学と自然科学，9，p.15-29.
- 藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)－プラント・オパール分析による水田址の探査－，考古学と自然科学，17，p.73-85.

表1 群馬県、西田遺跡におけるプラント・オパール分析結果

検出密度 (単位: ×100個/g)

分類群/試料	No.1 地点			No.2 地点		No.3 地点				No.4 地点					
	1	2	3	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
イネ	37	15		7	7	29	15	35		19	15	37	7		
ヨシ属	44	82	59	7	51	36	45	21	36	13	15	59	80	52	101
ススキ属	22	15	7	15	7	93	52	49	22	6	37	15		29	7
タケ亜科	51	15			29	14	15	7	7	64		15	43	29	36

推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

イネ	1.07	0.44		0.22	0.21	0.84	0.44	1.03		0.56	0.43	1.09	0.21		
ヨシ属	2.77	5.18	3.72	0.47	3.23	2.26	2.81	1.32	2.27	0.80	0.92	3.75	5.02	3.25	6.39
ススキ属	0.27	0.18	0.09	0.18	0.09	1.16	0.64	0.61	0.27	0.08	0.46	0.18		0.36	0.09
タケ亜科	0.25	0.07			0.14	0.07	0.07	0.03	0.03	0.31		0.07	0.21	0.14	0.17

※資料の仮比重を1.0と仮定して算出

検出密度 (単位: ×100個/g)

分類群/試料	No.5 地点					No.6 地点			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
イネ	60	60	54	15	8		46	30	
ヨシ属	15	30		60	23	52	46	23	89
ススキ属	30	23	8	8	8		8	15	
タケ亜科	8		8	15	8		15		15

推定生産量 (単位: kg/m²・cm)

イネ	1.76	1.78	1.59	0.44	0.22		1.36	0.88	
ヨシ属	0.95	1.91		3.79	1.43	3.31	2.91	1.42	5.65
ススキ属	0.37	0.28	0.10	0.09	0.09		0.10	0.19	
タケ亜科	0.04		0.04	0.07	0.04		0.07		0.07

植物珪酸体の顕微鏡写真

(倍率はすべて400倍)

No.	分類群	地点	試料名	No.	分類群	地点	試料名
1	イネ	No.3	1	7	イネ	189溝西	2
2	キビ族型	No.3	3	8	イネ	189溝南	1
3	ヨシ属	No.1	1	9	イネ	189溝西	1
4	ススキ属原型	No.3	3	10	イネ	189溝南	1
5	ネザサ節型	No.2	2	11	ヨシ属	189溝西	4
6	棒状珪酸体	No.3	3	12	ヨシ属	189溝西	1

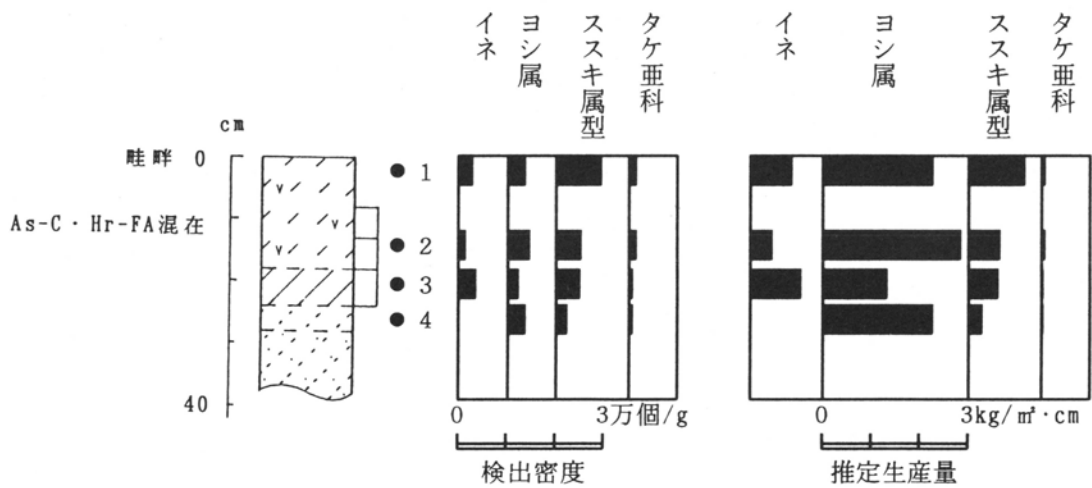


図8 西田遺跡、第3地点におけるプラント・オパール分析結果

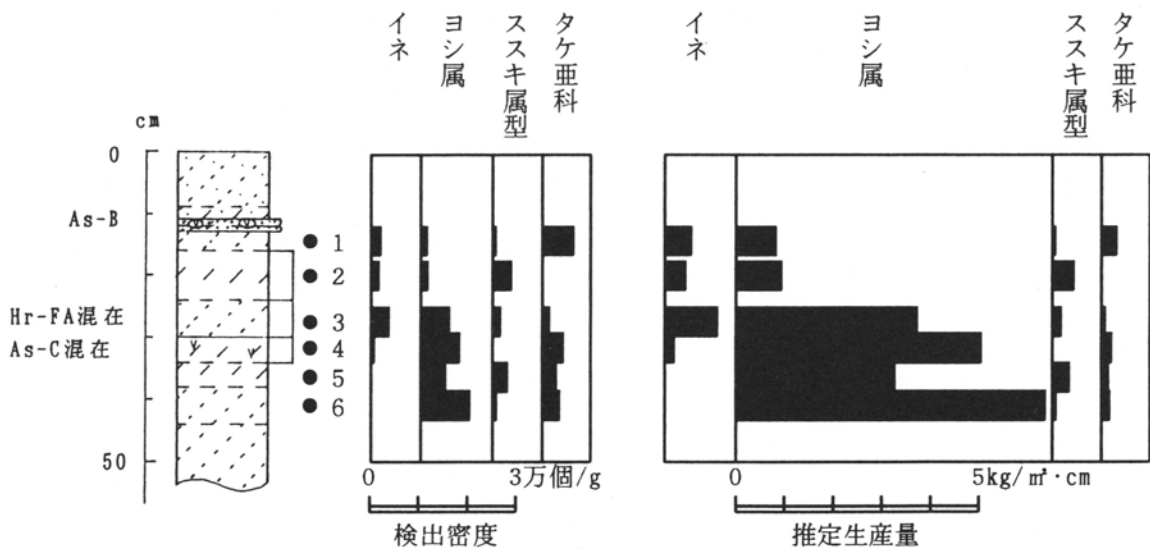


図9 西田遺跡、第4地点におけるプラント・オパール分析結果

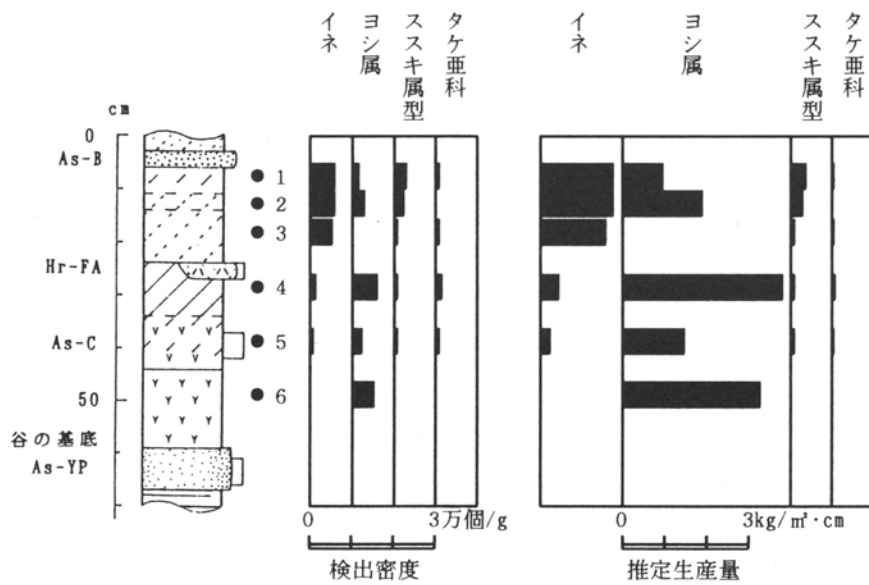


図10 西田遺跡、B区189溝西におけるプラント・オパール分析結果

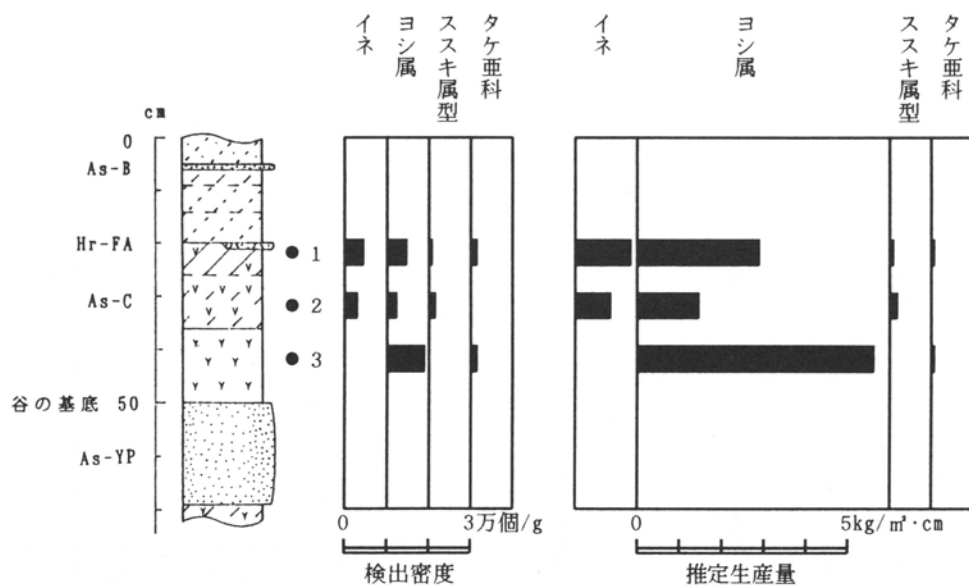


図11 西田遺跡、189溝南におけるプラント・オパール分析結果

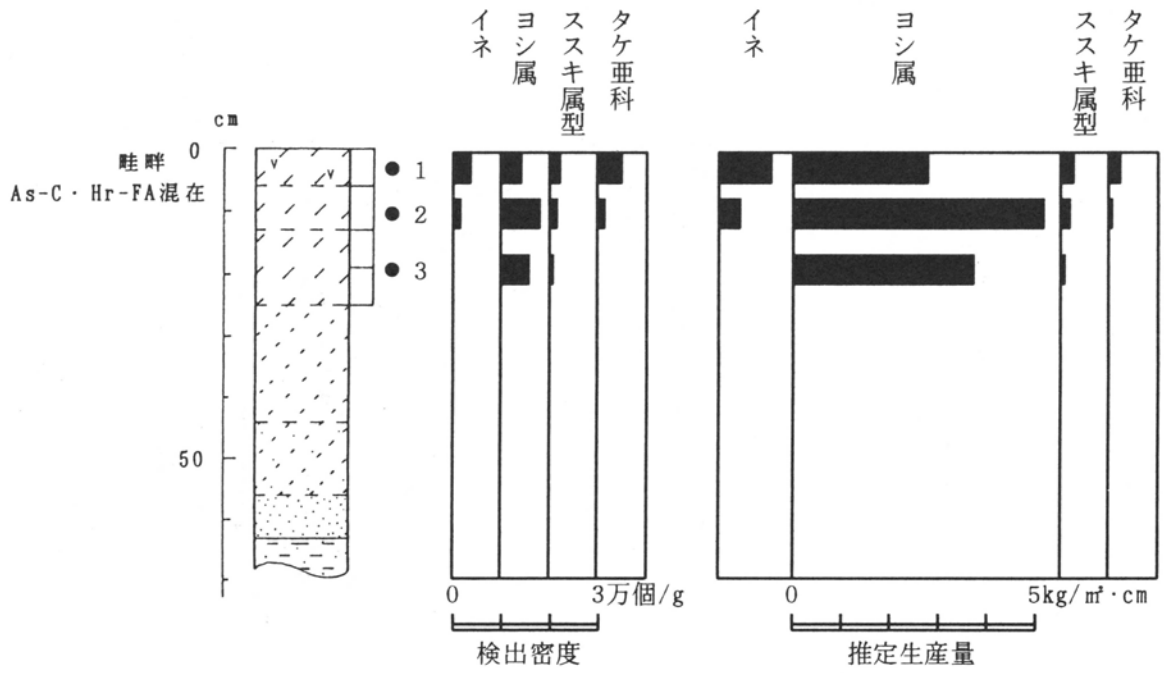


図12 西田遺跡、第1地点におけるプラント・オパール分析結果

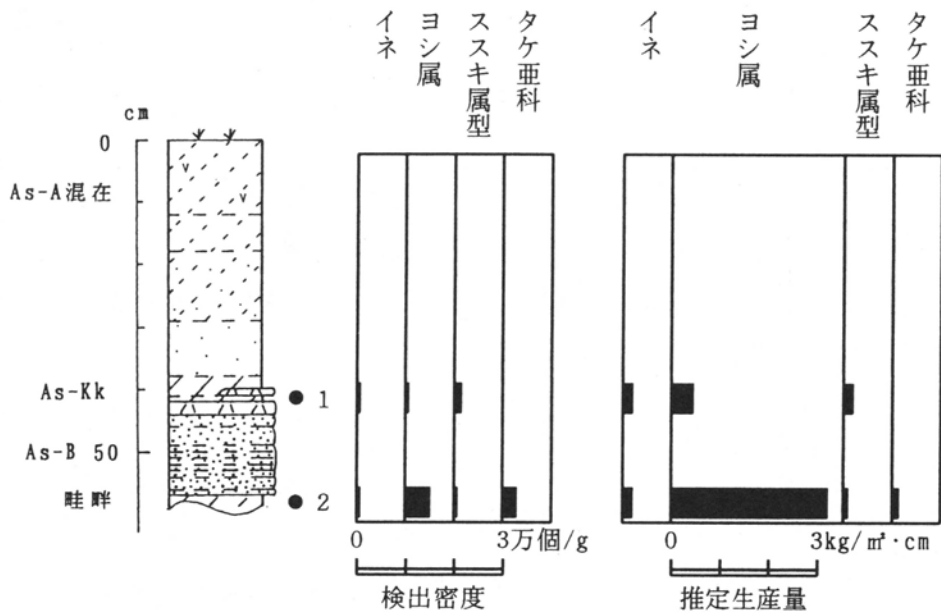
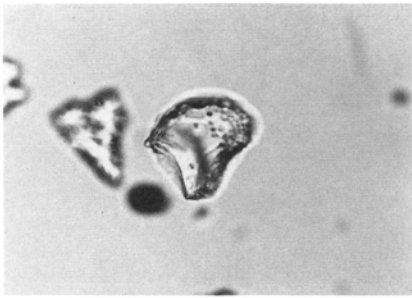
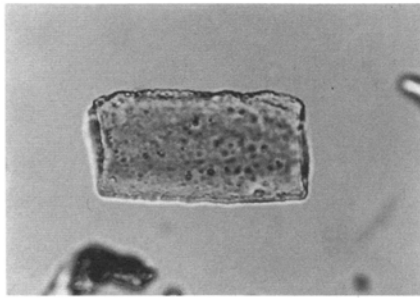


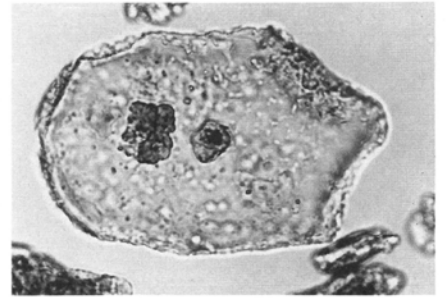
図13 西田遺跡、第2地点におけるプラント・オパール分析結果



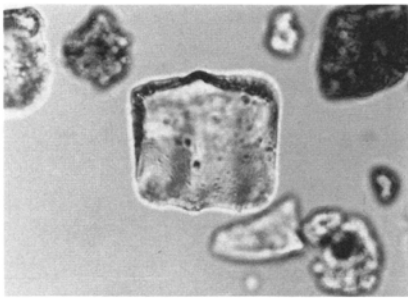
1



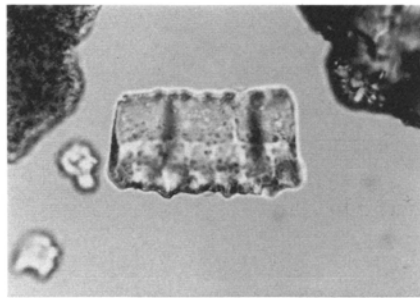
2



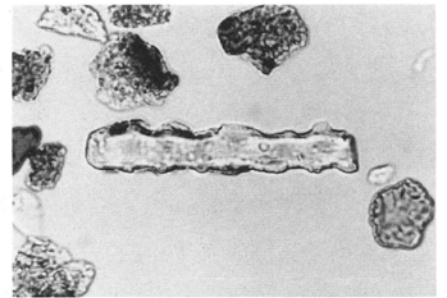
3



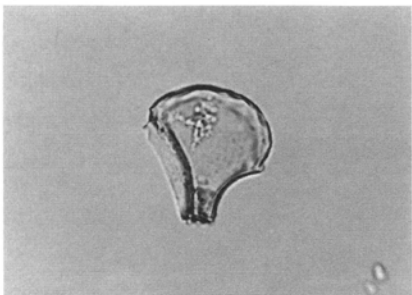
4



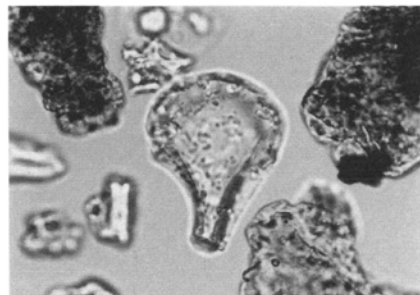
5



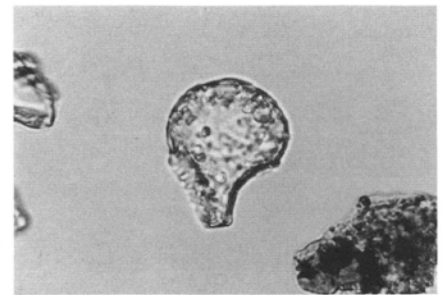
6



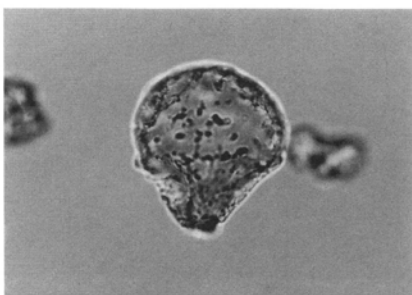
7



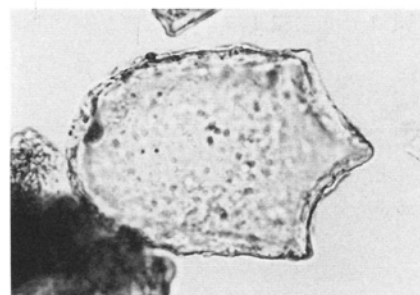
8



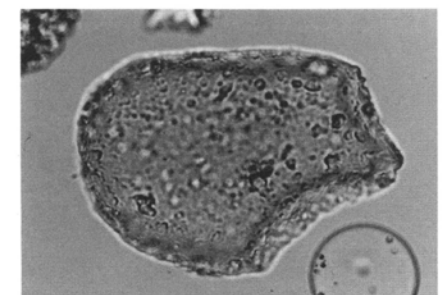
9



10



11



12

0 50 100μm

西田遺跡 プラントオパール顕微鏡写真

III. 西田遺跡における花粉分析

1. 試料

試料は、B区189溝西断面から採取された3点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

2. 方法

花粉粒の分離抽出は、基本的には中村（1973）を参考にし、試料に以下の順で物理化学処理を施して行った。

- 1) 5%水酸化カリウム溶液を加え15分間湯煎する。
- 2) 水洗した後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法を用いて砂粒の除去を行う。
- 3) 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置する。
- 4) 水洗した後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理（無水酢酸9：1濃硫酸のエルドマン氏液を加え1分間湯煎）を施す。
- 5) 再び氷酢酸を加えた後、水洗を行う。
- 6) 沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色を行い、グリセリンゼリーで封入しプレパラートを作製する。

以上の物理・化学の各処理間の水洗は、1500rpm、2分間の遠心分離を行った後、上澄みを捨てるという操作を3回繰り返して行った。

検鏡はプレパラート作製後直ちに、生物顕微鏡によって300～1000倍で行った。花粉の同定は、島倉（1973）および中村（1980）をアトラスとし、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類した。複数の分類群にまたがるものはハイフン（-）で結んで示した。なお、科・亜科や属の階級の分類群で一部が属や節に細分できる場合はそれらを別の分類群とした。イネ属に関しては、中村（1974、1977）を参考にし、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表面断面の特徴と対比して分類したが、個体変化や類似種があることからイネ属型とした。

3. 結果

(1) 分類群

出現した分類群は、樹木花粉16、草本花粉12、シダ植物孢子2形態の計30である。これらの学名と和名および粒数を表1に示し、主要な分類群を写真に示す。以下に出現した分類群を記す。

〔樹木花粉〕

モミ属、ツガ属、マツ属複雑管束亜属、スギ、サワグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属-アサダ、クリーシイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、ニレ属-ケヤキ、エノキ属-ムクノキ、カエデ属、トチノキ

〔草本花粉〕

ガマ属-ミクリ属、オモダカ属、イネ科、カヤツリグサ科、ミズアオイ属、タデ属サナエタデ節、ギシギシ属、アカザ科-ヒユ科、ワレモコウ属、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属

〔シダ植物孢子〕

単条溝孢子、三条溝孢子

(2) 花粉群集の特徴と変遷

As-C直下層（試料3）ではシダ植物孢子の占める割合が高い。花粉は少ないが、樹木花粉ではコナラ属コナラ亜属、草本花粉ではイネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属がやや多い。As-C混層（試料2）でもシダ植物孢子の割合が極めて高い。樹木花粉より草本花粉の占める割合が高く、カヤツリグサ科、ヨモギ属、イネ科

が優占する。樹木花粉では、コナラ属コナラ亜属が主に出現する。Hr-FA直下層（試料1）では、草本花粉の占める割合が高く、カヤツリグサ科、ヨモギ属、イネ科が優占する。樹木花粉ではコナラ属コナラ亜属が優占し、クリーシイ属などが伴われる。

4. 花粉分析からみた植生と環境

浅間C軽石（As-C、4世紀中葉）混層およびその下層の堆積当時は、シダ植物やカヤツリグサ科などが生育する水湿地の環境であったと考えられ、やや乾燥したところにはヨモギ属も生育していたものと推定される。榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA、6世紀初頭）直下層でも、カヤツリグサ科、ガマ属-ミクリ属、オモダカ属などが生育する湿地の環境であったと考えられる。森林植生としては、ナラ類（コナラ属コナラ亜属）を主とする落葉広葉樹林が、周辺地域に分布していたものと推定される。

参考文献

- 中村純（1973）花粉分析. 古今書院, p.82-110.
金原正明（1993）花粉分析法による古環境復原, 新版古代の日本第10巻古代資料研究の方法, 角川書店, p.248-262.
島倉巳三郎（1973）日本植物の花粉形態, 大阪市立自然科学博物館収蔵目録第5集, 60p.
中村純（1980）日本産花粉の標徴, 大阪自然史博物館収蔵目録第13集, 91p.
中村純（1974）イネ科花粉について、とくにイネ（*Oryza sativa*）を中心として. 第四紀研究, 13, p.187-193.
中村純（1977）稲作とイネ花粉. 考古学と自然科学, 第10号, p.21-30.

表1 西田遺跡における花粉分析結果

学名	分類群	和名	B区189溝 (埋没谷) 西断面		
			1	2	3
Arboreal pollen		樹木花粉			
<i>Abies</i>		モミ属		3	
<i>Tsuga</i>		ツガ属		1	
<i>Pinus subgen. Diploxylon</i>		マツ属複維管束亜属		1	
<i>Cryptomeria japonica</i>		スギ	3	3	1
<i>Pterocarya rhoifolia</i>		サワグルミ	1		
<i>Alnus</i>		ハンノキ属			1
<i>Betula</i>		カバノキ属	3		
<i>Carpinus-Ostrya japonica</i>		クマシデ属-アサダ	1	1	2
<i>Castanea crenata-Castanopsis</i>		クリーシイ属	11	2	5
<i>Fagus</i>		ブナ属		3	
<i>Quercus subgen. Lepidobalanus</i>		コナラ属コナラ亜属	58	15	3
<i>Quercus subgen. Cyclobalanopsis</i>		コナラ属アカガシ亜属	11	3	1
<i>Ulmus-Zelkova serrate</i>		ニレ属-ケヤキ	1		
<i>Celtis-Aaaphananthe aspea</i>		エノキ属-ムクノキ	1		
<i>Acer</i>		カエデ属	2	1	
<i>Aesuculus tubinata</i>		トチノキ	1		
Nonarboreal pollen		草本花粉			
<i>Typha-Sparganium</i>		ガマ属-ミクリ属	9		
<i>Sagittaria</i>		オモダカ属	4		
Gramineae		イネ科	28	17	2
Cyperaceae		カヤツリグサ科	73	44	14
<i>Monochoria</i>		ミズアオイ属	2		
<i>Polygonum sect. Persicaria</i>		タデ属サナエタデ属	1	3	
<i>Rumex</i>		ギシギシ属	1		
Chenopodiaceae-Amaranthaceae		アカザ科-ヒユ科	1		
<i>Sanguisorba</i>		ワレモコウ属			1
Lactucoideae		タンポポ科	1		
Asteroideae		キク亜科	2	2	
<i>Artemisia</i>		ヨモギ属	27	20	7
Fern spore		シダ植物孢子			
Monolate type spore		単条溝孢子	9	2476	120
Trilate type spore		三条溝孢子	3	2	
Arboreal pollen		樹木花粉	93	33	13
Nonarboreal pollen		草本花粉	149	86	24
Total pollen		花粉総数	242	119	37
Unknown pollen		未同定花粉	0	2	1
Fern spore		シダ植物孢子	12	2478	120

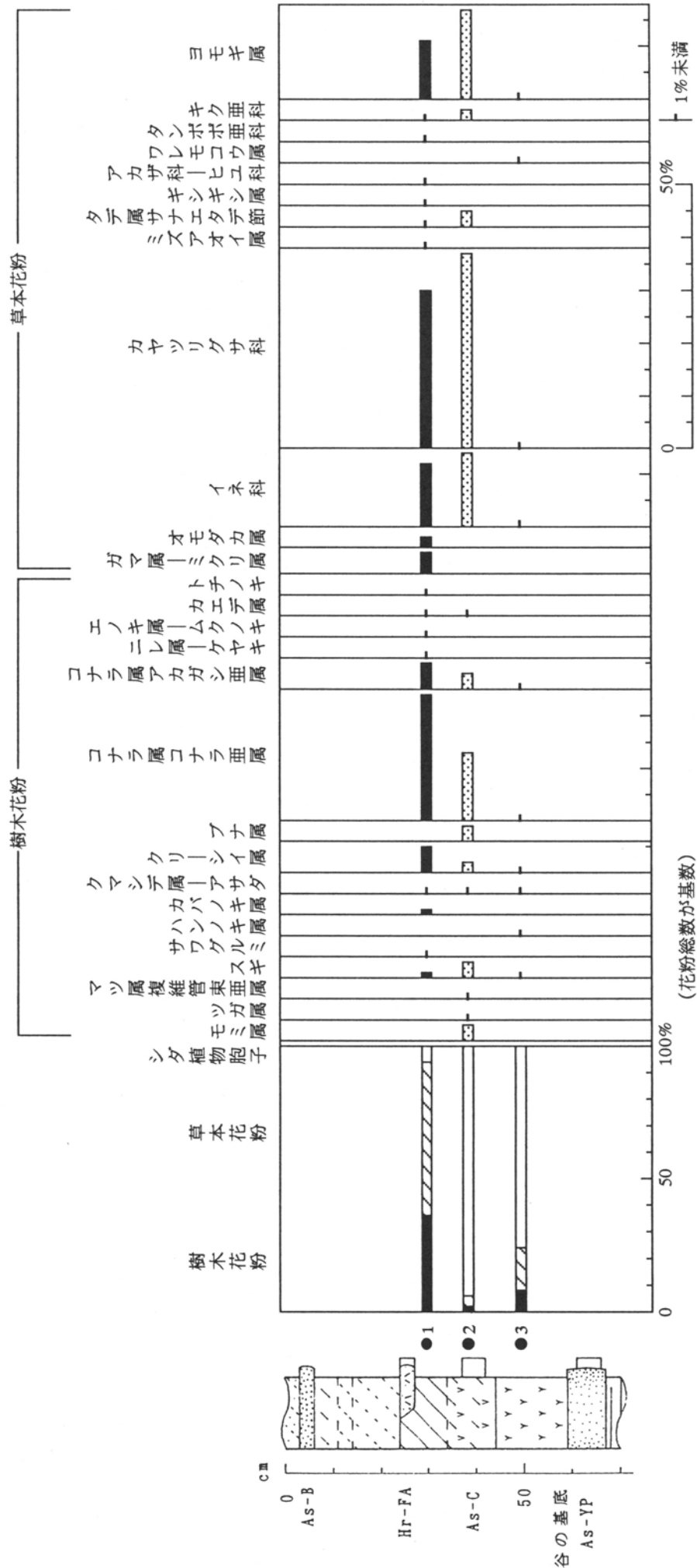


図14 西田遺跡、B区189溝(埋没谷)西断面における花粉ダイアグラム

西田遺跡の花粉・孢子遺体



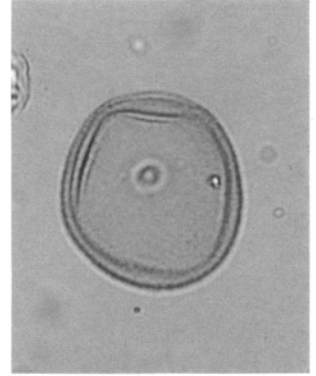
1 コナラ属コナラ亜属



2 コナラ属アカガシ亜属



3 ガマ属—ミクリ属



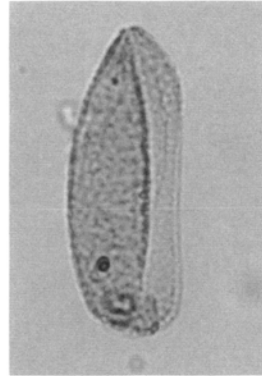
4 イネ科



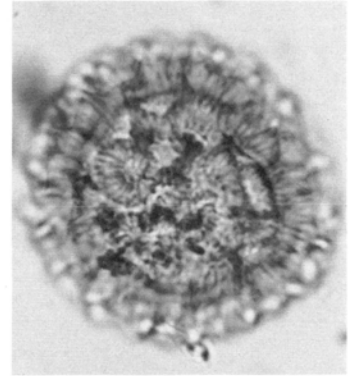
5 イネ科



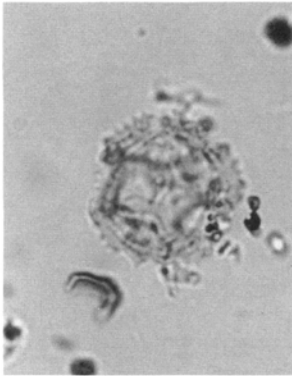
6 カヤツリグサ科



7 ミズアオイ属



8 タデ属サナエタデ節



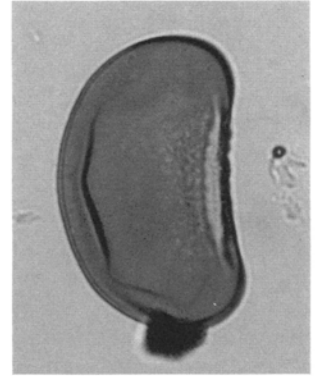
9 タンポポ科



10 ヨモギ属



11 シダ植物単条溝孢子



12 シダ植物単条溝孢子

45μm

第2節 西田遺跡出土のヒトの歯

宮崎 重雄

I はじめに

西田遺跡は、群馬県前橋市鶴光路町にあり、発掘調査は平成9年から10年まで群馬県埋蔵文化財調査事業団により実施された。今回報告のヒトの歯はこのうち平成9年に出土したものである。

出土遺物の年代は17世紀から18世紀である。

II 調査基準

- 1 計測法は藤田 (1949) に従った。
- 2 計測値による性別判定は権田 (1959)、上条 (1962) などのデータとの比較によった。
- 3 咬耗度による年齢判定には栃原 (1957) を参考にした。
- 4 乳歯の形成過程による年齢推定には Lunt & Law (1974) を、乳歯の萌出時期による年齢推定には浜野 (1930) を参考にした。
- 5 調査項目は主に上条 (1962) を参考にした。

III 調査結果

出土した歯には、ごく少数歯根を残すものもあるが、大多数は歯冠部のみの残存したものである。

1 171土坑

切歯2、犬歯2、小白歯2、大白歯1、計7本の歯が残存する。

第1大白歯では咬耗が進み、近心側2咬頭の象牙質がつながっている。犬歯では右上顎犬歯がエナメル質のみ咬耗されているのに対し、左下顎犬歯は尖頭部に4.9*1.8mmの象牙質が大きく露出していて、この部位での歯の使用が過度であったことを物語っている。壮年期後半から熟年期前半の個体であろう。歯の大きさは男性を思わせる。右上顎犬歯と左下顎犬歯には近心歯頸部にC3の齲蝕がある。

2 172土坑

切歯3、犬歯3、小白歯4、大白歯9、計19本の歯冠部が完存する。

左上顎第3大白歯はすでにエナメル質のほぼ1/3の咬耗を受け、左および右下顎第3大白歯(?)もエナメル質の咬耗を受けている。下顎第1大白歯では左右いずれの歯もほぼ全咬頭で象牙質が露出し、上顎第1大白歯でも右側は同様の咬耗度を示す。壮年期後半から熟年期前半の個体であろう。歯の大きさは女性の可能性を示す。他の歯に比べて犬歯の咬耗が著しく、上顎犬歯では左右とも露出する象牙質の径が4mmを越え、下顎犬歯でも径3.7mmである。犬歯部の過度の使用があったと思われる。右上顎犬歯と左下顎犬歯の近心歯頸部にはC1の齲蝕がある。

3 173土坑

切歯3、犬歯1、小白歯4、大白歯5、計13本の歯冠部がほぼ完存する。

右上顎第1大白歯では舌側半の全面と近心頬側咬頭に象牙質の露出がある。一方下顎大白歯では、左第1がエナメル質2/3を咬耗され、左第2大白歯が近心頬側咬頭に径0.8mmの極小の象牙質の露出させている。壮年期後半から熟年期前半であろう。歯の大きさからの性別の判定は困難である。切歯部の舌側面には近・遠心辺縁隆線あるいは基底部におよび咬耗が観察されることから、鋏状咬合であったことが窺われる。左下顎犬

歯には最大径3.6mm、左下顎小白歯には最大径2.8mmの象牙質が露われ、犬歯部の使用が過度であったことを示している。左第2?大白歯近心歯頸部にC1の齲蝕がある。

4 174土坑

No.1 個体

切歯1、犬歯1、小白歯2、大白歯3の計7本の歯冠部がほぼ残存する。

右下顎第1大白歯では近心舌側咬頭に、第2(?)大白歯では近心頬側咬頭にそれぞれ点状の象牙質の露出がみられる。壮年期後半?熟年期前半の個体であろう。歯の大きさは男性を示している。右上顎第1または第2大白歯には柱状のカラベリ-結節が観察され、近心歯頸部にC2の齲蝕がある。

No.2 個体

右上顎第2乳白歯、右下顎第2乳白歯と乳犬歯片1、乳白歯片1が残存する。いずれも未咬耗で、1才?1.5才と思われる。性別の判定は困難である。右上顎第2乳白歯には痕跡的なカラベリ-結節が観察される。

5 175土坑

No.1 個体

切歯1、犬歯1、小白歯3、大白歯4の計9本が出土している。

右上顎第1大白歯はエナメル質のみ広く咬耗され、上顎第3大白歯・下顎第3大白歯はごく僅かの咬耗を受けていることで、青年期後半から壮年期前半の個体と判断される。歯の大きさは男性を示している。右下顎側切歯では象牙質が帯状に露出し、咬耗面が遠心に傾斜している。また、右下顎犬歯では尖頭部に最大径3.9mmの象牙質が露出し、咬耗面が遠心・唇側に傾斜している。この遠心への傾斜は右第1小白歯でもみられ、右下顎犬歯付近での特異な歯の使い方があったようである。右下顎犬歯の遠心歯頸部にC2の齲蝕がみられる。

No.2 個体

乳白歯1、切歯3、白歯1の計5本が出土している。

下顎第1乳白歯は咬耗開始直後でわずかに咬耗されているだけである。右下顎中切歯・右下顎側切歯、左下顎側切歯、右下顎第1大白歯は未咬耗である。3?5才と思われる。

6 178土坑

切歯1、犬歯2、小白歯2、大白歯2の計7本の歯冠部が完存している。古銭によるとと思われる緑青ですべての歯が青緑色化している。

上顎第1大白歯では近心舌側咬頭の象牙質と近心辺縁隆線の象牙質とが咬耗により連続している。また、近心頬側咬耗にも点状の象牙質が露出している。右下顎第1または第2大白歯では遠心2咬頭に点状の象牙質が露出している。他の歯も咬合面に象牙質が観察される。壮年期後半から熟年期前半の個体と思われる。歯の大きさは男性を示している。右上顎第1または第2大白歯では舌側の2咬頭間に結節を見る。齲蝕はない。

7 179土坑

No.1 個体

切歯2、小白歯1、大白歯5、計8本の歯冠部が完存する。

左下顎第1大白歯は近心2咬頭に点状の象牙質が露出しているが、右第2大白歯はエナメル質が部分的に咬耗しているだけで、右第3大白歯・右上顎第3大白歯は未咬耗(未萌出)である。青年期前半の個体であろう。歯の大きさは男性を示している。齲蝕はない。

No.2 個体

右上顎犬歯と左上顎犬歯である。いずれも未咬耗（未萌出）であるが、歯冠部は完成されている。7～9才程の年齢であろう。歯の大きさは男性である。

No.3 個体

左第1小臼歯と右下顎第2又は第3大臼歯の出土である。前者では頬側咬頭に点状の象牙質が露出している。後者では咬合面のほぼ全面のエナメル質が咬耗を受けている。壮年期の個体であろう。性別の判定は困難である。

8 180土坑

乳臼歯1、切歯3、犬歯2、小臼歯2、大臼歯2、計10本の歯冠部が完存する。右下顎第2乳臼歯は各咬頭に象牙質が点状に露出している。他の永久歯はすべて未萌出であるが、上顎・下顎第2大臼歯以外はすべて歯冠部がほぼ完成している。4～5才の個体であろう。歯の大きさは女性を示す。左第1大臼歯には咬頭状のカラベリ―結節がある。

9 181土坑

左上顎第2小臼歯、右下顎第2大臼歯と犬歯片の出土である。前二者ともほぼ咬合面のエナメルがほぼ全面咬耗されている。犬歯では尖頭部に菱形の象牙質が露出し、舌側咬合面エナメル質が広く咬耗されている。壮年期から熟年期前半の個体であろう。歯が小さく女性のものであろう。

10 182土坑

切歯1、犬歯2、小臼歯5、大臼歯2、計10本の歯冠部が完存する。右下顎の第3大臼歯を除いてあとの9本の歯にはすべて点状または面状の象牙質が露出している。特に大きく露出しているのは右下顎犬歯（最大径3.1mm）、右下顎第1小臼歯（最大径4.3mm）でこの部分の過度の使用があったように思われる。熟年期の個体であろう。歯の大きさは女性の可能性を窺わせる。右上顎第1小臼歯の遠心歯頸部にC2の齲蝕がある。

11 183土坑

犬歯2、小臼歯2、大臼歯4の計8本の歯冠部が完存する。右下顎第1大臼歯では遠心舌側咬頭以外の咬頭に点状の象牙質が露出し、右下顎第2大臼歯では近心舌側咬頭に点状の象牙質が露出している。これに対し右上顎第1・第2の各大臼歯ではエナメル質のみの咬耗で下顎大臼歯より咬耗度が弱い。また、上顎犬歯・下顎犬歯、下顎小臼歯には点状または帯状の象牙質の露出が見られる。壮年期の個体であろう。歯は小さく女性であろう。齲蝕はない。

12 184土坑

左上顎第2（？）大臼歯の破片1片だけの出土である。遠心頬側咬頭に点状の象牙質の露出があり、壮年期から熟年期の個体のものである。性別は不詳である。

13 186土坑

左上顎犬歯1本の出土である。尖頭部から近心辺縁隆線にかけて象牙質が連続して露出し、咬耗は進行している。壮年期から熟年期の個体であろう。女性の可能性が大きい。

14 187土坑

乳臼歯3本と左上顎第1大臼歯1本と出土である。このうち右下顎第1乳臼歯のみエナメル質が僅かに咬耗を受け、第2乳臼歯は上顎・下顎とも、第1大臼歯

(左上顎)は未咬耗(未萌出)である。したがって年齢は1.5才~2才と推定され、歯の大きさは女性であることを示す。齲歯はない。

15 190土坑

犬歯2、小白歯4、大白歯1の計7本の歯冠部が完存する。

左下顎第1小白歯を除きすべての歯で象牙質の露出がある。青年期に萌出する第3大白歯でも近心舌側後頭に点状の象牙質の露出がみられることで、壮年期後半から熟年期の個体と思われる。歯の大きさは男性の可能性を示している。左第1小白歯がなぜ咬耗されていないのかは不明である。

16 192土坑

切歯2、犬歯3、小白歯8、大白歯4の計17本の歯が出土している。

下顎第1大白歯は頬側2咬頭に点状の象牙質が露出し、咬合面のほぼ全面に咬耗がおよんでいる。下顎第2大白歯では第5咬頭にごく小さい点状の象牙質が露出している。一方上顎では第2大白歯・第3大白歯が咬合面のほぼ1/2がエナメル質の咬耗を受けている。この他、咬耗が象牙質にまで及んでいるのは右上顎中切歯・左下顎犬歯・左上顎第2小白歯・左下顎第2小白歯である。壮年期の個体であろう。歯の大きさは男性であることを示している。

右上顎第1大白歯は近遠心径の方が頬舌径より大きいという異常形であり、右上顎第2大白歯も近遠心径と頬舌径がほぼ等しいという稀な例である。さらに下顎第2小白歯は左右ともBlackの3の分類に該当しない異常形である。上顎白歯の方が下顎白歯より咬耗が弱い理由についてはわからない。齲歯はない。

17 193土坑

切歯2、犬歯1、小白歯1、計4本の出土である。

すべての歯で象牙質が露出し、特に左上顎犬歯では近心辺縁隆線・遠心辺縁隆線から基底結節にかけて象牙質の露出があり、異常咬耗をしている。壮年期の個体で、歯の大きさは男性を思わせる。

18 195土坑

犬歯1、小白歯3、大白歯3、計7本の出土である。

左上顎犬歯では尖頭部に最大径3.9mmの菱形の象牙質が露出し、咬耗面が近心へ傾斜している。右上顎では第2大白歯が咬合面の約4/5のエナメル質を咬耗されているが、第3大白歯では約1/3咬耗されているだけである。一方、左上顎第3大白歯では近心頬側咬頭に極小の点状象牙質が露出し、咬合面のほぼ全面のエナメル質が咬耗を受けている。左上顎の大白歯の咬耗の比較的進行している個体ということになるが、壮年期の個体であろう。歯の大きさは女性を示している。左上顎第3大白歯は近遠心径に比べて頬舌径が際だって大きいのを特徴とする。齲歯はない。

19 196土坑

切歯1、犬歯1、小白歯4、大白歯5の計11本の出土である。

右下顎では第1大白歯が頬側2咬頭に点状の象牙質を露出し、第2大白歯では点状の象牙質を露出し、咬合面のエナメル質を約1/3咬耗させている。上顎大白歯では左第3大白歯が咬合面のエナメル質の約1/3が咬耗を受けている。壮年期後半から熟年期前半の個体であろう。歯の大きさは女性を示している。右上顎第1大白歯には結節状のカラベリー結節が発達している。

20 197土坑

乳犬歯1、乳白歯3、切歯4、犬歯3、小白歯7、大白歯5の計23本の出土である。

左上顎乳犬歯は尖頭部に最大径2.3mmの雨滴状の象牙質が露出し、右上顎第1乳白歯、同第2乳白歯、左上顎

第2乳臼歯ではほとんどの咬頭に点状の象牙質の露出をみる。永久歯では切歯のみにごく僅かの咬耗が認められ、他の歯は未咬耗である。年齢は4才前後が想定される。歯は比較的大きく男性であろう。上顎第2乳臼歯2本と上顎第1大臼歯2本にはともに結節状のカラベリー結節が観察される。

21 199土坑

切歯4、犬歯3、小白歯5、大臼歯8の計20本の出土である。

下顎第1大臼歯は左右とも点状の象牙質が露出している。また、右下顎には第3大臼歯が萌出していて、咬合面のエナメルが約1/3を咬耗されている。また、すての切歯、右下顎犬歯以外はエナメル質の咬耗のみで、象牙質の露出はない。壮年期の個体と思われる。犬歯の大きさは男性の範囲にあるが、大臼歯は女性的であり、性別の判定は困難である。

22 200土坑

切歯1本、小白歯2本の歯冠部が完存し、上顎犬歯1片が出土している。

犬歯には2本の棘突起が発達している。どの歯にも象牙質の露出があり、特に右上顎第2小白歯は舌側咬頭に大きく頬側咬頭に小さい象牙質が露出している。壮年期の個体と思われる。女性であろう。

23 204土坑

切歯2、犬歯3、小白歯6、大臼歯7の計18本の歯冠部が完存し、他に歯冠片6片が出土している。

咬耗を受けているのは犬歯3本と第1大臼歯3本のみで、他の歯はすべて未咬耗（未萌出）である。10～11才頃に萌出するとされる犬歯がすでに僅かの咬耗を受けている一方で、7才頃に萌出するはずの下顎側切歯をはじめ、9～12才頃までには萌出する小白歯・第2大臼歯は未萌出である。この個体では犬歯の萌出だけが特に早かったようである。総合的に判断して8～9才ほどでの少年期の個体ではないだろうか。男性であろう。

24 205土坑

切歯3、犬歯1、小白歯5、大臼歯3の計12本の歯冠部が館損し完存し、他に歯冠片10片が出土している。

この個体では下顎第2小白歯が比較的大きいのを特徴とする。下顎第1大臼歯では全咬頭に点状のエナメル質が露出し、下顎第2大臼歯では咬合面のエナメル質のほぼ全面が咬耗されている。この他の歯の咬耗度も考慮して壮年期の個体と判断してた。男性であろう。

25 206土坑

3本の上顎大臼歯が出土しててる。

右上顎第3大臼歯はまだ咬耗を受けてなく、萌出してなかったようである。また、右上顎第1または第2大臼歯の歯片は咬合面のエナメルの2/3程度が咬耗されている。一方、左上顎第2(?)大臼歯は近心舌側咬頭以外の各咬頭には点状の象牙質が露出していること等により青年期前半あたりの年齢が推定される。女性の可能性もあるが、性別は不明である。

26 207土坑

切歯5、犬歯3、小白歯7本、大臼歯8の計23本の歯冠部が完存する。

左第3大臼歯はすでに萌出しており、近心頬側咬頭に点状の象牙質がある。他の大臼歯も上顎・下顎すべての歯に点状の象牙質が露出している。小白歯はすべてエナメル質のみの咬耗で、小白歯部位での咬耗があまり強くなかったことを示している。熟年期の個体であろう。歯の大きさは女性を示している。上顎側切歯では咬耗が辺縁隆線まで及んでいることにより鋏状咬合が推定される。ただし、切歯では唯一左上顎切歯にほとんど咬耗痕がなく、歯冠高が高いのに下顎切歯と咬合せず植立位置あるいは方向が異常だったようである。

27 208土坑

小白歯1、大白歯3本と歯冠片1片の出土である。

右下顎第1大白歯では近心頬側咬頭に微小の点状象牙質が露出しているが、他の歯はエナメル質のみの咬耗である。壮年期の個体であろう。歯の大きさからの性別判定は困難である。

28 214土坑

右上顎第1大白歯1本の出土である。

すべての咬頭に点状の象牙質が露出している。壮年期から熟年期前半の個体であろう。女性のもと思われる。咬頭状のカラベリー結節が観察される。

29 215土坑

小白歯1本と上顎大白歯2本の出土である。

右上顎第2小白歯は舌側に大きく(最大径2.5mm)頬側に小さい象牙質が露出している。第3大白歯がすでに萌出していて、わずかに咬耗を受けている。壮年期の個体であろう。歯の大きさからの性別の判定は困難である。

30 216土坑

No.1 個体

切歯2、犬歯1、小白歯4、大白歯4の計11本の歯冠部が完存し、歯冠片4片が出土している。

エナメル質の露出があるのは上顎・下顎の側切歯のみで、左上顎第1大白歯・第2大白歯など他の歯はすべてエナメル質のみの咬耗である。青年期の個体であろう。女性の可能性がある。左上顎第1大白歯には痕跡的なカラベリー結節がある。

No.2 個体

犬歯1本、小白歯2本の出土である。

左上顎犬歯では尖頭部舌側に象牙質が露出し、同部のエナメル質が大きく咬耗されている。他の歯はエナメル質のみの咬耗である。壮年期の個体であろう。歯の大きさは男性を示す。

31 217土坑

上顎大白歯2本の出土である。両方ともエナメル質のみの咬耗で青年期後半から壮年期の個体であろう。

女性のものかと思われる。

32 219土坑

左・右の下顎第1大白歯の出土である。両歯とも遠心頬側の2咬頭の象牙質が連続していて、近心頬側側咬頭にはゴマ粒ほどの象牙質露出している。熟年期の個体であろう。男性のもと思われる。

33 221土坑

切歯1、犬歯1、小白歯1、大白歯8の計11本の歯冠部が完存する。

上顎・下顎とも第3大白歯がすでに萌出していてエナメル質が咬耗を受けている。また、左上顎第1大白歯では遠心舌側咬頭以外の咬頭に点状の象牙質が露出している。壮年期の個体であろう。歯の大きさから男性と推定される。右下顎側切歯の咬耗面は遠心に傾斜している。右下顎犬歯の歯頸部から3.1mm咬合面側に寄ったところに形成不全症によると思われる明瞭な帯状の溝が観察される。

34 222土坑

左上顎第2小白歯1本のみ出土である。頬側咬頭に点状の象牙質の露出がある。壮年期の個体かもしれない。性別の判定は困難である。

35 224土坑

切歯1、犬歯1、小白歯4、大白歯6の計12本の出土である。第3大白歯がすでに萌出しており、左上顎第3大白歯では極小の点状象牙質が露出し、左下顎第3大白歯では咬合面のエナメル質の2/3が咬耗を受けている。左上顎第1大白歯では全咬頭に象牙質の露出があり、近心舌側咬頭の象牙質は鎌形、遠心頬側咬頭の象牙質はくさび形である。壮年期後半から熟年期前半の個体であろう。女性のもと思われる。

36 225土坑

No.1 個体

切歯1、小白歯4、大白歯6の計11本の出土である。
第3大白歯は検出されていないが、第2大白歯はエナメル質のみの咬耗であり、右上顎第1大白歯と左下顎第1大白歯には一つの咬頭に点状の象牙質が露出している。壮年期の個体であろう。歯の大きさは男性であることを示している。

No.2 個体

上顎第1大白歯、第2大白歯1の計2本の出土である。壮年期のもと思われるが、性別は不明である。

37 226土坑

小白歯1本、大白歯2本と歯冠片4片の出土である。
左上顎第2小白歯では舌側咬頭から遠心辺縁隆線にかけて象牙質の露出があるが、下顎第2大白歯・第3大白歯は共にごく僅かの咬耗を受けているだけであり、壮年期の個体であろう。男性の可能性を思わせる。

38 227土坑

右上顎小白歯と右上顎第1大白歯の出土である。
前者には最大径2.6mmの象牙質が舌側咬頭に雨滴状をなして露出している。第1大白歯は近心舌側咬頭に極小の点状の象牙質露出している。青年期? 壮年期の個体であろう。歯の大きさは男性を示している。

39 228土坑

切歯2、犬歯2、小白歯6、大白歯7の計17本の歯冠片が完存し、下顎犬歯片も出土している。
第3大白歯が検出されており、右上顎第3大白歯では咬合面の約2/3が咬耗されている。右下顎第1大白歯には頬側2咬頭、遠心舌側咬頭、遠心辺縁隆線に象牙質の露出がある。右第2大白歯は第1大白歯よりやや咬耗が弱い。上顎臼歯には象牙質の露われているものはない。壮年期後半から熟年期前半の個体と思われる。歯の大きさから男性と想定される。

40 230土坑

犬歯2本、小白歯2本の歯冠部が完存し、他に下顎切歯片2、左上顎大白歯片1、歯種不明の歯冠片1の出土である。
上顎犬歯2本には尖頭部に極小の象牙質の露出があり、右下顎第1小白歯には頬側咬頭に最大径3.0mmのバチ形の象牙質が露出している。この部分での歯の使用が過度であったことを示している。壮年期の個体と思われる。歯の大きさから男性であろう。

41 241土坑

切歯1、犬歯1、小白歯6、大白歯4の計8本の歯冠部が完存している。
右下顎の第3大白歯が検出されているが、未咬耗(未萌出)である。第1大白歯は上顎・下顎ともエナメル質のみの咬耗である。青年期前半の個体であろう。歯の大きさは女性を示している。左上顎第1大白歯に痕跡的なカラベリー結節が発達している。

42 242土坑

No.1 個体

切歯 4、犬歯 3、小白歯 8 本、大白歯 7 の計 22 本の出土である。

左上顎第 3 大白歯では咬合面のエナメル質がほぼ 1/2 咬耗されていて、上顎第 1 大白歯では最大径 2.1mm、下顎第 1 大白歯では最大径 3.2mm の象牙質が露出し、他の歯でもほとんどのものが象牙質の露出をみる。熟年期の個体であろう。歯の大きさは男性を示している。右上顎第 2 大白歯には痕跡的なカラベリ―結節がみられる。

No.2 個体

切歯 2、犬歯 1、小白歯 1、大白歯 1 の計 5 本の歯冠部が完存する。

右下顎第 2 または第 3 大白歯では咬合面のほぼ全面エナメル質が咬耗を受けているが、他の歯ではいずれも極小の点状の象牙質の露出がある。壮年期の個体であろう。歯の大きさから女性と思われる。

43 243土坑

切歯 2、犬歯 2、小白歯 5、大白歯 4 の計 13 本の出土である。他に上顎白歯 2 本分、右下顎第 1 大白歯 (?) 片 1 と歯種不明の歯冠片 4 片がある。

ほとんどの歯に象牙質の露出があり、特に上顎犬歯では最大径 4.9mm、下顎犬歯では最大径 3.7mm の露出があり、この部分での歯の使用が激しかったことを示している。また左下顎第 3 大白歯では咬合面のエナメル質が 1/4 ほど咬耗されているだけであるが、右下顎第 3 大白歯では頬側咬頭に点状の象牙質の露出がある。咬耗度を全体的にみると熟年期の個体と思われる。歯の大きさは女性を示す。左下顎第 1 小白歯の近心歯頸部に C 2 の齲蝕がある。

44 244土坑

No.1 個体

切歯 4、犬歯 1、小白歯 6、大白歯 5 の計 16 本の歯冠部がほぼ完存する。

左上顎第 1 大白歯では近心舌側に径 1.6mm、頬側 2 咬頭に極小の点状象牙質が露出している。左下顎第 3 大白歯は未咬耗である。前歯、小白歯ではほとんどの歯がエナメル質だけの咬耗である。青年期の個体であろう。歯の大きさは男性を示している。左上顎第 1 大白歯には痕跡的なカラベリ―結節がある。右下顎第 1 大白歯の遠心歯頸部には C 3 の齲蝕がある。

No.2 個体

左上顎側切歯 1、左上顎第 1 小白歯 1 の 2 本の出土である。両者とも線状あるいは点状の象牙質の露出があり、壮年期の個体と思われる。歯が小さく女性の可能性がある。

45 246土坑

切歯 1、犬歯 3、小白歯 2、大白歯 5 の計 10 本の歯冠部が完存する。

右上顎第 3 大白歯が検出されており、咬合面のエナメル質が 1/6 ほどが咬耗されている。下顎第 1 大白歯では 2～4 個の咬頭に下顎第 2 大白歯では 1～2 個の咬頭に小さな象牙質が露出している。年令は壮年期から熟年期前半であろう。歯の大きさは男性を示す。

46 247土坑

切歯 3、犬歯 1、下顎小白歯 1、大白歯 4 の計 9 本の出土である。

右上顎第 3 大白歯ではゴマ粒状の象牙質が露出し、左上顎第 2 大白歯でも同様の咬耗度を示す。壮年期から熟年期前半の年令が想定される。歯の大きさからの性別の判定は困難である。左下顎中切歯の咬耗面は遠心

へ傾斜し、左下顎側切歯・左下顎犬歯の咬耗面は凹湾している。特に最後者では咬耗が激しく尖頭部の象牙質の最大径は4.0mmである。この辺りでの歯の使用が激しかったことを物語っている。

47 263土坑

切歯2、犬歯1、小白歯2、大白歯1の計6本の出土である。

いずれの歯も象牙質が大きく露出し、熟年期の個体と思われる。歯は小さく女性のものであろう。上顎の2本の側切歯はいずれも咬耗面が遠心へ傾斜し、犬歯も同方向へ強く傾斜している。犬歯は大きく咬耗され、露出する象牙質の径は4.7mm×0.8mmである。

48 264土坑

切歯6、犬歯4、小白歯7、大白歯2の計19本の出土である。

咬耗されているのは大白歯だけで、左上顎第1大白歯ではわずかに咬耗が始まったばかりで、左第1大白歯では遠心の2咬頭にごく僅かの咬耗痕が観察されるのみである。7～9才の少年期前半の個体であろう。歯の大きさは男性であることを伺わせる。左上顎第1大白歯には結節状のカラベリー結節が観察される。

49 266土坑

犬歯2、小白歯4、大白歯3の計9本の出土である。

左上顎第3大白歯と思われる歯が検出されており、すでにエナメル質に咬耗をもつ。左下顎第1大白歯では最大径2.8mmの象牙質が露出し、第2大白歯でも点状の象牙質が露出している。壮年期の個体であろう。男性の可能性を窺わせる。左上顎第3大白歯には中心結節が観察される。左上顎犬歯には咬耗痕がほとんど認められず、特にこの歯では下顎歯との咬合が弱かったことを示している。

50 267土坑

切歯5、犬歯2、小白歯6、大白歯11の計24本の出土である。

上顎2本、下顎1本の第3大白歯が検出されていて上顎第3大白歯ではエナメル質のみの咬耗であるが、下顎第3大白歯では近心頬側咬頭に極小の象牙質の露出が認められる。下顎第1大白歯では最大径2.8mm程度の紡錘状をした象牙質の露出があり、上顎第1大白歯でも点状の象牙質が露出している。壮年期から熟年期前半の個体であろう。歯の大きさは男性であることを窺わせている。左上顎第1大白歯には痕跡的なカラベリー結節が観察される。

51 790-580G

左下顎第2又は第3大白歯1本の出土である。

咬合面のエナメルの1/6が咬耗されている。青年期から壮年期前半の個体であろう。性別の判定は困難である。

52 790-590G

右上顎第2大白歯と同第3大白歯の2本の出土である。

両方ともエナメル質のみの咬耗されていて、壮年期程度の年令を思わせる。歯の大きさは女性の可能を伺わせる。

III まとめ

1) 発掘調査した68基の土坑のうち、52基から人骨が出土した。このうち複数個体が埋存していたのは7基で、174、175、216、225、242、244の各土坑から2個体、179土坑から3個体出土した。複数の個体が出土した土坑は土坑群の北半部に多く、その内の175、174、242、179土坑は互いに隣接している。

2) 性別は男性が26個体、女性が20個体、不明が8個体である。

- 3) 年齢別では、青年期以上が43個体、174 (No2)、175 (No2)、180、187、197、263の各土坑から出土した乳幼児が5個体、179 (No2)、204、264の各土坑から出土した少年期が3個体である。この9個体の未成年のうち3個体は成人と共に埋存しており、複葬されたものと思われる。
- 4) カラベリー結節を持った個体は12基の土坑から12個体が出土している。なかでも、2個体埋存していた174土坑では2個体ともこの結節を保有していた。また、264土坑の個体では左上顎第1大臼歯と左上顎第2乳臼歯にカラベリー結節が観察される。12基の土坑のうち、土坑群の南半部に位置しているのは2基のみで、残り10基は北半部にあり、この結節の出現しやすいような体質を持った近縁者が近接して埋存されていたことを窺わせる。
- 5) 犬歯部及びその近辺が過度にあるいは異常に咬耗されている例が14個体ある。
- 6) 192土坑出土の個体では、右上顎第1大臼歯の歯冠近遠心径が頬舌径より大きく、さらに右上顎第2大臼歯では近遠心径と頬舌径がほぼ等しく、頬舌径の方が近遠心径より大きいのを特徴とする上顎大臼歯においては極めて特異な例である。
- 7) 齶歯またはその疑いのあるものは7個体で、すべて歯頸部が齶蝕されている。

主な参考文献

- Brothwell, D.R., 1992: Digging up Bones (3rd ed.) Cornell University Press, Ithaca, 208pp.,
- 藤田恒太郎 1949 歯の計測規準について. 人類学雑誌, 61巻, 1-6
- 権田和良 1959 歯の大きさの性差について. 人類学雑誌, 67巻, 151-163
- 浜野松太郎 1930 日本人歯牙萌出時期の統計的観察, 日本歯科学会雑誌, 23巻, 245-260
- 埴原和郎・小泉清隆 1979 歯冠近遠心径に基づく性別の判定. 人類学雑誌, 87巻, 445-456
- 上条雅彦 1962 日本人永久歯の解剖学. アナトーム社, pp272.
- Lunt, R.C. and Law, D.B. 1974a: A review of the chronology of calcification of deciduous teeth. J. Am. Dent. Assoc., 89:599-606
- Lunt, R.C. and Law, D.B. 1974b: A review of the chronology of eruption of deciduous teeth. J. Am. Dent. Assoc., 89:872-879
- 栃原 博 1957 日本人歯牙の咬耗に関する研究. 熊本医学界雑誌, 31巻, 607-656

歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面彫の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 側切歯	7.6	7.3	11.2	なし	?	?	?	なし	なし	なし	舌側面全面咬耗、切縁コ字状に象牙質露出	
下顎 右 側切歯	6.6	6.4	10.8					なし	なし	唇側面	切縁に線状象牙質露出	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形		舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 犬歯	8.5	8.9	13.2	?		良好(2本)	?	なし	なし	なし	近心歯頸	エナメル質のみ咬耗
下顎 左 犬歯	7.5+	8.3	10.6	なし		普通	普通	弱隆線	なし	なし	尖頭部に4.9*1.8mmの象牙質露出	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第2小臼歯	7.2	10.0	9.4	近心					なし	なし	舌側咬頭近心半の咬耗 面傾斜、エナメル質のみ咬耗	
下顎 左 第1小臼歯	7.0	?	8.9	?					なし	なし	近心1/3咬頭、頬側に微小点状象牙質露出	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第1大臼歯	10.8	12.4	7.4	4	なし	A			なし	歯冠部	近心側・近心舌側咬頭の象牙質連続、エナメル質全面咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面彫の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 側切歯	7.7	7.2	9.9	2本	4型	不良	不良	なし	なし	なし	切縁に帯状の象牙質露出	
中切歯	8.6+	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
左 側切歯	7.9	7.2	9.8	2本	4型	不良	不良	なし	なし	なし	切縁と近心・遠心辺縁線のエナメル質のみ咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	中央舌面隆線の発達	舌面隆線の発達	舌面溝 頸溝	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 犬歯	7.6	8.3	9.1	なし	良好	良好	なし	隆線	なし	遠心歯	尖頭に唇型の長さ4.1mmの象牙質露出	
左 犬歯	7.7	8.5	9.0	なし	良好	良好	なし	隆線	なし	近心歯頸	尖頭に径4.1mmの象牙質露出	
下顎 右 犬歯	6.5	7.4	8.1	なし	良好	良好	なし	弱隆線	なし	近心歯頸	尖頭部に唇型の長さ3.7mmの象牙質露出	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 左 第1小臼歯	7.4	10.0	8.1	近心					なし	なし	咬合面の1/3エナメル質咬耗	
第2小臼歯	6.9	9.5	7.6	近心					なし	教室	咬合面の1/3エナメル質咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第2小臼歯	4.2	8.6	8.0	近心				H	なし	微量	咬合面の1/3エナメル質咬耗	
第1小臼歯	7.0	7.6	8.7	近心	a	b	なし		なし	微量	咬合面の1/3エナメル質咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第2大臼歯	9.7	11.5	7.3	?	なし	?			なし	微量	遠心側に微小点状象牙質露出	
第1大臼歯	10.8	11.7	6.6	4	なし	A			なし	微量	全咬頭に象牙質露出、象牙質が互いに連続する咬頭あり	
左 第1大臼歯	10.6+	?	7.3	?	?	?			なし	なし	遠心側咬頭に径1.7mmの象牙質露出	
第2大臼歯	9.6	11.8	7.0	3+	なし	?			なし	微量	咬合面の全面エナメル質咬耗	
第3大臼歯	8.8	10.7	6.2	3+	なし	?			なし	微量	咬合面の1/3エナメル質咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第3大臼歯	10.6	10.2	6.7	なし	なし	なし			なし	微量	近心側咬頭にエナメル質状に咬耗	
第1大臼歯	11.8	10.4	7.5	4+	なし	なし	×4		なし	微量	全咬頭で象牙質露出(最大径2.2)	
下顎 左 第1大臼歯	11.1	10.4	7.3	4+	なし	なし	×4		なし	微量	近心舌側咬頭以外象牙質露出	
第1大臼歯	11.4	10.2	7.2	?	なし	なし			なし	なし	遠心咬頭のエナメル質状に咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面彫の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 側切歯	7.3	7.1	11.4	なし	4型	良好	良好	なし	なし	微量	切縁と近心・遠心辺縁線にエナメル質のみ咬耗	
左 中切歯	8.6	8.2	11.0	なし	2型	不良	不良	なし	なし	微量	切縁極細線状象牙質露出、近心辺縁線と舌面側縁線のエナメル質咬耗	
側切歯	8.0	6.6	10.5	なし	3型	なし	なし	なし	なし	微量	切縁と舌面側縁線のエナメル質咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	中央舌面隆線の発達	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
下顎 左 犬歯	7.0	7.7	9.7	なし	不良	不良	不良	弱隆線	なし	近心舌	尖頭部に最大径3.6mmの象牙質露出、歯冠唇側面のエナメル質咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第1小臼歯	7.3	9.4	8.5	近心					なし	微量	エナメル質のみ咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第1小臼歯	7.3	8.0	10.0	近心	a	b	なし		なし	微量	側咬頭に微小点状象牙質露出、咬合面1/4咬耗	
下顎 左 第1小臼歯	7.3	8.1	6.3	近心	?	b	なし		なし	微量	側咬頭に径2.8mmの円形の象牙質露出	
第2小臼歯	7.4	9.0	7.1	中央				H	なし	舌側面	咬合面のエナメル1/2咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第1大臼歯	10.8	?	?	?	なし	?			なし	微量	舌側半は全面象牙質露出、近心側面に極小の象牙質露出	
左 第1大臼歯	11.2	?	7.0	?	?	?			なし	微量	近心舌側咬頭に極小の点状の象牙質露出、咬耗面に3/4咬耗	
第2大臼歯	9.2	11.2	6.7	なし	なし	?			なし	近心歯頸	遠心側咬頭に頸、1.1mm象牙質露出	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第1大臼歯	11.1	11.0	6.3	4+	なし	なし	×4		なし	微量	咬合面のエナメル2/3咬耗	
左 第2大臼歯	10.7	10.6	6.1	4+	なし	なし	?		なし	微量	遠心側咬頭のみ径0.8mmの象牙質露出	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面彫の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 中切歯	8.7	7.5	12.0	3	中	普通	普通	なし	なし	微量	切縁わずかに咬耗、近心・遠心辺縁線のエナメル部分的に咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	中央舌面隆線の発達	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 犬歯	8.3	8.6	10.0	2本	良好	良好	良好	なし	微量	尖頭部に極小の象牙質露出、辺縁線のエナメル部分的に咬耗		
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第2小臼歯	6.6	8.6	7.7	近心					なし	微量	咬合面の1/3エナメル咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 左 第1小臼歯	6.5	7.9	8.3	近心	a	近心・遠心	なし		なし	微量	側咬頭に点状の象牙質露出、咬合面の1/3エナメル咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第1 or 第2 大臼歯	10.7	11.8	8.3	結節	柱状				なし	近心歯頸	咬合面の1/2エナメル咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第1大臼歯	11.5	10.2	6.6	?	?	?			なし	なし	近心舌側咬頭に径1.3mmの点状の象牙質露出	
第2大臼歯	12.1	10.3	8.1	咬頭	なし	なし	?		なし	微量	近心側咬頭に点状の象牙質露出、咬合面の3/4エナメル咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 第2小臼歯	?	10.0	6.0		痕跡				なし	なし	未咬耗	
右歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
下顎 右 第2小臼歯	10.5	9.1	6.3						なし	なし	未咬耗	
歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面彫の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
下顎 右 側切歯	6.6+	6.6	8.7+						なし	なし	切縁に象牙質帯状に露出、咬耗面遠心の傾斜	
右歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	棘突起の諸形	中央舌面隆線の発達	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
下顎 右 犬歯	7.0+	8.4	9.8+		なし	不良	不良	なし	近心歯頸	尖頭部に最大径3.9mmの菱形象牙質露出、面唇側・遠心側に傾斜		
右歯種	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎 右 第2小臼歯	6.6	?	8.3	?					なし	なし	唇・舌側咬頭に点状の象牙質露出	
右?	近遠心径	唇舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
下顎 右 第2小臼歯	6.4	8.3	7.1+	中央				H	なし	舌側面	側咬頭象牙質全面露出	
右 第1小臼歯	7.7	9.0	9.3	近心	a	なし	なし		なし	なし	側咬頭遠心半咬耗、咬耗面遠心へ傾斜	

四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度					
		右	第1大白歯	11.7	7.0	?	?	?						なし	なし	エナメルのみ広く咬耗		
		左	第2大白歯	10.3	12.5	7.0	3+	なし	R2					なし	微量	エナメルのみ広く咬耗		
四号土坑-2	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第3大白歯	8.6	11.6	7.0	なし								なし	ごくわずかに咬耗		
		左	第3大白歯	11.4	10.8	6.4										なし	ごく僅かに咬耗	
四号土坑-2	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面窩の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	側切歯	6.0	6.3	9.8	なし	良好								なし	未咬耗・未萌出、切縁結節あり	
		左	側切歯	5.0	6.1	8.5	なし									なし	未咬耗・未萌出、切縁結節あり	
四号土坑-2	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第1乳臼歯	8.2	?	4.4										なし	咬耗開始直後で咬耗 僅か	
		左	第1大白歯	11.6	10.6	7.3	5	なし	ud	+5						なし	未咬耗・未萌出	
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	全長棘突起の諸形	舌面窩の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	側切歯	7.2	7.5	11.4	21.5	2型	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	切縁舌側に線状の象牙質露出、遠心辺縁隆線僅かに咬耗		
		左	側切歯	8.1	10.2	11.8	25.1	2本	良好	良好	良好	なし	なし	なし	なし	尖頭部に点型の象牙質露出、尖頭部近心もエナメル質僅かに咬耗		
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2小臼歯	7.0	10.0	7.8	近心										なし	頰側咬頭に極小の象牙質露出
		左	第2小臼歯	7.5	8.2	7.6	?										なし	頰側咬頭に帯状の象牙質露出
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	全長	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第1大白歯	10.8	12.1	11.3	19.8	4	なし	A1						なし	近心舌側咬頭の象牙質は近心辺縁隆線の象牙質と連続、近心頰側咬頭に点状の象牙質露出咬耗部位 咬耗度	
		左	第1大白歯	11.4	11.2	6.7	4+	なし								なし	遠心咬頭に点状の象牙質露出	
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第1 or 第2 大白歯	11.4	11.2	6.7	4+	なし								なし	遠心咬頭に点状の象牙質露出	
		左	第1 or 第2 大白歯	11.4	11.2	6.7	4+	なし								なし	遠心咬頭に点状の象牙質露出	
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	側切歯	9.0	7.3	6.9	なし	1型	不良	なし	なし	なし	なし	なし	なし	切縁に点状の象牙質露出		
		左	側切歯	8.1	6.3	10.5	なし	2型	なし	不良	近心	なし	なし	なし	なし	切縁のエナメルのみ咬耗		
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度					
		右	第2小臼歯	6.6	9.8	6.7	近心									なし	頰側・舌側咬頭のエナメルのみ咬耗	
		左	第2小臼歯	6.6	9.8	6.7	近心									なし	頰側・舌側咬頭のエナメルのみ咬耗	
四号土坑-2	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度					
		右	第3大白歯	8.7	9.8	6.4	3	なし								なし	未咬耗	
		左	第1大白歯	11.3	12.8	7.6	4	なし	A1							なし	咬合面のエナメルのみほぼ全面咬耗	
四号土坑-2	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2大白歯	11.4	10.4	6.9	5	なし								なし	未咬耗・未萌出	
		左	第1大白歯	12.1	11.1	6.9	4+	あり	なし	X4						なし	エナメル質部分に咬耗	
四号土坑-2	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第1大白歯	12.2	11.8	7.6	5	なし		+5						なし	近心2咬頭に点状の象牙質露出	
		左	第1大白歯	12.2	11.8	7.6	5	なし		+5						なし	近心2咬頭に点状の象牙質露出	
四号土坑-2	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達	中央舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	犬歯	8.6	8.2	11.4	なし	不良(2本)		良好	不良	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出		
		左	犬歯	8.6	9.1	12.1	1本	不良(2本)		良好	不良	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出		
四号土坑-3	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2小臼歯	7.2	8.3	8.2											なし	遠心
		左	第2小臼歯	7.2	8.3	8.2											なし	遠心
四号土坑-3	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第1大白歯	10.1	10.4	5.4	4	なし									なし	咬合面のほぼ全面のエナメル咬耗
		左	第1大白歯	10.1	10.4	5.4	4	なし									なし	咬合面のほぼ全面のエナメル咬耗
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面窩の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	側切歯	7.5	7.0	12.0	1本	3型	不良	不良	中央	なし	なし	なし	なし	未咬耗		
		左	側切歯	6.5	5.2+	7.8+										なし	未咬耗	
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	側切歯	5.5	5.6	10.0											なし	未咬耗
		左	側切歯	5.5	5.6	10.0											なし	未咬耗
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達	中央舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	犬歯	6.9	8.3	12.0	なし	不良		不良	不良	なし	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出	
		左	犬歯	6.9	8.0	11.1	なし	不良		不良	不良	なし	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出	
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・舌面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第1小臼歯	7.0	7.9	7.2	近心	b	b	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出	
		左	第1小臼歯	7.1	?	7.5	近心	b	b	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出	
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度					
		右	第2大白歯	9.6	11.8	5.8+	3+	なし	C1							なし	未咬耗・未萌出	
		左	第2大白歯	10.0	12.0	7.6	4	咬頭状	A1							なし	未咬耗・未萌出	
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2大白歯	10.8	10.8	6.0+	5+	なし		+5						なし	未咬耗・未萌出	
		左	第2大白歯	11.3	10.3	7.6	5+	なし		+5						なし	未咬耗・未萌出	
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2乳臼歯	10.3	9.2	5.2	5+	なし									なし	各咬頭象牙質点状に露出
		左	第2乳臼歯	10.3	9.2	5.2	5+	なし									なし	各咬頭象牙質点状に露出
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・舌面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2小臼歯	6.7	9.1	6.6	近心?										なし	咬合面ほぼ全面エナメル咬耗
		左	第2小臼歯	6.7	9.1	6.6	近心?										なし	咬合面ほぼ全面エナメル咬耗
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	鋭溝型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2大白歯	10.1	9.9	5.8	4+	なし									なし	咬合面ほぼ全面咬耗
		左	第2大白歯	10.1	9.9	5.8	4+	なし									なし	咬合面ほぼ全面咬耗
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達	中央舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	中切歯	5.6	?	5.2											なし	切縁に線状の象牙質露出
		左	中切歯	5.6	?	5.2											なし	切縁に線状の象牙質露出
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達	中央舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯 頰溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	犬歯	7.8	8.2	9.9	なし	良好		良好	良好	なし	なし	なし	なし	なし	尖頭部に点状の象牙質露出	
		左	犬歯	7.0	8.2	9.4	なし	不良		不良	不良	なし	なし	なし	なし	なし	尖頭部に点状の象牙質露出	
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・舌面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度				
		右	第2小臼歯	7.4	9.4	7.9	?										なし	頰側・舌側咬頭に点状の象牙質露出
		左	第2小臼歯	7.4	9.4	7.9	?										なし	頰側・舌側咬頭に点状の象牙質露出
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度					
		右	第1小臼歯	7.2	8.1	6.4+	近心	b	b	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	頰側咬頭に線状の象牙質露出(最大径4.3)露出	
		左	第1小臼歯	7.4	8.6	8.0	近心	b	b	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	頰側咬頭に面状の象牙質露出	
四号土坑-1	下顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度					
		右	第2小臼歯	7.3	9.2	7.2	近心										なし	頰側咬頭に線状の象牙質露出
		左	第2小臼歯	7.3	9.2	7.2	近心										なし	頰側咬頭に線状の象牙質露出
四号土坑-1	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高													

		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度	
四号上臼	下顎	左	第1小白歯	6.9	7.2	8.2	中央	b	b	近心		なし	なし	側面咬頭に極小の点状に象牙質露出	
		右	第2小白歯	6.5	7.5	7.1	中央				H	なし	なし	側面咬頭に極小の点状に象牙質露出	
		右	第2小白歯	6.7	7.5	7.7	近心				H	なし	なし	咬合面のエナメル1/3咬耗	
	上顎	右	第3大白歯	8.5	10.8	6.3	3	なし	C3			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第1大白歯	10.8	11.3	7.0	4	結節状	A1			なし	なし	咬合面のエナメル1/3咬耗	
		右	第1大白歯	10.8	11.3	7.0	4	結節状	A1			なし	なし	遠心部舌側咬頭以外は点状に象牙質露出	
四号下臼	下顎	左	第2大白歯	10.3	9.8	6.2	5	なし	なし	+5		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2大白歯	10.7	10.0	11.6	5	なし	なし	+5		なし	なし	近心側咬頭に極小の象牙質露出、咬合面のエナメル2/3咬耗	
		右	第1大白歯	10.9	10.4	11.7	5	なし	なし	+5		なし	なし	近心側咬頭に点状の象牙質露出、咬合面のエナメル1/3咬耗	
	上顎	右	第2大白歯	10.3	9.8	6.2	5	なし	なし	+5		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2大白歯	10.7	10.0	11.6	5	なし	なし	+5		なし	なし	近心側咬頭に点状の象牙質露出、咬合面のエナメル1/3咬耗	
		右	第1大白歯	10.9	10.4	11.7	5	なし	なし	+5		なし	なし	側面咬頭に点状に象牙質露出	
四号上臼	下顎	左	中切歯	5.8	6.0	9.5						齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	中切歯	5.6	5.9	9.7						なし	なし	切縁に僅かに咬耗	
		左	中切歯	5.6	6.0	9.7						なし	なし	切縁に僅かに咬耗	
	上顎	右	犬歯	8.8	8.4	10.5	なし	良好 [2本]	良好	中央	良好	なし	なし	未咬耗・未萌出	
		左	犬歯	5.9	5.8	6.4	なし	弱	弱	なし	弱	なし	なし	尖頭部に雨滴状の象牙質 [最大径2.3mm] 露出	
		右	犬歯	7.4	8.4	10.4	なし	良好 [1本]	良好	なし	良好	なし	なし		
四号下臼	下顎	右	犬歯	7.4	8.1	10.7	なし	良好 [2本]	良好	中央	良好	なし	なし		
		右	第2小白歯	7.5	10.0	8.7	やや遠心					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第1小白歯	8.3	10.5	9.1	遠心					なし	なし	未咬耗・未萌出	
	上顎	右	第1小白歯	8.3	10.5	9.5	遠心					なし	なし	未咬耗・未萌出	
		左	第1小白歯	7.5	10.3	8.5	やや遠心					なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第1小白歯	8.0	8.2	9.6	近心	b	b	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出	
四号下臼	下顎	左	第1小白歯	8.0	8.3	9.8	近心	b	b	なし	なし	なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第2小白歯	8.5	9.4	9.0	?				U	なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第2小白歯	8.5	9.4	9.0	?				U	なし	なし	未咬耗・未萌出	
	上顎	右	第3大白歯	8.4	9.1	6.4	?	なし				齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2大白歯	10.7	13.3	6.8	4	結節状	B2			なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第1大白歯	11.8	12.5	6.9	4	なし	A1			なし	なし	各咬頭に点状の象牙質露出	
四号下臼	下顎	右	第1大白歯	11.3	12.7	6.5	4	結節状	A1			なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第2大白歯	10.6	13.7	6.9	4	結節状	B2			なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第2乳白歯	9.2	10.2	5.4	4	なし				なし	なし	遠心舌側咬頭を除き各咬頭に点状の象牙質露出	
	上顎	右	第2乳白歯	10.5	9.5	5.2	5	なし	なし	?		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2大白歯	12.6	12.2	8.0	4	なし	なし	×4		なし	なし	近心舌側咬頭に点状の象牙質露出	
		右	第1乳白歯	9.2	7.3	6.2	2	なし	なし	?		なし	なし	各咬頭に象牙質露出、遠心舌側咬頭の象牙質最大2.6mm	
四号上臼	下顎	右	第1大白歯	12.8	12.4	6.8	5	なし	なし	+5		なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第1大白歯	12.9	12.1	7.1	5	なし	なし	+5		なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第1乳白歯	9.1	7.0	5.8	2	なし	なし	?		なし	なし	各咬頭に象牙質露出	
	上顎	右	第2大白歯	12.3	12.3	7.1	4	なし	なし	×4		なし	なし	未咬耗・未萌出	
		右	第2乳白歯	10.8	9.4	5.4	5	なし	なし	?		なし	なし	近心舌側咬頭に点状の象牙質露出	
		右	中切歯	6.3	?	10.4						齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
四号下臼	下顎	右	中切歯	5.6	?	9.6					なし	なし	切縁に僅かに象牙質露出		
		右	中切歯	5.5	?	9.8					なし	なし	切縁に線状に象牙質露出		
		右	中切歯	5.5	?	9.8					なし	なし	切縁に線状に象牙質露出		
	上顎	右	中切歯	6.1	?	10.0					なし	なし	切縁に僅かに象牙質露出		
		右	犬歯	8.3	8.6	12.0	なし	良好	良好	普通	なし	なし	なし	ほとんど咬耗なし	
		右	犬歯	7.1	8.2	12.8	なし	不良	不良	不良	不良	なし	なし	尖頭部に点状の象牙質露出	
四号上臼	下顎	右	犬歯	7.2	?	12.5	なし	不良	不良	不良	不良	なし	なし	エナメルのみ僅かに咬耗	
		右	第1小白歯	7.4	10.5	9.4	中央					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2小白歯	7.0	10.8	8.7	中央					なし	なし	咬耗ごく僅か	
	上顎	右	第2小白歯	7.4	8.3	8.2	近心				U	なし	なし	側面ごく僅か、咬合面の1/5のエナメル咬耗	
		右	第1小白歯	7.4	8.1	8.9	近心	a	b	近・遠心に2本		なし	なし	エナメルのみごく僅か咬耗	
		右	第1小白歯	7.3	8.1	8.7	中位	c	b			なし	なし	エナメルのみごく僅か咬耗	
四号下臼	下顎	右	第1大白歯	10.3	11.6	6.4	4	なし				齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2大白歯	9.5	11.9	7.0	4	なし	C2			なし	なし	咬合面のエナメルの4/5を咬耗	
		右	第2大白歯	9.5	11.9	7.0	4	なし	C2			なし	なし	咬合面のエナメルの2/3を咬耗	
	上顎	右	第3大白歯	11.2	10.9	6.7	5	なし	なし	?		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2大白歯	10.5	10.8	6.9	4+	なし	なし	+4		なし	なし	咬合面のエナメルの1/3を咬耗	
		右	第1大白歯	11.6	10.5	7.0	5	なし	なし	+5?		なし	なし	咬合面のエナメルの2/3を咬耗	
四号上臼	下顎	右	第1大白歯	11.4	10.7	7.0	5	なし	なし	+5?		なし	なし	近心側咬頭に点状の象牙質露出	
		右	第2大白歯	11.1	11.0	6.8	4	なし	なし	+4		なし	なし	近心舌側咬頭以外点状の象牙質露出	
		右	第3大白歯	11.1	10.8	6.7	4	なし	なし	+4		なし	なし	咬合面のエナメルの4/5を咬耗	
	上顎	右	中切歯	8.0	7.2	12.0	なし	2型	極不良	極不良	ud	なし	なし	切縁に僅かに象牙質露出	
		右	第1?小白歯	7.2	9.9	7.5	?					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2小白歯	6.4	8.9	6.3	近心					なし	なし	舌側咬頭に点状の象牙質露出	

歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラバリー結節	外形の諸型		齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度			
上顎	右	第2大白歯	9.9	11.8	5.9	4	なし	B2		なし	なし	未咬耗		
		第1大白歯	10.6	11.9	5.6	4	なし	A1		なし	なし	ごく僅か咬耗		
		第1大白歯	10.7	11.6	5.7	4	なし	A1		なし	なし	近心側ごく僅か咬耗		
	左	第2大白歯	9.5	12.6	6.2	4	なし	B2		なし	なし	未咬耗		
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度	
		右 第2大白歯	11.7	11.0	5.7	5	なし	なし	?	なし	なし	未咬耗		
下顎	右	第1大白歯	11.8	10.9	6.5	5	なし	Y5		なし	なし	近心側僅かに咬耗		
		第2大白歯	11.6	11.0	6.1	5	なし	なし	+5	なし	なし	未咬耗		
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度	
	左	第2大白歯	11.7	11.0	5.7	5	なし	なし	?	なし	なし	未咬耗		
		第1大白歯	11.8	10.9	6.5	5	なし	なし	Y5		なし	なし	近心側僅かに咬耗	
		第2大白歯	11.6	11.0	6.1	5	なし	なし	+5	なし	なし	未咬耗		
上顎	右	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面齧の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 側切歯	6.4	?	8.7+	?					なし	なし	未咬耗・未萌出	
		左 側切歯	6.1	?	8.3+	?					なし	なし	未咬耗・未萌出	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	中央舌面隆線の発達	中央舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 犬歯	8.5	8.3	9.3	?	?	?	?	?	なし	なし	尖頭部のその近・遠心の隆線と棘突起のエナメル咬耗	
		左 犬歯	7.5	7.6	8.9	1本	不良(2本)	不良	普通	なし	なし	尖頭部にごく僅か咬耗		
	左	犬歯	7.6	8.0	8.9	1本	不良(2本)	不良	普通	なし	なし	尖頭部にごく僅か咬耗		
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 第2小臼歯	6.6	8.7	6.2	近心					なし	なし	未咬耗	
		第1小臼歯	6.8	9.1	6.7	近心					なし	なし	未咬耗	
		第2小臼歯	6.6	8.2	5.1	近心					なし	なし	未咬耗	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
下顎	右	第1小臼歯	6.8	7.2	7.6	近心	b	なし		なし	なし	未咬耗		
		第1小臼歯	6.8	6.8	8.2	近心	b	b	なし	なし	なし	未咬耗		
		第2小臼歯	7.3	8.3	6.4				U	なし	なし	未咬耗		
	左	第1小臼歯	6.8	7.2	7.6	近心	b	なし		なし	なし	未咬耗		
		第1小臼歯	6.8	6.8	8.2	近心	b	b	なし	なし	なし	未咬耗		
		第2小臼歯	7.3	8.3	6.4				U	なし	なし	未咬耗		
上顎	右	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面齧の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 中切歯	8.5	6.6	12.2	?	極不良	極不良	?	?	なし	なし	切縁に点状象牙質露出	
		側切歯	6.1	6.1	9.2	?					なし	なし	切縁に線状の象牙質露出	
		左 側切歯	6.2	?	9.9	?					なし	なし	切縁に線状の象牙質露出	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	中央舌面隆線の発達	中央舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 犬歯	8.1	8.8	9.4	なし	良好	良好	良好	良好	なし	なし	尖頭部舌側に点状の象牙質露出	
	左	犬歯	8.2	10.3	7.8	?					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		第1小臼歯	8.0	10.3	6.7	中央					なし	なし	側切歯に点状の象牙質露出	
		第2小臼歯	7.6	10.2	7.3	?					なし	なし	咬合面のエナメル1/2咬耗	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 第2小臼歯	8.0	8.9	6.4				U	なし	なし	舌側咬合面のほぼ全面エナメル咬耗		
		第2小臼歯	7.9	8.9	6.9				U	なし	なし	咬合面のほぼ全面エナメル咬耗		
上顎	右	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラバリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 第1大白歯	11.0+	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度	
		右 第1大白歯	12.5	12.3	6.5	5	なし	なし	?	なし	なし	全咬頭に点状の象牙質露出		
		第2大白歯	12.1	11.6	5.8	5	なし	なし	×5	なし	なし	咬合面のエナメルのほぼ全面こもり		
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラバリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
	左	第3大白歯	9.2	11.4	6.1	3+	なし	C2		なし	なし	未咬耗・未萌出		
		第101第2大白歯											咬合面のエナメル2/3全面咬耗	
		破片												
		第2大白歯	9.2	10.7	4.9	4	なし	B2		なし	なし	近心舌側咬頭以外点状の象牙質露出		
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	舌面齧の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 側切歯	7.1	6.7	8.4	なし	2型	なし	なし	なし	なし	なし	切縁に点状の象牙質露出、両辺縁のエナメル質咬耗	
下顎	右	中切歯	8.5	7.4	10.2	1	1型	なし	なし	なし	なし	なし	切縁から近心隆線に線状の象牙質露出	
		側切歯	8.2	7.3	10.6	なし	1型	なし	なし	なし	なし	なし	ほとんど咬耗なし	
		側切歯	7.3	6.6	9.2	なし	2型	なし	なし	1本	なし	なし	切縁と遠心近縁線に線状の象牙質露出、近心近縁線はエナメル咬耗	
	左	側切歯	6.0	6.0	8.2						なし	なし	切縁に線状の象牙質露出	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の諸形	中央舌面隆線の発達	中央舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面歯頸溝	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 犬歯	7.7	8.2	8.0	2本	不良	不良	1本	なし	なし	なし	ほとんど咬耗なし	
上顎	右	犬歯	6.6	7.2	10.0	なし	良好	良好	?	なし	なし	なし	尖頭部の近心・遠心にエナメルの咬耗	
		犬歯	6.8	7.4	9.0	なし	良好	良好	不良	なし	なし	なし	尖頭に象牙質、その近・遠心にエナメルの咬耗	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
	左	第2小臼歯	6.2	8.9	6.9	近心					なし	なし	咬合のエナメルの1/2が咬耗	
		第1小臼歯	6.8	9.1	7.8	近心					なし	なし	咬合のエナメルの1/4が咬耗	
		第2小臼歯	6.1	8.8	6.9	近心					なし	なし	咬合のエナメルの1/3が咬耗	
上顎	右	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 第2小臼歯	7.1	7.9	5.8	中央				H	なし	なし	咬合のエナメルの1/3が咬耗	
		第1小臼歯	7.1	8.0	6.6	近心	a	b	なし	なし	なし	なし	側切歯エナメル咬耗	
		第1小臼歯	7.1	7.4	7.4	近心	a	b	なし	なし	なし	なし	側切歯エナメル咬耗	
		第2小臼歯	6.9	7.9	6.0	中央				U	なし	なし	咬合のエナメルの1/3が咬耗	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラバリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
	左	第1大白歯	10.7	11.6	5.6	4	なし	A1		なし	なし	なし	近心舌側・遠心側咬頭に点状の象牙質露出	
		第1大白歯	10.4	11.6	6.0	4	なし	A1		なし	なし	なし	近心舌側咬頭に点状の象牙質露出	
		第2大白歯	9.5	12.0	5.9	3+	なし	C2		なし	なし	なし	近心側咬頭に点状の象牙質露出	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度	
		右 第2大白歯	11.0	10.7	5.2	4+	なし	なし	Y4	なし	なし	なし	近心側咬頭に点状の象牙質露出	
		第1大白歯	11.5	11.3	5.7	5	なし	なし	Y5	なし	なし	なし	近心舌側咬頭が大きく近心側咬頭の小さい点状の象牙質露出	
下顎	右	第1大白歯	11.6	11.2	5.9	5	なし	なし	Y5	なし	なし	なし	側切歯と近心側咬頭に点状の象牙質露出	
		第2大白歯	11.5	10.8	5.7	4+	なし	なし	?	なし	なし	なし	近心側咬頭に点状の象牙質露出	
		第3大白歯	11.5	11.7	6.6				?	なし	なし	なし	近心側咬頭に点状の象牙質露出	
	左	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置					齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右 第2小臼歯	7.2	10.0	6.9	?					なし	なし	咬合面ほぼ全面エナメル咬耗	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラバリー結節	外形の諸型			齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度
上顎	左	第2大白歯	9.7	11.7	8.5	3+	なし	B5		なし	なし	咬合面のエナメル2/3咬耗		
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	裂溝型	齧蝕	歯石	咬耗部位	咬耗度	
		右 第1大白歯	11.4	10.5	5.9	5	なし	なし	×5	なし	なし	なし	近心側咬頭に極小の点状象牙質露出	
	左	第2大白歯	11.8	10.6	5.9	5	なし	なし	?	なし	なし	なし	咬合面のエナメル1/3咬耗	

甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第1大臼歯	10.8	12.1	6.8	4	咬頭状	A1				なし	なし	全咬頭に点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2小臼歯	7.1	10.2	6.3	?						なし	なし	下側に大きく(径2.5mm)、頬側に小さい象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第3大臼歯	8.9	10.4	5.6	3	なし	C3				なし	なし	僅かに咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2大臼歯	9.8	12.1	7.0	4	なし	B2				なし	なし	遠心舌側咬頭に点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	舌面窩の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頰溝		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	側切歯	7.2	7.1	10.1	なし	2型	なし	なし	?	なし	なし	なし	切縁に線状の象牙質露出、遠心辺縁線中央エナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達					齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	側切歯	6.1	6.0	9.6						なし	なし	なし	切縁に線状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達					齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	犬歯	7.8	8.5	10.0	1本	不良		不良	普通	なし	齧触	歯石	咬頭部位
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2小臼歯	6.9	9.9	7.4	近心						なし	なし	頬側・舌側咬頭のエナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第1小臼歯	7.6	10.1	8.5	近心					なし	なし	なし	頬側・舌側咬頭のエナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2小臼歯	7.0	8.1	6.8	近心			H		なし	なし	なし	頬側咬頭エナメルのみ咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第1小臼歯	7.5	8.5	7.9	近心	b	b	なし		なし	なし	なし	頬側咬頭エナメル1/3咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2大臼歯	9.7	11.9	6.7	4	なし	B2				なし	なし	咬合面のエナメルほぼ前面咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第1大臼歯	10.2	12.3	6.6	4	線状的	B2			なし	なし	なし	咬合面のエナメル4/5咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第2大臼歯	9.9	12.3	6.9	4	なし	C2			なし	なし	なし	咬合面のエナメル4/5咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	發溝型			齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2大臼歯	11.1	10.5	6.2	4+	?	?			なし	なし	近心面	咬頭部位
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達					齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	犬歯	8.5	7.9	10.8	1本	?		良好	普通	なし	なし	なし	尖頭部舌側に菱形の象牙質露出、同部のエナメル大きく咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第1小臼歯	8.3	10.3	8.9	近心					なし	なし	なし	頬側咬頭のエナメル僅かに咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	第2小臼歯	7.7	9.2	7.4	近心				H	なし	なし	なし	咬頭部位
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2大臼歯	9.6	11.6	6.0	3+	なし	C2			なし	なし	なし	咬合面のエナメル1/3咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第1大臼歯	10.2	11.3	6.6	4	なし	A1			なし	なし	なし	咬頭部位
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	發溝型			齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第1大臼歯	11.5	?	6.0	?	?	?			なし	なし	なし	遠心頬側の2咬頭の象牙質連続、近心頬側咬頭にゴマ粒ほどの象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達					齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第1大臼歯	11.7	11.3	6.1	5	なし	なし	Y5		なし	なし	なし	遠心頬側の2咬頭の象牙質連続、近心頬側咬頭にゴマ粒ほどの象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	舌面窩の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頰溝		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	側切歯	6.4	6.2	7.9						なし	なし	なし	切縁に細い線状象牙質露出、咬耗面は唇舌に水平・遠心に傾斜
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達					齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	犬歯	7.3	7.9	9.3	なし	良好		良好	中央	なし	なし	なし	咬合面のエナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第1小臼歯	7.4	9.5	7.0	近心					なし	なし	なし	頬側咬頭に極小の点状象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第3大臼歯	9.3	11.5	6.0	3	なし	B3			なし	なし	なし	咬合面の遠心1/3咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第1大臼歯	9.6	11.6	6.2	3	なし	C2			なし	なし	なし	近心頬側咬頭に極小の点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第1大臼歯	10.6	11.7	6.1	4	なし	1			なし	なし	なし	遠心舌側咬頭以外点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第2大臼歯	9.5	11.7	5.9	3+	なし	C2			なし	なし	なし	咬合面のエナメル1/2咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第3大臼歯	9.3	11.6	6.8	3	なし	異常形			なし	なし	なし	咬合面のエナメル1/4咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	發溝型			齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	第3大臼歯	11.1	10.4	5.8	4+	あり?	+	+		なし	なし	なし	咬合面のエナメル1/3咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	第2大臼歯	11.3	10.8	6.1	4+	あり?	なし	×4		なし	なし	なし	頬側のエナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	第1大臼歯	11.9	10.9	6.8	5	あり?	なし	+5		なし	なし	なし	頬側のエナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第2小臼歯	7.2	8.6	6.6	近心			Y		なし	なし	なし	頬側に2点象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	舌面窩の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頰溝		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	中切歯	8.0	7.0	10.1	なし	2型	普通	なし	なし	なし	なし	なし	切縁から遠心辺縁線に9°状に象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達					齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	犬歯	7.4	7.5	8.6	なし	良好		良好	普通	なし	なし	なし	尖頭部に菱形の象牙質露出、咬耗面舌側へ傾斜、遠心辺縁線中央のエナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第1小臼歯	6.9	9.1	7.1	近心?					なし	なし	なし	頬側・舌側咬頭に点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第2小臼歯	6.1	9.1	7.1	?					なし	なし	なし	舌側咬頭のエナメル咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	第2小臼歯	7.0	7.7	7.7	近心					なし	なし	なし	頬側咬頭に点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第1小臼歯	6.9	7.0	7.6	?	b	b	近心		なし	なし	なし	頬側咬頭に点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリー結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 右	第2大臼歯	9.1	?	?	?	?	?		U	なし	なし	なし	咬合面のエナメル前面咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第1大臼歯	9.1	10.5	55.8	4	なし	B1			なし	なし	なし	近心舌側咬頭に線状、遠心頬側咬頭にくさび状、他の咬頭は点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎 左	第3大臼歯	8.2	9.4	4.6	3	なし	C3			なし	なし	なし	近心頬側咬頭に極小の天寿象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	發溝型			齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 右	第1大臼歯	10.8	?	5.4	?	なし	?	Y5		なし	なし	なし	遠心咬頭に点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 左	第2大臼歯	10.6	9.9	5.7	4	なし	なし	×4		なし	なし	なし	頬側咬頭に点状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	舌面窩の分類	舌面隆線の発達	舌面溝の発達	舌面溝 頰溝		齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 左	第3大臼歯	11.0	9.9	5.7	4	なし	なし	?		なし	なし	なし	咬号面の遠心2/3咬耗
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	棘突起の発達	中央舌面隆線の発達					齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	下顎 左	中切歯	5.4	?	9.1						なし	なし	なし	切縁に線状の象牙質露出
甲土	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置						齧触	歯石	咬頭部位	咬頭度
	上顎													

	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭的位置	連合隆線の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度	
知母土坑-1	下顎	右 第2小白歯	8.1	9.5	7.3	近心			H	なし	なし	咬頭部位	咬頭度	
		右 第1小白歯	7.9	9.3	7.8	近心	a	b	なし	なし	なし	齧蝕咬頭に点状の象牙質露出		
	左	第1小白歯	8.0	9.5	6.8	近心	a	b	なし	なし	なし	齧蝕咬頭にバチ状の象牙質(径1.9mm)露出		
		第2小白歯	7.5	9.4	6.1	近心				H	なし	なし	齧蝕咬頭にバチ状の象牙質露出	
知母土坑-2	上顎	右 第2大白歯	10.7	12.6	7.0	4	痕跡	A1			齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		右 第1大白歯	?	?	7.0	?					なし	舌側面	齧蝕咬頭に極小の点状象牙質露出	
	左	第2大白歯	10.4	13.1	7.3	3+	なし	C2			なし	近心	近心齧蝕、遠心齧蝕に点状の象牙質露出	
		第3大白歯	9.6	12.7	7.0	3+	なし	C3			なし	舌側	咬合面のエナメル5/6咬耗	
知母土坑-3	下顎	右 第2大白歯	12.0	11.5	7.3	5	なし	なし	+5		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		右 第1大白歯	11.9	11.6	6.6	5	なし	なし	x5		なし	遠心齧	近心齧蝕に点状の象牙質露出	
	左	第2大白歯	12.5	11.7	7.3	5	なし	なし	x5		なし	舌側	4個の咬頭に象牙質(最大径3.2mm)露出	
		第2或第3大白歯	10.1	11.1	7.4	4	なし	なし	?		なし	なし	近心齧蝕咬頭に点状の象牙質露出	
知母土坑-4	上顎	右 中切歯	8.1	6.6	6.1	なし	2型	不良	不良		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 中切歯	8.2	6.8	6.9	1本	2型	不良	不良		なし	なし	切縁から近心辺縁線へ細い線状の象牙質露出	
	下顎	右 大歯	6.5	6.9	9.4	なし	良好	良好	良好		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 大歯	8.2	6.8	6.9	1本	2型	不良	不良		なし	なし	切縁極小の象牙質露出、近・遠心辺縁線の切縁側のエナメル質1/3咬耗	
知母土坑-5	上顎	右 大歯	7.8	8.7	9.3	?	?	?	?		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 大歯	7.4	9.4	11.0	なし	良好	良好	普通		なし	なし	切縁に線状の象牙質露出	
	下顎	右 第2小白歯	7.2	7.9	7.4	近心				Y	なし	なし	舌側咬頭に極小の象牙質露出	
		左 第2或第3大白歯	10.1	11.1	7.4	4	なし	なし	?		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
知母土坑-6	上顎	右 中切歯	8.2	7.0	10.5	1本	2型	不良	不良		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 側切歯	7.0	?	9.6	?	浅い	良好	良好		なし	なし	切縁から近心辺縁線へ細い線状の象牙質露出	
	下顎	右 大歯	7.8	8.7	9.3	?	?	?	?		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 大歯	7.4	9.4	11.0	なし	良好	良好	普通		なし	なし	切縁から遠心辺縁線にかけて3状の象牙質露出	
知母土坑-7	上顎	右 第2小白歯	6.5	9.5	7.4	近心					齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 第1小白歯	7.0	9.9	7.5	近心					なし	なし	齧蝕咬頭に極小の象牙質露出、エナメル全面咬耗、咬耗面唇側に傾斜	
	下顎	右 第1小白歯	6.7	9.6	6.6	近心					なし	なし	咬合面のエナメル全面咬耗、咬耗面に唇側に傾斜	
		左 第1小白歯	6.7	9.6	6.6	近心					なし	なし	舌側咬頭に極小の象牙質露出	
知母土坑-8	上顎	右 第1小白歯	6.7	8.3	7.8	近心	?	b	なし		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 第2小白歯	6.5	8.5	7.0	?				?	なし	なし	齧蝕咬頭に小さい点状の象牙質露出	
	下顎	右 第3大白歯	10.2	6.8	4	?	?	?	X4		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 第2大白歯	10.2	6.5	?	?	?	?	X4		なし	なし	咬合面のエナメル全面咬耗	
知母土坑-9	上顎	右 側切歯	7.0	8.1	なし	2型	良好	良好	遠心		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 側切歯	7.7	11.3	2本	1型	不良	不良	なし		なし	なし	切縁に帯状の象牙質露出、遠心辺縁線のエナメル咬耗	
	下顎	右 側切歯	7.6	10.8	?	1型	不良	不良	なし		なし	なし	切縁と遠心辺縁線のエナメル咬耗	
		左 側切歯	7.0	9.7	なし	2型	不良	不良	なし		なし	なし	切縁・近心辺縁線のエナメル咬耗、切縁唇側に傾斜	
知母土坑-10	上顎	右 大歯	9.1	8.3	1本	良好	良好	良好	良好		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 大歯	10.2	6.4	近心						なし	なし	切縁に細い線状の象牙質露出	
	下顎	右 第1小白歯	10.5	7.2	近心						なし	なし	齧蝕咬頭に大きく齧蝕咬頭に小さくエナメル咬耗	
		左 第2小白歯	8.0+	5.4	近心					H	なし	なし	齧蝕咬頭の唇側面のエナメルが大きく咬耗	
知母土坑-11	上顎	右 第1小白歯	8.6	5.1	近心	?	b	なし			齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 第1小白歯	8.6	5.2	近心	b	b	なし			なし	なし	齧蝕咬頭に点状の象牙質露出	
	下顎	右 第2小白歯	8.7	5.5	近心					H	なし	なし	齧蝕咬頭の唇側面のエナメルが大きく咬耗	
		左 第2小白歯	8.7	5.5	近心						齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
知母土坑-12	上顎	右 第1大白歯	11.4	5.0	?	?	?	+			齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 第2大白歯	5.2	5	なし	なし	?	?			なし	なし	近心舌側咬頭に点状の象牙質露出、咬合面エナメル全面咬耗	
	下顎	右 第3大白歯	9.7	5.4							齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 第3大白歯	9.7	5.4							なし	なし	遠心咬頭に極小の象牙質露出	
知母土坑-13	上顎	右 側切歯	7.0	8.1	なし	2型	良好	良好	遠心		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 側切歯	7.7	11.3	2本	1型	不良	不良	なし		なし	なし	切縁に帯状の象牙質露出、遠心辺縁線のエナメル咬耗	
	下顎	右 側切歯	7.6	10.8	?	1型	不良	不良	なし		なし	なし	切縁と遠心辺縁線のエナメル咬耗	
		左 側切歯	7.0	9.7	なし	2型	不良	不良	なし		なし	なし	切縁・近心辺縁線のエナメル咬耗、切縁唇側に傾斜	
知母土坑-14	上顎	右 大歯	8.2	10.1	なし	良好	良好	良好	普通		齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 大歯	8.0	9.2	なし	不良	不良	不良	なし		なし	なし	切縁に象牙質露出、咬耗面遠心に傾斜	
	下顎	右 第2小白歯	9.2	6.6	近心					H	なし	なし	齧蝕咬頭に点状の象牙質露出	
		左 第2小白歯	9.4	8.1	近心					Y	なし	近心	近心辺縁線に象牙質露出	
知母土坑-15	上顎	右 第3大白歯	10.3	5.9	3	なし					齧蝕	歯石	咬頭部位	咬頭度
		左 第3大白歯	10.3	5.9	3	なし					なし	なし	咬合面のエナメル1/6咬耗	

		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	舌側咬頭の位置	連合線縁の経過	舌側附加結節	舌側溝・下面溝	Blackの分類	齧触	歯石	咬耗部位	咬耗度		
70	下顎	右	第2小白歯	破片	?	?				U		なし	なし	?		
		右	第1小白歯	7.4	8.6	7.5	近心	?	b	近心		なし	なし	頬側咬頭に極小の象牙質露出		
		左	第1小白歯	7.7	8.3	7.6	近心	a	b	近心		なし	なし	頬側咬頭に極小の象牙質露出		
		左	第2小白歯	7.5	8.8	6.7	近心				H	なし	なし	頬側咬頭に極小の象牙質露出		
80	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型				齧触	歯石	咬耗部位	咬耗度	
		右	第3大白歯	8.7	11.8	5.9	3	なし	B3				なし	なし	咬合面の舌側半のエナメル咬耗	
		右	第2大白歯	9.7	12.2	6.1	3+	なし	B3				なし	なし	咬合面のエナメル咬耗	
		右	第1大白歯	破片	?	?	?	?	?				?	?	頬側2咬頭に点状の象牙質露出	
		左	第1大白歯	11.4	12.3	6.8	4	痕跡的	A1				なし	なし	遠心舌側咬頭以外点状の象牙質露出	
		左	第2大白歯	10.5	12.2	6.6	3+	なし	B3				なし	なし	咬合面のエナメルの2/3咬耗	
		左	第3大白歯	9.7	11.6	6.1	3	なし	B3				なし	なし	咬合面のエナメルの2/3咬耗	
		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	咬溝型				齧触	歯石	咬耗部位	咬耗度
		右	第2大白歯	12.3	11.0	6.6	5	あり	なし	X5			なし	なし	近心頬側咬頭に点状の象牙質露出	
		右	第1大白歯	12.2	11.4	6.7	5	あり	なし	Y5			なし	なし	頬側2咬頭に径2.8mmの紡錘状の、近心舌側・遠心咬頭に小さい象牙質露出	
		左	第1大白歯	12.2	11.2	7.0	5	あり	なし	Y5			なし	なし	頬側2咬頭に径2.8mmの紡錘状の、近心舌側・遠心咬頭に小さい象牙質露出	
		左	第2大白歯	11.4	11.4	6.3	4	なし	なし	+4			なし	なし	咬合面のエナメルの2/3咬耗	
左	第3大白歯	11.3	11.3	6.6	4	なし	なし	+4			なし	なし	近心頬側咬頭に極小の点状象牙質露出			
70		歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心咬頭の退化	第6咬頭	第7咬頭	咬溝型		齧触	歯石	咬耗部位	咬耗度		
80	下顎	左	第2 or 第3 大白歯	11.6	9.8	6.1	?	?	?		なし	なし	咬合面エナメル1/6咬耗			
70	上顎	歯種	近遠心径	頬舌径	歯冠高	遠心舌側咬頭の退化	カラベリ-結節	外形の諸型			齧触	歯石	咬耗部位	咬耗度		
80		右	第3大白歯	8.5	11.4	6.0	3	なし	C2		なし	なし	各咬頭エナメルのみ咬耗			
80	右	第2大白歯	8.7	11.7	5.9	3+	なし	C2			なし	なし	咬合面のエナメル1/2咬耗			

第3節 西田遺跡・村中遺跡から出土した木材の樹種

パリノ・サーヴェイ株式会社

1. はじめに

西田遺跡では、自然木や加工木などが出土している。また、漆椀や皿などの漆器類も出土している。これらの遺物は、過去における古植生、用材選択、植物食等を知る上で重要な資料となる。

本報告ではこれらの木材の樹種同定を行い、過去における古植生、用材選択、植物食に関する資料を得る。

2. 試料

試料は、西田遺跡から出土した木材147点（試料番号1～147）と、村中遺跡から出土した木材13点（試料番号1～13）である。このうち、西田遺跡の試料番号1～138と村中遺跡の試料番号1～12はプレパラートの状態であった。西田遺跡の試料番号139～147と村中遺跡の試料番号13は漆器であり、木質部から5mm角程度の木片を採取して試料とした。

3. 方法

剃刀の刃を用いて木口（横断面）・柁目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の徒手切片を作製し、ガム・クロラール（抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で観察・同定する。

4. 結果

樹種同定結果を表1に示す。木材試料のうち、保存状態が悪いために種類の同定に至らなかった試料については、観察できた範囲での結果を記した。また、村中遺跡の試料番号9には2種類の切片が認められた。これらの試料は、針葉樹7種類（カラマツ・マツ属複維管束亜属・マツ属単維管束亜属・モミ属・スギ・ヒノキ・サワラ）、広葉樹5種類（ブナ属・コナラ属コナラ亜属コナラ節・クリ・モクレン属・エゴノキ属）に同定された。各種類の木材組織の特徴などを以下に記す。

・カラマツ (*Larix kaempferi* (Lamb.) Carriere) マツ科カラマツ属

仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道が認められる。放射柔組織の細胞壁は滑らかで、じゅず状末端壁が認められる。分野壁孔はトウヒ型～ヒノキ型で、1分野に3～5個。放射仮道管の有縁壁孔のフチは、カラマツ型を主とし、稀にトウヒI型が認められる。放射組織は単列、1～20細胞高。

・マツ属複維管束亜属 (*Pinus subgen. Diploxylon*) マツ科

仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道及び水平樹脂道が認められる。分野壁孔は窓状となり、放射仮道管内壁には顕著な鋸歯状の突出が認められる。放射組織は単列、1～15細胞高。

・モミ属 (*Abies*) マツ科

仮道管の早材部から晩材部への移行は比較的緩やかで、晩材部の幅は狭い。傷害樹脂道が認められる試料がある。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は粗く、じゅず状末端壁が認められる。分野壁孔はス

表1 西田遺跡・村中遺跡の樹種同定結果

遺跡名	番号	遺物番号	遺構名	用途	樹種	遺跡名	番号	遺物番号	遺構名	用途	樹種		
西田遺跡	1	実W-3			サワラ	西田遺跡	82	参W-67			スギ		
	2	実W-5			スギ		83	参W-68				マツ属複雑管束亜属	
	3	実W-6			スギ		84	参W-69				スギまたはヒノキ科	
	4	実W-7			スギ		85	参W-70				針葉樹	
	5	実W-8			サワラ		86	参W-73				スギ	
	6	実W-9			サワラ		87	参W-75				スギ	
	7	実W-10			スギ		88	参W-76				ヒノキ	
	8	実W-11			スギ		89	参W-77				モミ属	
	9	実W-12			サワラ		90	参W-78				スギ	
	10	実W-13			スギ		91	参W-79				スギ	
	11	実W-14			スギ		92	参W-81				針葉樹	
	12	実W-15			スギ		93	参W-84				スギ	
	13	実W-16			スギ		94	参W-89				スギ	
	14	実W-17			スギ		95	参W-91				ヒノキ	
	15	実W-18			サワラ		96	参W-92				スギ	
	16	実W-19			スギ		97	参W-93				スギ	
	17	実W-20			スギ		98	参W-94				スギ	
	18	実W-21			スギ		99	参W-95				スギ	
	19	実W-22			スギ		100	参W-96				針葉樹	
	20	実W-23			スギ		101	参W-97				サワラ	
	21	実W-24			スギ		102	参W-98				スギまたはヒノキ科	
	22	実W-25			スギ		103	参W-99				ヒノキ科	
	23	実W-26			スギ		104	参W-100				スギまたはヒノキ科	
	24	実W-27			スギ		105	参W-101				スギまたはヒノキ科	
	25	実W-28			スギ		106	参W-102				スギまたはヒノキ科	
	26	実W-29			スギ		107	参W-103				スギ	
	27	実W-30			スギ		108	参W-104				針葉樹	
	28	実W-31			スギ		109	参W-105				スギ	
	29	実W-33			スギ		110	参W-106				スギ	
	30	実W-34			カラマツ		111	参W-107				針葉樹	
	31	実W-36			カラマツ		112	参W-108				マツ属単維管束亜属	
	32	実W-37			スギ		113	参W-109				スギ	
	33	実W-38			スギ		114	参W-110				針葉樹	
	34	実W-39			カラマツ		115	参W-111				スギ	
	35	実W-41			スギまたはヒノキ科		116	参W-112				スギ	
	36	実W-42			サワラ		117	参W-113				スギ	
	37	実W-43			スギ		118	参W-114				マツ属単維管束亜属	
	38	実W-44			モミ属		119	参W-115				スギ	
	39	実W-45			スギ		120	参W-116				マツ属単維管束亜属	
	40	実W-49			サワラ		121	参W-117				スギ	
	41	実W-51			スギ		122	参W-118				スギ	
	42	実W-52			スギ		123	参W-119				マツ属単維管束亜属	
	43	実W-53			スギ		124	参W-120				スギ	
	44	実W-54			サワラ		125	参W-121				スギ	
	45	実W-55			サワラ		126	参W-122				針葉樹	
	46	実W-56			スギ		127	参W-123				針葉樹	
	47	実W-57			スギ		128	参W-124				スギ	
	48	実W-58			スギ		129	参W-125				スギ	
	49	実W-59			スギ		130	参W-126				モミ属	
	50	実W-60			スギ		131	参W-127				マツ属単維管束亜属	
	51	実W-61			サワラ		132	参W-128				針葉樹	
	52	実W-62			スギ		133	参W-129				針葉樹	
	53	実W-63			スギ		134	参W-130				針葉樹	
	54	実W-64			スギ		135	参W-131				スギ	
	55	実W-65			スギ		136	参W-132				針葉樹	
	56	実W-66			スギまたはヒノキ科		137	参W-133				サワラ	
	57	実W-71			スギ		138	参W-134				スギ	
	58	実W-72			サワラ		139	W-141	173土坑				ブナ属
	59	実W-74			スギ		140	W-158	191土坑				ブナ属
	60	実W-80			マツ属単維管束亜属		141	W-159	191土坑				ブナ属
	61	実W-82			スギ		142	W-160	191土坑				ブナ属
62	実W-83			スギまたはヒノキ科	143	W-171	199土坑				ブナ属		
63	実W-85			スギ	144	W-172	199土坑				ブナ属		
64	実W-86			ヒノキ	145	W-173	199土坑				ブナ属		
65	実W-87			ヒノキ	146	W-197	219土坑				ブナ属		
66	実W-88			スギ	147	W-226No2	247土坑				ブナ属		
67	実W-90			サワラ	村中遺跡	1	W-1				マツ属複雑管束亜属		
68	実W-135			スギ		2	W-2				ヒノキ		
69	実W-136			スギ		3	W-26				マツ属複雑管束亜属		
70	実W-137			スギ		4	W-67				コナラ属コナラ亜属コナラ節		
71	実W-138			スギ		5	W-69				ヒノキ		
72	参W-1			ヒノキ		6	W-71				エゴノキ属		
73	参W-2			スギ		7	W-73				ブナ属		
74	参W-4			スギ		8	W-74				サワラ		
75	参W-32			マツ属複雑管束亜属		9	W-75				クリ(柱目・板目)		
76	参W-35			スギ							モクレン属(木口)		
77	参W-40			スギ		10	W-76				広葉樹		
78	参W-46			スギ		11	W-77				サワラ		
79	参W-47			ヒノキ属		12	W-78				サワラ		
80	参W-48			スギ		13	W-73	40号溝	漆器		ブナ属		
81	参W-50			スギ									

ギ型で1～4個。放射組織は単列、1～20細胞高。

- スギ (*Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don) スギ科スギ属

仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞がほぼ晩材部に限って認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞の壁は滑らか。分野壁孔はスギ型で、1分野に2～4個。放射組織は単列、1～15細胞高。

- ヒノキ (*Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endlicher) ヒノキ科ヒノキ属

仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部に限って認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は滑らか。分野壁孔はヒノキ型～トウヒ型で、1分野に1～3個。放射組織は単列、1～15細胞高。

- サワラ (*Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endlicher) ヒノキ科ヒノキ属

仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部に限って認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は滑らか。分野壁孔はスギ型～ヒノキ型で、1分野に1～3個。放射組織は単列、1～15細胞高。

- ブナ属 (*Fagus*) ブナ科

散孔材で、管孔は単独または放射方向に2～3個が複合、横断面では多角形、管壁厚は中庸～薄く、分布密度は高い。道管は単および階段穿孔を有し、壁孔は対列状～階段状に配列する。放射組織は同性～異性III型、単列、数細胞高のものから複合放射組織まである。

- コナラ属コナラ亜属コナラ節 (*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Prinus*) ブナ科

環孔材で、孔圏部は1～2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～20細胞高のものと同複合放射組織とがある。

- クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

試料は木口面を欠く。柾目面の道管径の移行から環孔材と判断できる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。

- モクレン属 (*Magnolia*) モクレン科

試料は柾目面と板目面を欠く。散孔材で、管壁厚は中庸～薄く、横断面では角張った楕円形～多角形、単独および2～4個が放射方向に複合して散在する。道管の分布密度は比較的高い。木口面の道管配列の特徴からモクレン属と判断した。

- エゴノキ属 (*Styrax*) エゴノキ科

散孔材で、横断面では楕円形、2～4個が複合または単独で、年輪界付近で管径を減ずる。道管は階段穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性II型、1～3細胞幅、1～20細胞高。

4. 考察

出土した木材には、合計12種類が認められ、全体的には針葉樹が多用される傾向が認められる。しかし、各遺跡の結果を比較すると、西田遺跡でスギが多いのに対し、村中遺跡ではスギが1点も確認されず、種類構成に違いが認められる。このような違いは、年代、用途、遺跡の性格等の違いを反映している可能性がある。しかし、試料の多くが用途不明であり、現時点では詳細は不明である。今後、用途を明らかにした上で、

用材選択に関する検討を行いたい。

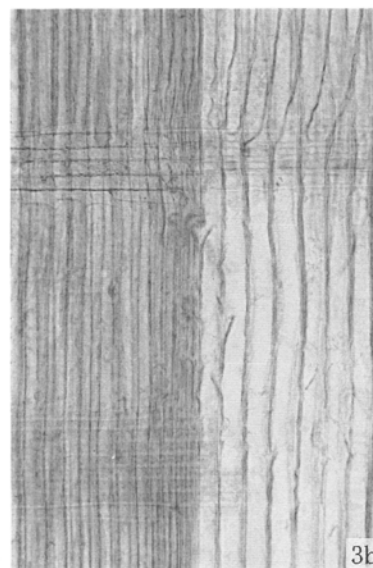
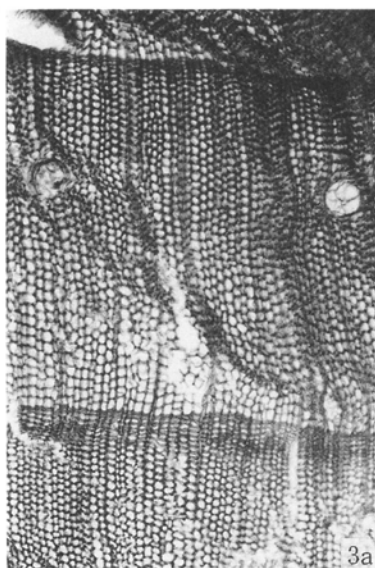
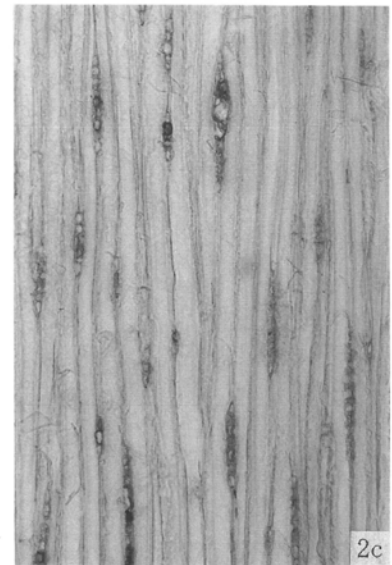
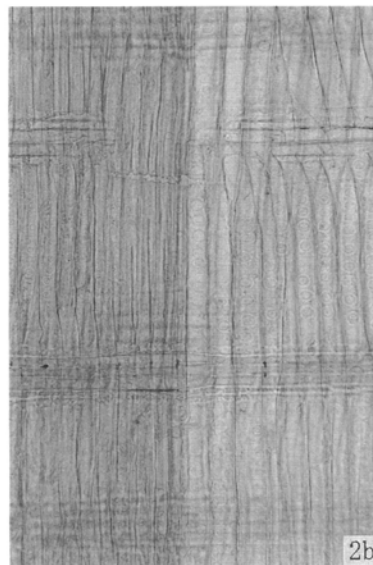
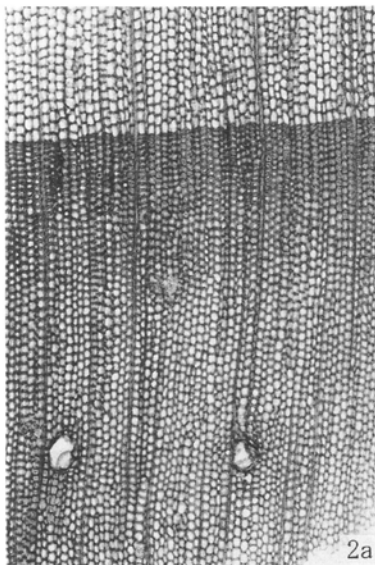
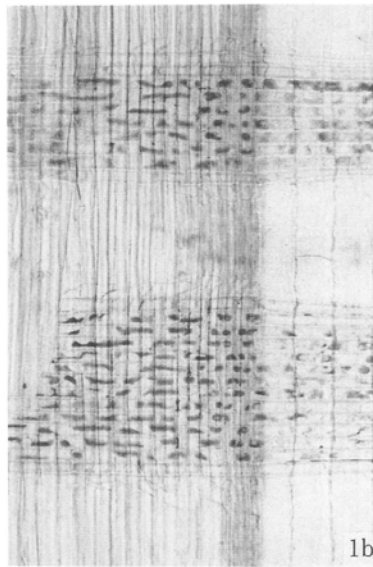
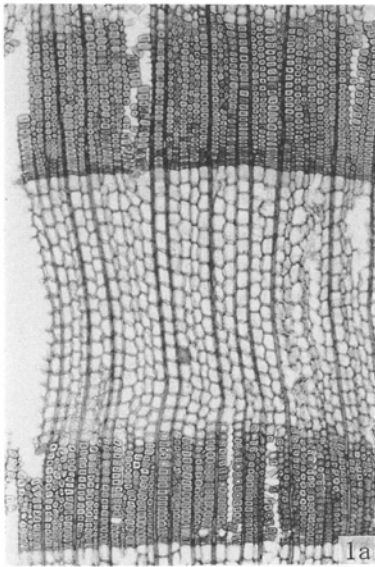
一方、漆器は全点がブナ属であった。これは、横手湯田遺跡等で得られている結果とも一致している。ブナ属は、民俗事例でも漆器木地としてよく利用される木材であり（農商務省山林局，1912；橋本，1979）、今回の結果も調和的である。このような漆器は、木地屋による伐採と加工が行われた後、塗師による漆塗りを経て市場に流通していたことが指摘されている（中川，1985）。したがって、本遺跡周辺でも漆器製作の背景に木地屋の存在が推定される。

ところで、漆器には、塗り方により上品・下品のランクがあり、漆断面の薄片作製・観察により塗り方の工程を明らかにすることができる（北野，1990；岡田，1995）。一方、木材も樹種によって材質が大きく異なり、漆器木地としての使い方にも違いがある（橋本，1979）。したがって、漆器はランクや器種によって使用樹種や漆塗りの状況に違いが認められる可能性がある。今後、この点にも留意して漆器の分析を進めたい。

引用文献

- 橋本鉄男（1979）ものと人間の文化史31 ろくろ．444p.，法政大学出版局．
北野信彦（1990）近世出土漆器に関する一調査法．考古学ジャーナル，322，p.24-28．
中川重年（1985）木地屋の世界 その移動と森林の変化．「ブナ帯文化」，p.165-184，思索社．
農商務省山林局編（1912）木材ノ工藝的利用．1308p.，大日本山林會．
岡田文男（1995）古代出土漆器の研究 顕微鏡で探る材質と技法．190p.，京都書院．

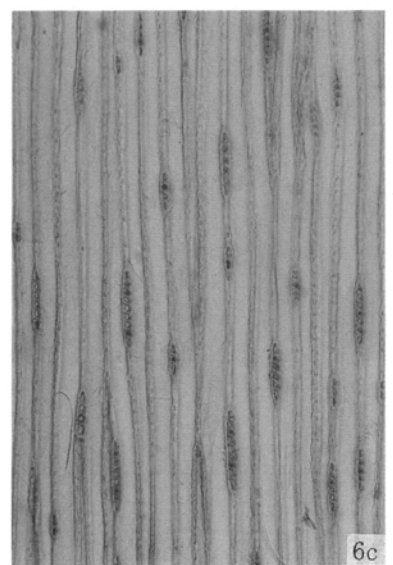
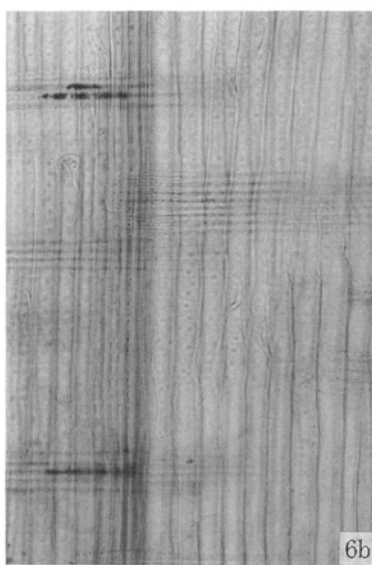
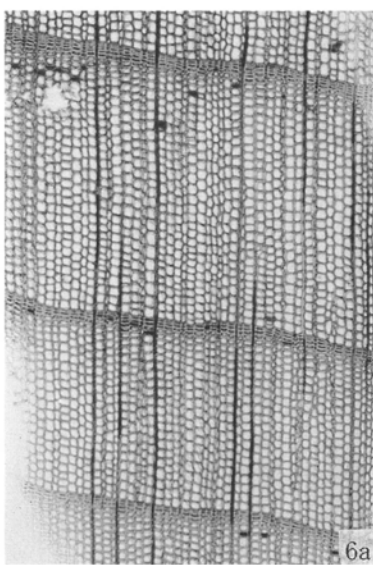
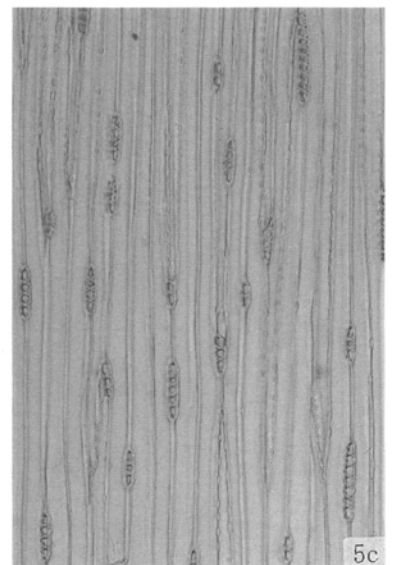
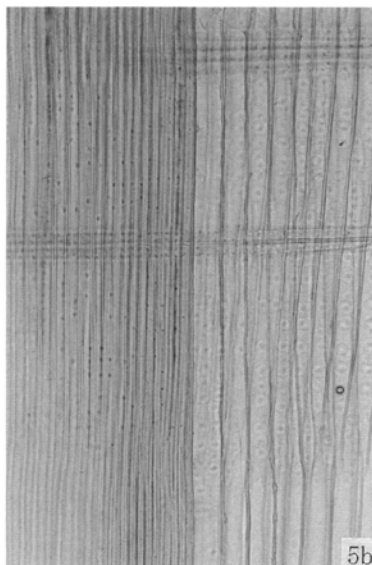
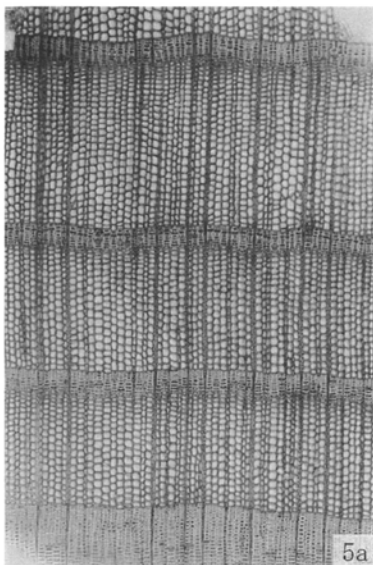
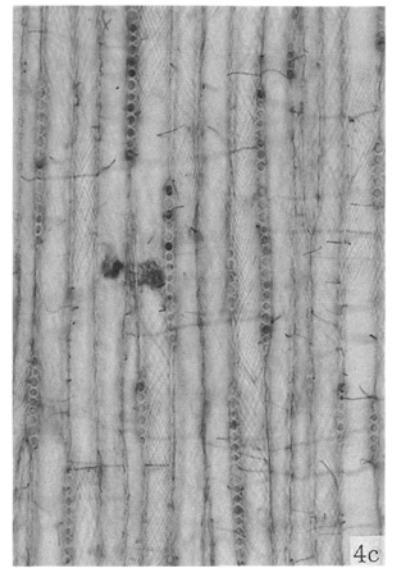
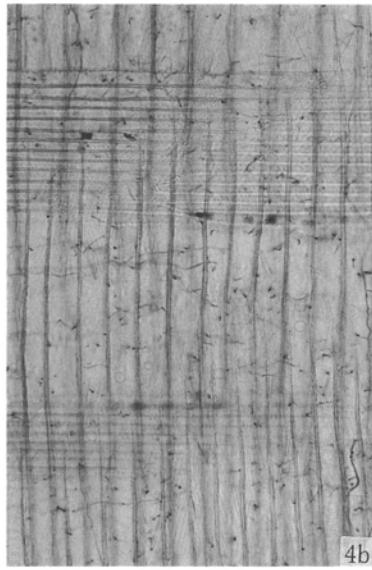
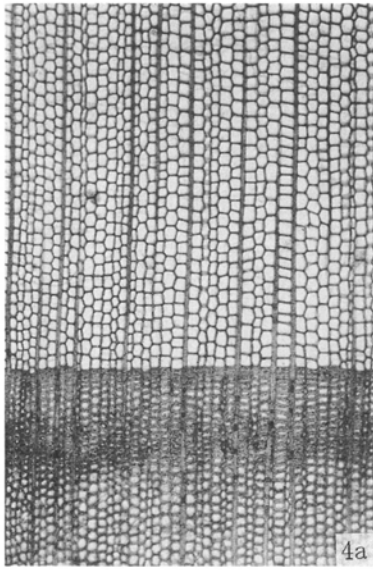
図版 1 西田遺跡の木材 (1)



1. カラマツ (試料番号 39)
 2. マツ属複維管束亜属 (試料番号 135)
 3. マツ属複維管束亜属 (試料番号 123)
- a: 木口, b: 柁目, c: 板目

200 μ m : a
 200 μ m : b, c

図版 2 西田遺跡の木材 (2)



4. モミ属 (試料番号 40)

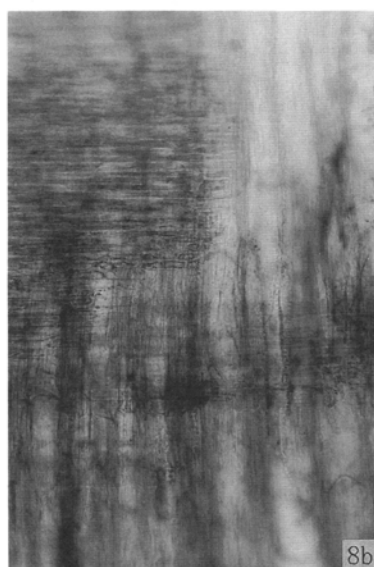
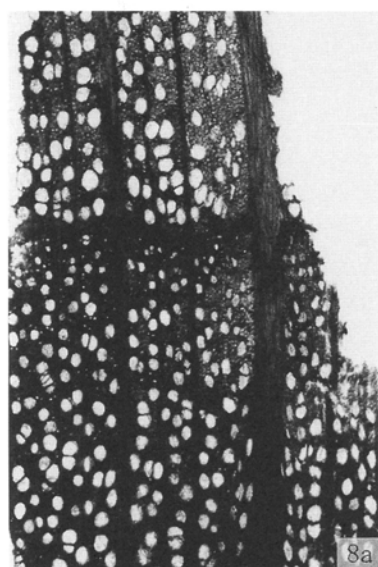
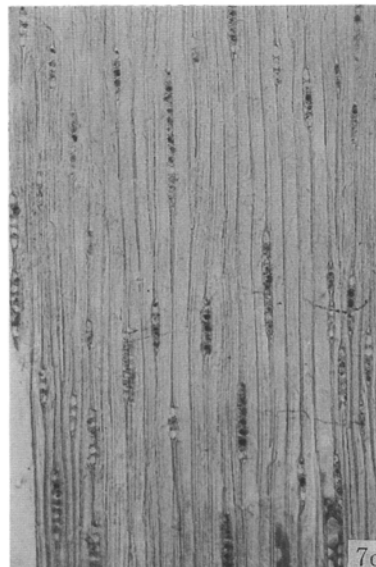
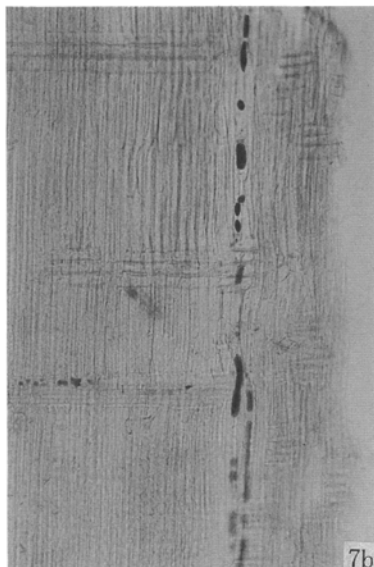
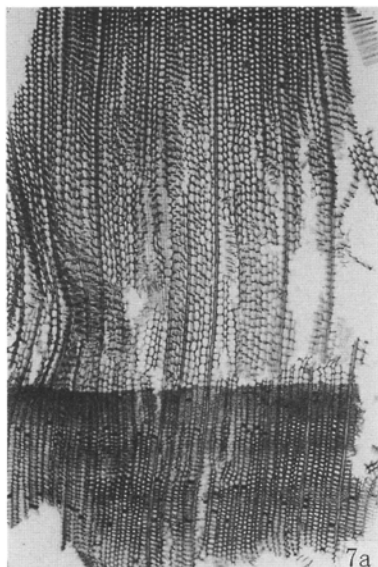
5. スギ (試料番号 7)

6. ヒノキ (試料番号 3)

a: 木口, b: 柁目, c: 板目

200 μm : a
200 μm : b, c

図版 3 西田遺跡の木材 (3)



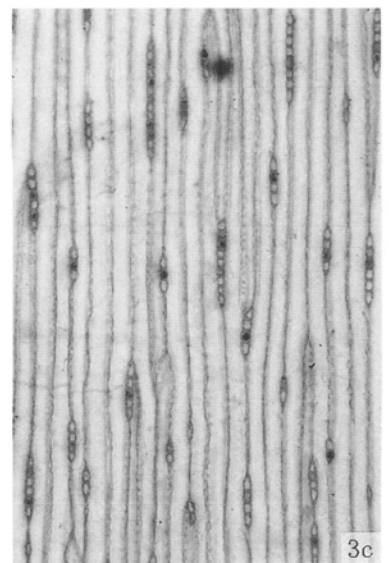
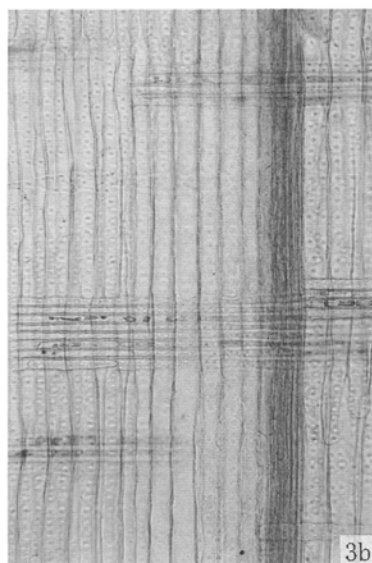
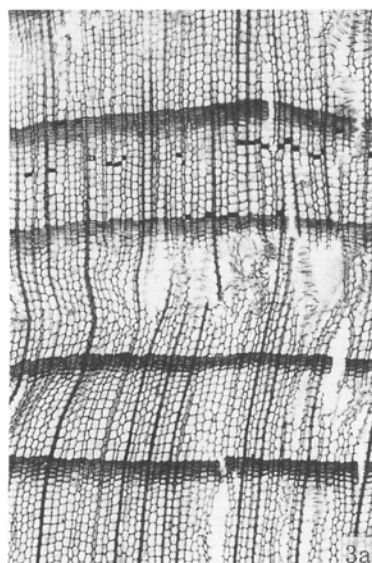
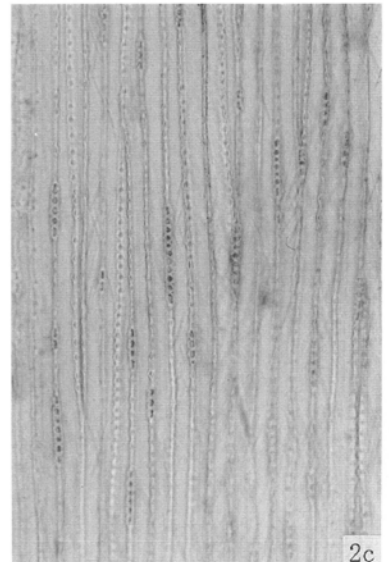
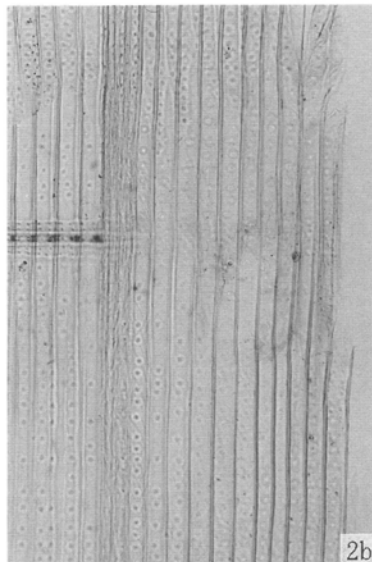
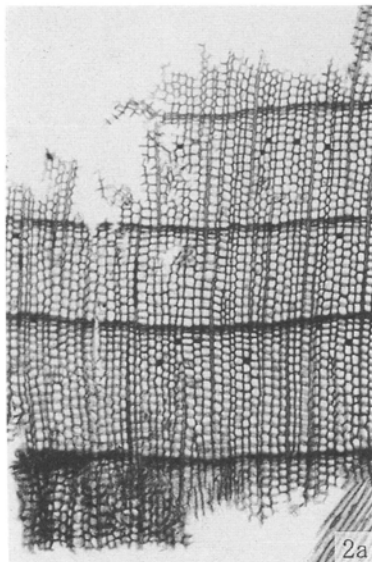
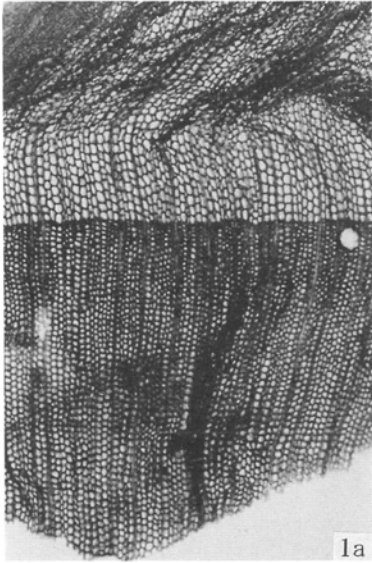
7. サワラ (試料番号 6)

8. プナ属 (試料番号 147)

a: 木口, b: 柁目, c: 板目

200 μ m : a
200 μ m : b, c

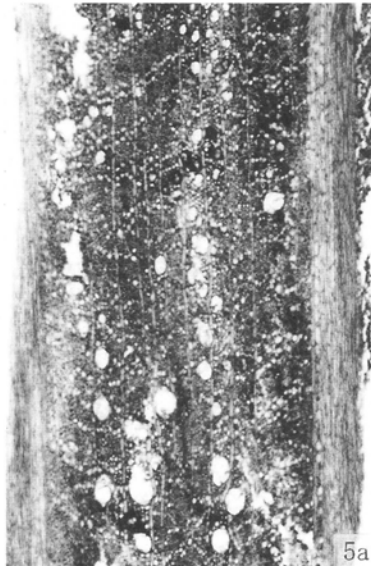
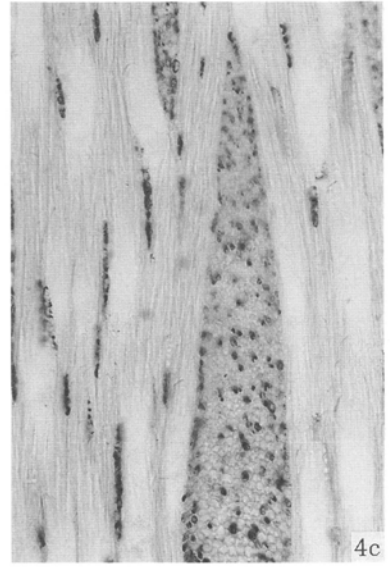
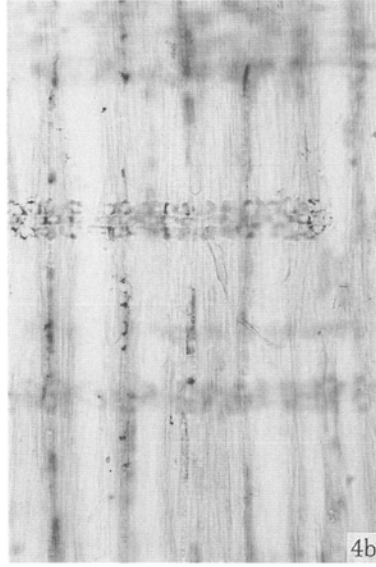
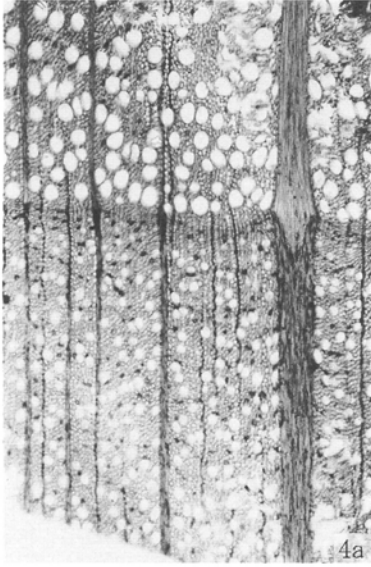
図版 4 村中遺跡の木材 (1)



1. マツ属複維管束亜属 (試料番号 1)
 2. ヒノキ (試料番号 69)
 3. サワラ (試料番号 78)
- a: 木口, b: 柁目, c: 板目

200 μm : a
200 μm : b, c

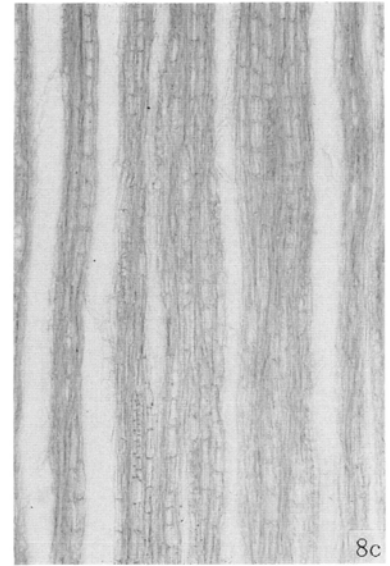
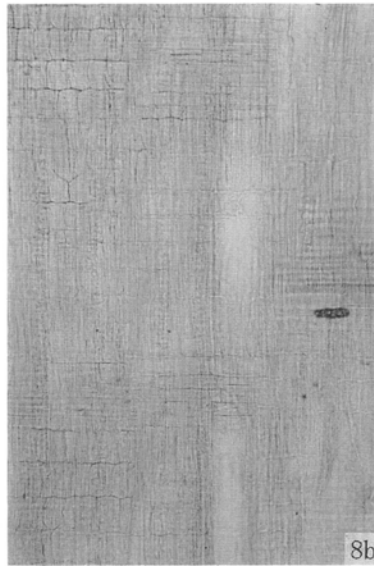
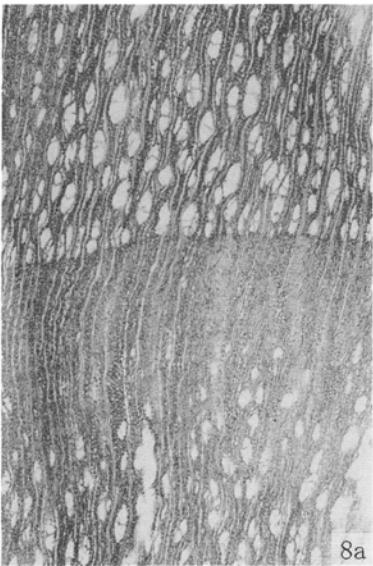
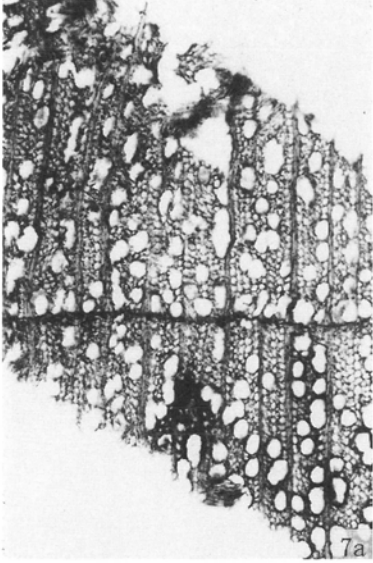
図版 5 村中遺跡の木材 (2)



4. ブナ属 (試料番号 73)
 5. コナラ属コナラ亜属コナラ節 (試料番号 67)
 6. クリ (試料番号 75)
 a: 木口, b: 柁目, c: 板目

200 μm : a
 200 μm : b, c

図版 6 村中遺跡の木材 (3)



7. モクレン属 (試料番号 75)

8. エゴノキ属 (試料番号 71)

a: 木口, b: 柁目, c: 板目

200 μ m : a

200 μ m : b, c